大東市立住道北小学校長寿命化改良工事
（建築工事）

令和8年9月

備考	月 日		月 日			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2026/09/18	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事（建築工事）	図番	A-001
	月 日		月 日											
	月 日		月 日			1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	伊藤　高基	図面名称	表紙	縮尺	-

図面番号	図面名(意匠A)	図面番号	図面名(意匠A)	図面番号	図面名(意匠A)	図面番号	図面名(意匠A)	図面番号	図面名(意匠A)
A-001	表紙	A-045	4階平面図	A-080	建具キープラン-2	A-127	展開図37	A-168	備品リスト
A-002	図面リスト1	A-046	R階平面図	A-081	建具キープラン-3	A-128	展開図38	A-169	黒板キープラン1
A-002-2	図面リスト2	A-047	天井伏図(1階)	A-082	建具キープラン-4	A-129	展開図39	A-170	黒板キープラン2
A-003	特記仕様書1	A-048	天井伏図(2階)	A-083	建具表-1	A-130	展開図40	A-171	黒板キープラン3
A-004	特記仕様書2	A-049	天井伏図(3階)	A-084	建具表-2	A-131	展開図41	A-172	黒板キープラン4
A-005	特記仕様書3	A-050	天井伏図(4・R階)	A-085	建具表-3	A-132	展開図42	A-173	黒板詳細図
A-006	特記仕様書4	A-051	立面図-1	A-086	建具表-4	A-133	展開図43	A-174	サインキープラン1
A-007	特記仕様書5	A-052	立面図-2	A-087	建具表-5	A-134	展開図44	A-175	サインキープラン2
A-008	特記仕様書6	A-053	立面図-3	A-088	建具表-6	A-135	一般詳細図1	A-176	サインキープラン3
A-009	特記仕様書7	A-054	断面図-1	A-089	建具表-7	A-136	一般詳細図2	A-177	サインキープラン4
A-010	特記仕様書8	A-055	断面図-2	A-090	建具表-8	A-137	一般詳細図3	A-178	サイン図1
A-011	特記仕様書9	A-056	屋内運動場1	A-090-2	建具表-9(新館棟) (消防 普通階算定・水切りやりかえ)	A-138	一般詳細図3-2	A-179	トイレブース詳細図1
A-012	改修特記仕様書1	A-056-2	屋内運動場2	A-091	展開図1	A-139	一般詳細図4 exp.j	A-180	トイレブース詳細図2
A-013	改修特記仕様書2	A-056-3	屋内運動場3	A-092	展開図2	A-140	一般詳細図5 exp.j	A-181	厨房機器平面配置図
A-014	改修特記仕様書3	A-056-4	屋内運動場4	A-093	展開図3	A-141	一般詳細図6 exp.j	A-182	厨房機器一覧表
A-015	改修特記仕様書4	A-056-5	屋内運動場5	A-094	展開図4	A-142	一般詳細図7 ライトシェルフ	A-183	厨房ピット図
A-016	改修特記仕様書5	A-056-6	屋内運動場6	A-095	展開図5	A-143	一般詳細図8 耐震クリップ	A-184	外構図
A-017	改修特記仕様書6	A-057	平面詳細図1 (1階)	A-096	展開図6	A-143-2	一般詳細図9 屋上防水	A-185	外構詳細図1(一般)
A-018	改修特記仕様書7	A-058	平面詳細図2 (1階)	A-097	展開図7	A-143-3	一般詳細図10 屋上防水	A-185-2	外構詳細図2(駐輪場)
A-019	改修特記仕様書8	A-059	平面詳細図3 (1階)	A-098	展開図8	A-144	外装キープラン 立面図1	A-185-3	外構詳細図3(倉庫1、2)
A-020	工事区分表	A-060	平面詳細図4 (1階)	A-099	展開図9	A-145	外装キープラン 立面図2	A-185-4	外構詳細図4(倉庫3)
A-021	既存躯体補修工事仕様書1	A-061	平面詳細図5 (1階)	A-100	展開図10	A-146	部分詳細図1	A-185-5	外構詳細図5(遊具)
A-022	既存躯体補修工事仕様書2	A-062	平面詳細図6 (2階)	A-101	展開図11	A-147	部分詳細図2	A-185-6	外構詳細図6(遊具)
A-023	外部仕上表	A-063	平面詳細図7 (2階)	A-102	展開図12	A-148	部分詳細図3	A-185-7	外構詳細図7(門扉1)
A-024	内部仕上表-1	A-064	平面詳細図8 (2階)	A-103	展開図13	A-149	部分詳細図4	A-185-8	外構詳細図8(門扉2)
A-025	内部仕上表-2	A-065	平面詳細図9 (2階)	A-104	展開図14	A-149-2	部分詳細図5	A-185-9	外構詳細図9(門扉3)
A-026	内部仕上表-3	A-066	平面詳細図10 (3階)	A-105	展開図15	A-150	部分詳細図6(新館改修図)	A-185-10	外構詳細図10(門扉4)
A-027	内部仕上表-4	A-067	平面詳細図11 (3階)	A-106	展開図16	A-151	部分詳細図7 (渡り廊下1)	A-185-11	外構詳細図11(塀、RC立上り)
A-027-2	内部仕上表-5	A-068	平面詳細図12 (3階)	A-107	展開図17	A-152	部分詳細図8 (渡り廊下1)	A-185-12	外構詳細図12(手洗い場、設備基礎)
A-028	敷地案内図	A-069	平面詳細図13 (3階)	A-108	展開図18	A-152-2	部分詳細図9 (渡り廊下1)	A-186	植栽図
A-029	配置図	A-070	平面詳細図14 (4階)	A-109	展開図19	A-153	部分詳細図10 (渡り廊下2)	A-187	仮設計画図1
A-030	敷地求積図	A-071	平面詳細図15 (4階)	A-110	展開図20	A-153-2	部分詳細図11 庇	A-188	仮設計画図2
A-031	日影図	A-072	平面詳細図16 (4階)	A-111	展開図21	A-154	家具キープラン1	A-189	仮設計画図3
A-032	面積表-1	A-073	平面詳細図17 (R階)	A-112	展開図22	A-155	家具キープラン2	A-190	仮設計画図4
A-033	面積表-2	A-074	平面詳細図18 (R階)	A-113	展開図23	A-156	家具キープラン3	A-191	仮設計画図5
A-034	面積表-3	A-075	断面詳細図1	A-114	展開図24	A-157	家具キープラン4	A-192	仮設計画図6
A-035	面積表-4	A-075-2	断面詳細図2	A-115	展開図25	A-158	家具図1	A-193	仮設計画図7
A-036	面積表-5	A-075-3	断面詳細図3	A-116	展開図26	A-159	家具図2	A-194	仮設計画図8
A-037	採光換気排煙計算表1	A-075-4	断面詳細図4	A-117	展開図27	A-160	家具図3	A-195	仮設計画図9
A-037-2	採光換気排煙計算表2	A-075-5	断面詳細図5	A-118	展開図28	A-161	家具図4	A-196	仮設計画図10
A-038	法チェック図-1	A-075-6	断面詳細図6	A-119	展開図29	A-162	家具図5	A-197	仮設計画図11 土留め図
A-039	法チェック図-2	A-075-7	断面詳細図7	A-120	展開図30	A-163	家具図6		
A-040	法チェック図-3	A-075-8	断面詳細図8	A-121	展開図31	A-164	家具図7		
A-041	法チェック図-4	A-076	階段詳細図1	A-122	展開図32	A-165	家具図8		
A-042	1階平面図	A-077	階段詳細図2	A-123	展開図33	A-166	家具図9		
A-042-2	1階平面図(バリアフリー)	A-078	階段詳細図3	A-124	展開図34	A-167	備品キープラン1		
A-043	2階平面図	A-078-2	階段詳細図4	A-125	展開図35	A-167-2	備品キープラン2		
A-044	3階平面図	A-079	建具キープラン-1	A-126	展開図36	A-167-3	備品キープラン3		

備考												
月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-002
月 日		月 日		1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	統括	佐藤 信	製図	伊藤 高基	図面名称	図面リスト1	縮尺	-
月 日		月 日										

図面番号	図面名(解体K)	図面番号	図面名(解体K)	図面番号	図面名(構造S)	図面番号	図面名(構造S)
K-001	解体特記仕様書	K-049	解体部分詳細図6	S-001	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	S-047	児童クラブ棟　軸組図(3)
K-002	既存仕上表1	K-050	解体部分詳細図7	S-002	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	S-048	児童クラブ棟　基礎リスト、地中小梁リスト
K-003	既存仕上表2	K-051	アスベスト調査表	S-003	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(3)	S-049	児童クラブ棟　地中梁リスト、地中片持ち梁リスト
K-004	既存仕上表3	K-052	アスベスト範囲表1	S-004	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(4)	S-050	児童クラブ棟　柱芯線図、柱リスト
K-005	既存仕上表4	K-053	アスベスト範囲表2	S-005	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(5)	S-051	児童クラブ棟　大梁リスト(1)片持ち梁リスト
K-006	既存仕上表5	K-054	アスベスト範囲表3	S-006	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(6)	S-052	児童クラブ棟　大梁リスト(2)、小梁リスト
K-007	既存仕上表6	K-055	アスベスト範囲表4	S-007	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(7)	S-053	児童クラブ棟　スラブ、壁リスト
K-008	解体配置図兼外構図	K-056	アスベスト範囲表5	S-008	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(8)	S-054	児童クラブ棟　階段リスト、雑配筋図、鉄骨部材リスト
K-009	解体植栽図	K-057	厨房機器撤去図	S-009	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(9)	S-055	児童クラブ棟　架構配筋図
K-010	解体平面図1	K-058	参考既存図1	S-010	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(10)	S-055A	児童クラブ棟　RC梁貫通孔補強　標準仕様書
K-011	解体平面図2	K-059	参考既存図2	S-011	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(11)	S-055B	児童クラブ棟　1階梁貫通孔スリーブ図
K-012	解体平面図3	K-060	参考既存図3	S-012	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(12)	S-055C	児童クラブ棟　2、3、4階梁貫通孔スリーブ図
K-013	解体平面図4	K-061	参考既存図4	S-013	鉄骨構造標準図(1)	S-056	リンクテラス　テノコラム工法特記仕様書
K-014	解体平面図5	K-062	参考既存図5	S-014	鉄骨構造標準図(2)	S-057	リンクテラス　改良杭伏図
K-015	解体立面図1（東側・西側）	K-063	参考既存図6	S-015	鉄骨構造標準図(3)	S-058	リンクテラス　基礎・1階床梁伏図
K-016	解体立面図2（北側・南側）	K-064	参考既存図7	S-016	鉄骨構造標準図(4)	S-059	リンクテラス　屋根梁伏図
K-017	解体断面図1（A-A,B-B,C-C,D-D）	K-065	参考既存図8	S-017	土質柱状図	S-060	リンクテラス　軸組図
K-018	解体建具キープラン1	K-066	参考既存図9	S-018	本館南棟　改修後 基礎、1階床梁伏図	S-061	リンクテラス　RC部材リスト(1)
K-019	解体建具キープラン2	K-067	参考既存図10	S-019	本館南棟　改修後 2、3階床梁伏図	S-062	リンクテラス　RC部材リスト(2)
K-020	解体建具キープラン3	K-068	参考既存図11(耐震補強部1)	S-020	本館南棟　改修後 R、,PH階床梁伏図	S-063	リンクテラス　鉄骨部材リスト(1)
K-021	解体建具キープラン4	K-069	参考既存図12(耐震補強部2)	S-021	本館南棟　改修後 軸組図(1)	S-064	リンクテラス　鉄骨部材リスト(2)
K-022	解体建具表1	K-070	参考既存図13(耐震補強部3)	S-022	本館南棟　改修後 軸組図(2)	S-065	リンクテラス　雑詳細図、鉄骨架構詳細図
K-023	解体建具表2	K-071	参考既存図14(本館北棟厨房部分仕様)	S-023	本館南棟　改修後 軸組図(3)	S-066	駐輪場伏図・軸組図
K-024	解体建具表3	K-072	屋内運動場屋根解体図1	S-024	本館南棟　改修後 軸組図(4)	S-067	駐輪場　鉄骨部材リスト
K-025	解体建具表4	K-073	屋内運動場屋根解体図2	S-025	本館南棟　改修要領図		
K-026	解体建具表5			S-026	本館南棟　SRF工法特記仕様書		
K-027	解体展開図1			S-027	本館南棟　SRCF工法特記仕様書		
K-028	解体展開図2			S-028	本館南棟　改修詳細図(1)		
K-029	解体展開図3			S-029	本館南棟　改修詳細図(2)		
K-030	解体展開図4			S-030	本館南棟　改修詳細図(3)		
K-031	解体展開図5			S-031	本館南棟　改修詳細図(4)		
K-032	解体展開図6			S-031A	鉄骨階段詳細図		
K-033	解体展開図7			S-032	本館南棟　解体 基礎、1階床梁伏図		
K-034	解体展開図8			S-033	本館南棟　解体 2、3階床梁伏図		
K-035	解体展開図9			S-034	本館南棟　解体 R、,PH階床梁伏図		
K-036	解体展開図10			S-035	本館南棟　解体 軸組図(1)		
K-037	解体展開図11			S-036	本館南棟　解体 軸組図(2)		
K-038	解体展開図12			S-037	本館南棟　解体 軸組図(3)		
K-039	解体展開図13			S-038	本館南棟　解体 軸組図(4)		
K-040	解体渡り廊下図1			S-039	児童クラブ棟・リンクテラス　構造特記仕様書(1)		
K-041	解体渡り廊下図2			S-040	児童クラブ棟・リンクテラス　構造特記仕様書(2)		
K-042	屋内運動場解体図1			S-041	児童クラブ棟　杭工法特記仕様書		
K-043	屋内運動場解体図2			S-041A	児童クラブ棟　杭工法特記仕様書		
K-044	解体部分詳細図1			S-042	児童クラブ棟　杭伏図、杭リスト		
K-045	解体部分詳細図2			S-043	児童クラブ棟 ピット伏図、基礎・1階床梁伏図		
K-046	解体部分詳細図3			S-044	児童クラブ棟　2，R、PHR階床梁伏図		
K-047	解体部分詳細図4			S-045	児童クラブ棟　軸組図(1)		
K-048	解体部分詳細図5			S-046	児童クラブ棟　軸組図(2)		

備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図書	A-002-2
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	伊藤　高基	図面名称	図面リスト2	縮尺	-
	月 日		月 日										

特記仕様書

1．本特記仕様書は、本工事における建築関連工事に適用する。
2．本特記仕様書における採用事項
①．項目欄は番号等に ⊙ 印を附したものを適用する。
②．項目欄に ⊙ 印を附し特記事項欄に ⊙ 印を附していない場合は標準仕様書による。
③．特記事項は ⊙ 印を附したものを適用する。但し ⊙ 印の付かない場合は※印の附した事項を採用する。
⊙ 印と ※ 印を附した場合は共に適用する。
3．本特記仕様書に記載なき事項については下記による。
⊙国土交通省大臣官房長官営繕部監修　公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和４年版
・国土交通省大臣官房長官営繕部監修　建築物解体工事共通仕様書　令和４年版
・国土交通省大臣官房長官営繕部監修　建築工事標準詳細図　平成28年版
4．その他事項
・各項目欄の番号(例：1.4 ○○○）は標準仕様書の番号（章番号を除く）に照合する
・各項目欄の番号(例：表○.○.○、及び図○.○.○)は標準仕様書の各表、及び図番号に該当する項目とする
・各項目欄の番号(例：1.＊ ○○○）は標準仕様書の番号（章番号を除く）に該当しない項目とする

章	項　目	特記事項
①章 各章共通事項	1.4 工事実績情報登録	(CORINS)への登録： ⊙行う　・行わない
	1.＊ 建築基準法の風圧	基準風速：　・Ｖｏ＝３２(m/s)　平成12年建告第1454号第2
	・積雪に関する規定	地表面粗度区分：　・Ⅰ　・Ⅱ　⊙Ⅲ　・Ⅳ
		積雪区分：　・区域=(32)／α=0.0009／β=0.00／γ=0.21／R=0
		平成12年建告第1445号　別表
	2.4 工事の記録等	工事報告書の書式等：　⊙協議により決定　・指定の書式　・任意の書式　・
	3.3 電気保安技術者	技術者の配置：　⊙配置する　⊙常駐　・非常駐）　・配置しない
	3.5 施工条件	施工順序等の制約：　・無し　⊙有り【・現場説明書による　・図示　⊙使いながら工事(仮設計画図参照)】
		工事車両の駐車場所：　・図示　⊙現場説明書による　・
		資材、機材置場　：　・図示　⊙現場説明書による　・
		発生土仮置場　：　・図示　⊙現場説明書による　・
		その他の施工条件　：　・図示　⊙現場説明書による　・
	3.11 発生材の処理等	発注者への引渡発生材：　※金属類及びPCB含有物　・図示
		特別管理産業廃棄物の有無：　・無し　⊙有り【分類；アスベスト　⊙図示　・　　】
		発生材のリサイクル：　・図示　・
	4.3 使用材料	⊙仮設材以外の全ての建築材料（仕上材、下地材、副資材）のホルムアルデヒド放散量はＪＩＳ等の材料規格
		において放散量が規定されている場合は原則としてＦ☆☆☆☆とする。但し使用予定材料にＦ☆☆☆☆が
		存在しない場合は監督員と協議のうえ決定する。
	5.3 化学物質の濃度測定	濃度測定：　・未実施　⊙実施
		化学物質濃度を下記のとおり測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し報告すること。
		測定対象物質：　⊙ホルムアルデヒド　⊙トルエン　⊙キシレン　⊙エチルベンゼン
		⊙スチレン　・図示　⊙パラジクロロベンゼン
		測定方法：　・簡易法　⊙パッシブ型採取機器　・測定バッジ；
		測定対象室：　・図示　⊙　全室
		測定箇所数：　・図示　⊙　1箇所
		・厚生労働省の標準的測定方法による場合の測定者は、環境計量証明事業所として登録を行っている者、
		又は作業環境測定事業所の有機溶剤の登録を行っている者とする。
	7.1 完成時の提出図書	完成図　　：　⊙必要　・不要
		保全に関する資料：　⊙必要　・不要
		提出部数：　※各２部　・　部
	7.2 完成図	種類：　※表1.7.1　・一般図　⊙実施設計竣工図一式　⊙施工承認図　⊙竣工写真(※監理者に確認)
		記入内容：　※表1.7.1　・図示　・
		提出要領：　⊙データ形式【　・ＣＡＤ　・ＰＤＦ　⊙ＣＡＤデータ(DXF形式,オリジナル形式,PDF形式)
		⊙Ａ３原稿２つ折り製本　３部
		⊙Ａ１原稿２つ折り製本　１部
②章 仮設工事		③ 仮設物
	3.1 監督職員事務所等	監督職員事務所の設置：　⊙必要　・不要
		◎監督員事務所の規模、設備、備品等
		・（　）号（会議室（１５）m^2 を含む）
		・（　）号に会議室（　　）m^2 を加えた規模
		・専用電話　・兼用FAX　⊙冷暖房機　⊙机　⊙椅子　⊙書棚　・検査用具　・その他；
		受注者事務所の設置：　⊙必要　・不要
		◎受注者事務所の規模、設備、備品等
		・（　）号（会議室（　　）m^2 を含む）
		・（　）号に会議室（　　）m^2 を加えた規模
		⊙専用電話　⊙兼用FAX　⊙冷暖房機　⊙机　⊙椅子　⊙書棚　⊙検査用具　⊙その他：Wi-Fi
	3.2 工事用水	構内既存の施設：　⊙利用できない　・利用できる【・有償　・無償】
	3.3 工事電力	構内既存の施設：　⊙利用できない　・利用できる【・有償　・無償】
		・動力以外利用できる【・有償　・無償】
	3.3 仮囲い	種別：　⊙仮囲い用成型鋼板；H=3.0m､t=1.2mm
		・塗装溶融亜鉛メッキ鋼板波板；H=1.8m､t=0.19mm
		・ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ；H=1.8m　・A型ﾊﾞﾘｹｰﾄﾞ；H=0.8m

章	項　目	特記事項
②章 仮設工事	3.3 仮囲い	塗装：　⊙単色；片面SOP塗　・模様；
		門扉（施錠付）：
		種別　・ｼｰﾄｹﾞｰﾄ　⊙ﾊﾟﾈﾙｹﾞｰﾄ　・
		形状：⊙W3.6m×H4.5m　・
	3.3 落下物、飛散物等による危害防止	⊙工事現場からの落下物、飛散物による危害防止は下記又は同等以上の措置をする。
		⊙防護鉄網　⊙防護ｼｰﾄ　⊙防護棚　・防音ｼｰﾄ　・防音ﾊﾟﾈﾙ　・その他；
	3.＊ 洗車設備	・洗車ピット（幅3m×長さ5m×厚さ20cm　程度の土間コンクリート、給排水設備共）
		⊙洗車装置（高圧洗浄装置程度）　・
	3.3 仮排水	⊙既設排水溝や排水管、会所等の撤去時には、仮設の排水設備を設け、排水上支障のないようにする。
③章 土工事		② 根切り等
	2.3 埋戻し及び盛土	材料：　⊙搬入真砂土（砂礫等の混入のないもの）　⊙掘削土（良質なもの）
		種別：　⊙A種　・B種　・C種　・D種
	2.5 建設発生土の処理	⊙現場説明書による　⊙構外搬出適切処理　・構内指定場所堆積　・構内指定場所敷均し
		・他現場に搬入（　　）　・
		・指定処分地（
④章 地業工事	1.＊ 地業工事	⊙本章の事項は構造特記仕様書による
		２．試験及び報告書
	2.2 試験杭	試験杭の位置、本数、載荷荷重：　・図示　・
	2.3 杭の載荷試験	載荷試験：　・水平試験　・鉛直試験　・
		試験杭の位置、本数、載荷荷重：　・図示　・
		試験方法：　・図示　・
		試験報告書の記載事項等：　・図示　・
	2.4 地盤の載荷試験	載荷試験：　・平板載荷試験　・
		試験の位置、載荷荷重：　・図示　・
		試験方法：　・図示　・
		試験報告書の記載事項等：　・図示　・
		３．既製コンクリート杭地業
	3.1 一般事項	工法の適用：　・ｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ工法　・特定埋設杭工法
	3.3 材　料	材料の強度等による区分：　・
		杭の寸法、継ぎ手の箇所数、杭先端形状：　・図示　・
	3.4 ｾﾒﾝﾄﾐﾙｸ工法	支持地盤の位置、種類：　・図示　・
		アースオーガーの支持地盤への掘削深さ：　・図示　・
		杭の支持地盤への根入れ深さ：　・図示　・
		杭の水平方向の位置精度：　・図示　・100mm以内　・
		根固め液の管理試験：　※標準仕様書及び表4.3.1による　・
		杭周固定液の管理試験：　※標準仕様書及び表4.3.1による　・
	3.5 特定埋込杭工法	施工法の種類：　・図示　・
		支持地盤の位置、種類：　・図示　・
		杭の継手の工法：　・ｱｰｸ溶接　・無溶接継手（工法；　　）
		杭頭の処理法：　・図示　・
		４．鋼杭地業
	4.3 材　料	材料の種類：　・SKK400　・SKK490　・SHK400　・SHK490M　・図示
	4.5 継　手	杭の継手の工法：　・自動ｱｰｸ溶接　・半自動ｱｰｸ溶接　・
		５．場所打ちコンクリート杭地業
	5.1 一般事項	
	5.4 材料その他	帯筋の加工、組立：　・図示　・
		鉄筋の最小かぶり厚さ：　・図示　・60mm　・　mm
		鉄筋かごの補強：　・図示　・
		組立鉄筋の節の継手：　※重ね継手　・図示　・
		セメントの種類：　・普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ　※高炉ｾﾒﾝﾄB種　・混合ｾﾒﾝﾄ　・図示
		コンクリートの設計基準強度：　・Fc=21N/mm2　・Fc=24N/mm2　・図示
		コンクリートの種別：　・Ａ種　・Ｂ種　・図示
		コンクリートのスランプ：　・18cm　・15cm　・図示
		コンクリートの構造体強度補正値(S)：　・図示　※3N/mm　・
		鋼管部分の材料：　※図示　・
	5.5 ｱｰｽﾄﾞﾘﾙ工法､ﾘﾊﾞｰｽ工法	支持地盤の位置、種類：　・図示　・
	及びｵｰﾙｹｰｼﾝｸﾞ工法	杭孔壁の超音波測定：　・行なわない　・行う
	5.6 場所打鋼管ｺﾝｸﾘｰﾄ杭工法	杭の水平方向の位置精度：　・図示　・100mm以内　・
	及び拡底杭工法	支持地盤の位置、種類：　・図示　・
		杭の水平方向の位置精度：　・図示　・100mm以内　・

章	項　目	特記事項
④章 地業工事		６．砂利、砂、捨てコンクリート地業等
	6.2 材　料	砂地業の種別：　・シルト　・山砂　・川砂　・砕砂　・
		防湿層の材料：　※ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ t=0.15mm　・
	6.3 砂利及び砂地業	砂利及び砂地業の厚さ：　・図示　※60mm　・100mm　・120mm　・150mm　・
	6.4 捨てｺﾝｸﾘｰﾄ地業	捨てコンクリートの厚さ：　・図示　※50mm　・　mm　・120mm　・150mm　・
	6.5 床下防湿層	床下防湿層の適用：　・適用しない　・適用する　・図示
		床下防湿層の範囲：　・図示　・
⑤章 鉄筋工事	1.＊ 鉄筋工事	⊙本章の事項は構造特記仕様書による
		２．材　料
	2.1 鉄　筋	鉄筋の種類：　・SR295　・SD295A　・SD295B　・SD345　・SD390　・図示　・
	2.2 溶接金網	溶接金網の寸法、径：　・φ6x150x150　・φ6x100x100　・φ4.5x50x50　・図示　・
		３．加工及び組立
	3.4 継手及び定着	継手の種類：　・重ね継手　・ガス圧接継手　・機械継手　・溶接継手
		継手の位置：　・図示　・
		柱主筋の重ね継手長さ：　・40d(50d)　・図示　・
		梁主筋の重ね継手長さ：　・40d(50d)　・図示　・
		耐力壁鉄筋の重ね継手長さ：　※40d(50d)　・図示　・
		先組み工法等の継手の位置：　・図示　・
		鉄筋の定着長さ：　※表5.3.4による　・図示　・
		折曲げ定着の方法：　※図5.3.3による　・図示　・
		機械式定着工法の適用箇所、種類：　・図示　・
	3.5 鉄筋のかぶり厚さ、間隔	鉄筋の最小かぶり厚さ：　※表5.3.6による　・図示　・
		溶接金網の最小かぶり厚さ：　※表5.3.6による　・図示　・
		土に接する柱、梁、スラブ及び壁の鉄筋のかぶり厚さ（軽量コンクリートの場合）：
		・図示　・40mm　・50mm　・60mm　・
		塩害を受ける恐れのある部分等の鉄筋のかぶり厚さ：　・図示　・
	3.7 各部配筋	各部の配筋：　・図示　・
		４．ガス圧接
	4.10 圧接完了後の圧接部試験	抜取試験の方法：　※超音波探傷試験　・引張試験　・
		５．機械式継手
	5.3 工　法	適用箇所：　・図示　・
		性能・種類等：　・図示　・
		鉄筋相互のあき：　・図示　・
	5.5 施工完了後の継手部試験	試験は（公社）日本鉄筋継手協会発行の鉄筋継手工事標準仕様書等に基づき検査を行う。抜取り１ロットは
		同一作業班の１日当たりの継手作業箇所とする。（概ね200箇所程度）
		外観検査方法：　・目視及び計測　・図示　・
		超音波探傷検査の対象：　・抜取り１ロット当り10箇所　・抜き取り１ロット当り5%程度　・
		超音波探傷検査で不合格となった場合の措置：　・全数検査を行い是正する　・図示　・
		６．溶接継手
	6.3 工　法	適用箇所：　・図示　・
		性能・工法等：　・図示　・
		鉄筋相互のあき：　・図示　・
	6.5 施工完了後の熔接部試験	試験は（公社）日本鉄筋継手協会発行の鉄筋継手工事標準仕様書等に基づき検査を行う。抜取り１ロットは
		同一作業班の１日当たりの継手作業箇所とする。（概ね200箇所程度）
		外観検査方法：　・目視及び計測　・図示　・
		超音波探傷検査の対象：　・抜取り１ロット当り30箇所　・抜き取り１ロット当り15%程度　・
		超音波探傷検査で不合格となった場合の措置：　・全数検査を行い是正する　・図示　・
⑥章 コンクリート工事	1.＊ ｺﾝｸﾘｰﾄ工事	⊙本章の事項は構造特記仕様書による
		２．コンクリートの種類及び品質
	2.1 ｺﾝｸﾘｰﾄの種類	コンクリートの種別：　※Ⅰ類　・Ⅱ類
		気乾単位容積質量による種類：　・軽量ｺﾝｸﾘｰﾄ（下表による）　・図示

施工部位	設計基準強度(N/mm2)	備　考
・ﾙｰﾌﾊﾞﾙｺﾆｰ防水押え	・18　・21	
・屋上防水押え	・18　・21	
・浴室防水押え	・18　・21	

コンクリートの要求性能等による種類：　・図示　・
コンクリートの種別：　※Ⅰ類　・Ⅱ類

備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤　信
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	伊藤　高基
	月 日		月 日						

工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-003
図面名称	特記仕様書1	縮尺	-

章	項　目	特記事項
⑥章 コンクリート工事	2.1 ｺﾝｸﾘｰﾄの種類	特殊な要求性能のコンクリートの適用：　・図示　・
		大臣認定を受けたコンクリートの適用：　・図示　・
	2.2 ｺﾝｸﾘｰﾄの強度	気乾単位容積質量による種類：　・普通ｺﾝｸﾘｰﾄ（下表による）　・図示

施工部位	設計基準強度(N/mm2)	備　考
・構造躯体（基礎～　階）	30	
・構造躯体（　階～　階）	24	
・構造躯体（　階～　階）	21	
・捨てｺﾝｸﾘｰﾄ	・18　・21	

	コンクリートの要求性能等による種類：　・図示　・
2.4 ﾜｰｶﾋﾞﾘﾃｨｰ及びｽﾗﾝﾌﾟ	スランプ：　※表6.2.2による　・図示　・
2.5 構造体ｺﾝｸﾘｰﾄの仕上り	打放し仕上げの種別（合板せき板を用いる場合）

施工部位	種別	備　考
・化粧打放し部	A種	
・打放し補修下地部	B種	
・基礎部	C種	

	コンクリートの仕上りの平坦さ：　・a種　・b種　・c種
	３．コンクリートの材料及び調合
3.1 ｺﾝｸﾘｰﾄの材料	セメントの種類：　※普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄA種　※混合ｾﾒﾝﾄA種　・高炉ｾﾒﾝﾄB種　・ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄB種
	高炉セメントＢ種の適用箇所：　・図示　・基礎　・地中梁　・
	フライアッシュセメントＢ種の適用箇所：　・図示　・
	骨材の種類：　※JIS A 5308(付属書A)の骨材　・規定外の骨材：
	細骨材の種類：　※JIS A 5308(付属書A)の細骨材　・規定外の細骨材：
	骨材のアルカリシリカ反応性による区分：　※A　・B
	混和剤：　・AE剤　・AE減水剤　・高性能AE減水剤　・
	混和材：　・ﾌﾗｲｱｯｼｭ　・高炉ｽﾗｸﾞ微粉末　・膨張剤　・
3.2 ｺﾝｸﾘｰﾄの調合	混和材料の使用方法等：　・図示　※製造所資料に基づき承諾
	コンクリートの構造体強度補正値(S)：　※表6.3.2による　・図示　・
	６．コンクリートの工事現場内運搬、打込み及び締固め
6.4 打継ぎ	打継ぎの位置：　※梁、ｽﾗﾌﾞ；ｽﾊﾟﾝの中央(1/4)　※柱、壁;梁、基礎の上端　・図示
	打継ぎ目地の見付寸法：　・図示　・25mm　・20mm　・15mm　・
	７．養　生
7.2 湿潤養生	普通エコセメントの養生期間：　・5日　・7日　・
	８．型　枠
8.1 型枠一般	外部に面する打放し仕上げの増打厚さ：　・25mm　・20mm　・15mm　・
	ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法：　・下表による　・図示　・

施工部位	位置	形状	寸法(見付x深さ)
・片持ちスラブ	・図示	・両転び　・片転び	20mmx15mm
・外部開口部廻り	・図示	・両転び　・片転び	15mmx12mm
・壁タイル張り仕上面	・図示	・両転び　・片転び	15mmx10mm

	スリーブの材種等等：　・鋼管　・VP管　・溶融亜鉛めっき鋼板　・つば付き鋼管
8.2 材　料	型枠の材料等：　・下表による　・図示　・

種類	種別・厚さ	材質
・合板	※「ｺﾝｸﾘｰﾄ型枠用合板のJAS」・12mm	※複　合
	・「ｺﾝｸﾘｰﾄ型枠用合板のJAS」・15mm	※南洋材
・床型枠用鋼製ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ		・針葉材

	鋼材の形状及び寸法：　・図示　・
	断熱材を兼用した型枠材：　・使用する【使用箇所：　・図示　・　　】
	ＭＣＲ工法：　・適用する【適用箇所：　・図示　・　　】
	スリーブ：　・硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管　・溶融亜鉛めっき鋼管　・鋼管　・つば付き鋼管　・鋼管　・紙ﾁｭｰﾌﾞ
	１０．軽量コンクリート
10.1 一般事項	土に接する軽量コンクリートの使用：　・使用する【使用箇所：　・図示　・　　】
	水に接する軽量コンクリートの使用：　・使用する【使用箇所：　・図示　・　　】
	軽量コンクリート種類：　・下表による　・図示　・

施工部位	種類	備　考
・ルーフバルコニー防水押え	・1種　・2種	
・屋上防水押え	・1種　・2種	
・浴室防水押え	・1種　・2種	

10.2 種類及び品質	所要スランプ：　※21cm以下　・18cm以下　・図示　・
	１１．寒中コンクリート
11.1 一般事項	適用期間：　・図示　・１１月　日～４月　日まで
11.2 材料及び調合	積算温度の採用：　・採用する　・採用しない

章	項　目	特記事項
⑥章 コンクリート工事		１２．暑中コンクリート
	12.2 材料及び調合	構造体強度補正値(S)：　※6 N/mm　・
		１３．マスコンクリート
	13.1 一般事項	適用箇所：　・図示　・
	13.2 材料及び調合	ｾﾒﾝﾄの種類：・中庸熱ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ　・低熱ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ　・高炉ｾﾒﾝﾄB種　・ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄB種　・混合ｾﾒﾝﾄ
		混合セメントの混和材：　・ﾌﾗｲｱｯｼｭ【・Ⅰ種　・Ⅱ種】　・高炉ｽﾗｸﾞ微粉末(4000)
		所要スランプ：　・8cm以下　・12cm以下　※15cm以下　・
		１４．無筋コンクリート
	14.1 一般事項	コンクリートの種類：　※普通コンクリート　・
		適用箇所：　※標準仕様書による　・下表による　・図示

施工部位	設計基準強度(N/mm2)	備　考
・ﾙｰﾌﾊﾞﾙｺﾆｰ防水押え	・18　・21	
・浴室防水押え	・18　・21	

	１５．流動化コンクリート
15.1 一般事項	流動化コンクリートの適用：　・適用する【使用箇所：　・図示　・　　】

章	項　目	特記事項
⑦章 鉄骨工事	①* 鉄骨工事	⊙本章の事項は構造特記仕様書による
		１．共通事項
	1.3 鉄骨製作工場	製作工場のグレードは下記同等以上で大臣認定された工場とする：
		・Sｸﾞﾚｰﾄﾞ　・Hｸﾞﾚｰﾄﾞ　・Mｸﾞﾚｰﾄﾞ　・Rｸﾞﾚｰﾄﾞ　・Jｸﾞﾚｰﾄﾞ
		施工管理技術者の配置：　・する　・しない
		２．材　料
	2.1 鋼　材	鋼材の材質：　・下表による　・図示　・

施工部位	材質（種類の記号）	備　考
・構造躯体	SS400／STKR400／BCR295	
・構造躯体（　階～　階）	SN400A　SN400C	
・構造躯体（　階～　階）	SM490A　SSC400	

2.2 高力ﾎﾞﾙﾄ	種類：　・ﾄﾙｼｱ型高力ﾎﾞﾙﾄ2種(S10T)　・JISの高力ﾎﾞﾙﾄ2種(F10T)　・溶融亜鉛めっき高力ﾎﾞﾙﾄ1種(F8T相当)
	・溶融亜鉛めっき高力ﾎﾞﾙﾄ1種(F8T相当)
	高力ボルトの径：　・図示　・
2.3 普通ﾎﾞﾙﾄ	普通ボルトの材料等：　※表7.2.3による　・
	普通ボルトの径：　・図示　・
2.4 ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ	構造用アンカーボルトの材質：　・図示　・SNR400A　・SNR400B　・SNR490B
	建方用アンカーボルトの材質：　・図示　・SS400　・SS490　・SS540
	ねじの種類、等級の規格及び仕上げの程度：　※表7.2.3による　・
2.5 溶接材料	表7.2.4以外の溶接材料：　・図示　・
2.6 ﾀｰﾝﾊﾞｯｸﾙ	種類：　※建築用ﾀｰﾝﾊﾞｯｸﾙ（胴；割枠式、ﾎﾞﾙﾄ；羽子板ﾎﾞﾙﾄ）　・図示　・
	ねじの呼び等：　・図示　・
2.7 床構造用のﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ	構造床として使用するデッキプレートの材質、形状、寸法等：　・図示　・
	合成スラブとして使用するデッキプレートの材質、形状、寸法等：　・図示　・
	その他のデッキプレートの材質、形状、寸法等：　・図示　・
2.8 ｽﾀｯﾄﾞ	スタッドの規格、形状、寸法等：　・下表による　・図示　・

施工部位	規格番号	形状、寸法	備　考
・2階床より上部各階床ｽﾗﾌﾞ	JIS B 1198		・形状、寸法は図示
・屋根ｽﾗﾌﾞ			

2.9 柱底均しﾓﾙﾀﾙ	柱底均しモルタル：　※無収縮モルタル　・図示　・
	無収縮モルタルの調合：　※標準仕様書による　・図示　・
2.10 材料試験等	引張りを受ける鋼板の試験：　・適用する　・適用しない　・図示　・
	３．工作一般
3.2 工作図	現寸図は必要に応じて作成する
	高力ボルト、普通ボルト、アンカーボルトのへり、ピッチ、ゲージ等：
	・鉄骨工作標準図による又、同図面に記載なき事項は国土交通大臣官房官庁営繕部
	「建築鉄骨設計基準及び同解説」による鉄骨設計基準図による。
	・図示　・
3.8 ﾎﾞﾙﾄ孔	普通ボルトの孔径：　※ネジの呼び径+1.0mm　・図示　・
3.10 仮　組	仮組の実施：　・行わない　・行う
	４．高力ボルト接合
4.2 摩擦面の性能及び処理	すべり係数試験の実施：　・行わない　・行う
	試験の方法、試験片の摩擦面の状態：　・図示　・
4.7 締付け	ﾎﾞﾙﾄ長さがねじの呼びの５倍をJIS型ﾎﾞﾙﾄのﾅｯﾄ回転法の回転量：　・120°　・

章	項　目	特記事項
⑦章 鉄骨工事		６．溶接接合
	6.3 溶接技能資格者	溶接技能者の技量付加試験：　・行わない　・行う
	6.4 溶接の準備	開先の形状：　・図示　・
	6.7 溶接施工	エンドタブの切除の有無：　・無し　・有り【切除の適用箇所：　・図示　・　　】
		スカラップの形状：　・図示　・
	6.12 溶接部の試験	溶接部の外観試験：　※告示第1464号第二号による試験;
		※JASS 6 附則6(付表3「溶接」);
		完全溶け込み溶接部の超音波探傷試験：　・適用する　・適用しない
		◎工場溶接の場合
		製作工場の社内検査：　・行わない　※行う（全数検査を行い試験結果報告書を提出）
		第三者機関による検査：　※行う　・行わない
		ＡＯＱＬ：　・2.5%　※4.0%
		検査水準：　・第1水準　・第2水準　・第3水準　・第4水準　・第5水準　※第6水準
		◎工事現場溶接の場合
		第三者機関による検査：　※行う　・行わない
		ＡＯＱＬ：　・2.5%　※4.0%
		７．スタッド溶接及びデッキプレートの溶接
	7.8 ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄの溶接	デッキプレートと鉄骨の溶接方法：　・図示　・
		８．錆止め塗装
	8.2 塗料の範囲	耐火被覆材の接する面の塗装：　・行う　・行わない
		耐火被覆材の接する面以外の塗装範囲：　※標準仕様書による　・図示
	8.4 塗料種別	ＳＲＣ造の鋼製スリーブ（鉄骨に溶接されたもの）の内面：
		・図示　・標準仕様書 表18.3.1【※A種　・B種　・C種】　・
		９．耐火被覆
	9.2 耐火被覆の種類等	種類、材料、工法：　・図示　・
	9.3 耐火被覆の性能等	耐火性能、品質：　・図示　・
		１０．工事現場施工
	10.3 ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄの設置等	構造用アンカーボルトの適用：　・適用する　・適用しない
		建方用アンカーボルトの適用：　・適用する　・適用しない
		構造用アンカーボルトの形状及び寸法：　・図示　・
		構造用アンカーフレームの形状及び寸法：　・図示　・
		アンカーボルトの保持及び埋込み工法の種別：　・A種　・B種　・C種
		柱底均しモルタルの厚さ：　・図示　・
		柱底均しモルタルの工法の種別：　※A種　・B種
		１１．軽量形鋼
	11.2 施　工	ボルトの接合方法：　・図示　・
		１２．溶融亜鉛めっき工法
	12.5 溶融亜鉛めっき	摩擦面の処理：　・ﾌﾞﾗｽﾄ処理　・りん酸塩処理等
	高力ﾎﾞﾙﾄ接合	りん酸塩処理等の場合の摩擦面のすべり耐力等の確認方法：　・図示　・

章	項　目	特記事項
⑧章 コンクリートブロック・ＡＬＣパネル及び押出成形セメント板工事		２．補強コンクリートブロック造
	2.2 材　料	ブロックの種類　：　・空洞ﾌﾞﾛｯｸ16　・空洞ﾌﾞﾛｯｸ16-W
	2.3 ﾓﾙﾀﾙの調合	モルタルの調合　：　※表8.2.1による　・
	2.5 鉄筋の加工及び組立	各部の配筋　　：　・図示　・
	2.8 ﾓﾙﾀﾙ及びｺﾝｸﾘｰﾄの充填	開口部両側のモルタルの充填範囲：　・ﾌﾞﾛｯｸ幅200mmまで　・
		開口部両側のコンクリートの充填範囲：　・ﾌﾞﾛｯｸ幅200mmまで　・
		３．コンクリートブロック帳壁及び塀
	3.2 材　料	ブロックの種類：　※表8.3.1による　・図示　・化粧ﾌﾞﾛｯｸ
		ブロックの厚さ：　・図示　・
	3.4 鉄筋の加工及び組立	各部の配筋　　：　・図示　・
		鉄筋の継手：　・重ね継手　・図示　・
		鉄筋の定着：　・25d　・40d　・図示　・
		鉄筋の折り曲げ形状：　・図示　・
		④　ＡＬＣパネル
	4.2 材　料	

種　類	単位荷重(N/m2)	厚さ(mm)	長さ(mm)
・屋根用	・1180　・1960	・100　・	・図示　・
・床　用	・2350　・3530	・100　・150	・図示　・
⊙外壁用	⊙980　・	⊙100　・	⊙図示　・
・間仕切用①		・100　・	・図示　・
・間仕切用②		・100　・	・図示　・

備考			
月 日		月 日	
月 日		月 日	
月 日		月 日	

株式会社青木茂建築工房
Shigeru Aoki Architect & Associates
1級建築士　佐藤　信　第362177号
1級建築士事務所　第1-60097号

作成	2025/03/26	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)
検図	佐藤　信	製図	伊藤　高基	図面名称	特記仕様書2

図番	A-004
縮尺	-

章	項　目	特記事項
⑧章 コンクリートブロック・ＡＬＣパネル及び押出成形セメント板工事		④　ＡＬＣパネル
	4.2 材　料	耐火目地材：　・ｾﾗﾐｯｸﾌｧｲﾊﾞｰﾌﾞﾗﾝｹｯﾄ　・ﾛｯｸｳｰﾙ保温板　(・)ﾒｰｶｰ仕様による
	4.3 外壁ﾊﾟﾈﾙ工法	取付け工法種別：　(・)A種　・B種
		パネル幅の最小限度：　※300mm　・400mm
		長辺の目地巾：　・図示　・8mm　・10mm　・
		短辺の目地巾：　・図示　・15mm　・20mm　・
		伸縮調整目地巾：　・図示　・10mm　・15mm　・20mm
		耐火目地材　：　(・)有　・無　・
	4.4 間仕切壁ﾊﾟﾈﾙ工法	取付け工法種別：　・C種　・D種　・E種
		耐震設計用水平震度：　・K=1.0　・K=0.6　・K=0.4　・図示
		５．押出成形セメント板（ＥＣＰ）
	5.2 材　料	使用箇所：　・外壁用
		表面形状：　・ﾌﾗｯﾄﾊﾟﾈﾙ　・ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙ　・ﾀｲﾙﾍﾞｰｽﾊﾟﾈﾙ
		厚み寸法：　・50mm　・60mm　・
		使用箇所：　・間仕切壁用
		表面形状：　・ﾌﾗｯﾄﾊﾟﾈﾙ　・ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙ　・ﾀｲﾙﾍﾞｰｽﾊﾟﾈﾙ
		厚み寸法：　・50mm　・60mm　・
	5.3 外壁ﾊﾟﾈﾙ工法	取付け工法種別：　・A種　・B種
		パネル相互間目地幅：　・15mm(短辺)8mm(長辺)以上　・メーカー仕様による
		耐風圧性能：　・Fb=17.6(N/mm)以上　・図示　・メーカー仕様による
		耐震性能：　・層間変位量1/100に対し破損、脱落がないこと　・
		耐火構造以外の目地及び隙間の処理：　※製造所仕様による　・
	5.4 間仕切壁ﾊﾟﾈﾙ工法	取付け工法種別：　・B種　・C種
		耐震性能：　・層間変位量1/100に対し破損、脱落がないこと　・
	5.5 溝掘り及び開口部の措置	パネルの開口部の限度：　・製造所基準による　・短辺；　mm x 長辺；　mm以下
		パネルの欠込みの限度：　・製造所基準による　・短辺；　mm x 長辺；　mm以下
⑨章 防水工事	1.1 防水工事の保証書の提出、保証年限	(・)保証書（請負人、材料製造所、防水施工者の連帯保証）は各２通提出すること。
		(・)防水施工者は、防水材料製造所指定の施工者とし、監督員の承諾を受ける。

保証書提出工事	保証箇所	保証年限
・ｱｽﾌｧﾙﾄ防水	屋根（保護用）	※10年　・　年
	屋根（露出用）	※10年　・　年
	浴　室・便　所	※10年　・　年
	地下室・貯水槽	※10年　・　年
・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ防水		※10年　・　年
		※10年　・　年
(・)合成高分子ﾙｰﾌｨﾝｸﾞ防水	屋根	(※)10年　・　年
		(※)10年　・　年
(・)塗膜防水	屋根	(※)10年　・　年
		(※)10年　・　年

水張り試験：　(・)行う　・行わない
試験箇所：　・３階屋上部分、階段室２（Ｒ階部分）
試験方法：　※ドレイン廻りをルーフィング、ウエス等で仮蓋をし、防水層の立上り端部を越えないように水を張り、２４時間以上そのままにしておいた後、周辺や階下への漏れの有無を確認する。

２．アスファルト防水

2.2 材　料

改質アスファルトルーフィングの種類及び厚さ：
※表9.2.3～9.2.8による　・図示　・
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングの種類及び厚さ：
※表9.2.5～9.2.8による　・図示　・
◎屋根保護防水断熱工法の断熱材
厚さ：　・35mm　・25mm　・図示
◎屋根露出防水断熱工法の断熱材
種類：　・図示　・
厚さ：　・50mm　・35mm　・図示
◎絶縁用シート
材質（保護防水工法）　：　※ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ；t=0.15mm以上　・
材質（保護防水断熱工法）：　※ﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ(70g/㎡程度)　・
防水層立上り部の保護の種類：
・乾式保護　・湿式保護【・図示　・普通れんが(JIS R1250)　・ﾒﾀﾙﾗｽ　・　】

2.3 防水層の種別及び工程

種　類	種　別	施工箇所
・保護防水密着	・A-1　・A-2　・A-3	
	・AI-1　・AI-2　・AI-3	
・保護防水絶縁	・B-1　・B-2　・BI-1　・BI-2	
・露出防水絶縁	・D-1　・D-2　・DI-1　・DI-2	階段室・２／Ｒ階
・屋内防水密着	・E-1　・E-2	

章	項　目	特記事項
⑨章 防水工事	2.4 施　工	◎防水層下地
		下地モルタル塗り：　・適用する　・適用しない
		適用箇所；
		立上り部の下地：　コンクリート打放し（表6.2.4【　・A種　※B種　・C種　】）　・
		◎ルーフィング類の張り付け
		ルーフドレン廻りの断熱材の張仕舞い位置：　・製造ﾒｰｶｰ推奨による　・図示
	2.5 保護層等の施工	平場の保護ｺﾝｸﾘｰﾄの厚さ：　※80mm（鏝仕上）　※60mm（ﾀｲﾙ仕上等）()
		立上がり部の保護工法：　・ｺﾝｸﾘｰﾄ押え　・ﾓﾙﾀﾙ押え　・乾式保護材　・ｱﾙﾐ水切り金物押え
		・普通れんが押え(半枚積み、目地10mm)　・化粧ﾚﾝｶﾞ積み押え
		屋上排水溝　　：　・適用　・適用しない
		屋内防水部分の保護層：　・設ける　・設けない
		３．改質アスファルトシート防水
	3.2 材　料	改質アスファルトルーフィングの種類及び厚さ：
		※表9.3.1～9.3.3による　・図示　・
		部分粘着層付改質アスファルトルーフィングの種類及び厚さ：
		押え金物の材質、形状等：　※AL製 L-30x15x2.0　・図示　・
		◎屋根露出防水絶縁断熱工法の断熱材
		種類：　・硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材2種1号　・硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ2種2号
		・図示　・
		厚さ：　・50mm　・35mm　・図示
		◎脱気装置
		種　類　：　※製造所指定　・
		設置数量：　※製造所指定　・

3.3 防水層の種別及び工程

種　類	種　別	施工箇所
・露出防水密着	・AS-T1　・AS-T2	
	・AS-T3　・AS-T4　・AS-J1	
・露出防水絶縁	・ASI-T1　・ASI-J1	

仕上塗装の種類：　・製造所標準仕様による　・遮熱塗料　・
仕上塗装の使用量：　※製造所標準仕様による　・

④ 合成高分子ルーフィングシート防水

4.2 材　料

種類：　・加流ｺﾞﾑ系　(・)塩化ﾋﾞﾆﾙ樹脂系　・熱可塑性ｴﾗｽﾄﾏｰ系
◎固定金具
材質：　※防錆処理鋼板　※ｽﾃﾝﾚｽ鋼板　※樹脂被覆鋼板
厚さ：　・0.4mm以上　・0.8mm以上　(・)メーカー仕様による
◎断熱工法の断熱材
材質：　(・)図示　・
厚さ：　・50mm　(・)35mm　(・)図示
絶縁シートの種類及び厚さ：　※標準仕様書表9.4.1及び9.4.2による　・図示　・
◎脱気装置
種　類　：　※製造所指定　・
設置数量：　※製造所指定　(・)脱気装置箇所数㎡当たり

4.3 防水層の種別及び工程

種　別	シートの厚さ(mm)	施工箇所
・S-F1　・S-F2	※1.2　※2.0　・	
・S-M1　・S-M2	※1.5　※1.2　・	
・SI-F1　・SI-F2	※1.2　※2.0　・	
・SI-M1	※1.5　・	
(・)SI-M2	※1.5(立上り共)　・	
・S-C1	※1.0　・	

仕上塗装の種類：　(・)製造所標準仕様による　・遮熱塗料　・
仕上塗装の使用量：　※製造所標準仕様による　・
S-C1工法のモルタル塗り厚：　・20mm　・
接着工法の下地目地処理(PC板)：　・図示　・絶縁テープ:50mm張り　・
S-F1,SI-F1工法のPC板の入隅の増張り：　・増張り用ｼｰﾄ(W=200mm)張り　・
機械的固定工法：　※製造所仕様による　・
立上り部の保護モルタルの厚さ：　※7mm以下　・図示　・

4.4 施　工

⑤ 塗膜防水

5.2 防水層の種別及び工程

種　類	種　別	施工箇所
(・)ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系	・X-1　(・)X-2	
・ｺﾞﾑｱｽﾌｧﾙﾄ系	・Y-1　・Y-2	
・ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系		

仕上塗装の種類：　(・)製造所標準仕様による　・遮熱塗料　・
仕上塗装の使用量：　※製造所標準仕様による　・
◎脱気装置
種　類　：　※製造所指定　・
設置数量：　※製造所指定　・
保護層：　・設置する　(・)設置しない

章	項　目	特記事項
		６．ケイ酸質系塗布防水
	6.1 一般事項	
	6.3 防水層の種別及び工程	

部　位	種　別	施工箇所
・背面水圧側	・C-SUI　・C-SUP	・図示　・地下外壁　・地下床　・ﾋﾟｯﾄ
・水圧側	・C-SUI　・C-SUP	・図示　・地下外壁　・水槽　・ﾋﾟｯﾄ

6.4 施　工	防水層壁下地：　※表6.2.4；B種　・表6.2.4；A種　・
	防水層天井下地：　※表6.2.4；B種　・表6.2.4；A種　・
	⑦ シーリング
7.1 保証年限	シーリング保証書：　(・)提出する　・提出しない
	(・)保証書（請負人、材料製造所、シーリング施工者連帯保証）は各２通提出すること。
7.2 材　料	ノンブリードタイプシーリング材の適用：　※使用する　・使用しない
	施工箇所：　・ｵﾚﾌｨﾝｳﾚﾀﾝ系ｼｰﾘﾝｸﾞで仕上げありの部位　・

施工箇所	シーリング材の種類	目地寸法(mm)	保証年限
・各階打継部分	・MS-1　・MS-2　・SR-1	15(W)x10(D)	３　年
・タイル伸縮目地	・PU-1　・PU-2　・PS-2	15(W)x10(D)	年
・ガラス留付け		5(W)x 5(D)	年
・サッシ廻り		20(W)x10(D)	年

7.3 目地寸法	目地寸法：　※標準仕様書による　・上表による　・図示　・
	仕上の有無：　・仕上げあり【　・ALC　・打継ぎ目地　・誘発目地　・ECP　・図示　】
	・仕上げなし【　・ALC　・打継ぎ目地　・誘発目地　・ECP　・図示　】
7.5 ｼｰﾘﾝｸﾞ材の試験	※簡易接着性試験　・引張接着性試験
⑩章 石工事	１．共通事項
1.3 施工一般	※湿式工法の場合、気温２℃以下になるおそれのある場合は施工してはならない
	石材の割付け：　・図示　・
	粗面仕上げの見え隠れ部分の仕上げ：　・ひき肌　・水磨き　・本磨き　・
1.5 清　掃	ワックス材の使用：　・使用する　・使用しない
	２．材　料
2.1 石　材	◎天然石
	石材の品質（床用石材）：　・1等品　※2等品　・
	石材の品質（壁及びその他の石材）：　※1等品　・2等品　・
	石材の種類、表面仕上げ等：　・図示　・
	石材の形状、寸法等　　：　・図示　※標準仕様書による　・
	◎テラゾ
	種石の種類　：　※大理石の類　・花崗岩の類　・
	種石の大きさ：　※1.5mm～12mm　・12mm以下　・6mm以下　・
	形状、寸法　：　※図示　・
	仕上面の区分：　・本磨き　・水磨き　・粗磨き　・
2.2 取付け金物	外壁湿式工法、内壁空積工法用金物：　※標準仕様書による　・
	◎特殊部位用金物(形状、寸法は図示による)
	引金物、だぼ、かすがい、受金物：　※表10.2.3による　・図示　・
	ファスナー：　・表10.2.4に準ずる　・図示　・
	吊り金物　　：　※標準仕様書による
	化粧吊り金物：　※標準仕様書による　・
	アンカー金物：　※標準仕様書による　・
	その他金物　：　※標準仕様書による　・
2.3 その他の材料	取付けモルタル：　※専門工事業者指定品による　・
	目地用モルタル：　※専門工事業者指定品による　・
	浸透性湧水防止剤：　※専門業者指定品による　・
	石裏面処理材：　※専門工事業者指定品による　・
	裏打ち処理材：　※専門工事業者指定品による　・
	ドレンパイプ：　・SUS304ﾊﾟｲﾌﾟ　・硬質塩ﾋﾞﾊﾟｲﾌﾟ　・
	金物固定充填材：　※専門工事業者指定品による　・
	３．外壁湿式工法
3.2 材　料	石材の厚さ　：　・図示　・25mm　・
	石裏面処理：　・行う　・行わない
3.3 施　工	裏打ち処理：　・行う　・行わない
	下地ごしらえ：　※標準仕様書による　・
	目地幅：　・図示　※6mm以上　・
	目地の種類：　・モルタル目地　・シーリング目地　・
	伸縮目地位置：　・図示　※標準仕様書による　・
	伸縮目地寸法：　・図示　※標準仕様書による　・15mm　・20mm　・

備考												
月日		月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-005
月日		月日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	伊藤　高基	図面名称	特記仕様書3	縮尺	-
月日		月日										

章	項目	特記事項
10章 石工事		4．内壁空積工法
	4.2 材　料	石材の厚さ　：　・図示　・20mm　・13mm　・
	4.3 施　工	裏打ち処理：　・行う　・行わない
		下地ごしらえ：　※あと施工ｱﾝｶｰ･横筋流し工法　・あと施工ｱﾝｶｰ工法　・
		目地幅：　・図示　※6mm以上　・
		伸縮目地位置：　・図示　※標準仕様書による　・
		伸縮目地寸法：　・図示　※標準仕様書による　・15mm　・20mm　・
		5．外壁乾式工法
	5.2 材　料	石材の厚さ　：　・図示　・30mm　・
		ダボアナの位置：　※標準仕様書による　・
		石裏面処理：　・行う　・行わない
		裏打ち処理：　・行う　・行わない
	5.3 施　工	風圧力に対応した工法：　・
		目地幅：　・図示　※8mm以上　・
		6．床及び階段の石張り
	6.2 床の石張り	石材の厚さ　：　・図示　・25mm　・13mm　・
		浸透性湧水防止剤：　※専門業者指定品による　・
		石裏面処理材：　※専門工事業者指定品による　・
		裏打ち処理材：　※専門工事業者指定品による　・
		一般目地寸法：　・図示　※標準仕様書による　・
		伸縮目地位置：　・図示　※標準仕様書による　・
		伸縮目地寸法：　・図示　※標準仕様書による　・15mm　・20mm　・
	6.3 階段の石張り	石材の厚さ　：　・図示　・25mm　・13mm　・
		石裏面処理材：　※専門工事業者指定品による　・
		目地幅　　・図示　※標準仕様書による　・ねむり目地～3mm
		7．特殊部位の石張り
	7.2 笠木、甲板等の石張り	取付け工法：　・湿式工法　・乾式工法
		石材の厚さ　：　・図示　・25mm　・
		石裏面処理：　・行う　・行わない
		石裏面処理材：　※専門工事業者指定品による　・
		乾式工法取付け代：　・図示　※標準仕様書による　・
		石裏面の補強用モルタル：　・適用する　・適用しない
	7.3 隔て板	石材の厚さ　：　・図示　※40mm　・

章	項目	特記事項
11章 タイル工事		① 共通事項
	1.3 伸縮目地及び ひび割れ誘発目地	伸縮調整目地の位置：　※表11.1.1による　・図示　・
		ひび割れ誘発目地の位置：　※表11.1.1による　・図示　・
	1.4 見本焼、試験施工	タイルの見本焼：　(・)要　・不要
		タイルの試験張り：　・行う　(・)行わない
		② セメントモルタルによるタイル張り
	2.2 材　料	タイルの種類等：　(・)図示　・下表による　・

施工箇所	形式・形状寸法 (mm)	用途による区分	耐凍害性 有	耐凍害性 無	色 標準	色 特注	釉薬 施釉	釉薬 無釉	備　考
			・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	

章	項目	特記事項
		◎タイルの役物
		使用箇所：　(・)出隅　(・)入隅　・幅木　・まぐさ　・窓台
		製造方法：　(・)接着成型品　(・)一体成型品
	2.3 張付け用材料等	張付け用モルタル：　(・)既調合モルタル　・現場調合モルタル
	2.4 施　工	下地モルタル塗りコンクリート素地面処理：　(・)素肌　・MCR工法　・目荒し工法
		◎壁タイル張り
		内装タイルの工法：　・改良積上げ張り　・
		外装タイルの工法：　・密着張り　・改良積上張り　・改良圧着張り
		内装以外のユニットタイルの工法：　・ﾏｽｸ張り　・ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ張り
		３．有機系接着剤によるタイル張り
	3.2 材　料	タイルの種類等：　(・)図示　・下表による　・

施工箇所	形式・形状寸法 (mm)	用途による区分	耐凍害性 有	耐凍害性 無	色 標準	色 特注	釉薬 施釉	釉薬 無釉	備　考
			・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	

章	項目	特記事項
11章 タイル工事	3.2 材　料	◎タイルの役物
		使用箇所：　・出隅　・入隅　・幅木　・まぐさ　・窓台
		製造方法：　・接着成型品　・一体成型品
	3.5 施　工	下地調整塗材塗りコンクリート素地面：　・素肌　・MCR工法　・目荒し工法
		◎壁タイル張り
		内装タイルの工法：　・内装ﾀｲﾙ接着剤張り　・
		外装タイルの工法：　・外装ﾀｲﾙ接着剤張り　・
		内装以外のユニットタイルの工法：　・外装ﾀｲﾙ接着剤張り　・
		目地処理：　※目地詰めを行う　・目地詰めを行わない

章	項目	特記事項
12章 木工事	2.1 木　材	② 材　料
		木材（下地材）の含水率：　※A種　・B種
		木材（造作材）の含水率：　※A種　・B種
		◎製材

◇ＪＡＳによる下地用製材：　・下表による（寸法は図示）　・図示　・

使用部位	樹種	区分等級	含水率	仕上げ	防腐防蟻処理	備　考
全般	桧	(・)1級	SD15	ｻﾝﾀﾞｰ	・有　(・)無	
	杉	※2級	SD20	ｻﾝﾀﾞｰ	・有　(・)無	
			D15	ﾌﾟﾚｰﾅｰ	・有　・無	
			D20	ﾌﾟﾚｰﾅｰ	・有　・無	

◇ＪＡＳによる造作用製材：　(・)下表による（寸法は図示）　・図示　・

使用部位	樹種	化粧等級	含水率	仕上げ	防腐防蟻処理	備　考
窓枠	ｽﾌﾟﾙｰｽ	無節	SD15	ｻﾝﾀﾞｰ	・有　(・)無	
		※上小節	SD18	ｻﾝﾀﾞｰ	・有　(・)無	
	桧	※小節	D15	ﾌﾟﾚｰﾅｰ	・有　(・)無	
		並	D18	ﾌﾟﾚｰﾅｰ	・有　(・)無	

◇ＪＡＳによる広葉樹製材：　・下表による（寸法は図示）　・図示　・

使用部位	樹種	区分等級	含水率	仕上げ	防腐防蟻処理	備　考
全般	ｹﾔｷ	特等	D10	ｻﾝﾀﾞｰ	・有　・無	
	ﾅﾗ	※1等	D13	ｻﾝﾀﾞｰ	・有　・無	
	ｻｸﾗ	2等		ﾌﾟﾚｰﾅｰ	・有　・無	

◇ＪＡＳ以外の製材：　・下表による（寸法は図示）　・図示　・

使用部位	樹種	材面の品質	含水率	寸法	防腐防蟻処理	備　考
	桧	※A種	15%	図示		
	杉	B種	18%	図示		
	松		20%			

代用樹種を使用する場合は、協議のうえ決定する。
代用樹種を適用しない箇所：　・図示　・
◎造作用集成材

◇ＪＡＳによる造作用集成材：　・下表による（寸法は図示）　・図示　・

使用部位	仕上げ	樹種	見付材 面	見付材 品質	区分等級	備　考
	仕上有		1面	※1等	1等	
	未仕上		4面	2等	2等	
	塗装					

◇ＪＡＳによる化粧ばり造作用集成材：　・下表による（寸法は図示）　・図示　・

使用部位	仕上げ	樹種 心材	樹種 化粧材/厚さ	見付材 面	見付材 品質	区分等級	備　考
	仕上有			1面	※1等	1等	
	未仕上			4面	2等	2等	
	塗装						

◇ＪＡＳ以外の造作用集成材：　・下表による（寸法は図示）　・図示　・

使用部位	仕上げ	樹種	見付材 面	見付材 品質	区分等級	備　考
	仕上有		1面	※1等	1等	※15%
	未仕上		4面	2等	2等	
	塗装					

◇ＪＡＳ以外の化粧ばり造作用集成材：　・下表による（寸法は図示）　・図示　・

使用部位	仕上げ	樹種 心材	樹種 化粧材/厚さ	見付材 面	見付材 品質	区分等級	備　考
	仕上有			1面	※1等	1等	※15%
	未仕上			4面	2等	2等	
	塗装						

章	項目	特記事項
12章 木工事		◎造作用単板積層材
		◇ＪＡＳによる造作用単板積層材：　・下表による（寸法は図示）　・図示　・

使用部位	仕上げ	表面の品質	防腐防蟻処理	備　考
	仕上有	1等	・有　・無	天然木化粧加工
	仕上有	2等	・有　・無	塗装加工
	未仕上	3等	・有　・無	

◇ＪＡＳ以外の造作用単板積層材：　・下表による（寸法は図示）　・図示　・

使用部位	仕上げ	表面の品質	防腐防蟻処理	含水率	備　考
	仕上有	1等	・有　・無	※14%	天然木化粧加工
	仕上有	2等	・有　・無		塗装加工
	未仕上	3等	・有　・無		

◎直交集成板

◇ＪＡＳによる直交集成板

使用部位	曲げ強度	種別	接着性能	樹種区分	備　考
	Mx120-3-3	A種構成	使用環境A	S1	
	Mx 60-9-9	B種構成	使用環境B	S2	
	S120-3-3		使用環境C	S3	
	S 30-9-9			S4	

◎合板等

◇ＪＡＳによる普通合板

使用部位	表板樹種名	厚さ(mm)	接着の程度	板面の品質	等級・処理・寸法等
内装壁下地捨て張り	ﾗﾜﾝ	※5.5	※1類	※2等	(・)図示

◇ＪＡＳによる構造用合板

使用部位	表板樹種名	等級	接着の程度	板面の品質	備　考
各室床下地捨て張り	針葉樹	1級	特類	A-B	F☆☆☆☆/防虫処理材

◇ＪＡＳによる化粧ばり構造用合板

使用部位	品　名	厚さ(mm)	表板樹種名	接着の程度	備　考
		9		特類	F☆☆☆☆/防虫処理材
		12		1類	F☆☆☆☆/防虫未処理

◇ＪＡＳによる天然木化粧合板

使用部位	品　名	厚さ(mm)	単板樹種名	接着の程度	備　考
		12		1類	F☆☆☆☆/防虫処理材
		15		2類	F☆☆☆☆/防虫未処理

◇ＪＡＳによる特殊加工化粧合板

使用部位	品　名	厚さ(mm)	表面性能ﾀｲﾌﾟ	接着の程度	備　考
		12	・F ・FW	1類	ｵｰﾊﾞｰﾚｲ/防虫処理材
		15	・W ・SW	2類	ﾌﾟﾘﾝﾄ/防虫未処理

◇パーティクルボード

使用部位	厚さ(mm)	曲げの区分	接着の区分	難燃性区分	備　考
	※15			※13P/M	

◇ＪＡＳによる構造用パネル

使用部位	品　名	厚さ(mm)	曲げ等級	備　考
		図示	・1級 ・2級	ｵｰﾊﾞｰﾚｲ/防虫処理材
		25	・3級 ・4級	・ﾌﾟﾘﾝﾄ ・塗装/防虫未処理

◇ミディアムデンシティーファイバーボード(ＭＤＦ)

使用部位	厚さ(mm)	表面状態区分	曲げの区分	接着の区分	難燃性区分	備　考
		・RN ・RS	・30 ・25	U	難燃2	
		・DV ・DO ・DC	・15 ・5	M	難燃3	
				P		

2.2 接合具等	諸金物の材質等：　※表12.2.4～表12.2.6による　・図示
2.3 木ﾚﾝｶﾞ	接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量：　※F☆☆☆☆　・F☆☆☆　・
2.＊ 堅　木	樹種：　・ﾅﾗ　・ｹﾔｷ　・ｻｸﾗ　・ｸﾘ　・ｼｵﾝﾞ　・
	使用箇所：　・
2.＊ 銘　木	種別：　・真物　・貼物
	樹種：　・
	使用箇所：　・

備考			
月日		月日	
月日		月日	
月日		月日	

株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番 A-006
1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	監修	佐藤　信	製図	伊藤　高基	図面名称	特記仕様書4	縮尺 -

章	項目	特記事項
12章 木工事	3.1 防腐・防蟻処理	３．防腐・防蟻・防虫処理 ◎薬剤の加圧注入による処理

処理木材（部位）	性能区分	備　考
製材	・K2　・K3　・K4	
合板	・K2　・K3　・K4	
集成材		

薬剤の塗布による防腐・防蟻処理の方法：　※標準仕様書による　・
接着剤への薬剤混入による防腐・防蟻処理の方法：　・図示　・

④ 鉄筋コンクリート造等の内部間仕切軸組及び床組

4.1 木　材　間仕切軸組の木材の樹種：　※杉　※松　・
土間スラブ以外の床組木材の樹種：　※杉　※松　・
土間スラブ上の床組木材の樹種：　※桧　※保存処理木材　・

⑤ 窓、出入口その他

5.1 木　材　吊元枠、水掛りの下枠、敷居の木材の樹種：　※桧　・
上記以外の木材の樹種：　※杉　※松　・

⑥ 床板張り

6.1 木　材　縁甲板、上がり框の木材の樹種：　※桧　・

⑦ 壁及び天井下地

7.1 木　材　木材の樹種：　※杉　※松　・

章	項目	特記事項
13章 屋根及びとい工事	2.2 材　料	② 長尺金属板葺 材種：　※塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ－亜鉛合金めっき鋼板材種 ・塗装ｽﾃﾝﾚｽ鋼板　・塗装溶融亜鉛めっき鋼板 (・)カラーガルバリウム鋼板 板厚：　(・)0.4mm　・0.6mm　・0.8mm　・ 下葺材料：　(・)ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ940　・ ・改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ【・一般ﾀｲﾌﾟ　・複層基材ﾀｲﾌﾟ　・粘着層付ﾀｲﾌﾟ】
	2.3 工　法	屋根葺形式：　・心木なし瓦棒葺　・立はぜ葺　・平葺　(・)図示　・ 雪止め：　・設置する　(・)設置しない

３．折板葺

3.2 材　料　材種：　※塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ－亜鉛合金めっき鋼板材種
・塗装ｽﾃﾝﾚｽ鋼板　・塗装溶融亜鉛めっき鋼板
・
板厚(mm)：　・1.0　・0.8　・0.6　・
山高(mm)：　・90　・150　・180　・
屋内のタイトフレームの材料及び表面処理：　・製造所の仕様による　・図示
軒先面戸板：　・有　・無
断熱材張り：　・無　・有（材種等；　　）

3.3 工　法　建築基準法の基づく風圧力に対応した工法：　・構造計算により安全性が確認された工法
・鋼板製屋根構法標準（SSR）による工法
形式による区分：　・重ね形又ははぜ締め形　・
けらば納め：　※けらば包みによる工法　・図示　・

４．粘土瓦葺

4.2 材　料　種類　：　・和瓦　・洋瓦　・
区分　：　・釉薬瓦　・塩焼瓦
大きさ：　・53形　・64形　・
産地　：　・石州　・淡路　・三州　・
役物瓦：　・図示　・
・軒先瓦（　　・棟瓦（
・鬼瓦（　　・隅鬼瓦（
雪止瓦：　・使用する　・使用しない
凍害試験(JIS A 5208)の実施：　・行う　※行わない
瓦桟の材質：　※杉又は桧　・杉　・桧　・
瓦桟の寸法：　※21mm(W)x15mm(H)　・30mm(W)x18mm(H)　・
棟補強金物の材質(形状、寸法等は図示)：　・ｽﾃﾝﾚｽ製　・溶融亜鉛ﾒｯｷ製　・

4.3 工　法　瓦の緊結方法：　※告示第109号による緊結　・告示第1485号の構造計算方法により安全性が確認された緊結
瓦の緊結用釘等の有効長さ：　・野地板の厚さの1/2以上に達する長さ　・野地板を貫通する長さ
瓦桟木の留付け工法：　※「瓦屋根標準設計・施工ガイドライン」に準拠した工法　・
棟の工法：　・図示　・7寸丸伏せ棟　・F形用冠瓦伏せ棟　・のし積み棟
面戸、雀口等の仕上げ：　・しっくい塗り　・ﾓﾙﾀﾙ塗り　・図示　・

章	項目	特記事項
13章 屋根及びとい工事	5.2 材　料	⑤ と　い 軒どいの材種：　・ｱｽﾌｧﾙﾄ被覆鋼板　(・)耐候性被覆鋼板 縦どいの材種：　・配管用鋼管　(・)硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管【(・)ｶﾗｰ　・　　】 掃除口：　(・)有　・無 飾り桝：　(・)塩ビ製　・銅板製　・ とい受け金物の材種：　※表13.5.2による溶融亜鉛めっき製　(・)ｽﾃﾝﾚｽ製　・ とい受け金物の取付間隔：　※表13.5.2による　・図示　・ ルーフドレイン：　・ｽﾃﾝﾚｽ製　(・)鋳鉄製　・ｱﾙﾐﾆｳﾑ製
	5.3 工　法	鋼管製といの防露巻き：　※行う(表13.5.4による)　・行わない　・図示
14章 金属工事	2.1 ｱﾙﾐﾆｳﾑ及びｱﾙﾐﾆｳﾑ合金の表面処理	② 表面処理 表面処理：　・下表による　※標準仕様書による

種　別	表面処理	施工箇所
・AB-1種	標準仕様書による	
・BB-2種	標準仕様書による	
・BA-1種	標準仕様書による	
・C種	・ｱｸﾘﾙ樹脂焼付塗装	
	・ﾌｯ素樹脂焼付塗装	

陽極酸化皮膜の着色方法：　※二次電解着色　・ｱﾙｶﾘ樹脂焼付塗装　・静電塗装　・ふっ素樹脂焼付塗装

表面処理方法	種　別	施工箇所
(・)溶融亜鉛めっき	・A種　・B種　(・)C種	(・)外部鉄部全般
・電気亜鉛めっき	・D種　・E種　・F種	

章	項目	特記事項
14章 金属工事	2.2 鉄鋼の亜鉛めっき	
	4.2 材　料	④ 軽量鉄骨天井下地 種類：　※表14.4.1による　・
	4.3 形状及び寸法	屋外の野縁受け、吊りボルト、インサートの間隔：　(・)≒@900mm　・ 屋外の野縁の間隔：　※標準仕様書表14.4.2による　・
	4.4 工　法	吊ボルト間隔が900mmを超える場合の補強方法：　・図示　(・)メーカー仕様による 天井ふところが3mを超える場合の補強方法：　(・)図示　・ 屋外の軒天井、ピロティー天井の補強： (・)図示　(・)吊りボルトは配管類及びダクト等とは絶縁して取り付ける。 (・)天井内配管類及びダクト等により、野縁受けを吊れない場合には、野縁受けの断面を大きくするか又は補強用チャンネル、アングル等を用いて十分補強を行う。(≦4.5m)

５．軽量鉄骨壁下地

5.3 形状及び寸法　種類：　(・)50形　(・)65形　・90形　・100形　・
5.4 工　法　開口部の補強：　※標準仕様書による　・図示　・

６．金属成形板張り

6.2 材　料		
材　種	・ｱﾙﾐﾆｳﾑ	・ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板
製　法	・押出し　・ﾌﾟﾚｽ ・ﾛｰﾙ	・押出し　・ﾌﾟﾚｽ ・ﾛｰﾙ
表面処理		・55%ｱﾙﾐ－亜鉛合金めっき処理

6.3 工　法　取付け用下地：　※標準仕様書による　・

７．アルミニウム製笠木

7.2 材　料　種類：　・250形　・300形　・350形　・図示
表面処理：　・A-1種　・A-2種　・

7.3 工　法　耐風圧、耐積雪対応固定方法：　・製造ﾒｰｶｰ仕様による　・

章	項目	特記事項
15章 左官工事	2.4 ラス系下地	２．下　地 通気工法ラス系下地の種類：　・二層下地　・単層下地　・図示 直張り工法ラス系下地の種類：　・ﾗｽﾓﾙﾀﾙ下地　・ﾗｽｼｰﾄﾓﾙﾀﾙ下地　・図示 ラス下地板の指定：　・耐力壁仕様　・防火構造　・準耐火構造　・図示 換気口部の措置：　※「公共建築木造工事標準仕様書/11.4.3施工」による　・図示 ラスシート下地の指定：　・耐力壁　・図示

2.5 せっこうボード その他のボード下地		
種　類	厚さ(mm)	施工箇所
・GB-R	12.5	
・GB-F	15	
・木毛ｾﾒﾝﾄ板	20	
・硬質木片ｾﾒﾝﾄ板	18	

2.6 こまい下地　こまい下地の指定：　・耐力壁　・図示
2.7 木ずり下地　木ずり用小幅板の樹種：　※杉(芯去り材)　・桧(芯去り材)　・

③ モルタル塗り

3.2 材　料　モルタル：　(・)現場調合材料　(・)既調合材料
既製目地：　・適用　(・)不適用

章	項目	特記事項
15章 左官工事	3.2 材　料	既製目地の形状寸法等：　・図示　・
	3.5 工　法	床の目地：　・設ける　・設けない 工法：　※押し目地　・切り目地　・ 外壁タイル下地モルタルの接着力試験：　(・)行う　・行わない

⑥ 仕上塗材仕上げ

6.2 材　料　◎薄付仕上塗材の施工箇所：　・図示　・
材料の防火指定：　・無　・有（

種類（呼び名）	仕上げの形状	工 法
・外装薄塗材Ｓｉ	・砂壁状・ゆず肌状	吹付け
	・ゆず肌状・さざ波状	ﾛｰﾗｰ塗り
・可とう形外装薄塗材Ｓｉ	・砂壁状・ゆず肌状	吹付け
	・ゆず肌状・さざ波状	ﾛｰﾗｰ塗り
・外装薄塗材Ｅ	・砂壁状・ゆず肌状・着色骨材砂壁状	吹付け
	・平たん状・凹凸状・着色骨材砂壁状	こて塗り
	・ゆず肌状・さざ波状	ﾛｰﾗｰ塗り
・可とう形外装薄塗材Ｅ	・砂壁状・ゆず肌状	吹付け
	・平たん状・凹凸状	こて塗り
	・ゆず肌状・さざ波状	ﾛｰﾗｰ塗り
・防水形外装薄塗材Ｅ	・ゆず肌状・さざ波状	ﾛｰﾗｰ塗り
	・凹凸状	吹付け
・外装薄塗材Ｓ	・砂壁状	吹付け
・内装薄塗材Ｃ	・凹凸状	吹付け
・内装薄塗材Ｌ	・平たん状・凹凸状	こて塗り
	・ゆず肌状・さざ波状	ﾛｰﾗｰ塗り
・内装薄塗材Ｓｉ	・砂壁状じゅらく・ゆず肌状	吹付け
・内装薄塗材Ｅ	・平たん状・凹凸状	こて塗り
	・ゆず肌状・さざ波状	ﾛｰﾗｰ塗り
・内装薄塗材Ｗ	・京壁状じゅらく・ゆず肌状	吹付け
・内装薄塗材Ｗ(調湿形)	・平たん状・凹凸状	こて塗り

◎厚付仕上塗材の施工箇所：　(・)図示　・
材料の防火指定：　(・)無　・有（

種類（呼び名）	仕上げの形状	工 法
・外装厚塗材Ｃ	・吹放し・凸部処理	吹付け
	・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し	こて塗り
・外装厚塗材Ｓｉ	・吹放し・凸部処理	吹付け
・外装厚塗材Ｅ	・平たん状・凹凸状・ひき起し	こて塗り
	・平たん状・凹凸状・ひき起し	ﾛｰﾗｰ塗り
・内装厚塗材Ｃ	・吹放し・凸部処理	吹付け
	・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し	こて塗り
・内装厚塗材Ｌ	・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し	こて塗り
・内装厚塗材Ｇ	・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し	こて塗り
・内装厚塗材Ｓｉ	・吹放し・凸部処理	吹付け
・内装厚塗材Ｅ	・平たん状・凹凸状・ひき起し	こて塗り
	・平たん状・凹凸状・ひき起し	ﾛｰﾗｰ塗り

◎複層仕上塗材の施工箇所：　・図示　・
材料の防火指定：　・無　・有（不燃認定品

種類（呼び名）	仕上げの形状	工 法
・複層塗材ＣＥ	・凸部処理・凹凸模様	吹付け
・複層塗材Ｓｉ	・ゆず肌状	ﾛｰﾗｰ塗り
・複層塗材Ｅ		
・複層塗材ＲＥ	・凸部処理・凹凸模様	吹付け
	・ゆず肌状	ﾛｰﾗｰ塗り
・可とう形複層塗材ＣＥ	・凸部処理・凹凸模様	吹付け
	・ゆず肌状	ﾛｰﾗｰ塗り
・複層塗材ＲＳ	・凸部処理・凹凸模様	吹付け
	・ゆず肌状	ﾛｰﾗｰ塗り
・防水形複層塗材ＣＥ	・凸部処理・凹凸模様	吹付け
(・)防水形複層塗材Ｅ	(・)ゆず肌状	ﾛｰﾗｰ塗り
・防水形複層塗材ＲＳ	・エスケー化研クールテクト同等品	
・防水形複層塗材ＲＥ		

耐候性：　(・)耐候形3種　・
上塗材溶媒：　・溶剤系　・弱溶剤系　(・)水系　・
上塗材樹脂：　(・)ｱｸﾘﾙ系　・ｼﾘｶ系　・ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系　・ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ系　・ふっ素系
上塗材外観：　(・)つやあり　・つやなし　・ﾒﾀﾘｯｸ　・
防水形の増塗材の適用：　・する　(・)しない

７．マスチック塗材塗り

7.2 材　料　種別：　・A種　・B種

備考				
月日		月日		
月日		月日		
月日		月日		

株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番 A-007
1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	伊藤　高基	図面名称	特記仕様書5	縮尺 -

章	項　目	特記事項
15章 左官工事		１０．しっくい塗り
	10.1 一般事項	しっくいの下地：　※標準仕様書15.10.1による　・図示
	10.2 材　料	しっくい：　・現場調合材料　・既調合材料(種類等:　　)
	10.3 調合及び塗厚	既調合しっくいの各層の塗厚：　※表15.10.1及び表15.10.2による　・図示
		現場調合しっくいの各層の塗厚：　※表15.10.3及び表15.10.4による　・図示
	10.4 工　法	既調合しっくいの上塗り仕上げ：　・なで切り仕上げ　・パターン仕上げ
		１１．こまい壁塗り
	11.2 材　料	土壁用のり：　・ふのり　・つのまた　・ぎんなんそう　・粉末海藻　・図示
		大津壁用のり：　・ふのり　・つのまた　・こんにゃくのり　・にかわ　・合成高分子系混和剤　・図示
		色砂：　・天然砂　・岩石の砕砂　・人工着色砂　・
	11.3 調　合	下塗りの調合：　※表15.11.2による　・図示
	11.4 塗　厚	塗厚：　※表15.11.8による　・図示
	11.5 工　程	工程の種別：　※A種　・B種
	11.7 土物仕上げ	工法の種類：　・土物仕上げ工法(・木ごね土物１工法　・木ごね土物２工法)
		・土物仕上げ工法(・のりさし土物工法　・のりごね土物工法)
		・砂壁仕上げ工法　・切返し仕上げ工法
		ちりじゃくり：　・図示　・
	11.8 大津仕上げ	工法の種類：　・普通大津仕上げ工法　・大津みがき仕上げ工法
		１２．ロックウール吹付け
	12.2 材　料	ﾛｯｸｳｰﾙのﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量：　※F☆☆☆☆　・F☆☆☆　・
		接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量：　※F☆☆☆☆　・F☆☆☆　・
	12.3 配合及び密度等	吹付け厚さ：　・図示　・30mm　・25mm　・20mm　・
16章 建具工事		① 共通事項
	1.3 防火戸	防火戸の指定：　(・)図示　・
		・防火戸等の自動閉鎖装置は、日本建築センター評定品とする。
	1.4 見本の制作等	建具見本の制作：　・必要　(・)不要
		仮組の実施　：　・行う　(・)行わない
	1.6 その他	防犯建物部品の適用：　・図示　・適用　(・)適用しない
		② アルミニウム製建具
	2.2 性能及び構造	種　別 / 耐風圧性 / 気密性 / 水密性 / 枠の見込み寸法（mm）
		(・)A種　・B種 / S-4 / A-3 / W-4 / 70
		・C種　・D種 / S-5
		・E種 / S-6 / A-4 / W-5 / 100
		防音ドアセット、サッシの適用：　・適用　(・)適用しない　・図示
		遮音性の等級：　・T-1　・T-2　・T-3　・T-4
		断熱ドアセット、サッシの適用：　・適用　(・)適用しない　・図示
		断熱性の等級：　・H-1　・H-2　・H-3　・H-4　・H-5
	2.3 材　料	防虫網の適用：　・適用　・適用しない　(・)図示
		網の材種：　※合成樹脂製　・ｽﾃﾝﾚｽ製　・ｶﾞﾗｽ繊維入り合成樹脂製
		形式　　：　(・)外面納まり可動式　・外面納まり固定式
	2.4 形状及び仕上げ	建具枠の見込：　・図示　(・)70　・100　・
		外部に面する建具の表面処理：　・B-1種　(・)図示
		屋内の建具の表面処理　　：　・C-1種　(・)図示
		表面色：　(・)標準色　　・特注色
		引違い建具落下防止機構：　(・)採用する　・採用しない
		水切り板：　・取付ける　・取付けない　(・)図示
		ぜん板　：　・取付ける　・取付けない　(・)図示
		結露水の処理方法：　・図示　(・)メーカー仕様による
	2.5 工　法	内付け建具：　(・)図示　・
		３．樹脂製建具
	3.2 性能及び構造	種　別 / 耐風圧性 / 気密性 / 水密性 / 枠の見込み寸法（mm）
		・A種　・B種 / S-4 / / W-4 / 70
		・C種　・D種 / S-5 / A-4 / W-5 /
		・E種 / S-6 / / /
		防音ドアセット、サッシの適用：　・適用　・適用しない　・図示
		遮音性の等級：　・T-1　・T-2
		断熱ドアセット、サッシの適用：　・適用　・適用しない　・図示
		断熱性の種別：　・H-4　・H-5　・H-6　・H-7　・H-8
	3.3 材　料	ガラスの形式：　※複層ｶﾞﾗｽ　・単層ｶﾞﾗｽ　・三重ｶﾞﾗｽ　・
	3.4 形状及び仕上げ	建具の表面色：　・標準色　・特注色
	3.5 工　法	水切り板：　・取付ける　・取付けない
		ぜん板　：　・取付ける　・取付けない

章	項　目	特記事項
16章 建具工事		④ 鋼製建具
	4.2 性能及び構造	性能及び構造：　※JIS規格による　・
		外部に面する鋼製建具の耐風圧性能：　(・)S-4　・S-5　・S-6　・
	4.4 形状及び仕上げ	鋼板類の厚さ：　※表16.4.2による　・図示　・
		防音ドアセット、サッシの適用：　・適用　(・)適用しない　・図示
		遮音性の等級：　・T-1　・T-2　・T-3　・T-4
		耐震ドアセットの適用：　・適用　(・)適用しない　・図示
		面内変形追随性の等級：　・D-1　・D-2　・D-3
		⑤ 鋼製軽量建具
	5.2 性能及び構造	性能及び構造：　※JIS規格による　・
		簡易気密型ドアセットの適用：　・適用　(・)適用しない　・図示
		気密性：　・A-1　・
		水密性：　・W-1　・
		耐震ドアセットの適用：　・適用　(・)適用しない　・図示
		面内変形追随性の等級：　・D-1　・D-2　・D-3
	5.3 材　料	鋼板の種別：　・ﾋﾞﾆﾙ被覆鋼板　・ｶﾗｰ鋼板　・ｽﾃﾝﾚｽ鋼板　(・)図示
		召合わせ、縦小口包み板等の適用：　・適用　・適用しない　(・)図示
		材質：　※鋼板　・ｽﾃﾝﾚｽ鋼板　・ｱﾙﾐﾆｳﾑ押出型材　・
	5.4 形状及び仕上げ	鋼板類の厚さ：　・図示　・0.6mm　・1.5mm(ｽﾃﾝﾚｽ鋼板)　・1.6mm　・2.3mm　(・)メーカー仕様による
		６．ステンレス製建具
	6.3 材　料	性能及び構造：　※JIS規格による　・
		ステンレス鋼鈑の材質：　※SUS304,430J1L,430　・SUS304　・SUS430　・
		表面仕上げ：　(※)HL　・鏡面　・ﾊﾞﾌ(　　)　・
	6.5 工　法	曲げ加工：　(・)普通曲げ　・角出し曲げ
	7.2 材　料	７．木製建具
		建具材の加工、組立て時の含水率の種別：　※A種　　・B種
		・フラッシュ戸の心材の中骨、上下桟及び中桟には空気穴を適正に設ける。
		合板類の適用：　・適用　・適用しない　・図示
		種類：　・ﾗﾜﾝ合板　・ｼﾅ合板　・図示　・
		かまち戸の樹種：　・桧　・ﾅﾗ　・ﾗﾜﾝ
		鏡板の樹種：　・杉　・桧　・ｹﾔｷ　・ﾅﾗ　・ﾗﾜﾝ
		ふすまの上張りの種類：　・本鳥の子　・新鳥の子　・ビニル紙　・
		代用樹種等を適用しない箇所：　・
	7.3 形状及び仕上げ	フラッシュ戸の表面板の厚さ：　※表16.7.6による　・
		かまち戸の見込寸法：　・図示　※36mm　・
		ふすまの見込寸法　：　・図示　※19.5mm　・
		戸ぶすまの見込寸法：　・図示　※30mm　・
		紙貼障子の見込寸法：　・図示　※30mm　・
	7.4 工　法	ふすまの工法：　・Ⅰ型　・Ⅱ型　・
		ふすまの縁の仕上げ：　・図示　・本漆塗り　・ｶｼｭｰ塗り　(・)ｳﾚﾀﾝ塗装　・素木　・
		枠の材料：　・図示
		くつずりの材料：　・図示
		⑧ 建具用金物
	8.1 一般事項	適用範囲：　(・)建具製作所仕様以外の金物（
	8.2 材質、形状及び寸法	金物の種類、材質：　※表16.8.1による　・
		軸吊りヒンジ：　(・)自閉装置付き　・自閉装置なし
		ドアクローザのディレードアクション（遅延閉）機能の適用：　(・)適用　・適用しない
		戸当り：　(・)あおり止め(ﾌｯｸ)付き　・あおり止め(ﾌｯｸ)付きなし
		金属製建具の丁番：　※表16.8.2による　・
		樹脂製建具の丁番：　※表16.8.3による　・
		木製製建具の丁番：　※表16.8.4による　・
	8.3 取付け施工	ドアハンドル類の取付け位置：　(・)FL+900　・FL+1,000　・図示　・
		クレセント類の取付け位置：　(・)窓高さの1/2高さ（高窓は協議による）　・図示　・
	8.4 鍵	マスターキー：　(・)製作する　・製作しない　(・)ﾏｽﾀｰｷｰの製作については施設管理者及び監督員と協議する。
		マスターキーの系統：　・　系統
		指定建物錠の防犯性能の適用：　(・)する　・しない
		指定建物錠とは、建物の外部出入口用に用いるｼﾘﾝﾀﾞｰ錠・ｼﾘﾝﾀﾞｰ/ｻﾑﾀｰﾝ錠が該当
		耐ピッキング性能　　・5分未満　・5分以上　※10分以上
		耐鍵穴壊し性能　　・5分未満　・5分以上　※10分以上
		耐サムターン回し性能　・なし(5分未満)　※あり(5分以上)
		耐カム送り解錠性能　　・なし(5分未満)　※あり(5分以上)
		耐こじ破り性能　　・なし(5分未満)　※あり(5分以上)
		出荷時の子鍵本数：　※3本　・　　本
		鍵箱の適用：　(・)必要　・不必要

章	項　目	特記事項
16章 建具工事		９．自動ドア開閉装置
	9.2 性能・機構	スライディングドアの開閉方式：　・図示　・片引き　・引分け
		スライディングドアの開閉性能：　※表16.9.1による　・SSLD-1　・SSLD-2　・DSLD-1　・DSLD-2
		多機能トイレ出入口引き戸の開閉性能：　※表16.9.2による　・図示
		検出装置の性能：　※表16.9.3による　・図示
		戸の開閉方法　：　・図示　・
		センサーの種類：　・図示　・ﾏｯﾄｽｲｯﾁ　・光線ｽｲｯﾁ　・熱線ｽｲｯﾁ　・音波ｽｲｯﾁ　・光電ｽｲｯﾁ
		・ﾀｯﾁｽｲｯﾁ　・押ﾎﾞﾀﾝｽｲｯﾁ　・ﾍﾟﾀﾞﾙｽｲｯﾁ　・多機能便所ｽｲｯﾁ
		凍結防止装置：　・有　・無
		10．自閉式上吊り引戸装置
	10.3 性能等	性能：　※表16.10.1による　・
		11．重量シャッター
	11.2 形式及び機構	シャッターの種類：　(・)図示　・一般重量ｼｬｯﾀｰ　・外壁用防火ｼｬｯﾀｰ　・防煙ｼｬｯﾀｰ　・屋内用防火ｼｬｯﾀｰ
		外壁開口部耐風圧性能：　・80　・120　(・)メーカー仕様による
		開閉機能　：　※電動式（手動併用）　・手動式　・
		危害防止装置の設置箇所：　(・)図示　・座板底面　(・)メーカー仕様による
		管理用シャッターのシャッターケース：　※図示　・設ける　・設けない
	11.3 材　料	スラット等鋼板の種類：　・塗装溶融亜鉛めっき鋼板　・溶融亜鉛めっき鋼板　・ｽﾃﾝﾚｽ鋼板　(・)メーカー仕様による
		溶融亜鉛めっきの付着量：　・Z12(F12)　(・)図示
		12．軽量シャッター
	12.2 形式及び機構	開閉形式　：　※手動式　・電動式（手動併用）　・
		<開閉形式>：　※手動式　・電動式（手動併用）　・
		耐風圧性能：　・50　・80　・120　・
		スラット等鋼板の種類：　・塗装溶融亜鉛めっき鋼板　・ｽﾃﾝﾚｽ鋼板
		・塗装溶融亜鉛-5%ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金めっき鋼板　・ｱﾙﾐ押出型材
		溶融亜鉛めっきの付着量：　・Z06(F06)　・AZ90　・
		<パイプの材質>：　・ｽﾃﾝﾚｽ　・ｽﾁｰﾙ　・
		<パイプ径>　：　・図示　・13mm　・16mm　・19mm　・
		<パイプ間隔>：　・図示　・70mm　・
		<格子間隔>　：　・図示　・500mm　・
	12.4 形状及び仕上げ	スラットの形状：　・ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ形　・ｵｰﾊﾞｰﾗｯﾋﾟﾝｸﾞ形
		１３．オーバーヘッドドア
	13.2 形式及び機構	セクション材料による区別：　・図示　・下表による
		ｾｸｼｮﾝ材料による区別 / 開閉方式による種類 / 収納形式による区分 / ガイドレールの材料
		・ｽﾁｰﾙﾀｲﾌﾟ / ・ﾊﾞﾗﾝｽ式 / ・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ形 / ・鋼製
		・ｱﾙﾐﾆｳﾑﾀｲﾌﾟ / ・ﾁｪｰﾝ式 / ・ﾊｲﾘﾌﾄ形　・ﾛｰﾍｯﾄﾞ形 / ・ｽﾃﾝﾚｽ製
		・ﾌｧｲﾊﾞｰｸﾞﾗｽﾀｲﾌﾟ / ・電動式 / ・ﾊﾞｰﾁｶﾙ形	
		耐風圧性能：　・50　・75　・100　・125
		14．ガラス
	14.2 材　料	ガラスの種類：　(・)図示　・
		ガラス留め材　　金属性製建具用パテはJISA5752による。
		建具の種類 / 種類・材質
		・ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 / ・ｼｰﾘﾝｸﾞ材　※ｶﾞｽｹｯﾄ　・ﾊﾟﾃ材(・1種　・2種)
		・鋼　製 / ※ｼｰﾘﾝｸﾞ材　・ﾊﾟﾃ材(・1種　・2種)
		・ｽﾃﾝﾚｽ製 / ※ｼｰﾘﾝｸﾞ材　・ﾊﾟﾃ材(・1種　・2種)
		・木　製 / ※ｼｰﾘﾝｸﾞ材　・ﾊﾟﾃ材(・木製用　・　)
	14.3 ｶﾞﾗｽ溝の寸法、形状等	ガラス溝の大きさ：　※製造所仕様による　・図示
	14.5 ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ積み	表面形状　：　・図示　・ﾌﾟﾚｰﾝ　・梨地　・ｶｽﾐ　・
		寸法、厚み：　・図示　・190x190x95　・145x145x95　・
		壁用金属枠：　・図示　・ｱﾙﾐﾆｳﾑ製　・ｽﾁｰﾙ製　・ｽﾃﾝﾚｽ製　・
		補強剤　　：　・図示　・
		化粧目地の色：　・白　・ｸﾞﾚｰ　・黒　・
		シーリング材：　・ﾎﾟﾘｻﾙﾌｧｲﾄﾞ系　・ｳﾚﾀﾝ系　・ｼﾘｺﾝ系　・
		金属製化粧カバー：　・図示　・
		壁用金属枠の留付間隔(木造下地)：　・製造所の仕様　・450mm　・300mm
		風圧力に対応した工法：　・
		目地幅：　※標準仕様書による　・
		伸縮調整目地の位置：　※標準仕様書による　・
		伸縮調整目地の仕上：　※標準仕様書による　・

備考												
	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番 A-008
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　　第1-60097号	監理	佐藤　信	製図	伊藤　高基	図面名称	特記仕様書6	縮尺 -
	月 日		月 日									

章	項　目	特記事項
17章 カーテンウォール工事		１．共通事項
	1.3 性　能	耐風圧性能：　・
		耐震性能　：　・
		水密性能　：　・
		気密性能　：　・
		耐火性能　：　・
		耐温度差性能：　・
		遮音性能　：　・
		断熱性能　：　・
		性能の確認方法：　・
		２．メタルカーテンウォール
	2.2 材　料	金属材料の種類：　・ｱﾙﾐﾆｳﾑ　・ｽﾁｰﾙ　・
		メタルのシーリング材：　・ﾎﾟﾘｻﾙﾌｧｲﾄﾞ系　・ｳﾚﾀﾝ系　・ｼﾘｺﾝ系　・
		ガラスのシーリング材：　・ﾎﾟﾘｻﾙﾌｧｲﾄﾞ系　・ｳﾚﾀﾝ系　・ｼﾘｺﾝ系　・
		ガラスの構造ガスケットの形状、寸法：　・図示　・
		断熱材：　・図示　・
	2.3 形状及び仕上げ	製品の寸法許容差：　・図示　※標準仕様書による　・
		製品の見え掛かり部分の仕上げ：　・図示　・
		ガラス溝の寸法、形状：　・図示　※標準仕様書による　・
	2.5 取付け	ファスナー金物の取付位置、寸法許容差：　・図示　※標準仕様書による　・
		カーテンウォール部材の取付位置、寸法許容差：　・図示　※標準仕様書による　・
		３．ＰＣカーテンウォール
	3.2 材　料	コンクリートの種類・品質：　・図示　※標準仕様書による　・
		鉄筋の種別：　・図示　※SD295A　・SD345　・
		補強鉄線の寸法：　・図示　・φ3.2x100x100　・φ3.2x50x50　・
		シーリングの種類：　・図示　・
		耐火目地材：　・図示　・
		断熱材　：　・図示　・
		サッシ枠、ゴンドラ用ガイドレール　：　・図示　・
	3.3 形状及び仕上げ	寸法許容差：　・図示　※標準仕様書による　・
		カーテンウォールの仕上げ：　・図示　※標準仕様書による　・
		構造ガスケット：　・図示　※標準仕様書による　・
	3.4 製　作	鉄筋の配筋：　・図示　・
	3.5 取付け	取付け位置の寸法許容差：　・図示　※標準仕様書による　・
	3.6 ガラスの取付け	構造ガスケットの取付：　・図示　・
18章 塗装工事		① 共通事項
	1.3 材　料	塗料の防火材料の指定：　(・)図示　・無　・有（
		② 素地ごしらえ

塗装面の種類	種　別
木部（不透明塗料塗り部）	※A種　・B種
木部（透明系塗料塗り部）	・A種　※B種
鉄鋼面	・A種　※B種　※C種
亜鉛めっき鋼面	・A種　・B種
モルタル、プラスター面	・A種　※B種
コンクリート、ＡＬＣパネル面	・A種　※B種
押出成形セメント板	・A種　※B種
せっこうその他のﾎﾞｰﾄﾞ	継目処理工法の場合：　※A種　・B種 その他の場合：　・A種　※B種

章	項　目	特記事項
	2.1～2.7 ***素地ごしらえ	
		③ 錆止め塗料塗り
	3.2 塗料種別	鉄鋼面(上塗りEP-Gの場合)：　・A種　※B種
		亜鉛めっき鋼面(上塗りSOPの場合)：　※A種　・B種
	3.3 錆止め塗料塗り	鉄鋼面見え掛り部分(上塗りSOP、及びEP-Gの場合)：　※A種　・B種
		鉄鋼面見え隠れ部分(上塗りSOP、及びEP-Gの場合)：　・A種　※B種
		亜鉛めっき鋼面鋼製建具面(上塗りSOP、及びEP-Gの場合)：　※A種　・B種
		亜鉛めっき鋼面鋼製建具面以外(上塗りSOP、及びEP-Gの場合)：　・A種　※B種
		④ 合成樹脂調合ペイント塗り（ＳＯＰ）
	4.2 木部***塗り	種別（外部）：　※A種　・B種
		種別（内部：多孔質広葉樹以外）：　・A種　※B種
		種別（内部：多孔質広葉樹）　：　・A種　・B種
	4.3 鉄鋼面***塗り	種別：　・A種　※B種
		５．クリヤラッカー塗り（ＣＬ）
	5.2 ｸﾘﾔﾗｯｶｰ塗り	種別：　・A種　※B種
		⑥ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（ＮＡＤ）
	6.2 ｱｸﾘﾙ***塗り	種別：　・A種　※B種
		７．耐候性塗料塗り（ＤＰ）
	7.2 鉄鋼面***塗り	上塗り塗料の等級：　・1級　・2級　・3級
	7.3 亜鉛めっき***塗り	上塗り塗料の等級：　・1級　・2級　・3級
	7.4 ｺﾝｸﾘｰﾄ面***塗り	種別：　・A種　・B種　・C種
		⑧ つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ－Ｇ）
	8.2 ｺﾝｸﾘｰﾄ面***塗り	コンクリート面：　・A種　※B種
		モルタル面：　・A種　※B種
		プラスター面：　・A種　※B種
		せっこうボード面：　・A種　※B種
		その他ボード面：　・A種　※B種
	8.4 鉄鋼面***塗り	種別：　・A種　※B種
		⑨ 合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ）
	9.2 合成樹脂***塗り	種別：　・A種　※B種
		１０．ウレタン樹脂ﾜﾆｽ塗り（ＵＣ）
	10.2 ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾜﾆｽ塗り	種別：　・A種　※B種
		１１．ステイン塗り
	11.2 ｽﾃｲﾝ塗り	塗料の種別：　・図示　・
		１２．木材保護塗料塗り（ＷＰ）
	12.2 木材保護塗料塗り	種別：　・A種　※B種
19章 内装工事		② ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り
	2.2 材　料	ビニル床シートの材料：　(・)図示　・下表による　・

種　類	記号	色柄	厚さ(mm)
・発泡砲層のないﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	※FS　・NS	※無地　・ﾏｰﾌﾞﾙ	※2.0　・2.5
・発泡層のあるﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ(ｸｯｼｮﾝﾌﾛｱ)	・DO		※2.3　・3.5

ビニル床タイル、ゴム床タイルの材料：　・図示　・下表による　・

種　類		厚さ(mm)
・ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	半硬質(CT)	・2.0　・
・ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	軟質(CTS)	・2.0　・
・ﾎﾓｼﾞﾆｱｽﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ(HT)		・2.0　・
・ｺﾞﾑ床ﾀｲﾙ	・無地　・ﾏｰﾌﾞﾙ	・4.0　・

◎帯電防止床シート張り
　種類：　・
　性能：　・体積抵抗値(1.0x10⁹Ω)　・
　厚さ：　・2.0mm　・4.0mm　・4.5mm　・
◎帯電防止床タイル張り
　種類：　・
　性能：　・体積抵抗値(1.0x10⁹Ω)　・
　寸法厚さ：　・300x300x2.0mm　・500x500x3.0mm　・図示
◎視覚障害者用床タイル張り
　種類：　・合成ｺﾞﾑ貼付用　・合成ｺﾞﾑ埋込用　・合成ｺﾞﾑ裏面CON
　　・せっ器質ﾀｲﾙ　・ｺﾝｸﾘｰﾄ
　厚さ：　・2mm　・15mm　・20mm　・30mm　・
◎耐動荷重性床シート張り
　種類：　・
　厚さ：　・　mm　・
◎防滑性床シート張り
　種類：　・
　厚さ：　・　mm　・
◎防滑性床タイル張り
　種類：　・
　寸法厚さ：　・300x300x2.0mm　・500x500x3.0mm　・図示
ビニル幅木の厚み：　※1.5mm以上　・
ビニル幅木の高さ：　※60mm　・100mm　・300mm　(・)40mm

章	項　目	特記事項
19章 内装工事	2.3 施　工	下地の工法：　※標準仕様書19.2.3(1)による　・図示
		接合部の処理：　※熱溶接工法　・図示　・
		③ カーペット敷き
	3.2 材　料	◎織じゅうたん
		種別：　・A種　・B種　・C種
		パイル形状：　・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ　・ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ　・ｶｯﾄ/ﾙｰﾌﾟ併用
		色柄：　※無地　・柄物
		帯電性の適用：　・適用しない　・適用する（人体帯電圧：　※3kV以下　・　）
		◎タフテッドカーペット
		パイル形状：　・ﾙｰﾌﾟ　・ｶｯﾄ　・
		パイル長：　・図示　・　mm
		◎タイルカーペット

パイル形状	種　類	寸法(mm)	総厚さ(mm)
(・)ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ	※第１種　・第２種	※500x500　・	※6.5　・
・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ			
・ｶｯﾄ/ﾙｰﾌﾟ併用			

章	項　目	特記事項
		◎下敷き材
		下敷き材：　※反毛フェルト第2種2号(呼厚8mm)　・
	3.3 工　法	タフテッドカーペットの工法：　・ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ工法　・全面接着工法　・
		織じゅうたんの接合方法：　※ﾋｰﾄﾎﾞﾝﾄﾞ工法　・手縫い(づづり縫い)
		タイルカーペットの敷き方（平場）：　※市松敷き　・
		（階段部分）：　※模様流し　・
		４．合成樹脂塗床

種　類	仕上げ種類	備　考
・弾性ｳﾚﾀﾝ塗り床材	※平滑　・防滑　・つや消し	F☆☆☆☆
・ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗り床材	・薄膜流し展べ	F☆☆☆☆
	・厚膜流し展べ：　※平滑　・防滑	
	・樹脂ﾓﾙﾀﾙ：　・平滑　・防滑	

章	項　目	特記事項
	4.2 材　料	
	4.3 工　法	
		⑤ フローリング張り
	5.2 材　料	フローリング：　※F☆☆☆☆　・図示
		接着剤：　※F☆☆☆☆　・図示

種　類	材　種	工　法	形式寸法等(mm)LxWx t
(・)ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ1等	・ﾅﾗ　(・)図示	・釘留め工法(根太張)	(・)500(L)x75(W)x15(t)以上
		(・)釘留め工法(直張り)	
		(・)接着工法	
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ1等	・ﾅﾗ　・ｻｸﾗ　・	・釘留め工法(根太張)	・303x303(L)x15(t)以上
		・釘留め工法(直張り)	
・複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	・ﾅﾗ　・ｻｸﾗ　・	・釘留め工法(根太張)	・A種　・B種　・C種
		・釘留め工法(直張り)	・A種　・B種　・C種
		・接着工法	・A種　・B種　・C種

章	項　目	特記事項
	5.8～5.5 **工法	
		６．畳敷き
	6.2 材　料	種別：　・A種　(・)B種　・C種
		・D種（・KT-Ⅰ　・KT-Ⅱ　・KT-Ⅲ　・KT-K　・KT-N）
		衝撃緩和型畳の適用：　・適用する【畳表；　・C1　・C2　】　・適用しない
		⑦ せっこうボード、その他ボード及び合板張り

規格名称	種　類	記号	厚さ(mm)
木質系ｾﾒﾝﾄ板	・木毛ｾﾒﾝﾄ板	・HW　・NW	・25・50
	・木片ｾﾒﾝﾄ板	・HF　・NF	・18　・
せっこうﾎﾞｰﾄﾞ製品	※図示　・	※図示　・	※図示　・
繊維強化ｾﾒﾝﾄ板	・ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板(ﾀｲﾌﾟ2)	・0.8FK	※図示　・
		・1.0FK	※図示　・
ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ繊維板	・	・RS・VS	※図示　・
		・DV・DO・DC	※図示　・
火山性ｶﾞﾗｽ質複層板(VSﾎﾞｰﾄﾞ)	・	・	※図示　・

章	項　目	特記事項
	7.2 材　料	
	7.3 工　法	

◎合板

材　種	樹種、防虫・難燃・防腐処理等		厚さ(mm)	工法
・難燃合板	生地のまま又は透明塗料塗りの場合 ・ﾗﾜﾝ　・ 不透明塗料塗りの場合 ・ｼﾅ(・1級・2級)　・		・4　・5.5 ・6　・	・A種 ※B種
・普通合板	・ﾗﾜﾝ　・ ・ｼﾅ	・1類 ・2類	・4　・5.5 ・6　・	・A種 ※B種
(・)捨張り用合板	(・)南洋材　・ (・)針葉樹	・型枠用 (・)構造用	(・)9　(・)12 ・	・A種 ※B種

備考			
月 日		月 日	
月 日		月 日	
月 日		月 日	

株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番 A-009
1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	伊藤　高基	図面名称	特記仕様書7	縮尺 -

章	項目	特記事項
19章 内装工事	7.2 材料 7.3 工法	◎合板

材種	樹種、防虫・難燃・防煙処理等		厚さ(mm)	工法
・有孔合板	・ｼﾅ	・1類 ・2類	・4 ・6 ・	・A種 ※B種
・天然木化粧合板	化粧単板のそば包み		・4.2 ・5.5	・A種
	・行う ※行わない 化粧単板の厚さ ※0.3未満 ・			※B種
・特殊加工化粧合板	表面仕上げの種類 ・ﾒﾗﾐﾝ ・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ ・		・4.0 ・3.0	・A種 ※B種

普通合板の防虫処理： ※行わない ・行う
天然木化粧合板の防虫処理： ※行わない ・行う
特殊加工化粧合板の防虫処理： ※行わない ・行う
せっこうボードの目地処理： (・)継目処理工法 ・目透し工法 ・突付け工法

８．壁紙張り

8.2 材料
防火性能の指定： ・下表による ・図示 ・

品質	検定区分	施工箇所
・ｵﾚﾌｨﾝ系	・1級 ・2級 ・	
・織物系	・1級 ・3級 ・4級 ・	
・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系	・1級 ・2級 ・	

◎素地ごしらえ
モルタル面及びプラスター面 ： ・A種 ※B種
コンクリート面 ： ・A種 ※B種
せっこうボード及びその他ボード面： ・A種 ※B種

⑨ 断熱・防露

9.3 断熱材打込み工法

種類	種別	厚さ(mm)
・ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ	・	・25 ・
・押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ	・3種：土間ｺﾝｸﾘｰﾄ下端	・25 ・50
・硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ	・A種 ・	・
・ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ	※F☆☆☆☆ ・	・

接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ ・

9④断熱材現場発泡工法
材料： (・)吹付け硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ ・
種類： (・)A種1 ・
難燃材： ・1級 ・2級 (・)3級
吹付け厚さ(mm) (・)図示 ・25 ・30 ・20

章	項目	特記事項
20章 ユニット及びその他の工事	2.2 ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ	② ユニット工事等

施工箇所	材質・形状・寸法	表面仕上材質・形状・寸法
	・ｱﾙﾐﾀﾞｲｶｽﾄ；450x450x50	・帯電防止ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ；450x450x2.5
	・ｽﾁｰﾙ；500x500x50	・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ；500x500x6.5
	(・)樹脂製；500x500x50	

耐震性能： (・)0.6G ・1.0G ・
所定荷重： (・)3,000N ・5,000N ・
耐衝撃性能： (・)0.6G ・1.0G ・
帯電防止性能： ・
漏えい抵抗： ・
◇試 験
耐荷重性能： ※標準仕様書による ・
耐衝撃性能： ※標準仕様書による ・
ローリングロード性能： ※標準仕様書による ・
耐燃焼性能： ※標準仕様書による ・
適用地震時水平力
寸法精度： ※±0.5mm ・

2.3 可動間仕切

構造形式による種類	・SI ・SE ・PP ・SP
スタッドの構成材	・AL ・ST ・E
パネルの構成材	・w ・st ・g ・al ・p ・gy ・pa ・e
空間の仕切	・密閉形 ・開放形 ・自立形

遮音性： ・
パネルのﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ ・
パネル表面仕上げ： ・
取付建具形状・寸法： ・図示 ・

2.4 移動間仕切
パネルの操作方法による種類： ・図示
パネル表面材の材質、仕上げ： ・図示
パネル圧接装置の操作方法 ： ・図示
遮音性能： ・図示

章	項目	特記事項
20章 ユニット及びその他の工事	2.4 移動間仕切	ハンガーレール取付け下地の補強： ※標準仕様書による ・
		あと施工アンカーの材質、寸法等： ・図示
	2.5 ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	パネル表面材材質： ・ﾒﾗﾐﾝ樹脂化粧板 ・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ樹脂系化粧板 (・)図示
		パネルのﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ ・
		脚部の形状： ※幅木型 ・足金物型
	2.6 手すり	材料の種類： (・)図示 ・
		材料の仕上げ： (・)図示 ・
	2.7 階段滑り止め	材質： (・)ｽﾃﾝﾚｽ製ﾀｲﾔ入り ・床材一体型ﾋﾞﾆﾙｼｰﾄ
		形状・寸法： (・)図示 ・
		取付工法： ※接着工法 ・埋込み工法
	2.9 黒板及びﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ	黒板の種類／色彩／枠： ・焼付け／緑／ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金 ・焼付／黒／木製
		ホワイトボード： ・図示 (・)壁掛け型 ・脚付き自立型
		ホワイトボードの種類／色彩／枠： (・)ほうろう／白／ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金 ・
		厚さ： (・)5mm ・8mm ・
	2.10 鏡	
	2.11 表 示	

種類	形状・寸法	材質
(・)衝突防止表示	(・)図示 ・	・ｽﾃﾝﾚｽ ・
(・)室名札	(・)図示 ・≒80x200	・ｱｸﾘﾙ板/ｼﾙｸｽｽｸﾘｰﾝ ・ｱｸﾘﾙ板/ｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ
(・)ﾋﾟｸﾄｸﾞﾗﾌ	(・)図示 ・≒200x200	・ｱｸﾘﾙ板/ｼﾙｸｽｽｸﾘｰﾝ
(・)案内板	(・)図示 ・	・ｱｸﾘﾙ板/ｼﾙｸｽｽｸﾘｰﾝ ・ｱｸﾘﾙ板/ｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ
(・)階数表示板	(・)図示 ・≒250x250	・ｱｸﾘﾙ板/ｼﾙｸｽｽｸﾘｰﾝ ・ｱｸﾘﾙ板/ｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ
・非常用進入口	・図示 ・	・ｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ

章	項目	特記事項
20章 ユニット及びその他の工事	2.12 ﾀﾗｯﾌﾟ	材料の種類： ※ｽﾃﾝﾚｽ製 ・ｽﾁｰﾙ製 ・図示 ・
		材料の仕上げ： ※未仕上げ ・溶融亜鉛めっき ・図示 ・
	2.13 煙突ﾗｲﾆﾝｸﾞ	ライニング材： ・ｿﾞﾗｲﾄ系珪酸ｶﾙｼｳﾑﾗｲﾆﾝｸﾞ材 ・心材付繊維積層ﾗｲﾆﾝｸﾞ材
		適用安全使用温度： ・
	2.14 ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	

形式	・横型ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	・縦型ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ
ｽﾗｯﾄの材種	・ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金	・ｱﾙﾐｽﾗｯﾄ ・ｸﾛｽｽﾗｯﾄ
開閉方式、操作方式	・ｷﾞﾔ式 ・ｺｰﾄﾞ式	・2本操作ｺｰﾄﾞ方式 ・
ｽﾗｯﾄ成形幅(mm)	・ 25	・100 ・80

章	項目	特記事項
20章 ユニット及びその他の工事	2.15 ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ	操作方法： ・ﾌﾟﾙｺｰﾄﾞ式 ・ﾁｪｰﾝ式
		巾・高さ： ・図示 ・
		材種・品質等： ・図示 ・
	2.16 ｶｰﾃﾝ及びｶｰﾃﾝﾚｰﾙ	カーテンレール： (・)図示 ・ｼﾝｸﾞﾙ ・ﾀﾞﾌﾞﾙ

きれ地の品質	ひだの種類	形式	引分装置	施工箇所
・	・ﾌﾗﾝｽひだ ・つまひだ	・片引 ・引分	・有 ・無 ・有 ・無	
・	・ﾌﾗﾝｽひだ ・つまひだ	・片引 ・引分	・有 ・無 ・有 ・無	

暗幕用カーテンの重なり： (・)300mm以上 ・

ﾚｰﾙ、ﾌﾞﾗｹｯﾄ強さ区分	ﾚｰﾙ材料区分	ﾚｰﾙ仕上げ	形状
・10-90	・AS ・AP	・ｱﾙﾏｲﾄ	・角形 ・
・10-60	・SUS ・S	・2次電解着色	

３．プレキャストコンクリート工事

3.2 材料
補強鉄線の寸法： ・図示 ・φ3.2x100x100 ・φ3.2x50x50 ・
3.3 製作
コンクリートの設計基準強度： ・図示 ※標準仕様書による ・
鉄筋の配筋： ・図示 ※標準仕様書による ・
3.4 取付け方法
取付方法： ・図示 ・

４．間知石及びコンクリート間知ブロック積み

4.2 材料
間知石の材種： ・竜岩石 ・御影石 ・
コンクリート間知ブロック面の形状： ・長方形 ・正方形 ・H型 ・六角形
ＪＩＳによる質量区分： ※ﾌﾞﾛｯｸA ・ﾌﾞﾛｯｸB
4.3 工法
練積みの工法： ※谷積み ・布積み
目塗り： ・行う ・行わない
伸縮目地材の材種及び厚さ： ・図示 ・ｴﾗｽﾀｲﾄt=10

(*) その他工事

*.1 階段手すり
笠木 ： ・ﾋﾞﾆｰﾙ製 ・造作用集成材 (・)図示
受け材 (・)ｽﾁｰﾙ ・ｽﾃﾝﾚｽ
*.2 ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ
ボックスの種別： ・額縁付 ・天井付 ・天井埋込 (・)図示
材種 ： (・)木製 ・ｽﾁｰﾙ製 ・ｱﾙﾐ製 ・
*.3 ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ
ボックスの種別： ・額縁付 ・天井付 ・天井埋込 (・)図示
材種 ： (・)木製 ・ｽﾁｰﾙ製 ・ｱﾙﾐ製 ・
*.4 ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ
操作方法： ・ﾌﾟﾙｺｰﾄﾞ式 ・ﾁｪｰﾝ式
材種、品質等： ・図示 ・
*.5 建物銘板
種別： (・)館名板 ・融資館名板 ・
寸法／材質／仕上げ： (・)図示
文字数／字体： ・ 字程度／ 体 (・)図示

章	項目	特記事項
20章 ユニット及びその他の工事	*.6 案内板	枠材／形状： (・)図示 ・ｽﾃﾝﾚｽ製／
		枠材／形状： ・ｱﾙﾐ製／t=1.0mm ・木製／t= (・)図示
	*.7 掲示板	仕上材： ・特殊発泡加工ﾋﾞﾆﾙ貼（周囲押縁） (・)図示
	*.8 ｺｰﾅｰﾋﾞｰﾄﾞ	材種： ・図示 ・ｽﾃﾝﾚｽ ・ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金 ・真鍮
		高さ： ・図示 ・1.8m程度 ・天井まで ・
	*.9 天井見切り縁	材質： ・ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 ・塩化ﾋﾞﾆｰﾙ製 ・
	*.10 床見切押え金物	材質： (・)ｽﾃﾝﾚｽ製 ・
		形状： ・への字型；幅 mm ・ﾊｯﾄ型；40mmx20mm ・目地棒型；6mm
	*.11 ジョイナー	材質： (・)塩化ﾋﾞﾆｰﾙ製 ・
	*.12 既製間仕切	材種： ・図示 ・化粧鋼板製 ・
		組立形式： ・図示 ・ﾊﾟﾈﾙ式 ・ｽﾀｯﾄﾞ式 ・
		耐防火性能： ・不燃 ・準不燃 ・難燃
	*.13 ｱｺｰﾃﾞｨｵﾝﾄﾞｱ	表面材： ・図示 ・ﾋﾞﾆﾙﾚｻﾞｰ張り ・
		形式： ・図示 ・両開 ・片開
		折りたたみ幅(mm)： ・図示 ・
	*.14 ｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞﾄﾞｱ	パネル厚さ： ・図示 ・
		表面仕上げ： ・図示 ・
		接点の接床処置： ・有 ・無
	*.15 天井点検口	材質等： (・)ｱﾙﾐﾆｳﾑ既製品（内外枠共）
		寸法(mm)： (・)450×450 ・600×600
	*.16 床下点検口	材質： (・)ｽﾃﾝﾚｽ既製品（目地材質共）
		寸法(mm)： ・450×450 (・)600×600
	*.17 屋上点検口	材質： ・木製【・米桧 ・米栂】 ・ｱﾙﾐﾌﾟﾚｰﾄ【厚さ： ・3.0mm ・ 】
	*.18 換気扇取付け枠	材質等： ・硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管50φ（内側ｽﾃﾝﾚｽ製防虫網外側井桁付ｴﾙﾎﾞｰ型）
	*.19 換気口	◎床下換気金物
		・ｽﾃﾝﾚｽ金網裏打ち ・裏打ちなし ・鋳鉄（ｺｰﾙﾀｰﾙ焼付厚9mm ） ・樹脂製
		◎レジスター、固定ガラリ
		・既製品（外部水切り付固定ｶﾞﾗﾘ 内部ｽﾃﾝﾚｽ製防虫網〔外壁取付時〕）
	*.20 ﾏﾝﾎｰﾙｶﾊﾞｰ	種別： ・一般型 (・)防水型 (・)防臭型 ・
		性能： (・)防水防臭型【・化粧型 (・)一般用】 ・
		鍵： ・有 ・無
	*.21 沓拭きﾏｯﾄ	材種： ・塩化ﾋﾞﾆｰﾙ又はｺﾞﾑ／受枠；ｽﾃﾝﾚｽ鋼 ・硬質ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金
		・ｽﾃﾝﾚｽ板
		水抜パイプ： ・有 ・無
	*.22 浴 槽	種別： ・A種 ・B種（・ﾎｰﾛｰ ・FRP ・ｽﾃﾝﾚｽ）
	*.23 すのこ	材種： ・木製【・ﾋﾉｷ ・ﾋﾊﾞ ・米桧 ・台桧】 ・合成樹脂（市場品）
	*.24 屋上丸環	材種： ・ｽﾃﾝﾚｽ鋼 ・
	*.25 避難ﾊｯﾁ等	材種： ・ｽﾃﾝﾚｽ（ｱﾗｰﾑはﾈｼﾞ巻き式）

章	項目	特記事項
21章 排水工事	2.1 材 料	② 屋外雨水排水
		排水管材種： ・遠心力鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管 (・)硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管【(・)VP ・VU】
		・ﾘｻｲｸﾙ硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ3層管(RS-VU)
		・排水用硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管継手(DV)
		・屋外排水設備用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管継手(VU継手) ・図示
		管径： (・)図示 ・
		側溝（形状・寸法）： (・)図示 ・
		側塊（形状・寸法）： ・図示 ・
		排水桝（形状・寸法）： (・)図示 ・現場打ち角型；600x600 ・ｺﾝｸﾘｰﾄ既製桝；300x300 ・
		現場打ちｺﾝｸﾘｰﾄの種類： ※普通ｺﾝｸﾘｰﾄ(Fc=18N/mm2、ｽﾗﾝﾌﾟ：15cm･18cm) ・図示
		現場打ち鉄筋の種類： ※SD295A ・図示
		◎桝蓋
		材質： (・)図示 ・鋳鉄製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ ・鋼製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ ・ｽﾃﾝﾚｽ製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ
		・ｺﾝｸﾘｰﾄ製 ・鋳鉄製 ・
		種別： (・)図示 ・ﾏﾝﾎｰﾙ蓋 ・床化粧ﾏﾝﾎｰﾙ蓋 ・格子蓋 ・
		種類： ・図示 ・水封型 ・簡易密閉型 (・)密閉型 ・
		適用荷重： ・図示 ・歩行用 ・T-2 ・T-6 ・T-14 ・T-20 (・)T-25
		メインバーピッチ等： ・図示 ・普通目 ・細目／ﾌﾟﾚｰﾝ ・細目／ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ
		◎側溝グレーチング
		材質： ・図示 ・鋼製 ・ｽﾃﾝﾚｽ製 ・
		適用荷重： ・図示 ・歩行用 ・T-2 ・T-6 ・T-14 ・T-20 ・T-25
		メインバーピッチ等： ・図示 ・普通目 ・細目／ﾌﾟﾚｰﾝ ・細目／ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ
		地業の材料： (・)砂利地業【(・)再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ ・切込砕石 ・切込砂利 】
		地業の材料： (・)砂地業【(・)山砂 ・川砂 ・砕砂 】
		砂のふるい分け試験： (・)適用する ・適用しない
		埋戻し材料： ・A種 ※B種 ・C種 ・D種
	2.2 施 工	盛土地盤等の施工法： ・図示 ・
		継手の工法： ・図示 ・

備考												
	月日		月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番 A-010
	月日		月日		1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	統括	佐藤 信	製図	伊藤 高基	図面名称	特記仕様書8	縮尺 -
	月日		月日									

章	項　目	特記事項
21 排水工事	2.2 施　工	◎遠心力鉄筋コンクリート管
		基床の厚さ：　・図示　・
		基床の種類：　・図示　・
		◎硬質ポリ塩化ビニル管
		基床の厚さ：　(・)図示　・
		基床の種類：　(・)図示　・
		継手の種類：　※接着材　・ゴム輪　・
		排水桝の足掛け金物：　(・)φ22ｽﾃﾝﾚｽ製　・φ22防錆処理鋼製　・φ19合成樹脂被覆鋼製
		③. 街きょ、縁石及び側溝
	2.1 材　料	縁石の形状・寸法：　(・)図示　・
		Ｌ形側溝の形状・寸法：　・図示　・
		Ｕ形側溝の形状・寸法：　(・)図示　・
		Ｕ形側溝の蓋の形状・寸法：　(・)図示　・
		ｺﾝｸﾘｰﾄの種別：　※無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ　・図示　・
		ｺﾝｸﾘｰﾄの材料強度：　※18N/mm2　・21N/mm2　・図示　・
		地業の材料：　(・)砂利地業【(・)再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ　・切込砕石　・切込砂利　】
		砂利地業の厚み：　※100mm　・図示　・
		地業の材料：　(・)砂地業【(・)山砂　・川砂　・砕砂　】
		砂地業の厚み：　※100mm　・図示　・
22 舗装工事		②. 路　床
	2.2 路床の構成及び仕上り	凍上抑制層の適用：　(・)適用しない　・適用する
		厚さ：　・車道部　　mm　・歩道部　　mm
		透水性舗装のフィルター層の適用：　(・)適用しない　・適用する
		厚さ：　・車道部　　mm　・歩道部　　mm
		路床安定処理の適用：　(・)適用しない　・適用する
		方法：　・添加材による処理　・図示　・
	2.3 材　料	盛土の材料：　※表3.2.1による(・A種　・B種　・C種　・D種)　・図示
		路床安定処理用添加材料：　(・)普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ　・高炉ｾﾒﾝﾄB種　・ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄ
		・生石灰【・特号　・1号】　・消石灰【・特号　・1号】
		透水性舗装のフィルター：　・図示　・
	2.5 試　験	路床土のＣＢＲ試験：　(・)行わない　・行う【・乱した土　・乱さない土】
		路床締固め度試験：　(・)行う　・行わない
		現場ＣＢＲ試験：　・行わない　(・)行う
		③ 路　盤
	3.2 路盤の厚さ及び仕上り	歩道部の路盤の厚さ：　(・)図示　・
		車道部の路盤の厚さ：　(・)図示　・
	3.3 材　料	路盤の材料：　(・)砕石【(・)ｸﾗｯｼｬﾗﾝ　・粒度調整砕石】　・再生材【・ｸﾗｯｼｬﾗﾝ　・粒度調整砕石】
		・ｸﾗｯｼｬﾗﾝ鉄鋼ｽﾗｸﾞ　・
		④. アスファルト舗装
	4.2 舗装の構成及び仕上り	舗装の構成及び厚さ：　(・)図示　・
		車道部の基層の適用：　(・)適用しない　・適用する
		舗装の平坦性：　※通行の支障となる水たまりがない程度　・水の滞留がない平滑性
	4.3 材　料	再生アスファルトの種類：　(・)60～80　・80～100
	4.4 配合その他	加熱アスファルト混合物等の種類：
		表層：　(・)密粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物　・細粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物
	4.6 試　験	アスファルト混合物の抽出試験：　・行う　(・)行わない
		⑤. コンクリート舗装
	5.2 舗装の構成及び仕上り	寒冷地の縁部立下り寸法：　・図示　・
	5.3 材　料	◎車道部コンクリート
		設計基準強度（車道部）：　※24N/mm2　・27N/mm2　・
		スランプ：　・5cm　※8cm　・12cm　・
		粗骨材の最大寸法：　・20mm　・25mm　・40mm　・
		寒冷期舗装の早強セメントの使用：　・使用する　・使用しない
		加熱施工式注入目地材：　※低弾性ﾀｲﾌﾟ　・高弾性ﾀｲﾌﾟ
		◎歩道部コンクリート
		設計基準強度（歩道部）：　※18N/mm2　・21N/mm2　・
		スランプ：　・5cm　※8cm　・12cm　・
		粗骨材の最大寸法：　・20mm　・25mm　・
		転圧コンクリート舗装：　・
		寒冷期舗装の早強セメントの使用：　・使用する　・使用しない
		加熱施工式注入目地材：　※低弾性ﾀｲﾌﾟ　・高弾性ﾀｲﾌﾟ

章	項　目	特記事項
22 舗装工事	5.4 施　工	目地の種類及び間隔：　※表22.5.3による　・図示
		目地の構造：　※図22.5.1による　・図示
		６．カラー舗装
	6.2 舗装の構成及び仕上り	◎車道部
		カラー舗装の種類：　・加熱系【・ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物　・石油樹脂系混合物】　・図示
		・常温系【・ﾆｰﾄ工法　・塗布工法】　・図示
		常温系カラー舗装の下部：　・ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装　・ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装
		結合材による種類：　・図示　・
		車道部の基層の適用：　・適用しない　・適用する
		◎歩道部
		カラー舗装の種類：　・加熱系【・ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物　・石油樹脂系混合物】　・図示
		・常温系【・ﾆｰﾄ工法　・塗布工法】　・図示
		常温系カラー舗装の下部：　・ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装　・ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装
		結合材による種類：　・図示　・
		車道部の基層の適用：　・適用しない　・適用する
	6.3 材　料	添加骨材：　・着色骨材；　　・自然石；
	6.4 配合その他	石油樹脂系顔料の添加量：　・製造所仕様による　・図示　・
		ニート工法の配合：　・製造所仕様による　・図示　・
		塗布工法の配合：　・製造所仕様による　・図示　・
		７．透水性アスファルト舗装
	7.2 舗装の構成及び仕上り	舗装の厚さ：　・車道部【・50mm　・　　】　・歩道部【・30mm　・　　】
		舗装の平坦性：　※著しい不陸がない程度　・水の滞留がない平滑性
		アスファルトの種類（車道部）：　・図示　※ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型　・ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅡ型　・
		アスファルトの種類（歩道部）：　・図示　※ｽﾄﾚｰﾄｱｽﾌｧﾙﾄ
		８．ブロック系舗装
	8.2 舗装の構成及び仕上り	コンクリート平板舗装の目地材：　※砂　・ﾓﾙﾀﾙ
		舗石舗装の基層及び厚さ：　・ｺﾝｸﾘｰﾄ版【厚さ：　※70mm　・図示　・　】
		・ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物【厚さ：　※50mm　・図示　・　】
		舗石舗装のクッション材：　※砂　・空練モルタル　・図示
		舗装仕上り面の平坦性：　・図示　※3mm　・1.5mm
	8.3 材　料	コンクリート平板舗装の種類／寸法：　※N300　・
		舗石の種類／寸法：　※２等品　・
		⑨. 砂利敷き
	9.2 材　料	種別（通路）：　※A種　・B種
		種別（建物周囲）：　・A種　※B種
23 植栽及び屋上緑化工事		②. 植栽基盤
	2.2 植栽基盤一般	有効土層として整備する面積／厚さ：　※表23.2.1による　・図示
		基盤浸透水排水施設の設置：　・設置する　(・)設置しない
		排水施設：　・図示　・暗渠　・開渠　・排水層　・縦穴排水　・
		植栽基盤整備工法（樹木）：　※A種　・B種　・C種　・D種
		植栽基盤整備工法（芝、地被類）：　・A種　※B種　・C種　・D種
		土壌改良の適用：　・適用する　(・)適用しない
	2.3 材　料	植込み用土：　(・)現場発生の良質土　(・)客土
		土壌改良材：　・ﾊﾞｰｸ堆肥　・発酵下水汚泥ｺﾝﾎﾟｽﾄ　・
		バーク堆肥の場合の緩効性肥料の適用：　・適用しない　・適用する；
		③ 植　樹
	3.2 材　料	樹木の樹種／寸法／株立ち数等：　(・)図示　・
		支柱材：　※丸太【・杉　・桧　・松　・　　】　・竹
		支柱材の防腐処理方法：　※加圧式防腐処理　・焼き丸太処理　・
		幹巻き用材料：　※幹巻き用ﾃｰﾌﾟ　・わら及びこも
	3.3 新植の工法	支柱の工法：　・図示　・添え柱形　(・)鳥居形　・八掛形　・
	3.4 新植樹木の枯補償	補償期間：　※引渡しの日から１年　・
	3.6 移植樹木の枯損処置	補償期間：　※同等のものを再植樹、及び撤去樹木等の処分　・図示
		４．芝張り、吹付けは種及び地被類
	4.2 材　料	芝の種類：　※ｺｳﾗｲｼﾊﾞ　・ﾉｼﾊﾞ　・
		吹付けは種用種子の種類／量：　※洋芝類（　g/m2）　・図示　・
		地被類の樹種／芽立数／コンテナ径／コンテナ数：　・図示　・
	4.3 芝張りの工法	芝張りの工法（平地）：　※目地張り　・べた張り
		芝張りの工法（法面）：　・目地張り　※べた張り
	4.7 芝張り***の枯補償	補償期間：　※引渡しの日から１年　・

章	項　目	特記事項
23 植栽及び屋上緑化工事		５．屋上緑化
	5.2 植栽基盤	◎屋上緑化システム
		土壌層の厚さ：　・
	5.3 材　料	◎屋上緑化システム
		排水層：　・軽量骨材　・板状成型品
		土壌層：　・人工軽量土　※改良土
		◎屋上緑化軽量システム
		樹木、芝及び地被類の樹種／寸法／株立ち数等：　・図示　・
		見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等：　・図示　・
	5.4 工　法	建設省告示第1458号に対応した工法：　・
		支柱の設置／形式等：　・設置しない　・設置する；
		灌水装置の設置／種類：　・設置しない　・設置する；
	5.5 新植樹木、芝及び地被類の枯補償	新植樹木の補償期間：　※引渡しの日から１年　・
		芝及び地被類の補償期間：　※引渡しの日から１年　・

指定メーカー等リスト

部　位	メーカー・品名・品種・品番	備　考
フェンス	朝日UNフェンス　同等品	
カーテン	サンゲツ　PK9190　同等品	
遮光カーテン	サンゲツ　PK9224　同等品	
キュービクルカーテン	サンゲツ　PK9009　同等品	
ワイヤーレール	荒川技研　ACS-11同等品	
掲示クロス	サンゲツ　K501-1　同等品	
タイル	名古屋モザイク　MSY-R3080 同等品	
高性能防滑性ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	サンゲツ　PM-22241　同等品	
耐汚性ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	サンゲツ　消臭レストリュームPM22446　同等品	
不燃内装羽目板　杉	Bb Wood Japan FPW00D不燃杉-FHL11010　同等品	
消火器設置台	ナスタ　KS-FEF01F-W　同等品	
インターロッキング	太平洋プレコン工業　シルキーストーン/エコプレミアム同等品	
スクールパーテーション	山金工業株式会社　YSKｳｫｰﾙ　同等品	

指定工事／業者等リスト

項　目	業者名・連絡先	備　考

施主支給品リスト

項　目	摘　要	備　考

備考				
月 日		月 日		
月 日		月 日		
月 日		月 日		

株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番 A-011
1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	伊藤　高基	図面名称	特記仕様書9	縮尺 -

改修特記仕様書

1．本特記仕様書は、本工事における建築関連工事に適用する。

2．本特記仕様書における採用事項

①．項目欄は番号等に ◯ 印を附したものを適用する。

②．項目欄に ⊙ 印を附し特記事項欄に ⊙ 印を附していない場合は標準仕様書による。

③．特記事項は ⊙ 印を附したものを適用する。但し ⊙ 印の付かない場合は※印の附した事項を採用する。

⊙ 印と ※ 印を附した場合は共に適用する。

3．本特記仕様書に記載なき事項については下記による。

⊙国土交通省大臣官房長官営繕部監修　公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和４年版

⊙国土交通省大臣官房長官営繕部監修　公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和４年版

・国土交通省大臣官房長官営繕部監修　建築物解体工事共通仕様書　令和４年版

・

4．その他事項

・各項目欄の番号(例：1.4 ○○○）は標準仕様書の番号（章番号を除く）に照合する

・各項目欄の番号(例：表○．○．○、及び図○．○．○)は標準仕様書の各表、及び図番号に該当する項目とする

・各項目欄の番号(例：●公○章***、公***、●公***）は公共建築工事標準仕様書の各項目に相当する

・各項目欄の番号(例：1.＊ ○○○）は標準仕様書の番号（章番号を除く）に該当しない項目とする

章	項　目	特記事項
①章 各章共通事項	1.④工事実績情報登録	(CORINS)への登録：⊙行う　・行わない
	1.＊ 建築基準法の風圧	基準風速：　・Ｖｏ＝３４(m/s)　平成12年建告第1454号第2
	・積雪に関する規定	地表面粗度区分：　・Ⅰ　・Ⅱ　・Ⅲ　・Ⅳ
		積雪区分：　・区域=(32)／α=0.0009／β=0.00／γ=0.21／R=0
		平成12年建告第1445号　別表
	2.④ 工事の記録等	工事報告書の書式等：⊙協議により決定　・指定の書式　・任意の書式　・
	3.③ 電気保安技術者	技術者の配置：⊙配置する（⊙常駐　・非常駐）　・配置しない
	3.⑨ 施工条件	施工順序等の制約：　・無し　⊙有り【・現場説明書による　・図示　⊙使いながら工事(仮設計画図参照)】
		工事車両の駐車場所：　・図示　⊙現場説明書による　・
		資材、機材置場　：　・図示　⊙現場説明書による　・
		発生土仮置場　：　・図示　⊙現場説明書による　・
		その他の施工条件　：　・図示　⊙現場説明書による　・
	3.⑫ 発生材の処理等	発注者への引渡発生材：　※金属類及びPCB含有物　・図示
		特別管理産業廃棄物の有無：　・無し　⊙有り【分類；　・図示　・　　】
		発生材のリサイクル：　・図示　・
		ひ素・カドミウム含有せっこうボードの処理：
		・製造業者処分委託　⊙管理型最終処分場埋立処分
		石綿・ひ素・カドミウム非含有せっこうボードの処理：
		⊙管理型最終処分場埋立処理　・再資源化施設での再資源化
		ＰＣＢ含有シーリングの調査方法：　・図示　・
		ＰＣＢ含有シーリングの撤去方法：　・図示　・
		特別管理産業廃棄物の分析調査：⊙行わない　・行う
	④＊ 使用材料	⊙仮設材以外の全ての建築材料（仕上材、下地材、副資材）のホルムアルデヒド放散量はＪＩＳ等の材料規格において放散量が規定されている場合は原則としてＦ☆☆☆☆とする。但し使用予定材料にＦ☆☆☆☆が存在しない場合は監督員と協議のうえ決定する。
	5.1 事前調査	調査範囲：　・図示　・
		既存設計図書の貸与：　・貸与する　・貸与しない
		石綿含有建材の調査報告書の貸与：　・貸与する　・貸与しない
		石綿含有建材の分析調査：　・行う【　・定性分析　・定量分析　】　・行わない
	6.2 施工数量調査	調査範囲：　・図示　⊙内外壁、屋根を含む既存躯体の補修数量調査
		調査方法：　・非破壊検査　・破壊検査　⊙内外装の解体後に行う
	6.3 調査のための破壊部分の補修	補修方法：⊙破壊検査後の復旧に関しては監督員と協議の上決定する
		・図示　・
	7.5 施工の検査等	見本施工の実施：⊙実施しない　・実施する【実施箇所等：　・図示　・　　】
	7.⑨ 化学物質の濃度測定	濃度測定：　・未実施　⊙実施
		化学物質濃度を下記のとおり測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し報告すること。
		測定対象物質：　・ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ・ﾄﾙｴﾝ・ｷｼﾚﾝ・ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ・ｽﾁﾚﾝ・ﾊﾟﾗｼﾞｸﾛﾛﾍﾞﾝｾﾞﾝ
		測定方法：　・簡易法　・パッシブ型採取機器　・測定バッジ；
		測定対象室：　・図示　・
		測定箇所数：　・図示　・　箇所
		・厚生労働省の標準的測定方法による場合の測定者は、環境計量証明事業所として登録を行っている者、又は作業環境測定事業所の有機溶剤の登録を行っている者とする。
	8.2 技術検査	中間技術検査の実施：⊙実施しない　・実施する【実施箇所等：　・図示　・　　】
	9.1 完成時の提出図書	完成図　　：⊙必要　・不要
		保全に関する資料：⊙必要　・不要
		提出部数：　※各２部　・　部
	9.2 完成図	種類：　※表1.9.1　・一般図　⊙実施設計竣工図一式　⊙施工承認図　・
		記入内容：　※表1.9.1　・図示　・
		提出要領：⊙データ形式【　・ＣＡＤ　・ＰＤＦ　⊙ＣＡＤデータ(DXF形式,オリジナル形式,PDF形式)
		⊙Ａ３原稿２つ折り製本　３部
		⊙Ａ１原稿２つ折り製本　１部

章	項　目	特記事項
②章 仮設工事	1.③騒音・粉じん等の対策	騒音・粉じん等の対策：　・防音パネル　⊙防音シート
		防音パネル等の設置範囲：　・図示　・
	2.① 足場等	内部足場の種別：⊙脚立　⊙足場板　⊙ﾛｰﾘﾝｸﾞﾀﾜｰ　・
		外部足場の設置、種別：　・設置しない　⊙設置する【⊙枠組足場　・単管足場　・　】
		保護シートの設置：⊙設置する　・設置しない
		材料等の運搬方法：⊙A種　⊙B種　⊙C種　⊙D種　⊙E種
	3.① 既存部分の養生	既存部分養生材料：　・ﾋﾞﾆｰﾙｼｰﾄ　⊙その他：施工者にて適材適所を選択する
		既存家具養生材料：　・ﾋﾞﾆｰﾙｼｰﾄ　⊙その他：施工者にて適材適所を選択する
		既存ブラインド、カーテンの養生方法：
		・指定場所に保管し再設置　・指定場所に保管し清掃の上再設置　・
	3.② 仮設間仕切り	仮設間仕切り：　・無し　⊙有り
		設置箇所：⊙図示　・
		種　別：　・A種　・B種　・C種
		仮設扉：　・不要　⊙必要【設置箇所：⊙図示　・任意の場所　・　　】
		仮設扉の種別：　・鋼製　⊙木製　・図示　・
	4.① 監督職員事務所等	監督職員事務所の設置：⊙必要　・不要
		◎監督員事務所の規模、設備、備品等
		・（　）号（会議室（１５）m^2 を含む）
		・（　）号に会議室（　　）m^2 を加えた規模
		・専用電話　・兼用FAX　⊙冷暖房機　⊙机　⊙椅子　⊙書棚　・検査用具　・その他；
		受注者事務所の設置：⊙必要　・不要
		◎受注者事務所の規模、設備、備品等
		・（　）号（会議室（　　）m^2 を含む）
		・（　）号に会議室（　　）m^2 を加えた規模
		⊙専用電話　⊙兼用FAX　⊙冷暖房機　⊙机　⊙椅子　⊙書棚　⊙検査用具　⊙その他：Wi-Fi
	4.＊ 工事用水及び電力	構内既存の用水施設：⊙利用できない　・利用できる（・有償　・無償）
		構内既存の電力施設：⊙利用できない　・利用できる（・有償　・無償）
		・動力以外利用できる（・有償　・無償）
③章 防水改修工事		①　共通事項
	1.① 一般事項	防水工事の保証書の提出及び保証年限
		⊙保証年限10年；ｱｽﾌｧﾙﾄ防水　⊙合成高分子ﾙｰﾌｨﾝｸﾞ防水　⊙塗膜防水
		・保証年限５年；塗膜防水　・その他；
		＜保証書（請負人、材料製造所、防水施工者の連帯保証）は各２通提出する．防水施工者は、防水材料製造所の施工者とし、監督員の承諾を受ける＞
	1.③ 施工一般	降雨等による養生方法：　※標準仕様書による　・図示　・
		◎防水改修工法の種類
	1.④ 改修工法の種類及び工程	

施工部位	工法の種類	備考(特記工程)
⊙屋上防水	SI-M2工法	

◎シーリング改修工法の種類

施工部位	工法の種類	備　考
⊙外壁ｺﾝｸﾘｰﾄ打継目地	ｼｰﾘﾝｸﾞ充填工法	
・外壁ｺﾝｸﾘｰﾄ誘発目地	ｼｰﾘﾝｸﾞ再充填工法	
・外壁開口部建具廻り目地	拡幅 ｼｰﾘﾝｸﾞ再充填工法	
・ｴｯｼﾞﾝｸﾞ材の取付、撤去	ﾌﾞﾘｯｼﾞ工法	

②　既存防水層等の撤去及び既存下地の処理

章	項　目	特記事項
	2.⑤ ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ回りの処理	２重ドレンの設置：⊙行わない　・行う（施工箇所；
	2.⑥ 既存下地の処理	補修箇所の形状、長さ、数量等：　・下表による　・図示　⊙躯体補修による

施工部位	形状・長さ数量等	備　考
・脆弱部の補修	m^2	
・既存目地の欠損部補修	m	
・欠損部の補修	m^2	
・防水層表面の仕上げ塗装の除去	m^2	

章	項　目	特記事項
		既存防水層表面の仕上げ塗装の除去：⊙行わない　・行う
		立上り防水層の処置：
		⊙撤去する　・撤去しない【補修方法：　・標準仕様書3.2.6(4)による）　・図示】
		設備架台等防水層取り合い部の処置：⊙協議による　・図示　・
		３．アスファルト防水
	3.2 材　料	改質アスファルトルーフィングシートの種別・厚さ：
		※表3.3.3～3.3.9による　・製造所仕様による
		部分粘着層付改質アスファルトルーフィングの種別・厚さ：
		※表3.3.3～3.3.9による　・製造所仕様による
	3.2 材　料	防水押え金物：　・製造所推奨の金物　※Al製L-30x15x2.0程度
		保護防水断熱工法の断熱材の材質：　・図示　・製造所仕様による
		保護防水断熱工法の断熱材の厚さ：　・図示　・50mm　・35mm　・
		露出防水断熱工法の断熱材の材質：　・図示　・製造所仕様による
		露出防水断熱工法の断熱材の厚さ：　・図示　・50mm　・35mm　・
		絶縁シートの材料の指定：　※標準仕様書による　・製造所仕様による
		保護コンクリートの設計基準強度：　※18N/mm2　・21N/mm2　・
		保護コンクリートのスランプ：　※18cm　・15cm　・
		防水層立上り部の保護の種類：　・乾式保護【・押出成形ｾﾒﾝﾄ板　・図示　　】
		・湿式保護【・ﾓﾙﾀﾙ　・普通れんが(JIS R 1250)　・図示　　】
	3.3 種別及び工程	◎屋根保護防水
		防水立上りの保護コンクリートの適用：　・適用しない　・適用する
		防水立上りの保護コンクリートの工法：　・図示　・

施工部位	工法／種別	備　考
・PHR階屋上	・P1B／・B-1　・B-2	
・R階屋上	・P1BI／・BI-1　・BI-2	断熱材：t=
	・T1BI／・BI-1　・BI-2　・BI-3	断熱材：t=
	・P2AI／・AI-1　・AI-2　・AI-3	断熱材：t=
	・P2A／・A-1　・A-2　・A-3	

◎屋根露出防水

施工部位	工法／種別	備　考
・PHR階屋上	・M4C／・C-1　・C-2　・C-3　・C-4	仕上塗料；
・R階屋上	・M3D／・D-1　・D-2	仕上塗料；
	・POD／・D-1　・D-2	仕上塗料；

◇M3D工法及びPOD工法の脱気装置

脱気装置の種類：　※製造所仕様による　・図示　・

脱気装置の設置数量：　※製造所仕様による　・図示　・

◎屋根露出防水絶縁断熱工法

施工部位	工法／種別	備　考
・PHR階屋上	・PODI／・DI-1　・DI-2	仕上塗料；
・R階屋上	・M3DI／・DI-1　・DI-2	仕上塗料；
	・M4DI／・DI-1　・DI-2	仕上塗料；

脱気装置の種類：　※製造所仕様による　・図示　・

脱気装置の設置数量：　※製造所仕様による　・図示　・

◎屋内防水

施工部位	工法／種別	備　考
・浴室	・P1E／・E-1　・E-2	保護層：普通ｺﾝｸﾘｰﾄ
・機械室	・P2E／・E-1　・E-2	保護層：軽量ｺﾝｸﾘｰﾄ
		保護層：ﾓﾙﾀﾙﾓﾙﾓ=30

章	項　目	特記事項
	3.4 施　工	ルーフドレン廻りの断熱材の張仕舞い位置：　・製造ﾒｰｶｰ推奨による　・図示
	3.5 保護層等の施工	保護層のコンクリートの厚さ：　・100mm　※80mm　※60mm　・図示　・
		床面コンクリートの平坦さ：　表8.1.5【・a種　・b種　・c種】
		防水立上がり部の保護：　・露出　・ｺﾝｸﾘｰﾄ　・ﾚﾝｶﾞ押え　・乾式保護材；
		屋上排水溝：　・設置する　・設置しない
		４．改質アスファルトシート防水
	4.2 材　料	改質アスファルトシートの種別・厚さ：　※表3.4.1～3.4.3による　・製造所仕様による
		粘着層付改質アスファルトシートの種別・厚さ：　※表3.4.1～3.4.3による　・製造所仕様による
		露出防水断熱工法の断熱材の材質：　・図示　・製造所仕様による
		露出防水断熱工法の断熱材の厚さ：　・図示　・50mm　・35mm　・
	4.3 種別及び工法	◎屋根露出防水密着工法

施工部位	工法／種別	備　考
・PHR階屋上	・M4AS／・AS-T1・AS-T2・AS-J2	
・R階屋上		

◎屋根露出防水絶縁工法

施工部位	工法／種別	備　考
・PHR階屋上	・M3AS／・AS-T3・AS-T4・AS-J1・AS-J3	脱気装置：・設置
・R階屋上	・POAS／・AS-T3・AS-T4・AS-J1・AS-J3	脱気装置：・設置

◎屋根露出防水絶縁断熱工法

施工部位	工法／種別	備　考
・PHR階屋上	・M3ASI／・ASI-T1　・ASI-J1	防湿層：・設置 脱気装置：・設置
・R階屋上	・M4ASI／・ASI-T1　・ASI-J1	防湿層：・設置 脱気装置：・設置
	・POASI／・ASI-T1　・ASI-J1	防湿層：・設置 脱気装置：・設置

備考				
月日		月日		
月日		月日		
月日		月日		

株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-012
1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	伊藤　高基	図面名称	改修特記仕様書1	縮尺	-

章	項目	特記事項

③章 防水改修工事

⑤ 合成高分子系ルーフィングシート防水

5.②材 料
ルーフィングシートの種類・厚さ： ※表3.5.1～3.5.3による ・
絶縁用シート： ※発泡ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰﾄ ・図示 (・)製造所仕様による
固定金具の材質： ・ｽﾃﾝﾚｽ ・亜鉛めっき鋼板 ・図示 (・)製造所仕様による
機械固定工法の断熱材の材質： ・図示 (・)製造所仕様による
機械固定工法の断熱材の厚さ： (・)図示 ・50mm ・35mm ・
接着工法の断熱材の材質： ・図示 ・製造所仕様による
接着工法の断熱材の厚さ： ・図示 ・50mm ・35mm ・

5.③種別及び工程

工法種別	種類／種別	厚さ(mm)
S-M2(SI-M2)	・ｴﾁﾚﾝ酢酸ﾋﾞﾆﾙ樹脂系／(・)均質ｼｰﾄ	・1.2 ※1.5 ・2.0

施工部位	工法／種別	備 考
・屋根	・S3S ・S3SI／ ・S-F1 ・SI-F1	
	・M4S ・M4SI／ ・S-M1 ・SI-M1	
	・S-M2 (・)SI-M2	
	・P1S／・S-C1	
・屋根(屋内運動場)	・アルミカバー工法 JIS G 3321	

脱気装置：・設置
断熱材の種類： ・押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ3種B(ｽｷﾝ付) ・図示 (・)製造所仕様による
断熱工法の断熱材の厚さ： ・25mm (・)35mm ・50mm (・)図示

5.④施 工
目地処理（防水種別S-C1の場合）：
PCｺﾝｸﾘｰﾄ下地の場合： ・図示 ・
ALCﾊﾟﾈﾙ下地の場合： ・図示 ・
入隅部の増張り（防水種別S-C1の場合）：
PCｺﾝｸﾘｰﾄ下地の場合： ・図示 ・
ALCﾊﾟﾈﾙ下地の場合： ・図示 ・
機械的固定工法の場合の風圧力に対応した工法： (・)製造所仕様による ・
保護層の施工（防水種別S-C1の場合）：
平場のﾓﾙﾀﾙ床塗り厚さ： ・30mm ・
平場のｺﾝｸﾘｰﾄの厚さ： ・60mm ・80mm ・
立上りのﾓﾙﾀﾙ塗りの厚さ： ※7mm以下 ・

⑥ 塗膜防水

6.③種別及び工程

施工部位	工法／種別	備 考
(・)屋根	・L4X／・X-1 (・)X-2 ・X-1H ・X-2H	脱気装置：・設置
	・P1Y／Y-2 ・P2Y／Y-2	

仕上塗装の種類： (・)製造所仕様による ・遮熱塗料 ・
仕上塗装の使用量： ・
◎脱気装置
種 類 ： ※製造所指定 ・
設置数量： ※製造所指定 ・
保護層： ・設置する (・)設置しない

⑦ シーリング

7.②材 料
種類及び施工箇所： (・)種類は表3.7.1により施工箇所は下表による
ノンブリードタイプシーリング材の適用： ※使用する ・使用しない
施工箇所： (・)ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系ｼｰﾘﾝｸﾞで仕上げありの部位 ・

7.③目地寸法

施工部位	シーリング材の種類	目地寸法(mm)	保証年限
(・)各階打継部分	※表3.7.1による	15(W)x10(D)	3 年
(・)ﾀｲﾙ伸縮目地		15(W)x10(D)	年
(・)ｶﾞﾗｽ止め付け		5(W)x 5(D)	年
(・)ｻｯｼ廻り		20(W)x10(D)	年
(・)ALC周り			年

7.⑧ｼｰﾘﾝｸﾞ材の試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験
7.⑨保証年限 シーリング保証書： (・)提出する ・提出しない
(・)保証書（請負人、材料製造所、ｼｰﾘﾝｸﾞ施工者連帯保証）は各２通提出すること。

⑧. とい

8.②材 料
軒どいの材種： ・ｱｽﾌｧﾙﾄ被覆鋼板 (・)耐候性被覆鋼板 ・
縦どいの材種： ・配管用鋼管 (・)塩化ﾋﾞﾆﾙ管 【(・)ｶﾗｰVP ・VP ・ｶﾗｰVU ・ 】
掃除口： (・)有 ・無
飾り桝： ・塩ビ製 (・)銅板製 ・
とい受け金物及び足金物の材質： ※表3.8.2 ・図示
軒樋の取付間隔： ※表3.8.2 ・0.9m ・1.2m
竪樋の取付間隔： ※表3.8.2 ・1.2m ・1.5m ・図示
ルーフドレイン： ・ｽﾃﾝﾚｽ製 (・)鋳鉄製 ・ｱﾙﾐﾆｳﾑ製
既存といの撤去及び降雨時の養生： (・)仮設のといを設置する ・図示 ・
鋼管製といの防露巻き： ・行う (・)行わない
施工箇所： ※表3.8.4による ・図示
ルーフドレンの取替え： ・行わない (・)行う 【(・)3.8.3(8)による ・ 】

9．アルミニウム製笠木

9.2 材 料

施工部位	工法／種別	備 考
2Fﾊﾞﾗﾍﾟｯﾄ	・250形 ・300形 ・350形	折曲げ形状は図示
RFﾊﾞﾗﾍﾟｯﾄ	・ｵｰﾌﾞﾝ形式 ・ｼｰﾙ形式	折曲げ形状は図示

9.3 工 法
アルミニウム製笠木の厚み： ※2.0mm ・
笠木本体の表面処理： ・AB-1 ・AB-2 ・AC-1 ・BA-1 ・BB-1 ・BC-1 ・C
新規笠木の下地及び撤去後の補修： ・
板材折曲げ型笠木の取付方法： ・図示 ・

④章 外壁改修工事

① 共通事項

1.④改修工法の種類
◎コンクリート打放し仕上げ外壁
ひび割れ部改修工法の種類： ・樹脂注入工法 ・Uｶｯﾄｼｰﾙ材充填工法 ・ｼｰﾙ工法
欠損部改修工法の種類： ※充填工法 ・
◎モルタル塗り仕上げ外壁
ひび割れ部改修工法の種類： ・樹脂注入工法 ・Uｶｯﾄｼｰﾙ材充填工法 ・ｼｰﾙ工法
欠損部改修工法の種類： ・充填工法 ・ﾓﾙﾀﾙ塗替え工法
浮き部改修工法の種類：
・ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 ・ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法
・ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ樹脂注入工法 ・注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法
・注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 ・注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ樹脂注入工法
・充填工法 ・ﾓﾙﾀﾙ塗り替え工法
◎タイル張り仕上げ外壁
欠損部改修工法の種類： ・ﾀｲﾙ部分張替え工法 ・ﾀｲﾙ貼り替え工法
浮き部改修工法の種類：
・ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 ・ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法
・ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ樹脂注入工法 ・注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法
・注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 ・注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ樹脂注入工法
・注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞｴﾎﾟｷｼ樹脂注入ﾀｲﾙ固定工法 ・ﾀｲﾙ部分張替え工法 ・ﾀｲﾙ貼り替え工法
目地改修工法の種類： ・目地ひび割れ部改修工法 ・伸縮目地改修工法

1.⑤改修後の塗仕上げの種類
◎塗り仕上げ外壁
新規仕上げの種類：
・簿付け仕上塗材塗り ・厚付け仕上塗材塗り ・複層仕上塗材塗り
・可とう形改修用仕上塗材塗り (・)各種塗料塗り ・マスチック塗材塗り

2．コンクリート打放し仕上げ外壁の改修

2.④材 料
樹脂注入工法のエポキシ樹脂： ・低粘度形 ・中粘度形
Uカットシール材充填工法用材料：
・ｼｰﾘﾝｸﾞ材【※1成分形ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系 ※2成分形ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系 ・ 】
・可とう性ｴﾎﾟｷｼ樹脂 ・ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ
シール工法用材料： ・ﾊﾟﾃ状ｴﾎﾟｷｼ樹脂 ・可とう性ｴﾎﾟｷｼ樹脂
充填工法用材料： ・ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ ・ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ

2.⑤樹脂注入工法
注入工法の種類： ※自動式低圧ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 ・手動式ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法
・機械式ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 ・
◎自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
注入間隔： ※200～300mm ・300～400mm ・
注入量： ・約 cc/m
◎手動式エポキシ樹脂注入工法
注入間隔： ・200～300mm ・300～400mm ・
◎機械式エポキシ樹脂注入工法
注入間隔： ・200～300mm ・300～400mm ・
コア抜取り検査： ・行わない ・行う【個数： ※１個／500m ・ 】
コア抜き取り部の補修方法： ・ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ充填 ・ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ充填 ・

2.⑥Uｶｯﾄｼｰﾙ材充填工法
◎充填
充填材： ・ｼｰﾘﾝｸﾞ用材充填 ・ｼｰﾘﾝｸﾞ材の上にﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄ充填
・可とう性ｴﾎﾟｷｼ樹脂充填 ・

④章 外壁改修工事

③ モルタル塗り仕上げ外壁の改修

3.⑨材 料
モルタル塗替え工法用材料： ・現場調合ﾓﾙﾀﾙ (・)既調合ﾓﾙﾀﾙ
アンカーピンニング（注入口付アンカーピンニング）注入工法用材料：
ポリマーセメントスラリー： ・図示 ・
アンカーピンの材質： ※ｽﾃﾝﾚｽ鋼(SUS304・φ4mm・全ﾈｼﾞ) ・図示 ・
注入口付アンカーピンの材質： ※ｽﾃﾝﾚｽ鋼(SUS304・φ6mm) ・図示 ・

3.⑩樹脂注入工法
◎自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
注入間隔： ※200～300mm ・300～400mm ・
注入量： ・約 cc/m
◎手動式エポキシ樹脂注入工法
注入間隔： ・200～300mm ・300～400mm ・
◎機械式エポキシ樹脂注入工法
注入間隔： ・200～300mm ・300～400mm ・
コア抜取り検査： ・行わない ・行う【個数： ※１個／500m ・ 】
コア抜き取り部の補修方法： ・ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ充填 ・ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ充填 ・

3.⑪Uｶｯﾄｼｰﾙ材充填工法
◎充填
充填材： ・ｼｰﾘﾝｸﾞ用材充填 ・ｼｰﾘﾝｸﾞ材の上にﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄ充填
・可とう性ｴﾎﾟｷｼ樹脂充填 ・

3.⑫ﾓﾙﾀﾙ塗替え工法
塗り厚が25mmを超える場合： ・図示 ・

3.11～3.16 ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ***工法
◎アンカーピンニング工法

工法名称	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ(本/㎡) 一般部分	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ(本/㎡) 指定部分	注入孔数(箇所/㎡) 一般部分	注入孔数(箇所/㎡) 指定部分	１箇所当り充填量(cc)
・ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	16	25	16	25	※25
・ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	13	20	12	20	※25
・ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ樹脂注入工法	13	20	12	20	※50
・注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	※9	※16	9	16	※25
・注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25
・注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ樹脂注入工法	9	16	9	16	※50

4．タイル張り仕上げ外壁の改修

4.5 材 料
タイル張替え用接着剤： ・ｴﾎﾟｷｼ樹脂系 ※変成ｼﾘｺｰﾝ樹脂系 ・
タイルの種類： ・図示 ・下表による ・

施工箇所	形式・形状寸法(mm)	用途による区分	耐凍害性 有	耐凍害性 無	色 標準	色 特注	釉薬 施釉	釉薬 無釉	備 考
			・	・	・	・	・	・	・役物
			・	・	・	・	・	・	・役物
			・	・	・	・	・	・	・役物

タイル張付けモルタル： ・現場調合ﾓﾙﾀﾙ ・既調合ﾓﾙﾀﾙ ・
シーリング材： ※標準仕様書に準ずる ・

4.6 樹脂注入工法
注入工法の種類： ・自動式低圧ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 ・手動式ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法
注入工法の種類： ※自動式低圧ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 ・手動式ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法
・機械式ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 ・
◎自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
注入間隔： ※200～300mm ・300～400mm ・
注入量： ・約 cc/m
◎手動式エポキシ樹脂注入工法
注入間隔： ・200～300mm ・300～400mm ・
◎機械式エポキシ樹脂注入工法
注入間隔： ・200～300mm ・300～400mm ・
コア抜取り検査： ・行わない ・行う【個数： ※１個／500m ・ 】

4.7 ﾀｲﾙ部分張替え工法
部分張替え面積の程度： ※0.25㎡程度以下 ・0.30㎡程度以下

4.8 ﾀｲﾙ張替え工法
伸縮調整目地の位置： ※表4.4.2による ・図示 ・
誘発目地の位置： ※表4.4.2による ・図示 ・
タイルの見本焼き： ・行わない ・行う
タイルの試験張り： ・行わない ・行う
◎セメントモルタルによるタイル張り
下地モルタル塗りコンクリート素地面処理： ・素肌 ・目荒し工法
タイル下地モルタルの接着力試験： ・行う ・行わない

施工部位	工法	接着力試験
	・密着張り ・改良圧着張り	・行う ・行わない
	・ﾏｽｸ張り ・ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ張り	

◎有機系接着剤によるタイル張り
下地調整塗材塗りコンクリート素地面処理： ・素肌 ・目荒し工法
下地調整塗材塗りの接着力試験： ・行う ・行わない

章	項目	特記事項
④章 外壁改修工事	4.9～4.15 ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ***工法	◎アンカーピンニング等工法

工法名称	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ(本/㎡) 一般部分	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ(本/㎡) 指定部分	注入孔数(箇所/㎡) 一般部分	注入孔数(箇所/㎡) 指定部分	1箇所当り充填量(cc)
・ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	16	25	16	25	※25
・ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	13	20	12	20	※25
・ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ樹脂注入工法	13	20	12	20	※50
・注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	※9	※16	9	16	※25
・注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25
・注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ樹脂注入工法	9	16	9	16	※50
・注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入ﾀｲﾙ固定工法					

指定部分：見上げ部、庇の鼻先、まぐさ隅部

	4.16 目地改修工法	伸縮調整目地の位置： ※表4.4.2による ・図示 ・
		⑤ 塗り仕上げ外壁等の改修
	5.2 材 料	◎薄付仕上塗材の施工箇所： ・図示 ・
		材料の防火指定： ・無 ・有（

種類（呼び名）	仕上げの形状	工 法
・外装薄塗材Ｓｉ	・砂壁状・ゆず肌状	吹付け
	・ゆず肌状・さざ波状	ﾛｰﾗｰ塗り
・可とう形外装薄塗材Ｓｉ	・砂壁状・ゆず肌状	吹付け
	・ゆず肌状・さざ波状	ﾛｰﾗｰ塗り
・外装薄塗材Ｅ	・砂壁状・ゆず肌状・着色骨材砂壁状	吹付け
	・平たん状・凹凸状・着色骨材砂壁状	こて塗り
	・ゆず肌状・さざ波状	ﾛｰﾗｰ塗り
・可とう形外装薄塗材Ｅ	・砂壁状・ゆず肌状	吹付け
	・平たん状・凹凸状	こて塗り
	・ゆず肌状・さざ波状	ﾛｰﾗｰ塗り
・防水形外装薄塗材Ｅ	・ゆず肌状・さざ波状	ﾛｰﾗｰ塗り
	・凹凸状	吹付け
・外装薄塗材Ｓ	・砂壁状	吹付け

◎厚付仕上塗材の施工箇所： ・図示 ・

材料の防火指定： ・無 ・有（

種類（呼び名）	仕上げの形状	工 法
・外装厚塗材Ｃ	・吹放し・凸部処理	吹付け
	・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し	こて塗り
・外装厚塗材Ｓｉ	・吹放し・凸部処理	吹付け
・外装厚塗材Ｅ	・平たん状・凹凸状・ひき起し	こて塗り

◎複層仕上塗材の施工箇所： ・図示 ・

材料の防火指定： ・無 ・有（不燃認定品

種類（呼び名）	仕上げの形状	工 法
・複層塗材ＣＥ	・凸部処理・凹凸模様	吹付け
・複層塗材Ｓｉ	・ゆず肌状	ﾛｰﾗｰ塗り
・複層塗材Ｅ		
・複層塗材ＲＥ		
・可とう形複層塗材ＣＥ	・凸部処理・凹凸模様	吹付け
	・ゆず肌状	ﾛｰﾗｰ塗り
		吹付け
		ﾛｰﾗｰ塗り
・防水形複層塗材ＣＥ	・凸部処理・凹凸模様	吹付け
・防水形複層塗材Ｅ	・ゆず肌状	ﾛｰﾗｰ塗り
・防水形複層塗材ＲＥ		

◎可とう形改修塗材の施工箇所： ・図示 ・

材料の防火指定： ・無 ・有（不燃認定品

種類（呼び名）	仕上げの形状	工 法
・可とう形改修塗材Ｅ	・平たん状	ﾛｰﾗｰ塗り
・可とう形改修塗材ＲＥ	・さざ波状	ﾛｰﾗｰ塗り
・可とう形改修塗材ＣＥ	・ゆず肌状	吹付け
・複層塗材ＲＥ		

耐候性： ・耐候形3種 ・

上塗材溶媒： ・溶剤系 ・弱溶剤系 ・水系 ・

上塗材樹脂： ・ｱｸﾘﾙ系 ・ｼﾘｶ系 ・ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系 ・ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ系 ・ふっ素系

上塗材外観： ・つやあり ・つやなし ・ﾒﾀﾘｯｸ ・

防水形の増塗材の適用： ・する ・しない

施工範囲	工法／種別	備 考
	・ｻﾝﾀﾞｰ工法	
	・高圧水洗工法	
	・塗膜はく離剤工法	
	・水洗い工法	

章	項目	特記事項
④章 外壁改修工事	6.2 材料及び工法	６．マスチック塗材塗り仕上げ外壁等の改修
		種別： ・A種 ・B種
		７．外壁用塗膜防水剤による改修

・外壁用塗膜防水材	・凸部処理・凹凸模様	吹付け
	・ゆず肌状・さざ波状	ﾛｰﾗｰ塗り

	7.2 材 料	耐候性： ・耐候形3種 ・
	7.3 施工一般	下地挙動緩衝材の使用： ・使用しない ・使用する（ ）
⑤章 建具改修工事		① 共通事項
	1.3 改修工法	工法： ・かぶせ工法 ・撤去工法 ・
		新規建具用開口部の補強方法： ・図示 ・
		新規建具用開口部の範囲： ・図示 ・
	1.4 防火戸	防火戸の指定： ・図示 ・
		・防火戸等の自動閉鎖装置は、日本建築センター評定品とする。
	1.5 見本の制作等	建具見本の制作： ・必要 ・不要
		仮組の実施 ： ・行う ・行わない
		防犯建物部品の適用： ・図示 ・適用 ・適用しない
	1.6 取付け調整等	ブラインドボックス等の再利用： ・再利用する ・撤去処分
		② アルミニウム製建具

種 別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法（mm）
・A種	S-4	A-3	W-4	70
・B種	S-5			
・C種	S-6	A-4	W-5	100

	2.2 性能及び構造	防音ドアセット、サッシの適用： ・適用 ・適用しない ・図示
		遮音性の等級： ・T-1 ・T-2 ・T-3 ・T-4
		断熱ドアセット、サッシの適用： ・適用 ・適用しない ・図示
		断熱性の等級： ・H-1 ・H-2 ・H-3 ・H-4 ・H-5
	2.3 材 料	防虫網の適用： ・適用 ・適用しない ・図示
		網の材種： ※合成樹脂製 ・ｽﾃﾝﾚｽ製 ・ｶﾞﾗｽ繊維入り合成樹脂製
		形式 ： ・外面納まり可動式 ・外面納まり固定式
	2.4 形状及び仕上げ	建具枠の見込： ・図示 ・70 ・100 ・
		外部に面する建具の表面処理： ・AB-1種 ・AB-2種 ・AC-1種 ・AC-2種 ・図示
		・BA-1種 ・BA-2種 ・BB-1種 ・BB-2種
		屋内の建具の表面処理 ： ・BC-1種 ・BC-2種 ・C種 ・図示
		表面色： ・標準色 ・特注色
		引違い建具落下防止機構： ・採用する ・採用しない
	2.5 工 法	結露水の処理方法： ・メーカー仕様による
		水切り板： ・取付ける ・取付けない ・図示
		ぜん板 ： ・取付ける ・取付けない ・図示
		３．樹脂製建具

種 別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法（mm）
・A種	S-4	A-4	W-4	70
・B種	S-5		W-5	
・C種	S-6			

	3.2 性能及び構造	防音ドアセット、サッシの適用： ・適用 ・適用しない ・図示
		遮音性の種別： ・T-1 ・T-2
		断熱ドアセット、サッシの適用： ・適用 ・適用しない ・図示
		断熱性の種別： ・H-4 ・H-5 ・H-6 ・H-7 ・H-8
	3.3 材 料	ガラスの形式： ・複層ｶﾞﾗｽ ・単層ｶﾞﾗｽ ・三重ｶﾞﾗｽ ・
	3.4 形状及び仕上げ	建具の表面色： ・標準色 ・特注色
	3.5 工 法	水切り板： ・取付ける ・取付けない
		ぜん板 ： ・取付ける ・取付けない
		④ 鋼製建具
	4.2 性能及び構造	性能及び構造： ※JIS規格による ・
		外部に面する鋼製建具の耐風圧性能： ・S-4 ・S-5 ・S-6 ・
		耐震ドアセットの適用： ・適用 ・適用しない ・図示
		面内変形追随性の等級： ・D-1 ・D-2 ・D-3
	4.3 材 料	点検口のくつずり： ・ｽﾃﾝﾚｽ製 ・ｽﾁｰﾙ製 ・
	4.4 形状及び仕上げ	鋼板類の厚さ： ※表5.4.2による ・図示 ・
		鋼板類の厚さ(W>950mm,H>2,100mmの場合)： ・図示 ・製造所仕様による
		防音ドアセット、サッシの適用： ・適用 ・適用しない ・図示
		遮音性の等級： ・T-1 ・T-2 ・T-3 ・T-4
		ガラス溝の大きさ： ※製造所仕様による ・図示
		くつずりの仕上げ： ・ｽﾃﾝﾚｽ製【 ・HL ・2B ・ 】 ・枠と同等の塗装 ・亜鉛めっき処理
⑤章 建具改修工事		⑤ 鋼製軽量建具
	5.2 性能及び構造	性能及び構造： ※JIS規格による ・
		耐震ドアセットの適用： ・適用 ・適用しない ・図示
		面内変形追随性の等級： ・D-1 ・D-2 ・D-3
		簡易気密型ドアセットの適用： ・適用 ・適用しない ・図示
		気密性： ・A-1 ・A-2 ※A-3
		水密性： ・W-1 ・
	5.3 材 料	鋼板の種別： ・ﾋﾞﾆﾙ被覆鋼板 ・ｶﾗｰ鋼板 ・ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 ・図示
		召合わせ、縦小口包み板等の材質： ※鋼板 ・ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 ・ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金押出形材
		ステンレス鋼鈑の材質： ※SUS304,430J1L,430 ・SUS304 ・SUS430 ・
		⑥ ステンレス製建具
	6.3 材 料	性能及び構造： ※JIS規格による ・
		ステンレス鋼鈑の材質： ※SUS304,430J1L,430 ・SUS304 ・SUS430 ・
	6.4 形状及び仕上げ	表面仕上げ： ※HL ・鏡面 ・ﾊﾞﾌ（ ） ・
	6.5 工 法	曲げ加工： ・普通曲げ ・角出し曲げ
		７．木製建具
	7.2 材 料	建具材の加工、組立て時の含水率の種別： ※A種 ・B種
		・フラッシュ戸の心材の中骨、上下桟及び中桟には空気穴を適正に設ける。
		合板類の適用： ・適用 ・適用しない ・図示
		種類： ・ﾗﾜﾝ合板 ・ｼﾅ合板 ・図示 ・
		かまち戸の樹種： ・桧 ・ﾅﾗ ・ﾗﾜﾝ
		鏡板の樹種： ・杉 ・桧 ・ｹﾔｷ ・ﾅﾗ ・ﾗﾜﾝ
		ふすまの上張りの種類： ・本鳥の子 ・新鳥の子 ・ビニル紙 ・
		代用樹種等を適用しない箇所： ・
	7.3 形状及び仕上げ	フラッシュ戸の表面板の厚さ： ※表5.7.6による ・
		かまち戸の見込寸法： ※表5.7.7による ・図示 ・40mm ・
		ふすまの見込寸法 ： ※表5.7.7による ・図示 ・21mm ・
		戸ぶすまの見込寸法： ※表5.7.7による ・図示 ・33mm ・
		紙貼障子の見込寸法： ※表5.7.7による ・図示 ・33mm ・
	7.4 工 法	ふすまの工法： ・Ⅰ型 ・Ⅱ型 ・
		ふすまの縁の仕上げ： ・図示 ・本漆塗り ・ｶｼｭｰ塗り ・ｳﾚﾀﾝ塗装 ・素木 ・
		枠の材料： ・図示
		くつずりの材料： ・図示
		⑧ 建具用金物
	8.1 一般事項	適用範囲： ・建具製作所仕様以外の金物（
	8.2 材質、形状及び寸法	金物の種類、材質： ※表5.8.1による ・
		軸吊りヒンジ： ・自閉装置付き ・自閉装置なし
		ドアクローザのディレードアクション（遅延開）機能の適用： ・適用 ・適用しない
		戸当り： ・あおり止め(ﾌｯｸ)付き ・あおり止め(ﾌｯｸ)付きなし
		鋼板製建具の丁番： ※表5.8.2による ・
		樹脂製建具の丁番： ※表5.8.3による ・
	8.3 取付け施工	握玉、レバーハンドル等の取付位置： ・FL+900 ・FL+950 ・FL+1,000 ・
		クレセント類の取付位置： ・FL+900～FL+1,500迄 ・
	8.4 鍵	マスターキー： ・製作する ・製作しない
		・ﾏｽﾀｰｷｰの製作については施設管理者及び監督員と協議する。
		マスターキーの系統： ・ 系統
		指定建物錠の防犯性能の適用： ・する ・しない
		指定建物錠とは、建物の外部出入口用に用いるｼﾘﾝﾀﾞｰ錠・ｼﾘﾝﾀﾞｰ/ｻﾑﾀｰﾝ錠が該当
		耐ピッキング性能 ・5分未満 ・5分以上 ※10分以上
		耐鍵穴壊し性能 ・5分未満 ・5分以上 ※10分以上
		耐サムターン回し性能 ・なし（5分未満） ※あり（5分以上）
		耐カム送り解錠性能 ・なし（5分未満） ※あり（5分以上）
		耐こじ破り性能 ・なし（5分未満） ※あり（5分以上）
		出荷時の子鍵本数： ※3本 ・ 6本 ・
		鍵箱の適用： ・必要 ・不要
		⑨ 自動ドア開閉装置
	9.2 性能・機構	スライディングドアの開閉方式： ・図示 ・片引き ・引分け
		スライディングドアの開閉性能： ※標準仕様書表5.9.1による ・SSLD-1 ・SSLD-2 ・DSLD-1 ・DSLD-2
		多機能トイレ出入口引き戸の開閉性能： ※標準仕様書表5.9.2による ・図示
		検出装置の性能： ※表5.9.3による ・図示
		戸の開閉方法 ： ・図示 ・
		センサーの種類： ・図示 ・ﾏｯﾄｽｲｯﾁ ・光線ｽｲｯﾁ ・熱線ｽｲｯﾁ ・音波ｽｲｯﾁ ・光電ｽｲｯﾁ
		・ﾀｯﾁｽｲｯﾁ ・押ﾎﾞﾀﾝｽｲｯﾁ ・ﾍﾟﾀﾞﾙｽｲｯﾁ ・多機能便所ｽｲｯﾁ
		凍結防止装置： ・有 ・無

備考	月 日	月 日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)
	月 日	月 日	1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	統括	佐藤 信	製図	伊藤 高基	図面名称	改修特記仕様書3
	月 日	月 日							

図番	A-014
縮尺	-

章	項目	特記事項
⑤章 建具改修工事		1⓪ 自閉式上吊り引戸装置
	10.3 性能等	自閉式上吊り引き戸装置の性能： ※表5.10.1による ・
		1①. 重量シャッター
	10.2形式及び機構	シャッターの種類： ⊙図示 ・管理用ｼｬｯﾀｰ ・外壁用防火ｼｬｯﾀｰ ・ 屋内用防火ｼｬｯﾀｰ ・防煙ｼｬｯﾀｰ ・
		耐風圧性能： ・50 ・80 ・120 ⊙メーカー仕様による
		開閉機能 ： ※電動式（手動併用） ・手動式 ・
		シャッターケース： ・図示 ※設ける ・設けない
		保護装置の設置： ・図示 ⊙メーカー仕様による
		障害物感知装置の設置： ・図示 ⊙メーカー仕様による
		危害防止機構の種別： ・自動閉鎖型 ・可動座金式 ・図示 ⊙メーカー仕様による
		管理用シャッターのシャッターケース： ※図示 ・設ける ・設けない
		１２．軽量シャッター
	12.2形式及び機構	開閉形式 ： ※手動式 ・電動式（手動併用） ・
		〈開閉形式〉： ※手動式 ・電動式（手動併用） ・
		耐風圧性能： ・50 ・80 ・120 ・
	12.3材 料	スラットの材質： ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 ※塗装溶融亜鉛-5%ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金めっき鋼板 ・ｱﾙﾐ押出型材
		〈パイプの材質〉： ・ｽﾃﾝﾚｽ ・ｽﾁｰﾙ ・
		〈パイプ径〉 ： ・図示 ・13mm ・16mm ・19mm ・
		〈パイプ間隔〉： ・図示 ・70mm ・
		〈格子間隔〉 ： ・図示 ・500mm ・
	12.4形状及び仕上げ	スラットの形状： ・ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ形 ・ｵｰﾊﾞｰﾗｯﾋﾟﾝｸﾞ形
		１３．オーバーヘッドドア
	13.2形式及び機構	セクション材料による区別： ・図示 ・下表による

ｾｸｼｮﾝ材料による区別	開閉方式による種類	収納形式による区分	ガイドレールの材料
・ｽﾁｰﾙﾀｲﾌﾟ	・ﾊﾞﾗﾝｽ式	・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ形	・鋼製
・ｱﾙﾐﾆｳﾑﾀｲﾌﾟ	・ﾁｪｰﾝ式	・ﾊｲﾘﾌﾄ形 ・ﾛｰﾍｯﾄﾞ形	・ｽﾃﾝﾚｽ製
・ﾌｧｲﾊﾞｰｸﾞﾗｽﾀｲﾌﾟ	・電動式	・ﾊﾞｰﾁｶﾙ形	

	耐風圧性能： ・50 ・75 ・100 ・125
13.3材 料	ガイドレールの材質： ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ｽﾃﾝﾚｽ鋼板
	1④. ガラス
14.2材 料	ガラスの種類： ⊙図示 ・
	ガラス留め材 金属性製建具用パテはJISA5752による。

建具の種類	種類・材質
・ｱﾙﾐﾆｳﾑ製	・ｼｰﾘﾝｸﾞ材 ※ｶﾞｽｹｯﾄ ・ﾊﾟﾃ材(・1種 ・2種)
・鋼 製	※ｼｰﾘﾝｸﾞ材 ・ﾊﾟﾃ材(・1種 ・2種)
・ｽﾃﾝﾚｽ製	※ｼｰﾘﾝｸﾞ材 ・ﾊﾟﾃ材(・1種 ・2種)
・木 製	※ｼｰﾘﾝｸﾞ材 ・ﾊﾟﾃ材(・木製用 ・)

14.3ｶﾞﾗｽ溝の寸法、形状等 14.5ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ積み	ガラス溝の大きさ： ※製造所仕様による ・図示
	表面形状 ： ・図示 ・ﾌﾞﾗｰﾝ ・梨地 ・ｶｽﾐ ・
	寸法、厚み： ・図示 ・190x190x95 ・145x145x95 ・
	壁用金属枠： ・図示 ・ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 ・ｽﾁｰﾙ製 ・ｽﾃﾝﾚｽ製 ・
	補強剤 ： ・図示 ・
	化粧目地の色： ・白 ・ｸﾞﾚｰ ・黒 ・
	シーリング材： ・ﾎﾟﾘｻﾙﾌｧｲﾄﾞ系 ・ｳﾚﾀﾝ系 ・ｼﾘｺﾝ系 ・
	金属製化粧カバー： ・図示 ・
	風圧力に対応した工法： ・
	目地幅： ※標準仕様書による ・
	伸縮調整目地の位置： ※標準仕様書による ・
	伸縮調整目地の仕上： ※標準仕様書による ・

章	項目	特記事項
⑥章 内装改修工事	1.3 他の部位との取合い等	① 共通事項
		既存間仕切り壁撤去に伴う天井、壁及び床の改修範囲： ※壁厚程度 ⊙図示
		天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い天井改修範囲： ※両側600mm程度 ⊙図示
		天井の撤去に伴う取り合い壁の改修範囲： ※既存のまま ⊙ 図示
		既存部分の撤去工法：
		・適用する【・標準仕様書6.2 ・標準仕様書6.3 ・標準仕様書6.4】 ⊙図示
		新設下地の工法：
		・適用する【・標準仕様書6.5 ・標準仕様書6.6 ・標準仕様書6.7】 ⊙図示
		仕上げの工法： ※該当項の有無により適用する ・図示
		② 既存床の撤去並びに下地補修
	2.2 工 法	合成樹脂塗り床材の除去： ⊙機械的除去工法 ・目荒工法 ・
		改装後の床の清掃範囲： ⊙影響範囲全て ・図示
		③ 既存壁の撤去並びに下地補修
	3.2 工 法	コンクリート間仕切壁等の撤去に伴う構造体の補修： ※行う ・既存のまま
		・モルタル塗り（改修標準仕様書4.4.9による） ⊙図示 ・
		⑤ 木下地等
	5.2 木 材	◎一般事項
		木材の含水率： ※A種 ・B種
		材料のホルムアルデヒド放散料： ※Ｆ☆☆☆☆ ・図示
		◎製材

◇ＪＡＳによる下地用製材： ⊙下表による（寸法は図示） ・図示 ・

使用部位	樹種	区分等級	含水率	仕上げ	防腐防蟻処理	備 考
全般	桧	⊙1級	SD15	ｻﾝﾀﾞｰ	・有 ⊙無	
	杉	※2級	SD20	ｻﾝﾀﾞｰ	・有 ⊙無	
			D15	ﾌﾟﾚｰﾅｰ	・有 ・無	
			D20	ﾌﾟﾚｰﾅｰ	・有 ・無	

◇ＪＡＳによる造作用製材： ⊙下表による（寸法は図示） ・図示 ・

使用部位	樹種	化粧等級	含水率	仕上げ	防腐防蟻処理	備 考
窓枠	ｽﾌﾟﾙｰｽ	無節	SD15	ｻﾝﾀﾞｰ	・有 ⊙無	
	杉	※上小節	SD18	ｻﾝﾀﾞｰ	・有 ⊙無	
	桧	※小節	D15	ﾌﾟﾚｰﾅｰ	・有 ⊙無	
		並	D18	ﾌﾟﾚｰﾅｰ	・有 ⊙無	

◇ＪＡＳによる広葉樹製材： ・下表による（寸法は図示） ・図示 ・

使用部位	樹種	区分等級	含水率	仕上げ	防腐防蟻処理	備 考
全般	ｹﾔｷ	特等	D10	ｻﾝﾀﾞｰ	・有 ・無	
	ﾅﾗ	※1等	D13	ｻﾝﾀﾞｰ	・有 ・無	
	ｻｸﾗ	2等		ﾌﾟﾚｰﾅｰ	・有 ・無	防腐処理：K1

◇ＪＡＳ以外の製材： ・下表による（寸法は図示） ・図示 ・

使用部位	樹種	材面の品質	含水率	寸法	防腐防蟻処理	備 考
	桧	※A種	15%	図示		
	杉	B種	18%	図示		
	松		20%			

代用樹種を使用する場合は、協議のうえ決定する。
代用樹種を適用しない箇所： ・図示 ・
◎造作用集成材
接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ ・

◇ＪＡＳによる造作用集成材： ・下表による（寸法は図示） ・図示 ・

使用部位	仕上げ	樹種	見付材 面	見付材 品質	区分等級	備 考
	仕上有		1面	※1等	1等	
	未仕上		4面	2等	2等	
	塗装					

◇ＪＡＳによる化粧ばり造作用集成材： ・下表による（寸法は図示） ・図示 ・

使用部位	仕上げ	樹種 心材	樹種 化粧材/厚さ	見付材 面	見付材 品質	区分等級	備 考
	仕上有			1面	※1等	1等	
	未仕上			4面	2等	2等	
	塗装						

◇ＪＡＳ以外の造作用集成材： ・下表による（寸法は図示） ・図示 ・

使用部位	仕上げ	樹種	見付材 面	見付材 品質	区分等級	備 考
	仕上有		1面	※1等	1等	※15%
	未仕上		4面	2等	2等	
	塗装					

◇ＪＡＳ以外の化粧ばり造作用集成材： ・下表による（寸法は図示） ・図示 ・

使用部位	仕上げ	樹種 心材	樹種 化粧材/厚さ	見付材 面	見付材 品質	区分等級	備 考
	仕上有			1面	※1等	1等	※15%
	未仕上			4面	2等	2等	
	塗装						

◎造作用単板積層材
接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ ・

◇ＪＡＳによる造作用単板積層材： ・下表による（寸法は図示） ・図示 ・

使用部位	仕上げ	表面の品質	防腐防蟻処理	含水率	備 考
	仕上有	1等	・有 ・無	※14%	天然木化粧加工
	仕上有	2等	・有 ・無		塗装加工
	未仕上	3等	・有 ・無		

◇ＪＡＳ以外の造作用単板積層材： ・下表による（寸法は図示） ・図示 ・

使用部位	仕上げ	表面の品質	防腐防蟻処理	含水率	備 考
	仕上有	1等	・有 ・無	※14%	天然木化粧加工
	仕上有	2等	・有 ・無		塗装加工
	未仕上	3等	・有 ・無		

◎直交集成板

◇ＪＡＳによる直交集成板

使用部位	曲げ強度	種別	接着性能	樹種区分	備 考
	Mx120-3-3	A種構成	使用環境A	S1	
	Mx 60-9-9	B種構成	使用環境B	S2	
	S120-3-3		使用環境C	S3	
	S 30-9-9			S4	

◎床張り用合板等

◇ＪＡＳによる普通合板

使用部位	表板樹種名	厚さ(mm)	接着の程度	板面の品質	等級・処理・寸法等
内装壁下地捨て張り	ﾗﾜﾝ	※5.5	※1類	※2等	⊙図示
	ｼﾅ	9	2類	1等	
		12		※C-D	

◇ＪＡＳによる構造用合板

使用部位	表板樹種名	等級	接着の程度	板面の品質	備 考
各室床下地捨て張り	針葉樹	1級	特類	A-B	F☆☆☆☆/防虫処理材
	ｼﾅ	2級	1類	B-C	
	ﾅﾗ			D-D	

◇ＪＡＳによる化粧ばり構造用合板

使用部位	品 名	厚さ(mm)	表板樹種名	接着の程度	備 考
		9		特類	F☆☆☆☆/防虫処理材
		12		1類	F☆☆☆☆/防虫未処理

◇ＪＡＳによる天然木化粧合板

使用部位	品 名	厚さ(mm)	単板樹種名	接着の程度	備 考
		12		1類	F☆☆☆☆/防虫処理材
		15		2類	F☆☆☆☆/防虫未処理

◇ＪＡＳによる特殊加工化粧合板

使用部位	品 名	厚さ(mm)	表面性能ﾀｲﾌﾟ	接着の程度	備 考
		12	・F ・FW	1類	ｵｰﾊﾞｰﾚｲ/防虫処理材
		15	・W ・SW	2類	ﾌﾟﾘﾝﾄ/防虫未処理

◇パーティクルボード

使用部位	厚さ(mm)	曲げの区分	接着の区分	難燃性区分	備 考
	※15			※13P/M	

◇ＪＡＳによる構造用パネル

使用部位	品 名	厚さ(mm)	曲げ等級	備 考
		図示	・1級 ・2級	ｵｰﾊﾞｰﾚｲ/防虫処理材
		25	・3級 ・4級	・ﾌﾟﾘﾝﾄ ・塗装/防虫未処理

◇ミディアムデンシティーファイバーボード(ＭＤＦ)

使用部位	厚さ(mm)	表面状態区分	曲げの区分	接着の区分	難燃性区分	備 考
		・RN ・RS	・30 ・25	U	難燃2	
		・DV ・DO ・DC	・15 ・5	M	難燃3	
				P		

5.3 接合具等	造作材化粧面の釘打ち工法： ※隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し
	接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ ・
5.4 木れんが	接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ ・
5.5 防腐･防蟻・防虫処理	◎薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

処理木材（部位）	性能区分	備 考
製材	・K2 ・K3 ・K4	
合板	・K2 ・K3 ・K4	
集成材		

加圧注入用木材のｲﾝｻｲｼﾞﾝｸﾞ： ・適用する ・摘要しない

備考				
	月 日		月 日	
	月 日		月 日	
	月 日		月 日	

株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番 A-015
1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	統括	佐藤 信	製図	伊藤 高基	図面名称	改修特記仕様書4	縮尺 -

章	項目	特記事項
⑥章 内装改修工事		薬剤の塗布による防腐・防蟻処理の方法： ※標準仕様書による ・
		ﾎﾞｰﾄﾞ原料接着剤への薬剤混入による防腐・防蟻処理の方法： ・
		◎防虫処理
		木材の防虫処理： ・
	5.⑥-5.9 ***木材、工法	樹種： ※下表を標準とし変更する場合は、事前に監督員の承諾を得る事。

使用箇所		材 種
・ＲＣ造等の内部間仕切軸組及び床組	・間仕切軸組	※杉 ・
	・床組	※杉又は松 ・
・窓、出入口、その他	・吊元枠、水掛かりの下枠及び敷居	・桧 ・
・床板張り	・縁甲板、上がり框	・桧 ・
・壁及び天井下地		※杉又は松 ・

5.＊ 竪 木	樹種： ・ﾅﾗ ・ｹﾔｷ ・ｻｸﾗ ・ｸﾘ ・ｼｵｼﾞ ⊙図示
	使用箇所： ・
5.＊ 銘 木	種別： ・真物 ・貼物
	樹種： ・
	使用箇所： ・
	⑥ 軽量鉄骨天井下地
6.② 材 料	種類： ※表6.6.1による ・
6.③ 形式及び寸法	屋外の野縁受け、吊りボルト、インサートの間隔： ⊙≒@900mm ・
	屋外の野縁の間隔： ※表6.6.2による ・
6.④ 工 法	既存埋込インサートの使用： ・使用する ⊙使用しない
	あと施工アンカーの引抜き試験： ・行わない ⊙行う
	試験法： ⊙標準仕様書による ・図示 ・
	吊ボルト間隔が900mmを超える場合の補強方法： ・図示 ⊙メーカー仕様書による
	天井ふところが3mを超える場合の補強方法： ・図示 ・
	屋外の軒天井、ピロティー天井の補強：
	・図示 ⊙吊りボルトは配管類及びダクト等とは絶縁して取り付ける。
	⊙天井内配管類及びダクト等により、野縁受けを吊れない場合には、野縁受けの断面を大きくするか又は補強用チャンネル、アングル等を用いて十分補強を行う。
	⑦. 軽量鉄骨壁下地
7.③ 形式及び寸法	種類： ⊙50形 ⊙65形 ・90形 ・100形 ・
	スタッドの高さが5mを超える場合： ・図示 ・
7.④ 工 法	開口部の補強： ※標準仕様書6.7.4による ・図示 ・
	⑧ ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り
8.② 材 料	ビニル床シートの材料： ⊙図示 ⊙下表による ・

種 類	記号	色柄	厚さ(mm)
・発泡砲層のないﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	※FS ・NS	※無地 ・ﾏｰﾌﾞﾙ	※2.0 ・2.5
・発泡層のあるﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ(ｸｯｼｮﾝﾌﾛｱ)	・DO		※2.3 ・3.5

ビニル床タイル、ゴム床タイルの材料： ・図示 ・下表による ・

種 類		厚さ(mm)
・ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	半硬質(CT)	※2.0 ・
・ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	軟質(CTS)	※2.0 ・
・ﾎﾓｼﾞﾆｱｽﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ(HT)		※2.0 ・
・ｺﾞﾑ床ﾀｲﾙ	・無地 ・ﾏｰﾌﾞﾙ	・4.0 ・

	接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ ・
	◎帯電防止床シート張り
	種類： ・
	性能： ・体積抵抗値(1.0x10⁹Ω) ・
	厚さ： ・2.0mm ・4.0mm ・4.5mm ・
	◎帯電防止床タイル張り
	種類： ・
	性能： ・体積抵抗値(1.0x10⁹Ω) ・
	寸法厚さ： ・300x300x2.0mm ・500x500x3.0mm ・図示
	◎視覚障害者用床タイル張り
	種類： ・合成ｺﾞﾑ貼付用 ・合成ｺﾞﾑ埋込用 ・合成ｺﾞﾑ裏面CON ・せっ器質ﾀｲﾙ ・ｺﾝｸﾘｰﾄ
	厚さ： ・2mm ・15mm ・20mm ・30mm ・
	◎耐動荷重性床シート張り
	種類： ・
	厚さ： ・ mm ・
	◎防滑性床シート張り
	種類： ・
	厚さ： ・ mm ・
	◎防滑性床タイル張り
	種類： ・
	寸法厚さ： ・300x300x2.0mm ・500x500x3.0mm ・図示

章	項目	特記事項
⑥章 内装改修工事		ビニル幅木の厚み： ※1.5mm以上 ・
		ビニル幅木の高さ： ※60mm ・100mm ・300mm ⊙40mm
		下地の工法： ※標準仕様書6.8.3(1)による ・図示
		目地処理場合の工法： ※熱溶接工法 ・図示 ・
		⑨ カーペット敷き
		◎織じゅうたん
		種別： ・A種 ・B種 ・C種
		パイル形状： ・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ ・ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ ・ｶｯﾄ/ﾙｰﾌﾟ併用
		色柄： ※無地 ・柄物
		帯電性の適用： ・適用しない ・適用する（人体帯電圧： ※3kV以下 ・ ）
		◎タフテッドカーペット
		パイル形状： ・ﾙｰﾌﾟ ・ｶｯﾄ ・
		パイル長： ・図示 ・ mm
		◎タイルカーペット

パイル形状	種 類	寸法(mm)	総厚さ(mm)
⊙ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ	※第１種 ・第２種	※500x500 ・	※6.5 ・
・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ			
・ｶｯﾄ/ﾙｰﾌﾟ併用			

	◎下敷き材
	下敷き材： ※反毛フェルト第2種2号(呼厚8mm) ・
9.③ 工 法	タフテッドカーペットの工法： ・ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ工法 ・全面接着工法 ・
	織じゅうたんの接合方法： ※ﾋｰﾄﾎﾞﾝﾄﾞ工法 ・手縫い(づづり縫い)
	タイルカーペットの敷き方（平場）： ※市松敷き ・
	（階段部分）： ※模様流し ・
	１０．合成樹脂塗床

種 類	仕上げ種類	備 考
10.2 材 料 ・弾性ｳﾚﾀﾝ塗り床材	※平滑 ・防滑 ・つや消し	F☆☆☆☆
10.3 工 法 ・ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗り床材	・薄膜流し展べ	F☆☆☆☆
	・厚膜流し展べ： ※平滑 ・防滑	
	・樹脂ﾓﾙﾀﾙ： ・平滑 ・防滑	

	11．フローリング張り
11.② 材 料	フローリング： ※F☆☆☆☆ ・図示
	接着剤： ※F☆☆☆☆ ・図示

種 類	材 種	工 法	形式寸法等(mm)LxWx t
11.③～11.5 ***工法 ⊙ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ1等	・ﾅﾗ ⊙図示	・釘留め工法(根太張)	⊙500(L)x75(W)x15(t)以上
		⊙釘留め工法(直張り)	
		⊙接着工法	
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ1等	・ﾅﾗ ・ｻｸﾗ ・	・釘留め工法(根太張)	・303x303(L)x15(t)以上
		・釘留め工法(直張り)	
・複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	・ﾅﾗ ・ｻｸﾗ ・	・釘留め工法(根太張)	・A種 ・B種 ・C種
		・釘留め工法(直張り)	・A種 ・B種 ・C種
		・接着工法	・A種 ・B種 ・C種

11.6 現場塗装仕上げ	仕上げ： ・ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾜﾆｽ塗り ・ｵｲﾙｽﾃｲﾝ塗り ・既製仕上げ
	1⑫. 畳敷き
12.② 材 料	種別： ・A種 ⊙B種 ・C種 ・D種（・KT-I ・KT-Ⅱ ・KT-Ⅲ ・KT-K ・KT-N)
	衝撃緩和型畳の適用： ・適用する【畳表； ・C1 ・C2 】 ⊙適用しない
	1⑬. せっこうボード、その他ボード及び合板張り

規格名称	種 類	記号	厚さ(mm)
13.② 材 料 木質系ｾﾒﾝﾄ板	・木毛ｾﾒﾝﾄ板	・HW ・NW	・25・50
13.③ 工 法	・木片ｾﾒﾝﾄ板	・HF ・NF	・18 ・
せっこうﾎﾞｰﾄﾞ製品	※図示 ・	※図示 ・	※図示 ・
繊維強化ｾﾒﾝﾄ板	・ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板(ﾀｲﾌﾟ2)	・0.8FK	※図示 ・
		・1.0FK	※図示 ・
ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ繊維板	・	・RS・VS	※図示 ・
		・DV・DO・DC	※図示 ・
火山性ｶﾞﾗｽ質複層板(VSﾎﾞｰﾄﾞ)	・	・	※図示 ・

◎合板

材 種	樹種、防虫・難燃・防煙処理等	厚さ(mm)	工法
・難燃合板	生地のまま又は透明塗料塗りの場合	・4 ・5.5	・A種
	・ﾗﾜﾝ ・	・6 ・	※B種
	不透明塗料塗りの場合		
	・ｼﾅ(・1級・2級) ・		

章	項目	特記事項
⑥章 内装改修工事	12.② 材 料	
	12.③ 工 法	

材 種	樹種、防虫・難燃・防煙処理等		厚さ(mm)	工法
・普通合板	・ﾗﾜﾝ ・	・1類	・4 ・5.5	・A種
	・ｼﾅ	・2類	・6 ・	※B種
⊙捨張り用合板	⊙南洋材 ・	・型枠用	⊙9 ⊙12	・A種
	⊙針葉樹	⊙構造用	・	※B種
・有孔合板	・ｼﾅ	・1類	・4 ・6	・A種
		・2類	・	※B種
⊙天然木化粧合板	化粧単板のそば包み		・4.2 ⊙6.0	・A種
	・行う ※行わない			※B種
	化粧単板の厚さ			
	※0.3未満 ・			
・特殊加工化粧合板	表面仕上げの種類		・4.0 ・3.0	・A種
	・ﾒﾗﾐﾝ ・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ ・			※B種

	普通合板の防虫処理： ※行わない ・行う
	天然木化粧合板の防虫処理： ※行わない ・行う
	特殊加工化粧合板の防虫処理： ※行わない ・行う
	せっこうボードの目地処理： ⊙継目処理工法 ・目透し工法【 ・ﾍﾞﾍﾞﾙｴｯｼﾞ ・ｽｸｴｱｴｯｼﾞ 】
	突付け工法【 ・ﾍﾞﾍﾞﾙｴｯｼﾞ ・ｽｸｴｱｴｯｼﾞ 】
	遮音シール材： ・ｱｸﾘﾙ系ｼｰﾘﾝｸﾞ材 ・ｼﾞｮｲﾝﾄｾﾒﾝﾄ ⊙メーカー仕様による
	１４．壁紙張り
14.2 材 料	防火性能の指定： ・下表による ・図示 ・

品 質	検定区分	施工箇所
・ｵﾚﾌｨﾝ系	・1級 ・2級 ・	
・織物系	・1級 ・3級 ・4級 ・	
・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系	・1級 ・2級 ・	

14.3 施 工	モルタル面及びプラスター面の下地調整： ・RA種 ※RB種 ・RC種
	コンクリート面の下地調整： ・RA種 ※RB種 ・RC種
	せっこうボード及びその他ボード面の下地調整： ・RA種 ※RB種 ・RC種
	１５．モルタル塗り
15.3 材 料	モルタル： ・現場調合材料 ・既調合材料
	既製目地： ・適用 ・不適用
	既製目地の形状寸法等： ・図示 ・
15.6 工 法	床の目地： ・設ける ・設けない
	工法： ※押し目地 ・切り目地 ・
	１６．タイル張り
16.1 一般事項	伸縮調整目地の位置： ※@4m(縦・横共) ・図示 ・
	タイルの見本焼き： ・行う ・行わない
	タイルの試験張り： ・行う ・行わない
16.3 ｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙによるﾀｲﾙ張り	タイルの種類： ・図示 ・下表による ・

施工箇所	形式・形状寸法 (mm)	用途による区分	耐凍害性 有	耐凍害性 無	色 標準	色 特注	釉薬 施釉	釉薬 無釉	備 考
			・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	

	◎タイルの役物
	使用箇所： ・出隅 ・入隅 ・幅木 ・まぐさ ・窓台
	製造方法： ・接着成型品 ・一体成型品
	壁タイル張り工法： ・改良積上張り ・
	張付けモルタル： ・現場調合材料 ・既調合材料
16.4 有機系接着剤によるﾀｲﾙ張り	タイルの種類： ・図示 ・下表による ・

施工箇所	形式・形状寸法 (mm)	用途による区分	耐凍害性 有	耐凍害性 無	色 標準	色 特注	釉薬 施釉	釉薬 無釉	備 考
			・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	

	◎タイルの役物
	使用箇所： ・出隅 ・入隅 ・幅木 ・まぐさ ・窓台
	製造方法： ・接着成型品 ・一体成型品
	タイルの見本焼き： ・行う ・行わない
	タイルの試験張り： ・行う ・行わない
	壁タイル張り工法： ・改良積上張り ・
	1⑦ セルフレベリング材塗り
17.② 材 料	品質： ⊙ｾﾒﾝﾄ系 ・せっこう系 ・
	厚さ： ⊙10mm ・図示

備考				
月 日		月 日		
月 日		月 日		
月 日		月 日		

株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番 A-016
1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	統括	佐藤 信	製図	伊藤 高基	図面名称	改修特記仕様書5	縮尺 -

章	項　目	特記事項
⑦章 塗装改修工事		① 共通事項
	1.3 材　料	塗料の防火材料の指定：　・図示　・無　・有（
		② 下地調整
	2.2～2.7 ***下地調整	

塗装面の種類	種　別
木部（不透明塗料塗り部）	※RA種　・RB種　・RC種
木部（透明系塗料塗り部）	・RA種　※RB種　・RC種
鉄鋼面	・RA種　※RB種　・RC種
亜鉛めっき鋼面	・RA種　※RB種　・RC種
モルタル、プラスター面	・RA種　※RB種　・RC種
コンクリート、ＡＬＣパネル面	・RA種　※RB種　・RC種
押出成形セメント板	・RA種　・RB種　・RC種
せっこうその他のボード	継目処理工法の場合：　・RA種　※RB種　・RC種
	その他の場合：　・RA種　※RB種　・RC種

③ 素地ごしらえ

塗装面の種類	種　別
木部（不透明塗料塗り部）	※A種　・B種
木部（透明系塗料塗り部）	・A種　※B種
鉄鋼面	・A種　※B種　※C種
亜鉛めっき鋼面	・A種　・B種
モルタル、プラスター面	・A種　※B種
コンクリート、ＡＬＣパネル面	・A種　※B種
押出成形セメント板	・A種　※B種
せっこうその他のﾎﾞｰﾄﾞ	継目処理工法の場合：　※A種　・B種
	その他の場合：　・A種　※B種

章	項　目	特記事項
	3.1～3.7 ***素地ごしらえ	
		④ 錆止め塗料塗り
	4.2 塗料種別	鉄鋼面(上塗りEP-Gの場合)：　・A種　※B種
		亜鉛めっき鋼面(上塗りSOPの場合)：　※A種　・B種
	4.3 錆止め塗料塗り	鉄鋼面見え掛り部分(新規塗装;上塗りSOP、及びEP-Gの場合)：　※A種　・B種　・C種
		鉄鋼面見え隠れ部分(新規塗装;上塗りSOP、及びEP-Gの場合)：　・A種　※B種　・C種
		鉄鋼面見え掛り部分(塗替え;上塗りSOP、及びEP-Gの場合)：　・A種　・B種　※C種
		鉄鋼面見え隠れ部分(塗替え;上塗りSOP、及びEP-Gの場合)：　・A種　・B種　※C種
		鉄鋼面(DPの場合)：　※A種　・B種　・C種
		⑤ 合成樹脂調合ペイント塗り（ＳＯＰ）
	5.2 塗料の種別	種別：　※1種　・2種
	5.3～5.5 ***塗料塗り	木部の種別（新規外部）：　※A種　・B種
		木部の種別（新規内部）：　・A種　※B種
		木部の種別（多孔質広葉樹）：　・A種　・B種
		木部の種別（塗替え）：　・A種　※B種
		鉄鋼面の種別：　・A種　※B種
		亜鉛めっき鋼面の種別（塗替え）：　※A種　・B種
		亜鉛めっき鋼面の種別（新規）：　・A種　※B種
		６．クリヤーラッカー塗り（ＣＬ）
	6.2 ***塗料塗り	種別：　・A種　※B種
		７．アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（ＮＡＤ）
	7.2 ***塗料塗り	種別：　・A種　※B種
		８．耐候性塗料塗り（ＤＰ）
	8.2～8.4 ***塗料塗り	鉄鋼面の上塗り塗料の等級：　・1級　・2級　・3級
		亜鉛めっき鋼面の上塗り塗料の等級：　・1級　・2級　・3級
		コンクリート面の種別：　・A-1種　・A-2種　・B-1種　・B-2種　・C-1種　・C-2種
		押出成形セメント板面の種別：　・A-1種　・A-2種　・B-1種　・B-2種　・C-1種　・C-2種
		⑨ つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ－Ｇ）
	9.2～9.5 ***塗料塗り	コンクリート面及びモルタル面の種別：　・A種　※B種　・C種
		プラスター面の種別：　・A種　※B種　・C種
		せっこうボード、及びその他のボード面の種別：　・A種　※B種　・C種
		塗替えの場合のしみ止め：　・標準仕様書7.9.2(b)による　・図示　・
		屋内木部の種別（新規）：　※A種　・B種　・C種
		屋内木部の種別（多孔質広葉樹）：　・A種　・B種　・C種
		屋内木部の種別（塗替え）：　・A種　※B種　・C種
		屋内鉄鋼面の種別：　・A種　※B種　・C種
		屋内亜鉛めっき鋼面の種別：　・A種　※B種　・C種

章	項　目	特記事項
⑦章 塗装改修工事		10．合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ）
	10.2 ***塗料塗り	種別：　・A種　※B種　・C種
		塗替えの場合のしみ止め：　・標準仕様書7.13.2(b)による　・図示　・
		１１．ウレタン樹脂ワニス塗り（ＵＣ）
	11.2 ***塗料塗り	種別：　・A種　※B種
		１２．ステイン塗り
	12.2 ***塗料塗り	塗料の種別：　・図示　・
		13．木材保護塗料塗り（ＷＰ）
	13.2 ***塗料塗り	種別：　・A種　※B種
8章 耐震改修工事		① 共通事項
	1.1 コンクリート工事	・本章の事項は構造特記仕様書による
	1.2 鉄骨工事	・本章の事項は構造特記仕様書による
	1.3 鉄筋工事	・本章の事項は構造特記仕様書による
	1.3 ｺﾝｸﾘｰﾄの種類	コンクリートの種別：　※Ⅰ類　・Ⅱ類　・その他；
		使用骨材による種類：　・普通コンクリート（下表による）　・図示　・構造特記仕様書による

施工部位	設計基準強度(N/mm2)	備　考
・構造躯体（基礎～　階）	30	
・構造躯体（　階～　階）	24	
・構造躯体（　階～　階）	21	
・捨てコンクリート	・18　・21	

使用骨材による種類：　・軽量コンクリート（下表による）　・図示　・構造特記仕様書による

施工部位	設計基準強度(N/mm2)	備　考
	・18　・21	
	・18　・21	

章	項　目	特記事項
	1.4 ｺﾝｸﾘｰﾄの品質	スランプ：　※18cm　・図示　・
		コンクリート部材の許容差及び測定方法：　・標準仕様書8.1.4(d)(1)による　・
		打放し仕上げの種別（合板せき板を用いる場合）

施工部位	種別	備　考
・化粧打放し部	A種	
・打放し補修下地部	B種	
・基礎部	C種	

章	項　目	特記事項
		コンクリートの仕上りの平坦さ：　・a種　・b種　・c種
	1.5 鉄骨製作工場	製作工場のグレードは下記同等以上で大臣認定された工場とする：
		・Sｸﾞﾚｰﾄﾞ　・Bｸﾞﾚｰﾄﾞ　・Mｸﾞﾚｰﾄﾞ　・Rｸﾞﾚｰﾄﾞ　・Jｸﾞﾚｰﾄﾞ
		施工管理技術者の配置：　・する　・しない
		２．材　料
	2.1 鉄　筋	鉄筋の種類：　・SR295　・SD295A　・SD295B　・SD345　・SD390　・図示　・
	2.2 溶接金網	溶接金網の寸法、径：　・φ6x150x150　・φ6x100x100　・φ4.5x50x50　・図示　・
	2.4 あと施工アンカー	あと施工アンカーの種類：　・金属系ｱﾝｶｰ　・接着系ｱﾝｶｰ　・図示　・
		◎金属系アンカー
		引張耐力：　・図示　・
		せん断耐力：　・図示　・
		アンカー本体の径：　・図示　・
		アンカー本体の埋込深さ：　・図示　・
		アンカー本体のセット方式：　・図示　※本体打込み式改良型　・
		接合筋の径及び長さ：　・図示　・
		◎接着系アンカー
		引張耐力：　・図示　・
		せん断耐力：　・図示　・
		アンカーの種類：　・図示　・ｶﾌﾟｾﾙ型　・
		アンカー筋の径：　・図示　・
		アンカー筋の埋込深さ：　・図示　・
		アンカー筋の種類：　・図示　※異形棒鋼　・
		アンカー筋の新設壁内への定着長さ：　・図示　・
		あと施工アンカーの性能確認試験：　・行う　・行わない　・
	2.5 ｺﾝｸﾘｰﾄの材料及び調合	セメントの種類：　※普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ　※混合ｾﾒﾝﾄA種　・高炉ｾﾒﾝﾄ　・ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄ
		フェロニッケルスラグ細骨材の使用：　・使用する　・使用しない
		骨材のアルカリシリカ反応性による区分：　※A　・B
		鋼スラグ細骨材の使用：　・使用する　・使用しない
		電気炉酸化スラグ細骨材の使用：　・使用する　・使用しない
		混和剤：　・AE剤　・AE減水剤　・高性能AE減水剤　・
		混和材：　・ﾌﾗｲｱｯｼｭ　・高炉ｽﾗｸﾞ微粉末　・膨張剤　・

章	項　目	特記事項
⑧章 耐震改修工事	2.6 構造体用ﾓﾙﾀﾙの材料及び調合	モルタルの圧縮強度：　・図示　・18N/mm2　・
		モルタルのフロー値：　・図示　・180mm未満　・180mm以上240mm未満　・240mm以上
	2.7 型枠の材料	型枠の材料等：　・下表による　・図示　・

種類	種別・厚さ	材質
・合板	※「ｺﾝｸﾘｰﾄ型枠用合板のJAS」・12mm	※複　合
	・「ｺﾝｸﾘｰﾄ型枠用合板のJAS」・15mm	※南洋材
・床型枠用鋼製ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ		・針葉材

章	項　目	特記事項
		スリーブ：　・硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管　・溶融亜鉛めっき鋼管・鋼管　・つば付き鋼管　・鋼管　・紙ﾁｭｰﾌﾞ
	2.8 鋼　材	鋼材の材質：　・下表による　・図示　・構造特記仕様書による　・

施工部位	材質（種類の記号）	備　考
・構造躯体	・SS400　・SSC400	
・構造躯体（　階～　階）	・SM490A	
・構造躯体（　階～　階）	・STKR400	
	・BCR295	
	・SN400C　・SN400A	

章	項　目	特記事項
		鋼材の形状及び寸法：　・図示　・
	2.9 高力ボルト	種類：　・ﾄﾙｼｱ型高力ﾎﾞﾙﾄ2種(S10T)　・JISの高力ﾎﾞﾙﾄ2種(F10T)　・溶融亜鉛めっき高力ﾎﾞﾙﾄ1種(F8T相当)
		高力ボルトの径：　・図示　・
	2.10 溶接材料	表8.2.9以外の溶接材料：　・図示　・
	2.11 ｽﾀｯﾄﾞ	スタッドの規格、形状、寸法等：　・下表による　・図示　・

施工部位	規格番号	形状、寸法	備　考
・2階床より上部各階床ｽﾗﾌﾞ	JIS B 1198		・形状、寸法は図示
・屋根ｽﾗﾌﾞ			

章	項　目	特記事項
	2.12 柱底均しﾓﾙﾀﾙ及びｸﾞﾗｳﾄ材	柱底均しモルタル：　※無収縮モルタル　・図示　・
	2.13 連続繊維ｼｰﾄ及び含浸接着樹脂等	材料：　・図示　・
		工法：　・図示　・
		引張強度、ヤング係数等：　・図示　・
	2.14 鋼材の材料試験等	引張りを受ける鋼板の試験：　・適用する　・適用しない　・図示　・
		杭の材料：　・構造特記仕様書による　・図示　・
	2.15 基礎工事に用いる材料	杭の継手、工法等：　・構造特記仕様書による　・図示　・
		３．鉄筋の加工及び組立
	3.4 継手及び定着	継手の種類：　・重ね継手　・ｶﾞｽ圧接継手　・機械継手　・図示　・
		継手の位置：　・図示　・
		主筋の重ね継手長さ：　※標準仕様書8.3.4による　・図示　・
		耐力壁鉄筋の重ね継手長さ：　※標準仕様書8.3.4による　・図示　・
		先組み工法等の継手の位置：　・図示　・
		柱への梁引っ張り鉄筋の定着長さ：　※表8.3.4による　・図示　・
		折曲げ定着の方法：　※図8.3.3による　・図示　・
		機械式定着工法の適用箇所、種類：　・図示　・
	3.5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔	鉄筋等のかぶり厚さ：　※表8.3.6による　・図示
		土に接する柱、梁、スラブ及び壁の鉄筋のかぶり厚さ（軽量コンクリートの場合）：
		・図示　・40mm　・50mm　・60mm　・
		塩害を受ける恐れのある部分等の鉄筋のかぶり厚さ：　・図示　・
	3.7 壁の配筋及び補強	壁の配筋：　・図示　・
		開口部の補強筋：　・図示　・
	3.8 ガス圧接	抜取試験の方法：　※超音波探傷試験　・引張試験　・
		４．鉄筋の機械式継手及び溶接継手
	4.2 機械式継手	適用箇所：　・図示　・
		性能・種類等：　・図示　・
		鉄筋相互のあき：　・図示　・
		施工完了後の継手部の試験は（公社）日本鉄筋継手協会発行の鉄筋継手工事標準仕様書等に基づき検査を行う。
		抜取り１ロットは同一作業班の１日当たりの継手作業箇所とする。（概ね200箇所程度）
		外観検査方法：　・目視及び計測　・図示　・
		超音波探傷検査の対象：　・抜取り１ロット当り10箇所　・抜き取り１ロット当り5%程度　・
		超音波探傷検査で不合格となった場合の措置：　・全数検査を行い是正する　・図示　・
	4.3 溶接継手	適用箇所：　・図示　・
		性能・工法等：　・図示　・
		鉄筋相互のあき：　・図示　・
		施工完了後の継手部の試験は（公社）日本鉄筋継手協会発行の鉄筋継手工事標準仕様書等に基づき検査を行う。
		抜取り１ロットは同一作業班の１日当たりの継手作業箇所とする。（概ね200箇所程度）
		外観検査方法：　・目視及び計測　・図示　・
		超音波探傷検査の対象：　・抜取り１ロット当り30箇所　・抜き取り１ロット当り15%程度　・
		超音波探傷検査で不合格となった場合の措置：　・全数検査を行い是正する　・図示　・
		７．コンクリートの工事現場内運搬、打込み及び締固め
	7.8 型枠工事	外部に面する打放し仕上げの増打厚さ：　・25mm　・20mm　・15mm　・
		型枠セパレーターとしてのシアコネクタの使用：　・適用する　・適用しない

備考												
	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番 A-017
	月 日		月 日									
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	経歴	佐藤　信	製図	伊藤　高基	図面名称	改修特記仕様書6	縮尺 -

章	項　目	特記事項
⑧章 耐震改修工事	9.1 一般事項	９．軽量コンクリート
		土に接する軽量コンクリートの使用：　・使用する【使用箇所：・図示　・　　】
		水に接する軽量コンクリートの使用：　・使用する【使用箇所：・図示　・　　】
		軽量コンクリート種類：　・下表による　・図示　・

施工部位	種類	備　考
・屋上防水押え	・1種　・2種	
・浴室防水押え	・1種　・2種	

章	項　目	特記事項
		所要気乾単位容積重量：　・図示　・　kN/m3
		所要スランプ：　※21cm　・18cm　・
		１０．暑中コンクリート
	10.2 材料及び調合	構造体強度補正値(S)：　※6 N/mm　・
		１１．無筋コンクリート
	11.1 一般事項	コンクリートの種別：　※Ⅰ類　・Ⅱ類　・その他；
		適用箇所：　・下表による　・図示

施工部位	設計基準強度(N/mm2)	備　考
	※18　・21	スランプ：※15以下 ※18以下

章	項　目	特記事項
		１２．あと施工アンカー工事
	12.4 穿　孔	埋込配管等の調査方法：　・電磁波レーダ方式　・電磁波誘導法　・図示　・
	12.7 施工確認試験	施工確認試験：　※引張試験機による引張試験　・図示　・
		試験の箇所数：　※3本/ﾛｯﾄ(径及び仕様毎)　・全数　・図示
		１ロットの定義：　※１日に施工されたｱﾝｶｰ数(径及び仕様毎)　・図示
		１３．鉄骨工作
	13.10 仮　組	仮組の実施：　・行わない　・行う
		１４．高力ボルト接合
	14.2 摩擦面の性能及び処理	すべり係数試験の実施：　・行わない　・行う
		試験の方法、試験片の摩擦面の状態：　・図示　・
	14.7 締付け	ﾎﾞﾙﾄ長さがねじの呼びの５倍をJIS型ﾎﾞﾙﾄのﾅｯﾄ回転法の回転量：　・120°　・
		１５．溶接接合
	15.3 ***技能資格者	溶接技能者の技量付加試験：　・行わない　・行う
	15.4 溶接の準備	開先の形状：　・図示　・
	15.7 溶接施工	エンドタブの切除の有無：　・有り　・無し
		【エンドタブの切除の適用箇所：・図示　・　　】
		スカラップの形状：　・図示　・
	15.12 溶接部の試験	溶接部の外観試験：　※告示第1464号第二号による試験;
		※JASS 6 附則6(付表3「溶接」);
		完全溶け込み溶接部の超音波探傷試験：　・適用する　・適用しない
		◎工場溶接の場合
		製作工場の社内検査：　・行わない　※行う（全数検査を行い試験結果報告書を提出）
		第三者機関による検査：　※行う　・行わない
		ＡＯＱＬ：　・2.5%　※4.0%
		検査水準：　・第1水準　・第2水準　・第3水準　・第4水準　・第5水準　※第6水準
		◎工事現場溶接の場合
		第三者機関による検査：　※行う　・行わない
		ＡＯＱＬ：　・2.5%　※4.0%
		放射線透過試験：　・適用する　・適用しない
		１７．鉄骨の錆止め塗装
	17.4 塗料の種別	ＳＲＣ造の鋼製スリーブ（鉄骨に溶接されたもの）の内面：
		・図示　・標準仕様書 表7.3.1【※A種　・B種　・C種】　・
		耐火被覆材の接着面：　・図示　・標準仕様書 表7.3.1【・A種　・B種　・C種】　・
		１８．耐火被覆
	18.2 耐火被覆の種類等	耐火被覆材の種類及び性能：　※図示　・
		耐火被覆材の工法：　※図示　・吹付工法　・巻付け工法　・
	18.3 耐火被覆の性能、品質等	耐火被覆の耐火性能：　※図示　・建築基準法に基づく所定の性能
		２０．溶融亜鉛めっき工法
	20.5 溶融亜鉛めっき	摩擦面の処理：　※8.20.5(1)(ｱ)　※8.20.5(1)(ｲ)
	高力ﾎﾞﾙﾄ接合	・構造特記仕様書による　・図示
		すべり係数試験の実施：　・行わない　・行う
		試験の方法、試験片の摩擦面の状態：　・構造特記仕様書による　・図示　・

章	項　目	特記事項
⑧章 耐震改修工事		２１．現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事
	21.2 既存部分の撤去等	既存仕上げの撤去範囲：　※標準仕様書8.21.2(1)(ｱ)による　・協議による　・
		設備配管等の撤去範囲：　※標準仕様書8.21.2(1)(ｲ)による　・
		設備配管等の移設範囲等：　※標準仕様書8.21.2(1)(ｲ)による　・
		既存構造体の撤去範囲：　・図示　・協議による　・
		既存構造体の鉄筋、鉄骨の処置：　・図示　・
	21.3 既存部分の処理	既存部分の目荒しの程度：　・図示　・打継ぎ面の15～30%の凹面を施す
	21.6 鉄筋の加工及び組立	割裂補強筋の仕様：　・図示　・
	21.8 ｺﾝｸﾘｰﾄの打込み	打込み工法：　・流込み工法　・圧入工法　・図示　・
	21.9 既存構造体との取合い	既存構造体と増設壁との取合い：　※標準仕様書8.21.9による　・図示　・
	21.10 仕上げ	増設後の仕上げ：　・図示　・
		２２．鉄骨ブレースの設置工事
	22.7 既存構造体との取合い	割裂補強筋の仕様：　・図示　・
	22.9 仕上げ	ブレース設置後の仕上げ：　・図示　・
		２３．柱補強工事
	23.1 一般事項	工法の種別：　・構造特記仕様書による
		・溶接金網巻き工法　・溶接閉鎖ﾌｰﾌﾟ巻き工法　・鋼板巻き工法　・帯板巻き付け工法
	23.5 溶接金網巻き工法	外部に面する打放し仕上げの増打厚さ：　・25mm　・20mm　・15mm　・
	溶接閉鎖ﾌｰﾌﾟ巻き工法	型枠セパレーターとしてのシアコネクタの使用：　・適用する　・適用しない
		打込み工法：　・流込み工法　・圧入工法　・図示　・
	23.6 鋼板巻き工法及び	工法の種別：　・鋼板巻き工法　・帯板巻き付け工法
	帯板巻き付け工法	柱脚の隙間：　・図示　・設ない　・設ける
		柱頭の隙間：　・図示　・設ない　・設ける
	23.7 仕上げ	補強工事後の仕上げ：　・図示　・
		２４．連続繊維補強工事
	24.6 施　工	ひび割れ部の改修工法：　・標準仕様書4.1.4に準ずる　・図示　・
		柱の隅角部の面取りの形状、寸法：　・図示　・
		連続繊維補強材の引張強度試験の数量：　・図示
		連続繊維補強材の付着強度試験の数量：　・図示
		補強工事後の仕上げ：　・図示　・
		２５．耐震スリット新設工事
	25.2 施　工	スリットの幅、及び深さ：　・図示　・
		耐火充填材の仕様箇所、及び仕様：　・図示　・
		遮音充填材の仕様箇所、及び仕様：　・図示　・
		２６．免震改修工事
	26.7 支承材及び減衰材	支承材の材質等：　・図示　・
		減衰材の材質等：　・図示　・
		性能確認試験の項目：　・図示　・
		性能確認試験の数量：　・図示　・
		製品検査の項目等：　・図示　・
	26.10 支承材又は減衰材の設置	材料の防錆処置：　・図示　※製造所仕様による
		材料の設置位置寸法の許容差：　・図示　・製造所仕様による
		割裂補強筋の適用：　・図示　・
	26.13 仕上げ	支承材又は減衰材設置後の仕上げ：　・図示　・
	26.14 耐火被覆	支承材への耐火被覆の適用及び仕様：　・図示　・
	26.15 免震ｴｷｽﾊﾟﾝｼｮﾝｼﾞｮｲﾝﾄ	免震化部に設置するエキスパンションジョイントの仕様及び工法：
		・図示　・製造所推奨仕様による　・
	26.16 検　査	検査の項目及び数量：　※検査項目は協議の上決定し、数量は全数とする　・図示
		２７．制振改修工事
	27.2 既存部分の撤去等	既存鉄骨の撤去範囲及び方法：　・図示　・
		既存鉄骨の処置：　・図示　・
	27.4 減衰材	減衰材の材質等：　・図示　・
		性能確認試験の項目：　・図示　・
		性能確認試験の数量：　・図示　・
		製品検査の項目等：　・図示　・
	27.6 減衰材の設置	材料の防錆処置：　・図示　※製造所仕様による
		材料の設置位置寸法の許容差：　・図示　・製造所仕様による
		別置の材料の種類、形状、寸法、数量等：　・図示　・製造所仕様による
		割裂補強筋の適用：　・図示　・
	27.8 仕上げ	減衰材設置後の仕上げ：　・図示　・
	27.9 検　査	検査の項目：　・図示　・

章	項　目	特記事項
⑧章 耐震改修工事		２８．土工事及び地業工事
	28.2 既存杭の撤去等	既存杭の撤去、方法等：　・構造特記仕様書による　・図示　・
		既存杭の杭頭処理等：　・構造特記仕様書による　・図示　・
		既存杭の補強：　・構造特記仕様書による　・図示　・
		既存杭の試験：　・構造特記仕様書による　・図示　・
	28.3 土工事	◎埋戻し及び盛土
		種別：　・A種　・B種　・C種　・D種
		・搬入まさ土（砂礫等の混入のない良質なものとし、水締め、機器による締固めとする）
		◎建設発生土の処理
		・現場説明書による　・構外搬出適切処理　※構内指定場所堆積　・構内指定場所敷均し
		・他現場に搬入（　　）　・
		・指定処分地（
		◎山留めの撤去
		・撤去　・存置　・
		◎試験杭
	28.4 地業工事	試験杭の位置、本数、寸法：　・図示　・
		◎載荷試験
		載荷試験：　・水平試験　・鉛直試験　・
		試験杭の位置、本数、載荷荷重：　・図示　・
		試験方法：　・図示　・
		試験報告書の記載事項等：　・図示　・
		◎地盤の載荷試験
		載荷試験：　・平板載荷試験　・
		試験の位置、載荷荷重：　・図示　・
		試験方法：　・図示　・
		試験報告書の記載事項等：　・図示　・
		◎杭地業は「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」４章［地業工事］による。
	●公４章　地業工事	●公３．既製コンクリート杭地業
	公3.1 一般事項	工法の適用：　・ｾﾒﾝﾄﾐﾙｸ工法(4.3.4)　・特定埋設杭工法(4.3.5)
	公3.2 材　料	材料の強度等による区分：　・
		杭の寸法、継ぎ手の箇所数、杭先端形状：　・図示　・
	公3.4 ｾﾒﾝﾄﾐﾙｸ工法	支持地盤の位置、種類：　・図示　・
		アースオーガーの支持地盤への掘削深さ：　・図示　・
		杭の支持地盤への根入れ深さ：　・図示　・
		根固め液の管理試験：　※標準仕様書及び表4.3.1による　・
		杭周固定液の管理試験：　※標準仕様書及び表4.3.1による　・
	公3.5 特定埋設杭工法	施工法の種類：　・図示　・
		支持地盤の位置、種類：　・図示　・
		杭の水平方向の位置精度：　・図示　・100mm以内　・
		杭の継手の工法：　・ｱｰｸ溶接　・無溶接継手（工法；　　）
		杭頭の処理法：　・図示　・
		公●４．鋼杭地業
	公4.3 材　料	材料の種類：　・SKK400　・SKK490　・SHK400　・SHK490M　・図示
	公4.5 継　手	杭の継手の工法：　・自動ｱｰｸ溶接　・半自動ｱｰｸ溶接　・
		公●５．場所打ちコンクリート杭地業
	公5.1 一般事項	工法の適用：　・ｱｰｽﾄﾞﾘﾙ工法(4.5.5)　・ﾘﾊﾞｰｽ工法(4.5.5)　・ｵｰﾙｹｰｼﾝｸﾞ工法(4.5.5)
		・場所打ち鋼管ｺﾝｸﾘｰﾄ杭工法(4.5.6)　・拡底杭工法(4.5.6)　・図示
	公5.4 材料その他	帯筋の加工、組立：　・図示　・
		鉄筋の最小かぶり厚さ：　・図示　・60mm　・　mm
		鉄筋かごの補強：　・図示　・
		組立鉄筋の節の継手：　※重ね継手　・図示　・
		セメントの種類：　・普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ　※高炉ｾﾒﾝﾄB種　・混合ｾﾒﾝﾄ　・図示
		コンクリートの設計基準強度：　・Fc=21N/mm2　・Fc=24N/mm2　・図示
		コンクリートの種別：　・Ａ種　・Ｂ種　・図示
		コンクリートのスランプ：　・18cm　・15cm　・図示
		コンクリートの構造体強度補正値(S)：　・図示　※3N/mm　・
	公5.5 ｱｰｽﾄﾞﾘﾙ工法,ﾘﾊﾞｰｽ工法	支持地盤の位置、種類：　・図示　・
	及びｵｰﾙｹｰｼﾝｸﾞ工法	杭孔壁の超音波測定：　・行なわない　・行う
		杭の水平方向の位置精度：　・図示　・100mm以内　・
	公5.6 場所打鋼管ｺﾝｸﾘｰﾄ杭	支持地盤の位置、種類：　・図示　・
	工法及び拡底杭工法	杭の水平方向の位置精度：　・図示　・100mm以内　・
		公●６．砂利、砂、捨てコンクリート地業等
	公6.2 材　料	砂地業の種別：　・シルト　・山砂　・川砂　・砕砂　・
		防湿層の材料：　※ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ t=0.15mm　・
	公6.3 砂利及び砂地業	砂利及び砂地業の厚さ：　・図示　※60mm　・100mm　・120mm　・150mm　・

備考												
	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番 A-018
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	伊藤　高基	図面名称	改修特記仕様書7	縮尺 -
	月 日		月 日									

章	項目	特記事項
⑧章 耐震改修工事	公6.4 捨てｺﾝｸﾘｰﾄ地業	捨てコンクリートの厚さ： ・図示 ※50mm ・ mm ・120mm ・150mm ・
	公6.5 床下防湿層	床下防湿層の適用： ・適用しない ・適用する ・図示
		床下防湿層の範囲： ・図示 ・
⑨章 環境配慮改修工事		① 石綿含有建材の除去工事
	1①一般事項	石綿粉じん濃度測定：(・)行う ・行わない
		石綿粉じん濃度測定箇所：図示 (・)監督員と協議
		石綿粉じん測定方法：(・)空気中の繊維状粒子測定方法(JIS K 3850-1) ・
	1③石綿含有吹付け材の除去	除去工法： ※標準仕様書による ・図示 ・
		石綿含有吹付け材の飛散防止措置： ※湿潤化 ・固形化
		石綿含有吹付け材等の処分：(・)埋立処分 ・無害化処理
	④石綿含有保温材等の除去	石綿含有保温材等の除去：(・)破壊除去 ・原形手ばらし除去 ・図示
	⑤石綿含有成形板等の除去	石綿含有せっこうボード以外の石綿含有成形板の処分：(・)埋立処分 ・中間処理
		養生シートによる作業場の養生： ・行う (・)協議による ・行わない
	1⑥石綿含有仕上塗材の除去	除去方法：(・)集じん装置併用工法【 (・)手工具ケレン ・高圧水洗 ・ディスクグラインダーケレン 】
		(・)剥離剤併用工法【 (・)手工具ケレン ・高圧水洗 ・超音波ケレン 】
		・超音波ケレン工法（HAPAﾌｨﾙﾀｰ付掃除機併用）
		２．外断熱改修工事
	2.2 材 料	断熱材の種類及び厚さ： ・図示 ・
		外装材の種類及び防火性能： ・図示 ・
	2.3 既存外壁の処置	既存外壁仕上げ材の撤去： ・図示 ・全面撤去 ・部分撤去 ・
		既存外壁下地面の清掃： ・図示 ・
		既存外壁下地欠損部の改修方法： ・図示 ・
	2.4 工 法	風圧力に対応した工法： ・製造所仕様による ・図示 ・
		下地調整： ・製造所仕様による ・図示 ・
		断熱材の施工方法： ・製造所仕様による ・図示 ・
		外装材の施工： ・製造所仕様による ・図示 ・
		外装材の取付： ・あと施工ｱﾝｶｰ ・接着剤 ・図示 ・
		通気層： ・有り(厚み； mm) ・無し
		③ 断熱・防露改修工事

3.2 断熱材打込み工法

種 類	種 別	厚さ(mm)
・ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ	・	・25 ・
・押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ	・3種：土間ｺﾝｸﾘｰﾄ下端	・25 ・50
・硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ	・A種 ・	・
・ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ	・	・

接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ ・

3.3 断熱材現場発泡工法
材料：(・)吹付け硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ ・
種類：(・)A種1 ・
難燃材：(・)1級 ・2級 ・3級
吹付け厚さ(mm) (・)図示 ・25 ・30 ・20

3.4 断熱材後張り工法

種 類	種 別	厚さ(mm)
・ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ	・	・25 ・
・押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ	・3種：土間ｺﾝｸﾘｰﾄ下端	・25 ・50
・硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ	・A種 ・	・
・ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ	・	・

接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ ・

４．屋上緑化改修工事
4.2 材 料 芝の種類： ・ｺｳﾗｲｼﾊﾞ ・ﾉｼﾊﾞ ・
地被類の樹種／芽立数／コンテナ径／コンテナ数： ・図示 ・
緑材、舗装材、水抜き管、マルチング材等： ・図示 ・
4.3 工 法 建設省告示第1458号に対応した工法： ・
灌水装置の設置／種類： ・設置しない ・設置する【種類： ・図示 ・ 】
既存保護層等の撤去： ・撤去しない ・撤去する
4.4 新植した***の枯補償 新植芝、地被類の枯保証期間： ・１年 ・半年 ・

５．透水性アスファルト舗装改修工事
5.2 既存舗装の撤去及び再利用 既存舗装の撤去： ・撤去しない ・撤去する【範囲等： ・図示 ・改修部分全面】
既存舗装の再利用： ・再利用しない
・再利用する【範囲等： ・図示 ・改修部分全面】
5.3 路 床 凍上抑制層の適用： ・適用しない ・適用する
厚さ： ・車道部 mm ・歩道部 mm
透水性舗装のフィルター層の適用： ・適用しない ・適用する
厚さ： 車道部【・150mm ・ mm】 歩道部【・50mm ・ mm】

章	項目	特記事項
⑨章 環境配慮改修工事	5.3 路 床	路床安定処理の適用： ・適用しない ・適用する
		路床安定処理の方法： ・添加材料による処理 ・図示 ・
		処理内容：【厚さ； ・300mm ・ 】
		【目標CBR； ・5以上 ・ 】
		盛土の種別： ・A種 ・B種 ・C種 ・D種
		フィルター層の材料： ・砂 ・図示 ・
		砂の品質： ・75μmふるい通過量10%以下 ・
		路床安定処理用添加材料： ・普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ ・高炉ｾﾒﾝﾄB種
		・ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄ ・生石灰【・特号 ・1号】
		・消石灰【・特号 ・1号】
		路床土のＣＢＲ試験： ・行わない ・行う【・乱した土 ・乱さない土】)
		路床締固め度試験： ・行う ・行わない
	5.4 路 盤	車道部の路盤の厚さ： ・図示 ・150mm ・
		歩道部の路盤の厚さ： ・図示 ・100mm ・
		路盤の材料： ※砕石【※ｸﾗｯｼｬﾗﾝ ・粒度調整砕石】
		※再生材【※ｸﾗｯｼｬﾗﾝ ※ｸﾗｯｼｬﾗﾝ鉄鋼ｽﾗｸﾞ ・粒度調整砕石】
	5.5 舗装の構成及び仕上り	舗装の厚さ(mm)：車道部【・50mm ・ mm】 歩道部【・30mm ・ mm】
		舗装の平坦性： ※著しい不陸のない程度 ・水の滞留がない平滑性
		アスファルトの種類（車道部）： ・図示 ※ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型
		・ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄに型 ・
		アスファルトの種類（歩道部）： ・図示 ※ｽﾄﾚｰﾄｱｽﾌｧﾙﾄ
	5.9 試 験	アスファルトの抽出試験： ・行う ・行わない

指定メーカー等リスト

部 位	メーカー・品名・品種・品番	備 考

指定工事／業者等リスト

項 目	業者名・連絡先	備 考

施主支給品リスト

項 目	摘 要	備 考

備考			
月 日		月 日	
月 日		月 日	
月 日		月 日	

株式会社青木茂建築工房
Shigeru Aoki Architect & Associates
1級建築士 佐藤 信 第362177号
1級建築士事務所 第1-60097号

作成	2025/03/26	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)
統括	佐藤 信	製図	伊藤 高基	図面名称	改修特記仕様書8

図書	A-019
縮尺	-

工　事　区　分　表

工事の施工は●の区分に適用する。※ただし一括発注のため臨機応変に対応すること

工事区分略号の凡例　A 建築工事　E 電気設備工事　P 給排水設備工事　AC 空気調和設備工事

躯体関係

項目		A	E	P	AC		備考
1．ＲＣ造（梁・壁・床）の貫通孔・開口部	貫通スリーブ材及び取付け		●	●	●		
	補強を要する型枠材及び取付け	●					
	補強を要しない型枠材及び取付け		●	●	●		
	貫通孔・開口部の墨出し		●	●	●		
	貫通孔・開口部の補強	●					
	スリーブ・型枠の穴埋め		●	●	●		
	和風便器・換気扇の開口			●	●		
2．Ｓ・ＳＲＣ造・はり貫通口	Ｓ・ＳＲＣ造貫通鋼管スリーブ・補強	●					
	使用されたスリーブの穴埋め		●	●	●		防火区画、防煙区画
	予備スリーブの穴埋め		●	●	●		防火区画、防煙区画
	貫通孔・開口部の墨出し	●					
3．設備機器の基礎	建築設計図に記入のあるもの	●					
	室内の基礎（建築設計図に記入のないもの）	●	●	●	●		
	屋外・屋上の基礎	●					
	屋上基礎で押さえコンにアンカーしない軽微なもの		●	●	●		
	機器取り付け用アンカー・架台		●	●	●		建築設計図にあるものはＡ
4．昇降機関連（エレベーター）	昇降路・機械室の躯体						
	機械室の上げ床コンクリート打設・仕上						
	昇降路内ピット防水						
	各階出入口穴あけ・同補強						
	出入口扉・三方枠						
	三方枠取付・枠廻り・埋戻し・同補修						
	昇降機がＲＣ造の時、軌条・中間ビーム・ブラケット他昇降路内の鉄製部材一式						
	昇降路天井フック取付						
	ホール押釦・インジケータ・鋼索などの壁開口						
	昇降路からインターホンまでの配線工事						
	昇降路からインターホンまでの配管工事						電話配管も同じ
	昇降機床ピット点検タラップ						
5．その他	トラフ・ピット類（ふたを含む）	●					
	湧水・汚水ピット・ＲＣ造各種水槽	●					
	同上用防水・マンホール・タラップ式	●					
	避雷設備・同接地工事		●				
	ＡＬＣ板の壁開口・補強	●					
	厨房排水溝	●					
	厨房グリース阻集器			●			
	オイルサービスタンクの防油堤	●					
	フリーアクセスフロアの防水堤	●					
	配管ピット	●					

仕上関係

項目		A	E	P	AC		備考
1．軽鉄天井・壁下地	補強を要するボードの切り込み及び下地の補強	●	●	●			
	補強を要しないボードの切り込み	●	●	●	●		
	開口部の墨出し	●	●	●	●		
2．既製開仕切り	切り込み及び補強	●					
	位置ボックス	●					
3．つりボルト及びインサート	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用		●	●	●		
4．外壁まわり	外壁ガラリ及びダクト接続用フランジ	●					
	ウェザーカバー、ベントキップ			●	●		
	換気扇				●		
5．湯沸室まわり	流し台・つり戸棚・水切り棚コンロ台						流しはトラップ付
	フード（標準詳細図のもの）						その他はＰ
	レンジフード（標準詳細図のもの）						
6．浴室まわり	ユニットバス、シャワーユニット						トラップ、水栓、シャワー共
	既製浴槽（ふたを含む）						
	浴室及び便所の床排水金物						
7．便所まわり	洗面カウンター	●					洗面器はＰ
	鏡（規格寸法のみ）	●		●			規格外はＡ
	ユニット形衛生器具			●			
	身障用手すり			●			
8．事務室まわり	ファンコイルカバー	●					
	家具組み込みの洗面器			●			切り込みはＡ
9．フリーアクセスフロア	コンセント・電話・情報等		●				ボックス、ローテンション等
	床パネルの切り込み加工	●					
１０その他	２重ピット及びトレンチのマンホールふた	●					
	機器搬入用フック・ビーム	●					
	チェーンブロック		●	●	●		
	化粧マンホール上ふたの表面仕上げ	●					
	点検口（天井・床下）	●					
	排煙口等の天井仕上材の取付け	●					
	自動閉鎖装置を取りつける防火戸の切り込み補強及びドアチェック、フロアヒンジ	●					
	消火器ＢＯＸ設置工事	●					消火器は備品(建築工事)
	~~自動扉・電動シャッターへの電源供給~~						
	~~自動扉・電動シャッターから付属のスイッチ・センサーへの配管工事~~						
	一般用手すり	●					
	防火戸の配管、配線、煙感知器、レリーズ		●				レリーズはＡとする
	防火シャッターの配管、配線、煙感知器		●				

屋外排水設備・外構

項目		A	E	P	AC		備考
1．雨水	屋外雨水排水設備	●		●			
	桝及び桝蓋	●		●			
	雨水竪管（たて樋）	●					ＧＬ以降はＰ
2．雑排水・汚水	屋外雑排水及び屋外汚水排水設備			●			
	桝及び桝蓋			●			
	化粧マンホール上ふたの表面仕上げ	●					モルタル仕上げ
3．植栽	植栽及び客土	●					
4．ユニット形浄化槽の躯体	ピット形の躯体及び砂充填						
	上記以外のユニット形浄化槽本体・配管及び据付等						
	ピット形以外						
5．屋外オイルタンク	タンク室の躯体及び砂充填						
	上記以外のオイルタンク本体・配管及び据付等						
	タンク室形以外						
6．その他	アスファルト補強解体復旧	●		●			公共下水道接続工事に係る部分はＰ

既存躯体補修工事仕様書（１）

1　共通事項

1) 既存躯体の補修は、以下の部位に対して行うものとし、 補修箇所の選別は監理者との協議による。
　A) 柱、梁、壁、床におけるコンクリートのジャンカ、その他の躯体欠損部
　　（躯体打込み設備配管の不良施工部等も含む）
　B) コンクリートかぶり厚不足による、 鉄筋の浮きさび発生部
　C) ひび割れ発生部
　D)不良躯体スリーブ
2) 施工に従事するものは、補修材料について十分な知識を持ち、訓練された施工技術をもつ者とする。
3) 本仕様書に示されていない事項については、 「建築改修工事監理指針(令和4年版)」（建築保全センター）による。
4) 本仕様書以外の補修工法を採用する場合は、 本仕様書によるものと同等以上の性能を有するものとし、採用にあたっては監理者の承諾を得ること。
5) 施工に先立ち、 本仕様書にもとづき補修方法を検討して「既存躯体補修要領書」を作成し、監理者に提出すること。
6) ジャンカ、 豆板等の不良コンクリートは完全に除去すること。 柱、梁などでこれにより部材の断面欠損が大きくなる場合には、周辺にサポートなどを設置して、適切に仮設補強を行うこと。 なお、 鉄筋内部まで不良部分が深く続いてハツリが困難な場合は、監理者の指示により除去すること。
7) コンクリートからハツリ出した鉄筋は、手けれん、または高圧洗浄などにより十分にさび落としを行うこと。
8) ハツリ面は、原則としてプライマー塗布処理を行う。
9)注入工法で用いる型枠は、 はらみ出しによりコンクリートと修復材との間に浮きが生じないよう、強固なものとすること。

2　材料

1)補修材料の選定条件
・材料強度は構造特記仕様書5.1に示す値以上とする。
・補修部分コンクリートとの長期接着性がよいもの
・耐久性があるもの
・収縮によるひび割れが生じにくいもの
(乾燥収縮や硬化等による長さ変化が少ないもの)
・プライマーは既存コンクリートとの接着性を向上し、急激な水分の吸収を防止するもの
・ポリマーセメントモルタルは、 躯体断面修復・補修用とする。
2)下記の材料については躯体工事特記仕様書による。
・コンクリート
・鉄筋
3)各種補修材料は、 監理者の承諾を受けた製品を用いること。
4)各種補修材料の品質は特記なき場合、「建築改修工事監理指針（令和4年版)」(建築保全センター)に準拠するものとする。
5)各種補修材料の取り扱い方法については、 製造業者の指定によること。

3　施工環境

1)外気温5℃、 壁面温度3℃、及び施工後3時間以内に0℃以下になるような時は、補修工事を中止するか、適当な保温措置を行って施工すること。
2) 屋外の施工で急激な乾燥の恐れがある場合にはシート等で養生を行って施工すること。

4　その他

1) 補修箇所は事前に施工者による調査を行い、 躯体の不良部位について、不良の種類、位置、写真等を記録すること。
2)補修対象部位が過度に多くなった場合には、施主、監理者、施工者で協議を行う。

5　躯体補修施工手順

1) 躯体補修施工要領書を作成し監理者の承認を受ける。
2) 内装仕上げ材（壁・床・天井）を撤去し、既存躯体を目視可能な状態とする。
3) 施工者により補修箇所の調査を行い、下記記載の英字をスプレーでマーキングを行う。
4) 補修数量を算出し、コストを算出する。
5) 監理者に現場にて補修箇所について確認をとり、補修内容の承認を得る。
6) 躯体補修を行い、必ず補修前後の写真を記録する。
7) 躯体補修後に監理者の検査を受け承認を得る。
8) 躯体補修施工結果をまとめて監理者に提出する。

マーキング凡例【内部】					
		M	埋設物（□100以下）	K	欠損補修（□300未満）
C 0.4	ひび割れ0.4mm以上	M	埋設物（□150以上）	K	欠損補修（□300以上）
C 1.0	ひび割れ1.0mm以上	W	木レンガ（木片・異物）	B	爆裂補修（□300未満）
K	欠損補修（□300未満）	R	露筋補修	B	爆裂補修（□300以上）
K	欠損補修（□300以上）	CJ	コールドジョイント補修	J	ジャンカ補修
B	爆裂補修（□300未満）	U	モルタル浮き	S	スリーブ（100φ以下）
B	爆裂補修（□300以上）	UK	浮き欠損（浮き斫り補修）	SF	スリーブ（100φ以下）異物撤去有り
J	ジャンカ補修	SE	セパレーター		
S	スリーブ（100φ以下）	I	インサート	M	埋設物（□300以下）
SF	スリーブ（100φ以下）異物撤去有り	A	アンカー	M	埋設物（□300以上）
		T	塗膜浮き	U	モルタル浮き
S	スリーブ（200φ以下）	マーキング凡例【外部】		UK	浮き欠損（浮き斫り補修）
SF	スリーブ（200φ以下）異物撤去有り	C 0.1	ひび割れ0.2mm未満	A	アンカー
		C 0.2	ひび割れ0.2mm以上	T	塗膜浮き

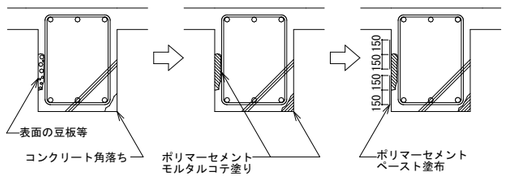
6　補修要領

種類：躯体の充填不良（ジャンカ、 断面欠損）

柱・梁

適用：躯体不良部位が鉄筋まで到達していないもの

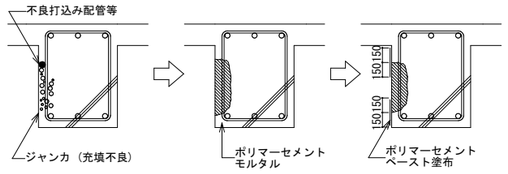
AC-1



補修手順
1)コンクリートハツリにより、躯体不良部撤去
2)下地地均し・洗浄後、下地処理剤（プライマー塗布）
3)断面修復（ポリマーセメントモルタルコテ塗り）
4)補修境界部に幅300でポリマーセメントペーストを塗布

適用：躯体不良部位が鉄筋まで到達しているもので体積の小さいもの

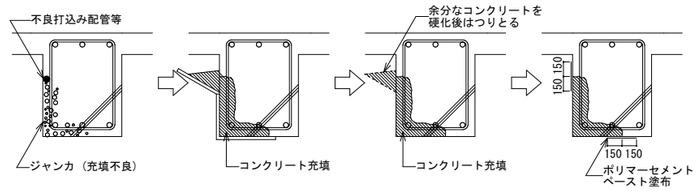
AC-2



補修手順
1)コンクリートハツリにより、 ジャンカ、不良打込み配管等撤去（鉄筋裏側までハツル）
2)鉄筋さび落とし、防錆塗料塗布
3)錆による鉄筋断面欠損がある場合は補強筋を溶接(※1)
4)下地地均し・洗浄後、下地処理剤（プライマー塗布）
5)断面修復（ポリマーセメントモルタル注入または塗布。ポリマーモルタル塗布の場合は1度の塗り厚を30mm程度までとする。 また数回に分けて塗る場合は、必要な工程間隔を確保する）
6)補修境界部に幅300でポリマーセメントペーストを塗布

適用：躯体不良部位の体積の大きいもの

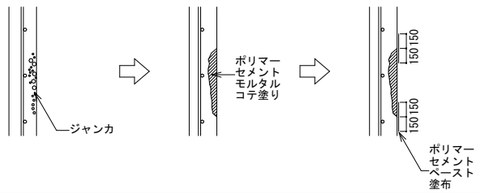
AC-3



補修手順
1)コンクリートハツリにより、ジャンカ、不良打込み配管等撤去（鉄筋裏側までハツル）
2)鉄筋さび落とし、防錆塗料塗布
3)錆による鉄筋断面欠損がある場合は補強筋を溶接(※1)
4)下地地均し・洗浄後、下地処理剤（プライマー塗布）
5)断面修復（コンクリート充填）
6)補修境界部に幅300でポリマーセメントペーストを塗布

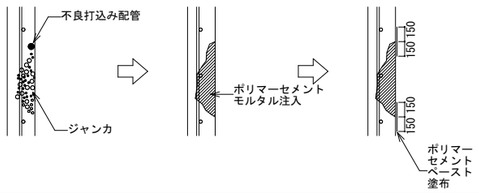
壁

AW-1



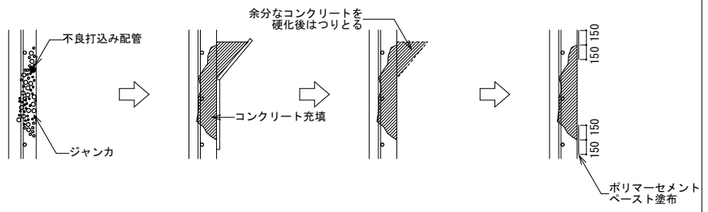
補修手順
1)コンクリートハツリにより、躯体不良部撤去
2)下地地均し・洗浄後、下地処理剤（プライマー塗布）
3)断面修復（ポリマーセメントモルタルコテ塗り）
4)補修境界部に幅300でポリマーセメントペーストを塗布

AW-2



補修手順
1)コンクリートハツリにより、ジャンカ、不良打込み配管等撤去(鉄筋裏側までハツル)
2)鉄筋さび落とし、防錆塗料塗布
3)錆による鉄筋断面欠損がある場合は補強筋を溶接(※1)
4)下地地均し・洗浄後、下地処理剤(プライマー塗布)
5)断面修復（ポリマーセメントモルタル注入または塗布。ポリマーモルタル塗布の場合は1度の塗り厚を30mm程度までとする。 また数回に分けて塗る場合は、必要な工程間隔を確保する）
6)補修境界部に幅300でポリマーセメントペーストを塗布

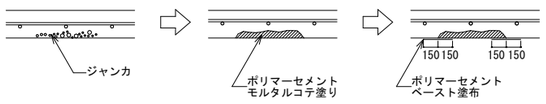
AW-3



補修手順
1)コンクリートハツリにより、ジャンカ、不良打込み配管等撤去(鉄筋裏側までハツル)
2)鉄筋さび落とし、防錆塗料塗布
3)錆による鉄筋断面欠損がある場合は補強筋を溶接(※1)
4)下地地均し・洗浄後、下地処理剤(プライマー塗布)
5)断面修復(コンクリート充填)
6)補修境界部に幅300でポリマーセメントペーストを塗布

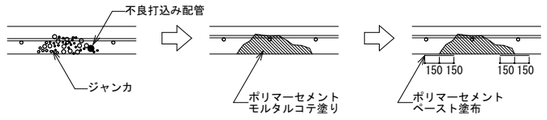
スラブ

AS-1



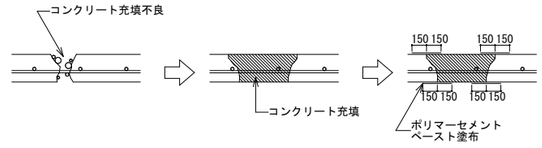
補修手順
1)コンクリートハツリにより、躯体不良部撤去
2)下地地均し・洗浄後、下地処理剤(プライマー塗布)
3)断面修復(ポリマーセメントモルタルコテ塗り)
4)補修境界部に幅300でポリマーセメントペーストを塗布

AS-2



補修手順
1)コンクリートハツリにより、ジャンカ、不良打込み配管等撤去(鉄筋裏側までハツル)
2)鉄筋さび落とし、防錆塗料塗布
3)錆による鉄筋断面欠損がある場合は補強筋を溶接(※1)
4)下地地均し・洗浄後、下地処理剤(プライマー塗布)
5)断面修復(ポリマーセメントモルタル注入または塗布。ポリマーモルタル塗布の場合は1度の塗り厚を30mm程度までとする。また数回に分けて塗る場合は、必要な工程間隔を確保する)
6)補修境界部に幅300でポリマーセメントペーストを塗布

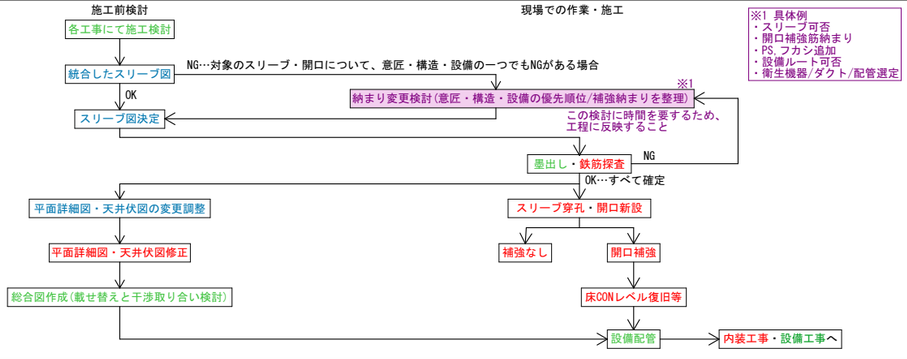
AS-3



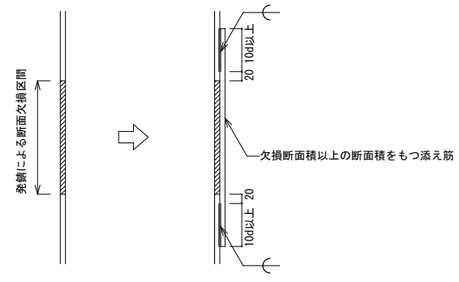
補修手順
1)コンクリートハツリにより、ジャンカ、不良打込み配管等撤去(鉄筋裏側までハツル)
2)鉄筋さび落とし、防錆塗料塗布
3)錆による鉄筋断面欠損がある場合は補強筋を溶接(※1)
4)下地地均し・洗浄後、下地処理剤(プライマー塗布)
5)断面修復（コンクリート充填）
6)補修境界部に幅300でポリマーセメントペーストを塗布

7　設備スリーブ開口手順

主たる作業者(凡例)
設計/監理/調整
建築工事
設備工事(機械・電気・舞台)
共同・調整



(※1)の発生している鉄筋の補強要領は以下とする
・錆の発生している鉄筋の補強対象は断面積の10%程度以上欠損しているものとする。
・欠損断面積以上の断面積をもつ鉄筋を添え筋とし、 錆発生部分から20mm以上離して、添え筋径の10倍以上の長さをフレア溶接する。



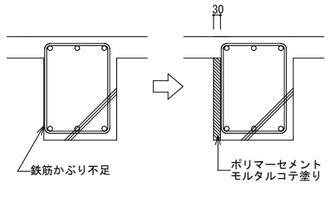
備考				
月 日		月 日		
月 日		月 日		
月 日		月 日		

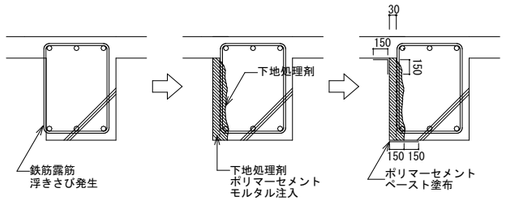
株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図書 A-021
1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	伊藤　高基	図面名称	既存躯体補修工事仕様書1	縮尺 -

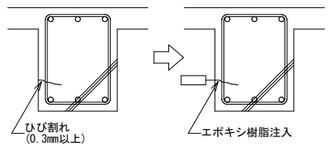
6 補修要領

種類	露筋もしくは鉄筋のかぶり不足		ひび割れ	
適用	躯体表面より鉄筋跡がわかるが露筋はしていないもの	露筋しているもの	幅0.3mm以上1.0mm未満のひび割れ	幅1.0mm以上のひび割れ
柱・梁	BC-1	BC-2	CC-1	CC-2
壁	BW-1	BW-2	CW-1	CW-2
スラブ	BS-1	BS-2	CS-1	CS-2

柱・梁







※幅1mmを超えるひび割れがある場合には監理者と協議により、対応を決定する。

補修手順

1)下地清掃後、下地処理剤(プライマー塗布)
2)ポリマーセメントモルタル30mm厚コテ塗り

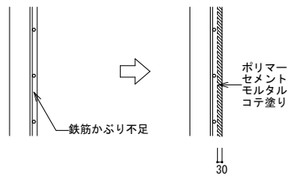
補修手順

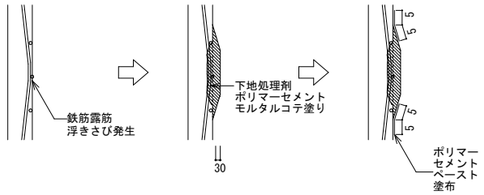
1)コンクリートハツリにより、かぶりコンクリート撤去
2)鉄筋さび落とし、防錆塗料塗布
3)錆による鉄筋断面欠損がある場合は補強筋を溶接(※1)
4)下地地均し・洗浄後、下地処理剤(プライマー塗布)
5)断面修復(かぶり厚が30mmになるようポリマーセメントモルタル注入)
6)補修境界部に幅300でポリマーセメントペーストを塗布

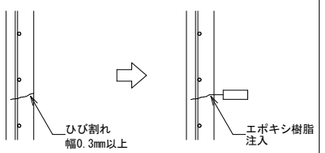
補修手順

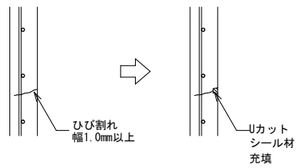
1)補修材注入(エポキシ樹脂)

壁









補修手順

1)下地清掃後、下地処理剤(プライマー塗布)
2)ポリマーセメントモルタル30mm厚コテ塗り

補修手順

1)コンクリートハツリにより、かぶりコンクリート撤去
2)鉄筋さび落とし、防錆塗料塗布
3)錆による鉄筋断面欠損がある場合は補強筋を溶接(※1)
4)下地地均し・洗浄後、下地処理剤(プライマー塗布)
5)ポリマーセメントモルタルをかぶり厚30mmになるようコテ塗り
6)補修境界部に幅300でポリマーセメントペーストを塗布

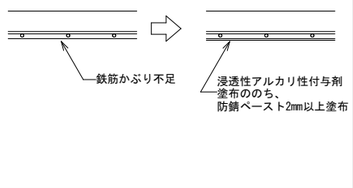
補修手順

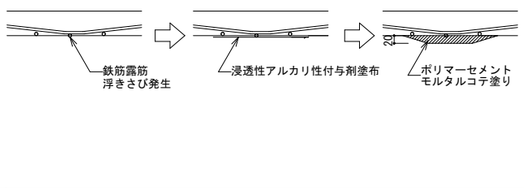
1)補修材注入(エポキシ樹脂)

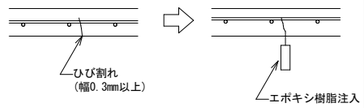
補修手順

1)ひび割れ部Uカット、バックアップ材設置
2)補修材注入(シール材)

スラブ







※幅1mmを超えるひび割れがある場合には監理者と協議により、対応を決定する。

補修手順

1)下地清掃後、浸透性アルカリ性付与剤塗布
2)防錆ペースト塗布(2mm厚以上)

補修手順

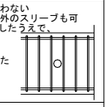
1)鉄筋さび落とし
2)下地地均し・洗浄後、浸透性アルカリ性付与剤
3)ポリマーセメントモルタルをかぶり厚20mmになるようコテ塗り

補修手順

1)補修材注入(エポキシ樹脂)

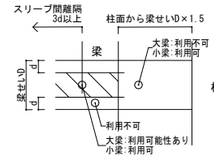
7 設備スリーブ開口要領

新設躯体	既存躯体
※構造図記載の補強方法により適切に補強を行う。	新設スリーブについて ※新設スリーブは原則、地中梁以外の既存梁には行わない ※必要に応じて構造図記載の補強を行えば地中梁以外のスリーブも可 ※地中梁にスリーブをあける場合は下記条件を満たしたうえで、構造監理者にて貫通の可否判断を行う スタラップのピッチに対しかぶり厚さ40mmを確保した位置にスリーブ径とする 梁の上下の制約は下記、既設梁スリーブに準じる



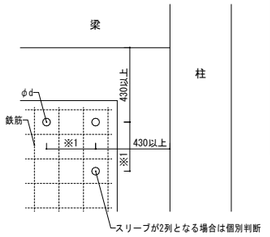
既設の梁スリーブ利用可否について

※既設スリーブは原則、補修(孔埋め)とする
※下記条件を満たしたうえで必要なスリーブ選別後、構造監理者にて利用の可否判断を行う



スリーブサイズ	柱面からの距離	梁の上下の制約	スリーブ間の離隔
125φ以下 梁せい1/3以下	梁せいの1.5倍以上 (小梁は制約なし)	主筋を避ける 上図参照	3d(径平均の3倍) 以上(芯々)
125φを超える 梁せい1/3以下	梁せいの1.5倍以上 (小梁は制約なし)	主筋を避ける 上図参照	3d(径平均の3倍) 以上(芯々)
角開口	利用不可		

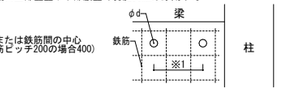
※最終的な配置は構造判断
※上下2列となるような配置は個別判断

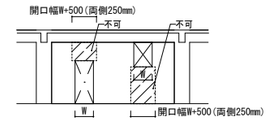


※1
3dまたは鉄筋間の中心
(例:鉄筋ピッチ200の場合400)

スリーブサイズ	柱面・梁面からの距離	スリーブ・開口間の離隔	補強
125φ以下	430mm以上	3d(径平均の3倍)以上 (芯々)	不要
125φを超える	430mm以上	3d(径平均の3倍)以上 (芯々)	要
角開口	個別判断、柱型補強	-	要

※最終的な配置は構造判断
※上下2列となるような配置は不可
※3dの離隔は鉄筋ピッチを考慮して必要離隔距離を決定する
※既存開口上部垂壁や下部腰壁+両側250mmは原則不可

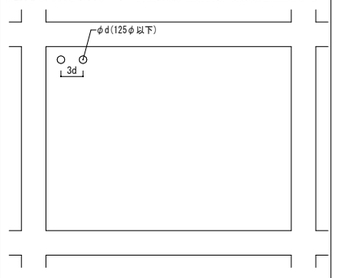




スリーブサイズ	柱面・梁面からの距離	スリーブ・開口間の離隔	補強
125φ以下	指定なし	3d(径平均の3倍)以上 (芯々)	不要
125φを超える	指定なし	3d(径平均の3倍)以上 (芯々)かつ炭素繊維補強幅	要
角開口 ※補強軸組図に記載あり	700mm以上 ※1 (塔屋:800mm以上)	1400mm以上 (塔屋:1600mm以上)	要
角開口 ※補強軸組図に記載なし	設置不可		
			※1 確保できない場合は構造確認可

※最終的な配置は構造判断
※125φ以下スリーブは鉄筋を切断しないこと
※125φ～250φスリーブは炭素繊維補強が必要
※250φより大きいスリーブ・角開口は、個別判断+炭素繊維補強とする

※構造図記載の補強方法により適切に補強を行う。



スリーブサイズ	柱面・梁面からの距離	スリーブ・開口間の離隔	補強
125φ以下	指定なし	3d(径平均の3倍)以上 (芯々)	不要
125φを超える	指定なし	3d(径平均の3倍)以上 (芯々)かつ炭素繊維補強幅	要
角開口	指定なし	炭素繊維補強幅	要

8 躯体補修推定数量

※本推定数量は設計時の想定数量のため、解体完了後に施工者が数量を調査/集計し、監理者承認後に施工すること

No.1 躯体調査

天井躯体調査(梁調査含む) 目視、打診、マーキング、写真撮影、手書き数、量表作成	1200 ㎡	ひび割れ補修(0.4mm以上) 穿孔、エポキシ樹脂注入
		ひび割れ補修(1.0mm以上) 穿孔、エポキシ樹脂注入、 SUS全ネジピン装填(5穴/m)
床躯体調査(屋上含む) 目視、打診、マーキング、写真撮影、手書き数、量表作成	2150 ㎡	浮き補修 穿孔、エポキシ樹脂注入、 ピンニング(16穴/m²)
		欠損補修(■100未満) 不具合部撤去、清掃、樹脂モルタル充填・成型 ※露筋している場合は防錆処理
外壁調査 目視、打診、マーキング、写真撮影、手書き数、量表作成	2660 ㎡	欠損補修(■100以上～300未満) 不具合部撤去、清掃、樹脂モルタル充填・成型 ※露筋している場合は防錆処理
		欠損補修(■300以上) 不具合部撤去、清掃、樹脂モルタル充填・成型 ※露筋している場合は防錆処理
調査報告書作成費 写真台紙、図面位置図作成費	6010 ㎡	爆裂補修(■100以上～300未満) 不具合部撤去、ケレン、防錆処理、樹脂モルタル充填・成型
		爆裂補修(■300以上) 不具合部撤去、ケレン、防錆処理
		ジャンカ補修 不具合部撤去、樹脂モルタル充填・成型
		スリーブ補修(100φ以下) 不具合部撤去、樹脂モルタル充填・成型

NO.2 内部躯体補修工事

ひび割れ補修(0.4mm以上) 穿孔、エポキシ樹脂注入	200 m	スリーブ補修(200φ以下) 不具合部撤去、樹脂モルタル充填・成型
ひび割れ補修(1.0mm以上) 穿孔、エポキシ樹脂注入、 SUS全ネジピン装填(5穴/m)	300 m	埋設物補修(電気BOX、パイプ等) 埋設物撤去、樹脂モルタル充填・成型
浮き補修 穿孔、エポキシ樹脂注入、 ピンニング(16穴/m²)	100 m	コールドジョイント補修 不具合部撤去(W:50mm程度)、 樹脂モルタル充填・成型
欠損補修(■100未満) 不具合部撤去、清掃、樹脂モルタル充填・成型 ※露筋している場合は防錆処理	300 箇所	露筋補修 錆ケレン、防錆処理、樹脂モルタル充填・成型 ※部分的にかぶり厚確保(30mm以上)
欠損補修(■100以上～300未満) 不具合部撤去、清掃、樹脂モルタル充填・成型 ※露筋している場合は防錆処理	300 箇所	
欠損補修(■300以上) 不具合部撤去、清掃、樹脂モルタル充填・成型 ※露筋している場合は防錆処理	100 箇所	
爆裂補修(■100以上～300未満) 不具合部撤去、ケレン、防錆処理、樹脂モルタル充填・成型	150 箇所	
爆裂補修(■300以上) 不具合部撤去、ケレン、防錆処理	100 箇所	
ジャンカ補修 不具合部撤去、樹脂モルタル充填・成型	170 箇所	
スリーブ補修(100φ以下) 不具合部撤去、樹脂モルタル充填・成型	300 箇所	

NO.3 外部躯体補修工事

ひび割れ補修(0.4mm以上) 穿孔、エポキシ樹脂注入	200 m	現場管理 巡回管理程度	1 式
浮き補修 4×70 穿孔、エポキシ樹脂注入、ピンニング(16穴/m²)	1500 ㎡	機械損料 電動工具、副資料	1 式
欠損補修(■100未満) 不具合部撤去、清掃、樹脂モルタル充填・成型 ※露筋している場合は防錆処理	300 箇所	運搬料 材料運送料	6010 ㎡
欠損補修(■100以上～300未満) 不具合部撤去、清掃、樹脂モルタル充填・成型 ※露筋している場合は防錆処理	150 箇所	場内小運搬料 人力、斫りガラ、材料等	6010 ㎡
欠損補修(■300以上) 不具合部撤去、清掃、樹脂モルタル充填・成型 ※露筋している場合は防錆処理	50 箇所	補修履歴作成 現地写真撮影料(補修履歴用) 施工写真、プロット写真、集計表、印刷台、事務消耗品費	6010 ㎡
爆裂補修(■100以上～300未満) 不具合部撤去、ケレン、防錆処理 ※露筋している場合は防錆処理	100 箇所		
ジャンカ補修 不具合部撤去、樹脂モルタル充填・成型	100 ㎡		
スリーブ補修(100φ以下) 不具合部撤去、樹脂モルタル充填・成型	50 箇所		
埋設物補修(電気BOX、パイプ等) 埋設物撤去、樹脂モルタル充填・成型	150 箇所		
露筋補修 錆ケレン、防錆処理、樹脂モルタル充填・成型 ※部分的にかぶり厚確保(30mm以上)	200 箇所		

9 スリーブ開口数量

	125φ以下	125φを超える	角開口
梁(新設躯体)	箇所	箇所	箇所
梁(既存躯体)	箇所	箇所	箇所
壁(新設躯体)	箇所	箇所	箇所
壁(既存躯体)	箇所	箇所	箇所
床(新設躯体)	箇所	箇所	箇所
床(既存躯体)	箇所	箇所	箇所

※設備図、構造図記載のスリーブ径、箇所数による

備考												
月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-022
月 日		月 日		1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	統括	佐藤 信	製図	伊藤 高基	図面名称	既存躯体補修工事仕様書2	縮尺	-
月 日		月 日										

＜建築概要＞

工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事	工事種別	増築、一部耐震補強を含む大規模改修工事	前面道路	南側:42条2項道路1.86m、西側:42条1項1号道路5.50m、 東側:42条1項1号道路6.57m	構造/規模	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造/地上4階
地名地番	大阪府大東市浜町23番地　(地番表示) 大阪府大東市浜町2番12号 (住所表示)	高度地区	指定なし	水道	公共水道	耐火建築物	耐火建築物
都市計画区域	市街化区域	敷地面積	8814.01㎡(第一種住居：7042.08㎡、近隣商業：1771.93㎡)	放流先(便所の種類)	公共下水(水洗)　　合流式	建物の用途	小学校(用途記号08080)
用途地域	近隣商業地域、第一種住居地域	建築面積	3354.24㎡	最高高さ	16,650㎜(本館北棟)	駐車場・駐輪場付置義務	なし
防火指定	準防火地域(近隣商業地域範囲に限る)、法22条区域	延べ面積	6560.14㎡	軒高	15,350㎜(本館北棟)	内装制限	なし

＜外部仕上表＞

屋根1 (本館北棟,本館南棟) ※押えコンクリート撤去	既存改質アスファルト防水、押えコンクリート50㎜、アスファルト防水層撤去/ 下地勾配及び勾配調整/硬質ウレタンフォーム1種t=35/シート防水外断熱工法SI-M2(機械固定)	外壁1	既存外壁高圧洗浄/下地調整/弾性複層塗料E吹付	外構	アスファルト舗装、植栽、手洗い(配置図・外構図・平面図参照)、 新正門：アスファルト舗装、花壇：縁石ブロック
屋根2 (増築棟)	硬質ウレタンフォームt=35/シート防水外断熱工法SI-M2(機械固定)	外壁2	C-60×30×20×2.3@455/耐水コンパネt=12/アスファルトルーフィング940 /カラーGL鋼板 t=0.4 横平葺き	フェンス	ステンレスメッシュフェンスH=1800 (西面のみやりかえ)
屋根3 (リンクテラス)	C-100x60x20x2.3/耐火野地板t=18/アスファルトルーフィング940/ カラー鋼板t=0.4縦ハゼ葺き	外壁3	鉄骨下地/ALC板t=100/下地調整/吹付タイル ※ALC板:耐火認定番号 平成12年建設省告示第1399号 複合耐火 梁 認定番号:FP060BM-9356 (吹付けロックウール t=25) 梁のみに接合	サイン	サイン図参照
屋根4 (屋内運動場)	既存長尺カラー折半瓦棒葺きの上、 硬質ウレタンフォームt50/合成高分子系ルーフィングシート防水(同等品) (断熱・高反射高耐久塗料仕上げ)	外壁4	鉄骨下地/押出成形セメント板t=50(アスロックNeo カラーフロン同等品) ※押出成形セメント板　複合耐火 梁 認定番号:FP030NE-9168 (吹付けロックウール t=25) 梁のみに接合	駐車場	なし
笠木1 (屋根1)	C-20x20x2.6/耐水合板t=12/ /アスファルトルーフィング940/GL鋼板t=0.4曲げ加工	バルコニー床 (増築棟)	シンダーコンクリートt120/シート防水外断熱工法SI-M2(機械固定)	駐輪場	外構詳細図参照
笠木2 (屋根2)	C-20x20x2.6/耐水合板t=12//アスファルトルーフィング940/GL鋼板t=0.4曲げ加工/ RCパラペット部分ウレタン塗膜防水(X-2)	バルコニー軒天 (増築棟・新館)	建築用鋼製下地材(JIS A 6517)/ケイカル板t=0.6/リシン吹付	視覚障害者用点字鋲	サイン図参照
		リンクテラス　床	RC/タイル下地モルタル/タイル貼り	家具	家具図参照
		リンクテラス　軒天	建築用鋼製下地材(JIS A 6517)/ケイカル板t=0.6/リシン吹付	キュービクル置場	部分詳細図参照
		昇降口	床 ： タイル下地モルタル/タイル貼り、スロープ: タイル下地モルタル/タイル貼り	バルク置場	コンクリート基礎、収納庫：LPガス容器収納庫ボンベック連棟BN42D同等品、ルーバー
		職員玄関	床 ： タイル下地モルタル/タイル貼り、スロープ: タイル下地モルタル/タイル貼り		
縦樋	カラーVP管φ100、SUS304受け金物/VP塗装	通用口	床 ： タイル下地モルタル/タイル貼り、スロープ: タイル下地モルタル/タイル貼り		
ルーフドレイン	全てやりかえ/鋳鉄製縦型	建具	建具表参照(アルミサッシ他)		
EXP.J.C	部分詳細図参照	ガラス	建具表参照(透明網入りガラス、強化複層ガラス他)		
庇	弾性吹付タイル(軒天共)	消火器	ABC消火器：36個 消火器ボックス：36個		
		躯体補修	内外仕上補修:モルタル浮き・クラック補修(平成29年度版 東京都建築工事標準仕様書) 内外躯体補修:ジャンカ・爆裂・クラック・スリーブ・鉄筋腐食他躯体欠損補修 (既存躯体補修工事仕様書) ※補修数量は解体工事後に数量調査を行い外壁・各階ごとに補修内容・方法を監理者に確認すること。		

特記事項

・消火器は建築工事に含むこと。
・仕上げについては、それに対応した下地及び補強を施すものとする。
・特記なき屋外鉄部は溶融亜鉛メッキ処理とすること。
・特記なき内部鉄部はサビ止めとすること。
・特記なき建材等は全てF☆☆☆☆とすること。
・特記なき木部はCL塗りとすること。
・鉄骨下地メンバー・ピッチは構造図及び詳細図を確認すること。
・内部床は不陸があるためセルフレベリングを施工すること。階段、屋外部分は除く。
・プール、体育倉庫、グラウンド、南・東・北面フェンスは改修対象外とする。
・硬質ウレタンフォーム１種、吹付ウレタンフォームA種1とする。

＜耐火・防火・不燃認定番号＞

~~吹付けロックウール被覆/梁t=25 (1時間耐火) 認定番号: FP060BM-9408~~	PBt=9.5 (準不燃) 認定番号: QM-9828	掲示クロス(準不燃)認定番号：QM-0824	EP-G塗装(不燃)認定番号：NM-8585
※ALC板：耐火認定番号　平成12年建設省告示第1399号　複合耐火　梁 認定番号：FP060BM-9356(吹付けロックウール t=25)梁のみに接合	PBt=12.5 (不燃) 認定番号: NM-8619	化粧石膏ボードt=9.5 (不燃) 認定番号: NM-1864 (GB-NC)	化粧吸音石膏ボードt=9.5(準不燃) 認定番号: QM-9822
	耐水PBt=9.5 (準不燃) 認定番号:QM-9826	ケイカル板t=6 (不燃) 認定番号: NM-8576	不燃木杉板 認定番号: NM-1704
耐火野地板/屋根 (30分耐火) 認定番号：FP030RF-1763-2(1)	耐水PBt=12.5(不燃) 認定番号:QM-9639	タイル・モルタル石(不燃) 告示1400号	リシン吹付(不燃)(ジョリパット)認定番号：NM-8572
exp.j(耐火仕様)　耐火帯12.5㎜：EAJ-防災-3013	クロス張り (不燃) 認定番号: NM-0326		
※押出成形セメント板：耐火認定番号　平成14年国住指第4735号複合耐火　梁 認定番号：FP030NE-9168(吹付けロックウール t=25)梁のみに接合			

備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-023
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	伊藤　高基	図面名称	外部仕上表	縮尺	-
	月 日		月 日										

棟・階数	居室:○ 非居室:ー	室名	床 下地	床 仕上表	FL高さ	巾木	巾木高さ	壁 下地	壁 仕上げ	天井 下地	天井 仕上げ	CH	備考
1階													
本館北棟	-	倉庫	既存スラブ/床不陸調整(セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	既存モルタル下地調整	EP-G塗装	階段裏下地調整	EP-G塗装	2500	ー
	-	階段3	既存スラブ/床不陸調整(セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	既存モルタル下地調整	EP-G塗装	階段裏下地調整	EP-G塗装	ー	手すり、ノンスリップ、掲示板
	-	昇降口1	既存スラブ/床不陸調整(セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	3100	下足箱、掲示板、傘立て、総合案内板、(AED・消火器収納)
			下地モルタル	コンクリート金コテ押え	-20	SUS巾木	60	軽鉄下地/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
	○	保健室	既存スラブ/床不陸調整(セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	3100	洗濯機パン、戸棚、収納棚、流し台、キュービクルカーテン(レール共)、カーテンボックス、ベッド、カーテン、カーテンレール
								軽鉄下地/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
	-	職員更衣室(男)(女)	既存スラブ/床不陸調整(セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	3100	カーテンボックス、ロッカー、カーテン、カーテンレール
								軽鉄下地/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
	-	廊下1-2	既存スラブ/床不陸調整(セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/ケイカル板t=6/	リシン吹付	2700	ー
本館南棟	○	職員室	既存スラブ/床不陸調整/OAフロアH=50(セルフレベリング材t=10)	タイルカーペット	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧吸音石膏ボードt=9.5(準不燃)	3100	カウンター、カーテン、カーテンレール、ミニキッチン(L1470)、曲面黒板、机、椅子、棚
			新設土間コンクリート/床不陸調整/OAフロアH=50					軽鉄下地/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
	○	校長室	新設土間コンクリート/床不陸調整	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧吸音石膏ボードt=9.5(準不燃)	3100	手洗い、鏡(W500×H600)、カーテン、カーテンレール
								軽鉄下地/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
	-	職員用トイレ(女)	新設土間コンクリート/床不陸調整	耐汚性長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2500	トイレブース、洗面器、小便器、大便器、手すり、鏡、掃除用流し、洗面カウンター
								硬質ウレタンボードt=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装				
	-	職員用トイレ(男)	既存スラブ/床不陸調整(セルフレベリング材t=10)	耐汚性長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2500	トイレブース、洗面器、小便器、大便器、手すり、鏡、掃除用流し、洗面カウンター
								硬質ウレタンボードt=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装				
	○	図書館・メディアスペース	新設土間コンクリート/床不陸調整/	フローリングt=12直張	±0	木巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/PBt=9.5	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	3100	書架、カウンター、造作カウンター、カーテン、カーテンレール、机、椅子
								軽鉄下地/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/下地合板t=9	天然木突板t=6(不燃)		
	○	調理室(本館南棟)	新設土間コンクリート/床不陸調整/鋼鉄製上床H450	防滑性長尺塩ビシート	±0	床同材立上	60	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2500	調理機器、手洗い
								硬質ウレタンボードt=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装				
	○	調理室(増築棟)	RCスラブ/床不陸調整	防滑性長尺塩ビシート	±0	床同材立上	60	硬質ウレタンボードt=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2500	調理機器、手洗い
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装				
	-	配膳室	新設土間コンクリート/床不陸調整/鋼鉄製上床H450	防滑性長尺塩ビシート	±0	床同材立上	60	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2500	調理機器
								硬質ウレタンボードt=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装				
	-	前室	新設土間コンクリート/床不陸調整/鋼鉄製上床H450	防滑性長尺塩ビシート	±0	床同材立上	60	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2500	手洗い
								硬質ウレタンボードt=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装				
	-	下膳コーナー	新設土間コンクリート/床不陸調整/鋼鉄製上床H450	防滑性長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2500	手洗い
								硬質ウレタンボードt=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装				
	-	廊下1-1	既存スラブ/床不陸調整(セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/ケイカル板t=6/	リシン吹付	2700	ー
増築棟	-	体育倉庫	RCスラブ/床不陸調整	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2500	ー
	-	収納庫	RCスラブ/床不陸調整	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2500	洗濯機パン
	○	児童クラブ1	RCスラブ/床不陸調整	床クッションフロア	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧吸音石膏ボードt=9.5(準不燃)	3100	掃除道具入れ、児童用ロッカー、曲面黒板、カーテン、カーテンレール、手洗い
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
	○	児童クラブ2	RCスラブ/床不陸調整	床クッションフロア	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧吸音石膏ボードt=9.5(準不燃)	3100	掃除道具入れ、児童用ロッカー、ホワイトボード、カーテン、カーテンレール、手洗い
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
	-	トイレ(児童クラブ)	RCスラブ/床不陸調整	耐汚性長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2500	大便器
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装				
	-	多目的トイレ	RCスラブ/床不陸調整	耐汚性長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2500	ー
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装				

棟・階数	居室:○ 非居室:－	室名	床 下地	床 仕上表	FL高さ	巾木	巾木高さ	壁 下地	壁 仕上げ	天井 下地	天井 仕上げ	CH	備考
	-	下処理室	RCスラブ/床不陸調整	防滑性長尺塩ビシート	±0	床同材立上	60	硬質ウレタンボードt=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2500	調理機器、手洗い
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装				
	-	食品庫	RCスラブ/床不陸調整	防滑性長尺塩ビシート	±0	床同材立上	60	硬質ウレタンボードt=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2500	調理機器、手洗い
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装				
	-	検収室	RCスラブ/床不陸調整	防滑性長尺塩ビシート	±0	床同材立上	60	硬質ウレタンボードt=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2500	調理機器、手洗い
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装				
	-	パン・牛乳仕分室	RCスラブ/床不陸調整	防滑性長尺塩ビシート	±0	床同材立上	60	硬質ウレタンボードt=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2500	調理機器、手洗い
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装				
	-	前室	RCスラブ/床不陸調整	防滑性長尺塩ビシート	±0	床同材立上	60	硬質ウレタンボードt=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2500	―
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装				
	-	給食員用トイレ	RCスラブ/床不陸調整	耐汚性長尺塩ビシート	±0	床同材立上	60	硬質ウレタンボードt=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2500	大便器、手洗い
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装				
	-	更衣・休憩室	RCスラブ/床不陸調整	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2500	ロッカー
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
	-	階段1	RCスラブ/床不陸調整	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	階段裏下地調整	EP-G塗装	―	手すり、ノンスリップ、掲示板
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
2階													
本館北棟	-	階段3	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	階段裏下地調整	EP-G塗装	―	手すり、ノンスリップ、掲示板
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
	○	普通教室1	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧吸音石膏ボードt=9.5 (準不燃)	3100	掃除道具入れ、児童用ロッカー、曲面黒板、 カーテン、カーテンレール
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
								軽鉄下地/ラワン合板t=9	掲示クロス				
	○	普通教室2	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧吸音石膏ボードt=9.5 (準不燃)	3100	掃除道具入れ、児童用ロッカー、曲面黒板、 カーテン、カーテンレール
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
								軽鉄下地/ラワン合板t=9	掲示クロス				
本館南棟	○	オープンスペース1	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧吸音石膏ボードt=9.5 (準不燃)	3100	掃除道具入れ、児童用ロッカー、ホワイトボード、 カーテン、カーテンレール
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
								軽鉄下地/ラワン合板t=9	掲示クロス				
	○	普通教室3	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧吸音石膏ボードt=9.5 (準不燃)	3100	掃除道具入れ、児童用ロッカー、曲面黒板、 カーテン、カーテンレール
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
								軽鉄下地/ラワン合板t=9	掲示クロス				
	○	普通教室4	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧吸音石膏ボードt=9.5 (準不燃)	3100	掃除道具入れ、児童用ロッカー、曲面黒板、 カーテン、カーテンレール
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
								軽鉄下地/ラワン合板t=9	掲示クロス				
	-	オープンスペース2	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/ ケイカル板t=6/	リシン吹付	2850	カウンター、棚、手洗い
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
								軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
	-	階段2	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/ ケイカル板t=6/	リシン吹付	2850	手すり、ノンスリップ、掲示板
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装				
	-	児童トイレ(男)	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	耐汚性長尺塩ビシート	±0	床同材立上	60	硬質ウレタンボードt=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2500	トイレブース、洗面器、小便器、大便器、手すり、 鏡、掃除用流し、洗面カウンター
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装				

棟・階数	居室:○ 非居室:ー	室名	床		FL高さ	巾木	巾木高さ	壁		天井		CH	備考
			下地	仕上表				下地	仕上げ	下地	仕上げ		
	-	児童トイレ(女)	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	耐汚性長尺塩ビシート	±0	床同材立上	60	硬質ウレタンボードt=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2500	トイレブース、洗面器、小便器、大便器、手すり、 鏡、掃除用流し、洗面カウンター
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装				
	-	児童更衣室1	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2850	カーテン、カーテンレール、ロッカー
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
	-	児童更衣室2	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2850	カーテン、カーテンレール、ロッカー
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
	○	特別支援教室1	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧吸音石膏ボードt=9.5 (準不燃)	3100	掃除道具入れ、児童用ロッカー、曲面黒板、 カーテン、カーテンレール
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
								軽鉄下地/ラワン合板t=9	掲示クロス				
	○	特別支援教室2	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧吸音石膏ボードt=9.5 (準不燃)	3100	掃除道具入れ、児童用ロッカー、曲面黒板、 カーテン、カーテンレール
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
								軽鉄下地/ラワン合板t=9	掲示クロス				
	-	廊下2-2	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/ ケイカル板t=6/	リシン吹付	2850	手洗い、荷物掛けバー、ワイヤーレール
増築棟	-	倉庫	RCスラブ/床不陸調整	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	軽鉄下地/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	3100	ー
	-	倉庫1	RCスラブ/床不陸調整	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	軽鉄下地/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	3100	ー
	○	オープンスペース3	RCスラブ/床不陸調整	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧吸音石膏ボードt=9.5 (準不燃)	3100	掃除道具入れ、児童用ロッカー、ホワイトボード、 カーテン、カーテンレール
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
								軽鉄下地/ラワン合板t=9	掲示クロス				
	○	集会室	RCスラブ/床不陸調整	タイルカーペット	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧吸音石膏ボードt=9.5 (準不燃)	3100	ホワイトボード(SKY工事)
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
								軽鉄下地/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
	-	階段1	RCスラブ/床不陸調整	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	階段裏下地調整	EP-G塗装	ー	手すり、ノンスリップ
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
	-	廊下2-1	RCスラブ/床不陸調整	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/ ケイカル板t=6/	リシン吹付	2850	
3階													
本館 北棟	-	階段3	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	階段裏下地調整	EP-G塗装	ー	手すり、ノンスリップ、掲示板
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
	○	普通教室5	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧吸音石膏ボードt=9.5 (準不燃)	3100	掃除道具入れ、児童用ロッカー、曲面黒板、 カーテン、カーテンレール
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
								軽鉄下地/ラワン合板t=9	掲示クロス				
	○	普通教室6	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧吸音石膏ボードt=9.5 (準不燃)	3100	掃除道具入れ、児童用ロッカー、曲面黒板、 カーテン、カーテンレール
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
								軽鉄下地/ラワン合板t=9	掲示クロス				
本館 南棟	○	オープンスペース4	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧吸音石膏ボードt=9.5 (準不燃)	3100	掃除道具入れ、児童用ロッカー、ホワイトボード、 カーテン、カーテンレール
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
								軽鉄下地/ラワン合板t=9	掲示クロス				
	○	普通教室7	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧吸音石膏ボードt=9.5 (準不燃)	3100	掃除道具入れ、児童用ロッカー、曲面黒板、 カーテン、カーテンレール
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
								軽鉄下地/ラワン合板t=9	掲示クロス				
	○	普通教室8	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧吸音石膏ボードt=9.5 (準不燃)	3100	掃除道具入れ、児童用ロッカー、曲面黒板、 カーテン、カーテンレール
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
								軽鉄下地/ラワン合板t=9	掲示クロス				

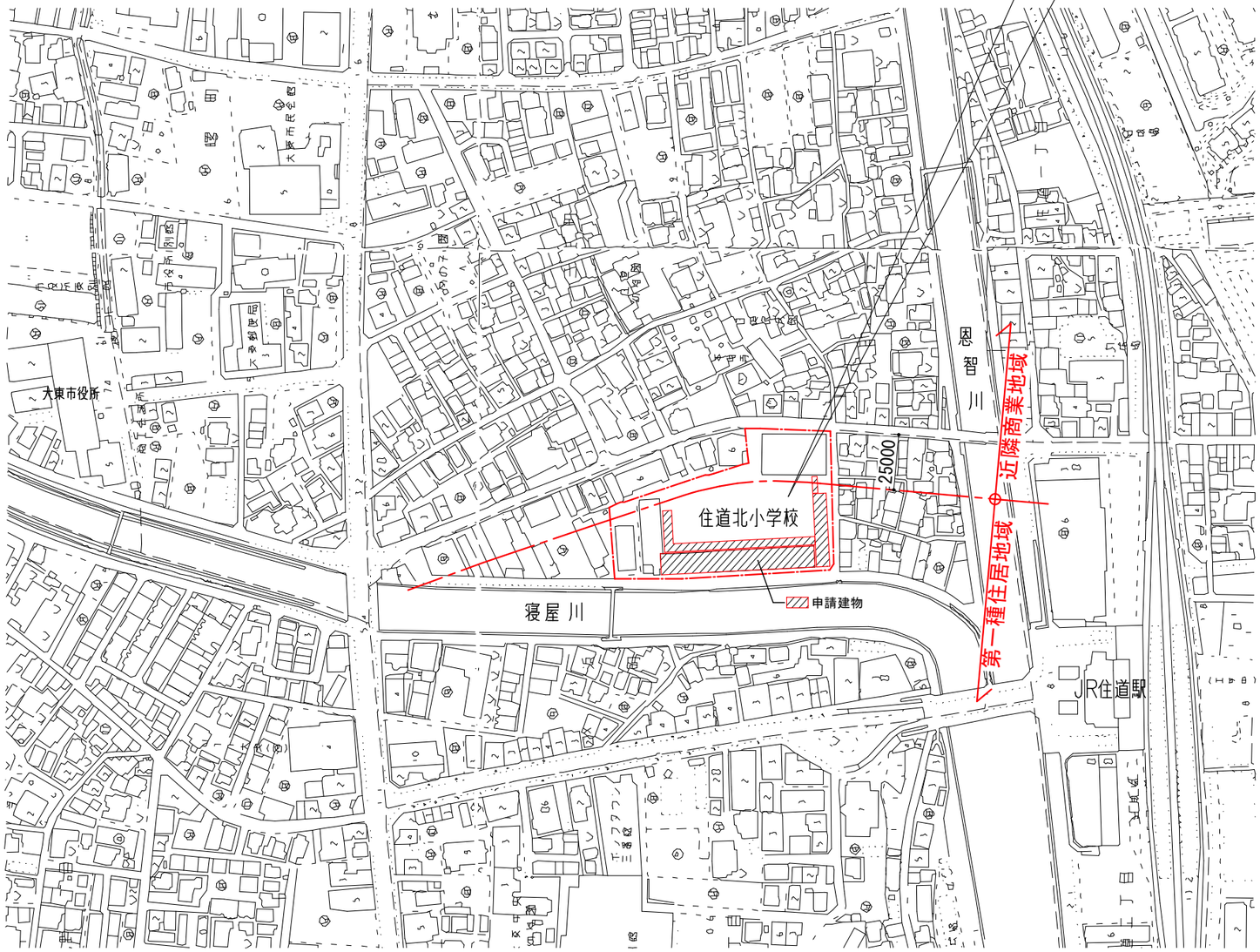
備考														
	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-026
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	伊藤　高基	図面名称	内部仕上表-3	縮尺	-
	月 日		月 日										

棟・階数	居室:○ 非居室:ー	室名	床		FL高さ	巾木	巾木高さ	壁		天井		CH	備考
			下地	仕上表				下地	仕上げ	下地	仕上げ		
	-	オープンスペース5	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/ ケイカル板t=6/	リシン吹付	2850	カウンター、棚、手洗い
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
	-	階段2	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	階段裏下地調整	EP-G塗装	ー	手すり、ノンスリップ、掲示板
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
	-	児童トイレ(男)	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	耐汚性長尺塩ビシート	±0	床同材立上	60	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2500	トイレブース、洗面器、小便器、大便器、手すり、 鏡、掃除用流し、洗面カウンター
								硬質ウレタンボードt=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装				
	-	児童トイレ(女)	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	耐汚性長尺塩ビシート	±0	床同材立上	60	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2500	トイレブース、洗面器、小便器、大便器、手すり、 鏡、掃除用流し、洗面カウンター
								硬質ウレタンボードt=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装				
	-	児童更衣室3	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2850	カーテン、カーテンレール、ロッカー
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
	-	児童更衣室4	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2850	カーテン、カーテンレール、ロッカー
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
	○	少人数教室1	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧吸音石膏ボードt=9.5 (準不燃)	3100	掃除道具入れ、児童用ロッカー、曲面黒板、 カーテン、カーテンレール
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
								軽鉄下地/ラワン合板t=9	掲示クロス				
	○	少人数教室2	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧吸音石膏ボードt=9.5 (準不燃)	3100	掃除道具入れ、児童用ロッカー、曲面黒板、 カーテン、カーテンレール
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
								軽鉄下地/ラワン合板t=9	掲示クロス				
	-	廊下3-1	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/ ケイカル板t=6/	リシン吹付	2850	手洗い、荷物掛けバー、ワイヤーレール
増築棟	-	倉庫3	RCスラブ/床不陸調整	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	3100	ー
	-	階段1	RCスラブ/床不陸調整	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	階段裏下地調整	EP-G塗装	ー	手すり、ノンスリップ、掲示板
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
4階													
本館 北棟	-	階段3	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	階段裏下地調整	EP-G塗装	ー	手すり、ノンスリップ、掲示板
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
	○	学習室	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧吸音石膏ボードt=9.5 (準不燃)	3100	掃除道具入れ、児童用ロッカー、曲面黒板、 カーテン、カーテンレール
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
								軽鉄下地/ラワン合板t=9	掲示クロス				
	○	児童会室	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧吸音石膏ボードt=9.5 (準不燃)	3100	掃除道具入れ、児童用ロッカー、曲面黒板、 カーテン、カーテンレール
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
								軽鉄下地/ラワン合板t=9	掲示クロス				
	-	廊下4-1	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/ ケイカル板t=6/	リシン吹付	2850	手洗い、荷物掛けバー、ワイヤーレール
本館 南棟	-	階段2	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	階段裏下地調整	EP-G塗装	ー	手すり、ノンスリップ、掲示板
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				

棟・階数	居室:○ 非居室:ー	室名	床		FL高さ	巾木	巾木高さ	壁		天井		CH	備考
			下地	仕上表				下地	仕上げ	下地	仕上げ		
新館													
	○	警備員室	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	3100	手洗い
								軽鉄下地/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
	○	校務員室	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	3100	手洗い
								軽鉄下地/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
	○	会議室	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧吸音石膏ボードt=9.5 (準不燃)	3000	カーテン、カーテンレール
								軽鉄下地/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
	○	相談室	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧吸音石膏ボードt=9.5 (準不燃)	3000	カーテン、カーテンレール
								軽鉄下地/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
	ー	昇降口2	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧吸音石膏ボードt=9.5 (準不燃)	3100	下足箱
								軽鉄下地/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	階段裏下地調整	EP-G塗装		
屋内運動場													
	○	アリーナ	既存床存置	ー	±0	ソフト巾木	60	炭酸カルシウム板t=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき/ 木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21	化粧有効シナ合板 t=9(ｼﾅﾃｰﾌﾟ)	既存存置	ー	ー	
	ー	ステージ	既存床存置	ー	±0	ソフト巾木	60	木下地/PB12.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	既存存置	ー	ー	メンテナンス用階段
	ー	ギャラリー	既存床存置	ー	±0	ソフト巾木	60	炭酸カルシウム板t=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				

備考													
	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-027-2
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	伊藤　高基	図面名称	内部仕上表-5	縮尺	-
	月 日		月 日										

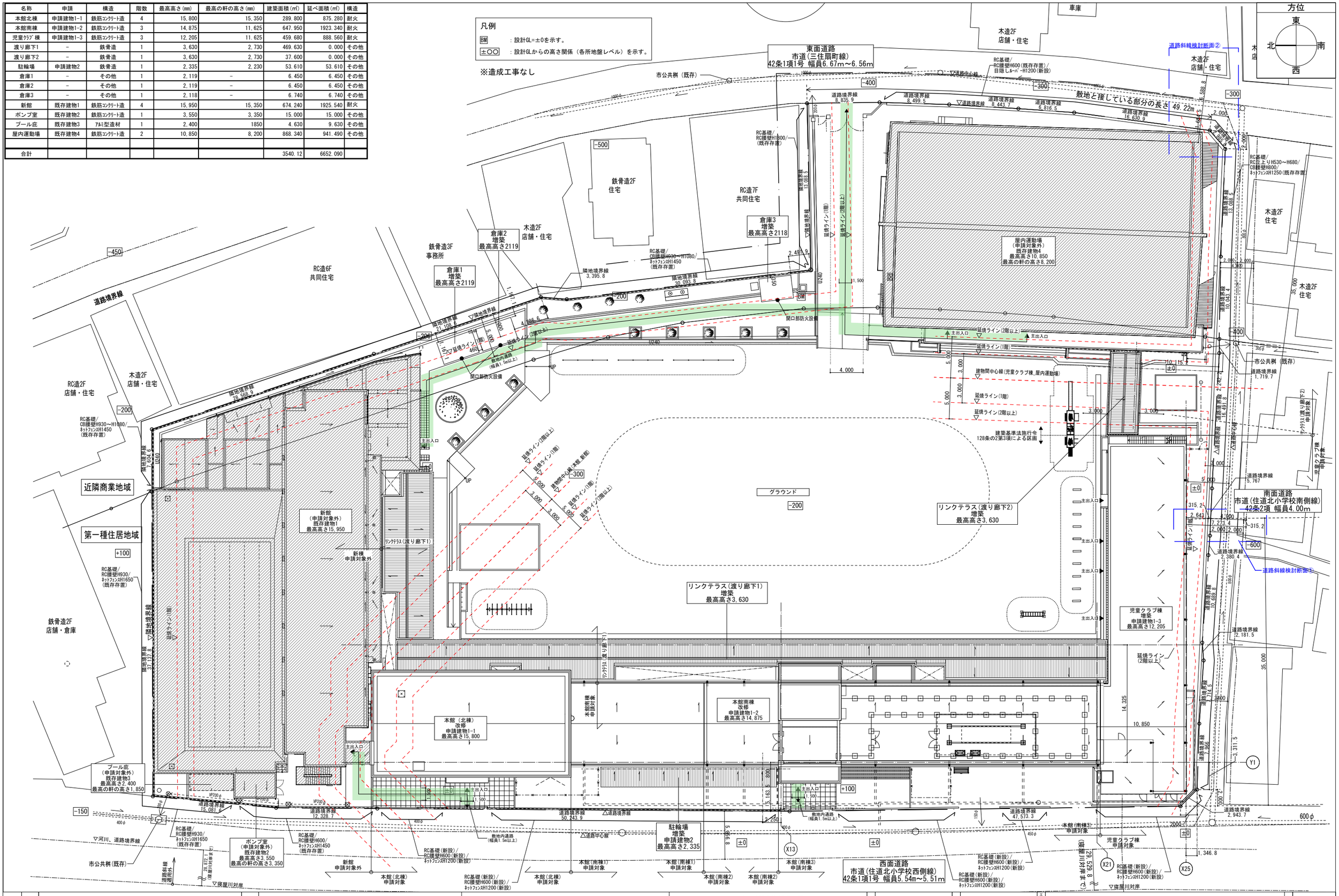
計画地　地番表示：大阪府大東市浜町16番8、22番2、22番3、23番、24番1、26番1、26番2、26番3、27番1、27番2、27番3、27番4、28番1、28番2、684番1
住所表示：大阪府大東市浜町2番12号



附近見取図 S=1/3000(A3)

備考													
	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-028
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	伊藤　高基	図面名称	敷地案内図	縮尺	1/1500(A1) 1/3000(A3)
	月 日		月 日										

名称	申請	構造	階数	最高高さ(mm)	最高の軒の高さ(mm)	建築面積(㎡)	延べ面積(㎡)	構造
本館北棟	申請建物1-1	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造	4	15,800	15,350	289.800	875.280	耐火
本館南棟	申請建物1-2	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造	3	14,875	11,625	647.950	1923.340	耐火
児童ｸﾗﾌﾞ棟	申請建物1-3	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造	3	12,205	11,625	459.680	888.560	耐火
渡り廊下1	－	鉄骨造	1	3,630	2,730	469.630	0.000	その他
渡り廊下2	－	鉄骨造	1	3,630	2,730	37.600	0.000	その他
駐輪場	申請建物2	鉄骨造	1	2,335	2,230	53.610	53.610	その他
倉庫1	－	その他	1	2,119	－	6.450	6.450	その他
倉庫2	－	その他	1	2,119	－	6.450	6.450	その他
倉庫3	－	その他	1	2,118	－	6.740	6.740	その他
新館	既存建物1	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造	4	15,950	15,350	674.240	1925.540	耐火
ポンプ室	既存建物2	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造	1	3,550	3,350	15.000	15.000	その他
プール庇	既存建物3	ｱﾙﾐ型造材	1	2,400	1850	4.630	9.630	その他
屋内運動場	既存建物4	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造	2	10,850	8,200	868.340	941.490	その他
合計						3540.12	6652.090	



備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-029
	月 日		月 日		1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	統括	佐藤 信	製図	伊藤 高基	図面名称	配置図	縮尺	1/200(A1) 1/400(A3)
	月 日		月 日										

□敷地面積求積表

敷地求積図（近隣商業地域）

番号	X(m)	Y(m)	/N	A(㎡)
A	7.6046	2.9930	2	11.3802839000
B	28.6360	6.9836	2	99.9911848000
C	45.9694	6.9620	2	160.0194814000
D	21.1086	6.9371	2	73.2162345300
E	8.2154	3.1087	2	12.7696069900
F	8.2154	6.6834	2	27.4534021800
G	14.5021	3.4448	2	24.9784170400
H	30.0938	4.4079	2	66.3252305100
I	16.8640	3.9190	2	33.0450080000
J	9.2890	4.4240	2	20.5472680000
K	26.3353	6.2443	2	82.2227568950
L	26.3353	8.3878	2	110.4476146700
M	26.2346	8.0995	2	106.2435713500
N	26.2346	7.2419	2	94.9941748700
O	26.2764	8.0336	2	105.5470435200
P	26.2764	13.2104	2	173.5608772800
Q	25.7240	6.6247	2	85.2068914000
R	32.7644	15.5337	2	254.4761801400
S	32.7644	5.5621	2	91.1194346200
T	25.0278	10.0162	2	125.3417251800
U	15.4408	1.6896	2	13.0443878400
合計(㎡)				1,771.9307751150
少数点切捨(㎡)				1,771.930

敷地求積図（第一種住居地域）

番号	X(m)	Y(m)	/N	A(㎡)
1	38.4806	2.8886	2	55.5775305800
2	41.5851	13.9534	2	290.1267671700
3	62.9933	30.3304	2	955.3059931600
4	62.9933	10.7338	2	338.0787417700
5	63.2793	43.5432	2	1,377.6916078800
6	63.2793	9.2386	2	292.3060704900
7	61.8761	9.1085	2	281.7992284250
8	61.3209	14.7232	2	451.4199374400
9	62.3428	8.8528	2	275.9541699200
10	63.8638	7.3438	2	234.5014872200
11	68.3322	12.6242	2	431.3196796200
12	68.3322	34.6784	2	1,184.8256822400
13	20.6630	1.6789	2	17.3455553500
14	28.4680	11.8313	2	168.4067242000
15	32.7908	3.5498	2	58.2003909200
16	34.6451	1.4518	2	25.1488780900
17	43.6606	5.1026	2	111.3912887800
18	54.3168	2.0778	2	56.4297235200
19	53.6923	7.0482	2	189.2170344300
20	51.0450	7.7578	2	197.9984505000
21	49.7171	1.9729	2	49.0434332950
合計(㎡)				7,042.0883750000
小数点切捨(㎡)				7,042.080

□合計敷地面積

近隣商業地域敷地面積(㎡)	1,771.930
第一種住居地域敷地面積(㎡)	7,042.080
合計敷地面積(㎡)	8,814.010

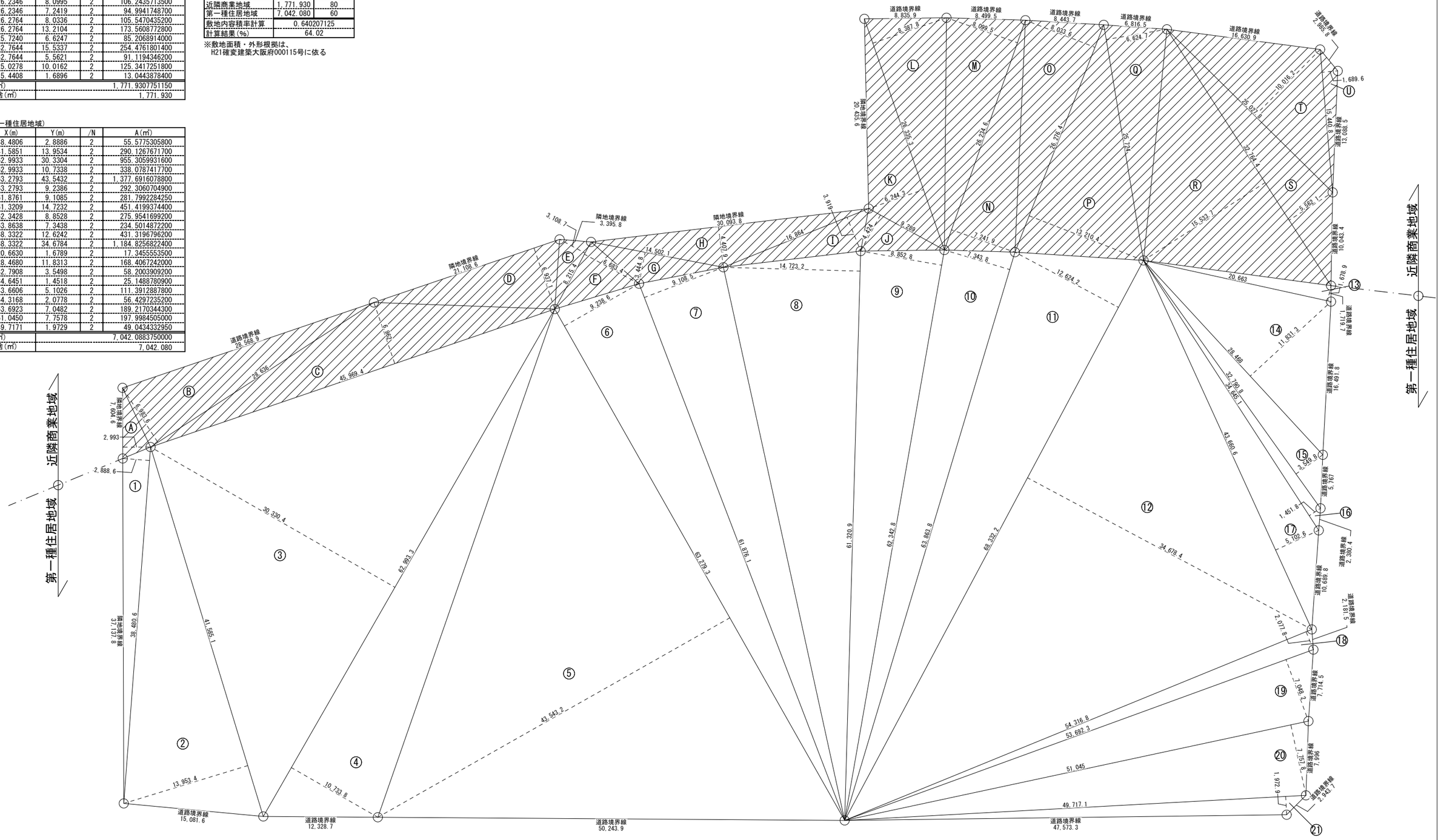
□容積率計算

用途地域	敷地面積	容積率
近隣商業地域	1,771.930	300
第一種住居地域	7,042.080	200
敷地内容積率計算	2.201035624	
計算結果(%)	220.10	

□建蔽率計算

用途地域	敷地面積	容積率
近隣商業地域	1,771.930	80
第一種住居地域	7,042.080	60
敷地内容積率計算	0.640207125	
計算結果(%)	64.02	

※敷地面積・外形根拠は、
H21確変建築大阪府000115号に依る



備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-030
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	伊藤　高基	図面名称	敷地求積図	縮尺	1/200(A1) 1/400(A3)
	月 日		月 日										

■ 用途地域：

近隣商業地域　　制限なし

第一種住居地域　5h-3h-4m

平均地盤面：GL±0m

真北の測定方法：

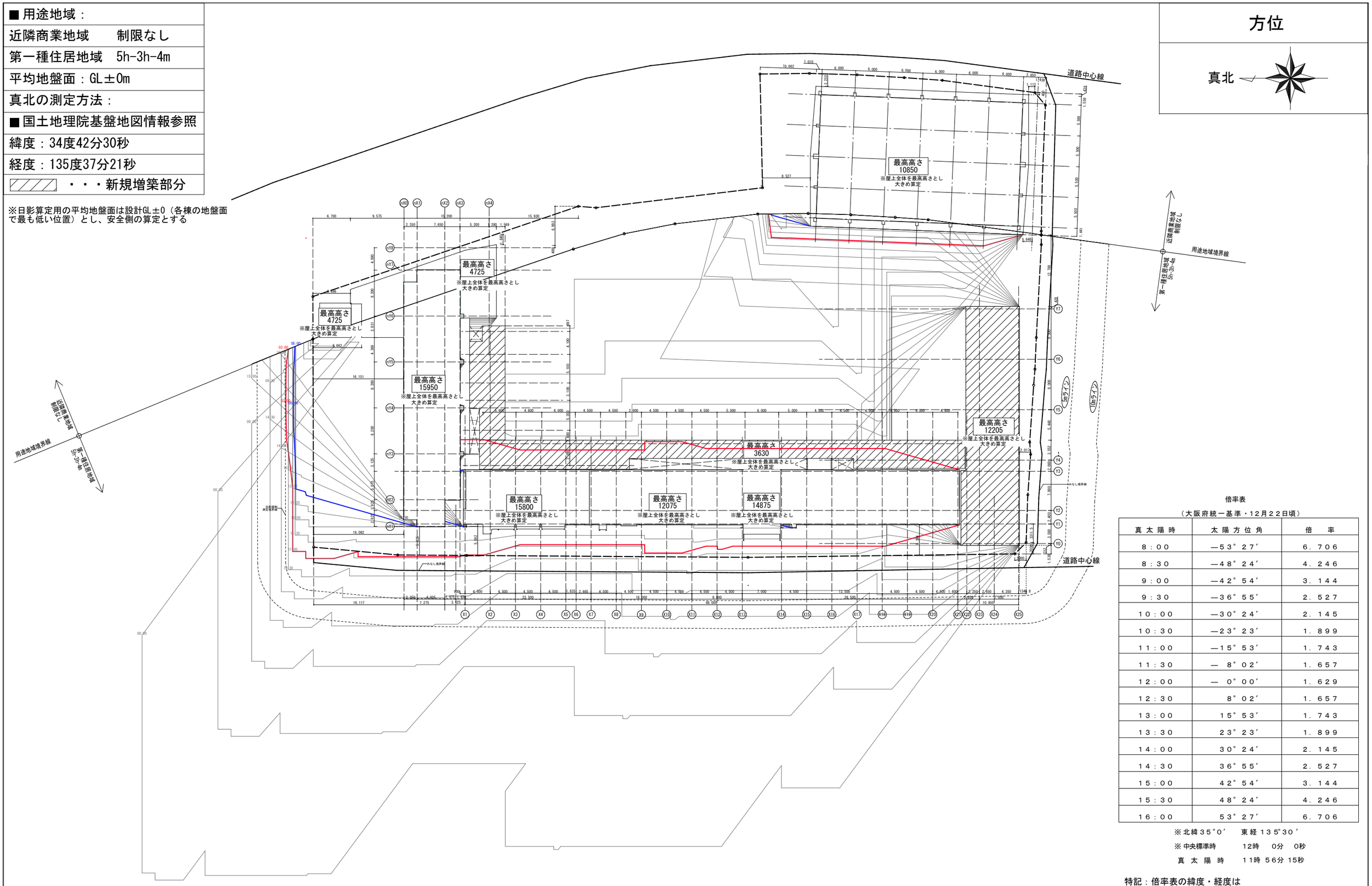
■ 国土地理院基盤地図情報参照

緯度：34度42分30秒

経度：135度37分21秒

・・・新規増築部分

※日影算定用の平均地盤面は設計GL±0（各棟の地盤面で最も低い位置）とし、安全側の算定とする



倍率表

（大阪府統一基準・12月22日頃）

真太陽時	太陽方位角	倍率
8：00	−53°27′	6.706
8：30	−48°24′	4.246
9：00	−42°54′	3.144
9：30	−36°55′	2.527
10：00	−30°24′	2.145
10：30	−23°23′	1.899
11：00	−15°53′	1.743
11：30	− 8°02′	1.657
12：00	− 0°00′	1.629
12：30	8°02′	1.657
13：00	15°53′	1.743
13：30	23°23′	1.899
14：00	30°24′	2.145
14：30	36°55′	2.527
15：00	42°54′	3.144
15：30	48°24′	4.246
16：00	53°27′	6.706

※北緯35°0′　東経135°30′

※中央標準時　12時　0分　0秒

真太陽時　11時 56分 15秒

特記：倍率表の緯度・経度は
大阪府指定により上記一覧を採用とする。
（冬至日の太陽方位角と影の倍率　大阪府統一基準）

備考														
	月日		月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-031
	月日		月日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	岩田　博登	図面名称	日影図	縮尺	1/300(A1) 1/600(A3)
	月日		月日										

申請建物　建築面積

申請番号	棟名	名称	記号	算式	小計面積(㎡)	申請合計面積(㎡)	増減築
1	本館棟	本館(北棟)(申請建物1-1)	A	22.800000 × 12.400000	282.720000	289.800	－
			B	1.500000 × 1.500000	2.250000		－
			C	1.500000 × 1.500000	2.250000		－
			J	5.160000 × 0.500000	2.580000		増築
			Z	4.600000 × 1.100000	5.060000		減築
		本館(南棟1)(申請建物1-2)	D	18.000000 × 9.400000	169.200000	169.200	－
			Q	18.000000 × 1.500000	27.000000		減築
			R	18.000000 × 1.500000	27.000000		減築
		本館(南棟2)(申請建物1-2)	E	9.000000 × 9.400000	84.600000	84.600	－
			S	9.000000 × 1.500000	13.500000		減築
			T	9.000000 × 1.500000	13.500000		減築
		本館(南棟3)(申請建物1-2)	F	38.500000 × 9.400000	361.900000	394.150	－
			G	7.000000 × 1.200000	8.400000		－
			H	7.000000 × 1.800000	12.600000		－
			I	4.500000 × 2.500000	11.250000		－
			U	7.000000 × 0.300000	2.100000		減築
			V	4.500000 × 1.500000	6.750000		減築
			W	22.500000 × 1.500000	33.750000		減築
			X	31.500000 × 1.500000	47.250000		減築
			Y	3.500000 × 12.400000	43.400000		減築

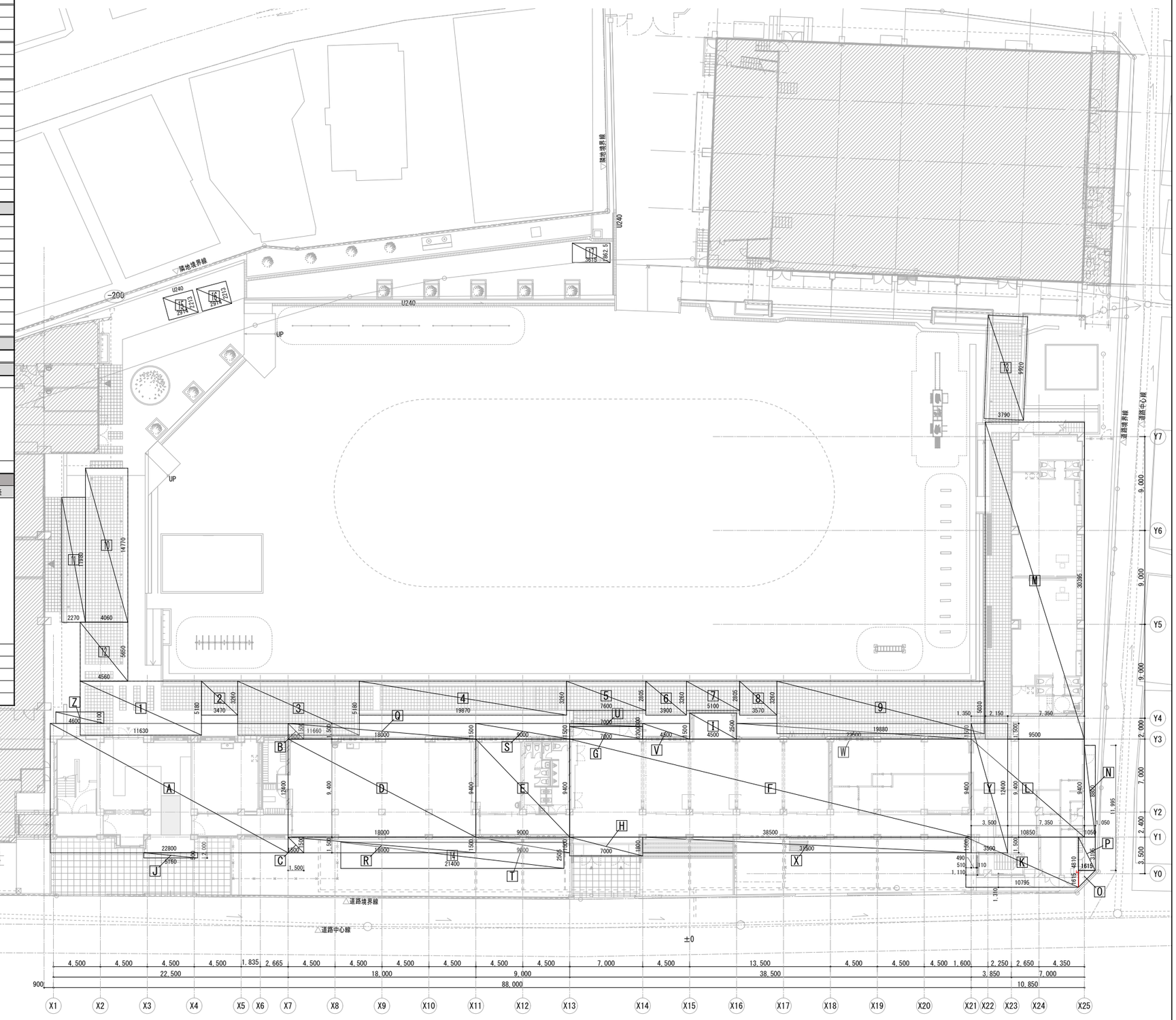
本館棟　申請建物1-1,1-2　現況建築面積(㎡)

	算式	建築面積(㎡)
現況本館(北棟)	A+B+C+Z = (ア)	292.280
現況本館(南棟1)	D+Q+R-B-C = (イ)	218.700
現況本館(南棟2)	E+S+T = (ウ)	111.600
現況本館(南棟3)	F+G+H+I+U+V+W+X+Y = (エ)	527.400
本館棟(北棟)減築部分	Z = (オ)	5.060
本館棟(南棟1)減築部分	Q+R-B-C = (カ)	49.500
本館棟(南棟2)減築部分	S+T = (キ)	27.000
本館棟(南棟3)減築部分	U+V+W+X+Y = (ク)	133.250
本館棟減築部分合計	オ+カ+キ+ク = (ケ)	214.810
本館棟　現況建築面積	ア+イ+ウ+エ =	1149.980

申請番号	棟名	名称	記号	算式	小計面積(㎡)	申請合計面積(㎡)	増減築
1	本館棟	児童クラブ棟(申請建物1-3)	K	10.795000 × 4.810000	51.923950	459.680	増築
			L	10.850000 × 9.400000	101.990000		
			M	9.500000 × 30.395000	288.752500		
			N	1.050000 × 8.800000	9.240000		
			O	1.615000 × 1.615000 / 2	2.608225		
			P	1.615000 × 3.195000	5.159925		

申請建物(別棟増築)　建築面積

申請番号	棟名	名称	記号	算式	小計面積(㎡)	合計面積(㎡)	増減築
2	渡り廊下1		□1	11.630000 × 5.180000	60.243400	469.630	増築
			□2	3.470000 × 3.260000	11.312200		
			□3	11.660000 × 5.180000	60.398800		
			□4	19.870000 × 3.260000	64.776200		
			□5	7.600000 × 2.805000	21.318000		
			□6	3.900000 × 3.260000	12.714000		
			□7	5.100000 × 2.805000	14.305500		
			□8	3.570000 × 3.260000	11.638200		
			□9	19.880000 × 5.030000	99.996400		
			□10	4.060000 × 14.770000	59.966200		
			□11	2.270000 × 11.980000	27.194600		
			□12	4.560000 × 5.650000	25.764000		
3	渡り廊下2		□13	3.790000 × 9.920000	37.596800	37.600	増築
4	駐輪場(申請建物2)		□14	21.400000 × 2.505000	53.607000	53.610	増築
5	倉庫1		□15	2.914000 × 2.213000	6.448682	6.450	増築
6	倉庫2		□16	2.914000 × 2.213000	6.448682	6.450	増築
7	倉庫3		□17	3.615000 × 1.862500	6.732938	6.740	増築



建築面積求積図

備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成 2025/03/26	設計 佐藤　信
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括 佐藤　信	製図 松浦　侑亮
	月 日		月 日				

工事名称：大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)

図表名称：面積表-1

図番：A-032

縮尺：1/200(A1) 1/400(A3)

申請建物　1階延べ面積

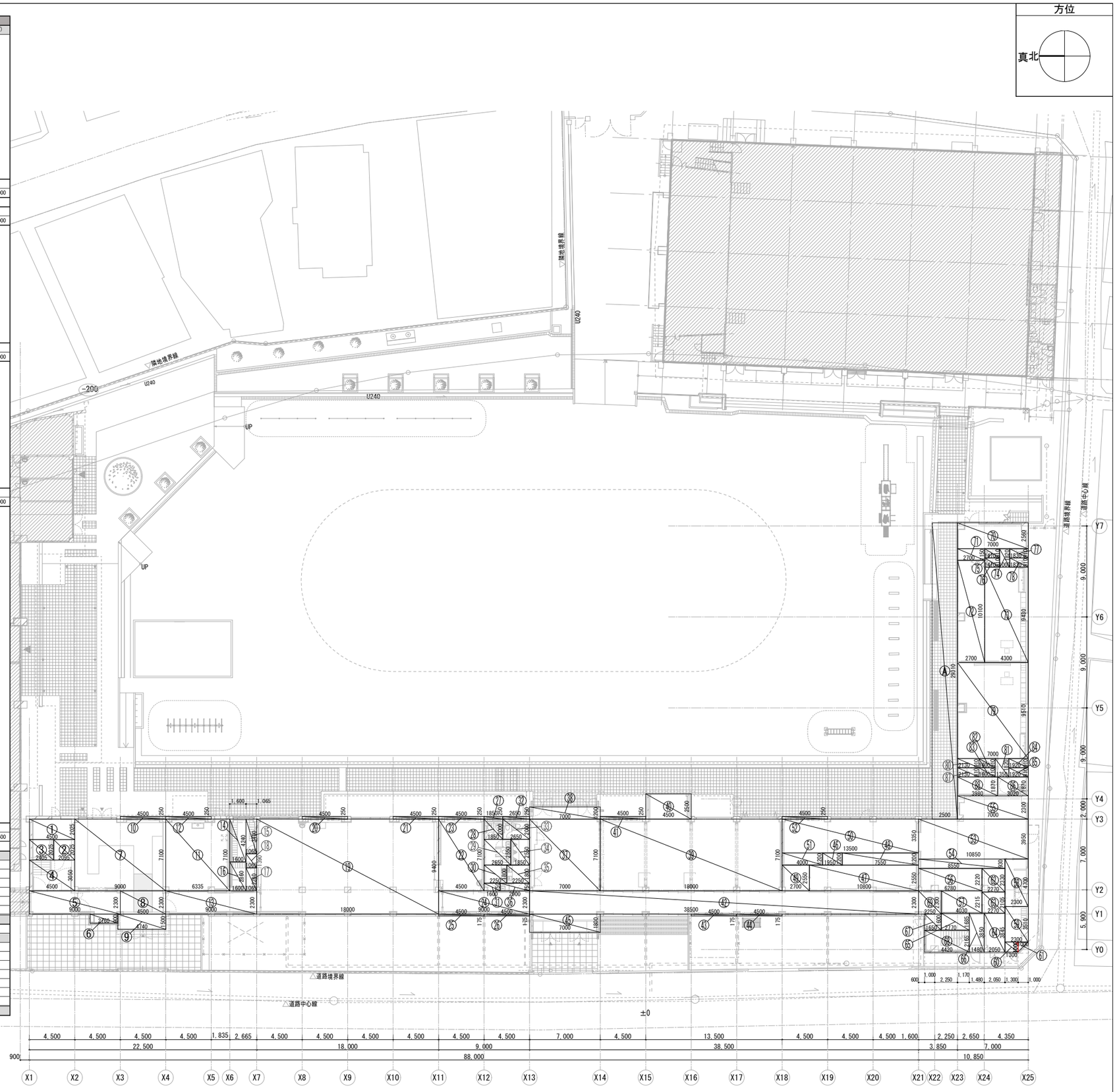
棟名	室名	記号	算式	小計面積(㎡)	合計面積(㎡)	面積区画	増減築	棟別　改修後面積小計(㎡)	
本館(北棟)(申請建物1-1)	倉庫1	1	4.500000 × 2.025000	9.112500	13.354875	－	－		
		2	2.095000 × 2.025000	4.242375		－	－		
	階段3	3	2.405000 × 2.025000	4.870125	18.595125	－	－		
		4	4.500000 × 3.050000	13.725000		－	－		
	廊下1-3	5	9.000000 × 2.300000	20.700000	23.184000	A	－		
		6	2.760000 × 0.900000	2.484000		A	－		
	昇降口	7	9.000000 × 7.100000	63.900000	82.485000	A	－		
		8	4.500000 × 2.300000	10.350000		A	－		
		9	4.740000 × 1.500000	7.110000		A	増築		
		10	4.500000 × 0.250000	1.125000		A	増築		
	保健室	11	6.335000 × 7.100000	44.978500	46.103500	A	－		
		12	4.500000 × 0.250000	1.125000		A	増築		
	廊下1-2	13	9.000000 × 2.300000	20.700000	20.700000	A	－		
	更衣室1	14	1.600000 × 4.240000	6.784000	10.436950	A	－		
		15	1.065000 × 3.430000	3.652950		A	－		
	更衣室2	16	1.600000 × 2.860000	4.576000	7.004200	A	－		
		17	1.065000 × 2.280000	2.428200		A	－	本館(北棟)	
	職員室	18	1.065000 × 1.390000	1.480350	172.930350	A	－	小計A	223.344000
本館(南棟1)(申請建物1-2)	職員室	19	18.000000 × 9.400000	169.200000		A	－		
		20	4.500000 × 0.250000	1.125000	※本館南棟1部分	A	増築	本館(南棟1)	
		21	4.500000 × 0.250000	1.125000	171.450000	A	増築	小計B	171.450000
本館(南棟2)(申請建物1-2)	校長室	22	4.500000 × 7.100000	31.950000	33.075000	A	－		
		23	4.500000 × 0.250000	1.125000		A	増築		
	廊下1-1	24	9.000000 × 2.300000	20.700000	22.275000	A	－		
		25	4.500000 × 0.175000	0.787500		A	増築		
		26	4.500000 × 0.175000	0.787500		A	増築		
	職員用WC(女)	27	1.850000 × 0.250000	0.462500	16.170000	A	増築		
		28	1.850000 × 2.000000	3.700000		A	－		
		29	2.650000 × 2.550000	6.757500		A	－		
		30	2.250000 × 1.800000	4.050000		A	－		
		31	1.600000 × 0.750000	1.200000		A	－		
	職員用WC(男)	32	2.650000 × 0.250000	0.662500	16.905000	A	増築		
		33	2.650000 × 2.000000	5.300000		A	－		
		34	1.850000 × 2.550000	4.717500		A	－		
		35	2.250000 × 1.800000	4.050000		A	－	本館(南棟2)	
		36	2.900000 × 0.750000	2.175000		A	－	小計C	88.425000
本館(南棟3)(申請建物1-2)	階段2	37	7.000000 × 7.100000	49.700000	58.100000	－	－		
		38	7.000000 × 1.200000	8.400000		－	－		
	図書館・メディアスペース	39	18.000000 × 7.100000	127.800000	140.175000	A	－		
		40	4.500000 × 2.500000	11.250000		A	－		
		41	4.500000 × 0.250000	1.125000		A	増築		
	廊下1-1	42	38.500000 × 2.300000	88.550000	90.125000	A	－		
		43	4.500000 × 0.175000	0.787500		A	増築		
		44	4.500000 × 0.175000	0.787500		A	増築		
	職員・来賓玄関	45	7.000000 × 1.800000	12.600000	12.600000	A	－		
	前室1	46	1.950000 × 1.200000	2.340000	2.340000	A	－		
	配膳室	47	10.800000 × 2.550000	27.540000	36.600000	A	－		
		48	7.550000 × 1.200000	9.060000		A	－		
	下膳室	49	2.700000 × 2.550000	6.885000	6.885000	A	－		
	調理室(本館棟側)	50	13.500000 × 3.350000	45.225000	51.150000	A	－		
		51	4.000000 × 1.200000	4.800000		A	－	本館(南棟3)	
		52	4.500000 × 0.250000	1.125000		A	増築	小計D	397.975000
児童クラブ棟(申請建物1-3)	調理室(児童クラブ棟側)	53	10.850000 × 3.950000	42.857500	66.909000	A	増築		
		54	8.550000 × 0.930000	7.951500		A	増築		
		55	7.000000 × 2.300000	16.100000		A	増築		
	下処理室	56	6.280000 × 2.220000	13.941600	22.868050	A	増築		
		57	4.030000 × 2.215000	8.926450		A	増築		
	前室2	58	2.300000 × 4.700000	10.810000	10.810000	A	増築		
	休憩室	59	2.300000 × 3.510000	8.073000	9.873000	A	増築		
		60	1.300000 × 1.000000	1.300000		A	増築		
		61	1.000000 × 1.000000 / 2	0.500000		A	増築		
	食品庫	62	2.270000 × 2.330000	5.289100	5.289100	A	増築		
	検収庫	63	2.270000 × 2.105000	4.778350	12.660600	A	増築		
		64	2.050000 × 3.845000	7.882250		A	増築		
	パン・牛乳仕分け室	65	2.770000 × 1.685000	4.667450	10.365450	－	増築		
		66	1.480000 × 3.850000	5.698000		－	増築		
	階段1	67	1.650000 × 1.600000	2.640000	12.209300	－	増築		
		68	4.420000 × 2.165000	9.569300		－	増築		
	廊下1-1	69	2.250000 × 2.300000	5.175000	5.175000	A	増築		
	体育倉庫	70	7.000000 × 2.560000	17.920000	21.025000	C	増築		
		71	2.700000 × 1.150000	3.105000		C	増築		
	児童クラブ2	72	2.700000 × 10.100000	27.270000	69.639000	C	増築		
		73	4.300000 × 9.430000	40.549000		C	増築		
		74	1.000000 × 1.820000	1.820000		C	増築		
児童トイレ1(児童クラブ2)		75	1.470000 × 0.910000	1.337700	1.337700	C	増築		
児童トイレ2(児童クラブ2)		76	1.470000 × 0.910000	1.337700	1.337700	C	増築		
児童トイレ3(児童クラブ2)		77	1.830000 × 0.910000	1.665300	1.665300	C	増築		
児童トイレ4(児童クラブ2)		78	1.830000 × 0.910000	1.665300	1.665300	C	増築		
	児童クラブ1	79	7.000000 × 9.510000	66.570000	70.965300	C	増築		
		80	2.130000 × 0.910000	1.938300		C	増築		
		81	1.350000 × 1.820000	2.457000		C	増築		
児童トイレ1(児童クラブ1)		82	1.600000 × 0.910000	1.456000	1.456000	C	増築		
児童トイレ2(児童クラブ1)		83	1.600000 × 0.910000	1.456000	1.456000	C	増築		
児童トイレ3(児童クラブ1)		84	1.920000 × 0.910000	1.747200	1.747200	C	増築		
児童トイレ4(児童クラブ1)		85	1.920000 × 0.910000	1.747200	1.747200	C	増築		
	多目的トイレ	86	3.020000 × 1.870000	5.647400	5.647400	C	増築		
	倉庫2	87	2.130000 × 0.910000	1.938300	9.380900	C	増築		
		88	3.980000 × 1.870000	7.442600		C	増築	児童クラブ棟	
	バルコニー下	A	2.500000 × 29.310000	73.275000	73.275000	C	増築	小計E	418.504500

本館棟(申請建物1)1階　現況延べ面積(㎡)

	算式		現況面積	記号
本館(北棟)(申請建物1-1)	(小計A) -9-10-12 =		213.990	ア
本館(南棟1)(申請建物1-2)	(小計B) -20-21 =		169.200	イ
本館(南棟2)(申請建物1-2)	(小計C) -23-25-26-27-32 =		84.600	ウ
本館(南棟3)(申請建物1-2)	(小計D) -41-43-44-48 =		394.150	エ
本館棟1階　現況延べ面積	ア+イ+ウ+エ =		861.940	

本館棟(申請建物1)1階　増築延べ面積(㎡)

	算式		増築面積	記号
本館(北棟)(申請建物1-1)	9+10+12 =		9.360	オ
本館(南棟1)(申請建物1-2)	20+21 =		2.250	カ
本館(南棟2)(申請建物1-2)	23+25+26+27+32 =		3.830	キ
本館(南棟3)(申請建物1-2)	41+43+44+48 =		3.830	ク
児童クラブ棟(申請建物1-3)	53～88 + A =		418.510	ケ
本館棟1階　増築延べ面積	オ+カ+キ+ク+ケ =		437.780	



1階求積図

備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-033
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	面積表-2	縮尺	1/200(A1) 1/400(A3)
	月 日		月 日										

申請建物　2階延べ面積

棟名	室名	記号	算式			小計面積(㎡)	合計面積(㎡)	面積区画	増減築	棟別　改修後面積小計(㎡)	
本館(北棟)(申請建物1-1)	階段3	89	4.500000	×	7.100000	31.950000	31.950000	-	-		
	普通教室1	90	9.000000	×	7.100000	63.900000	65.025000	D	-		
		91	4.500000	×	0.250000	1.125000		D	増築		
	普通教室2	92	9.000000	×	7.100000	63.900000	65.025000	D	-		
		93	4.500000	×	0.250000	1.125000		D	増築		
	廊下2-1	94	22.500000	×	2.300000	51.750000	57.852000	D	-		
		95	4.020000	×	0.900000	3.618000		D	-	本館(北棟)	
		96	2.760000	×	0.900000	2.484000		D	-	小計F	219.852000
本館(南棟1)(申請建物1-2)	オープンスペース1	97	9.000000	×	7.100000	63.900000	65.025000	D	-		
		98	4.500000	×	0.250000	1.125000		D	増築		
	普通教室3	99	9.000000	×	7.100000	63.900000	63.900000	D	-	本館(南棟1)	
	廊下2-1	100	18.000000	×	2.300000	41.400000	41.400000	D	-	小計G	170.325000
本館(南棟2)(申請建物1-2)	普通教室4	102	9.000000	×	7.100000	63.900000	65.025000	D	-		
		103	4.500000	×	0.250000	1.125000		D	増築		
	廊下2-1	105	9.000000	×	2.300000	20.700000	22.275000	D	-		
		106	4.500000	×	0.175000	0.787500		D	増築	本館(南棟2)	
		107	4.500000	×	0.175000	0.787500		D	増築	小計H	87.300000
本館(南棟3)(申請建物1-2)	階段2	108	3.500000	×	7.100000	24.850000	24.850000	-	-		
	廊下2-1	109	3.500000	×	7.100000	24.850000	120.993750	-	-		
		109-2	7.000000	×	2.300000	16.100000		-	-		
		110	31.500000	×	2.300000	72.450000		E	-		
		111	2.250000	×	2.320000	5.220000		E	-		
		112	2.250000	×	1.055000	2.373750		E	-		
	児童トイレ(男)1	113	4.500000	×	7.100000	31.950000	33.075000	E	-		
		114	4.500000	×	0.250000	1.125000		E	増築		
	児童トイレ(女)1	115	4.500000	×	7.100000	31.950000	31.950000	E	-		
	児童更衣室1	116	2.250000	×	6.045000	13.601250	13.601250	E	-		
	児童更衣室2	117	2.250000	×	4.780000	10.755000	10.755000	E	-		
	特別支援教室1	118	9.000000	×	7.100000	63.900000	65.025000	E			
		119	4.500000	×	0.250000	1.125000		E	増築	本館(南棟3)	
	特別支援教室2	120	9.000000	×	7.100000	63.900000	63.900000	E	-	小計I	364.150000
児童クラブ棟(申請建物1-3)	集会室	121	7.000000	×	18.000000	126.000000	126.000000	F	増築		
	オープンスペース3	122	7.000000	×	9.220000	64.540000	64.540000	E	増築		
	倉庫3	123	7.000000	×	2.180000	15.260000	30.826400	E	増築		
		124	4.140000	×	3.760000	15.566400		E	増築		
	階段1	125	6.110000	×	3.760000	22.973600	22.973600	-	増築		
	倉庫4	126	1.850000	×	7.100000	13.135000	13.135000	E	増築		
	廊下2-1	127	2.000000	×	7.100000	14.200000	23.055000	E	増築		
		128	3.850000	×	2.300000	8.855000		E	増築		
	バルコニー	129	2.500000	×	30.395000	75.987500	138.987500	F	増築		
		130	7.000000	×	9.000000	63.000000		F	増築	児童クラブ棟	
	屋外階段	131	7.000000	×	1.395000	9.765000	9.765000	F	増築	小計J	429.282500

本館棟(申請建物)2階　現況延べ面積(㎡)

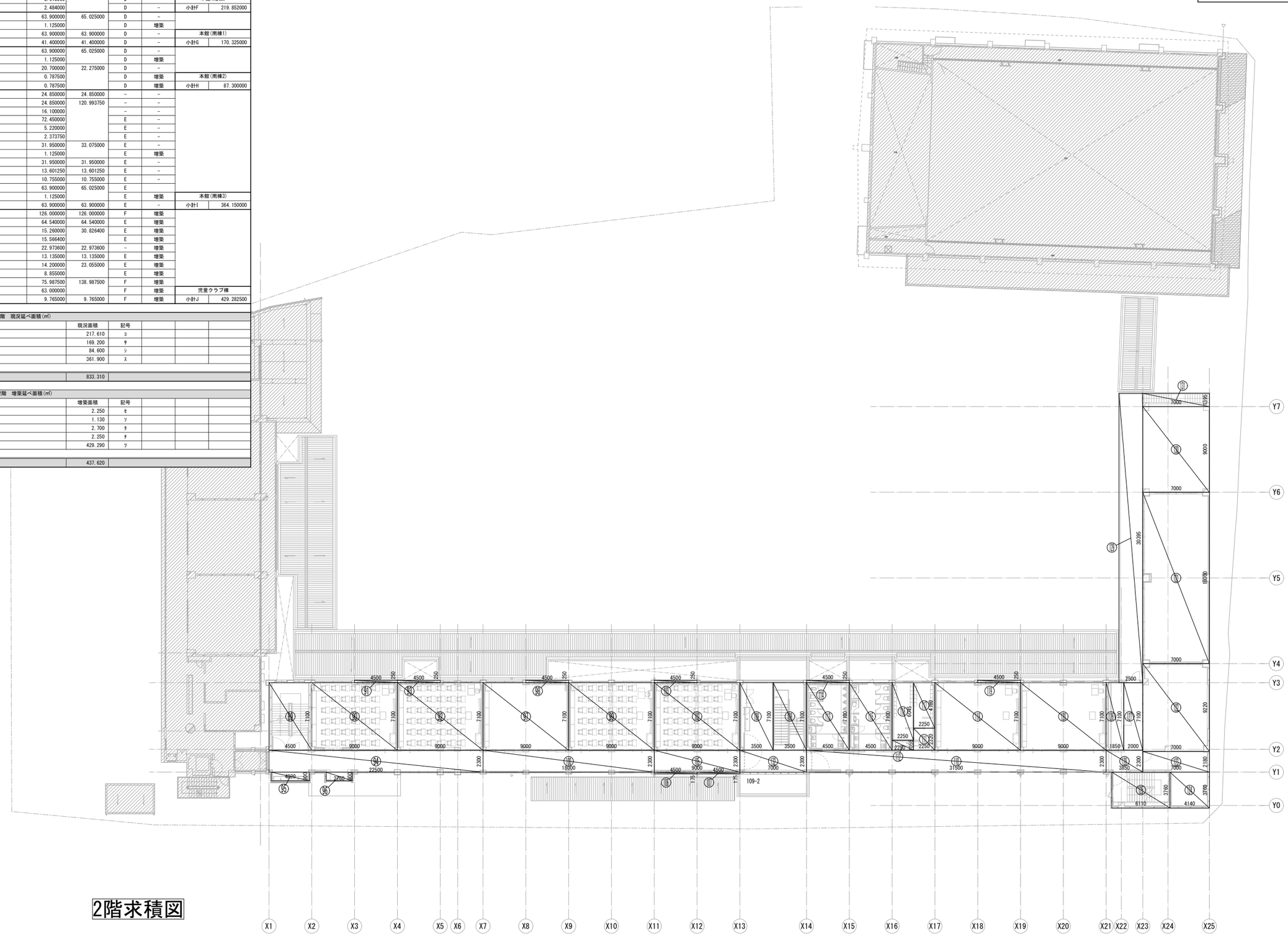
	算式			現況面積	記号			
本館(北棟)(申請建物1-1)	(小計F) -91-93	=		217.610	ｺ			
本館(南棟1)(申請建物1-2)	(小計G) -98	=		169.200	ｻ			
本館(南棟2)(申請建物1-2)	(小計H) -103-106-107	=		84.600	ｼ			
本館(南棟3)(申請建物1-2)	(小計I) -114-119	=		361.900	ｽ			
本館棟2階　現況延べ面積	ｺ+ｻ+ｼ+ｽ	=		833.310				

本館棟(申請建物)2階　増築延べ面積(㎡)

	算式			増築面積	記号			
本館(北棟)(申請建物1-1)	91+93	=		2.250	ｾ			
本館(南棟1)(申請建物1-2)	98	=		1.130	ｿ			
本館(南棟2)(申請建物1-2)	103+106+107	=		2.700	ﾀ			
本館(南棟3)(申請建物1-2)	114+119	=		2.250	ﾁ			
児童クラブ棟(申請建物1-3)	121～131	=		429.290	ﾂ			
本館棟2階　増築延べ面積	ｾ+ｿ+ﾀ+ﾁ+ﾂ	=		437.620				

方位

真北



2階求積図

備考												
	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番 A-034
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	面積表-3	縮尺 1/200(A1) 1/400(A3)
	月 日		月 日									

申請建物　3階延べ面積

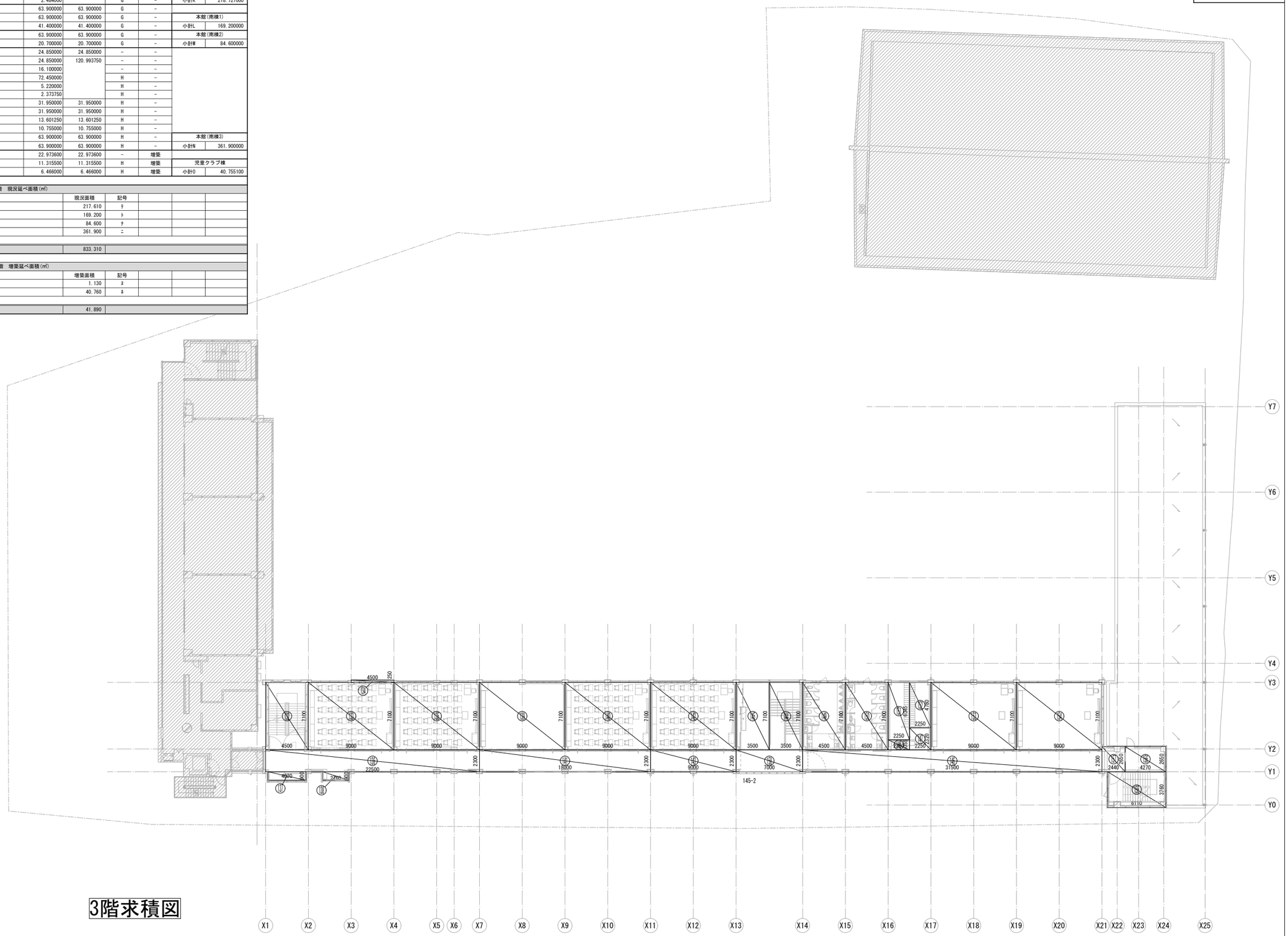
棟名	室名	記号	算式			小計面積(㎡)	合計面積(㎡)	面積区画	増減築	棟別　改修後面積小計(㎡)	
本館(北棟)(申請建物1-1)	階段3	132	4.500000	×	7.100000	31.950000	31.950000	−	−		
	普通教室5	133	9.000000	×	7.100000	63.900000	65.025000	G	−		
		134	4.500000	×	0.250000	1.125000		G	増築		
	普通教室6	135	9.000000	×	7.100000	63.900000	63.900000	G	−		
	廊下3-1	136	22.500000	×	2.300000	51.750000	57.852000	G	−		
		137	4.020000	×	0.900000	3.618000		G	−	本館(北棟)	
		138	2.760000	×	0.900000	2.484000		G	−	小計K	218.727000
本館(南棟1)(申請建物1-2)	オープンスペース4	139	9.000000	×	7.100000	63.900000	63.900000	G	−		
	普通教室7	140	9.000000	×	7.100000	63.900000	63.900000	G	−	本館(南棟1)	
	廊下3-1	141	18.000000	×	2.300000	41.400000	41.400000	G	−	小計L	169.200000
本館(南棟2)(申請建物1-2)	普通教室8	142	9.000000	×	7.100000	63.900000	63.900000	G	−	本館(南棟2)	
	廊下3-1	143	9.000000	×	2.300000	20.700000	20.700000	G	−	小計M	84.600000
本館(南棟3)(申請建物1-2)	階段2	144	3.500000	×	7.100000	24.850000	24.850000	−	−		
	廊下3-1	145	3.500000	×	7.100000	24.850000	120.993750	−	−		
		145-2	7.000000	×	2.300000	16.100000		−	−		
		146	31.500000	×	2.300000	72.450000		H	−		
		147	2.250000	×	2.320000	5.220000		H	−		
		148	2.250000	×	1.055000	2.373750		H	−		
	児童用トイレ(男)2	149	4.500000	×	7.100000	31.950000	31.950000	H	−		
	児童用トイレ(女)2	150	4.500000	×	7.100000	31.950000	31.950000	H	−		
	児童用更衣室3	151	2.250000	×	6.045000	13.601250	13.601250	H	−		
	児童用更衣室4	152	2.250000	×	4.780000	10.755000	10.755000	H	−		
	少人数教室1	153	9.000000	×	7.100000	63.900000	63.900000	H	−	本館(南棟3)	
	少人数教室2	154	9.000000	×	7.100000	63.900000	63.900000	H	−	小計N	361.900000
児童クラブ棟(申請建物1-3)	階段1	155	6.110000	×	3.760000	22.973600	22.973600	−	増築		
	倉庫5	156	4.270000	×	2.650000	11.315500	11.315500	H	増築	児童クラブ棟	
	廊下3-1	157	2.440000	×	2.650000	6.466000	6.466000	H	増築	小計O	40.755100

本館棟(申請建物)3階　現況延べ面積(㎡)

	算式		現況面積	記号
本館(北棟)(申請建物1-1)	(小計K) -134 =		217.610	ﾁ
本館(南棟1)(申請建物1-2)	(小計K) =		169.200	ﾄ
本館(南棟2)(申請建物1-2)	(小計M) =		84.600	ﾅ
本館(南棟3)(申請建物1-2)	(小計N) =		361.900	ﾆ
本館棟3階　現況延べ面積	ﾁ+ﾄ+ﾅ+ﾆ =		833.310	

本館棟(申請建物1)3階　増築延べ面積(㎡)

	算式		増築面積	記号
本館(北棟)	134 =		1.130	ｽ
児童クラブ棟	155～157 =		40.760	ﾈ
本館棟3階　増築延べ面積	ｽ+ﾈ =		41.890	



3階求積図

備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-035
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	面積表-4	縮尺	1/200(A1) 1/400(A3)
	月 日		月 日										

申請建物　4階延べ面積

棟名	室名	記号	算式			小計面積(㎡)	合計面積(㎡)	面積区画	増減築	棟別　改修後面積小計(㎡)	
本館(北棟)(申請建物1-1)	階段3	158	4.500000	×	7.100000	31.950000	31.950000	－	－		
	学習室	159	9.000000	×	7.100000	63.900000	63.900000	Ⅰ	－		
	児童会室	160	8.545000	×	7.100000	60.669500	60.669500	Ⅰ	－		
	廊下4-1	161	22.045000	×	2.300000	50.703500	56.805500	Ⅰ	－		
		162	4.020000	×	0.900000	3.618000		Ⅰ	－	本館(北棟)	
		163	2.760000	×	0.900000	2.484000		Ⅰ	－	小計P	213.325000
本館(南棟3)(申請建物1-2)	階段2	164	7.000000	×	4.000000	28.000000	28.000000	－	－	本館(南棟)	
										小計Q	28.000000

本館棟(申請建物)4階　現況延べ面積(㎡)

	算式			現況面積	記号			
本館(北棟)(申請建物1-1)	(小計P)	=		213.330	ノ			
本館(南棟3)(申請建物1-2)	(小計Q)	=		28.000	ハ			
本館棟4階　現況延べ面積	ノ+ハ =			241.330				

申請建物　合計面積

棟名	申請番号				建築面積(㎡)	延べ面積(㎡) 1階	2階	3階	4階	小計
本館棟(申請建物1)	北棟(申請建物1-1)		現況面積	(a1)	292.280	213.990	217.610	217.610	213.330	862.540
			減築面積	(b1)	5.060	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
			増築面積	(c1)	2.580	9.360	2.250	1.130	0.000	12.740
			小計1 (a-b+c)	(A1)	289.800	223.350	219.860	218.740	213.330	875.280
	南棟(申請建物1-2)	南棟1	現況面積	(a2)	218.700	169.200	169.200	169.200	－	507.600
			減築面積	(b2)	49.500	0.000	0.000	0.000	－	0.000
			増築面積	(c2)	0.000	2.250	1.130	0.000	－	3.380
			小計2 (a-b+c)	(B1)	169.200	171.450	170.330	169.200	－	510.980
		南棟2	現況面積	(a3)	111.600	84.600	84.600	84.600	－	253.800
			減築面積	(b3)	27.000	0.000	0.000	0.000	－	0.000
			増築面積	(c3)	0.000	3.830	2.700	0.000	－	6.530
			小計3 (a-b+c)	(B2)	84.600	88.430	87.300	84.600	－	260.330
		南棟3	現況面積	(a4)	527.400	394.150	361.900	361.900	28.000	1145.950
			減築面積	(b4)	133.250	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
			増築面積	(c4)	0.000	3.830	2.250	0.000	0.000	6.080
			小計4 (a-b+c)	(B3)	394.150	397.980	364.150	361.900	28.000	1152.030
	小計			(A1+B1+B2+B3)	937.750	881.210	841.640	834.440	241.330	2798.620
	児童クラブ棟(増築)(申請建物1-3)		増築面積	(c5)	459.680	418.510	429.290	40.760	0.000	888.560
			小計5 (c)	(C1)	459.680	418.510	429.290	40.760	0.000	888.560
合計			現況面積	(a1~a4)	1149.980	861.940	833.310	833.310	241.330	2769.890
			減築面積	(b1~b4)	214.810	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
			増築面積	(c1~c5)	462.260	437.780	437.620	41.890	0.000	917.290
			合計	(A1+B1+B2+B3+C1)	1397.430	1299.720	1270.930	875.200	241.330	3687.180
校舎 (小計1～5) 合計面積 = (①)					1397.430	1299.720	1270.930	875.200	241.330	3687.180

別棟増築　合計面積

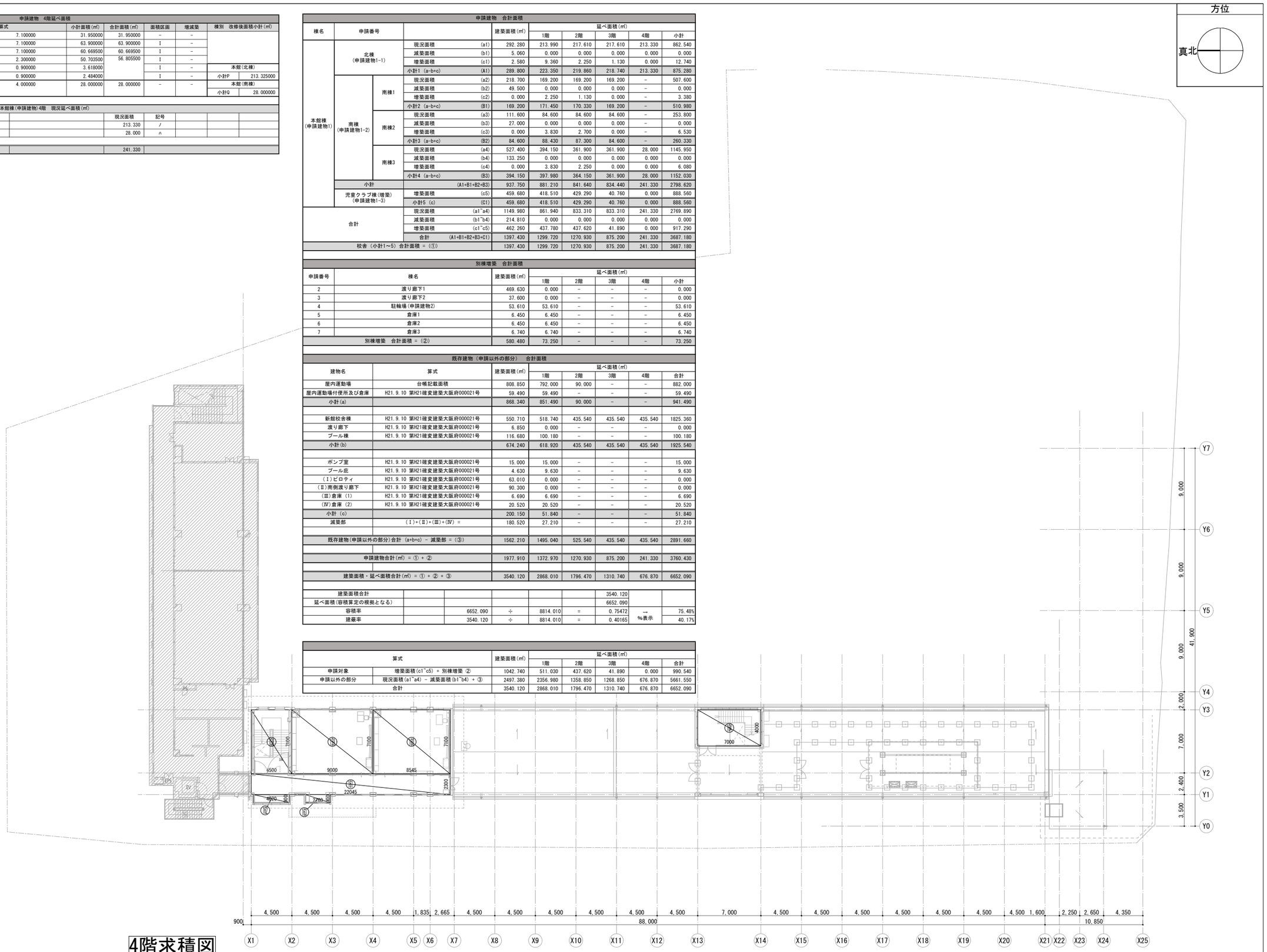
申請番号	棟名	建築面積(㎡)	延べ面積(㎡) 1階	2階	3階	4階	小計
2	渡り廊下1	469.630	0.000	－	－	－	0.000
3	渡り廊下2	37.600	0.000	－	－	－	0.000
4	駐輪場(申請建物2)	53.610	53.610	－	－	－	53.610
5	倉庫1	6.450	6.450	－	－	－	6.450
6	倉庫2	6.450	6.450	－	－	－	6.450
7	倉庫3	6.740	6.740	－	－	－	6.740
別棟増築　合計面積 = (②)		580.480	73.250	－	－	－	73.250

既存建物 (申請以外の部分)　合計面積

建物名	算式	建築面積(㎡)	延べ面積(㎡) 1階	2階	3階	4階	合計
屋内運動場	台帳記載面積	808.850	792.000	90.000	－	－	882.000
屋内運動場付便所及び倉庫	H21.9.10 第H21確変建築大阪府000021号	59.490	59.490	－	－	－	59.490
小計(a)		868.340	851.490	90.000	－	－	941.490
新館校舎棟	H21.9.10 第H21確変建築大阪府000021号	550.710	518.740	435.540	435.540	435.540	1825.360
渡り廊下	H21.9.10 第H21確変建築大阪府000021号	6.850	0.000	－	－	－	0.000
プール棟	H21.9.10 第H21確変建築大阪府000021号	116.680	100.180	－	－	－	100.180
小計(b)		674.240	618.920	435.540	435.540	435.540	1925.540
ポンプ室	H21.9.10 第H21確変建築大阪府000021号	15.000	15.000	－	－	－	15.000
プール庇	H21.9.10 第H21確変建築大阪府000021号	4.630	9.630	－	－	－	9.630
(Ⅰ)ピロティ	H21.9.10 第H21確変建築大阪府000021号	63.010	0.000	－	－	－	0.000
(Ⅱ)南側渡り廊下	H21.9.10 第H21確変建築大阪府000021号	90.300	0.000	－	－	－	0.000
(Ⅲ)倉庫 (1)	H21.9.10 第H21確変建築大阪府000021号	6.690	6.690	－	－	－	6.690
(Ⅳ)倉庫 (2)	H21.9.10 第H21確変建築大阪府000021号	20.520	20.520	－	－	－	20.520
小計 (c)		200.150	51.840	－	－	－	51.840
減築部	(Ⅰ)+(Ⅱ)+(Ⅲ)+(Ⅳ) =	180.520	27.210	－	－	－	27.210
既存建物(申請以外の部分)合計 (a+b+c) － 減築部 = (③)		1562.210	1495.040	525.540	435.540	435.540	2891.660
申請建物合計(㎡) = ① + ②		1977.910	1372.970	1270.930	875.200	241.330	3760.430
建築面積・延べ面積合計(㎡) = ① + ② + ③		3540.120	2868.010	1796.470	1310.740	676.870	6652.090

建築面積合計						3540.120		
延べ面積(容積算定の根拠となる)						6652.090		
容積率		6652.090	÷	8814.010	=	0.75472	→	75.48%
建蔽率		3540.120	÷	8814.010	=	0.40165	%表示	40.17%

算式		建築面積(㎡)	延べ面積(㎡) 1階	2階	3階	4階	合計
申請対象	増築面積(c1~c5) + 別棟増築 ②	1042.740	511.030	437.620	41.890	0.000	990.540
申請以外の部分	現況面積(a1~a4) － 減築面積(b1~b4) + ③	2497.380	2356.980	1358.850	1268.850	676.870	5661.550
合計		3540.120	2868.010	1796.470	1310.740	676.870	6652.090



4階求積図

備考												
月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-036
月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	面積表-5	縮尺	1/200(A1) 1/400(A3)
月 日		月 日										

採光・換気・排煙計算表

採光

小数点３以下の数値について、室面積,hは切上げ、d,A,窓面積計算,Wは切下げることで、安全側の算定とする。

換気

排煙

(一)：建設省告示第1436号第4号二(一)により緩和
(二)：建設省告示第1436号第4号二(二)により緩和
(三)：建設省告示第1436号第4号二(三)により緩和
(四)：建設省告示第1436号第4号二(四)により緩和

棟	室名 ○:居室 -:非居室	室面積(㎡)	必要採光面積(㎡)	建具記号	補正係数 A=d/h×α−β(α=6 β=1.4) d(m) / h(m) × α − β = A	(max=3)	有効採光面積計算 窓面積計算	× A = W	有効採光面積合計	判定	必要換気面積 面積×1/20	建具記号	開放面積計算	開放面積合計	判定	必要排煙面積 面積×1/50	有効排煙面積計算	有効排煙面積合計	判定
1階																			
本館北棟	- 倉庫1	13.354875	非居室のため採光不要								非居室のため換気不要					※建築基準法施工令第126条の2 ただし書き二号により排煙免除			
	- 階段3	18.596125	非居室のため採光不要								非居室のため換気不要								
	- 廊下1-3	23.184000	非居室のため採光不要								非居室のため換気不要								
	- 昇降口	82.485000	非居室のため採光不要								非居室のため換気不要								
	○ 保健室	46.103500	/ 5 = 9.22	AW2	40.00 / 16.00 × 6 − 1.4 = 13.60	3.00	1.37 × 1.20 = 1.64	× 3.00 × 2 = 9.84	9.84	OK	機械換気								
	- 廊下1-2	20.700000	非居室のため採光不要								非居室のため換気不要								
	- 更衣室1	10.436950	非居室のため採光不要								非居室のため換気不要								
	- 更衣室2	7.004200	非居室のため採光不要								非居室のため換気不要								
本館南棟	○ 職員室	172.930350	/ 5 = 34.59	AW1	40.00 / 16.00 × 6 − 1.4 = 13.60	3.00	1.83 × 1.20 = 2.19	× 3.00 × 2 = 13.14	45.96	OK	機械換気								
				AW2	40.00 / 16.00 × 6 − 1.4 = 13.60	3.00	1.37 × 1.20 = 1.64	× 3.00 × 4 = 19.68											
				AW3	40.00 / 16.00 × 6 − 1.4 = 13.60	3.00	1.83 × 1.20 = 2.19	× 3.00 × 2 = 13.14											
	○ 校長室	33.075000	/ 5 = 6.62	AW2	40.00 / 16.00 × 6 − 1.4 = 13.60	3.00	1.37 × 1.20 = 1.64	× 3.00 × 2 = 9.84	9.84	OK	機械換気								
	- 廊下1-1	22.275000	非居室のため採光不要								非居室のため換気不要								
	- 職員用WC(女)	16.170000	非居室のため採光不要								非居室のため換気不要								
	- 職員用WC(男)	16.905000	非居室のため採光不要								非居室のため換気不要								
	- 階段2	58.100000	非居室のため採光不要								非居室のため換気不要								
	○ 図書館・ﾒﾃﾞｨｱｽﾍﾟｰｽ	140.175000	/ 5 = 28.04	AW1	40.00 / 16.00 × 6 − 1.4 = 13.60	3.00	1.83 × 1.20 = 2.19	× 3.00 × 2 = 13.14	69.96	OK	機械換気								
				AW2-2	40.00 / 16.00 × 6 − 1.4 = 13.60	3.00	1.37 × 1.20 = 1.64	× 3.00 × 2 = 9.84											
				AW4	40.00 / 16.00 × 6 − 1.4 = 13.60	3.00	3.73 × 2.10 = 7.83	× 3.00 × 1 = 23.49											
				AW4-2	40.00 / 16.00 × 6 − 1.4 = 13.60	3.00	3.73 × 2.10 = 7.83	× 3.00 × 1 = 23.49											
	- 廊下1-1	90.125000	非居室のため採光不要								非居室のため換気不要								
	- 職員・来賓玄関	12.600000	非居室のため採光不要								非居室のため換気不要								
	- 前室1	2.340000	非居室のため採光不要								非居室のため換気不要								
	- 配膳室	36.600000	非居室のため採光不要								非居室のため換気不要								
	- 下膳室	6.885000	非居室のため採光不要								非居室のため換気不要								
児童ｸﾗﾌﾞ棟	- 下処理室	22.868050	非居室のため採光不要								非居室のため換気不要								
	- 前室2	10.810000	非居室のため採光不要								非居室のため換気不要								
	○ 休憩室	9.873000	無窓居室 非常用照明設置(内装不燃(天井：化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=9.5(不燃)、壁：ｹｲｶﾙ板t=6/EP-G塗装(不燃))								機械換気								
	- 食品庫	5.289100	非居室のため採光不要								非居室のため換気不要								
	- 検収室	12.660600	非居室のため採光不要								非居室のため換気不要								
	- パン・牛乳仕分室	10.365450	非居室のため採光不要								非居室のため換気不要								
	- 階段1	12.209300	非居室のため採光不要								非居室のため換気不要								
	- 廊下1-1	5.175000	非居室のため採光不要								非居室のため換気不要								
	- 体育倉庫	21.025000	非居室のため採光不要								非居室のため換気不要								
	○ 児童ｸﾗﾌﾞ1	70.965300	/ 20 = 3.55	AW10	4.50 / 13.00 × 6 − 1.4 = 0.67	1.00	1.01 × 0.80 = 0.81	× 1.00 × 4 = 3.24	6.28	OK	機械換気								
				AW11	4.50 / 13.00 × 6 − 1.4 = 0.67	1.00	0.96 × 0.80 = 0.76	× 1.00 × 4 = 3.04											
	- 児童用ﾄｲﾚ1(児童ｸﾗﾌﾞ1)	1.337700	非居室のため採光不要								非居室のため換気不要								
	- 児童用ﾄｲﾚ1(児童ｸﾗﾌﾞ2)	1.337700	非居室のため採光不要								非居室のため換気不要								
	- 児童用ﾄｲﾚ1(児童ｸﾗﾌﾞ3)	1.665300	非居室のため採光不要								非居室のため換気不要								
	- 児童用ﾄｲﾚ1(児童ｸﾗﾌﾞ4)	1.665300	非居室のため採光不要								非居室のため換気不要								
	○ 児童ｸﾗﾌﾞ2	69.639000	/ 20 = 3.48	AW11	4.50 / 13.00 × 6 − 1.4 = 0.67	1.00	0.96 × 0.80 = 0.76	× 1.00 × 4 = 3.04	6.44	OK	機械換気								
				AW12	4.50 / 13.00 × 6 − 1.4 = 0.67	1.00	1.07 × 0.80 = 0.85	× 1.00 × 4 = 3.40											
	- 児童用ﾄｲﾚ1(児童ｸﾗﾌﾞ2)	1.456000	非居室のため採光不要								非居室のため換気不要								
	- 児童用ﾄｲﾚ2(児童ｸﾗﾌﾞ2)	1.456000	非居室のため採光不要								非居室のため換気不要								
	- 児童用ﾄｲﾚ3(児童ｸﾗﾌﾞ2)	1.747200	非居室のため採光不要								非居室のため換気不要								
	- 児童用ﾄｲﾚ4(児童ｸﾗﾌﾞ2)	1.747200	非居室のため採光不要								非居室のため換気不要								
	- 多目的ﾄｲﾚ	5.647400	非居室のため採光不要								非居室のため換気不要								
	- 倉庫2	9.380900	非居室のため採光不要								非居室のため換気不要								
本館・増築	○ 調理室	118.059000	/ 5 = 23.61	AW2	40.00 / 16.00 × 6 − 1.4 = 13.60	3.00	1.37 × 1.20 = 1.64	× 3.00 × 2 = 9.84	39.42	OK	機械換気								
				AW5	40.00 / 16.00 × 6 − 1.4 = 13.60	3.00	1.83 × 1.20 = 2.19	× 3.00 × 2 = 13.14											
				AW6	40.00 / 16.00 × 6 − 1.4 = 13.60	3.00	1.37 × 2.00 = 2.74	× 3.00 × 2 = 16.44											
2階																			
本館北棟	- 階段3	31.950000	非居室のため採光不要								非居室のため換気不要								
	○ 普通教室1	65.025000	/ 5 = 13.01	AW18-2	20.00 / 12.50 × 6 − 1.4 = 8.20	3.00	1.57 × 1.20 = 1.88	× 3.00 × 2 = 11.28	22.56	OK	機械換気								
				AW19	20.00 / 12.50 × 6 − 1.4 = 8.20	3.00	1.57 × 1.20 = 1.88	× 3.00 × 2 = 11.28											
	○ 普通教室2	65.025000	/ 5 = 13.01	AW14	20.00 / 12.50 × 6 − 1.4 = 8.20	3.00	1.065 × 1.20 = 1.27	× 3.00 × 2 = 7.62	17.46	OK	機械換気								
				AW19	20.00 / 12.50 × 6 − 1.4 = 8.20	3.00	1.37 × 1.20 = 1.64	× 3.00 × 2 = 9.84											
	- 廊下2-1	57.852000	非居室のため採光不要								非居室のため換気不要								
本館南棟	○ ｵｰﾌﾟﾝｽﾍﾟｰｽ1	65.025000	/ 5 = 13.01	AW18	20.00 / 12.50 × 6 − 1.4 = 8.20	3.00	1.57 × 1.20 = 1.88	× 3.00 × 2 = 11.28	21.12	OK	機械換気								
				AW19	20.00 / 12.50 × 6 − 1.4 = 8.20	3.00	1.37 × 1.20 = 1.64	× 3.00 × 2 = 9.84											
	○ 普通教室3	63.900000	/ 5 = 12.78	AW18	20.00 / 12.50 × 6 − 1.4 = 8.20	3.00	1.57 × 1.20 = 1.88	× 3.00 × 2 = 11.28	24.42	OK	機械換気								
				AW18-3	20.00 / 12.50 × 6 − 1.4 = 8.20	3.00	1.83 × 1.20 = 2.19	× 3.00 × 2 = 13.14											
	- 廊下2-1	41.400000	非居室のため採光不要								非居室のため換気不要								
	○ 普通教室4	65.025000	/ 5 = 13.01	AW19	20.00 / 12.50 × 6 − 1.4 = 8.20	3.00	1.37 × 1.20 = 1.64	× 3.00 × 2 = 9.84	21.12	OK	機械換気								
				AW18-4	20.00 / 12.50 × 6 − 1.4 = 8.20	3.00	1.57 × 1.20 = 1.88	× 3.00 × 2 = 11.28											
	- 廊下2-1	22.275000	非居室のため採光不要								非居室のため換気不要								
	- 階段2	24.850000	非居室のため採光不要								非居室のため換気不要								
	- 廊下2-1	120.993750	非居室のため採光不要								非居室のため換気不要								
	- 児童ﾄｲﾚ(男)1	33.075000	非居室のため採光不要								非居室のため換気不要								

備考	月 日	月 日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成 2025/03/26	設計 佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)
	月 日	月 日	1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	統括 佐藤 信	製図 松浦 侑亮	図面名称	採光換気排煙計算表1
	月 日	月 日				図番	A-037
						縮尺	-

採光・換気・排煙計算表

採光

小数点３以下の数値について、室面積,hは切上げ、d,A,窓面積計算,Wは切下げることで、安全側の算定とする。

換気

排煙

(一)：建設省告示第1436号第4号二(一)により緩和
(二)：建設省告示第1436号第4号二(二)により緩和
(三)：建設省告示第1436号第4号二(三)により緩和
(四)：建設省告示第1436号第4号二(四)により緩和

棟	室名 ○:居室 -:非居室	室面積 (㎡)	必要採光面積 (㎡)	建具記号	補正係数 A=d/h×α−β (α=6 β=1.4) d(m) / h(m) × α − β = A	(max=3)	有効採光面積計算 窓面積計算	× A	= W	有効採光面積合計	判定	必要換気面積 面積×1/20	建具記号	開放面積計算	開放面積合計	判定	必要排煙面積 面積×1/50	有効排煙面積計算	有効排煙面積合計	判定
	- 児童ﾄｲﾚ(女)1	31.950000	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要					※建築基準法施工令第126条の2 ただし書き二号により排煙免除			
	- 児童更衣室1	13.601250	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	- 児童更衣室2	10.755000	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	○ 特別支援教室1	65.025000	/ 5 = 13.01	AW18	20.00 / 12.50 × 6 − 1.4 = 8.20	3.00	1.57 × 1.20 = 1.88	× 3.00 × 2 =	11.28	21.12	OK	機械換気								
				AW19	20.00 / 12.50 × 6 − 1.4 = 8.20	3.00	1.37 × 1.20 = 1.64	× 3.00 × 2 =	9.84											
	○ 特別支援教室2	63.900000	/ 5 = 12.78	AW18	20.00 / 12.50 × 6 − 1.4 = 8.20	3.00	1.57 × 1.20 = 1.88	× 3.00 × 2 =	11.28	24.42	OK	機械換気								
				AW18-3	20.00 / 12.50 × 6 − 1.4 = 8.20	3.00	1.83 × 1.20 = 2.19	× 3.00 × 2 =	13.14											
児童ｸﾗﾌﾞ棟	○ 集会室	126.000000	/ 5 = 25.20	AW24	4.50 / 9.00 × 6 − 1.4 = 1.60	1.60	0.96 × 0.80 = 0.76	× 1.60 × 16 =	19.45	35.44	OK									
				AW22	4.50 / 9.00 × 6 − 1.4 = 1.60	1.60	1.985 × 1.20 = 2.38	× 1.60 × 0.7 × 6 =	15.99											
	○ ｵｰﾌﾟﾝｽﾍﾟｰｽ3	64.540000	/ 5 = 12.91	AW25	4.50 / 9.00 × 6 − 1.4 = 1.60	1.60	2.235 × 1.20 = 2.68	× 1.60 × 2 =	8.57	13.56	OK	機械換気								
				AW25	4.50 / 9.00 × 6 − 1.4 = 1.60	1.60	2.235 × 0.70 = 1.56	× 1.60 × 2 =	4.99											
	- 倉庫3	30.826400	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	- 階段1	22.973600	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	- 倉庫4	13.135000	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	- 廊下2-1	23.055000	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	- バルコニー	138.987500	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	- 屋外階段	9.765000	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	3階																			
本館北棟	- 階段3	31.950000	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	○ 普通教室5	65.025000	/ 5 = 13.01	AW18-2	20.00 / 9.00 × 6 − 1.4 = 11.93	3.00	1.57 × 1.20 = 1.88	× 3.00 × 2 =	11.28	21.12	OK	機械換気								
				AW19	20.00 / 9.00 × 6 − 1.4 = 11.93	3.00	1.37 × 1.20 = 1.64	× 3.00 × 2 =	9.84											
	○ 普通教室6	63.900000	/ 5 = 12.78	AW14	20.00 / 9.00 × 6 − 1.4 = 11.93	3.00	1.065 × 1.20 = 1.27	× 3.00 × 2 =	7.62	18.90	OK	機械換気								
				AW18	20.00 / 9.00 × 6 − 1.4 = 11.93	3.00	1.57 × 1.20 = 1.88	× 3.00 × 2 =	11.28											
	- 廊下3-1	57.852000	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
本館南棟	○ ｵｰﾌﾟﾝｽﾍﾟｰｽ4	63.900000	/ 5 = 12.78	AW18	20.00 / 9.00 × 6 − 1.4 = 11.93	3.00	1.57 × 1.20 = 1.88	× 3.00 × 2 =	11.28	24.42	OK	機械換気								
				AW18-3	20.00 / 9.00 × 6 − 1.4 = 11.93	3.00	1.83 × 1.20 = 2.19	× 3.00 × 2 =	13.14											
	○ 普通教室7	63.900000	/ 5 = 12.78	AW18	20.00 / 9.00 × 6 − 1.4 = 11.93	3.00	1.57 × 1.20 = 1.88	× 3.00 × 2 =	11.28	24.42	OK	機械換気								
				AW18-3	20.00 / 9.00 × 6 − 1.4 = 11.93	3.00	1.83 × 1.20 = 2.19	× 3.00 × 2 =	13.14											
	- 廊下3-1	41.400000	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	○ 普通教室8	63.900000	/ 5 = 12.78	AW18	20.00 / 9.00 × 6 − 1.4 = 11.93	3.00	1.57 × 1.20 = 1.88	× 3.00 × 2 =	11.28	24.42	OK	機械換気								
				AW18-3	20.00 / 9.00 × 6 − 1.4 = 11.93	3.00	1.83 × 1.20 = 2.19	× 3.00 × 2 =	13.14											
	- 廊下3-1	20.700000	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	- 階段2	24.850000	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	- 廊下3-1	120.993750	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	- 児童トイレ(男)2	31.950000	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	- 児童トイレ(女)2	31.950000	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	- 児童更衣室3	13.601250	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	- 児童更衣室4	10.755000	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	○ 少人数教室1	63.900000	/ 5 = 12.78	AW18	20.00 / 9.00 × 6 − 1.4 = 11.93	3.00	1.57 × 1.20 = 1.88	× 3.00 × 2 =	11.28	24.42	OK	機械換気								
				AW18-3	20.00 / 9.00 × 6 − 1.4 = 11.93	3.00	1.83 × 1.20 = 2.19	× 3.00 × 2 =	13.14											
	○ 少人数教室2	63.900000	/ 5 = 12.78	AW18	20.00 / 9.00 × 6 − 1.4 = 11.93	3.00	1.57 × 1.20 = 1.88	× 3.00 × 2 =	11.28	24.42	OK	機械換気								
				AW18-3	20.00 / 9.00 × 6 − 1.4 = 11.93	3.00	1.83 × 1.20 = 2.19	× 3.00 × 2 =	13.14											
児童ｸﾗﾌﾞ棟	- 階段1	22.973600	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	- 倉庫5	11.315500	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	- 廊下3-1	6.466000	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	4階																			
本館北棟	- 階段3	31.950000	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	○ 学習室	63.900000	/ 5 = 12.78	AW18-2	20.00 / 5.50 × 6 − 1.4 = 20.41	3.00	1.57 × 1.20 = 1.88	× 3.00 × 2 =	11.28	24.42	OK	機械換気								
				AW18-3	20.00 / 5.50 × 6 − 1.4 = 20.41	3.00	1.83 × 1.20 = 2.19	× 3.00 × 2 =	13.14											
	○ 児童会室	60.669500	/ 5 = 12.13	AW14	20.00 / 5.50 × 6 − 1.4 = 20.41	3.00	1.07 × 1.20 = 1.27	× 3.00 × 2 =	7.62	18.90	OK	機械換気								
				AW18	20.00 / 5.50 × 6 − 1.4 = 20.41	3.00	1.57 × 1.20 = 1.88	× 3.00 × 2 =	11.28											
	- 廊下4-1	56.805500	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
本館南棟	- 階段2	28.000000	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								

備考												
	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番 A-037-2
	月 日		月 日		1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	統括	佐藤 信	製図	松浦 侑亮	図面名称	採光換気排煙計算表2	縮尺 -
	月 日		月 日									

採光・換気・排煙計算表

採光

小数点３以下の数値について、室面積,hは切上げ、d,A,窓面積計算,Wは切下げることで、安全側の算定とする。

換気

排煙

(一)：建設省告示第1436号第4号二(一)により緩和
(二)：建設省告示第1436号第4号二(二)により緩和
(三)：建設省告示第1436号第4号二(三)により緩和
(四)：建設省告示第1436号第4号二(四)により緩和

棟	室名 ○:居室 -:非居室	室面積 (㎡)	必要採光面積 (㎡)	建具記号	補正係数 A=d/h×α−β (α=6 β=1.4) d(m) / h(m) × α − β = A	(max=3)	有効採光面積計算 窓面積計算	× A	= W	有効採光面積合計	判定	必要換気面積 面積×1/20	建具記号	開放面積計算	開放面積合計	判定	必要排煙面積 面積×1/50	有効排煙面積計算	有効排煙面積合計	判定
1階																				
本館北棟	- 倉庫1	13.354875	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要					※建築基準法施工令第126条の2 ただし書き二号により排煙免除			
	- 階段3	18.596125	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	- 廊下1-3	23.184000	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	- 昇降口	82.485000	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	○ 保健室	46.103500	/ 5 = 9.22	AW2	40.00 / 16.00 × 6 − 1.4 = 13.60	3.00	1.37 × 1.20 = 1.64	× 3.00	× 2 = 9.84	9.84	OK	機械換気								
	- 廊下1-2	20.700000	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	- 更衣室1	10.436950	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	- 更衣室2	7.004200	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
本館南棟	○ 職員室	172.930350	/ 5 = 34.59	AW1	40.00 / 16.00 × 6 − 1.4 = 13.60	3.00	1.83 × 1.20 = 2.19	× 3.00	× 2 = 13.14	45.96	OK	機械換気								
				AW2	40.00 / 16.00 × 6 − 1.4 = 13.60	3.00	1.37 × 1.20 = 1.64	× 3.00	× 4 = 19.68											
				AW3	40.00 / 16.00 × 6 − 1.4 = 13.60	3.00	1.83 × 1.20 = 2.19	× 3.00	× 2 = 13.14											
	○ 校長室	33.075000	/ 5 = 6.62	AW2	40.00 / 16.00 × 6 − 1.4 = 13.60	3.00	1.37 × 1.20 = 1.64	× 3.00	× 2 = 9.84	9.84	OK	機械換気								
	- 廊下1-1	22.275000	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	- 職員用WC(女)	16.170000	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	- 職員用WC(男)	16.905000	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	- 階段2	58.100000	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	○ 図書館・ﾒﾃﾞｨｱｽﾍﾟｰｽ	140.175000	/ 5 = 28.04	AW1	40.00 / 16.00 × 6 − 1.4 = 13.60	3.00	1.83 × 1.20 = 2.19	× 3.00	× 2 = 13.14	69.96	OK	機械換気								
				AW2-2	40.00 / 16.00 × 6 − 1.4 = 13.60	3.00	1.37 × 1.20 = 1.64	× 3.00	× 2 = 9.84											
				AW4	40.00 / 16.00 × 6 − 1.4 = 13.60	3.00	3.73 × 2.10 = 7.83	× 3.00	× 1 = 23.49											
				AW4-2	40.00 / 16.00 × 6 − 1.4 = 13.60	3.00	3.73 × 2.10 = 7.83	× 3.00	× 1 = 23.49											
	- 廊下1-1	90.125000	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	- 職員・来賓玄関	12.600000	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	- 前室1	2.340000	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	- 配膳室	36.600000	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	- 下膳室	6.885000	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
児童ｸﾗﾌﾞ棟	- 下処理室	22.868050	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	- 前室2	10.810000	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	○ 休憩室	9.873000	無窓居室　非常用照明設置(内装不燃(天井：化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=9.5(不燃)、壁：ｹｲｶﾙ板t=6/EP-G塗装(不燃))									機械換気								
	- 食品庫	5.289100	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	- 検収室	12.660600	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	- パン・牛乳仕分室	10.365450	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	- 階段1	12.209300	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	- 廊下1-1	5.175000	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	- 体育倉庫	21.025000	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	○ 児童ｸﾗﾌﾞ1	70.965300	/ 20 = 3.55	AW10	4.50 / 13.00 × 6 − 1.4 = 0.67	1.00	1.01 × 0.80 = 0.81	× 1.00	× 4 = 3.24	6.28	OK	機械換気								
				AW11	4.50 / 13.00 × 6 − 1.4 = 0.67	1.00	0.96 × 0.80 = 0.76	× 1.00	× 4 = 3.04											
	- 児童用ﾄｲﾚ1(児童ｸﾗﾌﾞ1)	1.337700	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	- 児童用ﾄｲﾚ1(児童ｸﾗﾌﾞ2)	1.337700	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	- 児童用ﾄｲﾚ1(児童ｸﾗﾌﾞ3)	1.665300	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	- 児童用ﾄｲﾚ1(児童ｸﾗﾌﾞ4)	1.665300	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	○ 児童ｸﾗﾌﾞ2	69.639000	/ 20 = 3.48	AW11	4.50 / 13.00 × 6 − 1.4 = 0.67	1.00	0.96 × 0.80 = 0.76	× 1.00	× 4 = 3.04	6.44	OK	機械換気								
				AW12	4.50 / 13.00 × 6 − 1.4 = 0.67	1.00	1.07 × 0.80 = 0.85	× 1.00	× 4 = 3.40											
	- 児童用ﾄｲﾚ1(児童ｸﾗﾌﾞ2)	1.456000	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	- 児童用ﾄｲﾚ2(児童ｸﾗﾌﾞ2)	1.456000	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	- 児童用ﾄｲﾚ3(児童ｸﾗﾌﾞ2)	1.747200	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	- 児童用ﾄｲﾚ4(児童ｸﾗﾌﾞ2)	1.747200	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	- 多目的ﾄｲﾚ	5.647400	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	- 収納庫	9.380900	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
本館・増築	○ 調理室	118.059000	/ 5 = 23.61	AW2	40.00 / 16.00 × 6 − 1.4 = 13.60	3.00	1.37 × 1.20 = 1.64	× 3.00	× 2 = 9.84	39.42	OK	機械換気								
				AW5	40.00 / 16.00 × 6 − 1.4 = 13.60	3.00	1.83 × 1.20 = 2.19	× 3.00	× 2 = 13.14											
				AW6	40.00 / 16.00 × 6 − 1.4 = 13.60	3.00	1.37 × 2.00 = 2.74	× 3.00	× 2 = 16.44											
2階																				
本館北棟	- 階段3	31.950000	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	○ 普通教室1	65.025000	/ 5 = 13.01	AW18-2	20.00 / 12.50 × 6 − 1.4 = 8.20	3.00	1.57 × 1.20 = 1.88	× 3.00	× 2 = 11.28	22.56	OK	機械換気								
				AW19	20.00 / 12.50 × 6 − 1.4 = 8.20	3.00	1.57 × 1.20 = 1.88	× 3.00	× 2 = 11.28											
	○ 普通教室2	65.025000	/ 5 = 13.01	AW14	20.00 / 12.50 × 6 − 1.4 = 8.20	3.00	1.065 × 1.20 = 1.27	× 3.00	× 2 = 7.62	17.46	OK	機械換気								
				AW19	20.00 / 12.50 × 6 − 1.4 = 8.20	3.00	1.37 × 1.20 = 1.64	× 3.00	× 2 = 9.84											
	- 廊下2-1	57.852000	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
本館南棟	○ ｵｰﾌﾟﾝｽﾍﾟｰｽ1	65.025000	/ 5 = 13.01	AW18	20.00 / 12.50 × 6 − 1.4 = 8.20	3.00	1.57 × 1.20 = 1.88	× 3.00	× 2 = 11.28	21.12	OK	機械換気								
				AW19	20.00 / 12.50 × 6 − 1.4 = 8.20	3.00	1.37 × 1.20 = 1.64	× 3.00	× 2 = 9.84											
	○ 普通教室3	63.900000	/ 5 = 12.78	AW18	20.00 / 12.50 × 6 − 1.4 = 8.20	3.00	1.57 × 1.20 = 1.88	× 3.00	× 2 = 11.28	24.42	OK	機械換気								
				AW18-3	20.00 / 12.50 × 6 − 1.4 = 8.20	3.00	1.83 × 1.20 = 2.19	× 3.00	× 2 = 13.14											
	- 廊下2-1	41.400000	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	○ 普通教室4	65.025000	/ 5 = 13.01	AW19	20.00 / 12.50 × 6 − 1.4 = 8.20	3.00	1.37 × 1.20 = 1.64	× 3.00	× 2 = 9.84	21.12	OK	機械換気								
				AW18-4	20.00 / 12.50 × 6 − 1.4 = 8.20	3.00	1.57 × 1.20 = 1.88	× 3.00	× 2 = 11.28											
	- 廊下2-1	22.275000	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	- 階段2	24.850000	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	- 廊下2-1	120.993750	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								
	- 児童ﾄｲﾚ(男)1	33.075000	非居室のため採光不要									非居室のため換気不要								

備考											
月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番 A-037
月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	採光換気排煙計算表1	縮尺 -
月 日		月 日									

凡例

- 竪穴区画：1時間耐火構造
- 面積区画：1時間耐火構造
- 114条区画(防火上主要な間仕切り壁は小屋裏又は天井裏に達せしめる)
- 防煙区画壁：垂れ壁H500 もしくは垂れ壁H300+常閉不燃戸
- 防煙垂れ壁
- ：大阪府建築基準法施工条例第11条出入口
  ※建築基準法施工令第126条の2第1項二号により学校(学校法に基づく学校の場合)部分は排煙免除

- 自然排煙
- 機械排煙
- ：令126条の2第1項第一号により排煙設備不要（耐火構造又は防火設備で区画された部分で、100㎡以内のもの）
- ：令126条の2第1項第三号により排煙設備不要（階段の部分、昇降路の部分）
- ：H12告示1436-4-ニ(1)（仕上げを準不燃とし、かつ居室、避難用に供する部分に面する開口部を防火設備とし、それ以外に戸を設けたもの）
- ：H12告示1436-4-ニ(2)（100㎡以下で防煙壁により区画）
- ：H12告示1436-4-ニ(3)（仕上げを準不燃とし、100㎡で防火区画）
- ：H12告示1436-4-ニ(4)（100㎡以下の室で下地仕上げとも不燃）

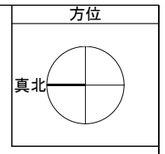
- 特 特定防火設備における随時閉鎖式防火戸(煙感連動)
- 防 防火設備における随時閉鎖式防火戸(煙感連動)
- 特 特定防火設備における常時閉鎖式防火戸
- 防 防火設備における常時閉鎖式防火戸
- 耐 特定防火設備（耐熱ガラス）
- 網 防火設備（網入りガラスまたは耐熱ガラス）
- 不 常時閉鎖式不燃扉
- 炎 遮炎性能を有する特定防火設備
- 煙 遮煙性能を有する特定防火設備
- 煙 遮煙性能を有する防火設備

- ①令125条 避難階における直通階段から屋外への出入口に至る歩行距離算定経路
- ②令125条 避難階における居室から屋外への出入口に至る歩行距離算定経路
- ③令121条3項による重複区間部分
- ③令121条3項による重複区間ではない部分

※階段1,2,3,D・Cは竪穴区画と面積区画を兼ねる。
※EPS・PSはRCスラブにて水平区画
※各階外壁面断面方向の層間についてはRC壁900mm以上のスパンドレルで区画

- ▼ 代替進入口(令126条の6第二項)
- ▼ 屋外への出口(令125条)

方位



	階段1(直通階段)	階段2(直通階段)	階段3(直通階段)	屋外階段1(屋外直通階段)
幅員	1,425mm	1,450mm	1,755mm	900mm
蹴上	157.14mm	149mm	149mm	155.2mm
踏面	260mm	260mm	280mm	260mm

スパンドレル㋐

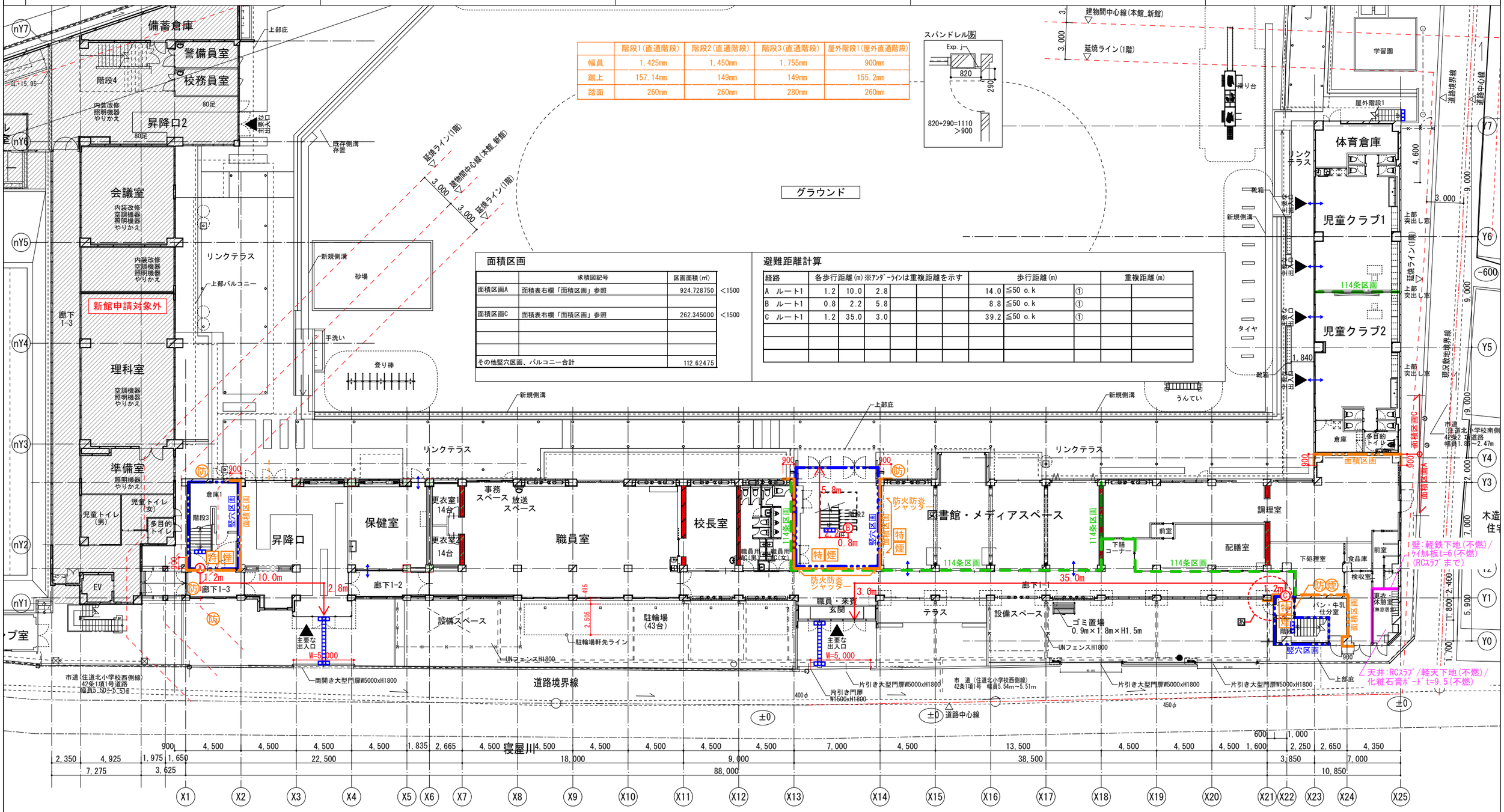
グラウンド

面積区画

	求積図記号	区画面積(㎡)	
面積区画A	面積表右欄「面積区画」参照	924.728750	<1500
面積区画C	面積表右欄「面積区画」参照	262.345000	<1500
その他竪穴区画、バルコニー合計		112.62475	

避難距離計算

経路	各歩行距離(m)※ｱﾝﾀﾞｰﾗｲﾝは重複距離を示す						歩行距離(m)		重複距離(m)	
A ルート1	1.2	10.0	2.8				14.0	≦50 o.k	①	
B ルート1	0.8	2.2	5.8				8.8	≦50 o.k	①	
C ルート1	1.2	35.0	3.0				39.2	≦50 o.k	①	



備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-038
	月 日		月 日		1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	統括	佐藤 信	製図	伊藤 高基	図面名称	法チェック図-1	縮尺	1/150(A1) 1/300(A3)
	月 日		月 日										

凡例

- 竪穴区画：1時間耐火構造
- 面積区画：1時間耐火構造
- 114条区画(防火上主要な間仕切り壁は小屋裏又は天井裏に達せしめる)
- 防煙区画壁：垂れ壁H500 もしくは垂れ壁H300+常閉不燃戸
- 防煙垂れ壁
- ：大阪府建築基準法施工条例第11条出入口
  ※建築基準法施工令第126条の2第1項二号により学校(学校法に基づく学校の場合)部分は排煙免除

- 自然排煙
- 機械排煙
- ：令126条の2第1項第一号により排煙設備不要（耐火構造又は防火設備で区画された部分で、100㎡以内のもの）
- ：令126条の2第1項第三号により排煙設備不要（階段の部分、昇降路の部分）
- ：H12告示1436-4-ニ(1)（仕上げを準不燃とし、かつ居室、避難用に供する部分に面する開口部を防火設備とし、それ以外に戸を設けたもの）
- ：H12告示1436-4-ニ(2)（100㎡以下で防煙壁により区画）
- ：H12告示1436-4-ニ(3)（仕上げを準不燃とし、100㎡で防火区画）
- ：H12告示1436-4-ニ(4)（100㎡以下の室で下地仕上げとも不燃）

- 特 特定防火設備における随時閉鎖式防火戸(煙感連動)
- 防 防火設備における随時閉鎖式防火戸(煙感連動)
- 特 特定防火設備における常時閉鎖式防火戸
- 防 防火設備における常時閉鎖式防火戸
- 耐 特定防火設備（耐熱ガラス）
- 網 防火設備（網入りガラスまたは耐熱ガラス）
- 不 常時閉鎖式不燃扉
- 炎 遮炎性能を有する特定防火設備
- 煙 遮煙性能を有する特定防火設備
- 煙 遮煙性能を有する防火設備

- ①令125条 避難階における直通階段から屋外への出入口に至る歩行距離算定経路
- ②令125条 避難階における居室から屋外への出入口に至る歩行距離算定経路
- ③令121条3項による重複区間部分
- ③令121条3項による重複区間ではない部分

※階段1,2,3,D・Cは竪穴区画と面積区画を兼ねる。
※EPS・PSはRCスラブにて水平区画
※各階外壁面断面方向の層間についてはRC壁900mm以上のスパンドレルで区画

- ▼ 代替進入口(令126条の6第二項)
- ▼ 屋外への出口(令125条)

方位
真北

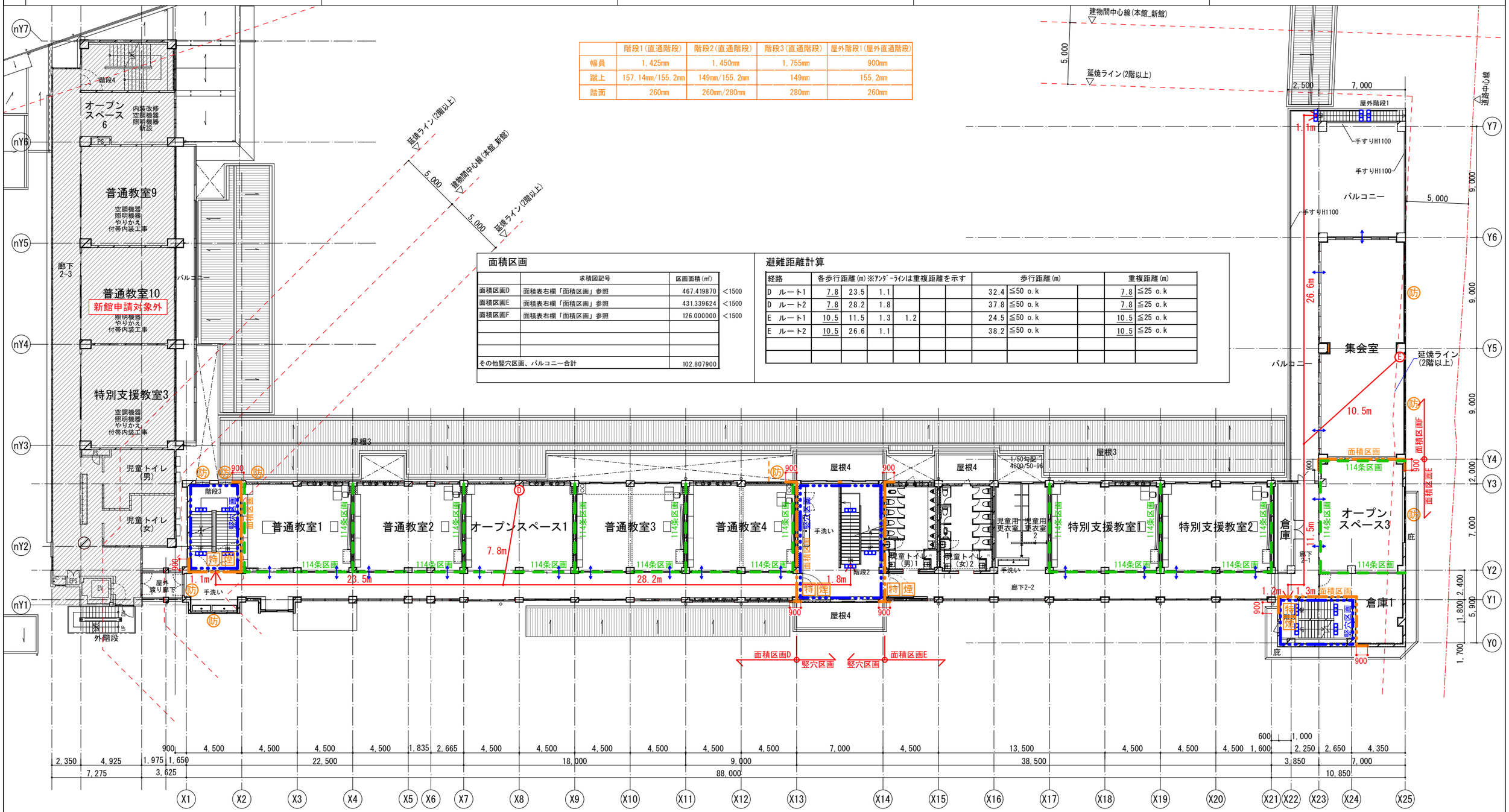
	階段1(直通階段)	階段2(直通階段)	階段3(直通階段)	屋外階段1(屋外直通階段)
幅員	1,425mm	1,450mm	1,755mm	900mm
蹴上	157.14mm/155.2mm	149mm/155.2mm	149mm	155.2mm
踏面	260mm	260mm/280mm	280mm	260mm

面積区画

	求積図記号	区画面積(㎡)	
面積区画D	面積表右欄「面積区画」参照	467.419870	<1500
面積区画E	面積表右欄「面積区画」参照	431.339624	<1500
面積区画F	面積表右欄「面積区画」参照	126.000000	<1500
その他竪穴区画、バルコニー合計		102.807900	

避難距離計算

経路	各歩行距離(m)※ｱﾝﾀﾞｰﾗｲﾝは重複距離を示す						歩行距離(m)			重複距離(m)	
D ルート1	7.8	23.5	1.1				32.4	≦50 o.k		7.8	≦25 o.k
D ルート2	7.8	28.2	1.8				37.8	≦50 o.k		7.8	≦25 o.k
E ルート1	10.5	11.5	1.3	1.2			24.5	≦50 o.k		10.5	≦25 o.k
E ルート2	10.5	26.6	1.1				38.2	≦50 o.k		10.5	≦25 o.k



備考				株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-039
	月 日		月 日	1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	統括	佐藤 信	製図	伊藤 高基	図面名称	法チェック図-2	縮尺	1/150(A1) 1/300(A3)

凡例

- 竪穴区画：1時間耐火構造
- 面積区画：1時間耐火構造
- 114条区画(防火上主要な間仕切り壁は小屋裏又は天井裏に達せしめる)
- 防煙区画壁：垂れ壁H500 もしくは垂れ壁H300+常閉不燃戸
- 防煙垂れ壁
- ：大阪府建築基準法施工条例第11条出入口
  ※建築基準法施工令第126条の2第1項二号により学校(学校法に基づく学校の場合)部分は排煙免除

- 自然排煙
- 機械排煙
- ：令126条の2第1項第一号により排煙設備不要（耐火構造又は防火設備で区画された部分で、100㎡以内のもの）
- ：令126条の2第1項第三号により排煙設備不要（階段の部分、昇降路の部分）
- ：H12告示1436-4-ニ(1)（仕上げを準不燃とし、かつ居室、避難用に供する部分に面する開口部を防火設備とし、それ以外に戸を設けたもの）
- ：H12告示1436-4-ニ(2)（100㎡以下で防煙壁により区画）
- ：H12告示1436-4-ニ(3)（仕上げを準不燃とし、100㎡で防火区画）
- ：H12告示1436-4-ニ(4)（100㎡以下の室で下地仕上げとも不燃）

- 特 特定防火設備における随時閉鎖式防火戸(煙感連動)
- 防 防火設備における随時閉鎖式防火戸(煙感連動)
- 特 特定防火設備における常時閉鎖式防火戸
- 防 防火設備における常時閉鎖式防火戸
- 耐 特定防火設備（耐熱ガラス）
- 網 防火設備（網入りガラスまたは耐熱ガラス）
- 不 常時閉鎖式不燃扉
- 炎 遮炎性能を有する特定防火設備
- 煙 遮煙性能を有する特定防火設備
- 煙 遮煙性能を有する防火設備

- ①令125条 避難階における直通階段から屋外への出入口に至る歩行距離算定経路
- ②令125条 避難階における居室から屋外への出入口に至る歩行距離算定経路
- ③令121条3項による重複区間部分
- ③令121条3項による重複区間ではない部分

※階段1,2,3,D・Cは竪穴区画と面積区画を兼ねる。
※EPS・PSはRCスラブにて水平区画
※各階外壁面断面方向の層間についてはRC壁900mm以上のスパンドレルで区画

- ▼ 代替進入口(令126条の6第二項)
- ▼ 屋外への出口(令125条)

方位

真北

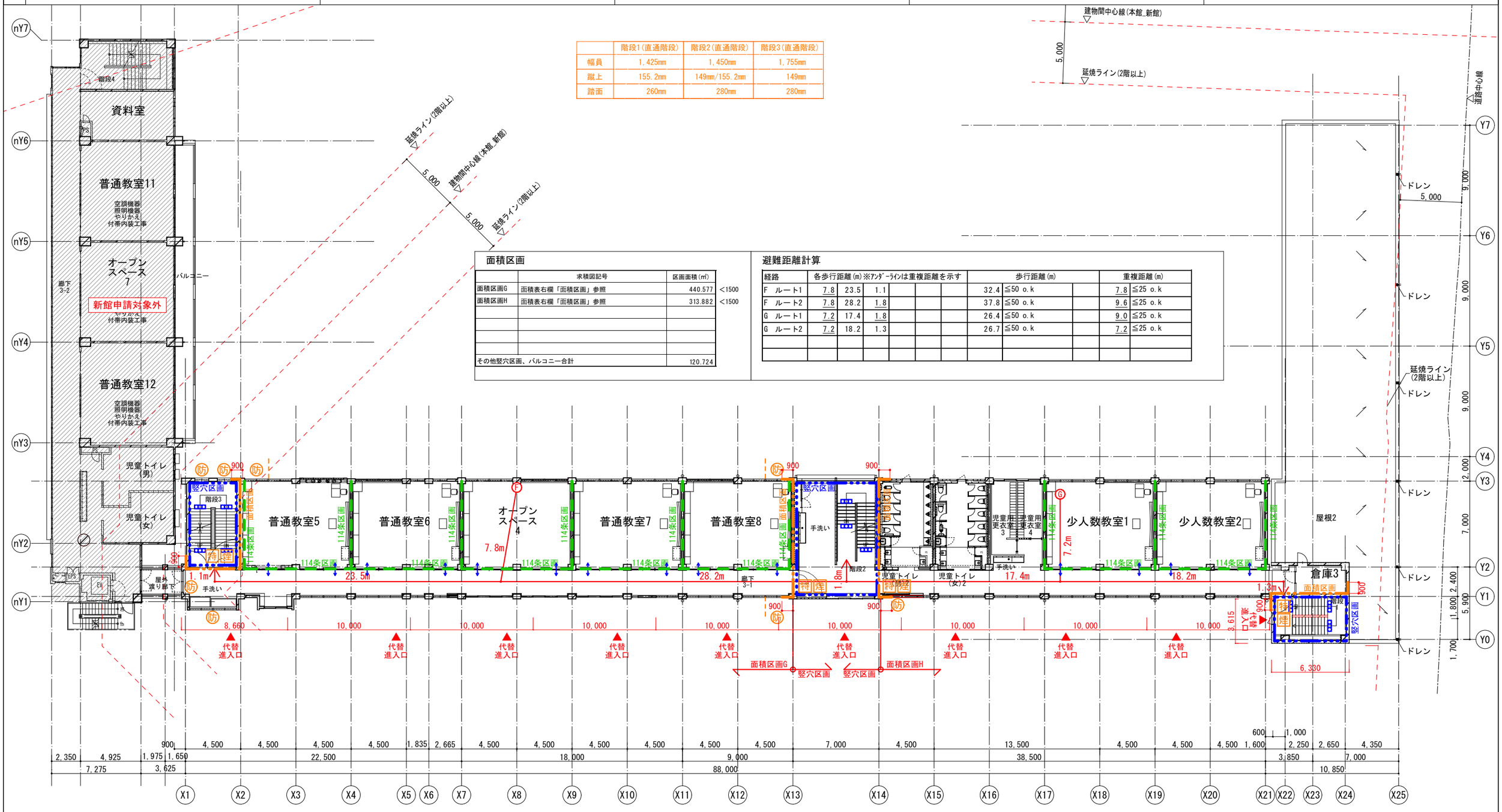
	階段1(直通階段)	階段2(直通階段)	階段3(直通階段)
幅員	1,425mm	1,450mm	1,755mm
蹴上	155.2mm	149mm/155.2mm	149mm
踏面	260mm	280mm	280mm

面積区画

	求積図記号	区画面積(㎡)	
面積区画G	面積表右欄「面積区画」参照	440.577	<1500
面積区画H	面積表右欄「面積区画」参照	313.882	<1500
その他竪穴区画、バルコニー合計		120.724	

避難距離計算

経路	各歩行距離(m)※ｱﾝﾀﾞｰﾗｲﾝは重複距離を示す						歩行距離(m)			重複距離(m)	
F ルート1	7.8	23.5	1.1				32.4	≦50 o.k		7.8	≦25 o.k
F ルート2	7.8	28.2	1.8				37.8	≦50 o.k		9.6	≦25 o.k
G ルート1	7.2	17.4	1.8				26.4	≦50 o.k		9.0	≦25 o.k
G ルート2	7.2	18.2	1.3				26.7	≦50 o.k		7.2	≦25 o.k



備考											
月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番 A-040
月 日		月 日		1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	統括	佐藤 信	製図	伊藤 高基	図面名称	法チェック図-3	縮尺 1/150(A1) 1/300(A3)
月 日		月 日									

凡例

- 竪穴区画：1時間耐火構造
- 面積区画：1時間耐火構造
- 114条区画(防火上主要な間仕切り壁は小屋裏又は天井裏に達せしめる)
- 防煙区画壁：垂れ壁H500 もしくは垂れ壁H300+常閉不燃戸
- 防煙垂れ壁
- ：大阪府建築基準法施工条例第11条出入口
  ※建築基準法施工令第126条の2第1項二号により学校(学校法に基づく学校の場合)部分は排煙免除

- 自然排煙
- 機械排煙
- ：令126条の2第1項第一号により排煙設備不要（耐火構造又は防火設備で区画された部分で、100㎡以内のもの）
- ：令126条の2第1項第三号により排煙設備不要（階段の部分、昇降路の部分）
- ：H12告示1436-4-ニ(1)（仕上げを準不燃とし、かつ居室、避難用に供する部分に面する開口部を防火設備とし、それ以外に戸を設けたもの）
- ：H12告示1436-4-ニ(2)（100㎡以下で防煙壁により区画）
- ：H12告示1436-4-ニ(3)（仕上げを準不燃とし、100㎡で防火区画）
- ：H12告示1436-4-ニ(4)（100㎡以下の室で下地仕上げとも不燃）

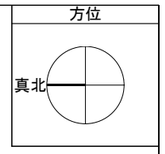
- 特 特定防火設備における随時閉鎖式防火戸(煙感連動)
- 防 防火設備における随時閉鎖式防火戸(煙感連動)
- 特 特定防火設備における常時閉鎖式防火戸
- 防 防火設備における常時閉鎖式防火戸
- 耐 特定防火設備（耐熱ガラス）
- 網 防火設備（網入りガラスまたは耐熱ガラス）
- 不 常時閉鎖式不燃扉
- 炎 遮炎性能を有する特定防火設備
- 煙 遮煙性能を有する特定防火設備
- 煙 遮煙性能を有する防火設備

- ①令125条 避難階における直通階段から屋外への出入口に至る歩行距離算定経路
- ②令125条 避難階における居室から屋外への出入口に至る歩行距離算定経路
- ③令121条3項による重複区間部分
- ③令121条3項による重複区間ではない部分

※階段1,2,3,D・Cは竪穴区画と面積区画を兼ねる。
※EPS・PSはRCスラブにて水平区画
※各階外壁面断面方向の層間についてはRC壁900mm以上のスパンドレルで区画

- ▼ 代替進入口(令126条の6第二項)
- ▼ 屋外への出口(令125条)

方位



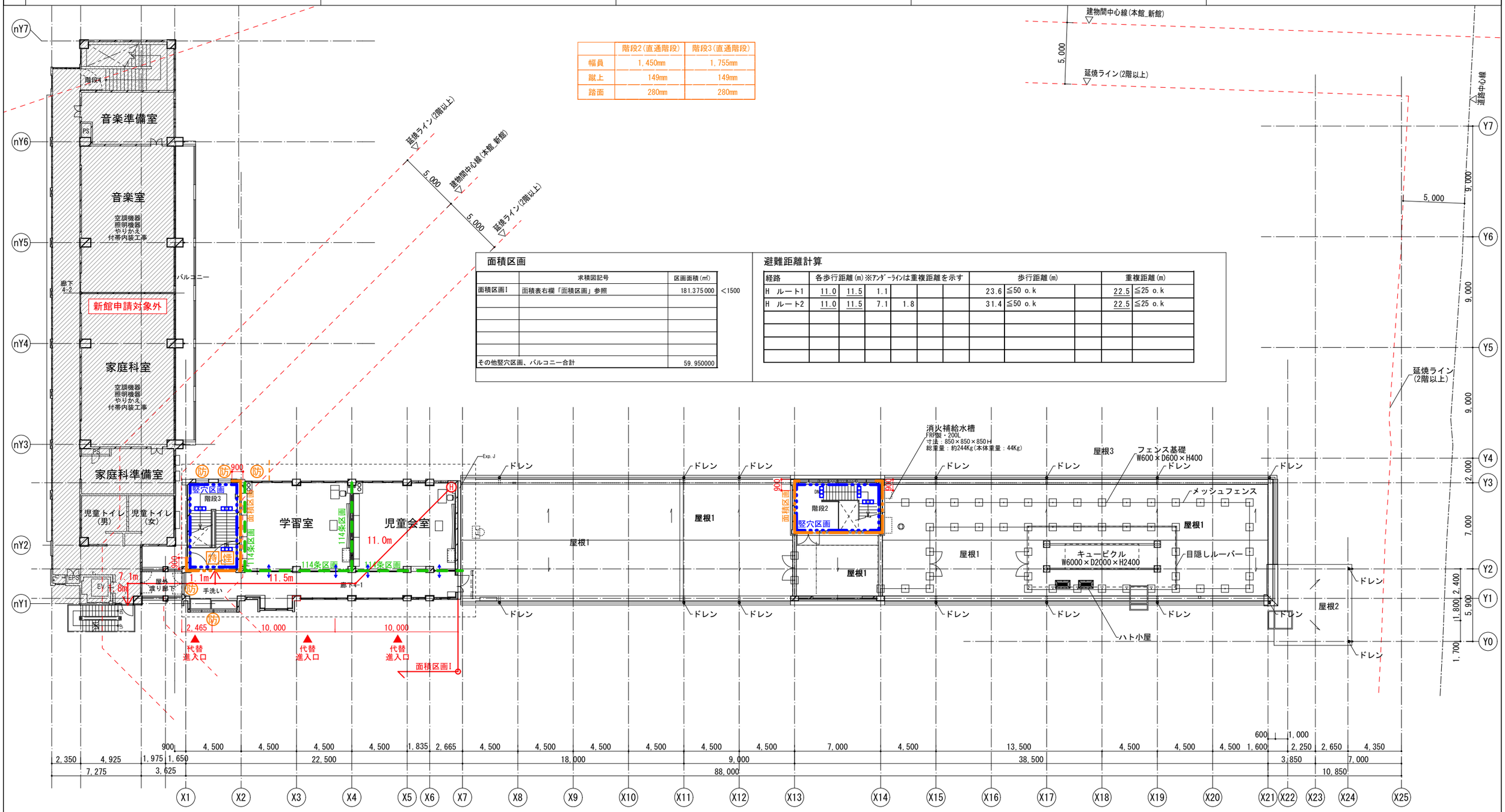
	階段2(直通階段)	階段3(直通階段)
幅員	1,450mm	1,755mm
蹴上	149mm	149mm
踏面	280mm	280mm

面積区画

	求積図記号	区画面積(㎡)	
面積区画I	面積表右欄「面積区画」参照	181.375000	<1500
その他竪穴区画、バルコニー合計		59.950000	

避難距離計算

経路	各歩行距離(m)※ｱﾝﾀﾞｰﾗｲﾝは重複距離を示す						歩行距離(m)			重複距離(m)	
H ルート1	11.0	11.5	1.1				23.6	≦50 o.k		22.5	≦25 o.k
H ルート2	11.0	11.5	7.1	1.8			31.4	≦50 o.k		22.5	≦25 o.k

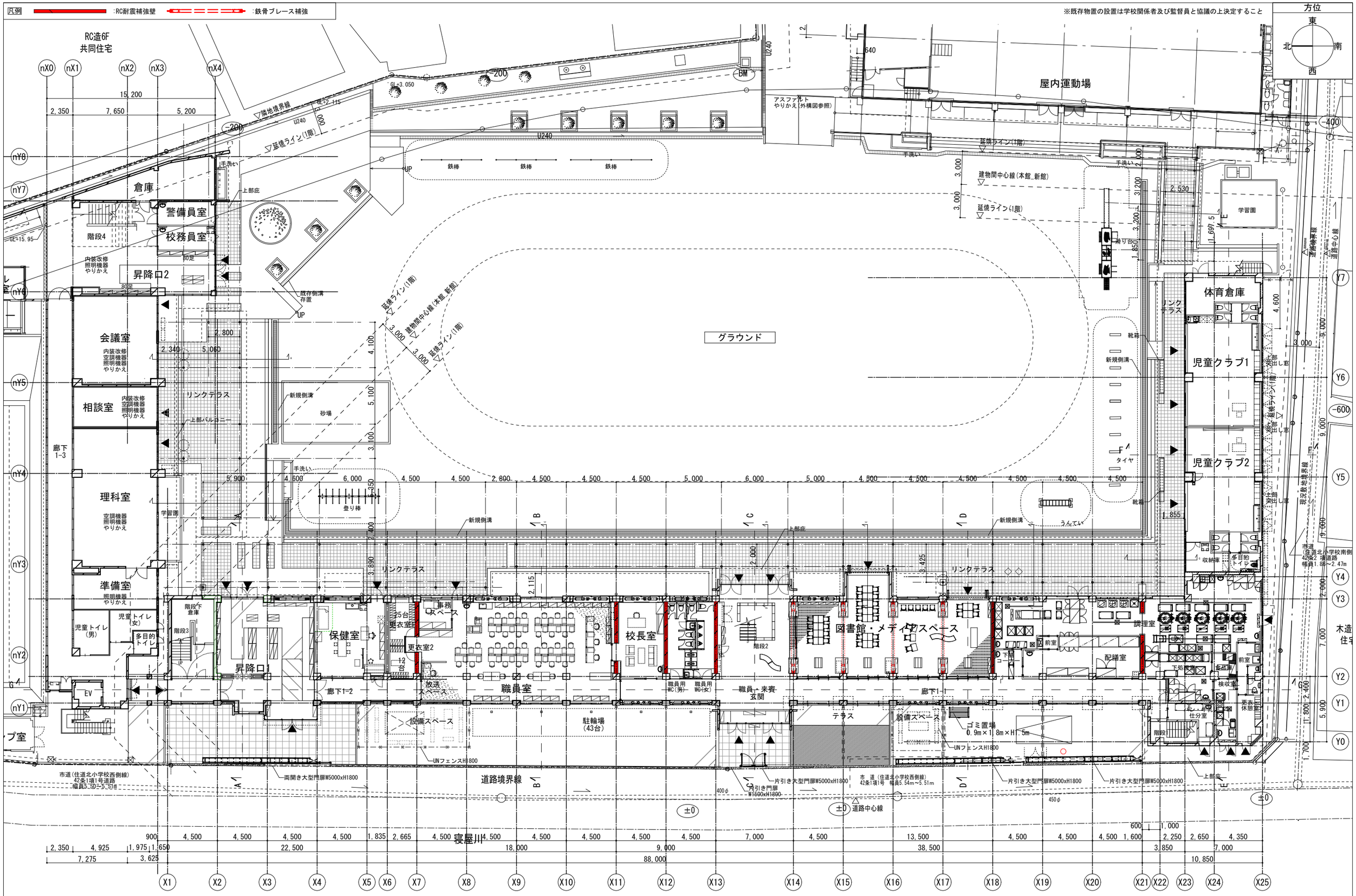


備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)
	月 日		月 日		1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	統括	佐藤 信	製図	伊藤 高基	図書名称	法チェック図-4
	月 日		月 日							縮尺	1/150(A1) 1/300(A3)

図番 A-041

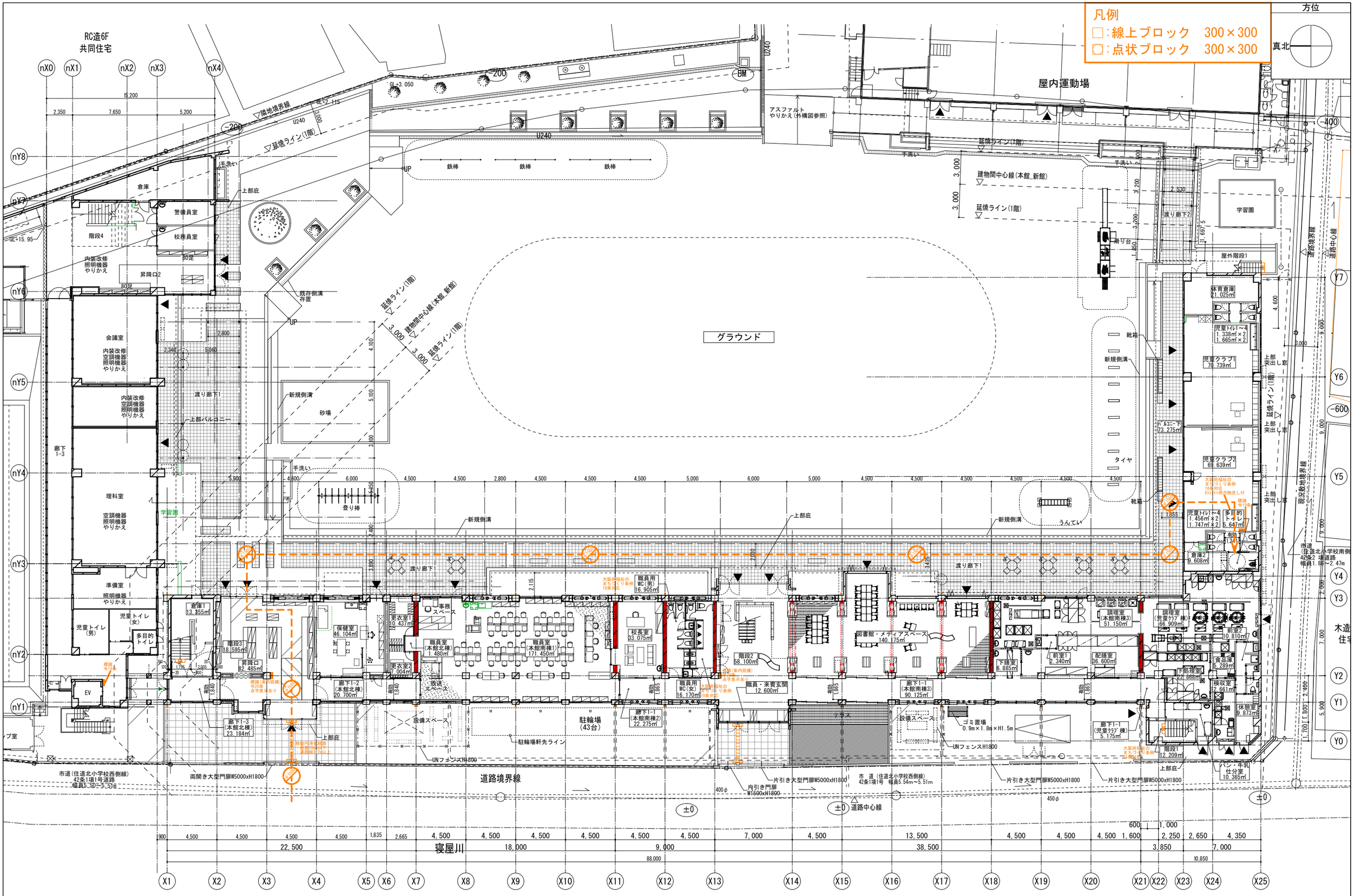
凡例 :RC耐震補強壁 :鉄骨ブレース補強

※既存物置の設置は学校関係者及び監督員と協議の上決定すること

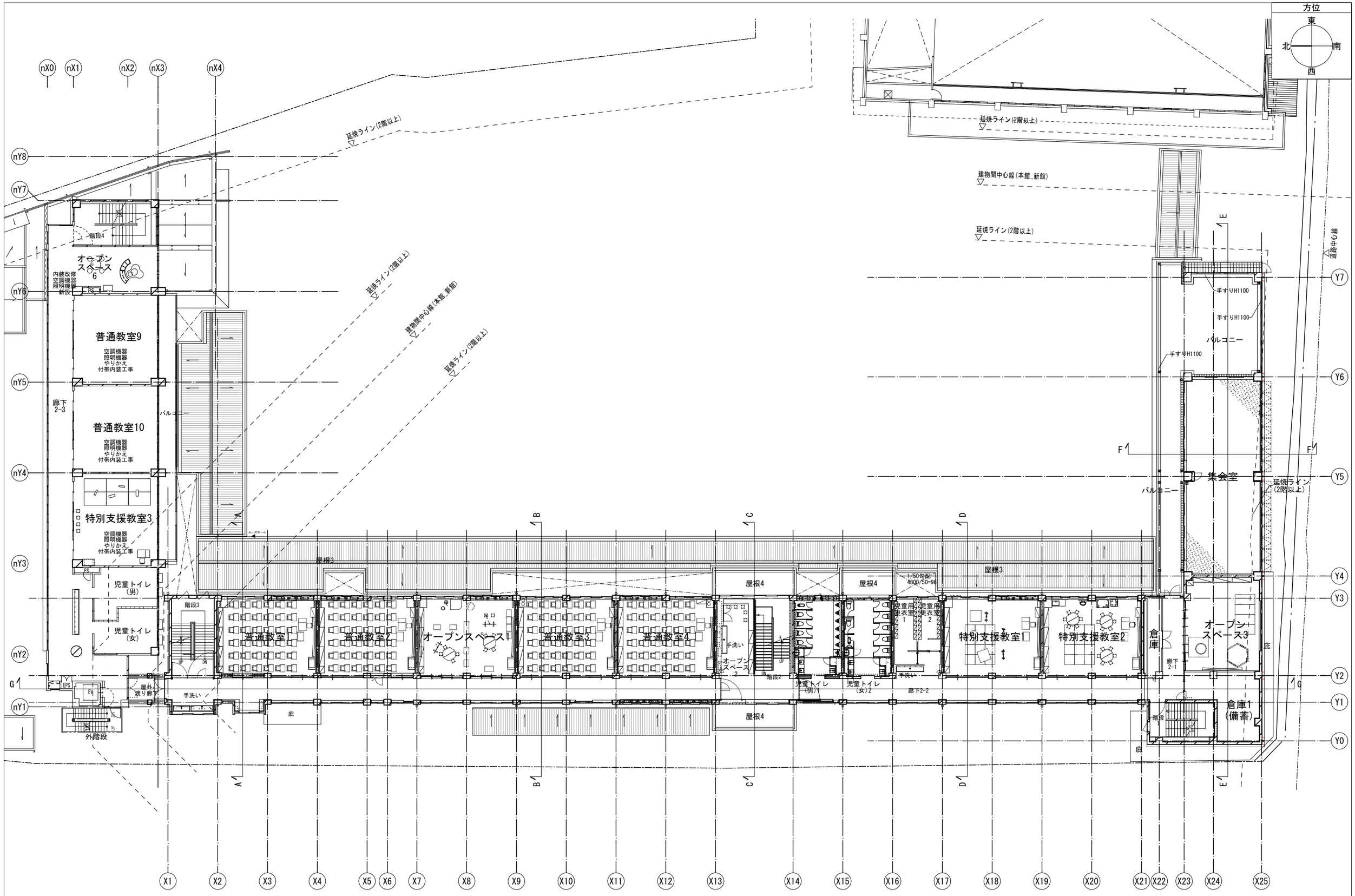


備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事（建築工事）	図番	A-042
	月 日		月 日		1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	統括	佐藤 信	製図	伊藤 高基	図面名称	1階平面図	縮尺	1/150(A1) 1/300(A3)
	月 日		月 日										

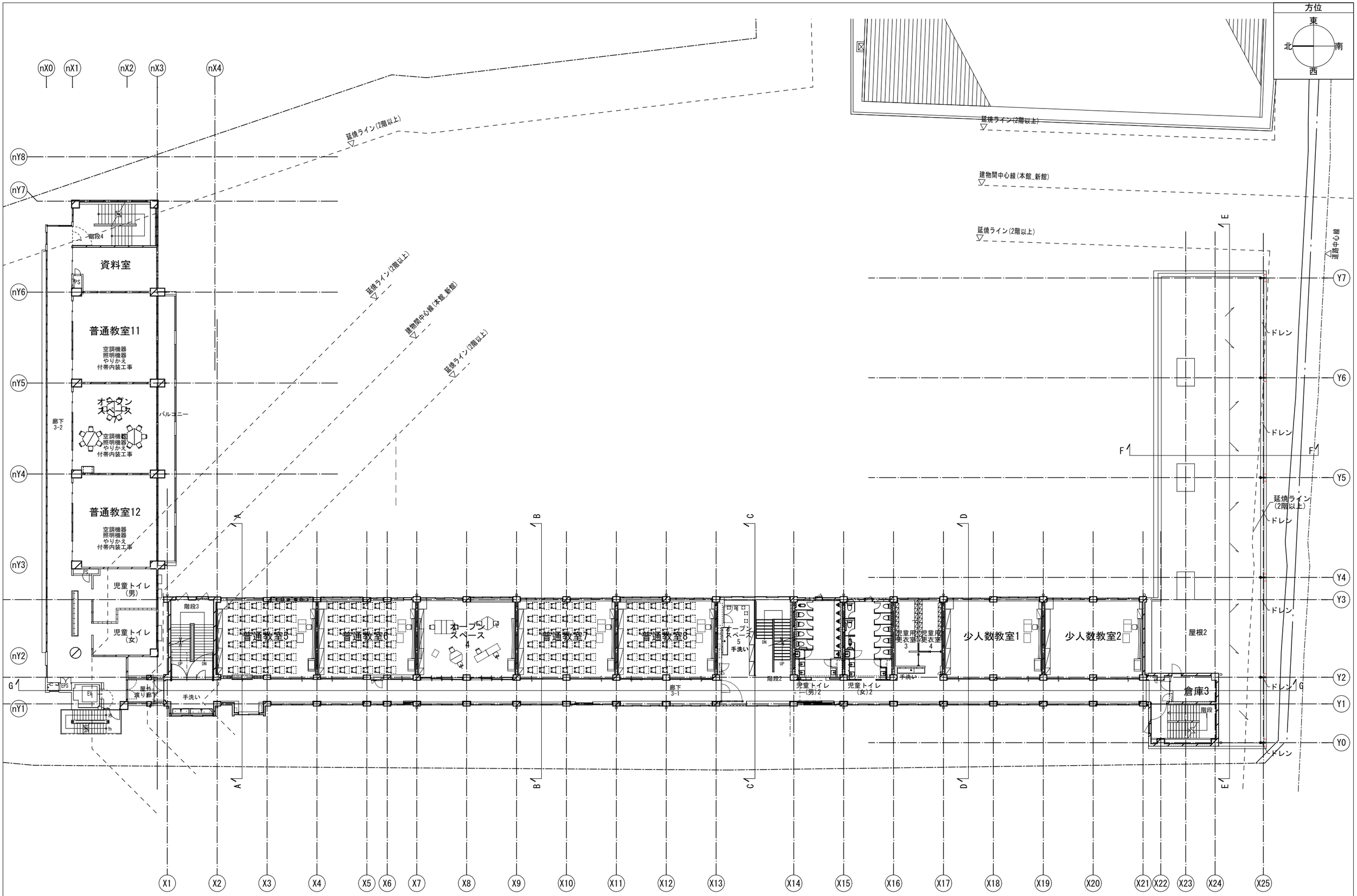
凡例
□:線上ブロック　300×300
◯:点状ブロック　300×300



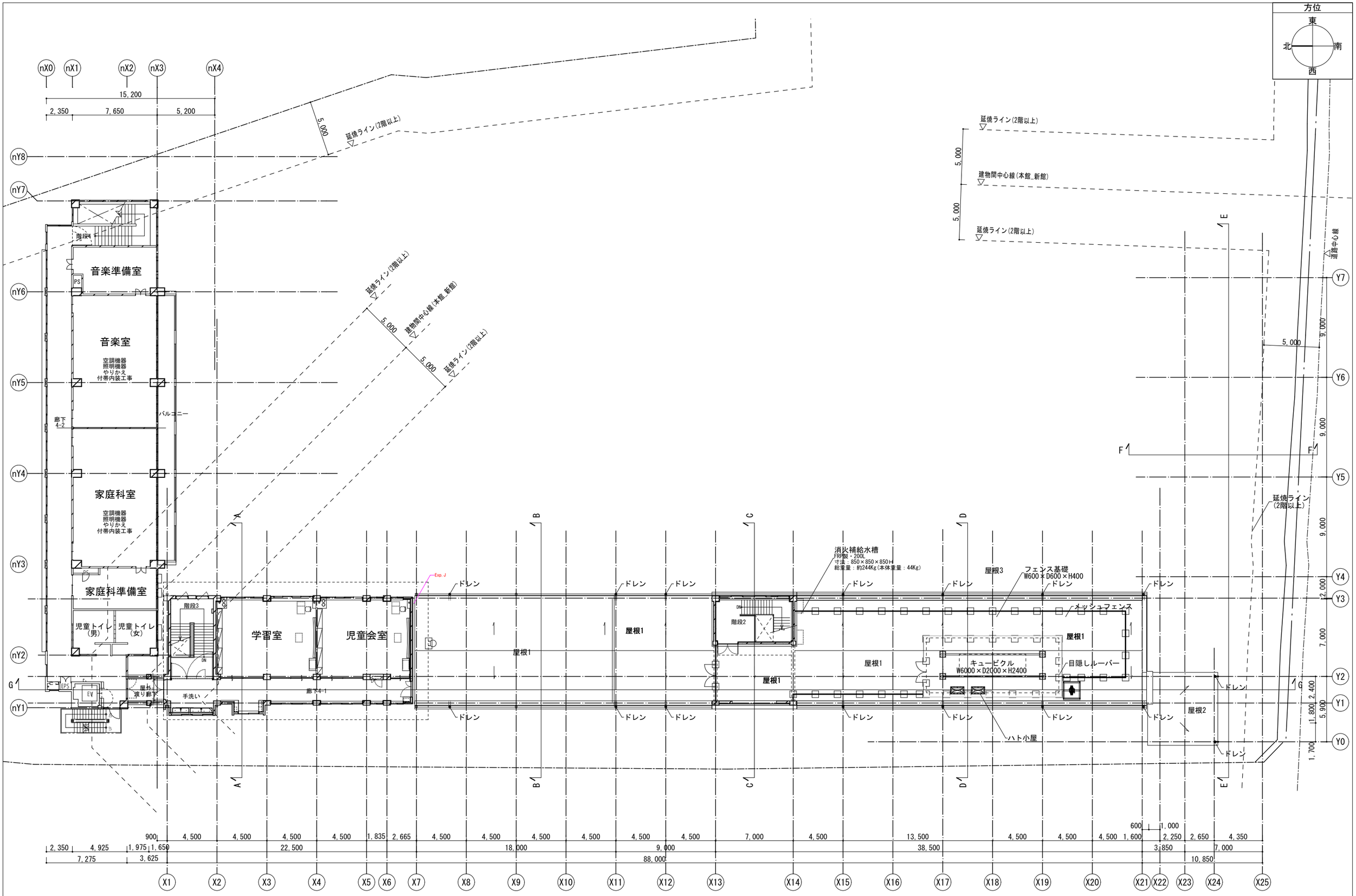
備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-042-2
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図		図面名称	1階平面図(バリアフリー)	縮尺	
	月 日		月 日										



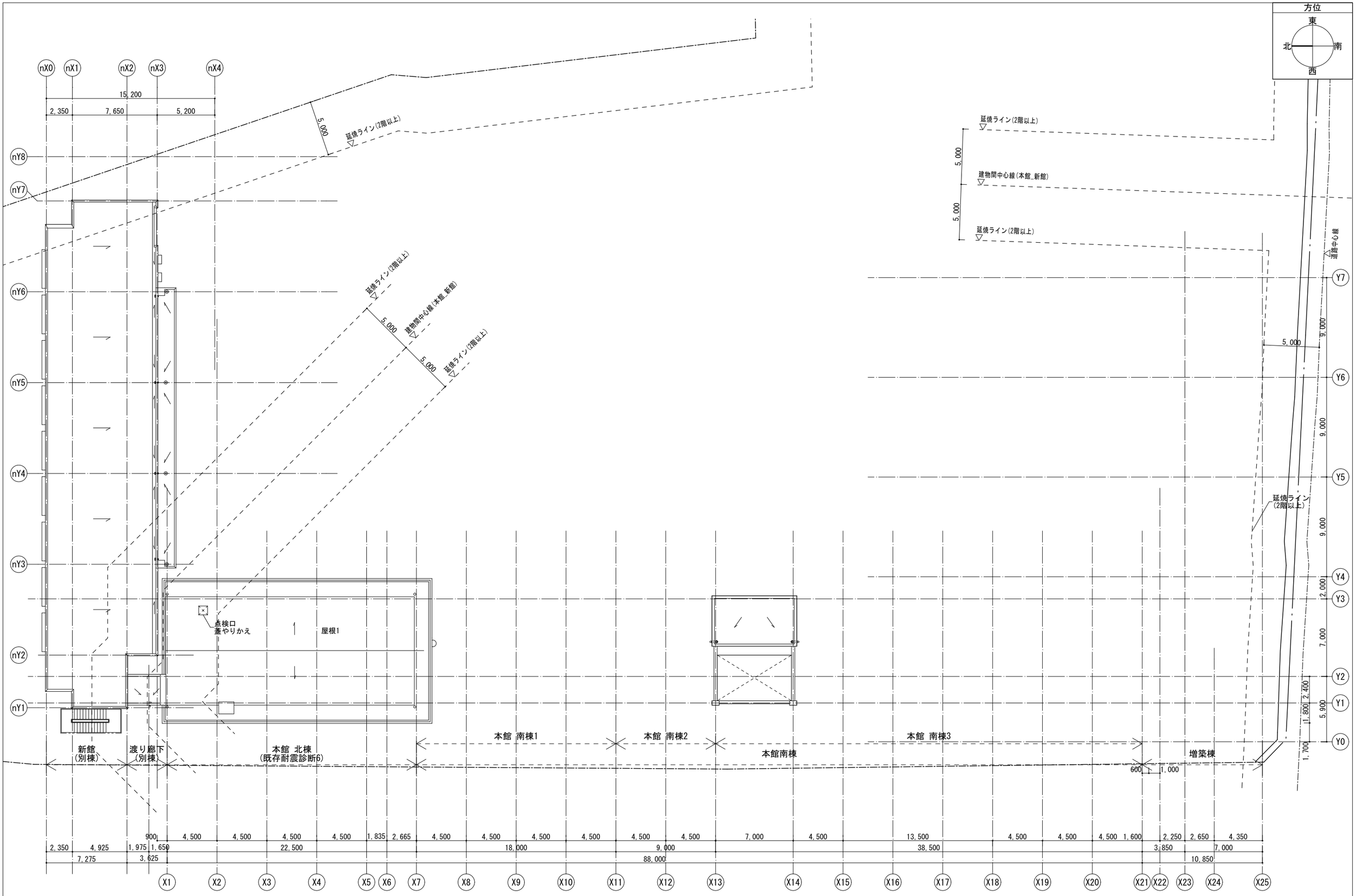
備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)
	月 日		月 日		1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	統括	佐藤 信	製図	伊藤 高基	図面名称	2階平面図
	月 日		月 日							図番	A-043
										縮尺	1/150(A1) 1/300(A3)



備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-044
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	伊藤　高基	図面名称	3階平面図	縮尺	1/150(A1) 1/300(A3)
	月 日		月 日										



備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事（建築工事）	図番	A-045
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	伊藤　高基	図面名称	4階平面図	縮尺	1/150(A1) 1/300(A3)
	月 日		月 日										



備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-046
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	伊藤　高基	図面名称	R階平面図	縮尺	1/150(A1) 1/300(A3)
	月 日		月 日										

凡例(建築工事)

※天井廻り縁設置(共通)：塩ビ製

記号	仕上げ	記号	仕上げ	記号	仕上げ	記号	仕上げ
①	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/化粧石膏ボードt=9.5（不燃）	④	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/化粧石膏ボード12.5+9.5(不燃)	⑦	既存RC/下地調整/EP-G塗装	⑪	C-60×30×20×2.3@455/耐水コンパネt=12/ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ940/カラーGL鋼板 t=0.4 平葺き
②	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/化粧吸音石膏ボードt=9.5（準不燃）	⑤	弾性複層塗料E	⑧	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/化粧石膏ボードt=9.5+12.5（不燃）/EP-G塗装	⑫	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/ケイカル板t=6/リシン吹付
③	軽天下地/下地合板t=9/羽目板t=12（不燃）	⑥	軽天下地25型（外部用）/ケイカル板t=6/リシン吹付	⑨	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/化粧吸音石膏ボードt=9.5（不燃）	☒	天井点検口目地タイプ　450×450

方位

東　北　南　西

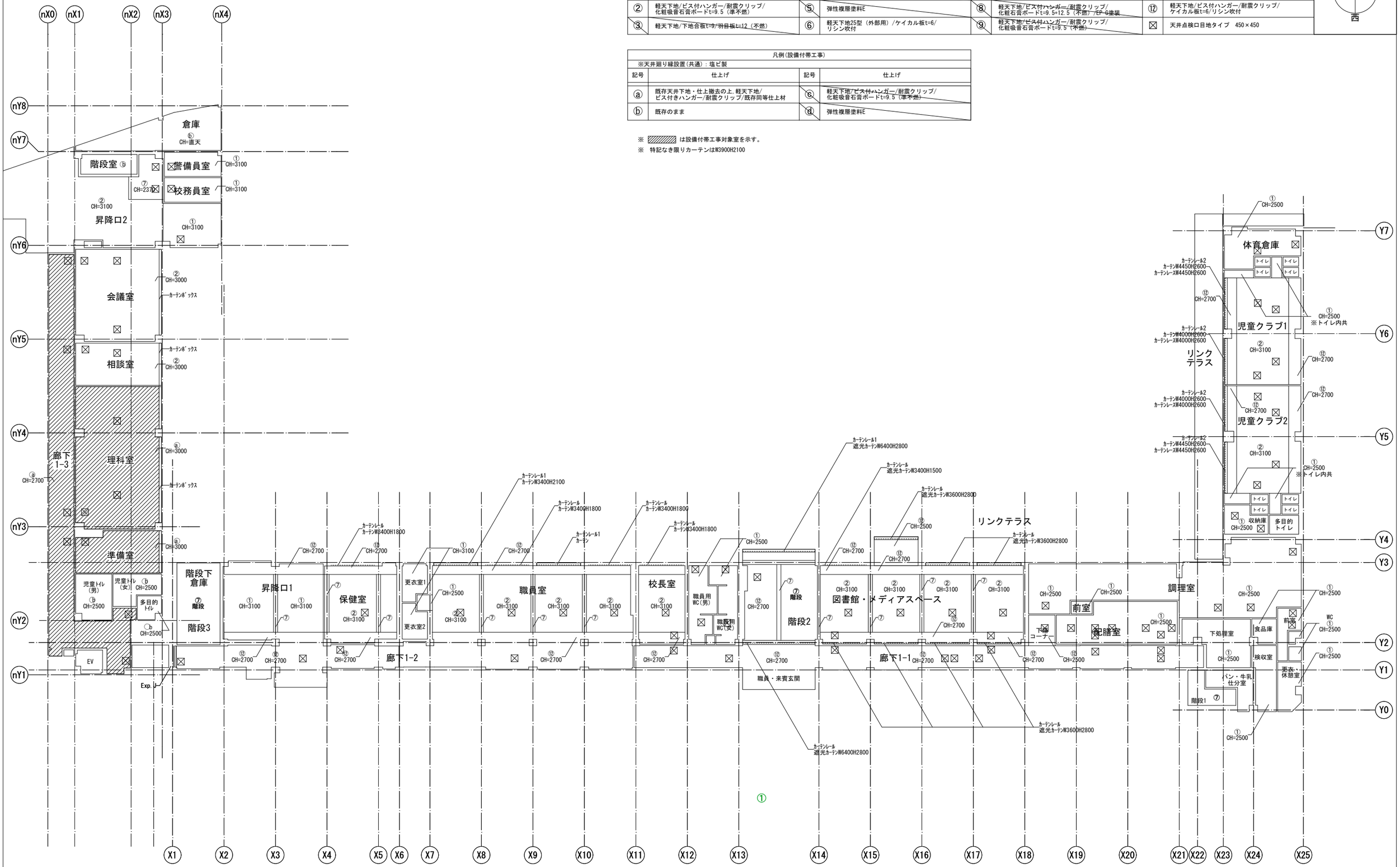
凡例(設備付帯工事)

※天井廻り縁設置(共通)：塩ビ製

記号	仕上げ	記号	仕上げ
ⓐ	既存天井下地・仕上撤去の上,軽天下地/ビス付きハンガー/耐震クリップ/既存同等仕上材	ⓒ	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/化粧吸音石膏ボードt=9.5（準不燃）
ⓑ	既存のまま	ⓓ	弾性複層塗料E

※ ▨ は設備付帯工事対象室を示す。

※　特記なき限りカーテンはW3900H2100



備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-047
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	天井伏図(1階)	縮尺	1/150(A1) 1/300(A3)
	月 日		月 日										

凡例(建築工事)

※天井廻り縁設置(共通)：塩ビ製

記号	仕上げ	記号	仕上げ	記号	仕上げ	記号	仕上げ
①	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/化粧石膏ボードt=9.5（不燃）	④	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/化粧石膏ボード12.5+9.5(不燃)	⑦	既存RC/下地調整/EP-G塗装	⑪	C-60×30×20×2.3@455/耐水コンパネt=12/ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ940/カラーGL鋼板 t=0.4 平葺き
②	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/化粧吸音石膏ボードt=9.5（準不燃）	⑤	弾性複層塗料E	⑧	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/化粧石膏ボードt=9.5+12.5（不燃）/EP-G塗装	⑫	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/ケイカル板t=6/リシン吹付
③	軽天下地/下地合板t=9/羽目板t=12（不燃）	⑥	軽天下地25型（外部用）/ケイカル板t=6/リシン吹付	⑨	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/化粧吸音石膏ボードt=9.5（不燃）	☒	天井点検口目地タイプ　450×450

方位

東　北　南　西

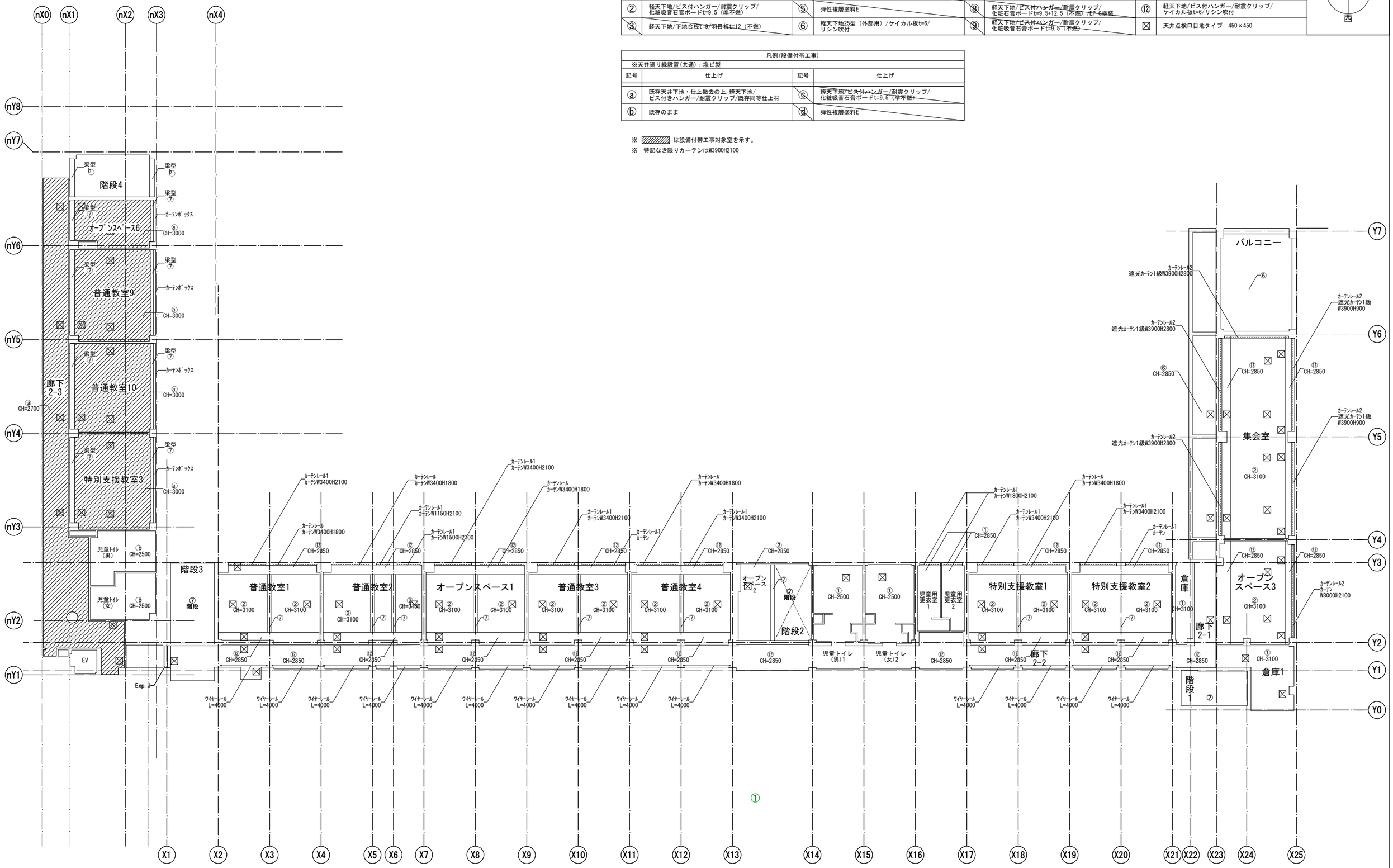
凡例(設備付帯工事)

※天井廻り縁設置(共通)：塩ビ製

記号	仕上げ	記号	仕上げ
ⓐ	既存天井下地・仕上撤去の上,軽天下地/ビス付きハンガー/耐震クリップ/既存同等仕上材	ⓒ	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/化粧吸音石膏ボードt=9.5（準不燃）
ⓑ	既存のまま	ⓓ	弾性複層塗料E

※ ▨ は設備付帯工事対象室を示す。

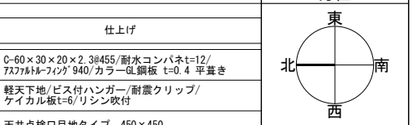
※　特記なき限りカーテンはW3900H2100



備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-048
	月 日		月 日										
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	天井伏図(2階)	縮尺	1/150(A1) 1/300(A3)

凡例(建築工事)							
※天井廻り縁設置(共通):塩ビ製							
記号	仕上げ	記号	仕上げ	記号	仕上げ	記号	仕上げ
①	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/化粧石膏ボードt=9.5（不燃）	④	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/化粧石膏ボード12.5+9.5(不燃)	⑦	既存RC/下地調整/EP-G塗装	⑪	C-60×30×20×2.3@455/耐水コンパネt=12/ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ940/カラーGL鋼板 t=0.4 平葺き
②	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/化粧吸音石膏ボードt=9.5（準不燃）	⑤	弾性複層塗料E	⑧	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/化粧石膏ボードt=9.5+12.5（不燃）/EP-G塗装	⑫	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/ケイカル板t=6/リシン吹付
③	軽天下地/下地合板t=9/羽目板t=12（不燃）	⑥	軽天下地25型（外部用）/ケイカル板t=6/リシン吹付	⑨	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/化粧吸音石膏ボードt=9.5（不燃）	☒	天井点検口目地タイプ　450×450

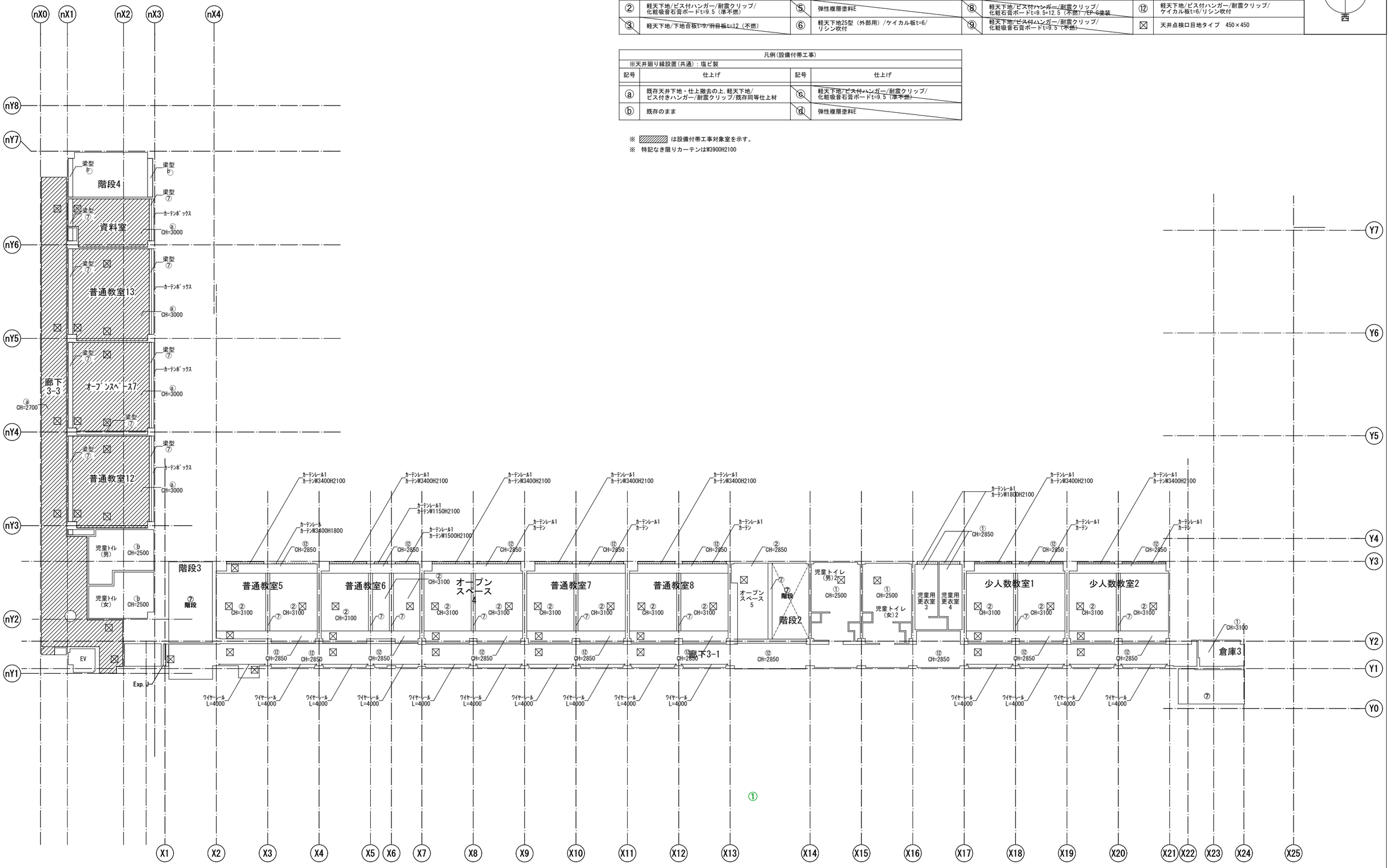
方位



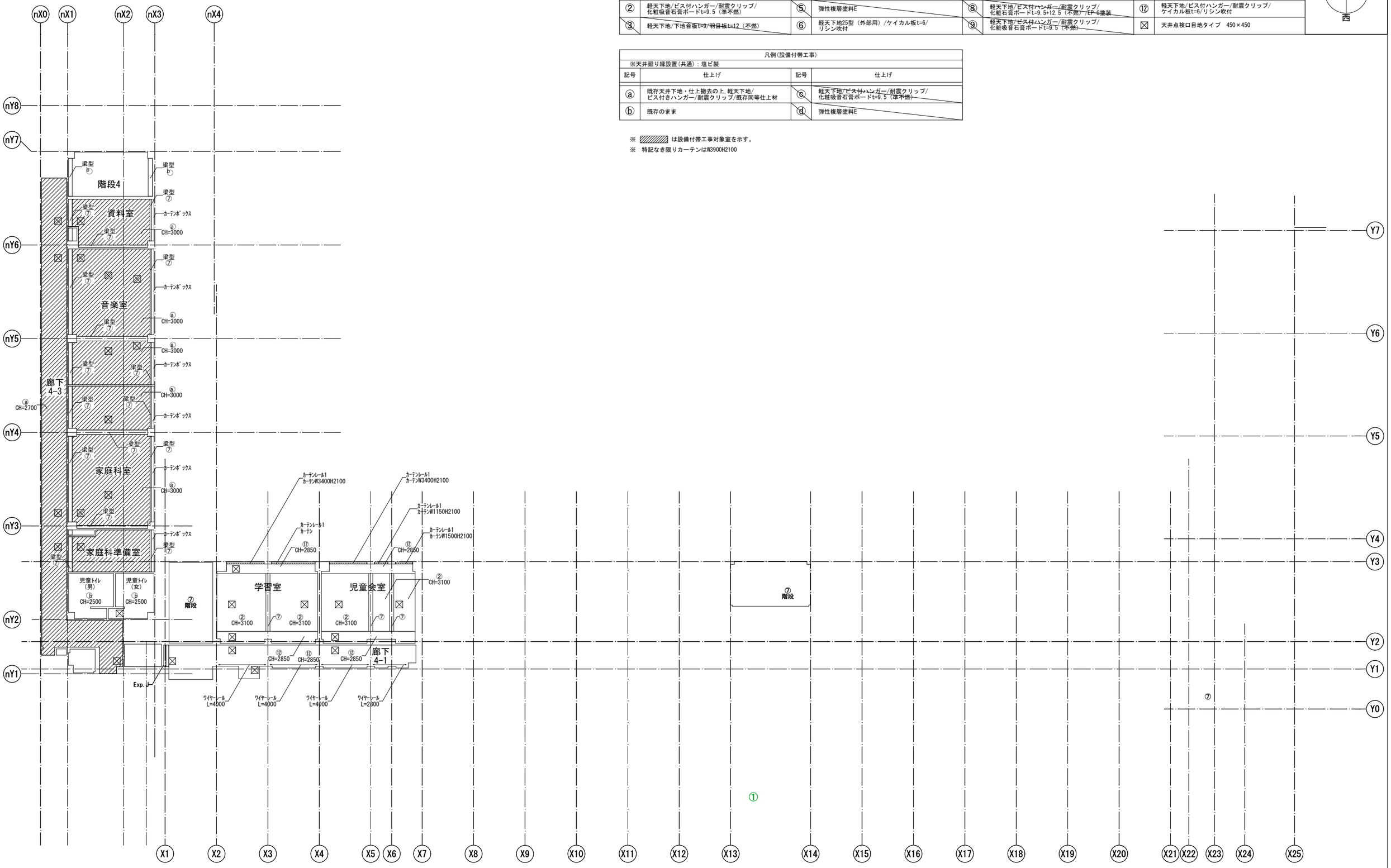
凡例(設備付帯工事)			
※天井廻り縁設置(共通):塩ビ製			
記号	仕上げ	記号	仕上げ
ⓐ	既存天井下地・仕上撤去の上,軽天下地/ビス付きハンガー/耐震クリップ/既存同等仕上材	ⓒ	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/化粧吸音石膏ボードt=9.5（準不燃）
ⓑ	既存のまま	ⓓ	弾性複層塗料E

※ ▨ は設備付帯工事対象室を示す。

※　特記なき限りカーテンはW3900H2100



備考													
月日		月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-049
月日		月日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	天井伏図(3階)	縮尺	1/150(A1) 1/300(A3)
月日		月日										



凡例(建築工事)

※天井廻り縁設置(共通)：塩ビ製

記号	仕上げ	記号	仕上げ	記号	仕上げ	記号	仕上げ
①	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/ 化粧石膏ボードt=9.5（不燃）	④	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/ 化粧石膏ボード12.5+9.5(不燃)	⑦	既存RC/下地調整/EP-G塗装	⑪	C-60×30×20×2.3@455/耐水コンパネt=12/ ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ940/カラーGL鋼板 t=0.4 平葺き
②	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/ 化粧吸音石膏ボードt=9.5（準不燃）	⑤	弾性複層塗料E	⑧	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/ 化粧石膏ボードt=9.5+12.5（不燃）/EP-G塗装	⑫	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/ ケイカル板t=6/リシン吹付
③	軽天下地/下地合板t=9/羽目板t=12（不燃）	⑥	軽天下地25型（外部用）/ケイカル板t=6/ リシン吹付	⑨	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/ 化粧吸音石膏ボードt=9.5（不燃）	☒	天井点検口目地タイプ　450×450

凡例(設備付帯工事)

※天井廻り縁設置(共通)：塩ビ製

記号	仕上げ	記号	仕上げ
ⓐ	既存天井下地・仕上撤去の上,軽天下地/ ビス付きハンガー/耐震クリップ/既存同等仕上材	ⓒ	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/ 化粧吸音石膏ボードt=9.5（準不燃）
ⓑ	既存のまま	ⓓ	弾性複層塗料E

※ ▨ は設備付帯工事対象室を示す。

※　特記なき限りカーテンはW3900H2100

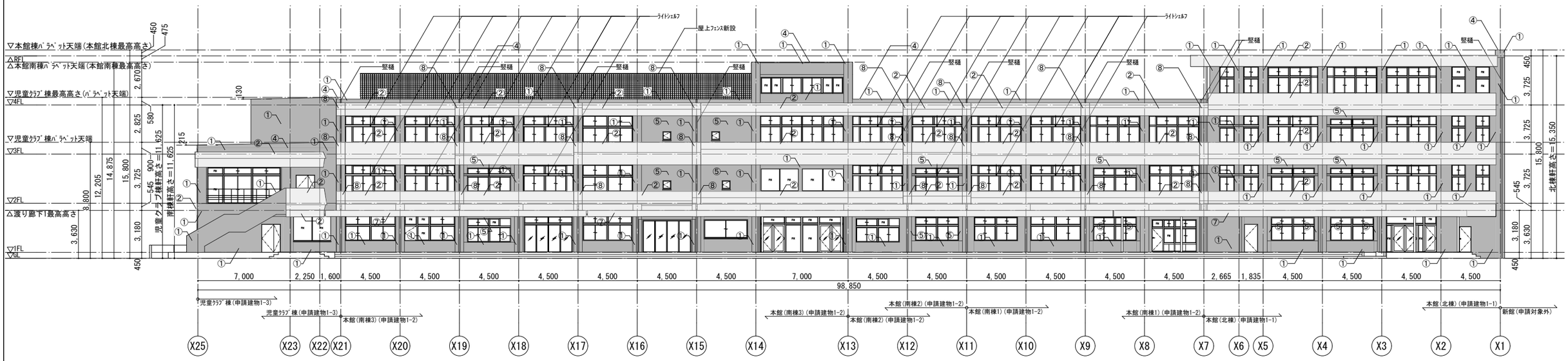
方位

東 北 南 西

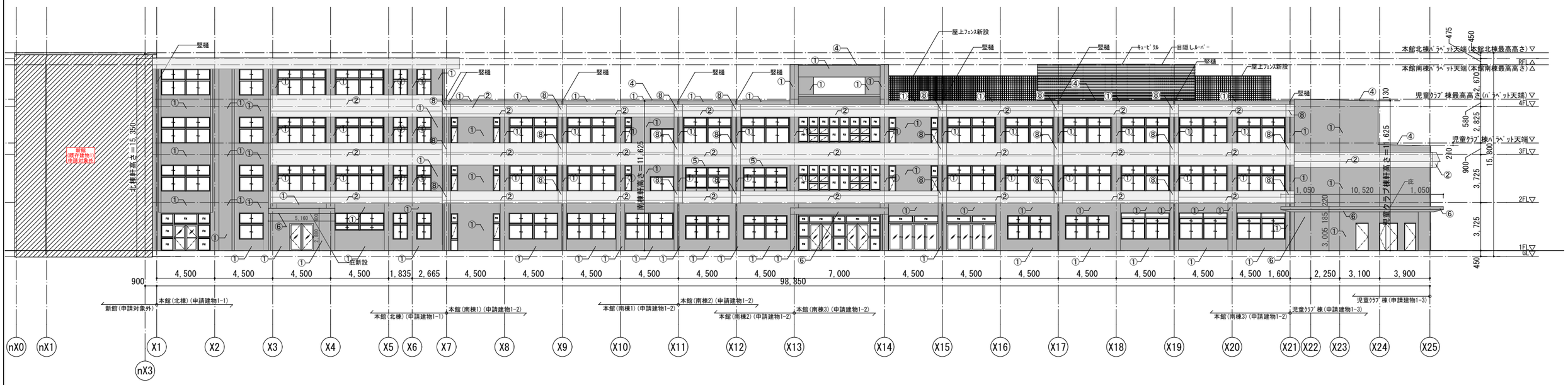
備考															
	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-050
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	天井伏図(4・R階)	縮尺	1/150(A1) 1/300(A3)
	月 日		月 日										

外部仕上表

①	外壁1：既存外壁高圧洗浄/下地調整/弾性複層塗材E吹付	⑤	外壁3：鉄骨下地/押出成形セメント板t=50(アスロックNeo・カラーフロン同等品)
②	外装1：L-40×40×3@455/耐水コンパネt=12/アスファルトルーフィング940/カラーGL鋼板 t=0.4 横平葺き	⑥	庇　：弾性複層塗材E吹付
③	外壁2：鉄骨下地/ALC板t=100/下地調整/弾性複層E吹付　※ALC板：耐火認定番号 平成12年建設省告示第1399号	⑦	屋根3：C-100×60×20×2.3@455/耐火野地板t=18(30分耐火)/アスファルトルーフィング940/カラーGL鋼板 t=0.4 縦ハゼ葺き
④	笠木1：既存防水モルタル補修/ウレタン塗膜防水(X-2)	⑧	竪樋隠し：鉄骨下地/アルミパネルt=2.0



東側立面図

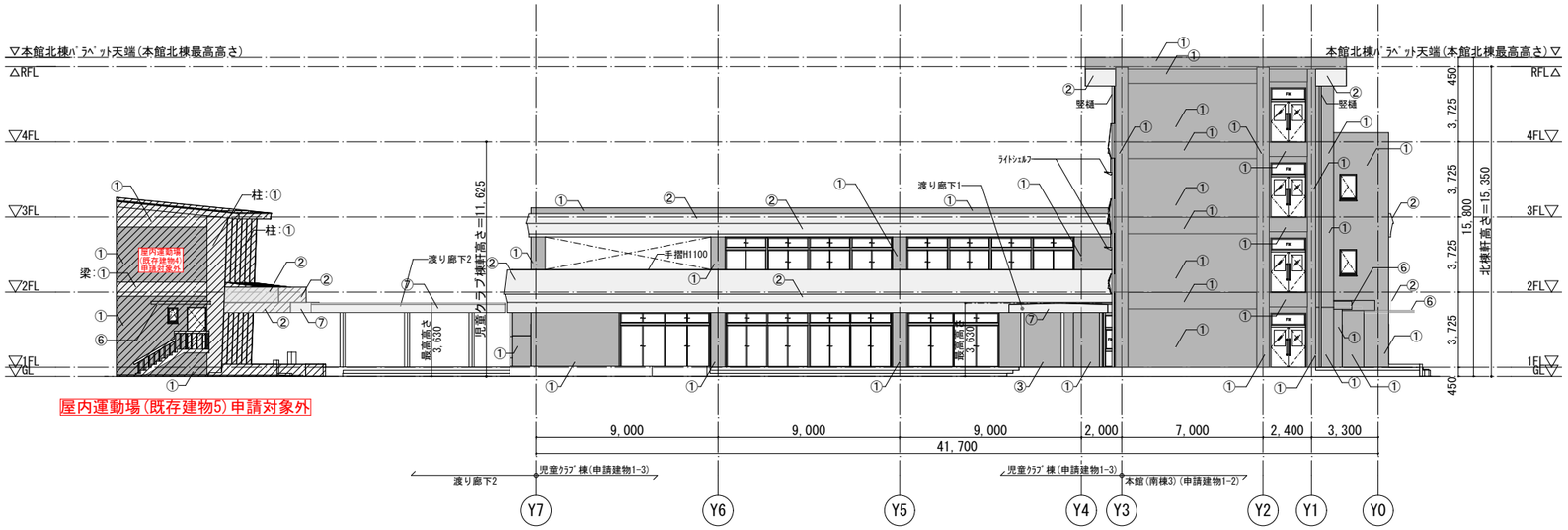


西側立面図

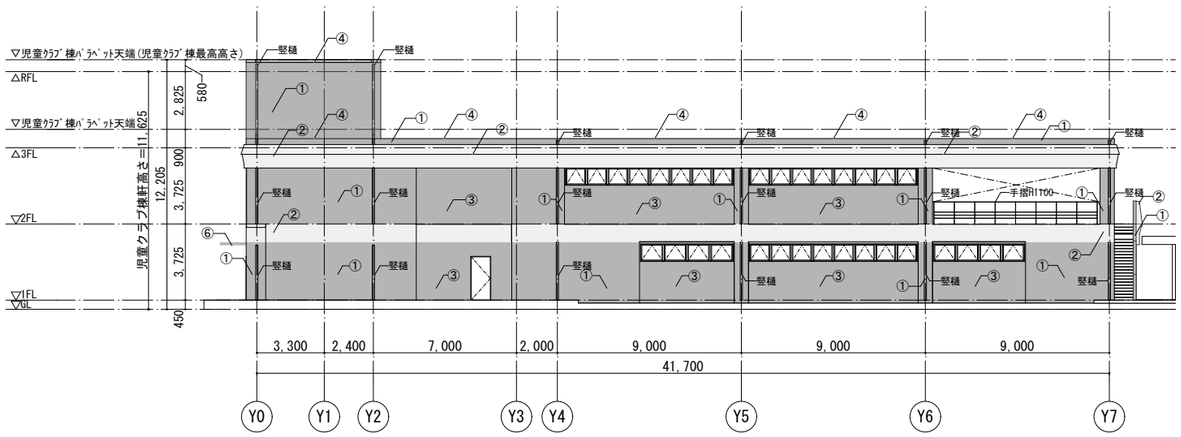
備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-051
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	立面図-1	縮尺	1/150(A1) 1/300(A3)
	月 日		月 日										

外部仕上表

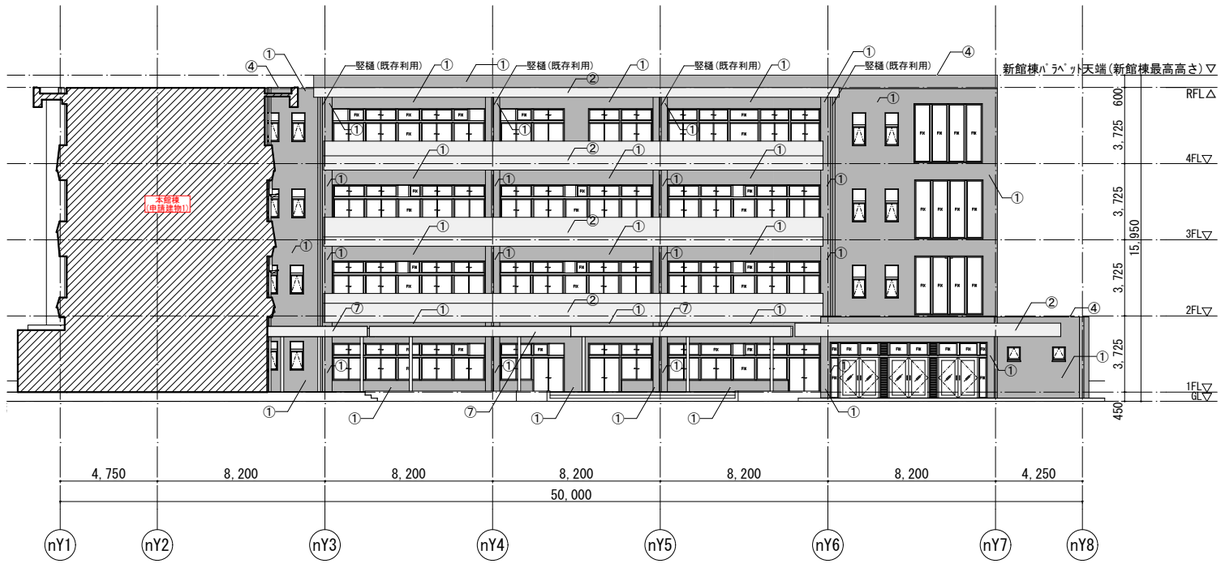
①	外壁1：既存外壁高圧洗浄/下地調整/弾性複層塗材E吹付	⑤	外壁3：鉄骨下地/押出成形セメント板t=50(アスロックNeo・カラーフロン同等品)
②	外装1：L-40×40×3@455/耐水コンパネt=12/アスファルトルーフィング940/カラーGL鋼板 t=0.4 横平葺き	⑥	庇　：弾性複層塗材E吹付
③	外壁2：鉄骨下地/ALC板t=100/下地調整/弾性複層E吹付　※ALC板：耐火認定番号 平成12年建設省告示第1399号	⑦	屋根3：C-100×60×20×2.3@455/耐火野地板t=18(30分耐火)/アスファルトルーフィング940/カラーGL鋼板 t=0.4 縦ハゼ葺き
④	笠木1：既存防水モルタル補修/ウレタン塗膜防水(X-2)	⑧	竪樋隠し：鉄骨下地/アルミパネルt=2.0



本館棟(申請建物1)・児童ｸﾗﾌﾞ棟(申請建物1-3)・屋内運動場(既存建物5)北側立面図



児童ｸﾗﾌﾞ棟(申請建物1-3)南側立面図

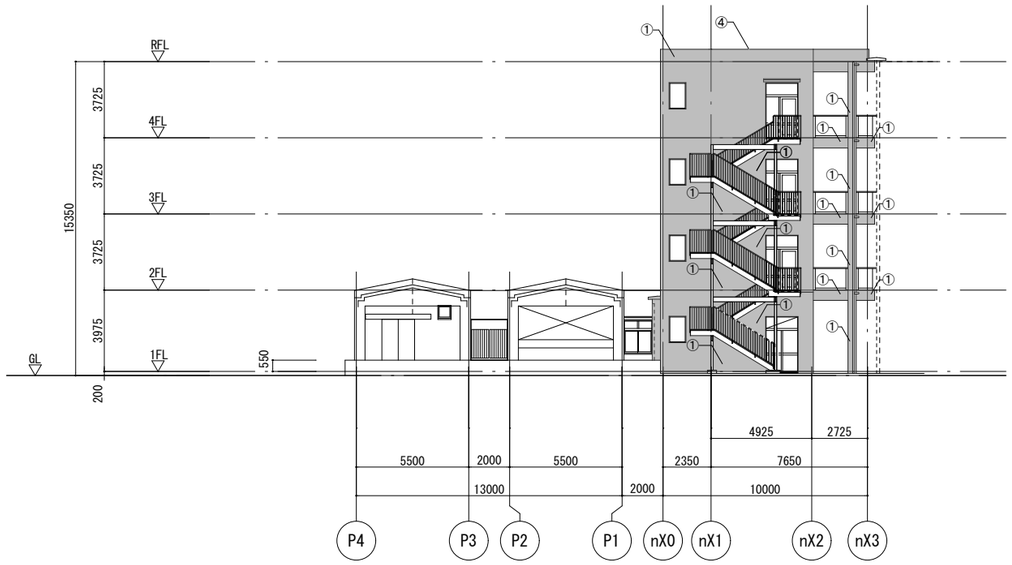


新館(既存建物1)南側立面図

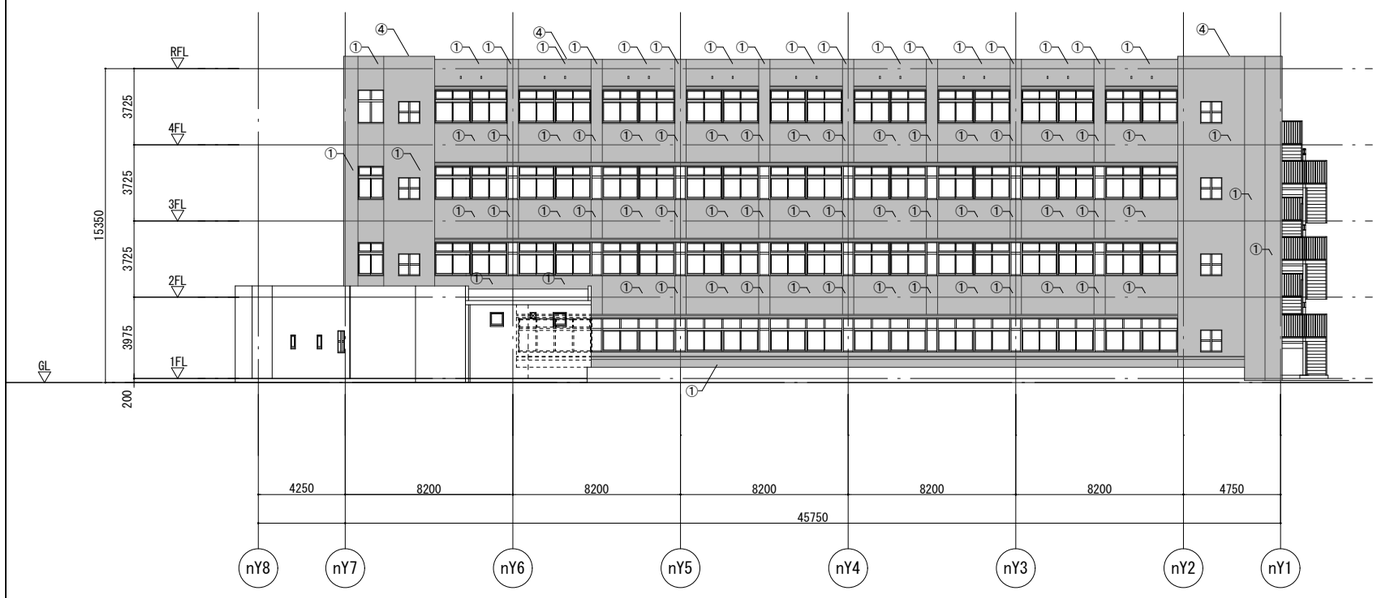
新館(既存建物1)申請対象外

備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-052
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	立面図-2	縮尺	1/150(A1) 1/300(A3)
	月 日		月 日										

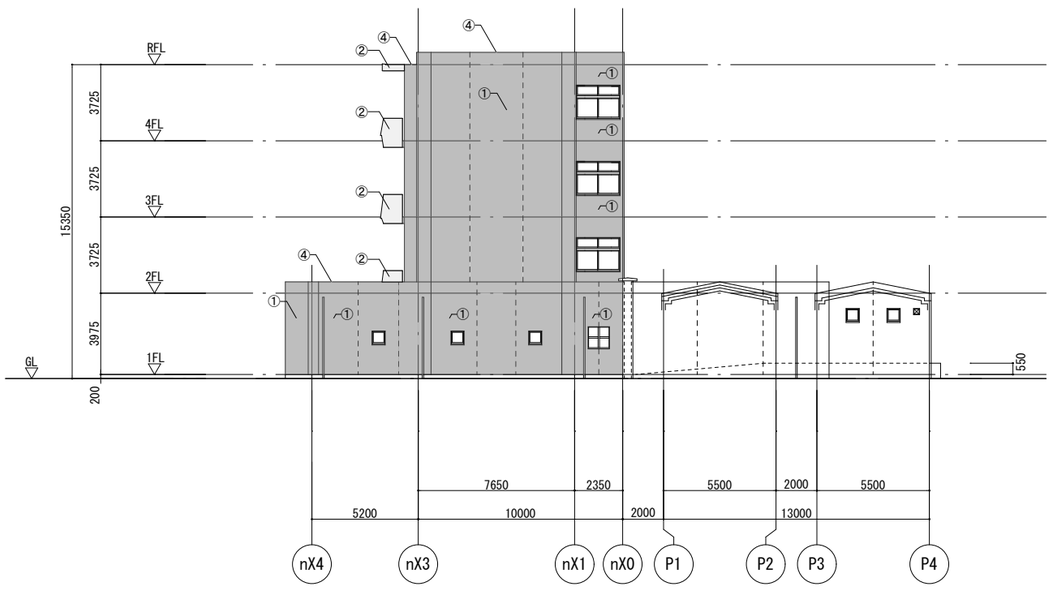
外部仕上表			
①	外壁1：既存外壁高圧洗浄/下地調整/弾性複層塗材E吹付	⑤	外壁3：鉄骨下地/押出成形セメント板t=50(アスロックNeo・カラーフロン同等品)
②	外装1：L-40×40×3@455/耐水コンパネt=12/アスファルトルーフィング940/カラーGL鋼板 t=0.4 横平葺き	⑥	庇　：弾性複層塗材E吹付
③	外壁2：鉄骨下地/ALC板t=100/下地調整/弾性複層E吹付　※ALC板：耐火認定番号 平成12年建設省告示第1399号	⑦	屋根3：C-100×60×20×2.3@455/耐火野地板t=18(30分耐火)/アスファルトルーフィング940/カラーGL鋼板 t=0.4 縦ハゼ葺き
④	笠木1：既存防水モルタル補修/ウレタン塗膜防水(X-2)	⑧	竪樋隠し：鉄骨下地/アルミパネルt=2.0
記号なし	着色部分以外外壁：既存のまま		



新館(既存建物1)西側立面図



新館(既存建物1)北側立面図

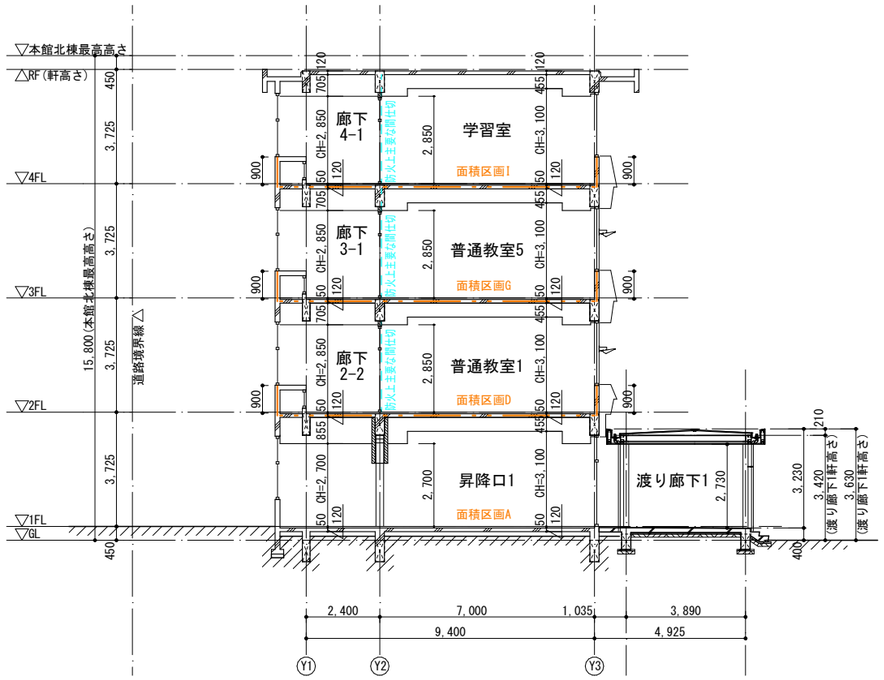


新館(既存建物1)東側立面図

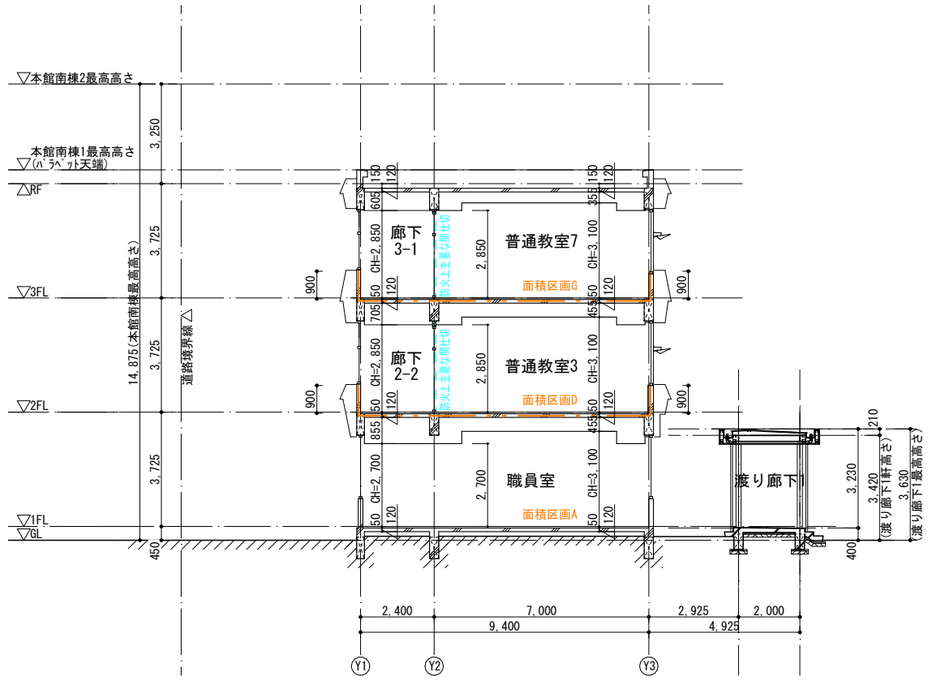
備考													
月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-053
月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	立面図-3	縮尺	1/150(A1) 1/300(A3)
月 日		月 日										

凡例

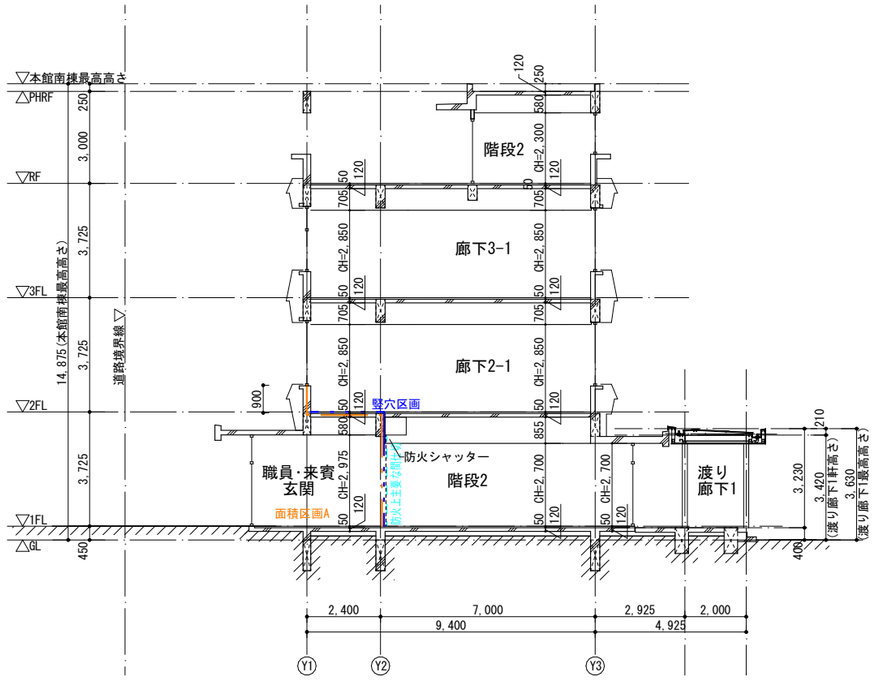
- 面積区画
- 竪穴区画
- 防火上主要な間仕切り



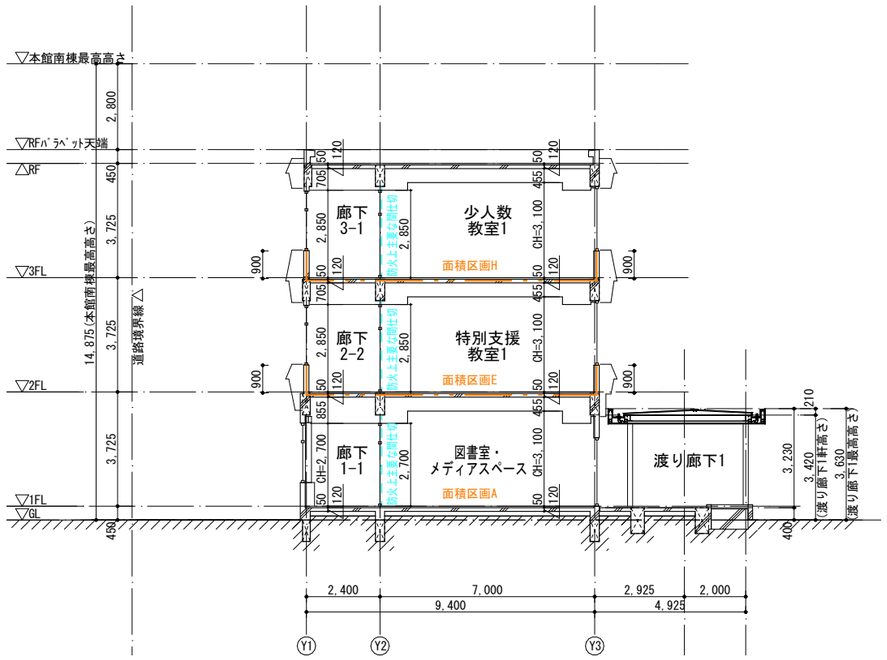
A 断面図　S=1:200



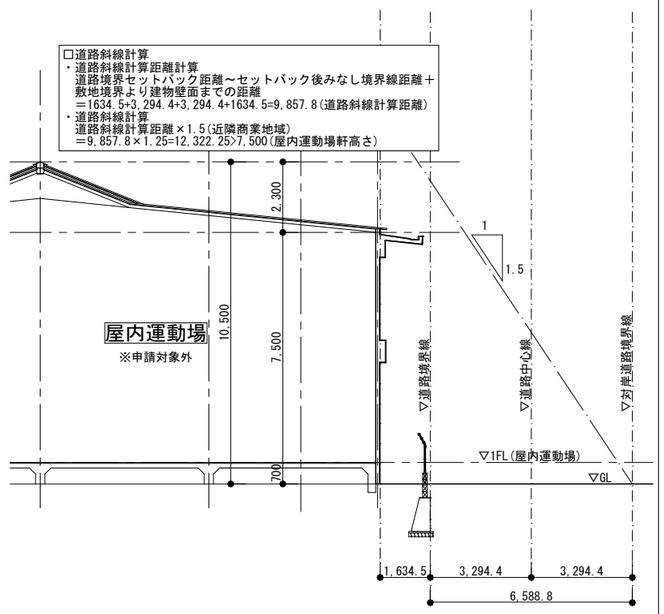
B 断面図　S=1:200



C 断面図　S=1:200



D 断面図　S=1:200

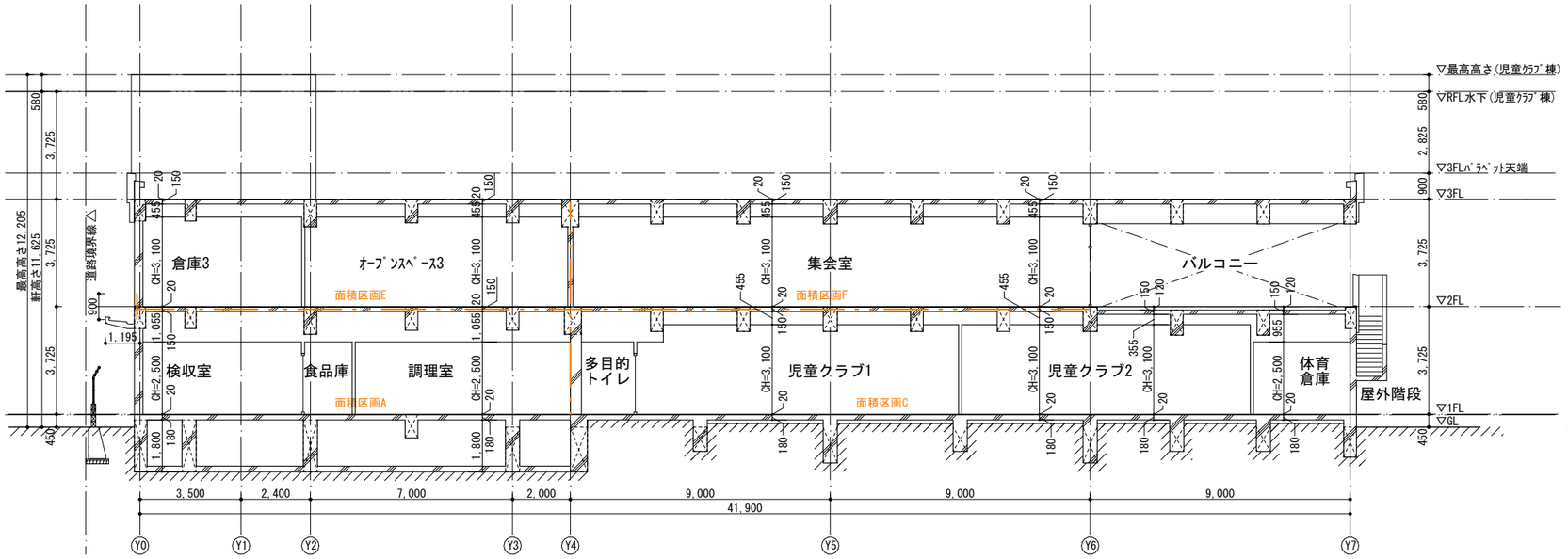


屋内運動場斜線検証断面図　S=1:200

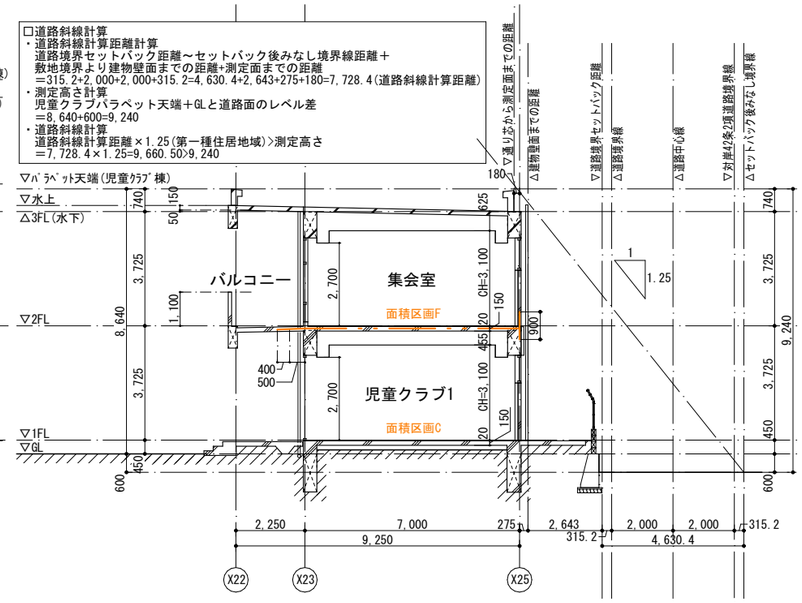
備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-054
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	伊藤　高基	図面名称	断面図-1	縮尺	1/100(A1) 1/200(A3)
	月 日		月 日										

凡例

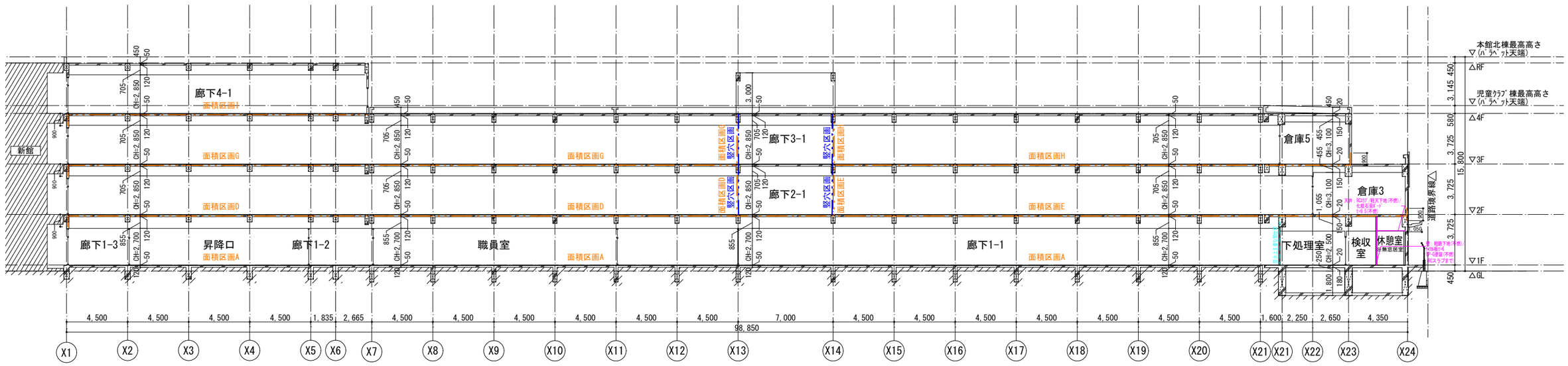
- 面積区画
- 竪穴区画
- 防火上主要な間仕切り



E 断面図　S=1:200



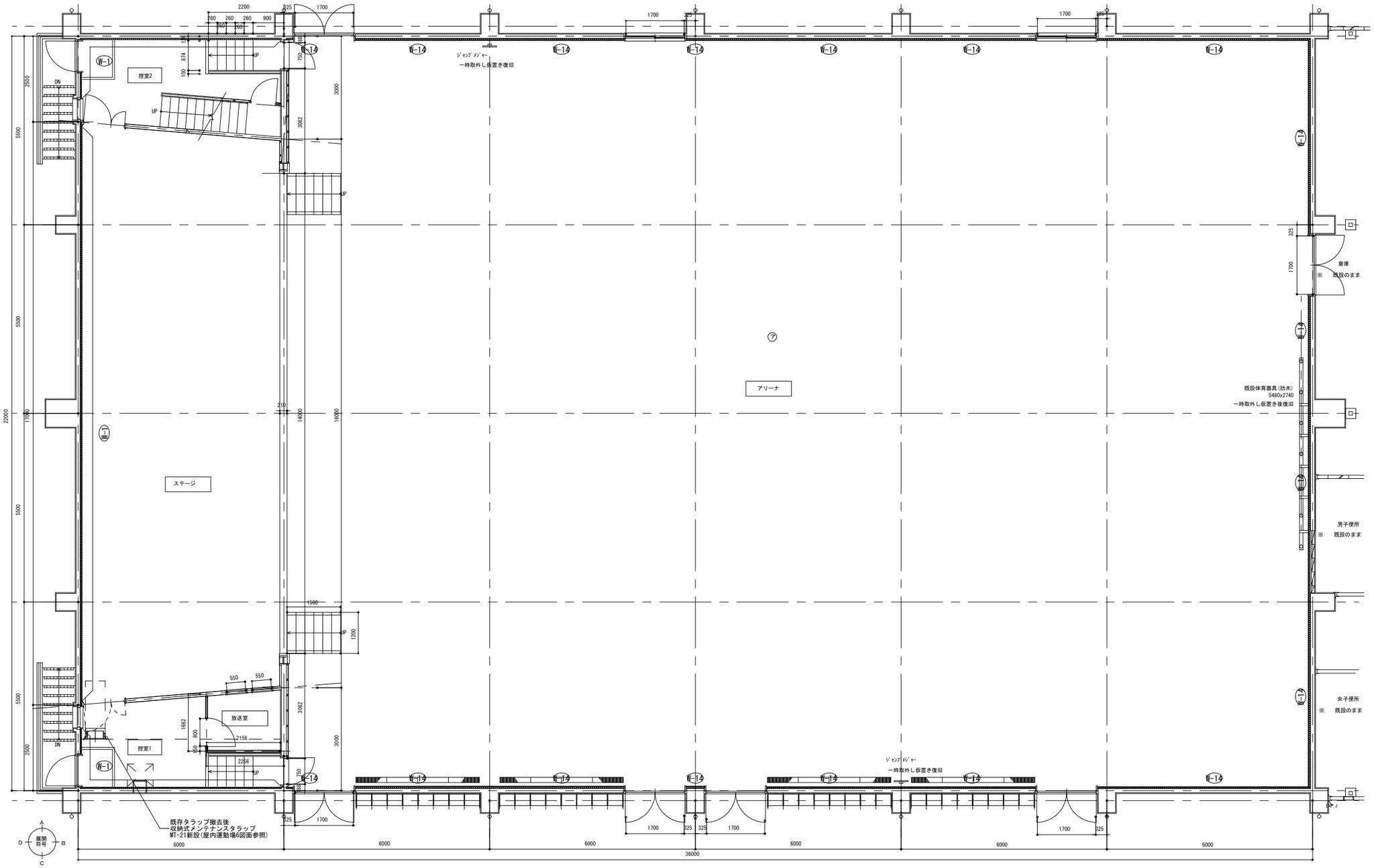
F 断面図　S=1:200



G 断面図　S =1:300

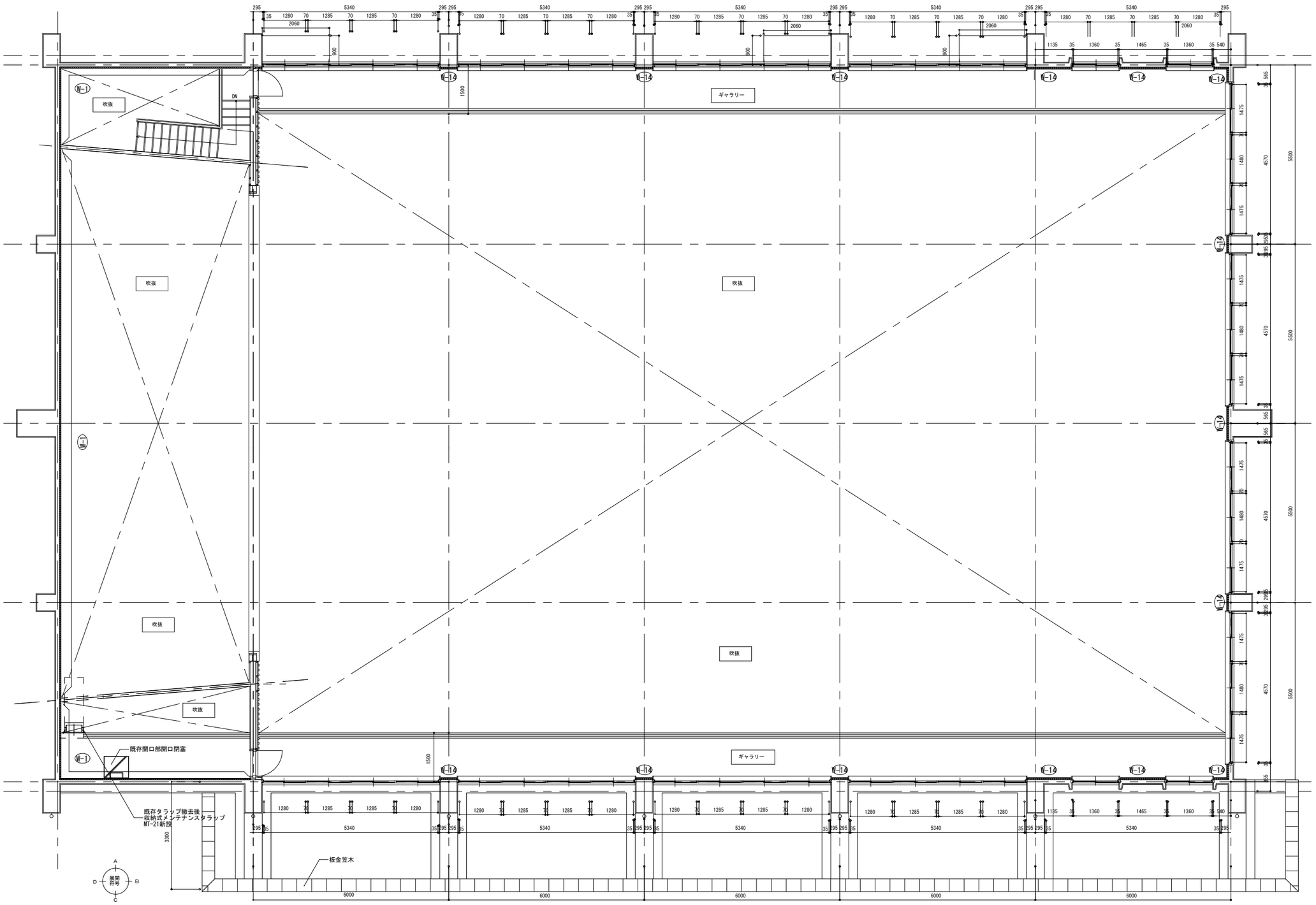
備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-055
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	伊藤　高基	図面名称	断面図-2	縮尺	1/150(A1) 1/300(A3)
	月 日		月 日										

凡例																							
壁(W-1)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-10)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-16)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	方位
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/		下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0/		下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整		下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/ﾗｳﾝ合板t=9.0/	東 北 南 西
壁(W-2)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-14)	仕上げ	化粧有効合板t=9(ｼﾅ合板)目透かし張り(ｼﾅﾃｰﾌﾟ)				
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗パテしごき		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0/		下地	軽鉄下地/ﾗｳﾝ合板t=9.0/		下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0		下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/炭酸ｶﾙｼｳﾑ板t=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/				
壁(W-3)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-6)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-9)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	壁(W-12)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-15)	仕上げ	既存のまま				
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき/		下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整		下地	GL工法/ﾗｳﾝ合板t=9.0/		下地	軽鉄下地/耐火PBt=21+21/寒冷紗パテしごき		下地	既存のまま				



備考													
	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-056
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	屋内運動場1	縮尺	1/ 60(A1) 1/120(A3)
	月 日		月 日										

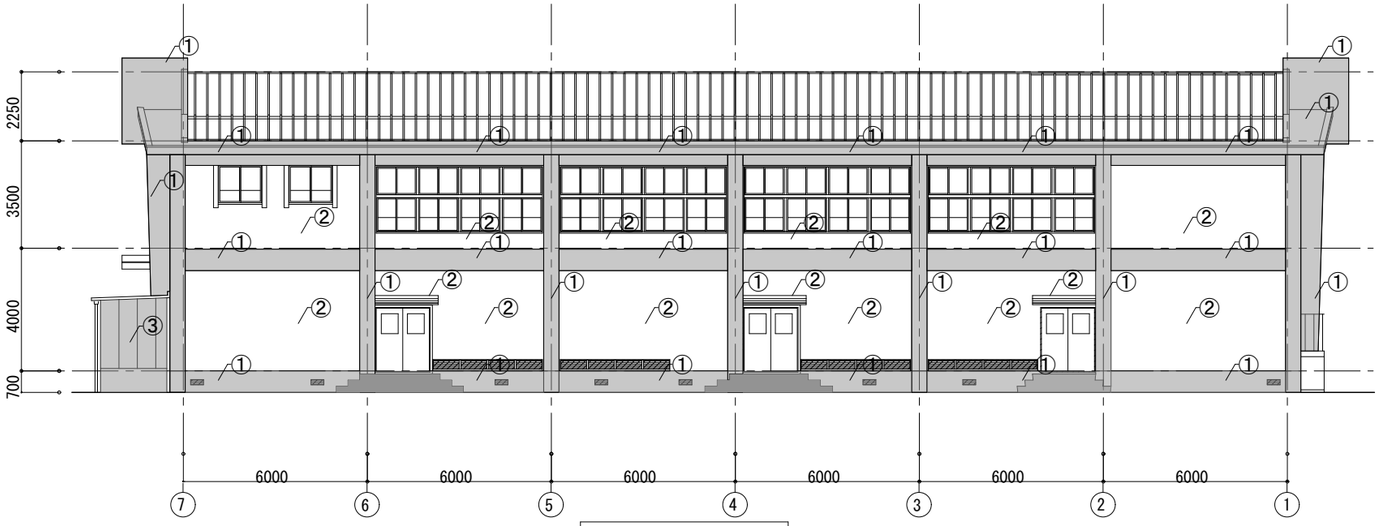
凡例																							
壁(W-1)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-10)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-16)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	方位
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/		下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0/		下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整		下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/ﾗﾜﾝ合板t=9.0/	東 北 南 西
壁(W-2)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-14)	仕上げ	化粧有効合板t=9(ｼﾅ合板)目透かし張り(ｼﾅﾃｰﾌﾟ)				
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0/		下地	軽鉄下地/ﾗﾜﾝ合板t=9.0/		下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0		下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/炭酸ｶﾙｼｳﾑ板t=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/				
壁(W-3)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-6)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-9)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	壁(W-12)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-15)	仕上げ	既存のまま				
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/		下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整		下地	GL工法/ﾗﾜﾝ合板t=9.0/		下地	軽鉄下地/耐火PBt=21+21/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき		下地	既存のまま				



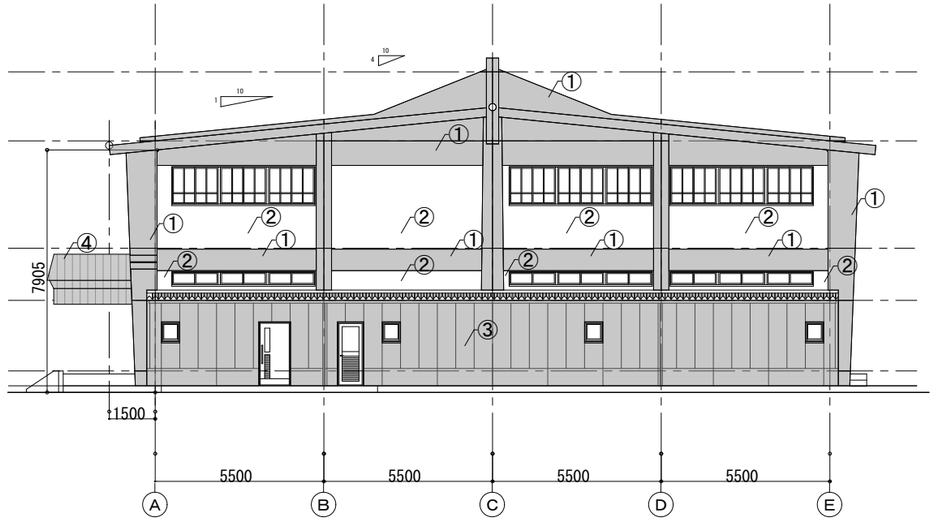
備考	月 日		月 日			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-056-2
	月 日		月 日			1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	屋内運動場2	縮尺	1/60(A1) 1/120(A3)
	月 日		月 日											

凡例

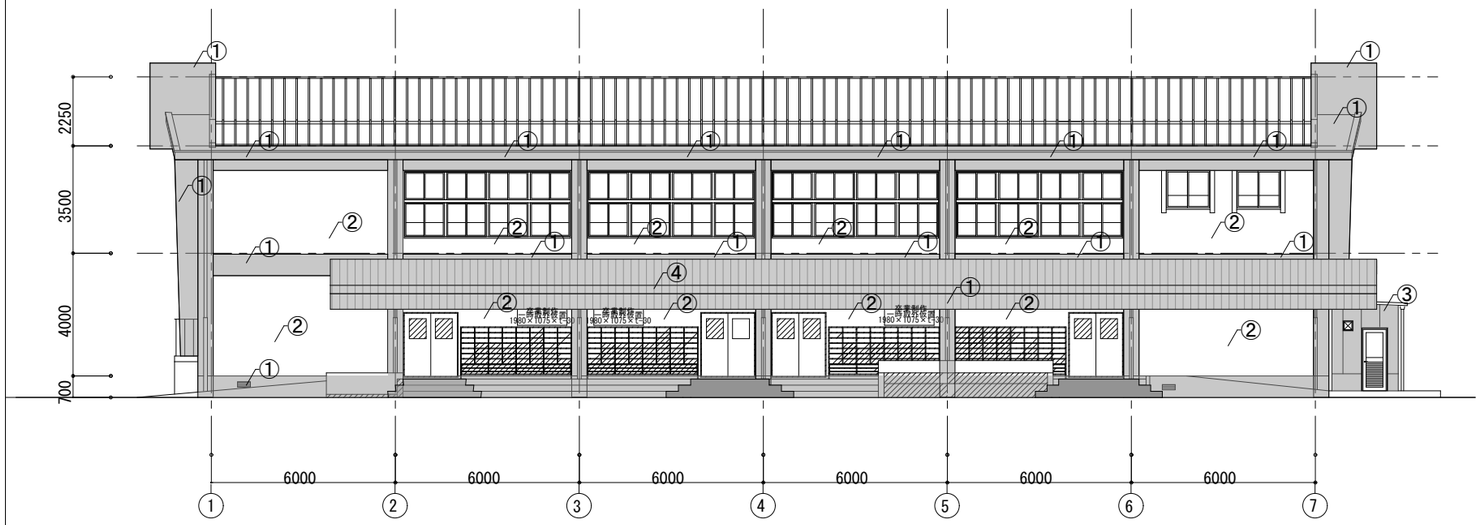
① 外壁:既存外壁高圧洗浄/下地調整/弾性複層塗材E吹付(※マンセル値：N4前後)
② 外壁:既存外壁高圧洗浄/下地調整/弾性複層塗材E吹付(※マンセル値：N9前後)
③ 外壁:既存ALC高圧洗浄/下地調整/弾性複層塗材E吹付(※マンセル値：N4前後)
④ 外壁:L-40×40×3@455/耐水コンパネt=12/アスファルトルーフィング940/カラーGL鋼板t=0.4平葺き(※マンセル値:5Y7/1前後)



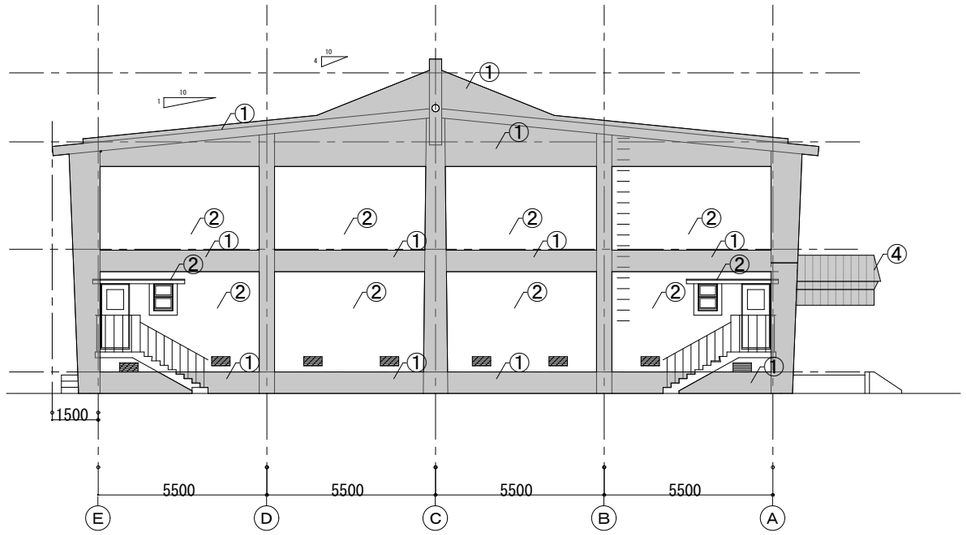
東立面図　1:200



南立面図　1:200

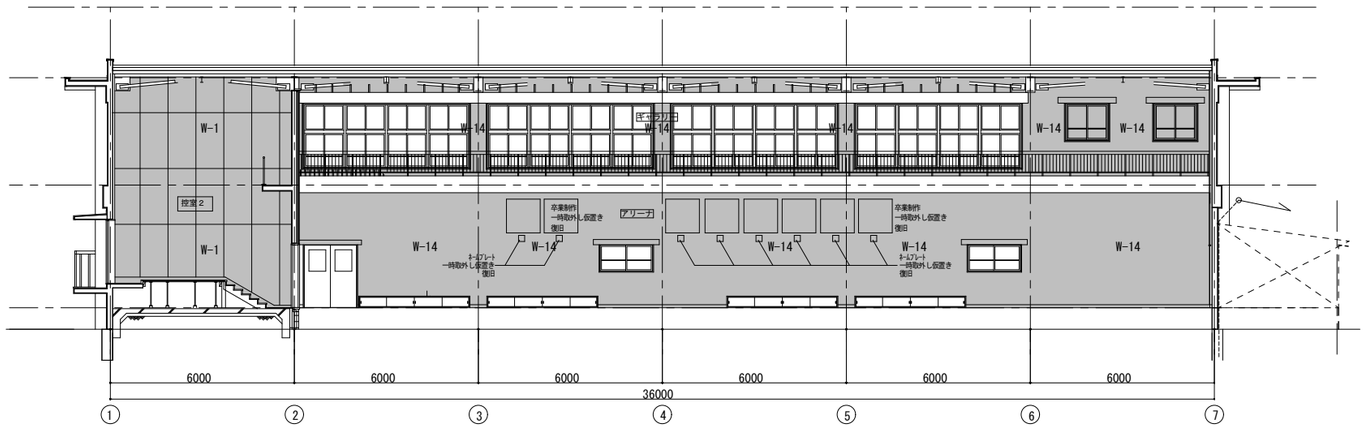


西立面図　1:200

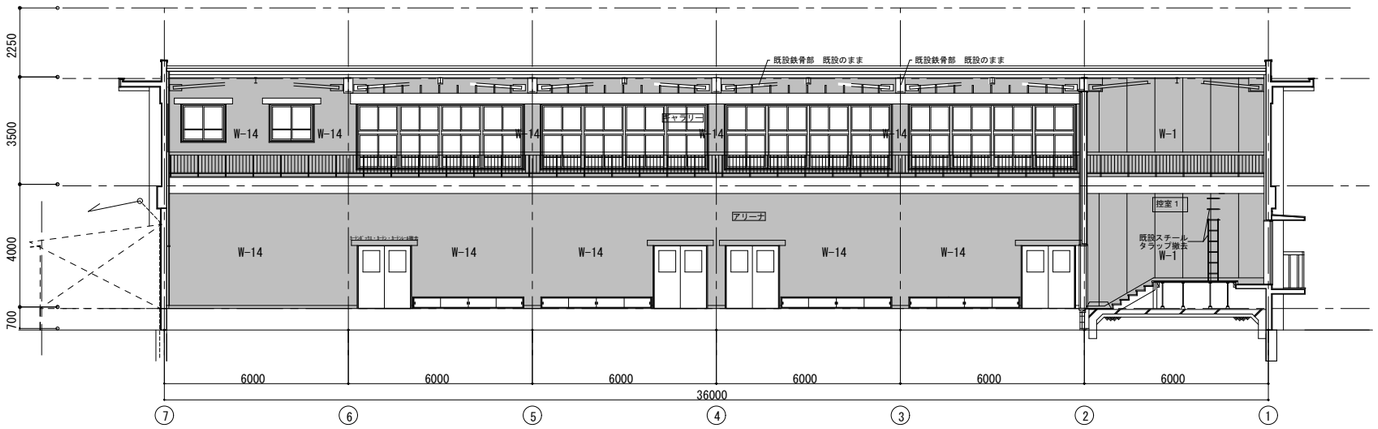


北立面図　1:200

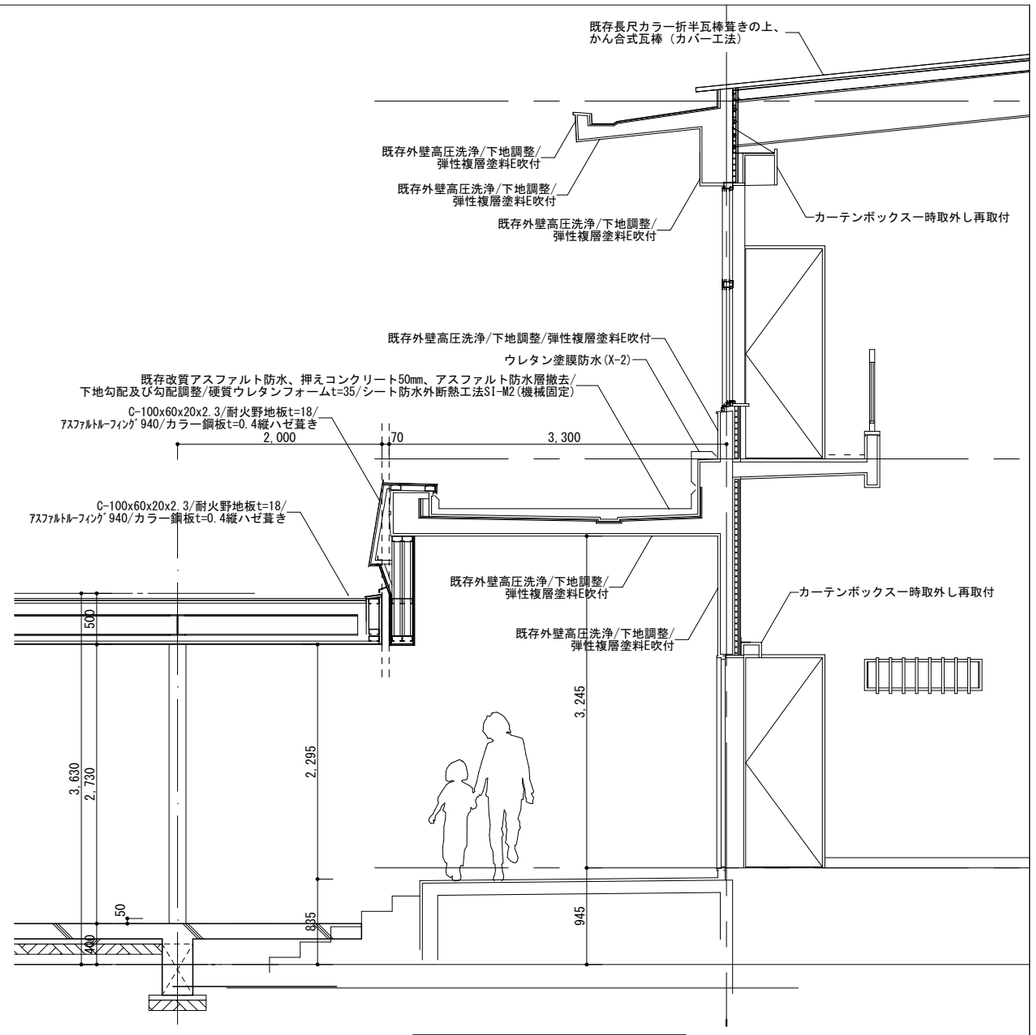
備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-056-3
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	屋内運動場3	縮尺	-
	月 日		月 日										



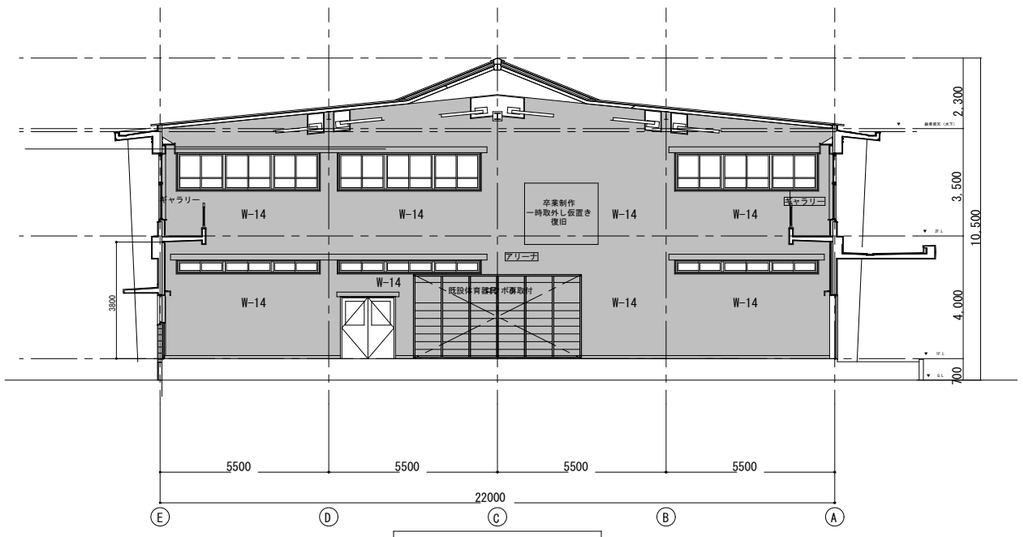
A面　1:200



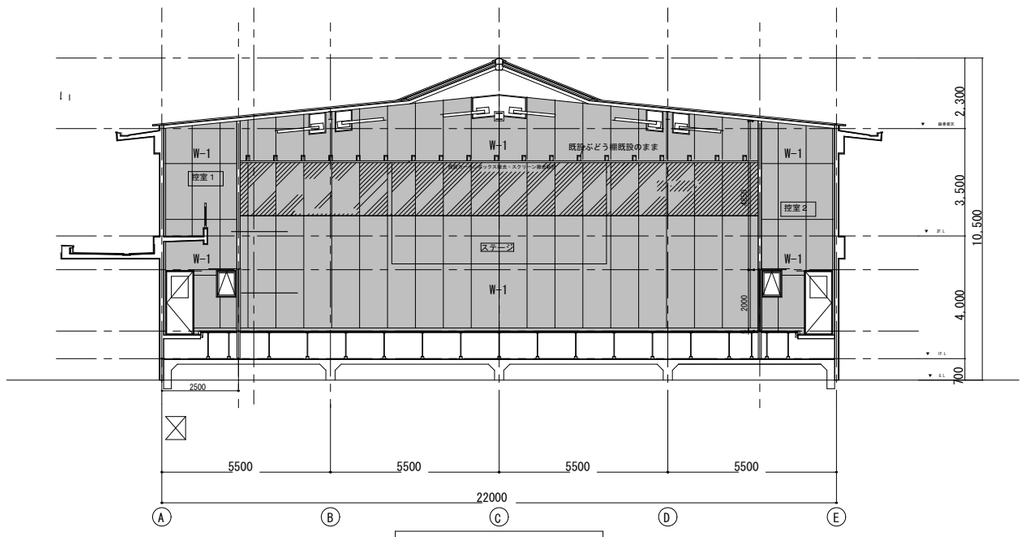
C面　1:200



屋内運動場断面詳細図　1:60(A3)



B面　1:200

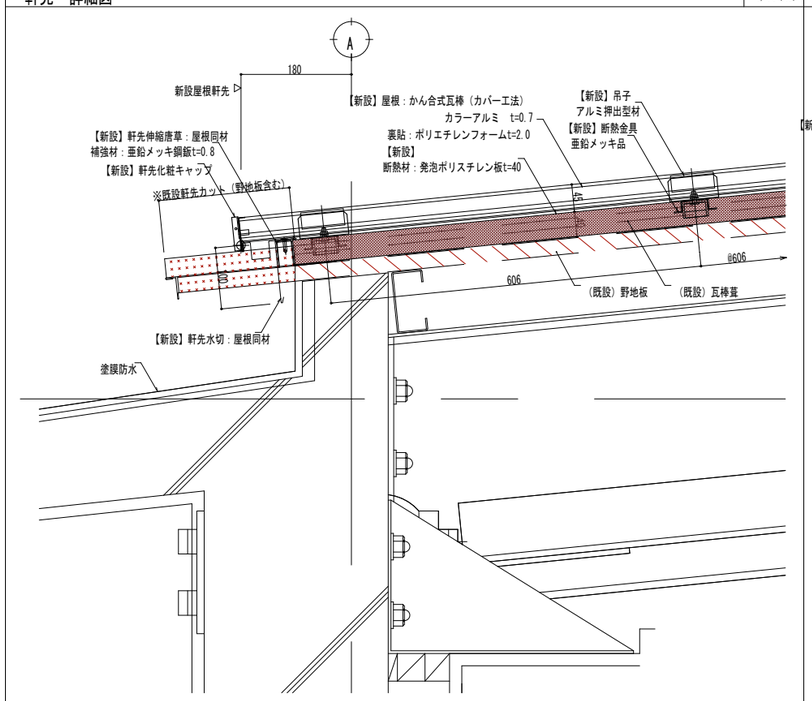


D面　1:200

備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-056-4
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	屋内運動場4	縮尺	-
	月 日		月 日										

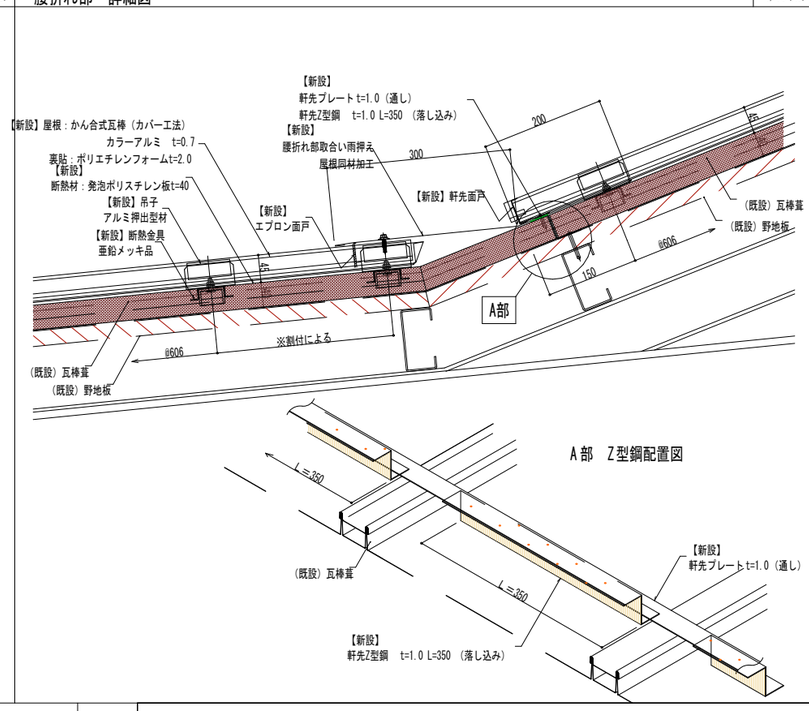
軒先　詳細図

1/10(A3)



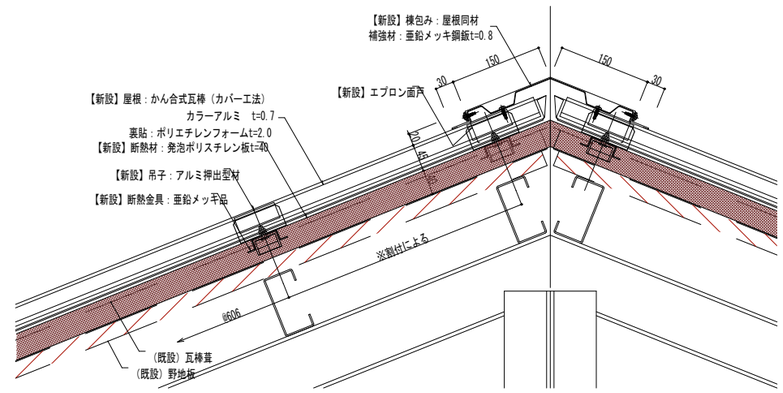
腰折れ部　詳細図

1/10(A3)

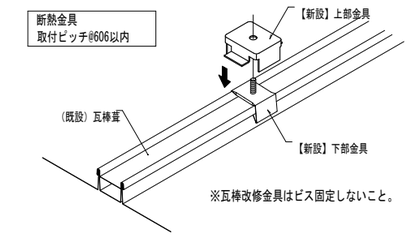


棟　詳細図

1/10(A3)

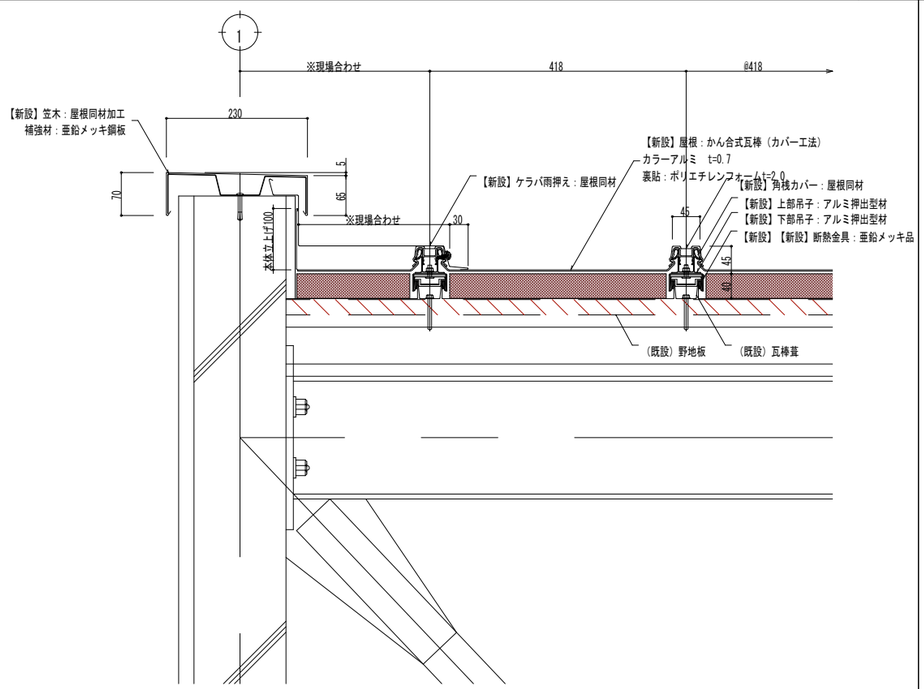


断熱金具　組立図



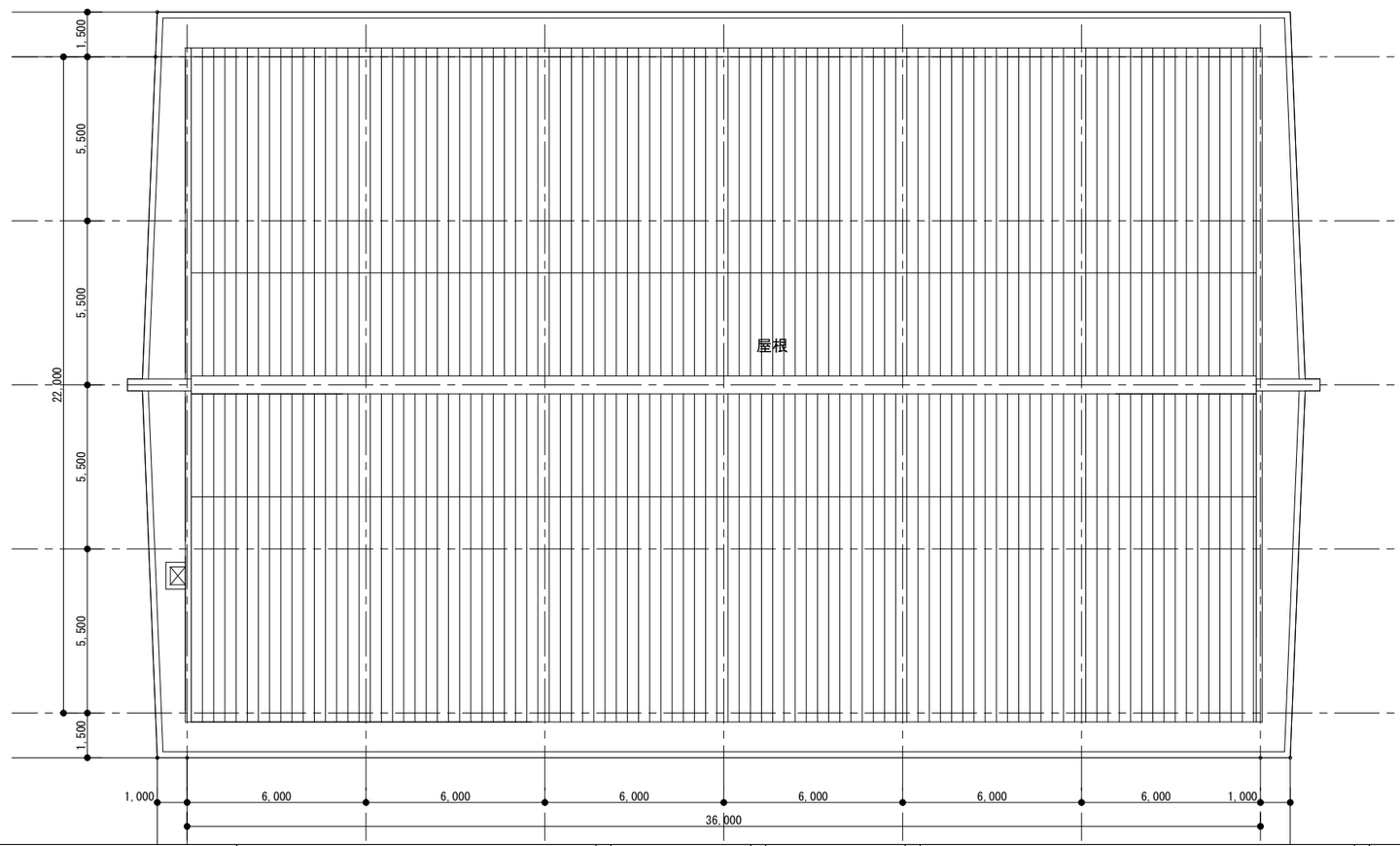
ケラバ及び笠木　詳細図

1/10(A3)



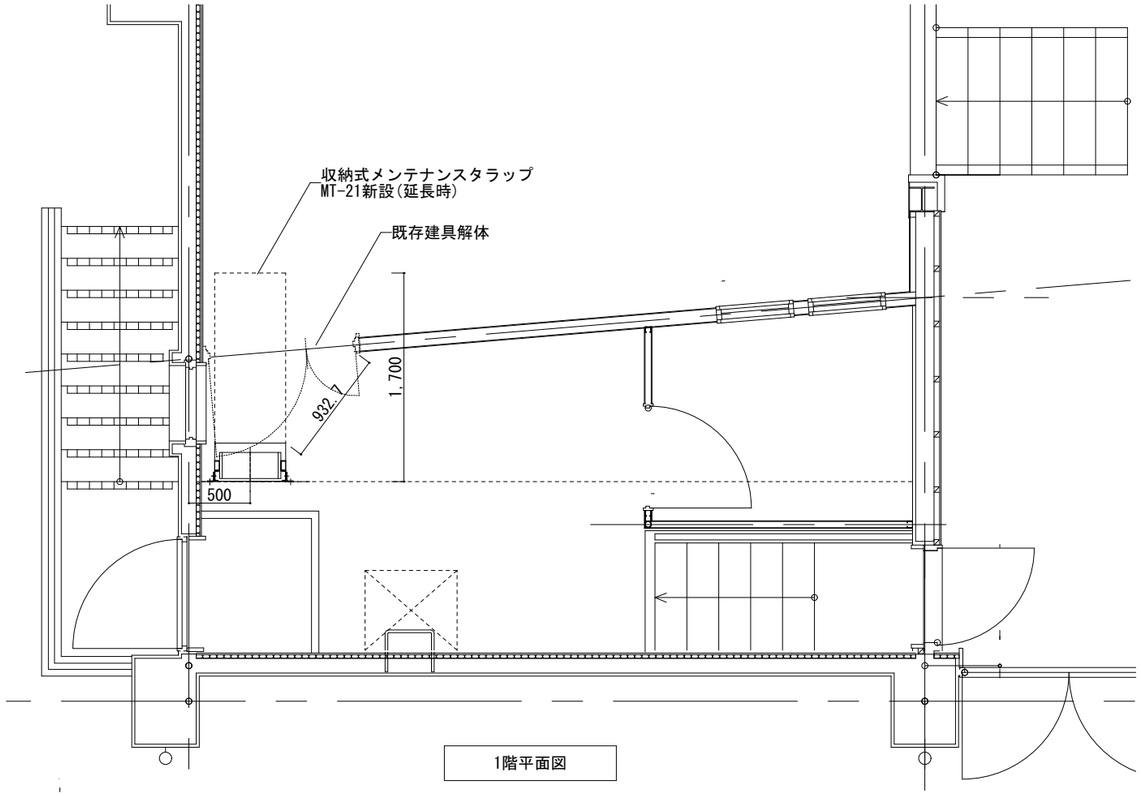
屋根伏図

1/200(A3)

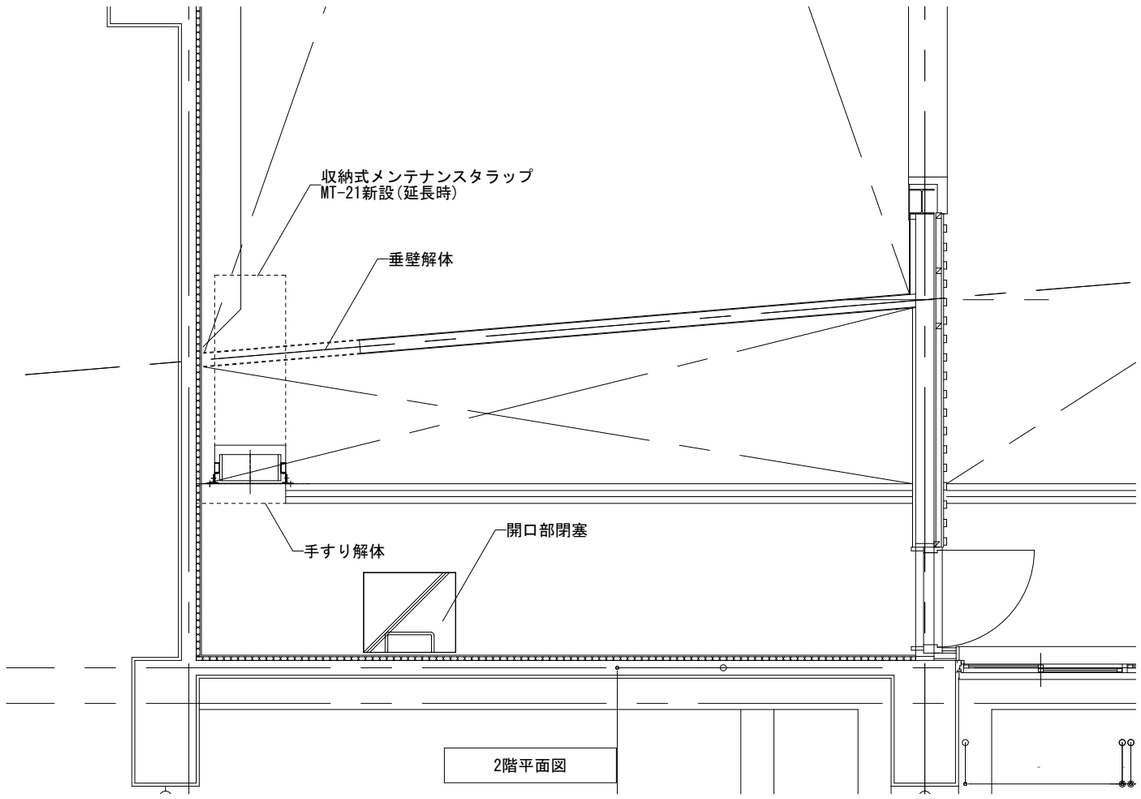


備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-056-5
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	屋内運動場5	縮尺	-
	月 日		月 日										

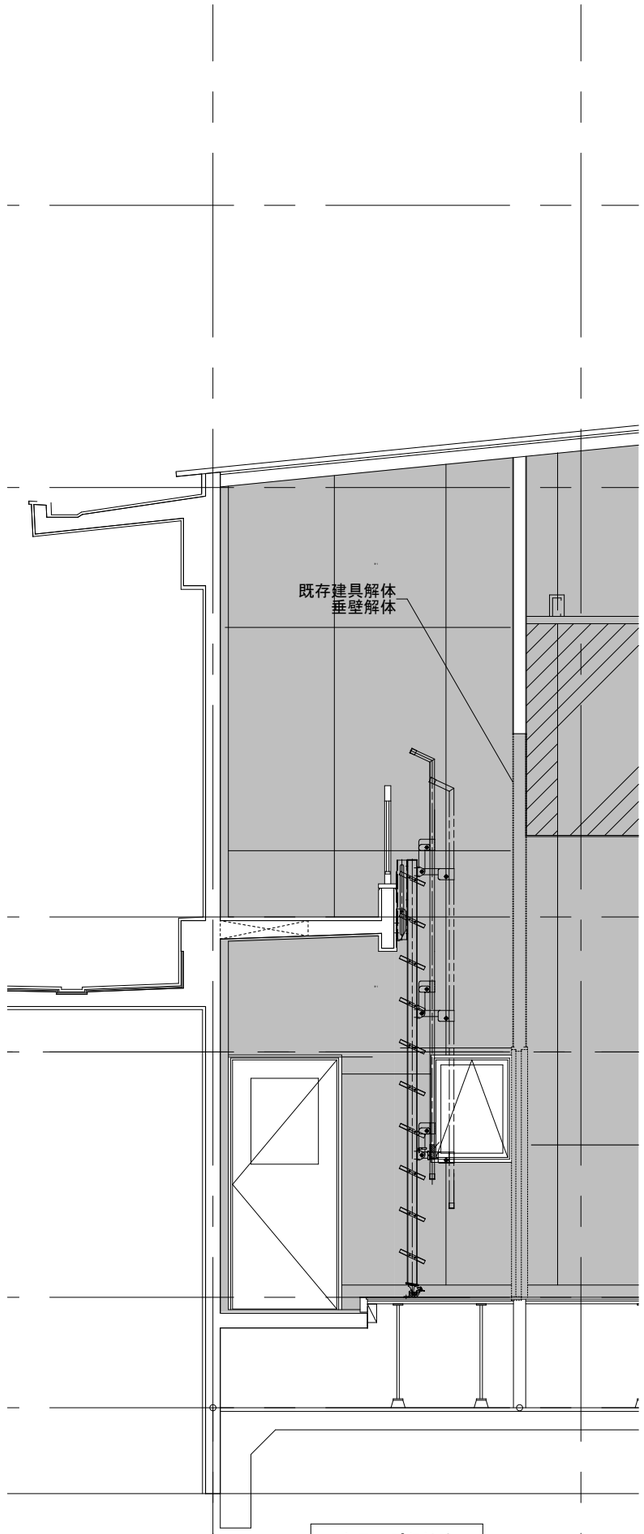
メンテナンス用階段　部分詳細図



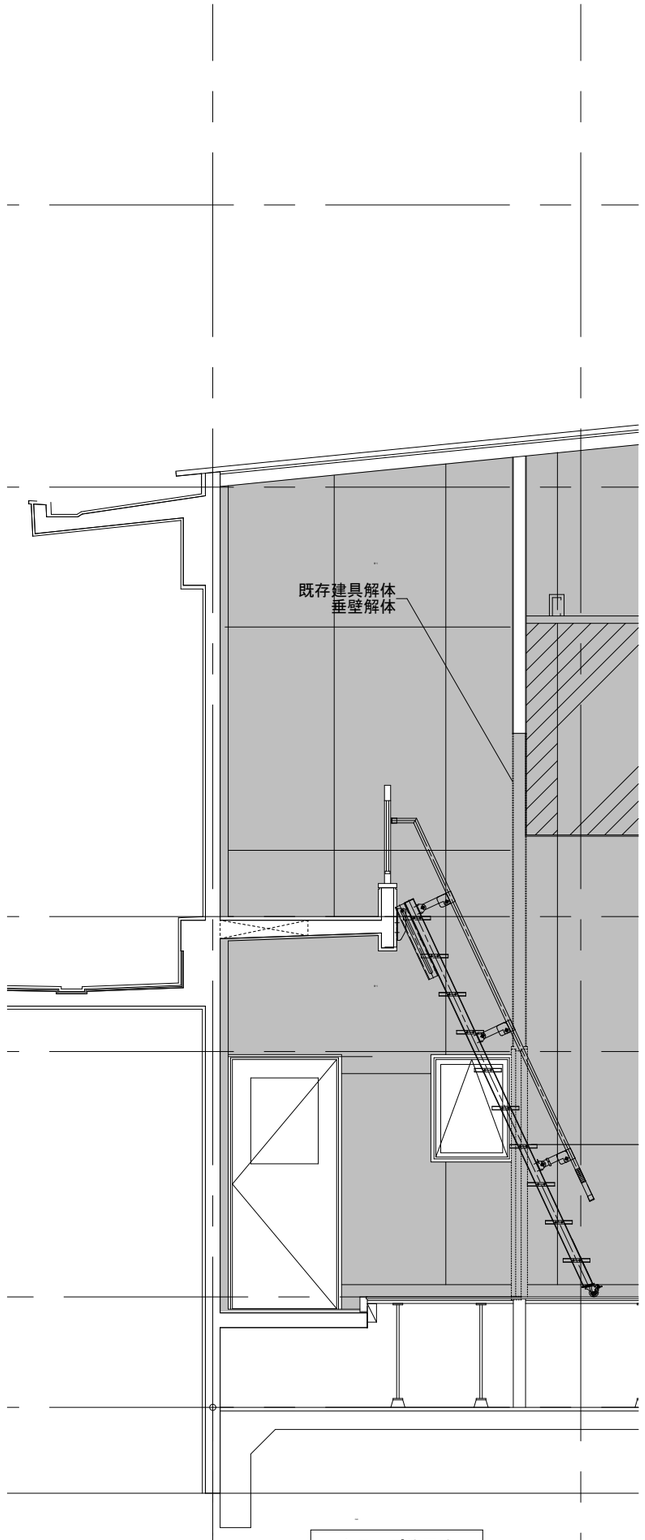
1階平面図



2階平面図



タラップ収納時



タラップ使用時

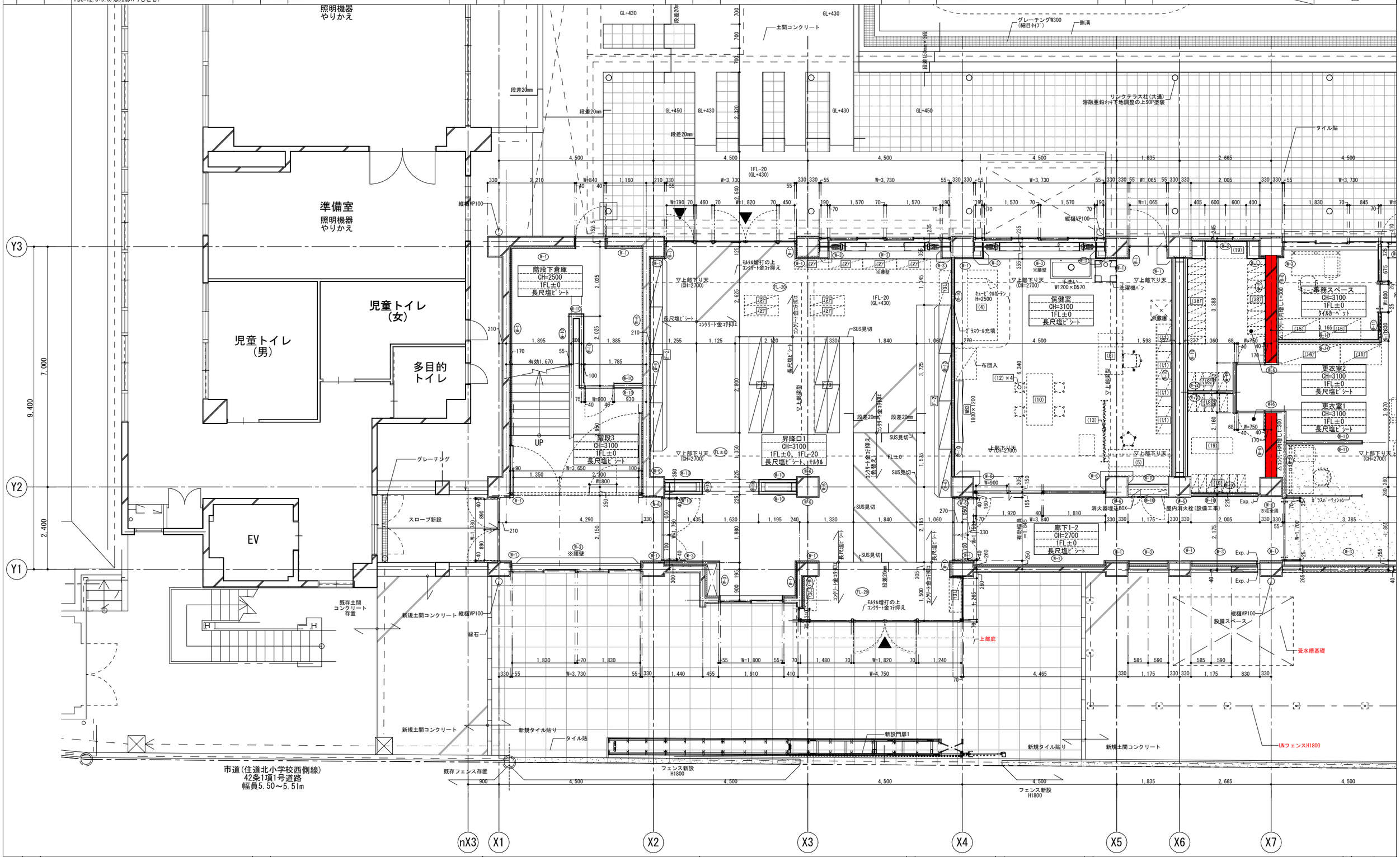
備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図書	A-056-6
	月 日		月 日										
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	屋内運動場6	縮尺	1/25(A1) 1/50(A3)

凡例

壁(W-1)	仕上げ	EP-G塗装	
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/	
壁(W-2)	仕上げ	EP-G塗装	
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき	
壁(W-3)	仕上げ	EP-G塗装	
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/	
壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装	
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0/	
壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装	
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき	
壁(W-6)	仕上げ	EP-G塗装	
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整	
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装	
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整	
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	
	下地	軽鉄下地/ﾗﾛﾝ合板t=9.0/	
壁(W-9)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	
	下地	GL工法/ﾗﾛﾝ合板t=9.0/	
壁(W-10)	仕上げ	EP-G塗装	
	下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき	
壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装	
	下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0	
壁(W-12)	仕上げ	EP-G塗装	
	下地	軽鉄下地/耐火PBt=21+21/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき	
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装	
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0	
壁(W-14)	仕上げ	化粧有効合板t=9(ｼﾅ合板)目透かし張り(ｼﾅﾃｰﾌﾟ)	
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/炭酸ｶﾙｼｳﾑ板t=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/	
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま	
	下地	既存のまま	
壁(W-16)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/ﾗﾛﾝ合板t=9.0/	

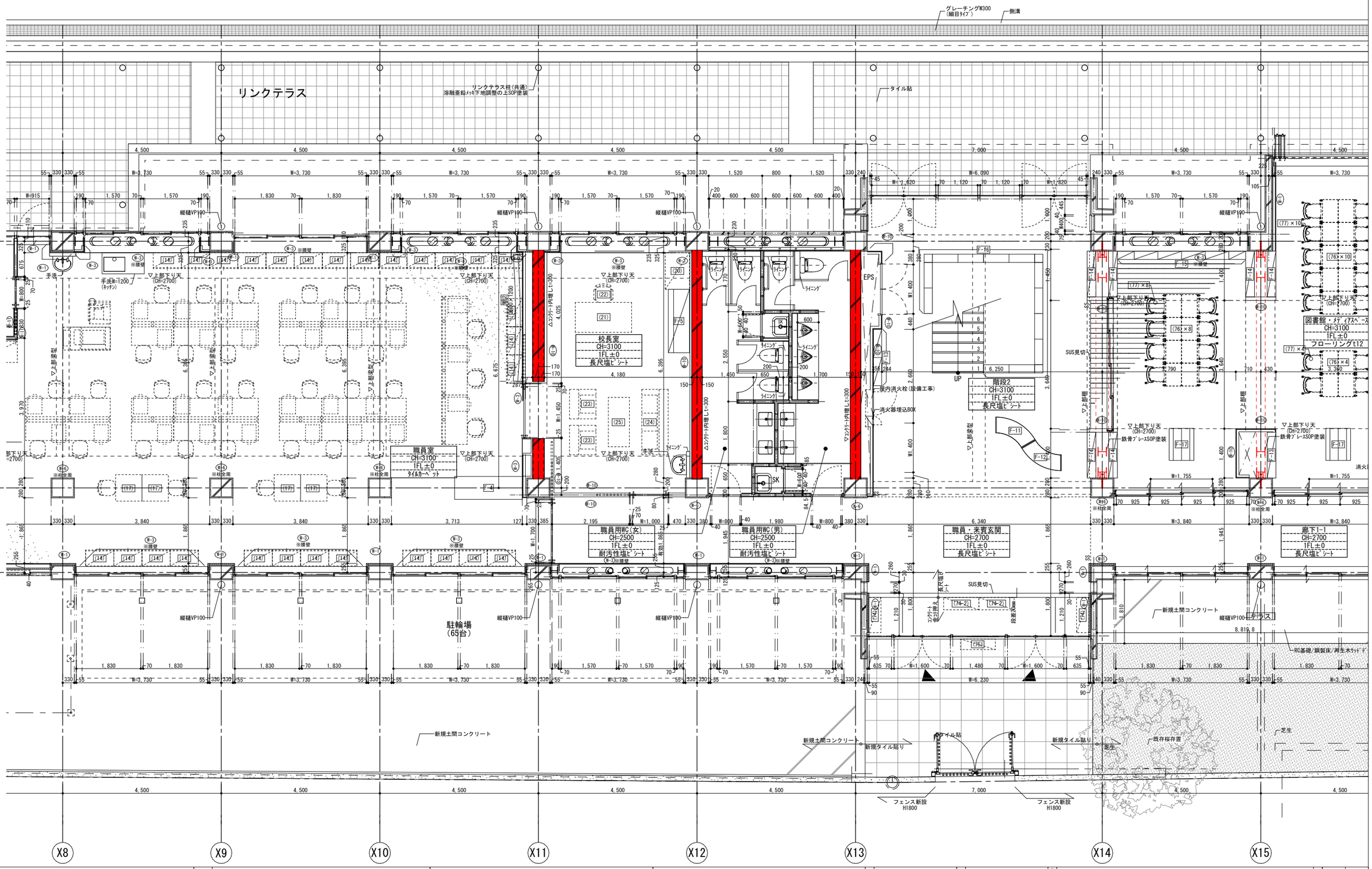
方位

東 北 南 西



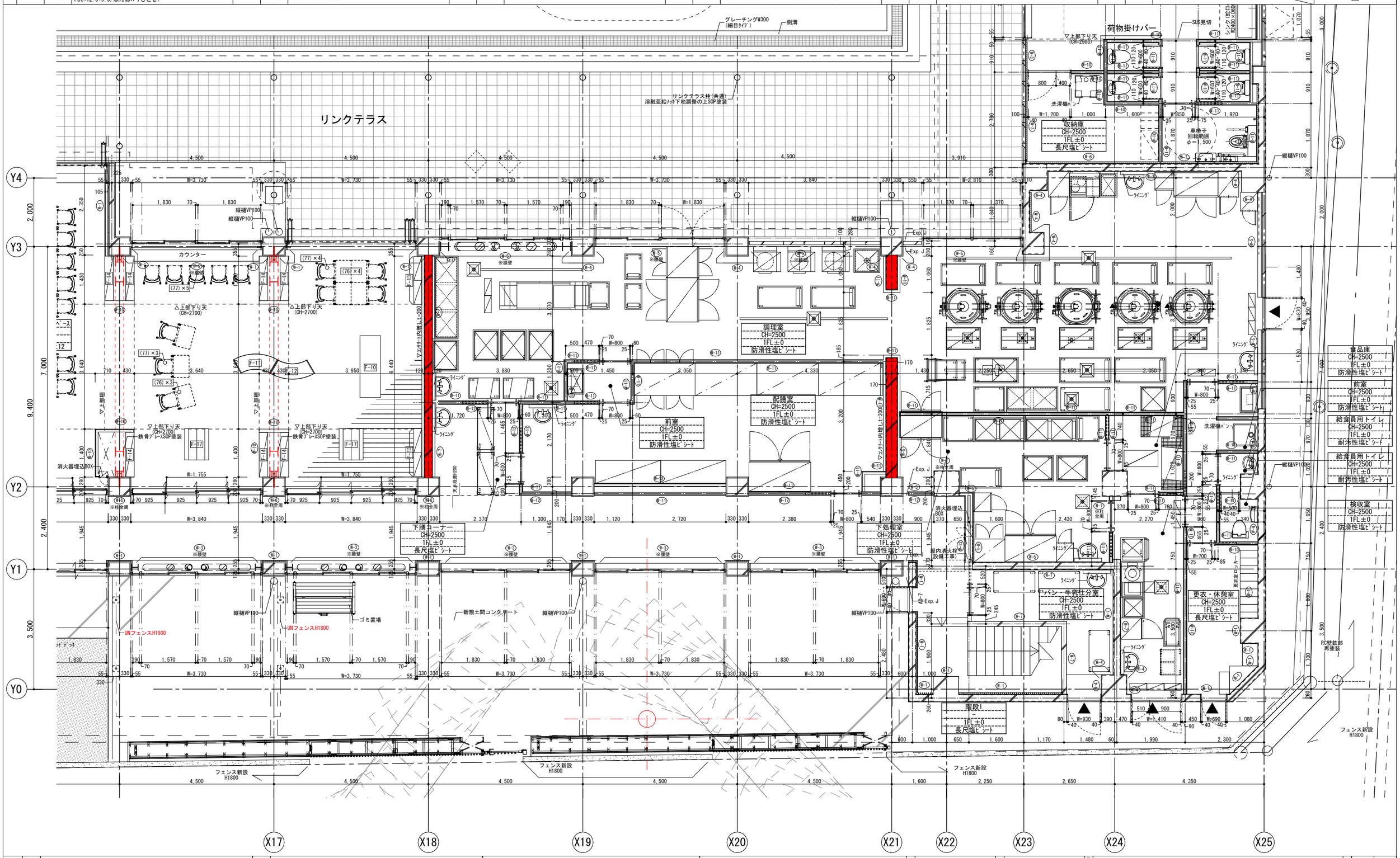
備考														
	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A	057
	月 日		月 日		1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	統括	佐藤 信	製図	中元 翔一	図面名称	平面詳細図1 (1階)	縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)	
	月 日		月 日											

凡例																					
壁(W-1)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-10)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-16)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	方位			
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/		下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0/		下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整		下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/ﾗｳﾝ合板t=9.0/	東		
壁(W-2)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-14)	仕上げ	化粧有効合板t=9(ｼﾅ合板)目透かし張り(ｼﾝﾅﾃｰﾌﾟ)				北		南	
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗パテしごき		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0/		下地	軽鉄下地/ﾗｳﾝ合板t=9.0/		下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0		下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/炭酸ｶﾙｼｳﾑ板t=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/							
壁(W-3)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-6)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-9)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	壁(W-12)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-15)	仕上げ	既存のまま							
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき/		下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整		下地	GL工法/ﾗｳﾝ合板t=9.0/		下地	軽鉄下地/耐火PBt=21+21/寒冷紗パテしごき		下地	既存のまま							



備考													
	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A 058
	月 日		月 日		1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	統括	佐藤 信	製図	中元 翔一	図面名称	平面詳細図2 (1階)	縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)
	月 日		月 日										

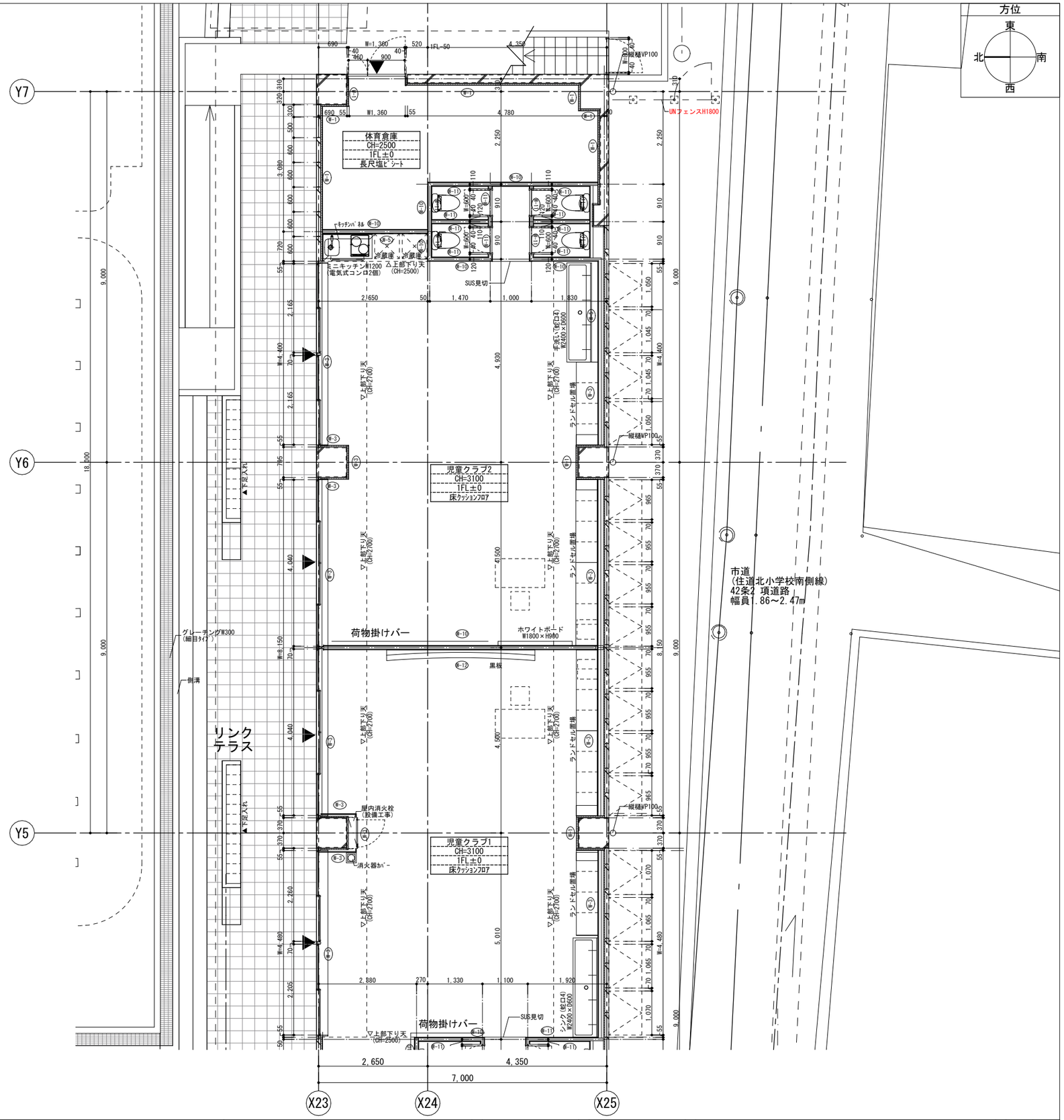
凡例																							
壁(W-1)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-10)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-16)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	方位
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/		下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0/		下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整		下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/ﾗｳﾝ合板t=9.0/	東 北 南 西
壁(W-2)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-14)	仕上げ	化粧有効合板t=9(ｼﾅ合板)目透かし張り(ｼﾅﾃｰﾌﾟ)				
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗パテしごき		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0/		下地	軽鉄下地/ﾗｳﾝ合板t=9.0/		下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0		下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/炭酸ｶﾙｼｳﾑ板t=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/				
壁(W-3)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-6)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-9)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	壁(W-12)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-15)	仕上げ	既存のまま				
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき/		下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整		下地	GL工法/ﾗｳﾝ合板t=9.0/		下地	軽鉄下地/耐火PBt=21+21/寒冷紗パテしごき		下地	既存のまま				



備考													
	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A 059
	月 日		月 日		1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	統括	佐藤 信	製図	中元 翔一	図面名称	平面詳細図3 (1階)	縮尺	1/50(A1) 1/100(A3)
	月 日		月 日										

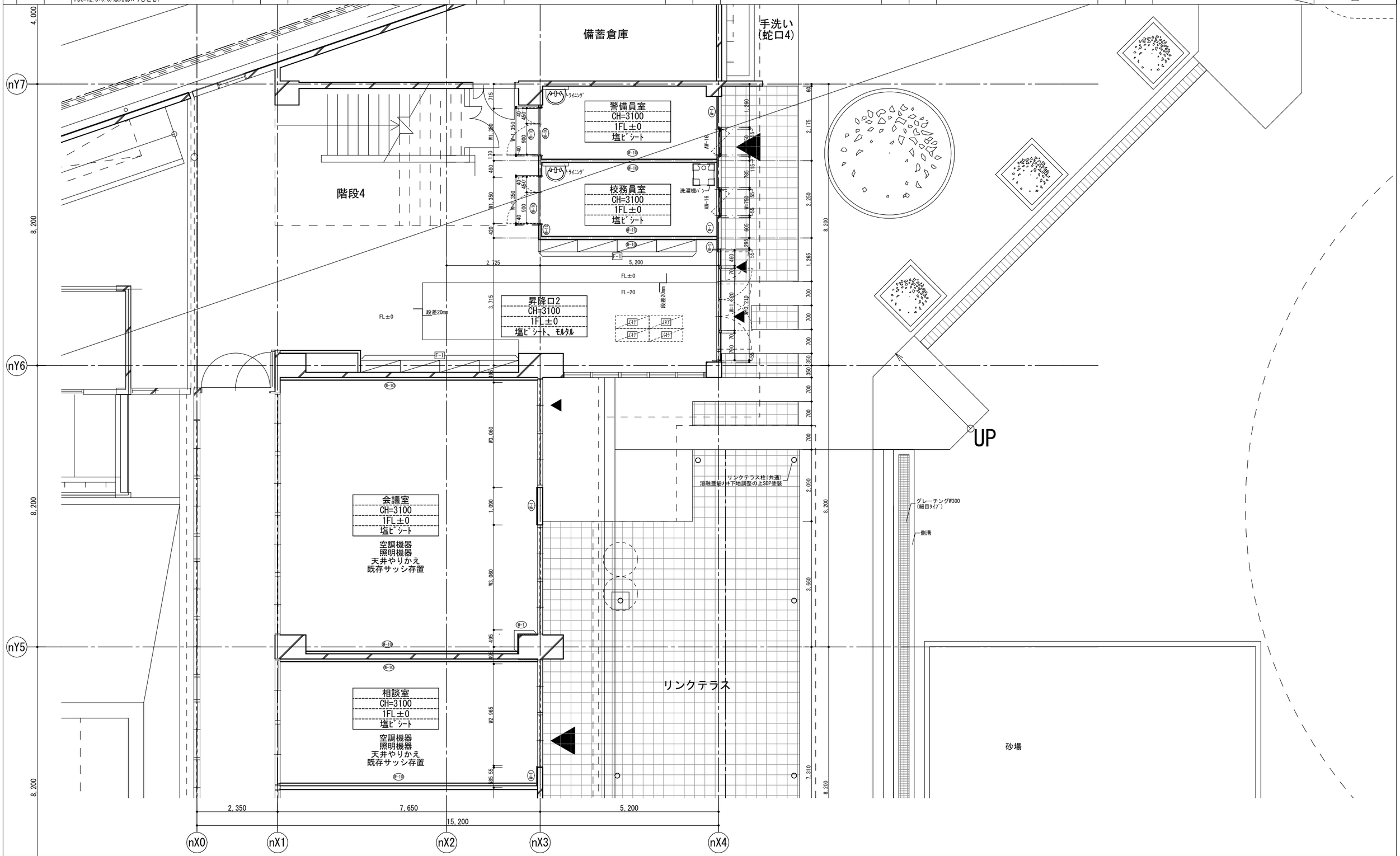
凡例

壁(W-1)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/		下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0/
壁(W-2)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0/
壁(W-3)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-6)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/		下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-10)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整		下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ﾗﾜﾝ合板t=9.0/		下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-9)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	壁(W-12)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	GL工法/ﾗﾜﾝ合板t=9.0/		下地	軽鉄下地/耐火PBt=21+21/寒冷紗パテしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-16)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/ﾗﾜﾝ合板t=9.0/
壁(W-14)	仕上げ	化粧有効合板t=9(ｼﾅ合板)目透かし張り(ｼﾅﾃｰﾌﾞ)			
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/炭酸ｶﾙｼｳﾑ板t=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/			
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま			
	下地	既存のまま			



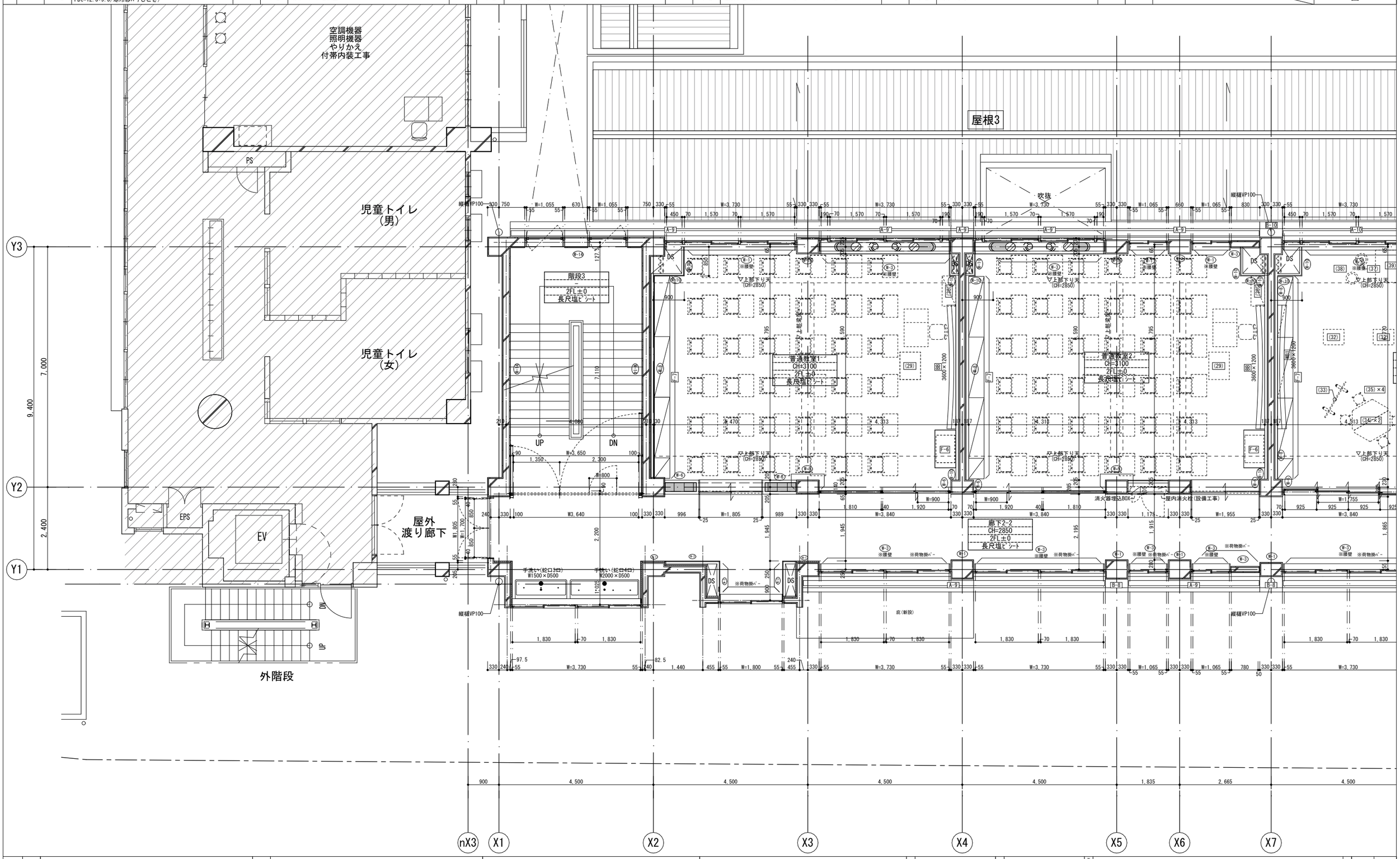
備考	月日		月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A	060
	月日		月日		1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	統括	佐藤 信	製図	中元 翔一	図面名称	平面詳細図4 (1階)	縮尺	1/50(A1) 1/100(A3)	
	月日		月日											

凡例																							
壁(W-1)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-10)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-16)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	方位
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/		下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0/		下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整		下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/ﾗｳﾝ合板t=9.0/	東 北 南 西
壁(W-2)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-14)	仕上げ	化粧有効合板t=9(ｼﾅ合板)目透かし張り(ｼﾅﾃｰﾌﾟ)				
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗パテしごき		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0/		下地	軽鉄下地/ﾗｳﾝ合板t=9.0/		下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0		下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/炭酸ｶﾙｼｳﾑ板t=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/				
壁(W-3)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-6)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-9)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	壁(W-12)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-15)	仕上げ	既存のまま				
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき/		下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整		下地	GL工法/ﾗｳﾝ合板t=9.0/		下地	軽鉄下地/耐火PBt=21+21/寒冷紗パテしごき		下地	既存のまま				



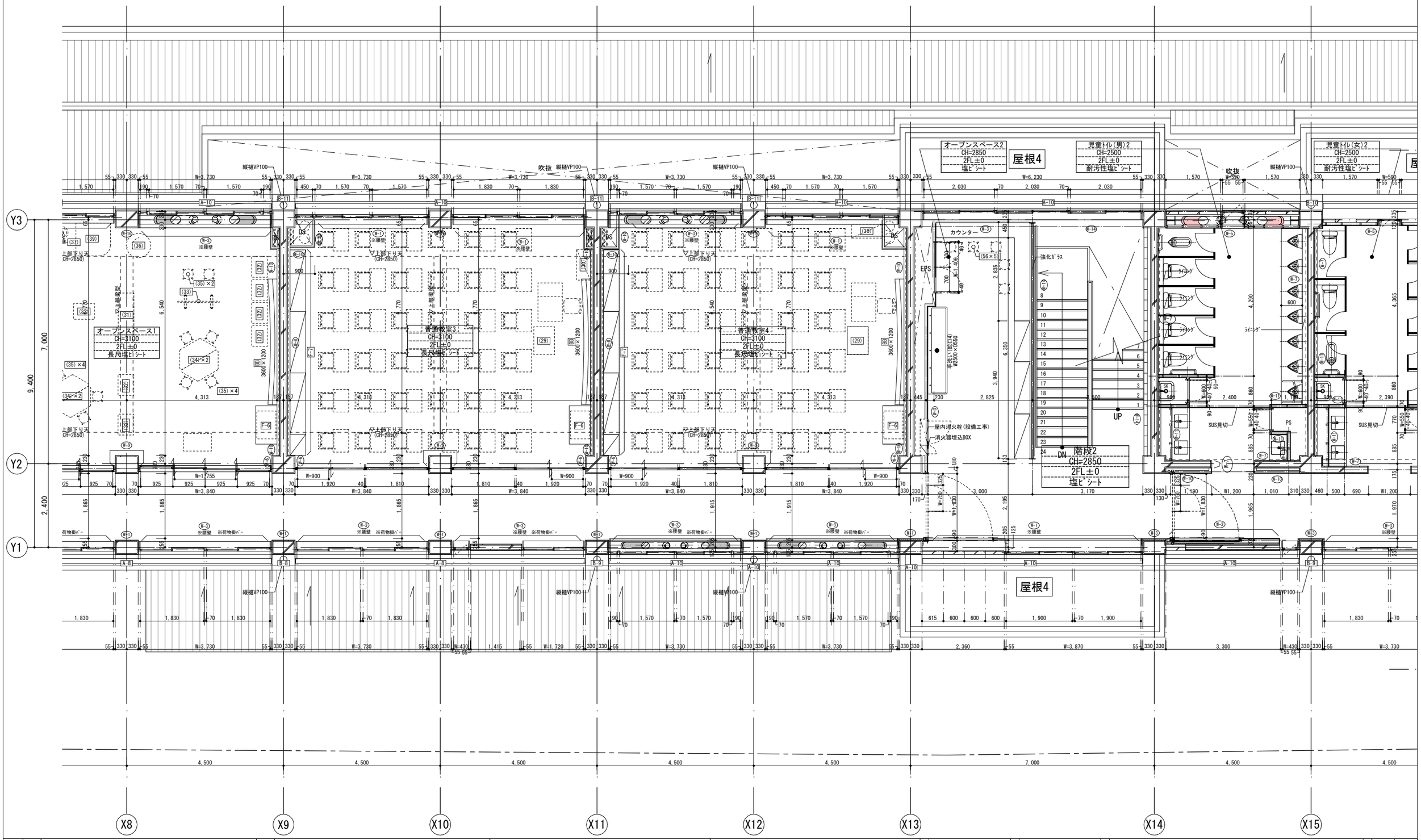
備考													
月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A	061
月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	中元　翔一	図面名称	平面詳細図5　(1階)	縮尺	1/50(A1) 1/100(A3)	
月 日		月 日											

凡例																			
壁(W-1)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-10)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-16)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	方位	
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/		下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0/		下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整		下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/ﾗｳﾝ合板t=9.0/	東	
壁(W-2)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-14)	仕上げ	化粧有効合板t=9(ｼﾅ合板)目透かし張り(ｼﾅﾃｰﾌﾟ)				北	南
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗パテしごき		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0/		下地	軽鉄下地/ﾗｳﾝ合板t=9.0/		下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0		下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/炭酸ｶﾙｼｳﾑ板t=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/					
壁(W-3)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-6)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-9)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	壁(W-12)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-15)	仕上げ	既存のまま				西	
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき/		下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整		下地	GL工法/ﾗｳﾝ合板t=9.0/		下地	軽鉄下地/耐火PBt=21+21/寒冷紗パテしごき		下地	既存のまま					



備考																
	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A	062
	月 日		月 日		1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	統括	佐藤 信	製図	中元 翔一	図面名称	平面詳細図6 (2階)	縮尺	1/50(A1) 1/100(A3)	
	月 日		月 日											

凡例																				
壁(W-1)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-10)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-16)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	方位
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/		下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0/		下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整		下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/ﾗｳﾝ合板t=9.0/	東 北 南 西
壁(W-2)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-14)	仕上げ	化粧有効合板t=9(ｼﾅ合板)目透かし張り(ｼﾅﾃｰﾌﾟ)				
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0/		下地	軽鉄下地/ﾗｳﾝ合板t=9.0/		下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0		下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/炭酸ｶﾙｼｳﾑ板t=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/				
壁(W-3)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-6)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-9)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	壁(W-12)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-15)	仕上げ	既存のまま				
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/		下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整		下地	GL工法/ﾗｳﾝ合板t=9.0/		下地	軽鉄下地/耐火PBt=21+21/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき		下地	既存のまま				



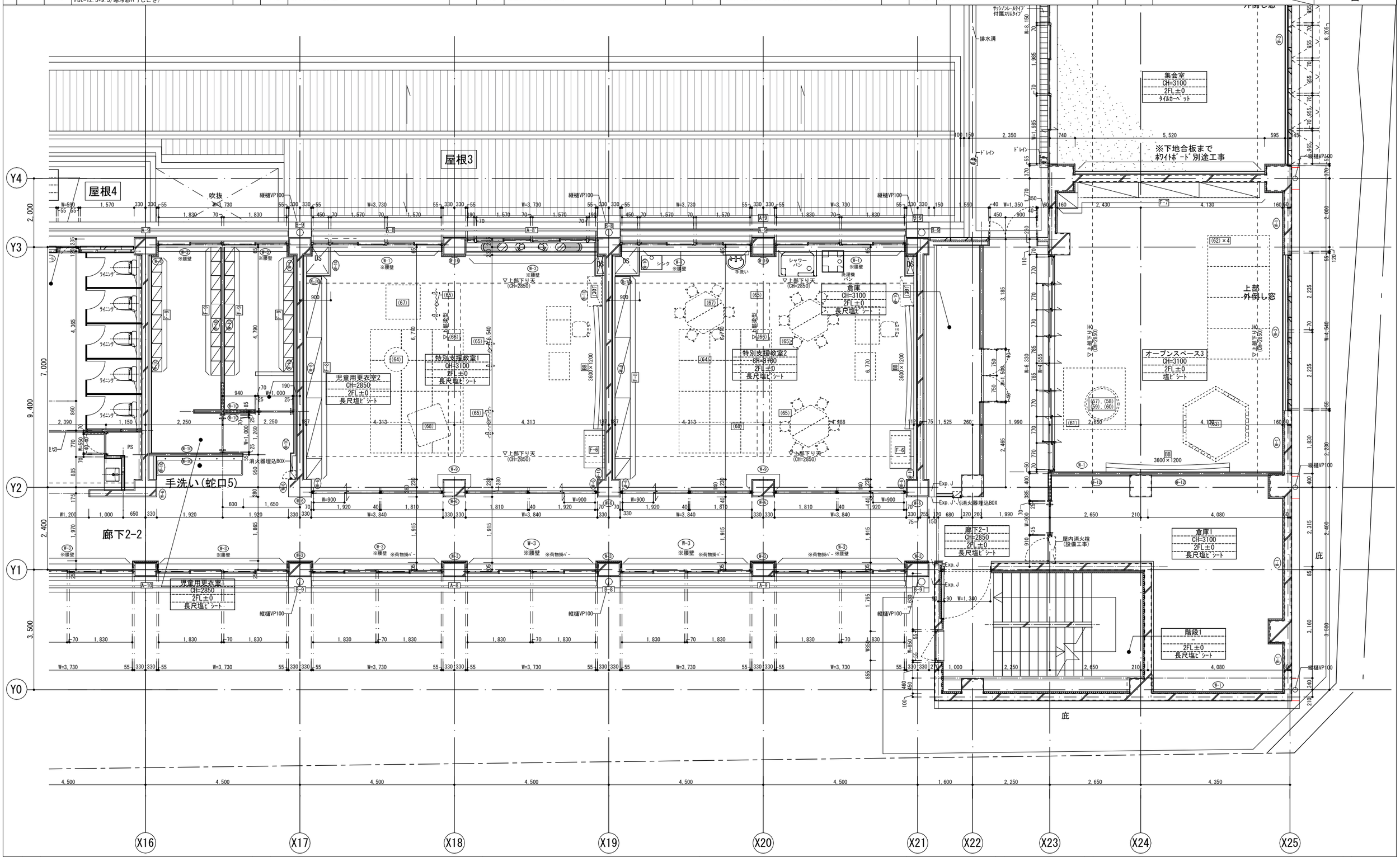
備考														
月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A	063
月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	中元　翔一	図面名称	平面詳細図7　(2階)	縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)	
月 日		月 日											

凡例

壁(W-1)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-10)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-16)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/		下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0/		下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整		下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/ﾗｳﾝ合板t=9.0/
壁(W-2)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-14)	仕上げ	化粧有効合板t=9(ｼﾅ合板)目透かし張り(ｼﾅﾃｰﾌﾟ)			
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗パテしごき		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0/		下地	軽鉄下地/ﾗｳﾝ合板t=9.0/		下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0		下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/炭酸ｶﾙｼｳﾑ板t=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/			
壁(W-3)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-6)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-9)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	壁(W-12)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-15)	仕上げ	既存のまま			
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき/		下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整		下地	GL工法/ﾗｳﾝ合板t=9.0/		下地	軽鉄下地/耐火PBt=21+21/寒冷紗パテしごき		下地	既存のまま			

方位

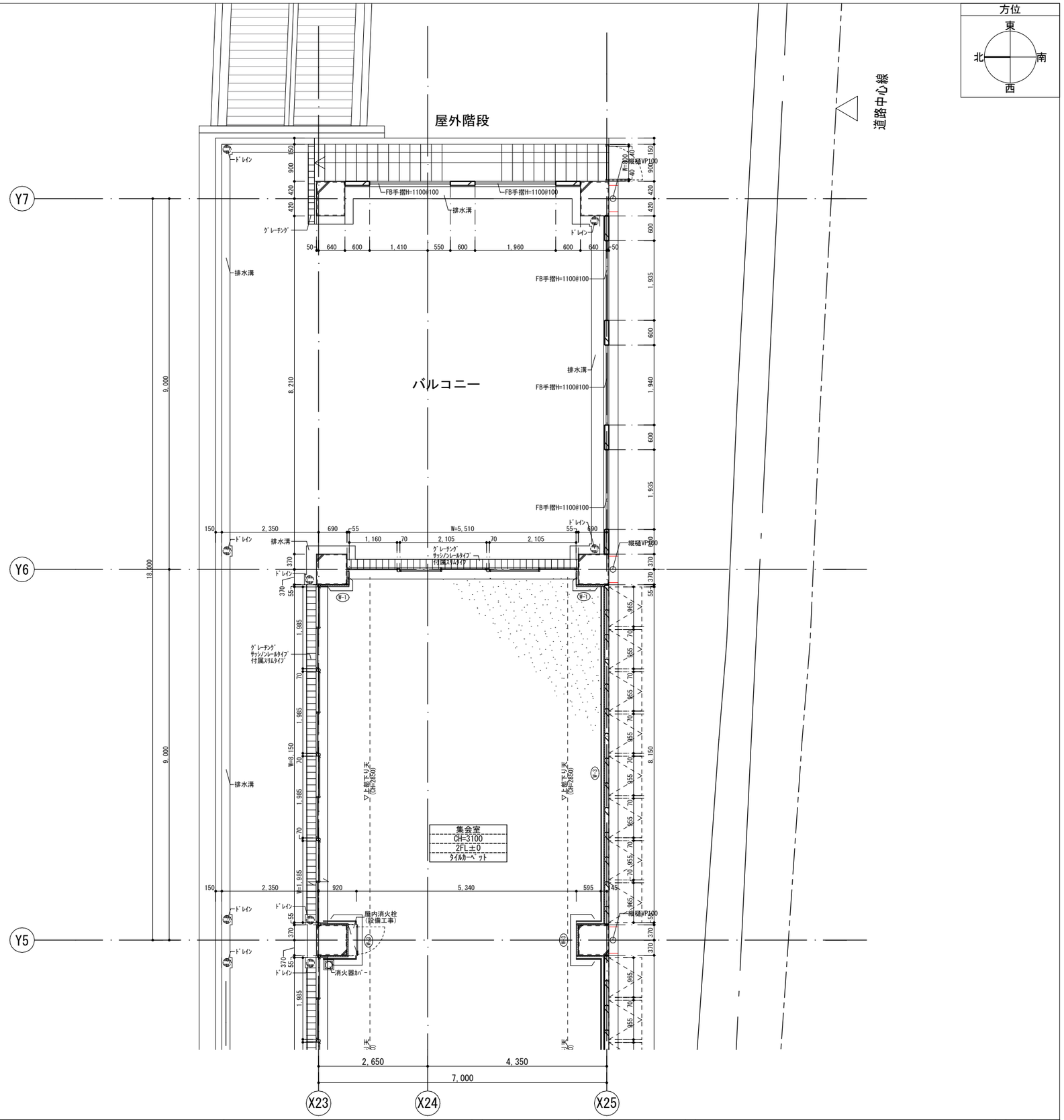
東 北 南 西



備考													
	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A 064
	月 日		月 日		1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	統括	佐藤 信	製図	中元 翔一	図面名称	平面詳細図8 (2階)	縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)
	月 日		月 日										

凡例

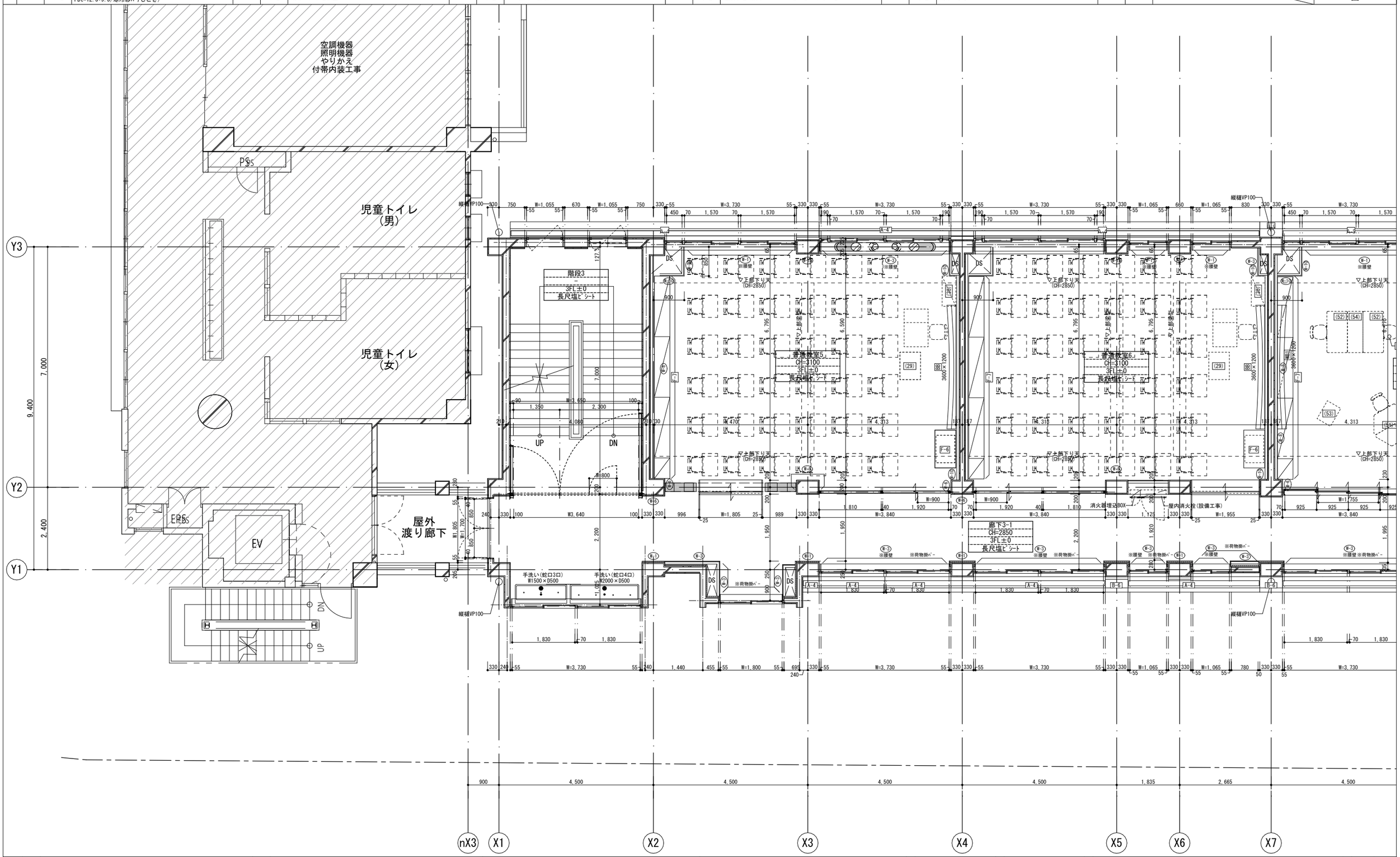
壁(W-1)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/		下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0/
壁(W-2)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0/
壁(W-3)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-6)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/		下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-10)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整		下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ﾗﾜﾝ合板t=9.0/		下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-9)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	壁(W-12)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	GL工法/ﾗﾜﾝ合板t=9.0/		下地	軽鉄下地/耐火PBt=21+21/寒冷紗パテしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-16)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/ﾗﾜﾝ合板t=9.0/
壁(W-14)	仕上げ	化粧有効合板t=9(ｼﾅ合板)目透かし張り(ｼﾅﾃｰﾌﾟ)			
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/炭酸ｶﾙｼｳﾑ板t=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/			
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま			
	下地	既存のまま			



備考				
月 日		月 日		
月 日		月 日		
月 日		月 日		

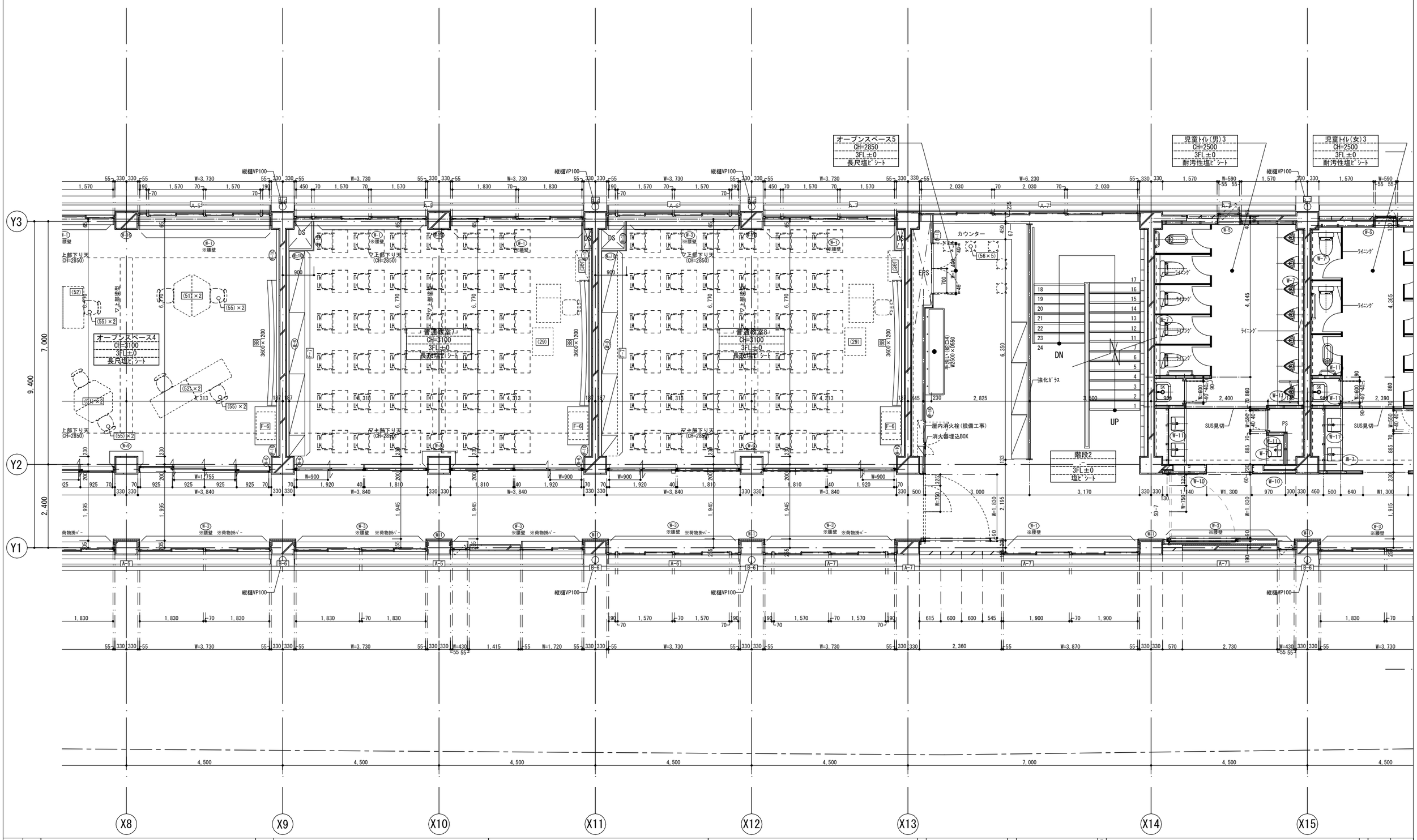
株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番 A 065
1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	中元　翔一	図面名称	平面詳細図9　(2階)	縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)

凡例																							
壁(W-1)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-10)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-16)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	方位
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/		下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0/		下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整		下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/ﾗｳﾝ合板t=9.0/	東 北 南 西
壁(W-2)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-14)	仕上げ	化粧有効合板t=9(ｼﾅ合板)目透かし張り(ｼﾅﾃｰﾌﾟ)				
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗パテしごき		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0/		下地	軽鉄下地/ﾗｳﾝ合板t=9.0/		下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0		下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/炭酸ｶﾙｼｳﾑ板t=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/				
壁(W-3)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-6)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-9)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	壁(W-12)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-15)	仕上げ	既存のまま				
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき/		下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整		下地	GL工法/ﾗｳﾝ合板t=9.0/		下地	軽鉄下地/耐火PBt=21+21/寒冷紗パテしごき		下地	既存のまま				



備考														
	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A	066
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	中元　翔一	図面名称	平面詳細図10　(3階)	縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)	
	月 日		月 日											

凡例																							
壁(W-1)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-10)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-16)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	方位
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/		下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0/		下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整		下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/ﾗｳﾝ合板t=9.0/	東 北 南 西
壁(W-2)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-14)	仕上げ	化粧有効合板t=9(ｼﾅ合板)目透かし張り(ｼﾅﾃｰﾌﾟ)				
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗パテしごき		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0/		下地	軽鉄下地/ﾗｳﾝ合板t=9.0/		下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0		下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/炭酸ｶﾙｼｳﾑ板t=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/				
壁(W-3)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-6)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-9)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	壁(W-12)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-15)	仕上げ	既存のまま				
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき/		下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整		下地	GL工法/ﾗｳﾝ合板t=9.0/		下地	軽鉄下地/耐火PBt=21+21/寒冷紗パテしごき		下地	既存のまま				

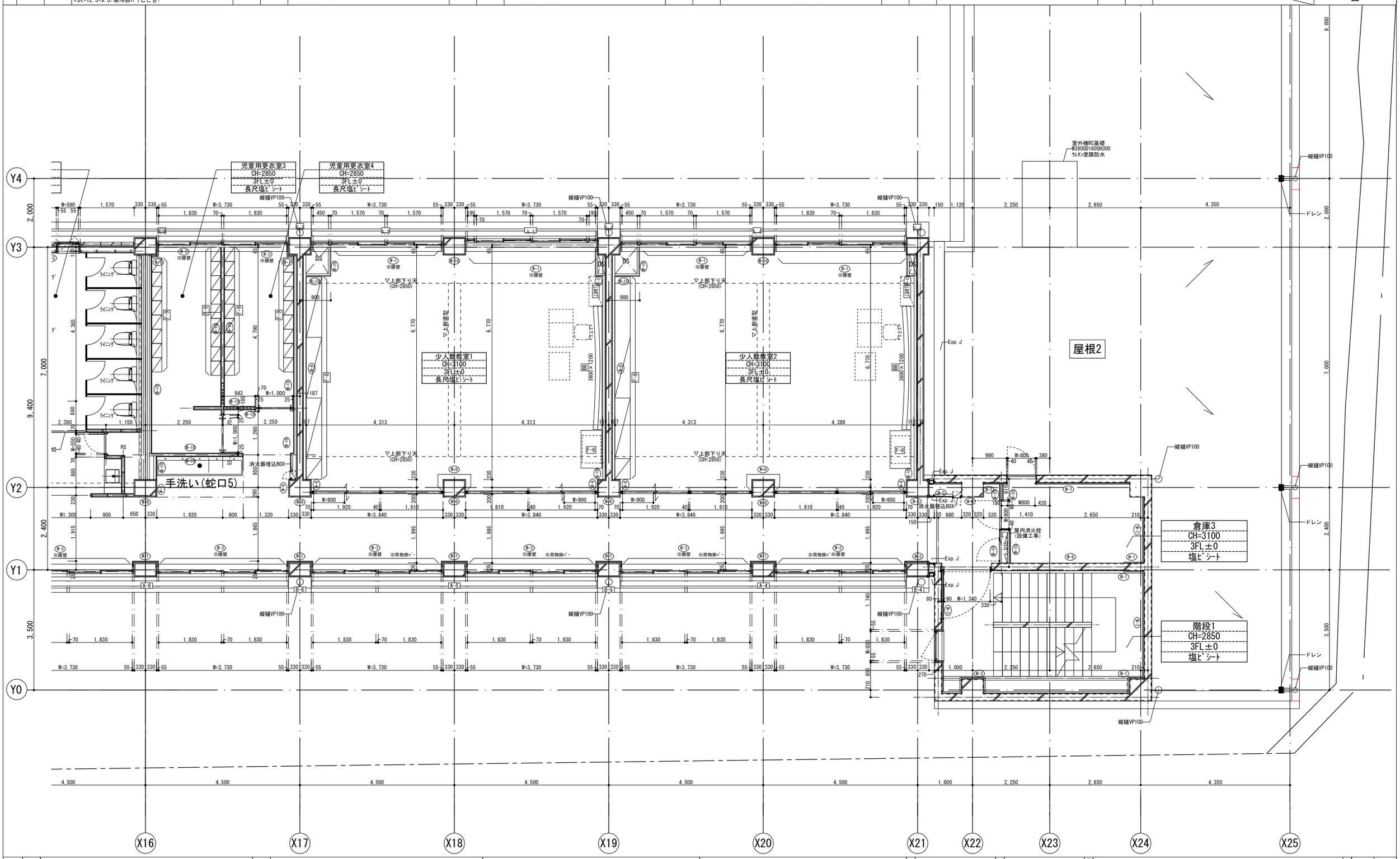


備考														
月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A	067
月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	中元　翔一	図面名称	平面詳細図11　(3階)	縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)	
月 日		月 日											

凡例

壁(W-1)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁(W-2)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-3)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/
壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0/
壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0/
壁(W-6)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ﾗﾛﾝ合板t=9.0/
壁(W-9)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	GL工法/ﾗﾛﾝ合板t=9.0/
壁(W-10)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-12)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/耐火PBt=21+21/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-14)	仕上げ	化粧有効合板t=9(ｼﾅ合板)目透かし張り(ｼﾅﾃｰﾌﾟ)
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/炭酸ｶﾙｼｳﾑ板t=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま
	下地	既存のまま
壁(W-16)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/ﾗﾛﾝ合板t=9.0/

方位

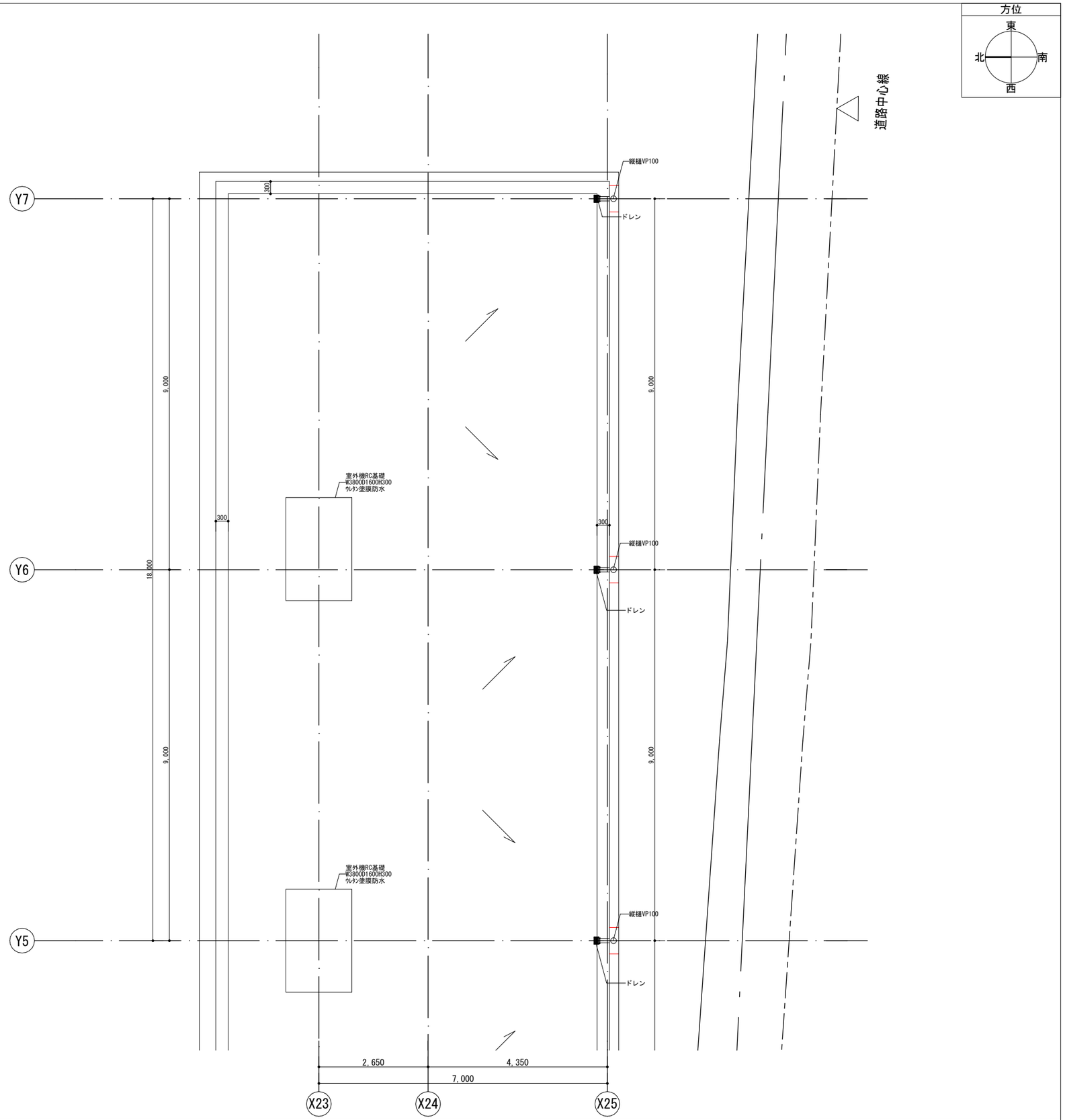


備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)
	月 日		月 日		1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	統括	佐藤 信	製図	中元 翔一	図面名称	平面詳細図12 (3階)

図番	A	068
縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)	

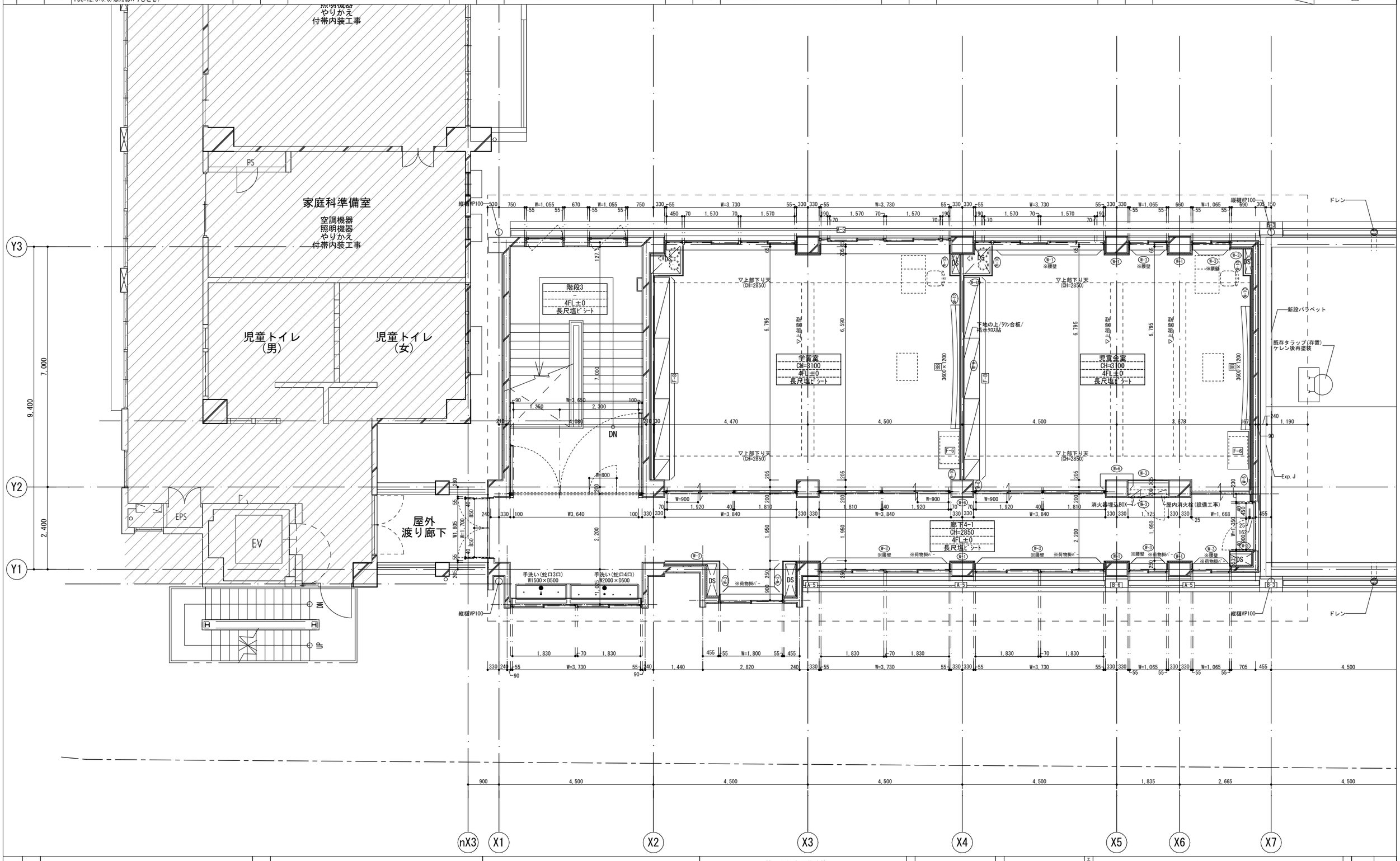
凡例

壁(W-1)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/		下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0/
壁(W-2)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0/
壁(W-3)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-6)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/		下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-10)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整		下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ﾗﾜﾝ合板t=9.0/		下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-9)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	壁(W-12)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	GL工法/ﾗﾜﾝ合板t=9.0/		下地	軽鉄下地/耐火PBt=21+21/寒冷紗パテしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-16)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/ﾗﾜﾝ合板t=9.0/
壁(W-14)	仕上げ	化粧有効合板t=9(ｼﾅ合板)目透かし張り(ｼﾅﾃｰﾌﾟ)			
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/炭酸ｶﾙｼｳﾑ板t=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/			
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま			
	下地	既存のまま			



備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A 069
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	中元　翔一	図面名称	平面詳細図13　(3階)	縮尺	1/50(A1) 1/100(A3)
	月 日		月 日										

凡例																							
壁(W-1)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-10)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-16)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	方位					
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/		下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0/		下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整		下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/ﾗｳﾝ合板t=9.0/	東				
壁(W-2)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-14)	仕上げ	化粧有効合板t=9(ｼﾅ合板)目透かし張り(ｼﾅﾃｰﾌﾟ)				北	南				
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗パテしごき		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0/		下地	軽鉄下地/ﾗｳﾝ合板t=9.0/		下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0		下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/炭酸ｶﾙｼｳﾑ板t=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/								
壁(W-3)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-6)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-9)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	壁(W-12)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-15)	仕上げ	既存のまま									
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき/		下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整		下地	GL工法/ﾗｳﾝ合板t=9.0/		下地	軽鉄下地/耐火PBt=21+21/寒冷紗パテしごき		下地	既存のまま									

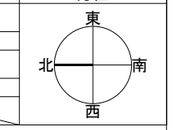


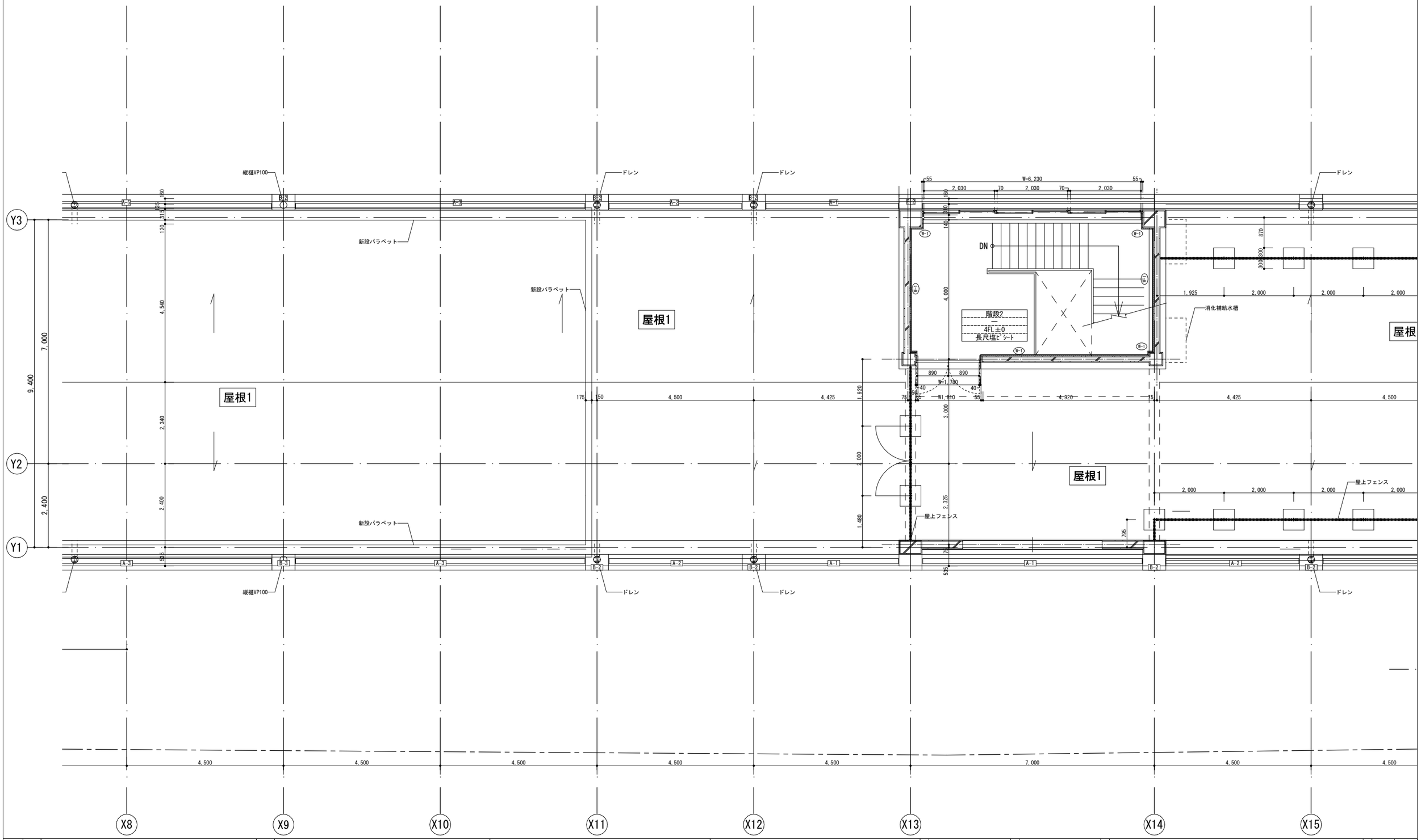
備考															
	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A	070
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	中元　翔一	図面名称	平面詳細図14　（4階）	縮尺	1/50(A1) 1/100(A3)	
	月 日		月 日											

凡例

壁(W-1)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-10)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-16)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/		下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0/		下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整		下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/ﾗｳﾝ合板t=9.0/
壁(W-2)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-14)	仕上げ	化粧有効合板t=9(ｼﾅ合板)目透かし張り(ｼﾅﾃｰﾌﾟ)			
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗パテしごき		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0/		下地	軽鉄下地/ﾗｳﾝ合板t=9.0/		下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0		下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/炭酸ｶﾙｼｳﾑ板t=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/			
壁(W-3)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-6)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-9)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	壁(W-12)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-15)	仕上げ	既存のまま			
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき/		下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整		下地	GL工法/ﾗｳﾝ合板t=9.0/		下地	軽鉄下地/耐火PBt=21+21/寒冷紗パテしごき		下地	既存のまま			

方位

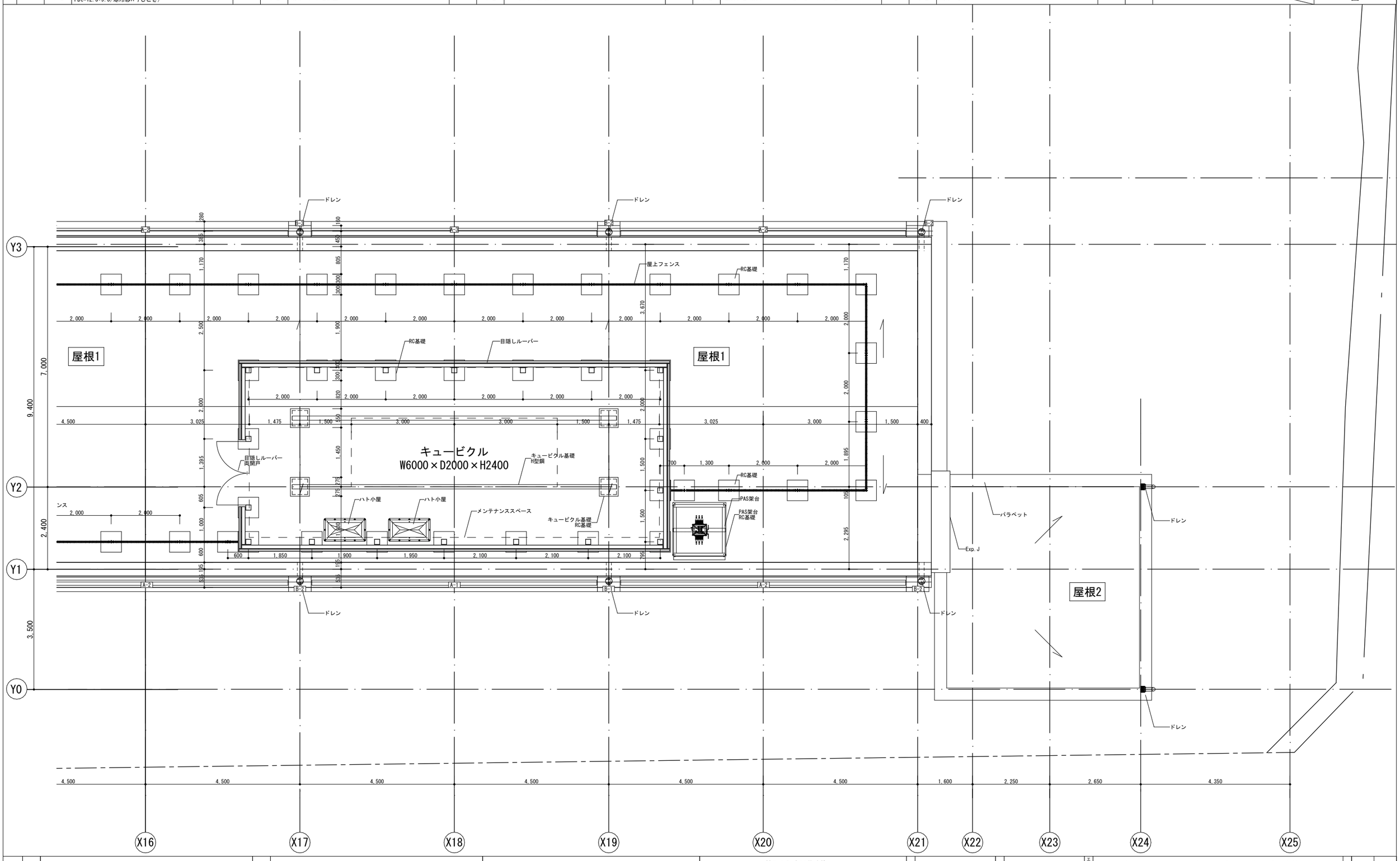




備考	月 日		月 日			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番 A 071
	月 日		月 日			1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	統括	佐藤 信	製図	中元 翔一	図面名称	平面詳細図15 (4階)	縮尺 1/ 50(A1) 1/100(A3)
	月 日		月 日										

凡例																							
壁(W-1)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-10)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-16)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/		下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0/		下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整		下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/ﾗｳﾝ合板t=9.0/
壁(W-2)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-14)	仕上げ	化粧有効合板t=9(ｼﾅ合板)目透かし張り(ｼﾅﾃｰﾌﾟ)			
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗パテしごき		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0/		下地	軽鉄下地/ﾗｳﾝ合板t=9.0/		下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0		下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/炭酸ｶﾙｼｳﾑ板t=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/			
壁(W-3)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-6)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-9)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	壁(W-12)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-15)	仕上げ	既存のまま			
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき/		下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整		下地	GL工法/ﾗｳﾝ合板t=9.0/		下地	軽鉄下地/耐火PBt=21+21/寒冷紗パテしごき		下地	既存のまま			

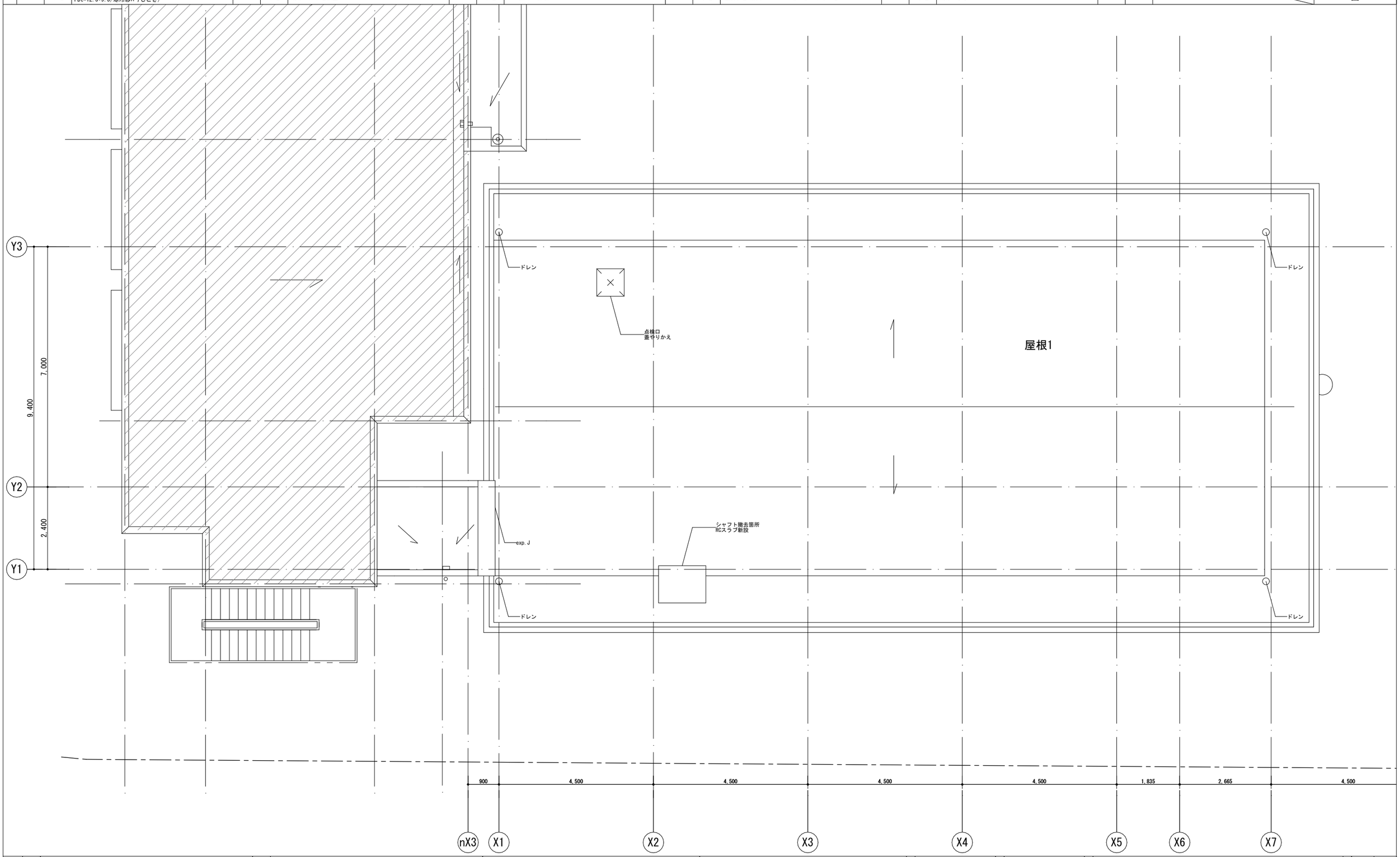
方位



備考													
月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A	072
月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	中元　翔一	図面名称	平面詳細図16　(4階)	縮尺	1/50(A1) 1/100(A3)	
月 日		月 日											

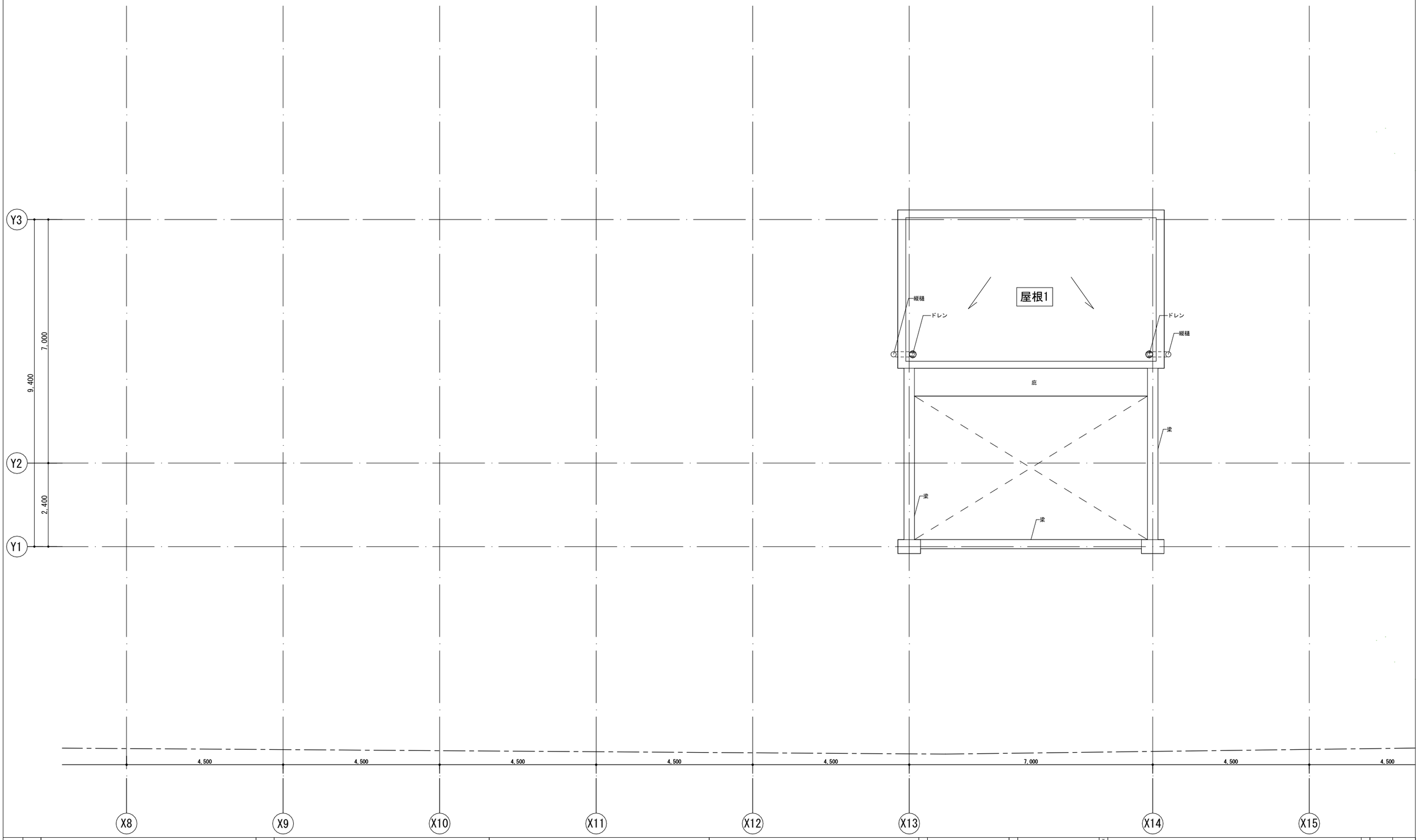
凡例

壁(W-1)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-10)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-16)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	方位	
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/		下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0/		下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整		下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/ﾗｳﾝ合板t=9.0/	東	
壁(W-2)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-14)	仕上げ	化粧有効合板t=9(ｼﾅ合板)目透かし張り(ｼﾅﾃｰﾌﾟ)				北	南
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗パテしごき		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0/		下地	軽鉄下地/ﾗｳﾝ合板t=9.0/		下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0		下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/炭酸ｶﾙｼｳﾑ板t=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/					
壁(W-3)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-6)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-9)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	壁(W-12)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-15)	仕上げ	既存のまま				西	
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき/		下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整		下地	GL工法/ﾗｳﾝ合板t=9.0/		下地	軽鉄下地/耐火PBt=21+21/寒冷紗パテしごき		下地	既存のまま					

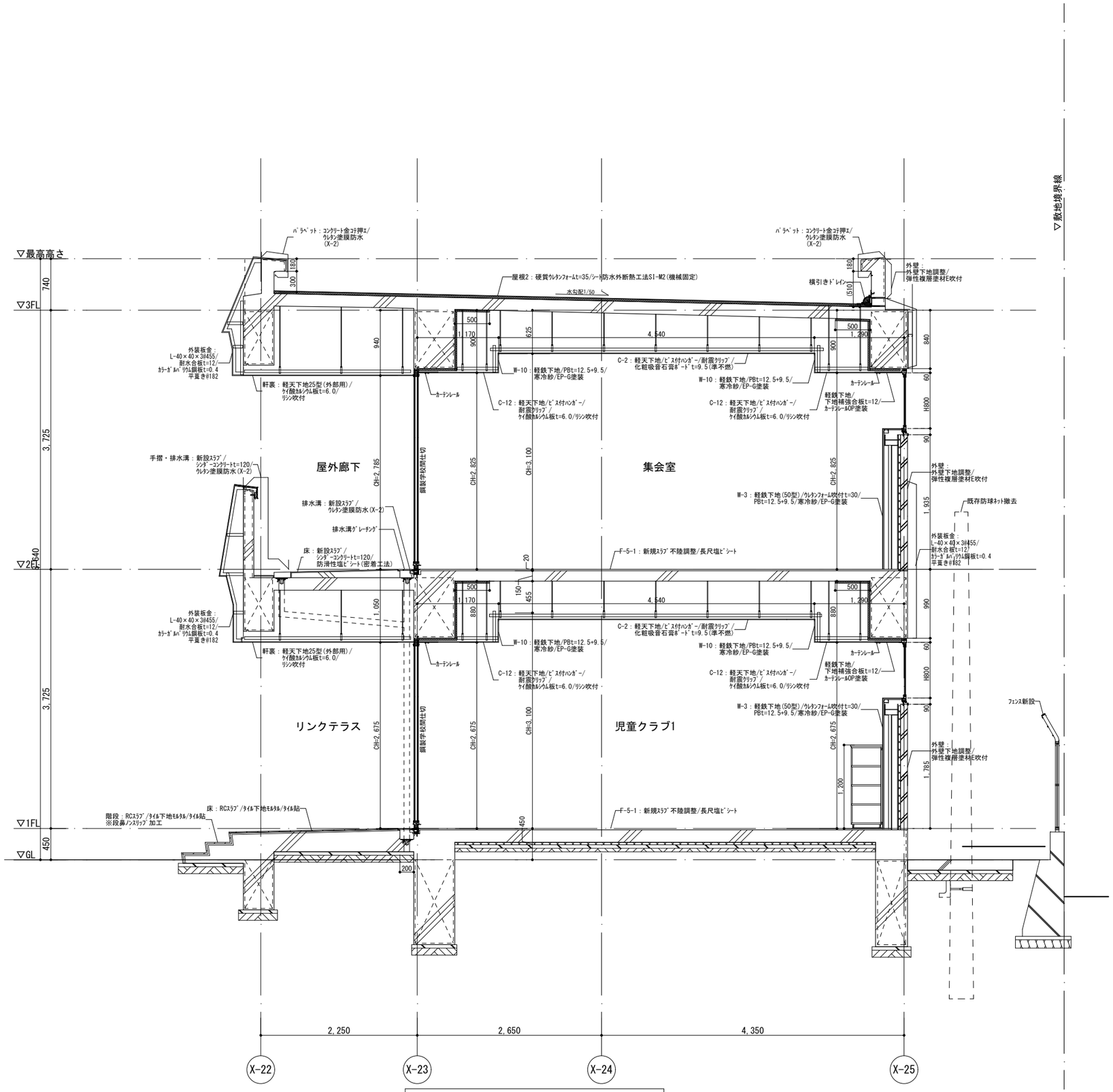


備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A 073
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	中元　翔一	図面名称	平面詳細図17　(R階)	縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)
	月 日		月 日										

凡例																							
壁(W-1)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-10)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-16)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	方位
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/		下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0/		下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整		下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/ 寒冷紗パテしごき		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/ﾗｳﾝ合板t=9.0/	東 北 南 西
壁(W-2)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-14)	仕上げ	化粧有効合板t=9(ｼﾅ合板)目透かし張り(ｼﾅﾃｰﾌﾟ)				
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/ 寒冷紗パテしごき		下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0/		下地	軽鉄下地/ﾗｳﾝ合板t=9.0/		下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0		下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/炭酸ｶﾙｼｳﾑ板t=30+PBt=12.5/ 木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/				
壁(W-3)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-6)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-9)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ	壁(W-12)	仕上げ	EP-G塗装	壁(W-15)	仕上げ	既存のまま				
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/ PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき/		下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整		下地	GL工法/ﾗｳﾝ合板t=9.0/		下地	軽鉄下地/耐火PBt=21+21/寒冷紗パテしごき		下地	既存のまま				



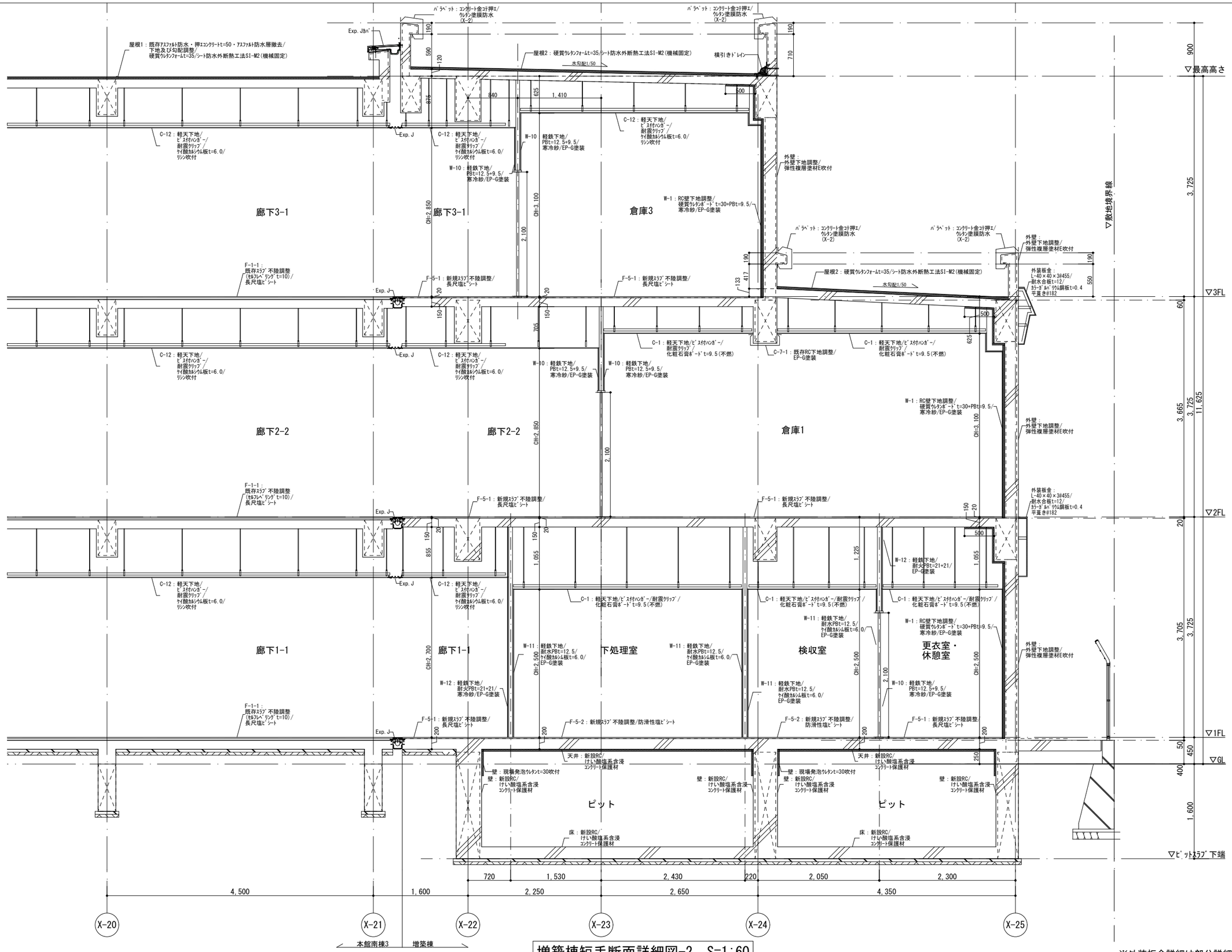
備考														
	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図書	A	074
	月 日		月 日		1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	統括	佐藤 信	製図	中元 翔一	図面名称	平面詳細図18 (R階)	縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)	
	月 日		月 日											



増築棟短手断面詳細図-1　S=1:60

※外装板金詳細は部分詳細図1～5参照

備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-075
	月 日		月 日										
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	検図	佐藤　信	製図	中元　翔一	図面名称	断面詳細図1	縮尺	1/30(A1) 1/60(A3)

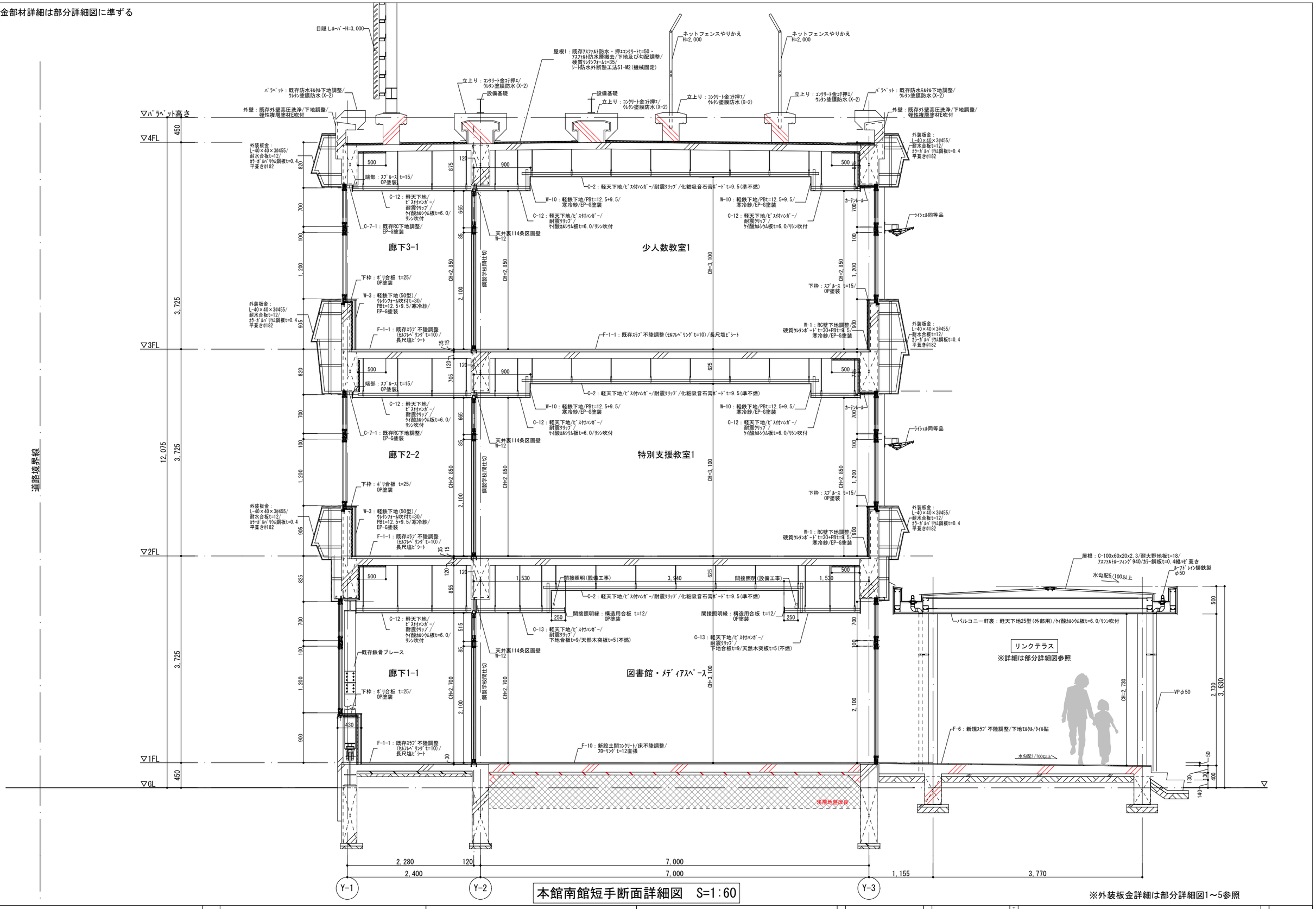


増築棟短手断面詳細図-2　S=1:60

※外装板金詳細は部分詳細図1～5参照

備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-075-2
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	中元　翔一	図面名称	断面詳細図2	縮尺	1/30(A1) 1/60(A3)
	月 日		月 日										

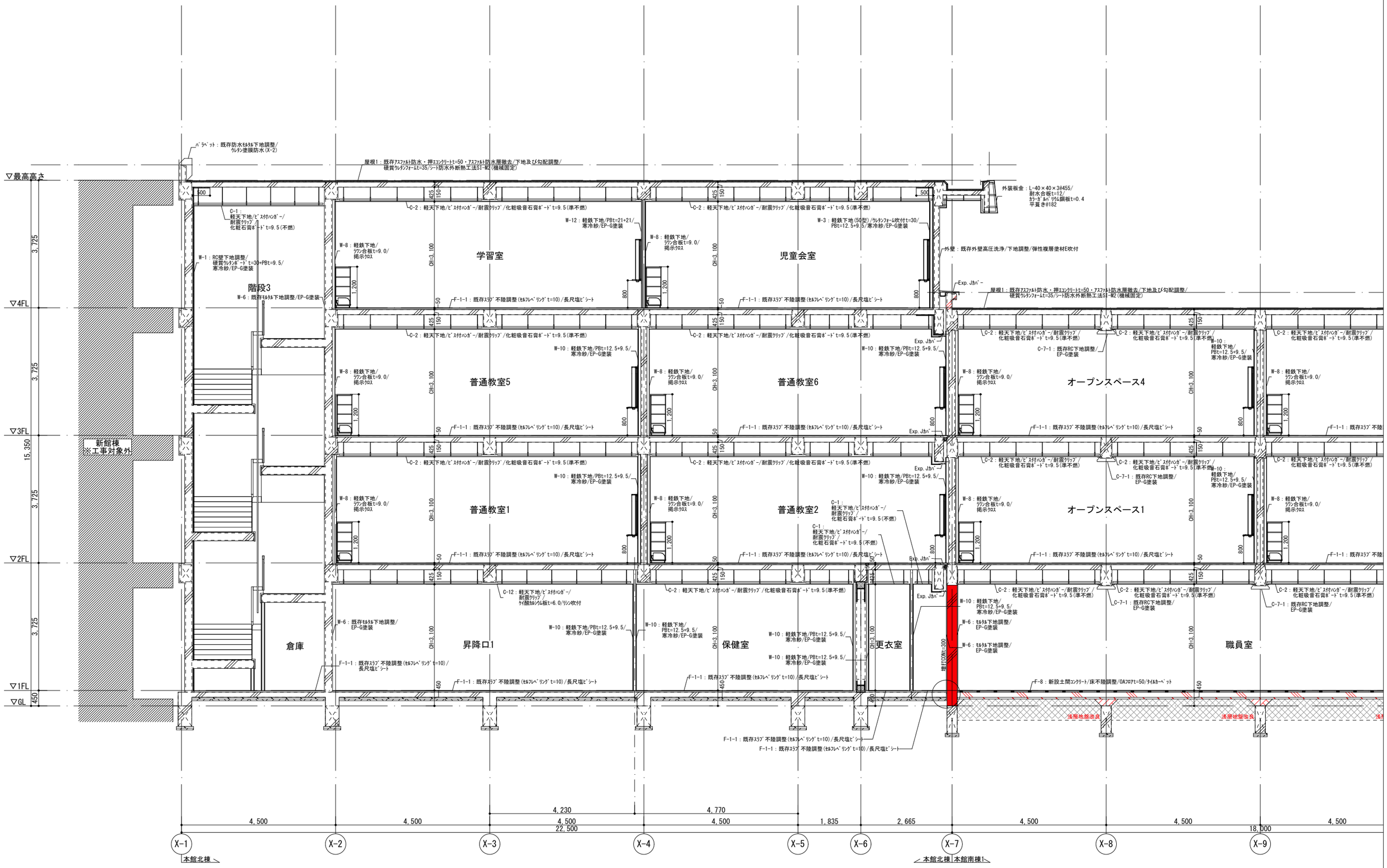
※外装板金部材詳細は部分詳細図に準ずる



本館南館短手断面詳細図　S=1:60

※外装板金詳細は部分詳細図1～5参照

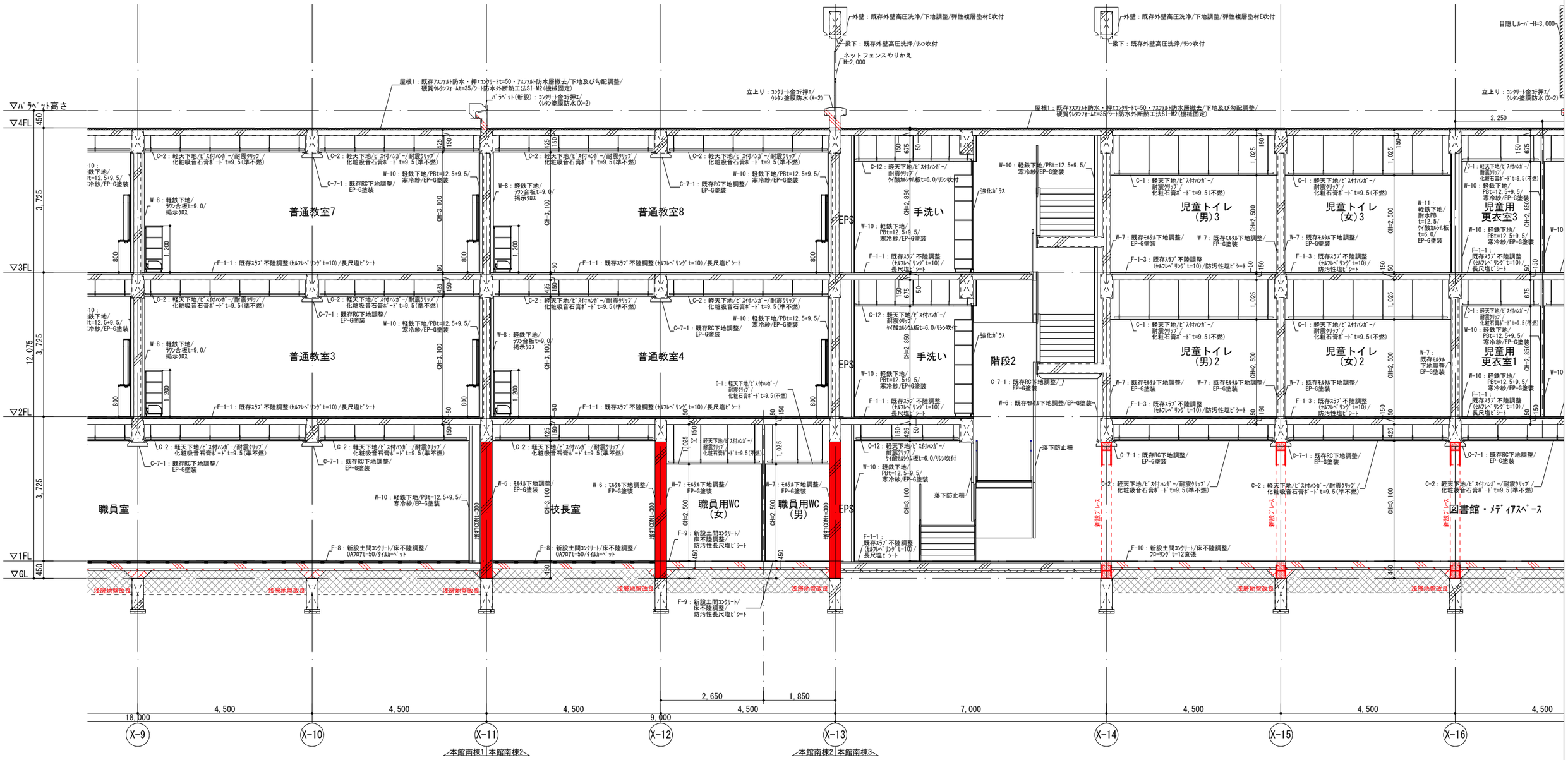
備考	月 日	月 日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-075-3
	月 日	月 日	1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	監修	佐藤　信	製図	中元　翔一	図面名称	断面詳細図3	縮尺	1/30(A1) 1/60(A3)
	月 日	月 日									



長手断面詳細図-1　S=1:100

※外装板金詳細は部分詳細図1～5参照

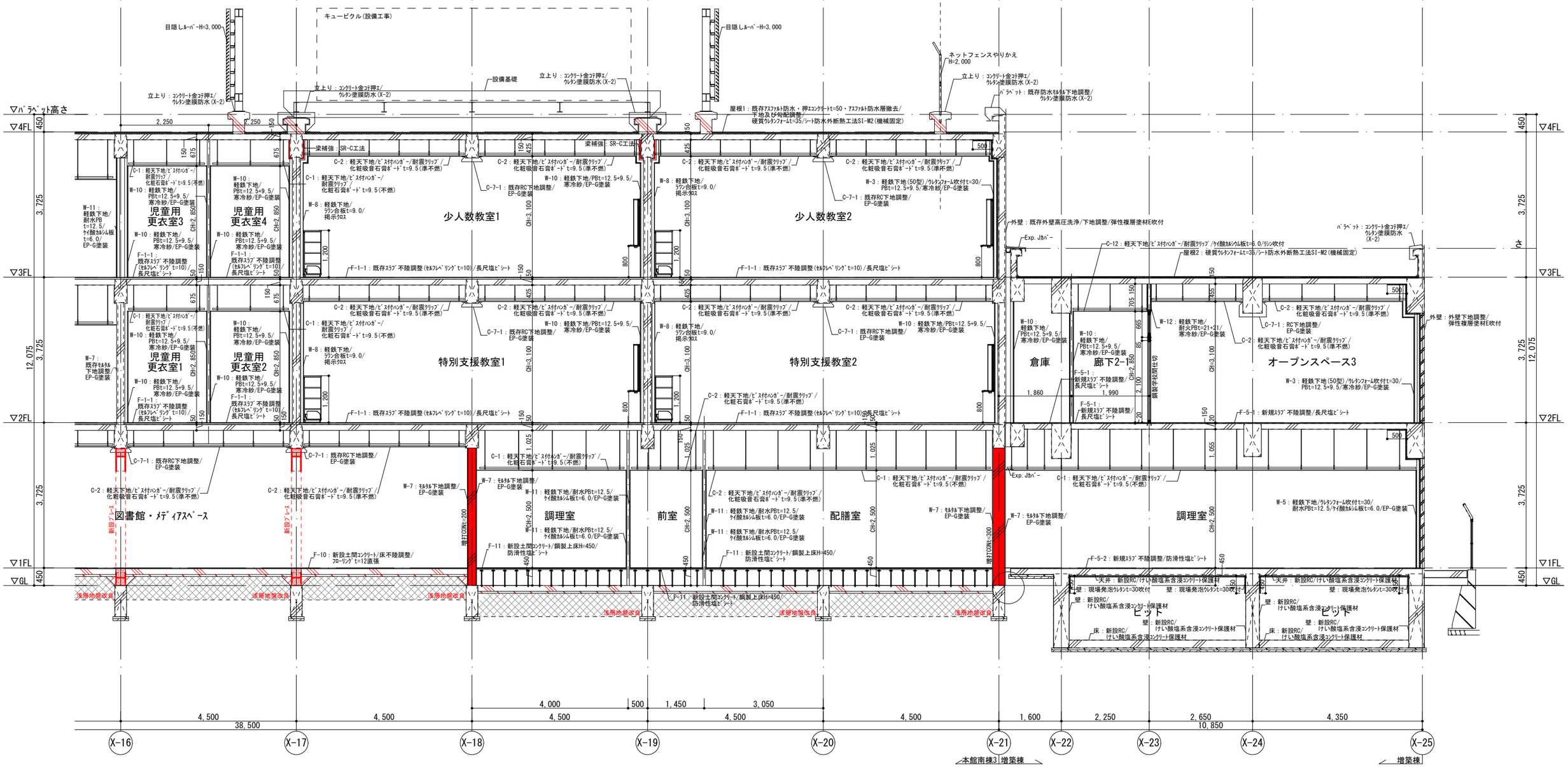
備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-075-4
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	中元　翔一	図面名称	断面詳細図4	縮尺	1/50(A1) 1/100(A3)
	月 日		月 日										



長手断面詳細図-2　S=1:100

※外装板金詳細は部分詳細図1～5参照

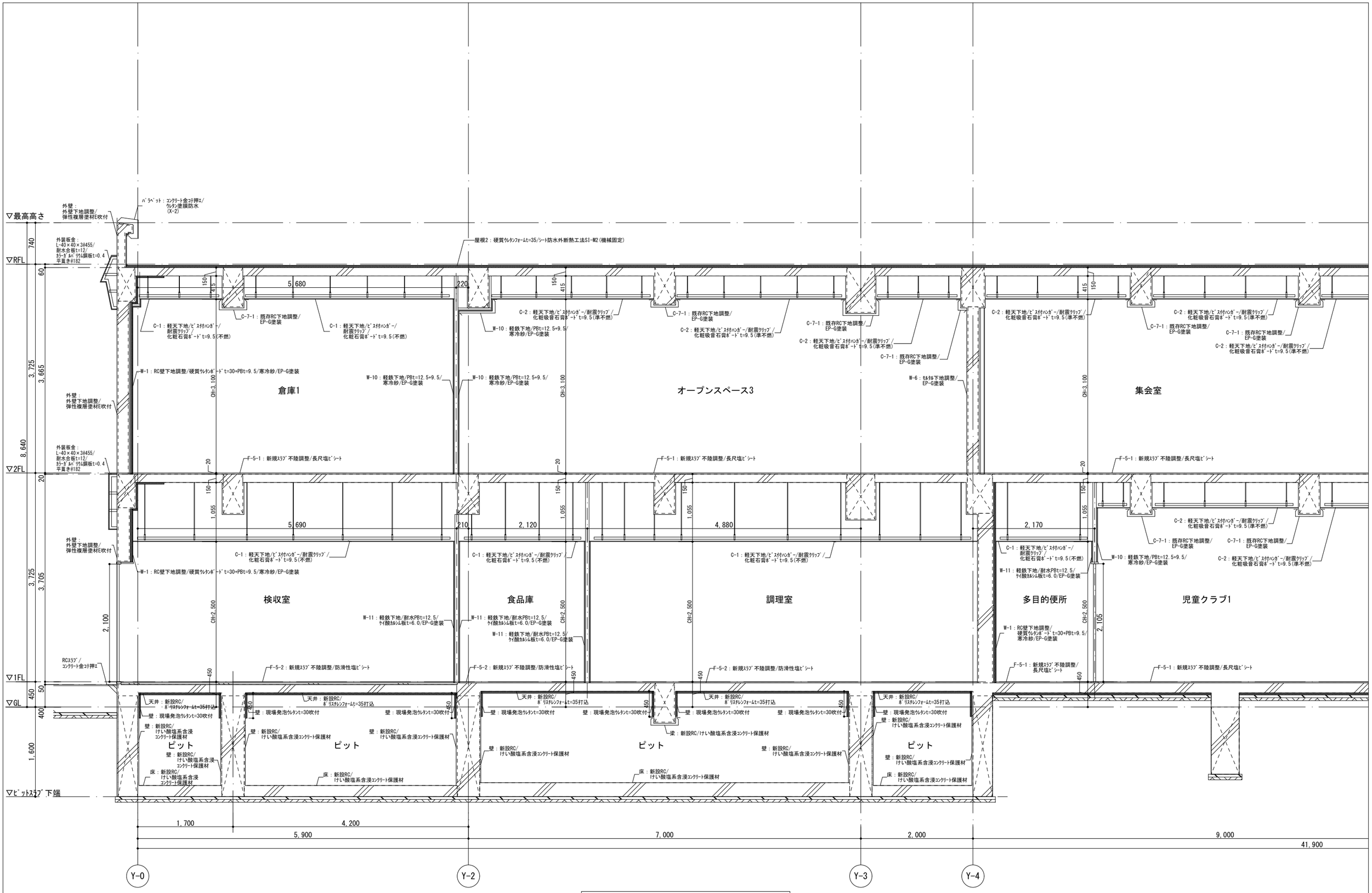
備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-075-5
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	中元　翔一	図面名称	断面詳細図5	縮尺	1/50(A1) 1/100(A3)
	月 日		月 日										



長手断面詳細図-3　S=1:100

※外装板金詳細は部分詳細図1～5参照

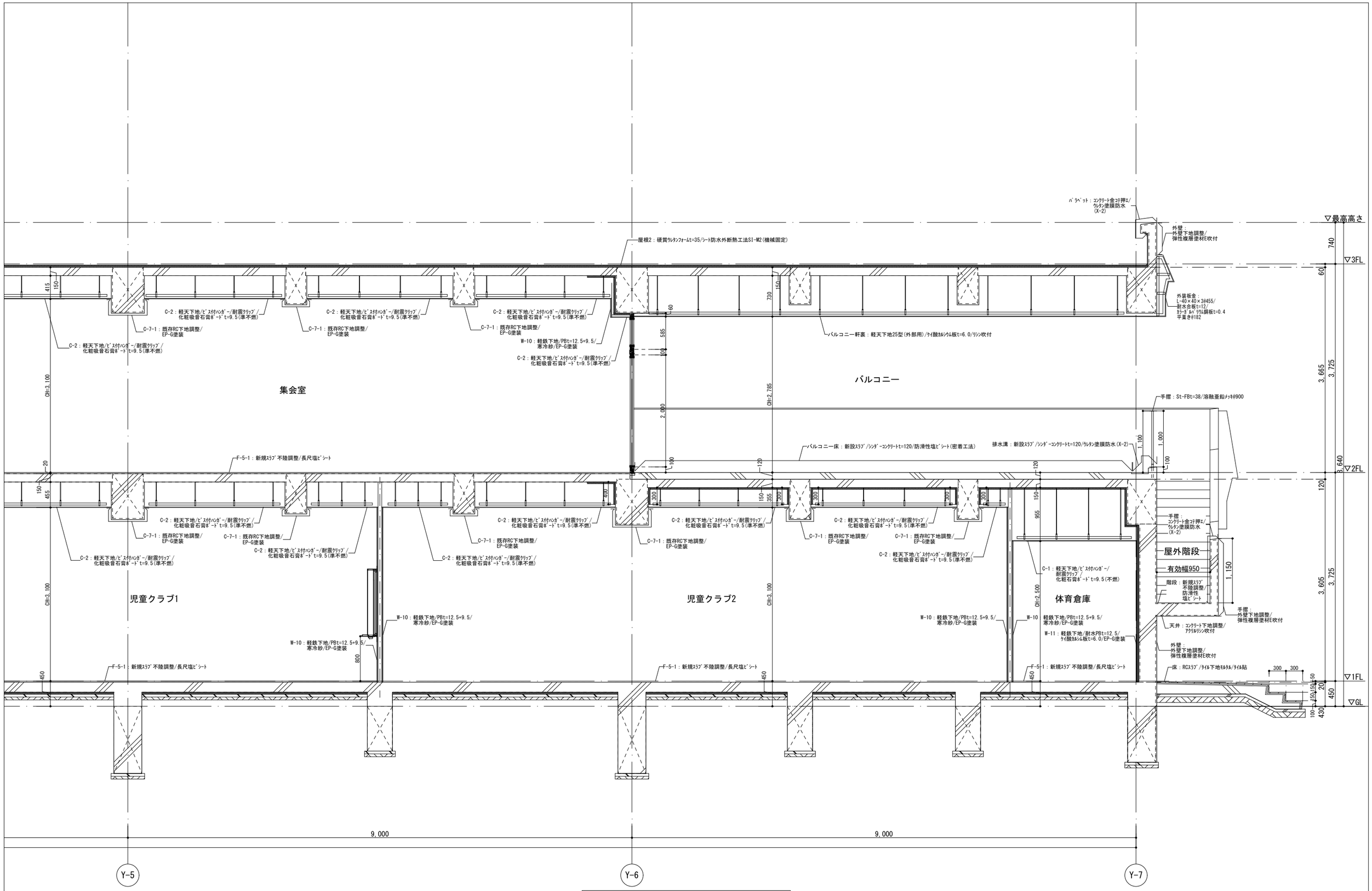
備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-075-6
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	中元　翔一	図面名称	断面詳細図6	縮尺	1/50(A1) 1/100(A3)
	月 日		月 日										



増築棟長手断面詳細図-1　S=1:60

※外装板金詳細は部分詳細図1～5参照

備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-075-7
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	中元　翔一	図面名称	断面詳細図7	縮尺	1/30(A1) 1/60(A3)
	月 日		月 日										

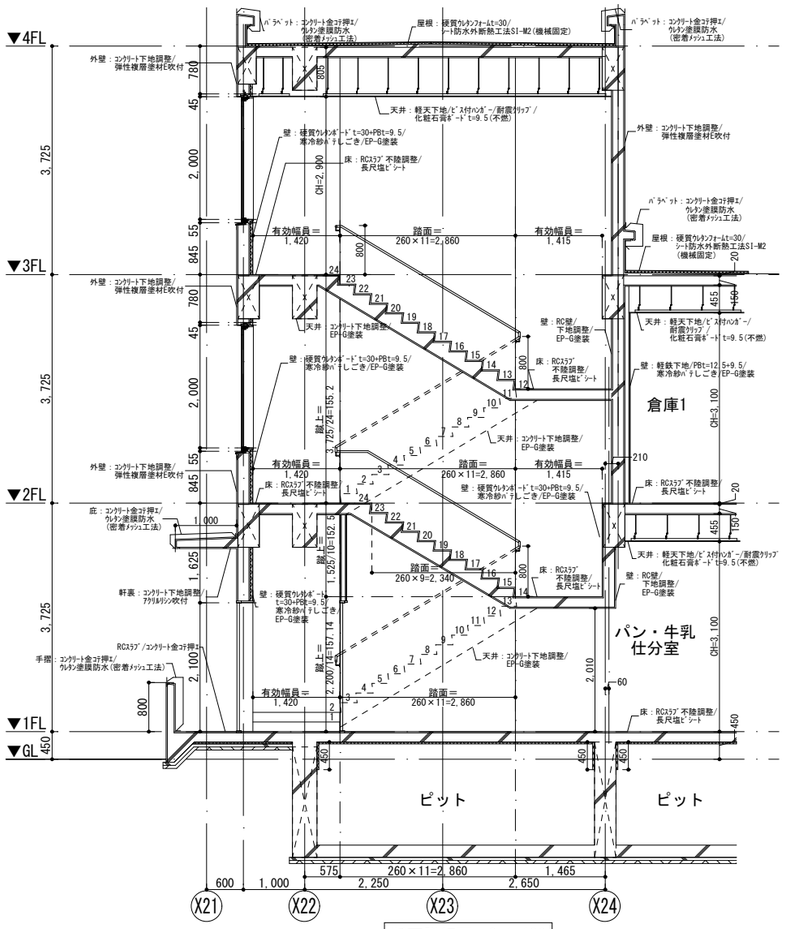


増築棟長手断面詳細図-2　S=1:60

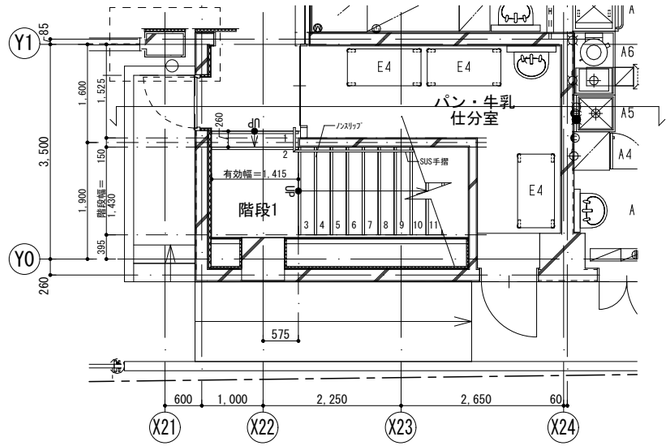
※外装板金詳細は部分詳細図1～5参照

備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-075-8
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	中元　翔一	図面名称	断面詳細図8	縮尺	1/30(A1) 1/60(A3)
	月 日		月 日										

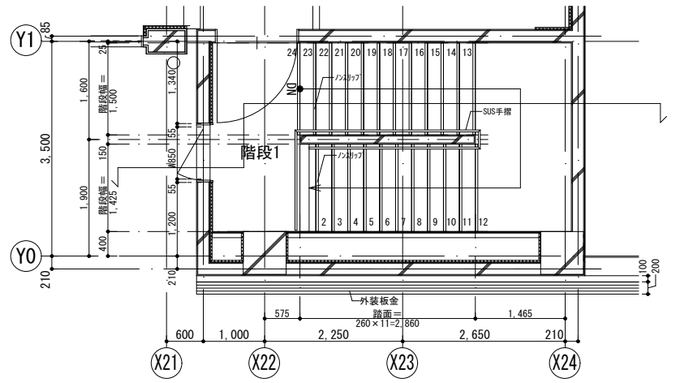
階段1階段詳細図



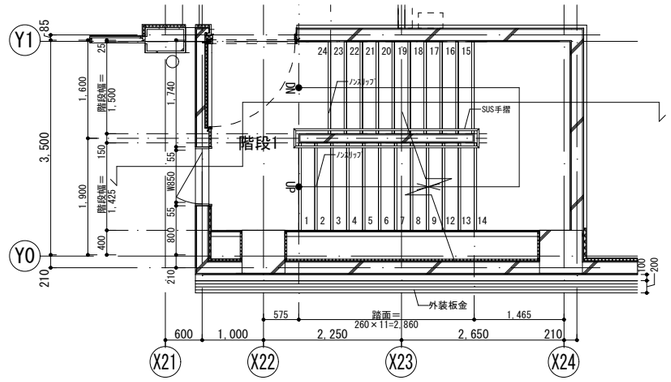
断面詳細図　S=1:100



1階平面詳細図　S=1:100

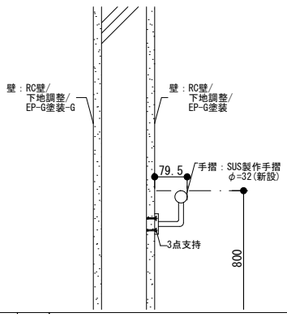


3階平面詳細図　S=1:100

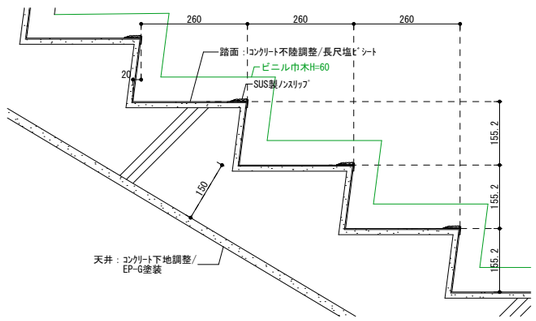


2階平面詳細図　S=1:100

階段1部分詳細図1　S=1:15



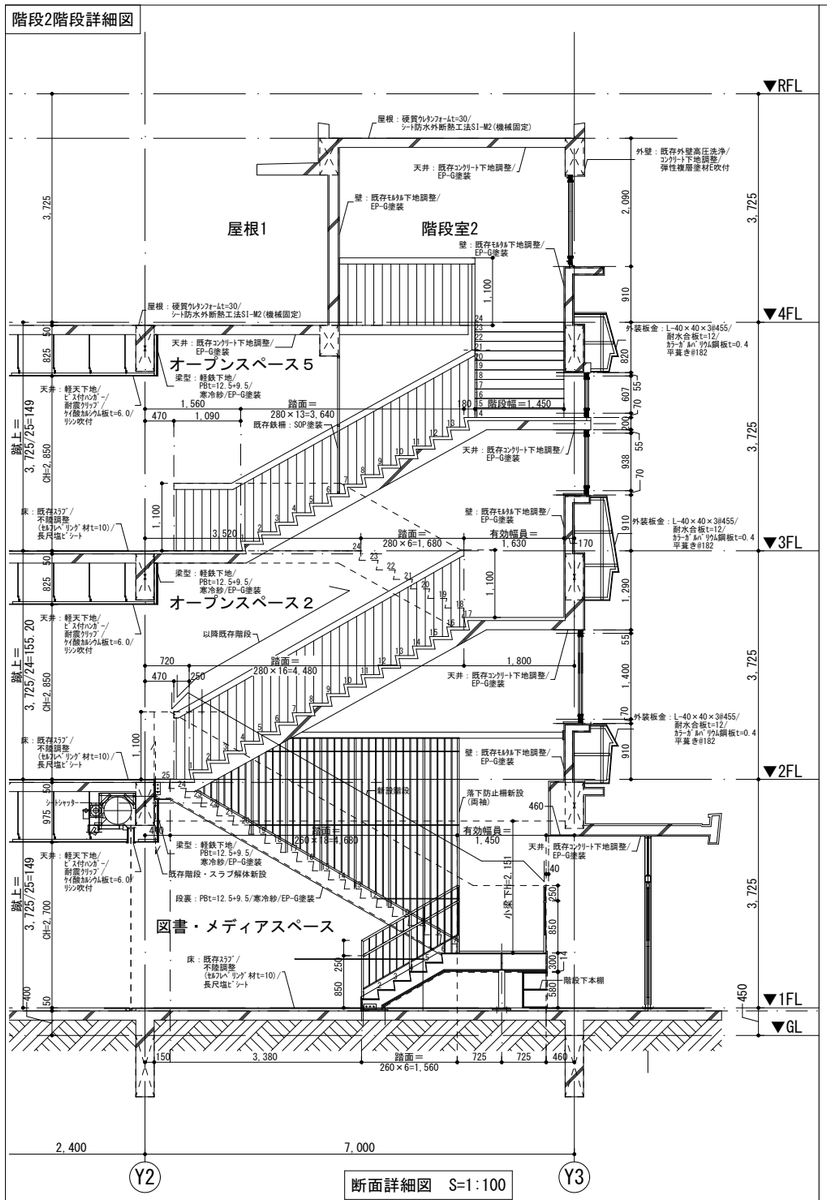
階段1部分詳細図2　S=1:15



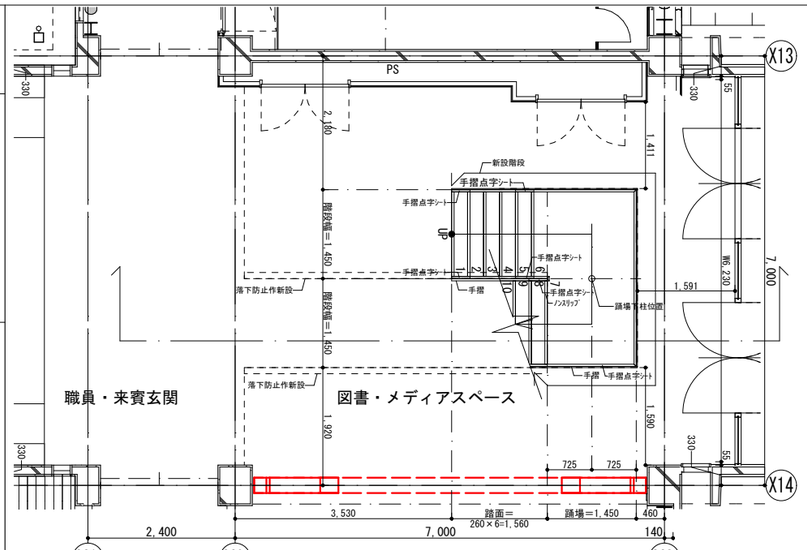
※外装板金詳細は部分詳細図1～5参照

備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-076
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	中元　翔一	図面名称	階段詳細図1(階段1詳細図)	縮尺	
	月 日		月 日										

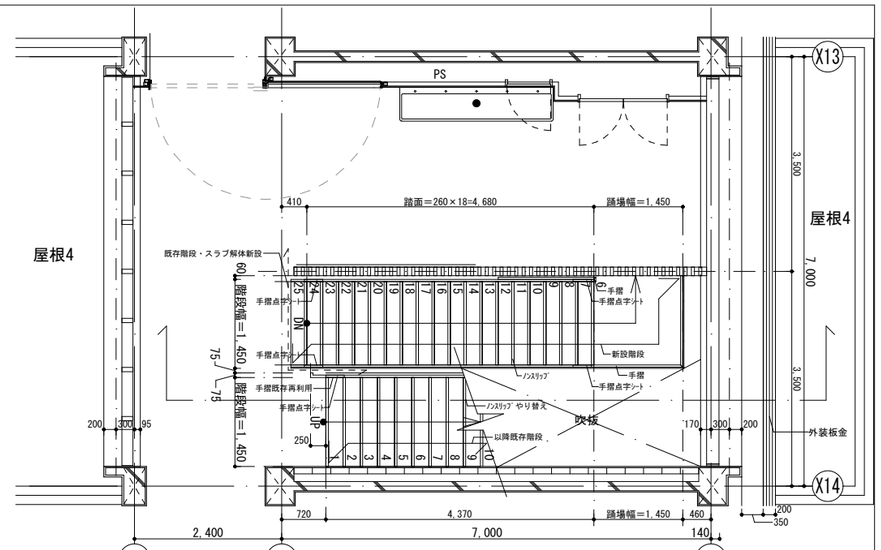
階段2階段詳細図



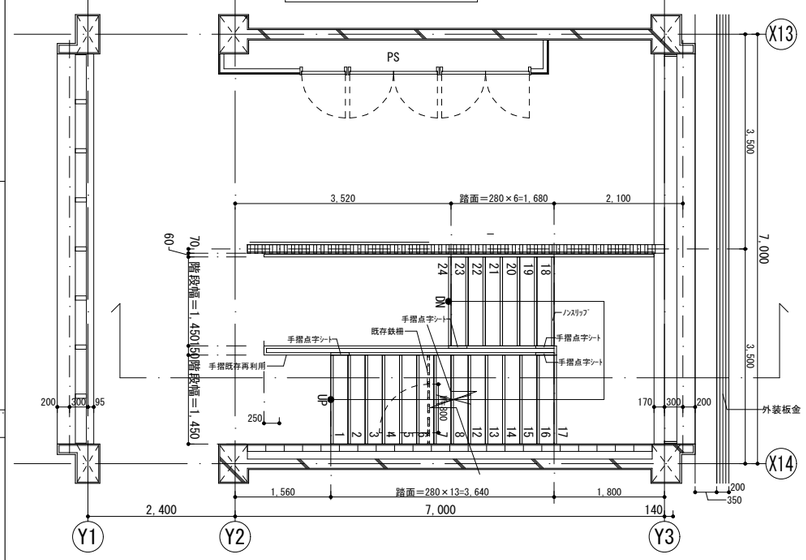
断面詳細図　S=1:100



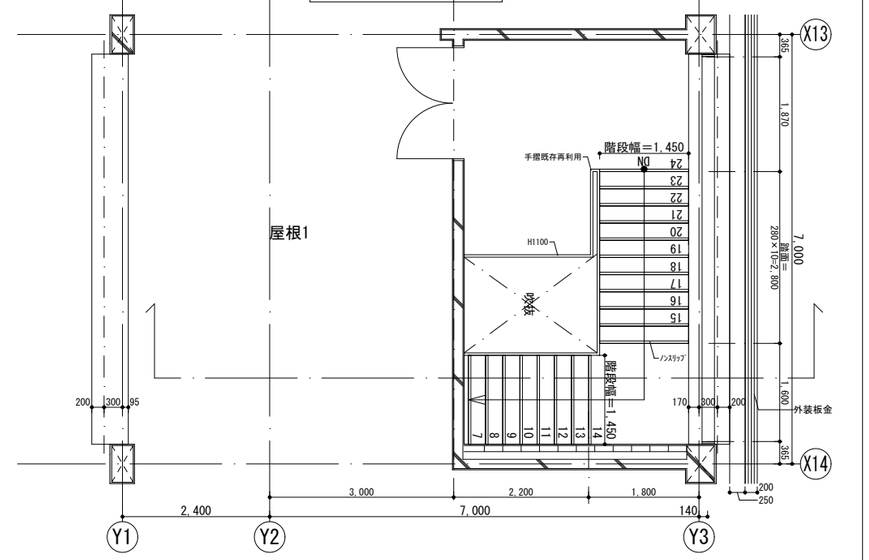
1階平面詳細図　S=1:100



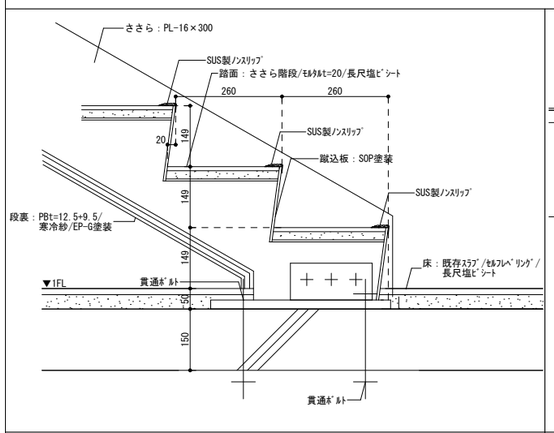
2階平面詳細図　S=1:100



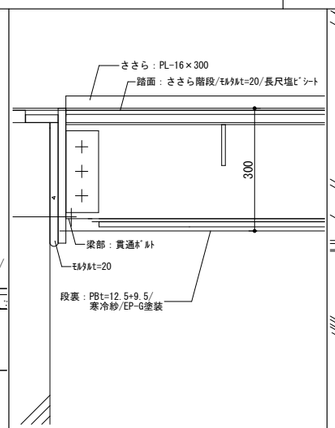
3階平面詳細図　S=1:100



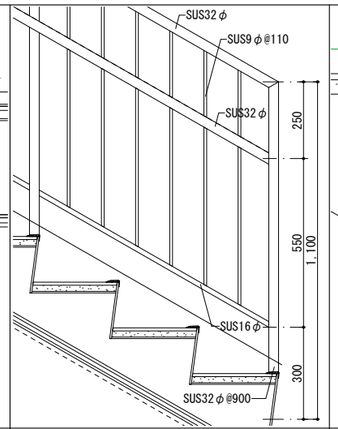
4階平面詳細図　S=1:100



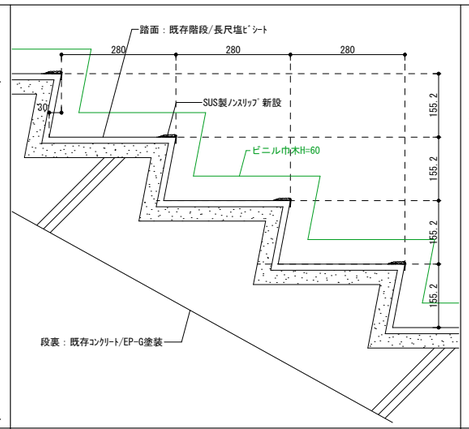
新設鉄骨階段部分詳細図1　S=1:15



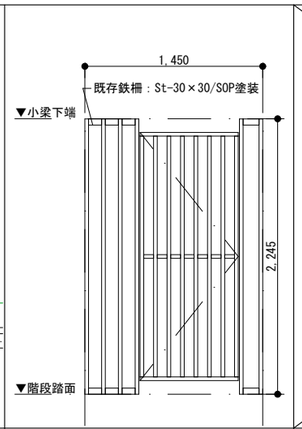
新設鉄骨階段部分詳細図2　S=1:15



新設鉄骨階段部分詳細図3　S=1:20



既存階段部分詳細図1　S=1:15

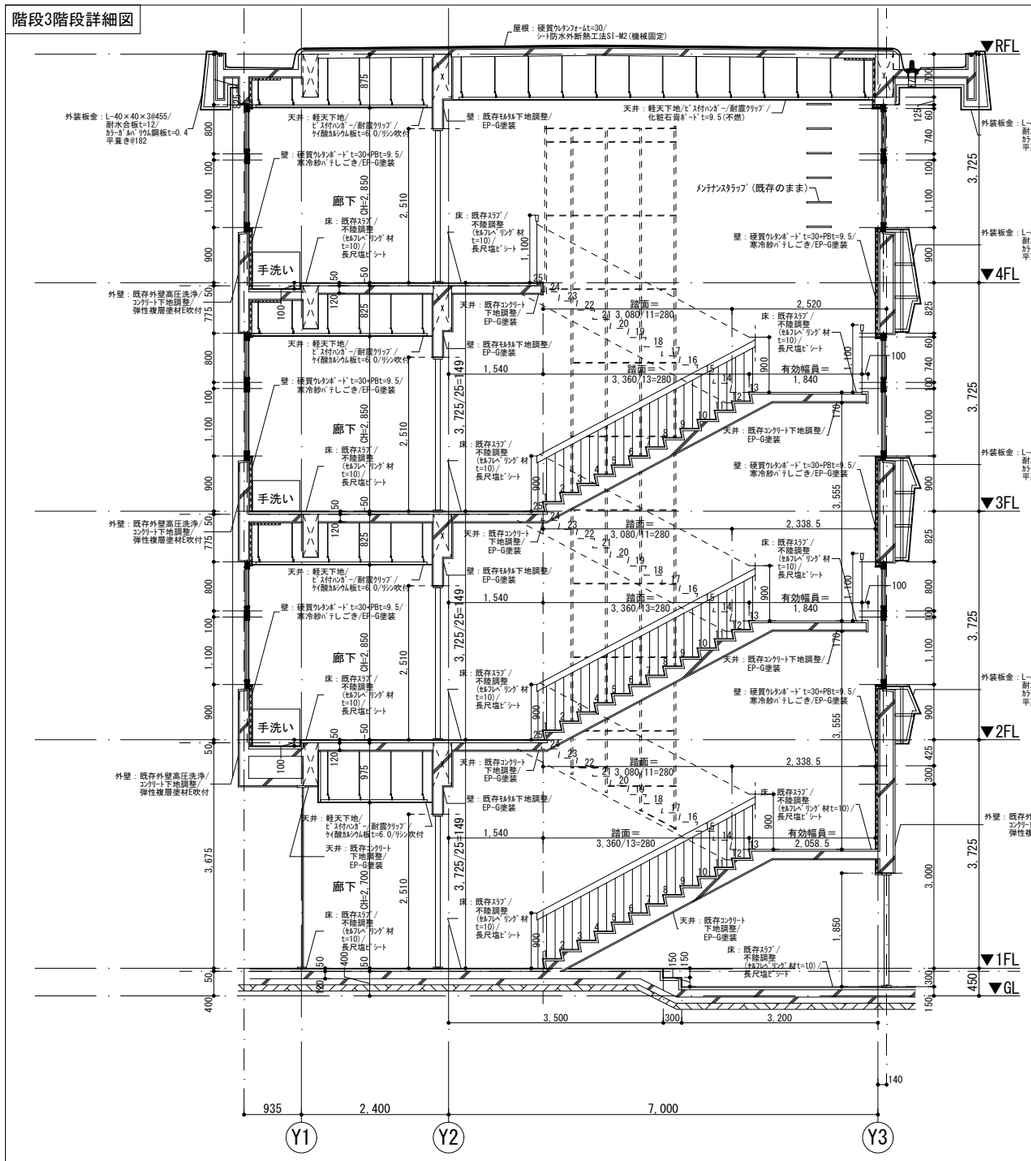


既存鉄柵詳細図　S=1:50

※外装板金詳細は部分詳細図1～5参照

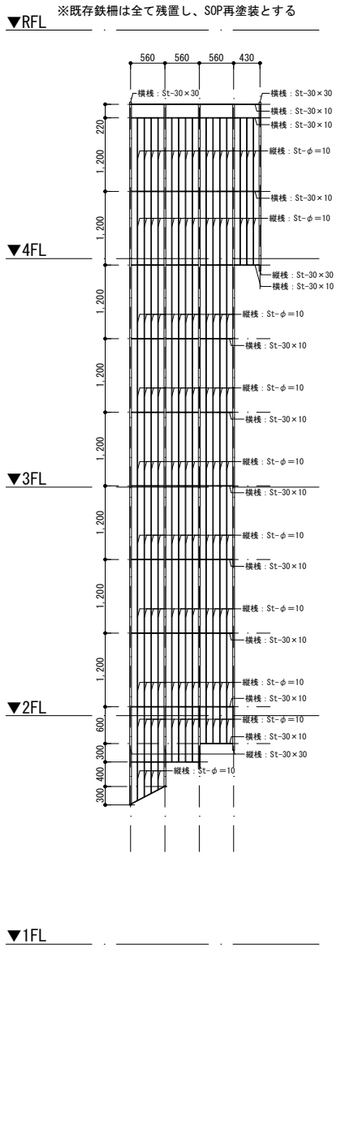
備考													
	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-077
	月 日		月 日										
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	中元　翔一	図面名称	階段詳細図2(階段2詳細図)	縮尺	

階段3階段詳細図

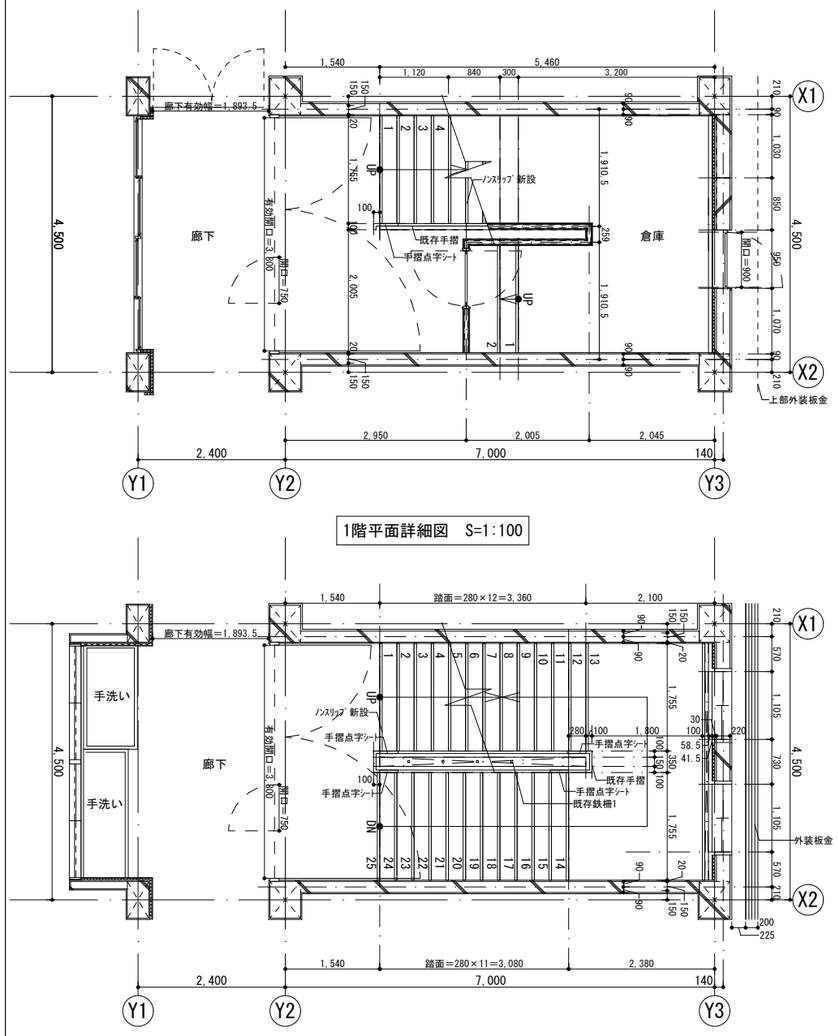


断面詳細図　S=1:100

※既存鉄柵は全て残置し、SOP再塗装とする

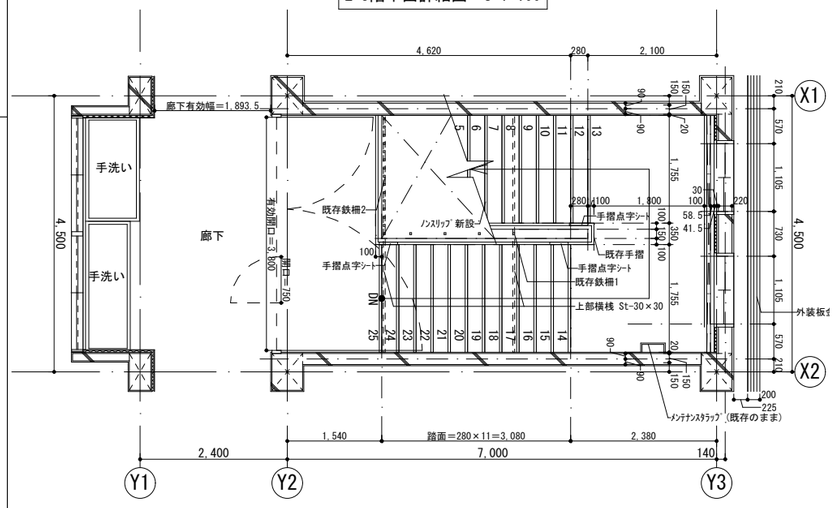


既存鉄柵詳細図1　S=1:100



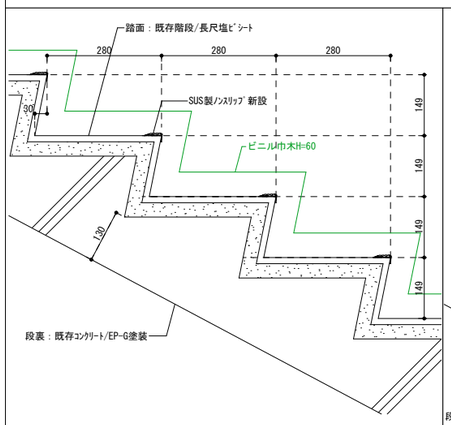
1階平面詳細図　S=1:100

2-3階平面詳細図　S=1:100

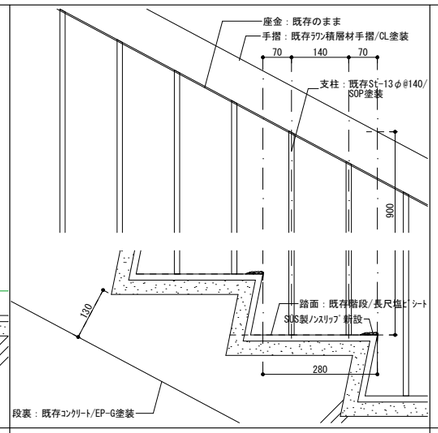


4階平面詳細図　S=1:100

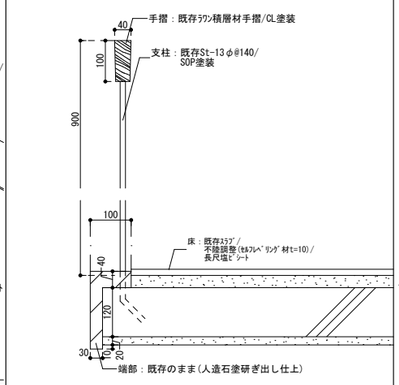
※外装板金詳細は部分詳細図1～5参照



既存階段部分詳細図1　S=1:15

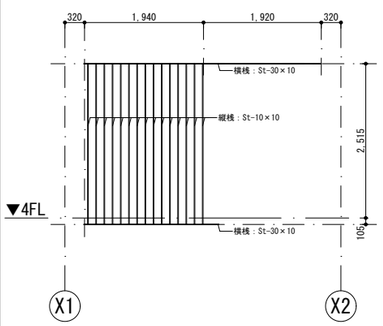


既存階段部分詳細図2　S=1:15



既存階段部分詳細図3　S=1:15

※既存鉄柵は全て残置し、SOP再塗装とする

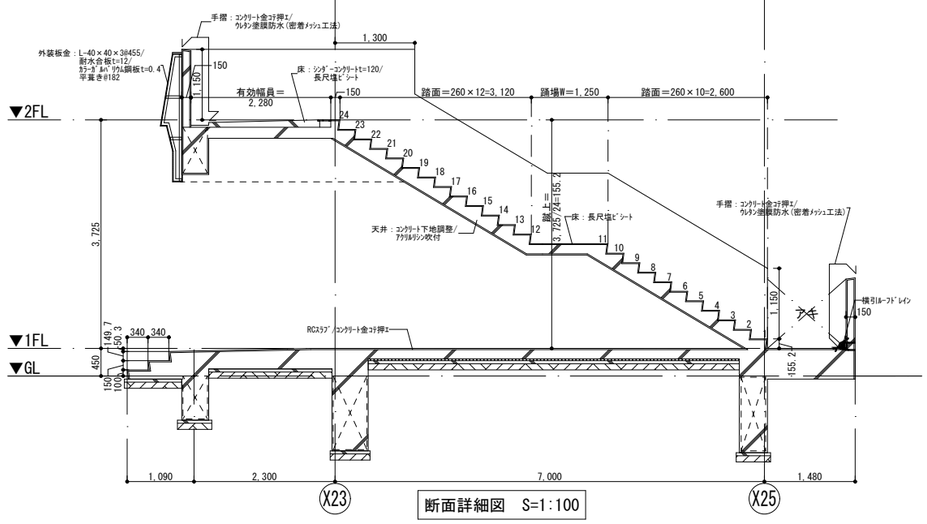


既存鉄柵詳細図2　S=1:100

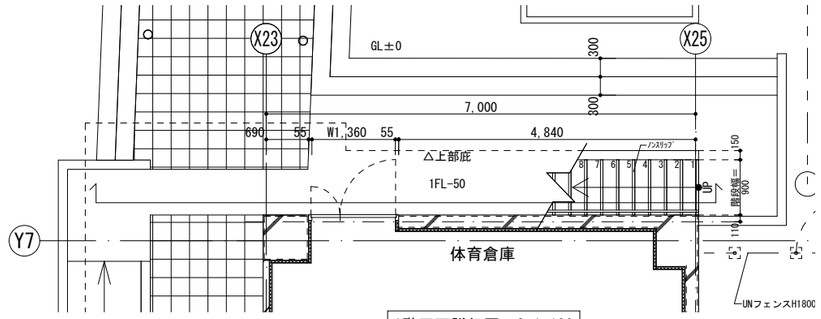
備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	中元　翔一
	月 日		月 日						

工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-078
図面名称	階段詳細図3(階段3詳細図)	縮尺	

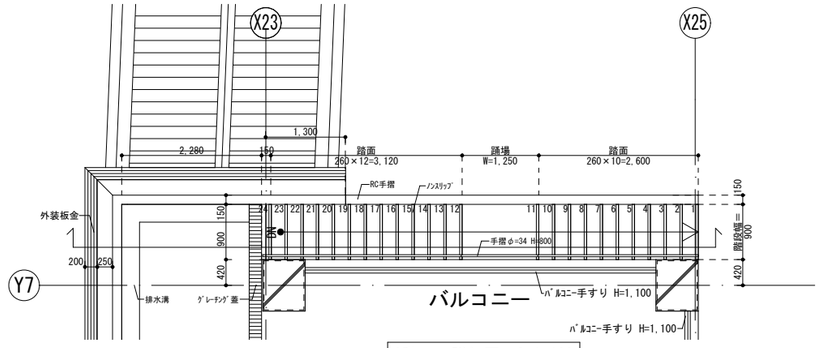
屋外階段1階段詳細図



断面詳細図　S=1:100

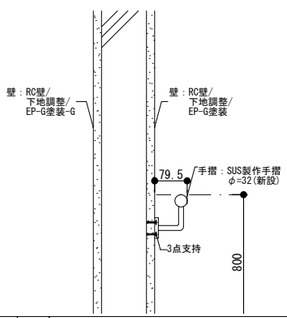


1階平面詳細図　S=1:100

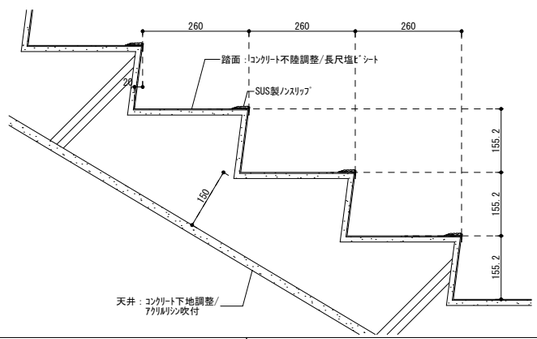


2階平面詳細図　S=1:100

屋外階段1部分詳細図1　S=1:15

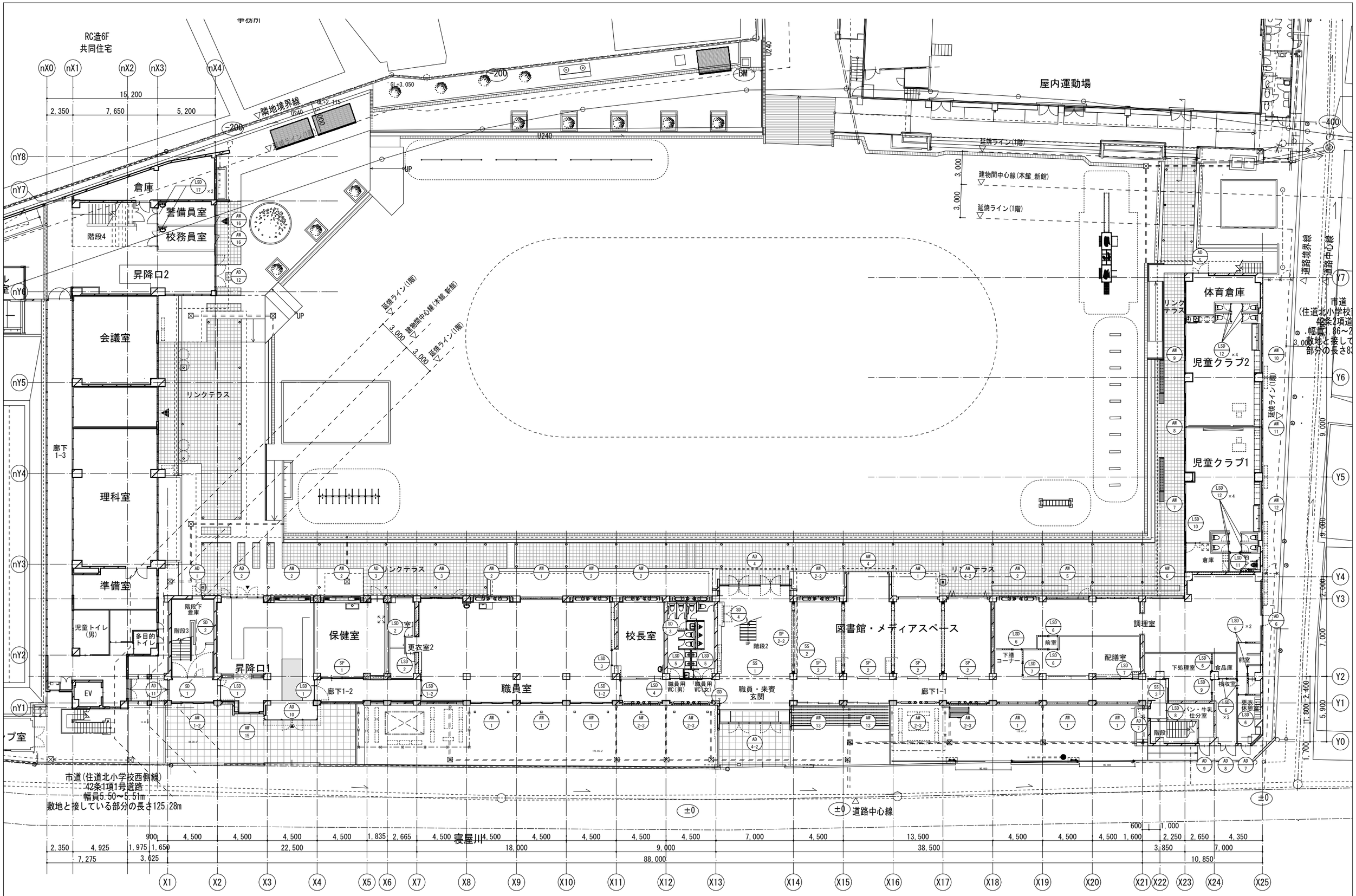


屋外階段1部分詳細図2　S=1:15

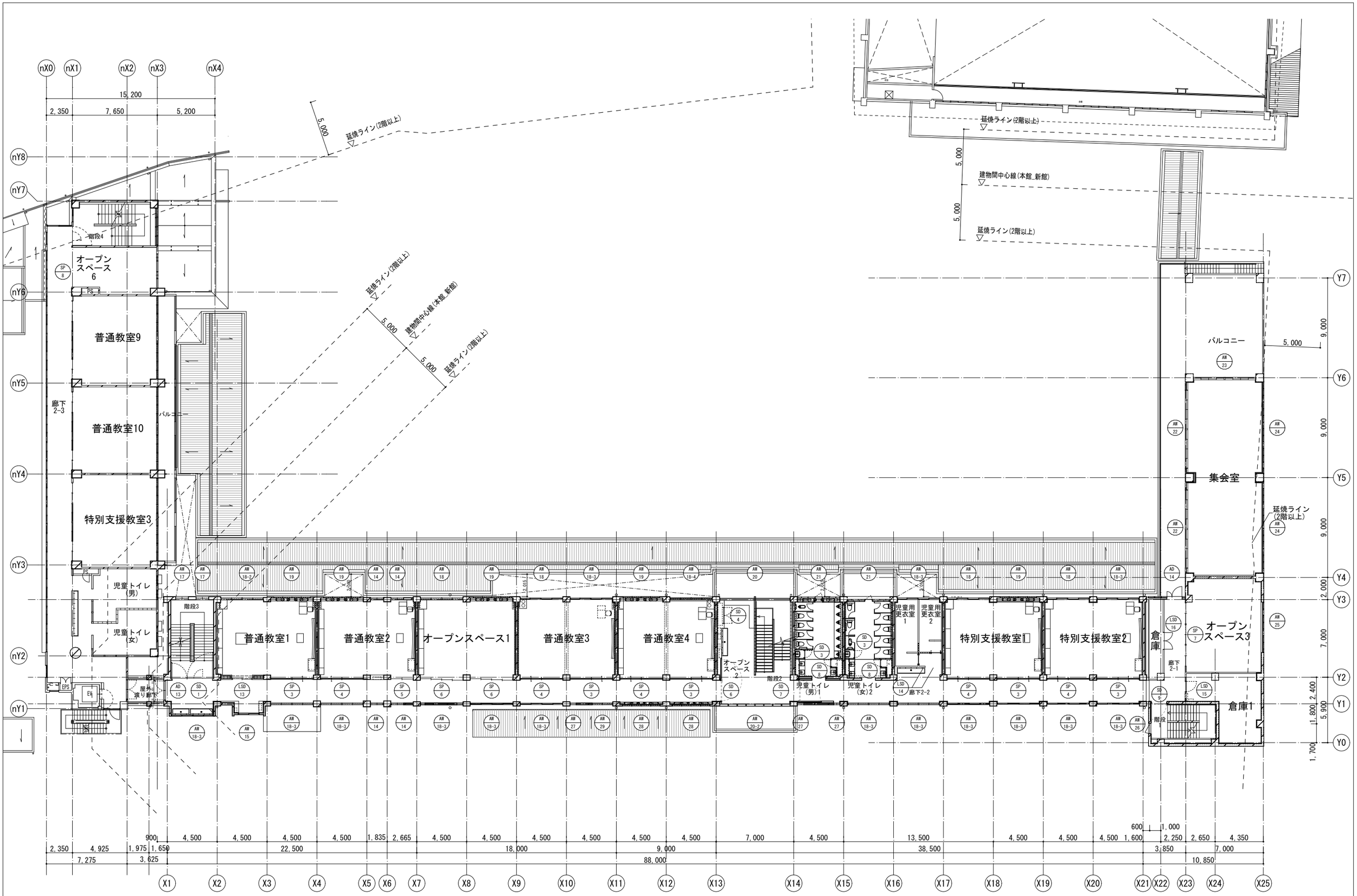


※外装板金詳細は部分詳細図1～5参照

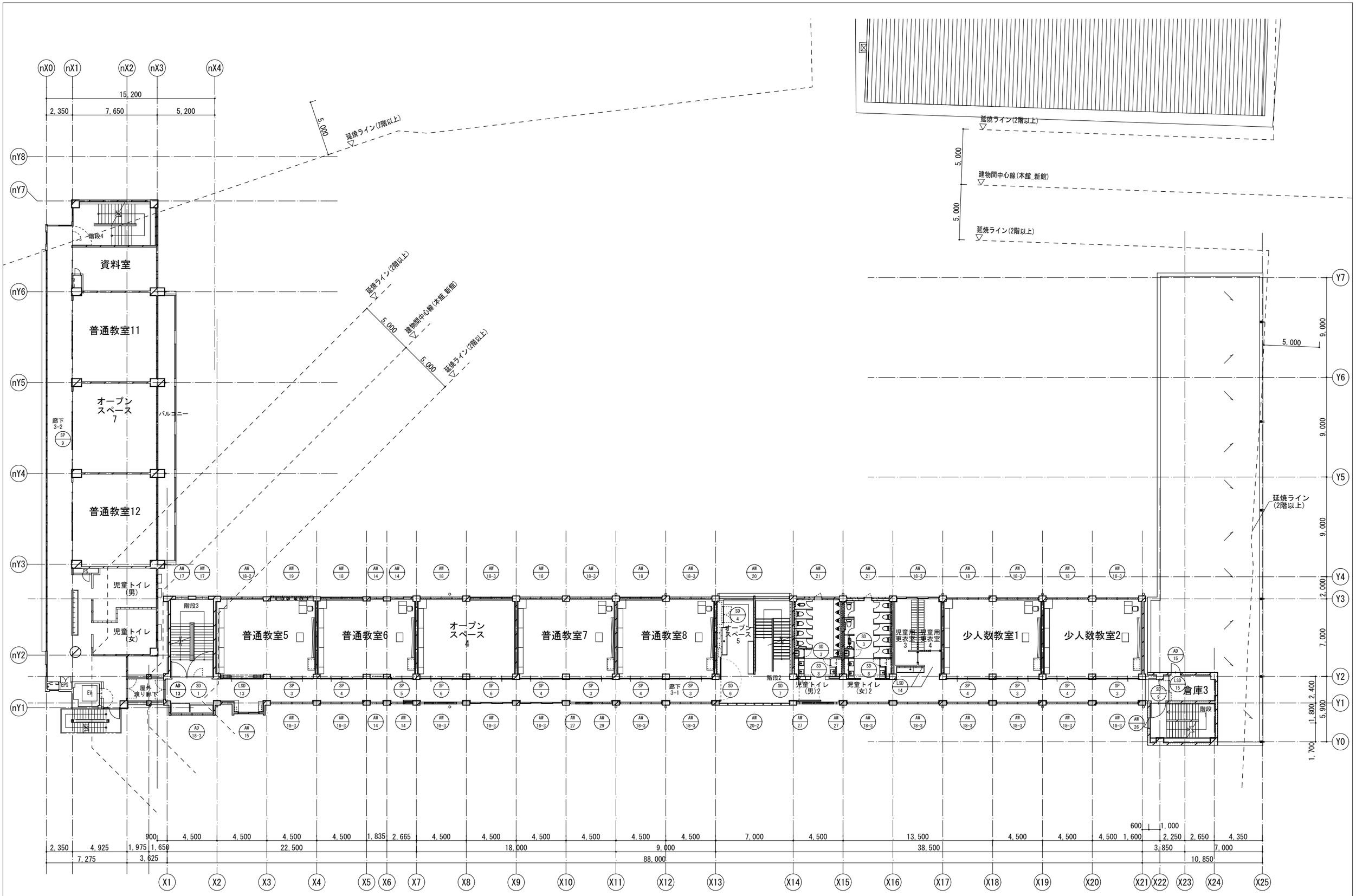
備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-078-2
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	中元　翔一	図面名称	階段詳細図4(屋外階段1)	縮尺	
	月 日		月 日										



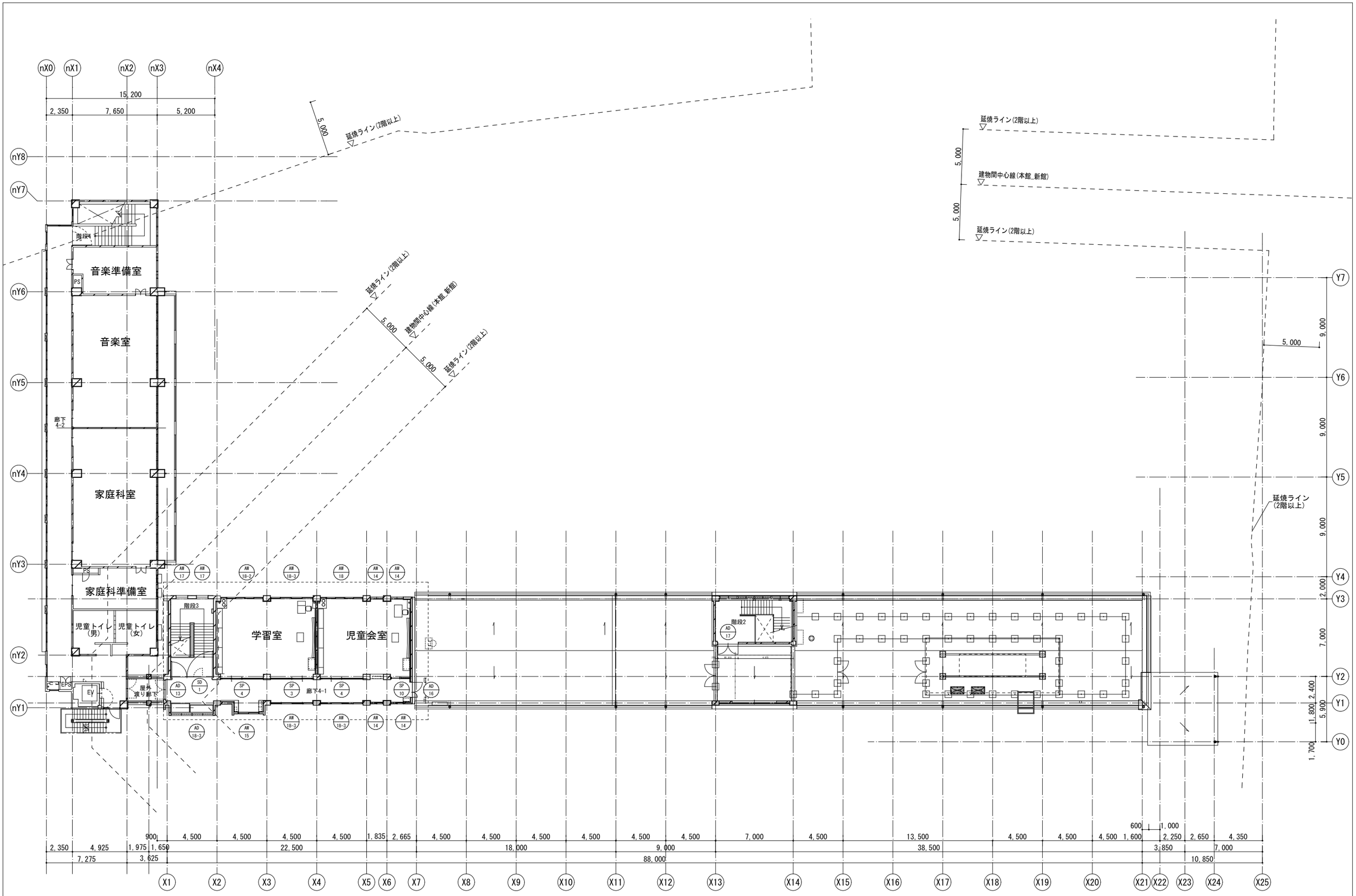
備考	月 日	月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番 A-079
	月 日	月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図		図面名称	建具キープラン-1	縮尺
	月 日	月 日									



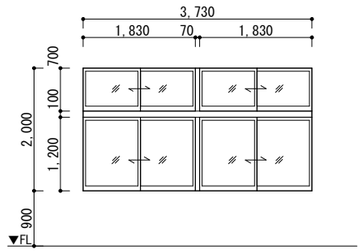
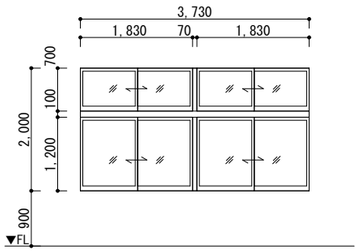
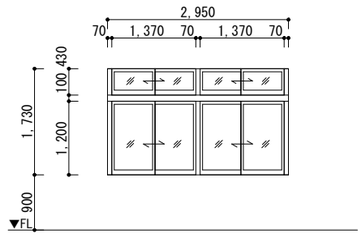
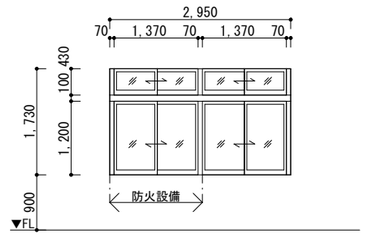
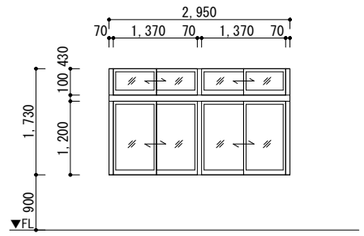
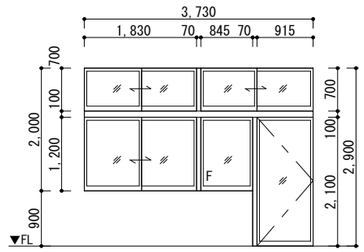
備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-080
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図		図面名称	建具キープラン-2	縮尺	
	月 日		月 日										

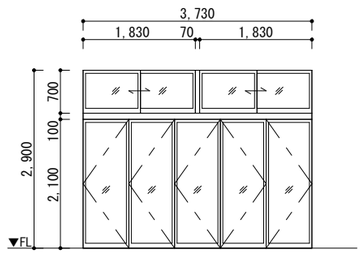
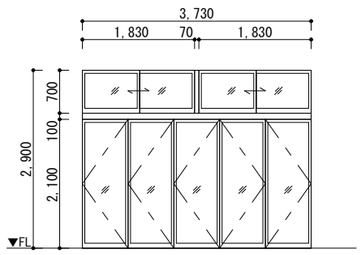
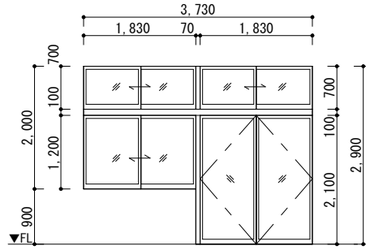
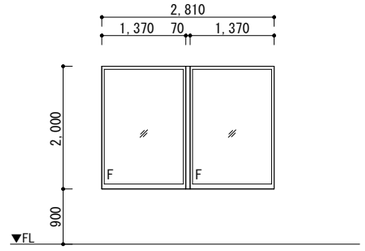
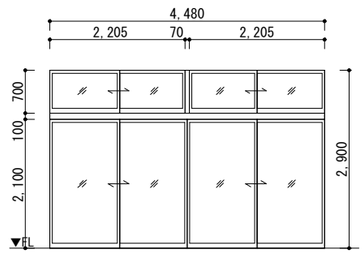


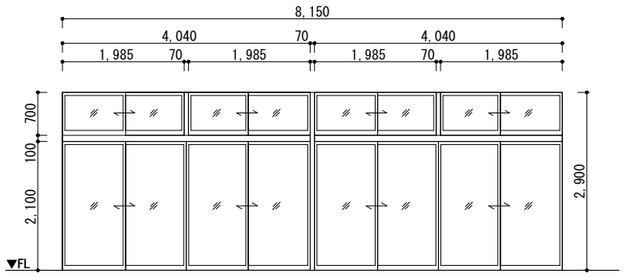
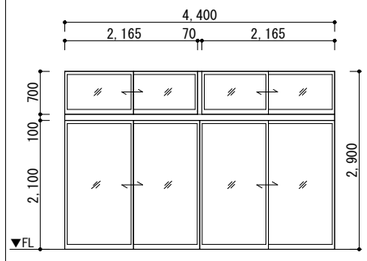
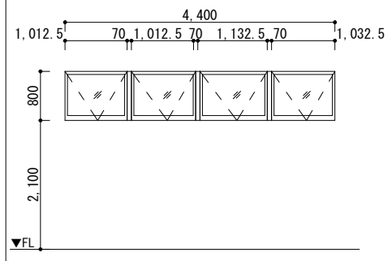
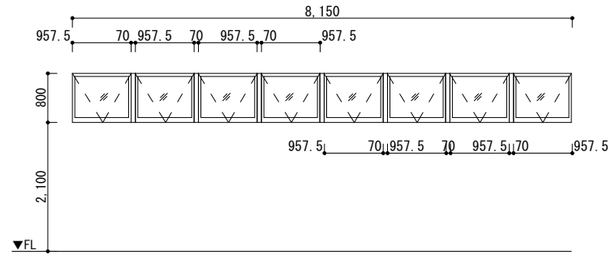
備考	月日	月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-081
	月日	月日	1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図		図面名称	建具キープラン-3	縮尺	
	月日	月日									



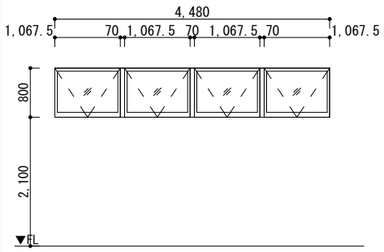
備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-082
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図		図面名称	建具キープラン-4	縮尺	
	月 日		月 日										

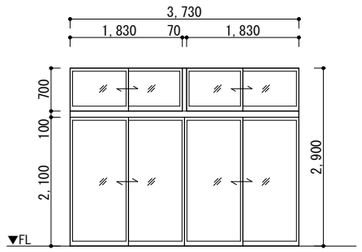
記号	取付場所／	箇所	AW 1	AW 1-2	AW 2	AW 2-2	AW 2-3	AW 3
			1階/職員室(4)、図書館・メディアスペース(1)、廊下1-1(3)	1階/廊下1-2	1階/昇降口1、保健室、職員室(2)、校長室、調理室	1階/図書館・メディアスペース	1階/廊下1-1	1階/職員室
			8	1	6	1	4	1
形状・寸法								
型式			2連2段　引違い窓	2連2段　引違い窓	2連2段　引違い窓	2連2段　引違い窓	2連2段　引違い窓	2連2段　引違い窓+片開き戸
材料・仕上げ			アルミ・アルミ電解着色(枠共)	アルミ・アルミ電解着色(枠共)	アルミ・アルミ電解着色(枠共)	アルミ・アルミ電解着色(枠共)	アルミ・アルミ電解着色(枠共)	アルミ・アルミ電解着色(枠共)
見込			70	70	70	70	70	70
ガラス			透明フロート複層ガラス(TG5＋A6＋FL5)	Low-E、耐熱強化複層ガラス(Low-E5＋A6＋FR6.8)	透明フロート複層ガラス(TG5＋A6＋FL5)	透明フロート複層ガラス(TG5＋A6＋FL5)、防火設備範囲網入りガラス(PW6.8)	透明フロート複層ガラス(TG5＋A6＋FL5)	透明フロート・網入り複層ガラス(TG5＋A6＋FL5)
取手		鍵	ー	ー	ー	ー	ー	ー
			クレセント	クレセント	クレセント	クレセント	クレセント	クレセント
防火			ー	防火設備	ー	ー	ー	ー
網戸		電気錠	なし	なし	なし	なし	なし	なし
			なし	なし	なし	なし	なし	なし
金物 備考			水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、 衝突防止シール

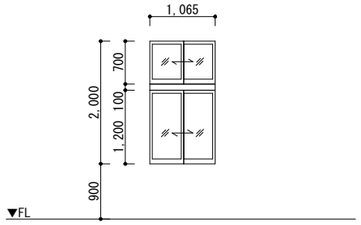
記号	取付場所／	箇所	AW 4	AW 4-2	AW 5	AW 6	AW 7
			1階/図書館・メディアスペース	1階/図書館・メディアスペース	1階/調理室	1階/調理室	1階/児童クラブ2
			1	1	1	1	1
形状・寸法							
型式			2連2段　引違い窓+イスターカーテン	2連2段　引違い窓+イスターカーテン	2連2段　引違い窓+両開き扉	2連　FIX窓	2連2段　引違い窓
材料・仕上げ			アルミ・アルミ電解着色(枠共)	アルミ・アルミ電解着色(枠共)	アルミ・アルミ電解着色(枠共)	アルミ・アルミ電解着色(枠共)	アルミ・アルミ電解着色(枠共)
見込			70	70	70	70	70
ガラス			透明フロート複層ガラス(TG5＋A6＋FL5)	透明フロート複層ガラス(TG5＋A6＋FL5)	透明フロート複層ガラス(TG5＋A6＋FL5)	透明フロート複層ガラス(TG5＋A6＋FL5)	透明フロート複層ガラス(TG5＋A6＋FL5)
取手		鍵	ー	ー	ー	ー	ー
			クレセント	クレセント	クレセント	クレセント	クレセント
防火			ー	ー	ー	ー	ー
網戸		電気錠	なし	なし	なし	なし	なし
			なし	なし	なし	なし	なし
金物 備考			水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、 衝突防止シール	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、 衝突防止シール	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、 衝突防止シール	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、 衝突防止シール

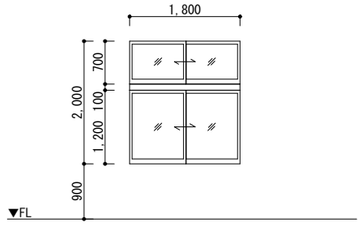
記号	取付場所／	箇所	AW 8	AW 9	AW 10	AW 11
			1階/児童クラブ1・2	1階/児童クラブ1	1階/児童クラブ1	1階/児童クラブ1・2
			1	1	1	1
形状・寸法						
型式			2連2段　引違い窓	2連2段　引違い窓	4連　外倒し窓	8連　外倒し窓
材料・仕上げ			アルミ・アルミ電解着色(枠共)	アルミ・アルミ電解着色(枠共)	アルミ・アルミ電解着色(枠共)	アルミ・アルミ電解着色(枠共)
見込			70	70	70	70
ガラス			透明フロート複層ガラス(TG5＋A6＋FL5)	透明フロート複層ガラス(TG5＋A6＋FL5)	透明フロート複層ガラス(TG5＋A6＋FL5)	透明フロート複層ガラス(TG5＋A6＋FL5)
取手		鍵	ー	ー	ー	ー
			クレセント	クレセント	クレセント	クレセント
防火			ー	ー	ー	ー
網戸		電気錠	なし	なし	あり	あり
			なし	なし	なし	なし
金物 備考			水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、衝突防止シール	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、 衝突防止シール	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式

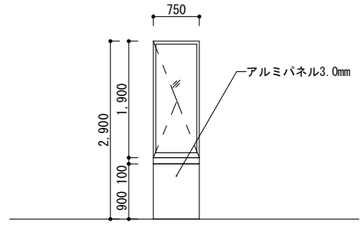
備考												
月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-083
月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	伊藤　高基	図面名称	建具表-1	縮尺	1/50(A1) 1/100(A3)
月 日		月 日										

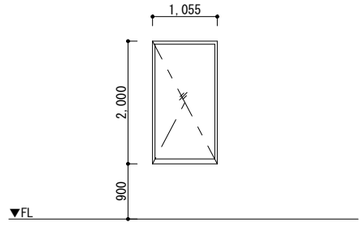
記号	取付場所／	箇所	AW 12	1階/児童クラブ2	1
形状・寸法					
型式			4連　外倒し窓		
材料・仕上げ			アルミ・アルミ電解着色(枠共)		
見込			70		
ガラス			透明フロート複層ガラス(TG5＋A6＋FL5)		
取手		鍵	ー	クレセント	
防火			ー		
網戸	電気錠		あり	なし	
金物備考			水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式		

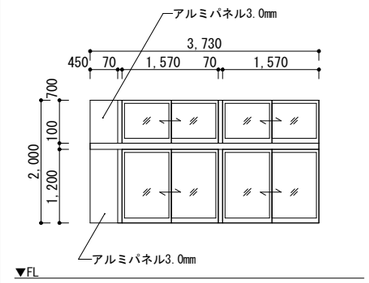
記号	取付場所／	箇所	AW 13	1階/廊下1-1	2
形状・寸法					
型式			2連2段　引違い窓		
材料・仕上げ			アルミ・アルミ電解着色(枠共)		
見込			70		
ガラス			透明フロート複層ガラス(TG5＋A6＋FL5)		
取手		鍵	ー	クレセント	
防火			ー		
網戸	電気錠		なし	なし	
金物備考			水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、衝突防止シール		

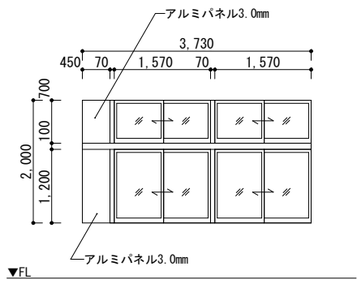
記号	取付場所／	箇所	AW 14	2階/普通教室2、廊下2-2 3階/普通教室6、廊下3-2　4階/児童会室、廊下4-1	12
形状・寸法					
型式			2段　引違い窓		
材料・仕上げ			アルミ・アルミ電解着色(枠共)		
見込			70		
ガラス			透明フロート複層ガラス(TG5＋A6＋FL5)		
取手		鍵	ー	クレセント	
防火			ー		
網戸	電気錠		なし	なし	
金物備考			水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限		

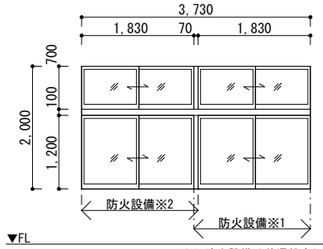
記号	取付場所／	箇所	AW 15	1階/昇降口1　2階/廊下2-2 3階/廊下3-1　4階/廊下4-1	4
形状・寸法					
型式			2段　引違い窓		
材料・仕上げ			アルミ・アルミ電解着色(枠共)		
見込			70		
ガラス			透明フロート複層ガラス(TG5＋A6＋FL5)		
取手		鍵	ー	クレセント	
防火			ー		
網戸	電気錠		なし	なし	
金物備考			水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限		

記号	取付場所／	箇所	AW 16	1階/警備員室、校務員室	2
形状・寸法					
型式			縦滑り出し窓		
材料・仕上げ			アルミ・アルミ電解着色(枠共)		
見込			70		
ガラス			透明フロート複層ガラス(TG5＋A6＋FL5)		
取手		鍵	ー	カムラッチハンドル	
防火			ー		
網戸	電気錠		なし	なし	
金物備考			水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式		

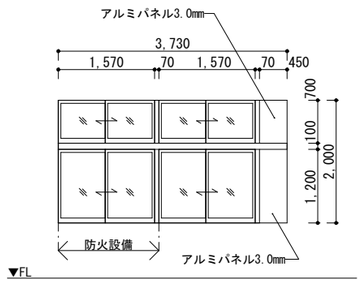
記号	取付場所／	箇所	AW 17	2～4階/階段3	6
形状・寸法					
型式			縦滑り出し窓		
材料・仕上げ			アルミ・アルミ電解着色(枠共)		
見込			70		
ガラス			Low-E、耐熱強化複層ガラス(Low-E5＋A6＋FR6.8)		
取手		鍵	ー	カムラッチハンドル	
防火			防火設備		
網戸	電気錠		あり	なし	
金物備考			水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限		

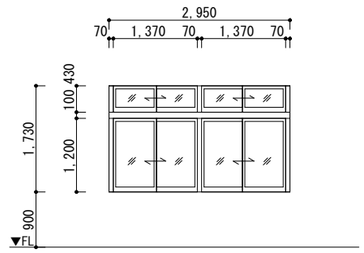
記号	取付場所／	箇所	AW 18	2階/オープンスペース1、普通教室3、特別支援教室1・2 3階/普通教室6～8、オープンスペース4、少人数教室1・2 4階/児童会室	11
形状・寸法					
型式			2連2段　引違い窓		
材料・仕上げ			アルミ・アルミ電解着色(枠共)		
見込			70		
ガラス			透明フロート複層ガラス(TG5＋A6＋FL5)		
取手		鍵	ー	クレセント	
防火			ー		
網戸	電気錠		なし	なし	
金物備考			水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限		

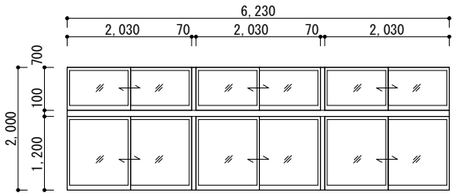
記号	取付場所／	箇所	AW 18-2	2階/普通教室1　3階/普通教室5 4階/学習室	3
形状・寸法					
型式			2連2段　引違い窓		
材料・仕上げ			アルミ・アルミ電解着色(枠共)		
見込			70		
ガラス			Low-E、耐熱強化複層ガラス(Low-E5＋A6＋FR6.8)		
取手		鍵	ー	クレセント	
防火			防火設備		
網戸	電気錠		なし	なし	
金物備考			水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限		

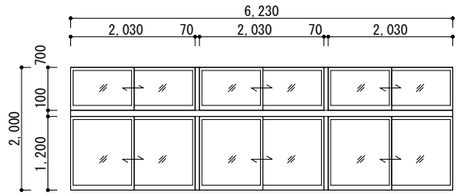
記号	取付場所／	箇所	AW 18-3	2階/普通教室3、児童用更衣室1・2、特別支援教室2、廊下2-2(12) 3階/オープンスペース4、普通教室7・8、児童用更衣室3・4、 少人数教室1・2、廊下3-1(14)　4階/学習室、廊下4-1(3)	39
形状・寸法					
型式			2連2段　引違い窓		
材料・仕上げ			アルミ・アルミ電解着色(枠共)		
見込			70		
ガラス			透明フロート複層ガラス(TG5＋A6＋FL5)、防火設備範囲網入りガラス(PW6.8)		
取手		鍵	ー	クレセント	
防火			ー		
網戸	電気錠		なし	なし	
金物備考			水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限		

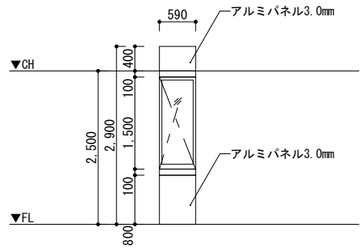
※1:防火設備は普通教室8のみ該当
※2:防火設備は階段2(竪穴区画)隣接部のみ該当(1箇所)

記号	取付場所／	箇所	AW 18-4	2階/普通教室4	1
形状・寸法					
型式			2連2段　引違い窓		
材料・仕上げ			アルミ・アルミ電解着色(枠共)		
見込			70		
ガラス			透明フロート複層ガラス(TG5＋A6＋FL5)、防火設備範囲網入りガラス(PW6.8)		
取手		鍵	ー	クレセント	
防火			ー		
網戸	電気錠		なし	なし	
金物備考			水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限		

記号	取付場所／	箇所	AW 19	2階/普通教室1・2・4、オープンスペース1、 特別支援教室1　3階/普通教室5	6
形状・寸法					
型式			2連2段　引違い窓		
材料・仕上げ			アルミ・アルミ電解着色(枠共)		
見込			70		
ガラス			透明フロート複層ガラス(TG5＋A6＋FL5)		
取手		鍵	ー	クレセント	
防火			ー		
網戸	電気錠		なし	なし	
金物備考			水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限		

記号	取付場所／	箇所	AW 20	2階/階段2、オープンスペース2 3階/階段2、オープンスペース5	2
形状・寸法					
型式			3連2段　引違い窓		
材料・仕上げ			アルミ・アルミ電解着色(枠共)		
見込			70		
ガラス			透明フロート複層ガラス(TG5＋A6＋FL5)		
取手		鍵	ー	クレセント	
防火			ー		
網戸	電気錠		なし	なし	
金物備考			水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限		

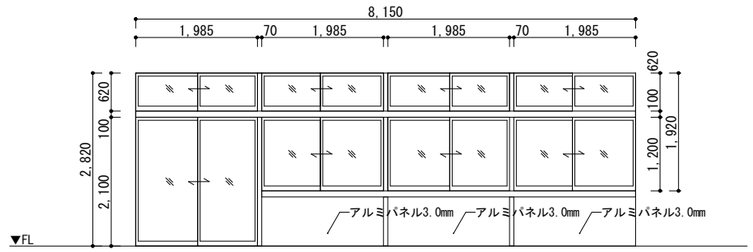
記号	取付場所／	箇所	AW 20-2	2階/廊下2-2　3階/廊下3-1	2
形状・寸法					
型式			3連2段　引違い窓		
材料・仕上げ			アルミ・アルミ電解着色(枠共)		
見込			70		
ガラス			透明フロート複層ガラス(TG5＋A6＋FL5)		
取手		鍵	ー	クレセント	
防火			ー		
網戸	電気錠		なし	なし	
金物備考			水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限		

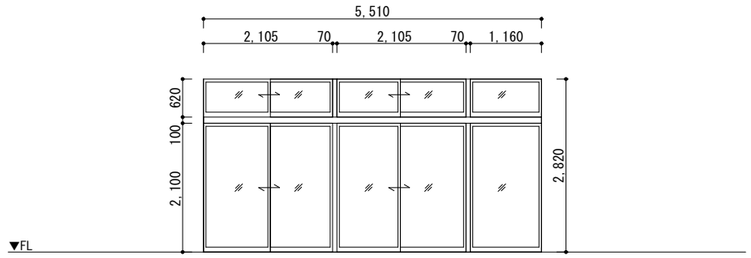
記号	取付場所／	箇所	AW 21	2階/児童トイレ(男)1(女)1 3階/児童トイレ(男)2(女)2	4
形状・寸法					
型式			縦滑り出し窓		
材料・仕上げ			アルミ・アルミ電解着色(枠共)		
見込			70		
ガラス			透明フロート複層ガラス(TG5＋A6＋FL5)		
取手		鍵	ー	カムラッチハンドル	
防火			ー		
網戸	電気錠		なし	なし	
金物備考			水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限		

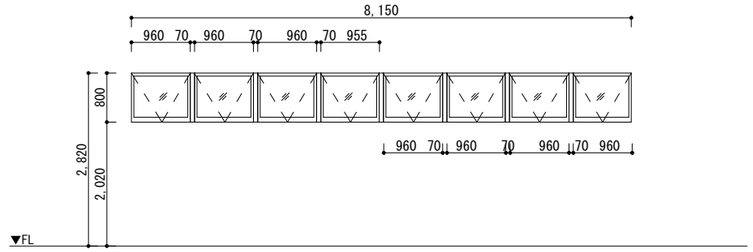
備考				
月 日		月 日		
月 日		月 日		
月 日		月 日		

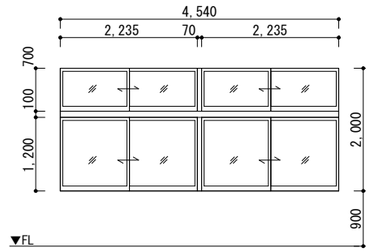
株式会社青木茂建築工房
Shigeru Aoki Architect & Associates
1級建築士　佐藤　信　第362177号
1級建築士事務所　第1-60097号

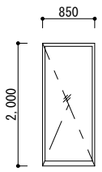
作成	2025/03/26	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-084
統括	佐藤　信	製図	伊藤　高基	図面名称	建具表-2	縮尺	1/50(A1) 1/100(A3)

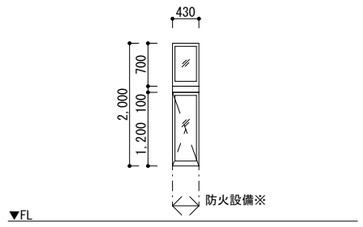
記号　取付場所／　箇所	AW 22	2階/集会室	2
形状・寸法		
型式	4連2段　引違い窓		
材料・仕上げ	アルミ・アルミ電解着色(枠共)		
見込	70		
ガラス	透明フロート複層ガラス(TG5＋A6＋FL5)		
取手　鍵	ー	クレセント	
防火	ー		
網戸　電気錠	なし	なし	
金物備考	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限、衝突防止シール		

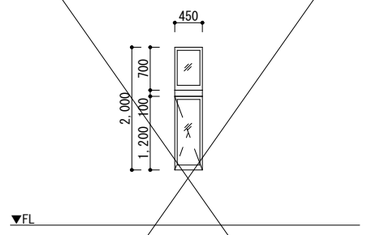
記号　取付場所／　箇所	AW 23	2階/集会室	1
形状・寸法			
型式	3連2段　引違い窓+FIX窓		
材料・仕上げ	アルミ・アルミ電解着色(枠共)		
見込	70		
ガラス	透明フロート複層ガラス(TG5＋A6＋FL5)		
取手　鍵	ー	クレセント	
防火	ー		
網戸　電気錠	なし	なし	
金物備考	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限、衝突防止シール		

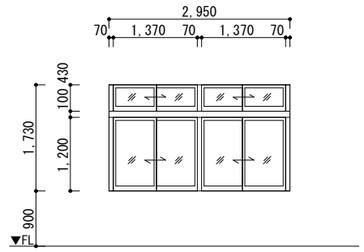
記号　取付場所／　箇所	AW 24	2階/集会室	2
形状・寸法			
型式	8連　外倒し窓		
材料・仕上げ	アルミ・アルミ電解着色(枠共)		
見込	70		
ガラス	Low-E、耐熱強化複層ガラス(Low-E5＋A6＋FR6.8)		
取手　鍵	ー	クレセント	
防火	防火設備		
網戸　電気錠	あり	なし	
金物備考	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限		

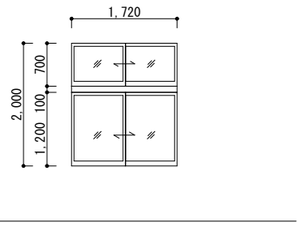
記号　取付場所／　箇所	AW 25	2階/オープンスペース3	1
形状・寸法			
型式	2連2段　引違い窓		
材料・仕上げ	アルミ・アルミ電解着色(枠共)		
見込	70		
ガラス	Low-E、耐熱強化複層ガラス(Low-E5＋A6＋FR6.8)		
取手　鍵	ー	クレセント	
防火	防火設備		
網戸　電気錠	あり	なし	
金物備考	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限		

記号　取付場所／　箇所	AW 26	2～3階/階段1	2
形状・寸法			
型式	縦滑り出し窓		
材料・仕上げ	アルミ・アルミ電解着色(枠共)		
見込	70		
ガラス	Low-E、耐熱強化複層ガラス(Low-E5＋A6＋FR6.8)		
取手　鍵	ー	カムラッチハンドル	
防火	防火設備		
網戸　電気錠	なし	なし	
金物備考	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限		

記号　取付場所／　箇所	AW 27	2階/廊下2-2　3階/廊下3-1	6
形状・寸法	 ※防火設備は階段2(竪穴区画)隣接部のみ該当(1箇所)		
型式	2段　縦滑り出し窓+FIX窓		
材料・仕上げ	アルミ・アルミ電解着色(枠共)		
見込	70		
ガラス	透明フロート複層ガラス(TG5+A6+FL5)、防火設備範囲網入りガラス(PW6.8)		
取手　鍵	ー	カムラッチハンドル	
防火	ー		
網戸　電気錠	なし	なし	
金物備考	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限		

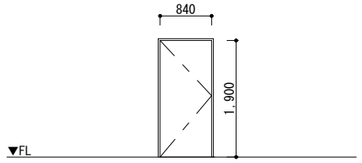
記号　取付場所／　箇所	AW 27-2	2階/廊下2-2　3階/廊下3-1	2
形状・寸法			
型式	2段　縦滑り出し窓+FIX窓		
材料・仕上げ	アルミ・アルミ電解着色(枠共)		
見込	70		
ガラス	透明フロート・網入り複層ガラス(TG5＋A6＋PW6.8)		
取手　鍵	ー	クレセント	
防火	防火設備		
網戸　電気錠	あり	なし	
金物備考	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限		

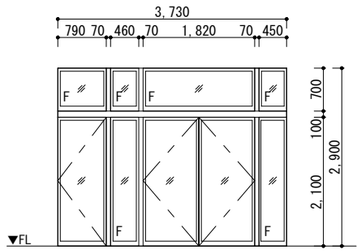
記号　取付場所／　箇所	AW 28	2階/廊下2-2	2
形状・寸法			
型式	2連2段　引違い窓		
材料・仕上げ	アルミ・アルミ電解着色(枠共)		
見込	70		
ガラス	透明フロート複層ガラス(TG5＋A6＋FL5)		
取手　鍵	ー	クレセント	
防火	ー		
網戸　電気錠	なし	なし	
金物備考	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限		

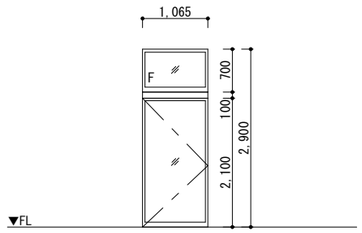
記号　取付場所／　箇所	AW 29	2階/廊下2-2　3階/廊下3-1	2
形状・寸法			
型式	2段　引違い窓		
材料・仕上げ	アルミ・アルミ電解着色(枠共)		
見込	70		
ガラス	透明フロート複層ガラス(TG5＋A6＋FL5)		
取手　鍵	ー	クレセント	
防火	ー		
網戸　電気錠	なし	なし	
金物備考	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限		

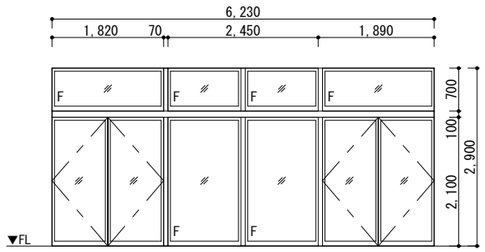
記号　取付場所／　箇所						
形状・寸法						
型式						
材料・仕上げ						
見込						
ガラス						
取手　鍵						
防火						
網戸　電気錠						
金物備考						

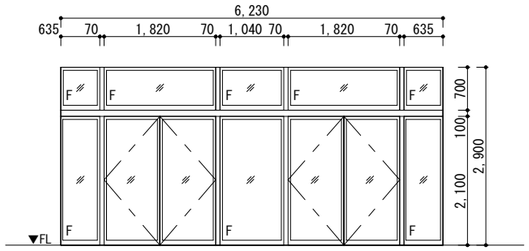
備考													
月日		月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図書	A-085
月日		月日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	伊藤　高基	図面名称	建具表-3	縮尺	1/50(A1) 1/100(A3)
月日		月日										

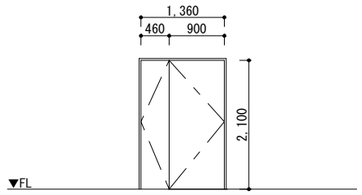
記号 取付場所／ 箇所	AD 1	1階/階段下倉庫	1
形状・寸法			
型式	片開きフラッシュ戸		
材料・仕上げ	アルミ・アルミ電解着色(枠共)		
見込	70		
ガラス	―		
取手 鍵	レバーハンドル	シリンダー錠、サムターン	
防火	防火設備		
網戸 電気錠	なし	なし	
金物備考	ドアチェック、戸当り、蝶番、付属金物一式		

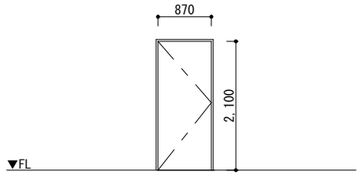
記号 取付場所／ 箇所	AD 2	1階/昇降口1	1
形状・寸法			
型式	4連2段 片開き戸+両開き扉+FIX窓		
材料・仕上げ	アルミ・アルミ電解着色(枠共)		
見込	70		
ガラス	透明フロート複層ガラス(TG5＋A6＋FL5)		
取手 鍵	レバーハンドル	シリンダー錠、サムターン	
防火	―		
網戸 電気錠	なし	なし	
金物備考	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、ドアチェック、戸当たり、蝶番、衝突防止シール		

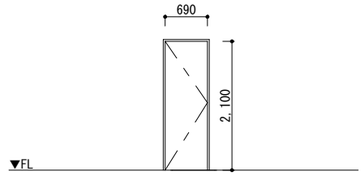
記号 取付場所／ 箇所	AD 3	1階/保健室	1
形状・寸法			
型式	2連2段 引違い窓+FIX窓		
材料・仕上げ	アルミ・アルミ電解着色(枠共)		
見込	70		
ガラス	透明フロート複層ガラス(TG5＋A6＋FL5)		
取手 鍵	レバーハンドル	シリンダー錠、サムターン	
防火	―		
網戸 電気錠	なし	なし	
金物備考	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、ドアチェック、戸当たり、蝶番、衝突防止シール		

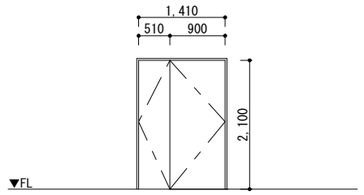
記号 取付場所／ 箇所	AD 4	1階/階段2	1
形状・寸法			
型式	4連2段 両開き窓+FIX窓		
材料・仕上げ	アルミ・アルミ電解着色(枠共)		
見込	70		
ガラス	透明フロート複層ガラス(TG5＋A6＋FL5)		
取手 鍵	レバーハンドル	シリンダー錠、サムターン	
防火	―		
網戸 電気錠	なし	なし	
金物備考	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、ドアチェック、戸当たり、蝶番、衝突防止シール		

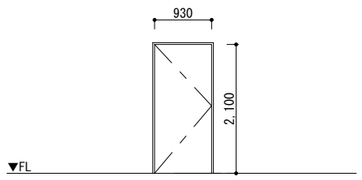
記号 取付場所／ 箇所	AD 4-2	1階/図書館・メディアスペース	1
形状・寸法			
型式	5連2段 引違い窓+FIX窓		
材料・仕上げ	アルミ・アルミ電解着色(枠共)		
見込	70		
ガラス	透明フロート複層ガラス(TG5＋A6＋FL5)		
取手 鍵	レバーハンドル	シリンダー錠、サムターン	
防火	―		
網戸 電気錠	なし	なし	
金物備考	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、ドアチェック、戸当たり、蝶番、衝突防止シール		

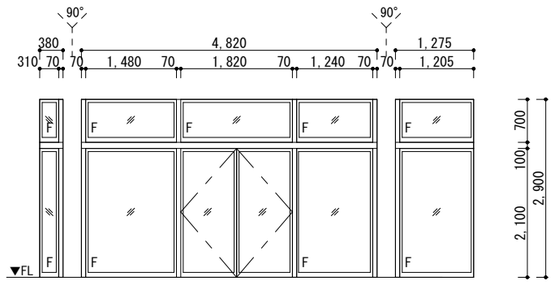
記号 取付場所／ 箇所	AD 5	1階/体育倉庫	1
形状・寸法			
型式	親子扉		
材料・仕上げ	アルミ・アルミ電解着色(枠共)		
見込	70		
ガラス	―		
取手 鍵	レバーハンドル	シリンダー錠、サムターン	
防火	―		
網戸 電気錠	―	なし	
金物備考	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、ドアチェック、戸当たり、蝶番		

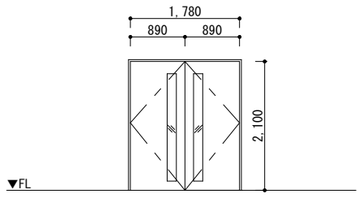
記号 取付場所／ 箇所	AD 6	1階/調理室	1
形状・寸法			
型式	片開き戸		
材料・仕上げ	アルミ・アルミ電解着色(枠共)		
見込	70		
ガラス	―		
取手 鍵	―	シリンダー錠、サムターン	
防火	―		
網戸 電気錠	―	なし	
金物備考	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、ドアチェック、戸当たり、蝶番		

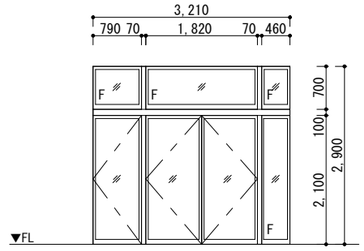
記号 取付場所／ 箇所	AD 7	1階/更衣・休憩室、階段1	2
形状・寸法			
型式	片開き戸		
材料・仕上げ	アルミ・アルミ電解着色(枠共)		
見込	70		
ガラス	―		
取手 鍵	―	シリンダー錠、サムターン	
防火	―		
網戸 電気錠	―	なし	
金物備考	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、ドアチェック、戸当たり、蝶番		

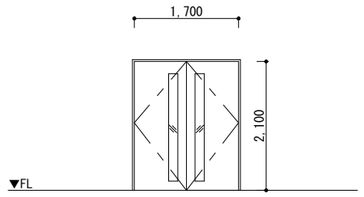
記号 取付場所／ 箇所	AD 8	1階/検収室	1
形状・寸法			
型式	親子扉		
材料・仕上げ	アルミ・アルミ電解着色(枠共)		
見込	70		
ガラス	―		
取手 鍵	―	シリンダー錠、サムターン	
防火	―		
網戸 電気錠	―	なし	
金物備考	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、ドアチェック、戸当たり、蝶番		

記号 取付場所／ 箇所	AD 9	1階/パン・牛乳仕分け室	1
形状・寸法			
型式	片開き戸		
材料・仕上げ	アルミ・アルミ電解着色(枠共)		
見込	70		
ガラス	―		
取手 鍵	レバーハンドル	シリンダー錠、サムターン	
防火	―		
網戸 電気錠	―	なし	
金物備考	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、ドアチェック、戸当たり、蝶番		

記号 取付場所／ 箇所	AD 10	1階/昇降口1	1
形状・寸法			
型式	5連2段 両開き扉+FIX窓		
材料・仕上げ	アルミ・アルミ電解着色(枠共)		
見込	70		
ガラス	透明フロート複層ガラス(TG5＋A6＋FL5)		
取手 鍵	レバーハンドル	シリンダー錠、サムターン	
防火	―		
網戸 電気錠	―	なし	
金物備考	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、ドアチェック、戸当たり、蝶番、衝突防止シール		

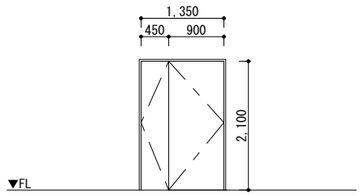
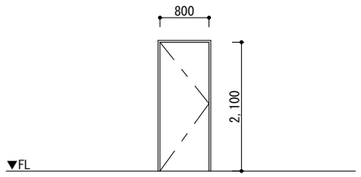
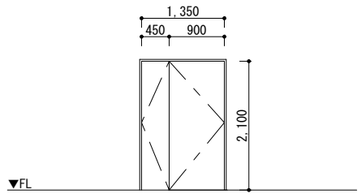
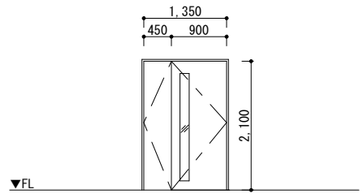
記号 取付場所／ 箇所	AD 11	1階/廊下1-2	1
形状・寸法			
型式	両開戸		
材料・仕上げ	アルミ・アルミ電解着色(枠共)		
見込	70		
ガラス	網入りガラス(PW6.8)		
取手 鍵	レバーハンドル	シリンダー錠、サムターン	
防火	防火設備		
網戸 電気錠	―	なし	
金物備考	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、ドアチェック、戸当たり、蝶番		

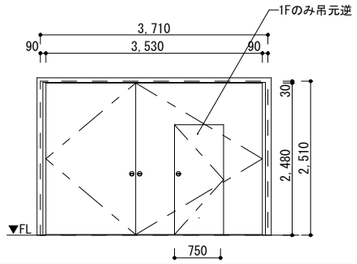
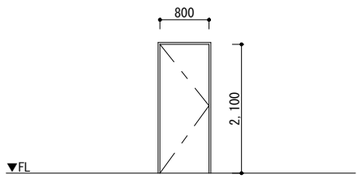
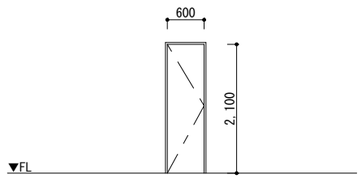
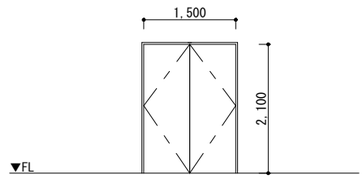
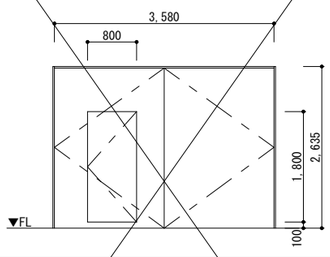
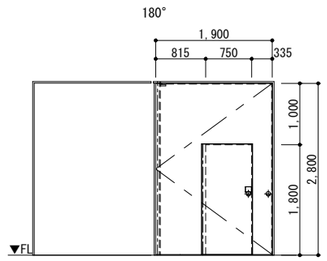
記号 取付場所／ 箇所	AD 12	1階/昇降口2	1
形状・寸法			
型式	3連2段 片開き戸+両開き扉+FIX窓		
材料・仕上げ	アルミ・アルミ電解着色(枠共)		
見込	70		
ガラス	―		
取手 鍵	レバーハンドル	シリンダー錠、サムターン	
防火	―		
網戸 電気錠	―	なし	
金物備考	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、ドアチェック、戸当たり、蝶番、衝突防止シール		

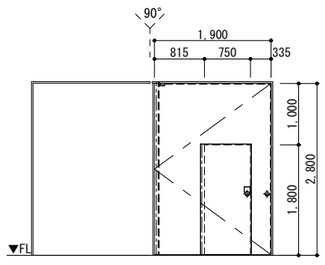
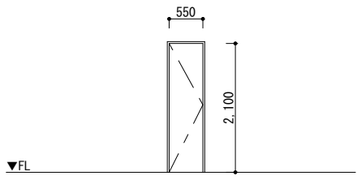
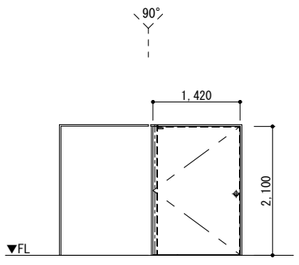
記号 取付場所／ 箇所	AD 13	2階/廊下2-2 3階/廊下3-1 4階/廊下4-1	3
形状・寸法			
型式	両開き扉		
材料・仕上げ	アルミ・アルミ電解着色(枠共)		
見込	70		
ガラス	網入りガラス(PW6.8)		
取手 鍵	レバーハンドル	シリンダー錠、サムターン	
防火	防火設備		
網戸 電気錠	あり	なし	
金物備考	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限、ドアチェック、戸当たり、蝶番		

備考			
月 日		月 日	
月 日		月 日	
月 日		月 日	

株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番 A-086
1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	検図	佐藤 信	製図	伊藤 高基	図面名称	建具表-4	縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)

記号	取付場所／	箇所	AD 14	AD 15	AD 16	AD 17
			2階/廊下2-1 1	3階/倉庫3 1	4階/廊下4-1 1	4階/階段2 1
形状・寸法						
型式			親子扉	片開き戸	親子扉	親子扉
材料・仕上げ			アルミ・アルミ電解着色(枠共)	アルミ・アルミ電解着色(枠共)	アルミ・アルミ電解着色(枠共)	アルミ・アルミ電解着色(枠共)
見込			70	70	70	70
ガラス			―	―	―	網入りガラス(PW6.8)
取手		鍵	レバーハンドル / シリンダー/サムターン	レバーハンドル / シリンダー/サムターン	レバーハンドル / シリンダー/サムターン	レバーハンドル / シリンダー/サムターン
防火			―	―	―	―
網戸		電気錠	― / なし	― / なし	― / なし	― / なし
金物備考			水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、ドアチェック、戸当たり、蝶番	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限、ドアチェック、戸当たり、蝶番	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、ドアチェック、戸当たり、蝶番	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、ドアチェック、戸当たり、蝶番

記号	取付場所／	箇所	SD 1	SD 2	SD 3	SD 4	SD 5	SD 6
			1～4階/階段3 4	1階/階段下倉庫 1	1階/職員用WC(男)(女) 2階/児童トイレ(男)1(女)1 3階/児童トイレ(男)2(女)2 6	1～3階/EPS 3	1階/階段1 1	2階/廊下2-2 3階/廊下3-1 2
形状・寸法			※鉄扉既存利用 レリーズ金物配線一式やりかえ SOP再塗装 					
型式			両開きスチール防火戸 戸袋、くぐり戸付き	片開き戸	片開き戸	両開き扉	両開きスチール防火戸 戸袋、くぐり戸付き	両開きスチール防火戸 戸袋、くぐり戸付き
材料・仕上げ			スチールフラッシュ・SOP塗装	スチールフラッシュ・SOP塗装	スチールフラッシュ・SOP塗装	スチールフラッシュ・SOP塗装	スチールフラッシュ・SOP塗装	スチールフラッシュ・SOP塗装
見込			80	80	80	80	80	80
ガラス			―	―	―	―	―	―
取手		鍵	平面ハンドル / なし	レバーハンドル / シリンダー錠、サムターン	ケースハンドル / あり	ケースハンドル / あり	平面ハンドル / なし	平面ハンドル / なし
防火			遮煙性能付特定防火設備(随閉)	遮煙性能付特定防火設備(常閉)	―	―	遮煙性能付特定防火設備(随閉)	遮煙性能付特定防火設備(随閉)
網戸		電気錠	なし / なし	なし / なし	なし / なし	なし / なし	なし / なし	なし / なし
金物備考			煙感知器連動、付属金物一式	ドアチェック、戸当たり、蝶番、付属金物一式	ドアチェック、戸当たり、蝶番、付属金物一式	ドアチェック、戸当たり、蝶番、付属金物一式	煙感知器連動、付属金物一式	煙感知器連動、付属金物一式

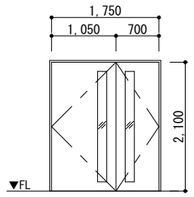
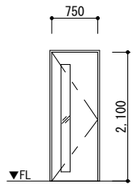
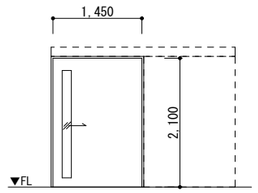
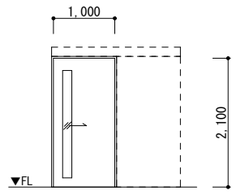
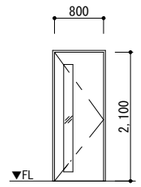
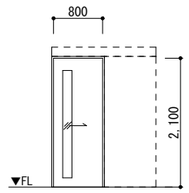
記号	取付場所／	箇所	SD 7	SD 8	SD 9
			2階/廊下2-2 3階/廊下3-1 2	2階/児童トイレ(男)1(女)1 3階/児童トイレ(男)2(女)2 4	2～3階/階段1 2
形状・寸法					
型式			両開きスチール防火戸 戸袋、くぐり戸付き	片開き戸	両開きスチール防火戸 戸袋付き
材料・仕上げ			スチールフラッシュ・SOP塗装	スチールフラッシュ・SOP塗装	スチールフラッシュ・SOP塗装
見込			80	80	80
ガラス			―	―	―
取手		鍵	平面ハンドル / なし	ケースハンドル / あり	平面ハンドル / なし
防火			遮煙性能付特定防火設備(随閉)	―	遮煙性能付特定防火設備(随閉)
網戸		電気錠	なし / なし	なし / なし	なし / なし
金物備考			煙感知器連動、付属金物一式	ドアチェック、戸当たり、蝶番、付属金物一式	煙感知器連動、付属金物一式

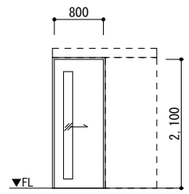
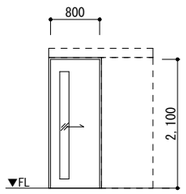
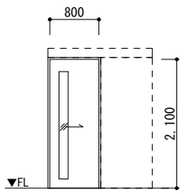
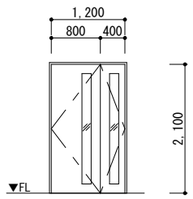
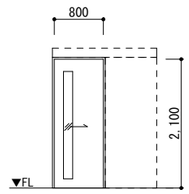
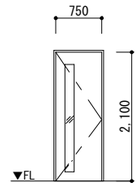
備考			
月 日		月 日	
月 日		月 日	
月 日		月 日	

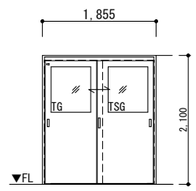
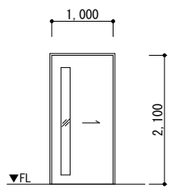
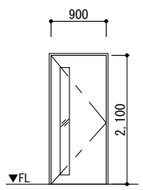
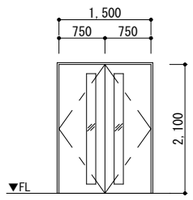
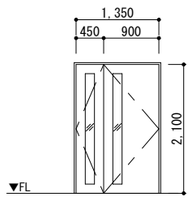
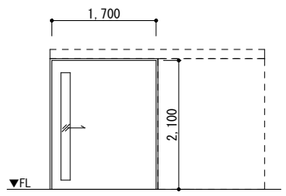
株式会社青木茂建築工房
Shigeru Aoki Architect & Associates
1級建築士 佐藤 信 第362177号
1級建築士事務所 第1-60097号

作成	2025/03/26	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)
統括	佐藤 信	製図	伊藤 高基	図面名称	建具表-5

図番	A-087
縮尺	1/50(A1) 1/100(A3)

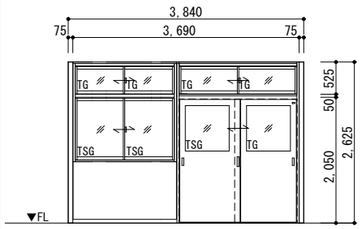
記号	取付場所／	箇所	LSD 1	LSD 2	LSD 3	LSD 4	LSD 5	LSD 6
			1階/昇降口1(2)	1階/更衣室1、2	1階/校長室	1階/校長室	1階/職員用WC(男)(女)	1階/調理室、前室、食品庫、検収室、更衣・休憩室
			2	2	1	1	2	9
形状・寸法								
型式			親子扉	片開き戸	引き込み戸	引き込み戸	片開き戸	片開き戸
材料・仕上げ			スチールフラッシュ・粉体焼付塗装	スチールフラッシュ・粉体焼付塗装	スチールフラッシュ・粉体焼付塗装	スチールフラッシュ・粉体焼付塗装	スチールフラッシュ・粉体焼付塗装	スチールフラッシュ・粉体焼付塗装
見込			80	80	80	80	80	80
ガラス			強化すりガラス(TSG5)	強化すりガラス(TSG5)	―	―	強化すりガラス(TSG5)	強化すりガラス(TSG5)
取手		鍵	レバーハンドル	レバーハンドル	押し棒h＝600	押し棒h＝600	レバーハンドル	レバーハンドル
			シリンダー錠、サムターン	シリンダー錠、サムターン	シリンダー錠、サムターン	シリンダー錠、サムターン	シリンダー錠、サムターン	シリンダー錠、サムターン
防火			―	―	―	―	―	―
網戸		電気錠	なし	なし	なし	なし	なし	なし
			なし	なし	なし	なし	なし	なし
金物備考			ドアチェック、戸当たり、蝶番、付属金物一式 常開壁収納	ドアチェック、戸当たり、蝶番、付属金物一式	上部レール、上吊りハンガー金物、戸当りゴム、 下部ガイドピン、付属金物一式	上部レール、上吊りハンガー金物、戸当りゴム、 下部ガイドピン、付属金物一式	ドアチェック、戸当たり、蝶番、付属金物一式	上部レール、上吊りハンガー金物、戸当りゴム、 下部ガイドピン、付属金物一式

記号	取付場所／	箇所	LSD 7	LSD 8	LSD 9	LSD 10	LSD 11	LSD 12
			1階/配膳室	1階/パン・牛乳仕分室	1階/下処理室	1階/倉庫(児童クラブ)	1階/バリアフリートイレ	1階/トイレ(児童クラブ)
			2	1	1	1	1	8
形状・寸法								
型式			引き込み戸	引き込み戸	引き込み戸	親子戸	引き込み戸	片開き戸
材料・仕上げ			スチールフラッシュ・粉体焼付塗装	スチールフラッシュ・粉体焼付塗装	スチールフラッシュ・焼付塗装	スチールフラッシュ・粉体焼付塗装	スチールフラッシュ・粉体焼付塗装	スチールフラッシュ・粉体焼付塗装
見込			80	80	80	80	80	80
ガラス			―	―	―	強化すりガラス(TSG5)	―	強化すりガラス(TSG5)
取手		鍵	押し棒h＝600	押し棒h＝600	押し棒h＝600	レバーハンドル	押し棒h＝600	レバーハンドル
			なし	なし	なし	シリンダー錠、サムターン	なし	シリンダー錠、サムターン
防火			―	―	―	―	―	―
網戸		電気錠	なし	なし	なし	なし	なし	なし
			なし	なし	なし	なし	なし	なし
金物備考			上部レール、上吊りハンガー金物、戸当りゴム、 下部ガイドピン、付属金物一式	上部レール、上吊りハンガー金物、戸当りゴム、 下部ガイドピン、付属金物一式	上部レール、上吊りハンガー金物、戸当りゴム、 下部ガイドピン、付属金物一式	ドアチェック、戸当たり、蝶番、付属金物一式	上部レール、上吊りハンガー金物、戸当りゴム、 下部ガイドピン、付属金物一式	ドアチェック、戸当たり、蝶番、付属金物一式

記号	取付場所／	箇所	LSD 13	LSD 14	LSD 15	LSD 16	LSD 17	LSD 1-2
			2階/普通教室1　3階/普通教室5	2階/児童用更衣室1・2 3階/児童用更衣室3・4	2階/倉庫1　3階/倉庫3	2階/倉庫	1階/警備員室・校務員室	1階/職員室
			2	4	2	1	2	2
形状・寸法								
型式			引き違い戸	片引き戸	片開き戸	両開き扉	親子戸	引き込み戸
材料・仕上げ			スチールフラッシュ・粉体焼付塗装	スチールフラッシュ・粉体焼付塗装	スチールフラッシュ・粉体焼付塗装	スチールフラッシュ・粉体焼付塗装	スチールフラッシュ・粉体焼付塗装	スチールフラッシュ・粉体焼付塗装
見込			80	80	80	80	80	80
ガラス			強化すりガラス(TSG5)	強化すりガラス(TSG5)	強化すりガラス(TSG5)	強化すりガラス(TSG5)	強化すりガラス(TSG5)	強化ガラス(TG5)
取手		鍵	押し棒h＝600	押し棒h=600	レバーハンドル	レバーハンドル	レバーハンドル	押し棒h＝600
			なし	シリンダー錠、サムターン	シリンダー錠、サムターン	シリンダー錠、サムターン	シリンダー錠、サムターン	なし
防火			―	―	―	―	―	―
網戸		電気錠	なし	なし	なし	なし	なし	なし
			なし	なし	なし	なし	なし	なし
金物備考			上部レール、上吊りハンガー金物、戸当りゴム、 下部ガイドピン、付属金物一式	上部レール、上吊りハンガー金物、戸当りゴム、 下部ガイドピン、付属金物一式	ドアチェック、戸当たり、蝶番、付属金物一式	ドアチェック、戸当たり、蝶番、付属金物一式	ドアチェック、戸当たり、蝶番、付属金物一式	上部レール、上吊りハンガー金物、戸当りゴム、 下部ガイドピン、付属金物一式

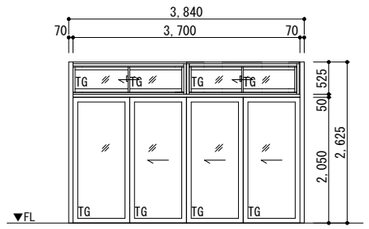
備考										
月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)
月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	伊藤　高基	図面名称	建具表-6
月 日		月 日							図番	A-088
									縮尺	1/50(A1) 1/100(A3)

記号 取付場所／ 箇所	SP 1	1階/保健室	1



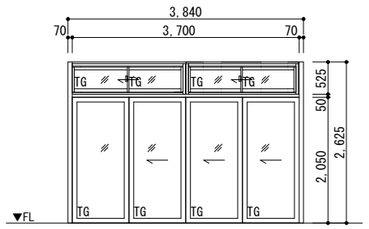
型式	スチール製学校間仕切り	
材料・仕上げ	スチールフラッシュ・粉体焼付塗装	
見込	90	
ガラス	強化透明ガラス(TG5)、強化すりガラス(TSG5)	
取手 鍵	掘込引手	引違用鎌錠
防火	―	
網戸 電気錠	なし	なし
金物備考	高さ調整式戸車、振れ止め兼外れ止め、引き残し戸当り、YKSスローリークローザー、クレセント、障子戸当り、指挟み防止戸先ゴム、U型ステンレール(ステンレス)、付属金物一式	

記号 取付場所／ 箇所	SP 2	1階/図書館・メディアスペース	4



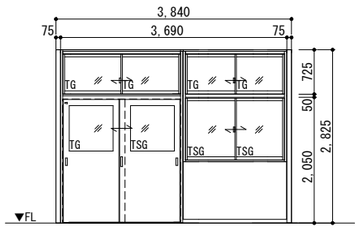
型式	スチール製学校間仕切り	
材料・仕上げ	スチールフラッシュ・粉体焼付塗装	
見込	90	
ガラス	強化透明ガラス(TG5)、強化すりガラス(TSG5)	
取手 鍵	掘込引手	引違用鎌錠
防火	―	
網戸 電気錠	なし	なし
金物備考	高さ調整式戸車、振れ止め兼外れ止め、引き残し戸当り、YKSスローリークローザー、クレセント、障子戸当り、指挟み防止戸先ゴム、U型ステンレール(ステンレス)、付属金物一式	

記号 取付場所／ 箇所	SP 2-2	1階/図書館・メディアスペース	1



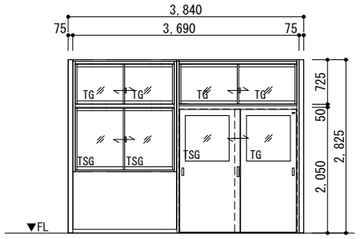
型式	スチール製学校間仕切り	
材料・仕上げ	スチールフラッシュ・粉体焼付塗装	
見込	90	
ガラス	強化透明ガラス(TG5)、強化すりガラス(TSG5)	
取手 鍵	掘込引手	引違用鎌錠
防火	―	
網戸 電気錠	なし	なし
金物備考	高さ調整式戸車、振れ止め兼外れ止め、引き残し戸当り、YKSスローリークローザー、クレセント、障子戸当り、指挟み防止戸先ゴム、U型ステンレール(ステンレス)、付属金物一式	

記号 取付場所／ 箇所	SP 3	2階/普通教室1、3～4、特別支援教室1・2 3階/普通教室5・7・8、少人数教室1・2 4階/学習室	11



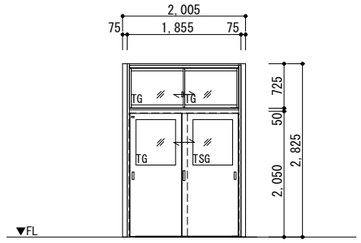
型式	スチール製学校間仕切り	
材料・仕上げ	スチールフラッシュ・粉体焼付塗装	
見込	90	
ガラス	強化透明ガラス(TG5)、強化すりガラス(TSG5)	
取手 鍵	掘込引手	引違用鎌錠
防火	―	
網戸 電気錠	なし	なし
金物備考	高さ調整式戸車、振れ止め兼外れ止め、引き残し戸当り、YKSスローリークローザー、クレセント、障子戸当り、指挟み防止戸先ゴム、U型ステンレール(ステンレス)、付属金物一式	

記号 取付場所／ 箇所	SP 4	2階/普通教室2～4、特別支援教室1・2 3階/普通教室6～8、少人数教室1・2 4階/学習室、児童会室	12



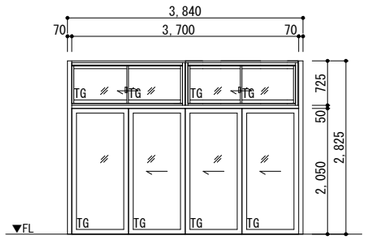
型式	スチール製学校間仕切り	
材料・仕上げ	スチールフラッシュ・粉体焼付塗装	
見込	90	
ガラス	強化透明ガラス(TG5)、強化すりガラス(TSG5)	
取手 鍵	掘込引手	引違用鎌錠
防火	―	
網戸 電気錠	なし	なし
金物備考	高さ調整式戸車、振れ止め兼外れ止め、引き残し戸当り、YKSスローリークローザー、クレセント、障子戸当り、指挟み防止戸先ゴム、U型ステンレール(ステンレス)、付属金物一式	

記号 取付場所／ 箇所	SP 5	2階/普通教室2 3階/普通教室6	2



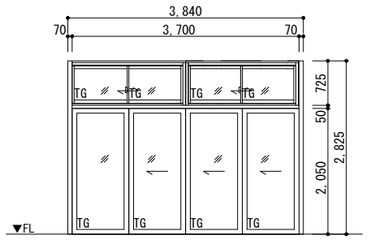
型式	スチール製学校間仕切り	
材料・仕上げ	スチールフラッシュ・粉体焼付塗装	
見込	90	
ガラス	強化透明ガラス(TG5)、強化すりガラス(TSG5)	
取手 鍵	掘込引手	引違用鎌錠
防火	―	
網戸 電気錠	なし	なし
金物備考	高さ調整式戸車、振れ止め兼外れ止め、引き残し戸当り、YKSスローリークローザー、クレセント、障子戸当り、指挟み防止戸先ゴム、U型ステンレール(ステンレス)、付属金物一式	

記号 取付場所／ 箇所	SP 6	2階/オープンスペース1・4	4



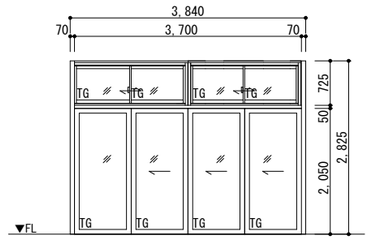
型式	スチール製学校間仕切り	
材料・仕上げ	スチールフラッシュ・粉体焼付塗装	
見込	90	
ガラス	強化透明ガラス(TG5)、強化すりガラス(TSG5)	
取手 鍵	掘込引手	引違用鎌錠
防火	―	
網戸 電気錠	なし	なし
金物備考	高さ調整式戸車、振れ止め兼外れ止め、引き残し戸当り、YKSスローリークローザー、クレセント、障子戸当り、指挟み防止戸先ゴム、U型ステンレール(ステンレス)、付属金物一式	

記号 取付場所／ 箇所	SP 7	2階/オープンスペース3	1



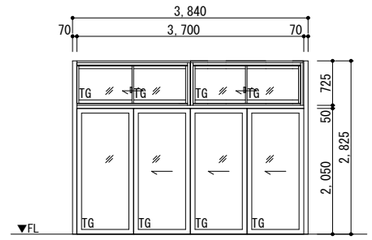
型式	スチール製学校間仕切り	
材料・仕上げ	スチールフラッシュ・粉体焼付塗装	
見込	90	
ガラス	強化透明ガラス(TG5)、強化すりガラス(TSG5)	
取手 鍵	掘込引手	引違用鎌錠
防火	―	
網戸 電気錠	なし	なし
金物備考	高さ調整式戸車、振れ止め兼外れ止め、引き残し戸当り、YKSスローリークローザー、クレセント、障子戸当り、指挟み防止戸先ゴム、U型ステンレール(ステンレス)、付属金物一式	

記号 取付場所／ 箇所	SP 8	2階/オープンスペース6	1



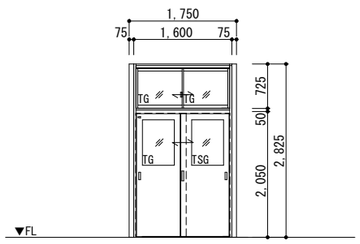
型式	スチール製学校間仕切り	
材料・仕上げ	スチールフラッシュ・粉体焼付塗装	
見込	90	
ガラス	強化透明ガラス(TG5)、強化すりガラス(TSG5)	
取手 鍵	掘込引手	引違用鎌錠
防火	―	
網戸 電気錠	なし	なし
金物備考	高さ調整式戸車、振れ止め兼外れ止め、引き残し戸当り、YKSスローリークローザー、クレセント、障子戸当り、指挟み防止戸先ゴム、U型ステンレール(ステンレス)、付属金物一式	

記号 取付場所／ 箇所	SP 9	3階/オープンスペース7	1



型式	スチール製学校間仕切り	
材料・仕上げ	スチールフラッシュ・粉体焼付塗装	
見込	90	
ガラス	強化透明ガラス(TG5)、強化すりガラス(TSG5)	
取手 鍵	掘込引手	引違用鎌錠
防火	―	
網戸 電気錠	なし	なし
金物備考	高さ調整式戸車、振れ止め兼外れ止め、引き残し戸当り、YKSスローリークローザー、クレセント、障子戸当り、指挟み防止戸先ゴム、U型ステンレール(ステンレス)、付属金物一式	

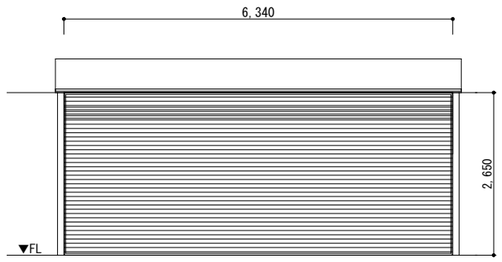
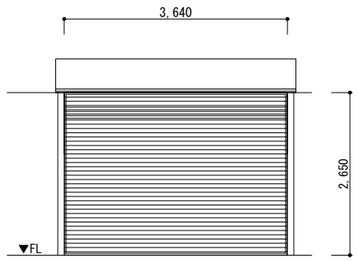
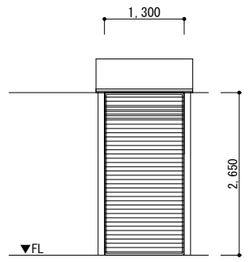
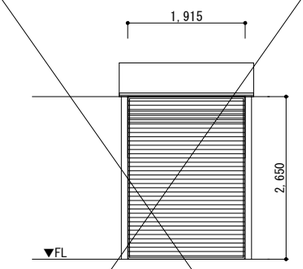
記号 取付場所／ 箇所	SP 10	4階/児童会室	1



型式	スチール製学校間仕切り	
材料・仕上げ	スチールフラッシュ・粉体焼付塗装	
見込	90	
ガラス	強化透明ガラス(TG5)、強化すりガラス(TSG5)	
取手 鍵	掘込引手	引違用鎌錠
防火	―	
網戸 電気錠	なし	なし
金物備考	高さ調整式戸車、振れ止め兼外れ止め、引き残し戸当り、YKSスローリークローザー、クレセント、障子戸当り、指挟み防止戸先ゴム、U型ステンレール(ステンレス)、付属金物一式	

備考			
月 日		月 日	
月 日		月 日	
月 日		月 日	

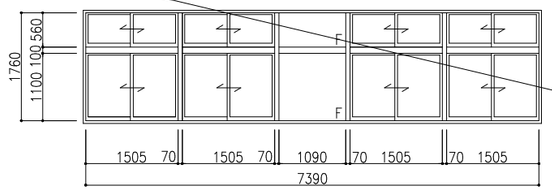
株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番 A-089
1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	統括	佐藤 信	製図	伊藤 高基	図面名称	建具表-7	縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)

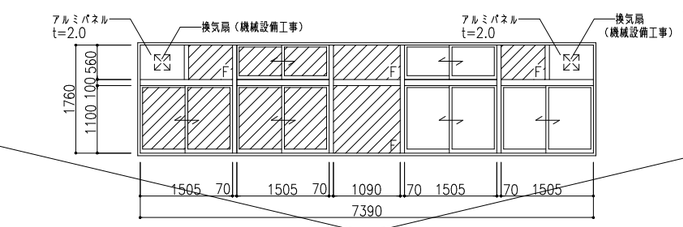
記号　取付場所／　箇所	SS 1	1階/階段2	1	SS 2	1階/図書館・メディアスペース	1	SS 3	1階/階段	1	SS 4	1階/職員・来賓玄関	1
形状・寸法												
型式	防火シャッター			防火シャッター			防火シャッター			防火シャッター		
材料・仕上げ	スチール・SOP			スチール・SOP			スチール・SOP			スチール・SOP		
見込	70			70			70			70		
ガラス	―			―			―			―		
取手　鍵	―	―		―	―		―	―		―	―	
防火	特定防火設備(常時解放式、煙感知器連動閉鎖)			特定防火設備(常時解放式、煙感知器連動閉鎖)			特定防火設備(常時解放式、煙感知器連動閉鎖)			特定防火設備(常時解放式、煙感知器連動閉鎖)		
網戸　電気錠	―	なし		―	なし		―	なし		―	なし	
金物備考	シャッターレール、電動式手動開閉装置埋込型、自動閉鎖装置、煙感知器連動、危害防止装置、付属金物一式			シャッターレール、電動式手動開閉装置埋込型、自動閉鎖装置、煙感知器連動、危害防止装置、付属金物一式			シャッターレール、電動式手動開閉装置埋込型、自動閉鎖装置、煙感知器連動、危害防止装置、付属金物一式			シャッターレール、電動式手動開閉装置埋込型、自動閉鎖装置、煙感知器連動、危害防止装置、付属金物一式		

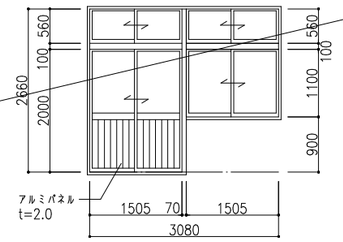
記号　取付場所／　箇所						
形状・寸法						
型式						
材料・仕上げ						
見込						
ガラス						
取手　鍵						
防火						
網戸　電気錠						
金物備考						

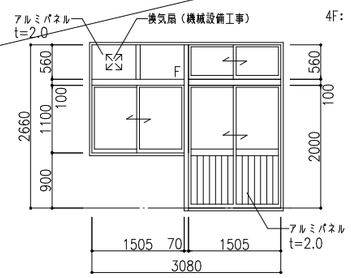
記号　取付場所／　箇所						
形状・寸法						
型式						
材料・仕上げ						
見込						
ガラス						
取手　鍵						
防火						
網戸　電気錠						
金物備考						

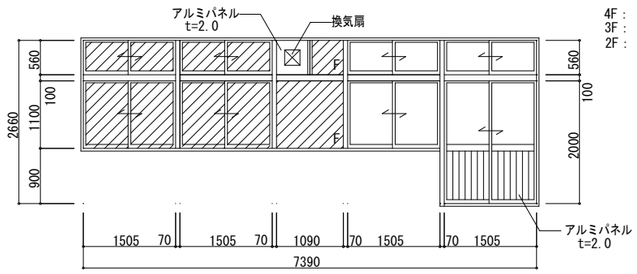
備考												
	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番 A-090
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	伊藤　高基	図面名称	建具表-8	縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)
	月 日		月 日									

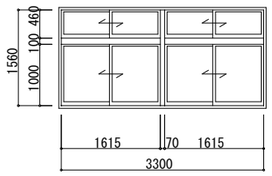
記号 取付場所／ 箇所	AW N2	4階/音楽室	1
形状・寸法	4F: 1個 		
型式	上部引き違い窓付引き違い窓		
材料・仕上げ	アルマイト仕上げ		
見込	70		
ガラス	フロート強化ガラス(TP-4.0)		
取手	—	鍵	—
防火	—		
網戸	—	電気錠	なし
金物備考	アングルピース、水切、付属金物一式		

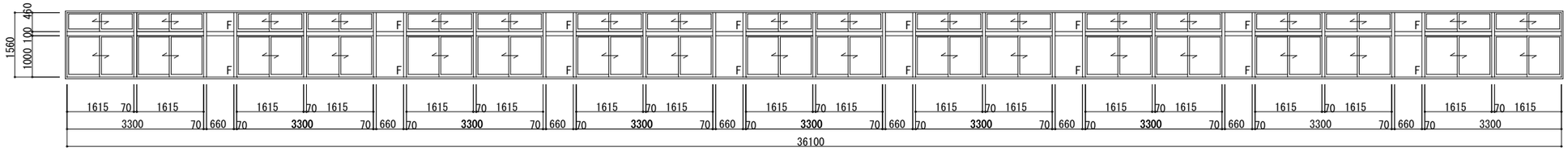
記号 取付場所／ 箇所	AW N4	4階/家庭科室	1
形状・寸法	4F: 0個  ：PW-6.8の範囲を示す。		
型式	上部引き違い窓付引き違い窓		
材料・仕上げ	アルマイト仕上げ		
見込	70		
ガラス	フロート強化ガラス、網入り磨き板ガラス(TP-4.0、PW-6.8)		
取手	—	鍵	—
防火	—		
網戸	—	電気錠	なし
金物備考	アングルピース、水切、付属金物一式		

記号 取付場所／ 箇所	AW N5	4階/音楽室	1
形状・寸法	4F: 1個 		
型式	上部引き違い窓付引き違い窓		
材料・仕上げ	アルマイト仕上げ		
見込	70		
ガラス	フロート強化ガラス(TP-4.0)		
取手	—	鍵	—
防火	—		
網戸	—	電気錠	なし
金物備考	アングルピース、水切、付属金物一式		

記号 取付場所／ 箇所	AW N21	4階/家庭科室	1
形状・寸法	4F: 1個 		
型式	上部引き違い窓付引き違い窓		
材料・仕上げ	アルマイト仕上げ		
見込	70		
ガラス	フロート強化ガラス(TP-4.0)		
取手	—	鍵	—
防火	—		
網戸	—	電気錠	なし
金物備考	アングルピース、水切、付属金物一式		

記号 取付場所／ 箇所	AW N1 / AW N1a	普通教室	4 / 2
形状・寸法	4F: 0個 3F: 2個、(1個) 2F: 2個、(1個)  (　)は1aを示し、▨ はPW6.8の範囲を示す。		
型式	上部引き違い窓付引き違い窓		
材料・仕上げ	アルマイト仕上げ		
見込	70		
ガラス	フロート強化ガラス(TP-4.0)、PW-6.8		
取手	—	鍵	—
防火	防火設備		
網戸	—	電気錠	なし
金物備考	アングルピース、水切、付属金物一式		

記号 取付場所／ 箇所	AW N14	廊下	7
形状・寸法	サッシ既存存置/漏水部分補修/水切やりかえ(部分詳細図参照) 4F: 7個 		
型式	上部引き違い窓付引き違い窓		
材料・仕上げ	アルマイト仕上げ		
見込	70		
ガラス	フロート強化ガラス(TP-4.0)		
取手	—	鍵	—
防火	—		
網戸	—	電気錠	なし
金物備考	アングルピース、水切、付属金物一式		

記号 取付場所／ 箇所	AW N8	廊下	2
形状・寸法	サッシ既存存置/漏水部分補修/水切やりかえ(部分詳細図参照) 3F: 1個 2F: 1個 		
型式	上部引き違い窓付引き違い窓		
材料・仕上げ	アルマイト仕上げ		
見込	70		
ガラス	フロート強化ガラス(TP-4.0)		
取手	—	鍵	—
防火	—		
網戸	—	電気錠	なし
金物備考	アングルピース、水切、付属金物一式		

備考			
月 日		月 日	
月 日		月 日	
月 日		月 日	

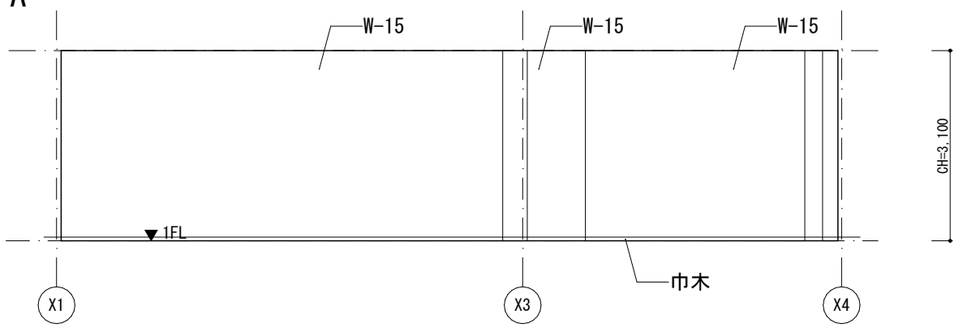
株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番 A-090-2
1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	統括	佐藤 信	製図	伊藤 高基	図面名称	建具表-9(新館棟) (消防 普通階算定・水切りやりかえ)	縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)

凡例

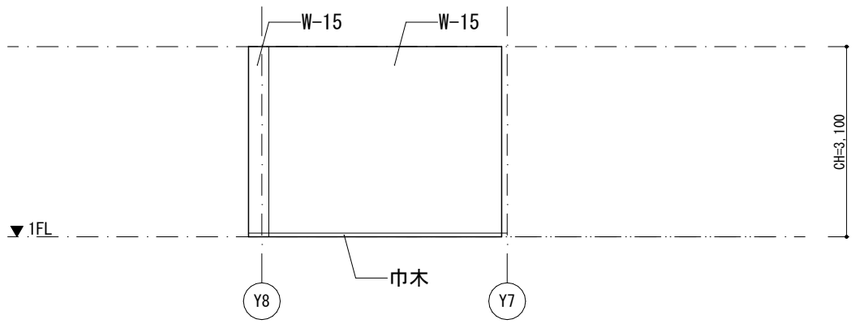
壁(W-1)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁(W-2)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-3)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/
壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-6)	仕上げ	EP塗装
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ﾗｳﾝ合板t=9.0/
壁(W-9)	仕上げ	
	下地	
壁(W-10)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-12)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-14)	仕上げ	有効吸音版t=9(ｼﾅ合板)目透かし張
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま
	下地	既存のまま
	仕上げ	
	下地	
	仕上げ	
	下地	

倉庫

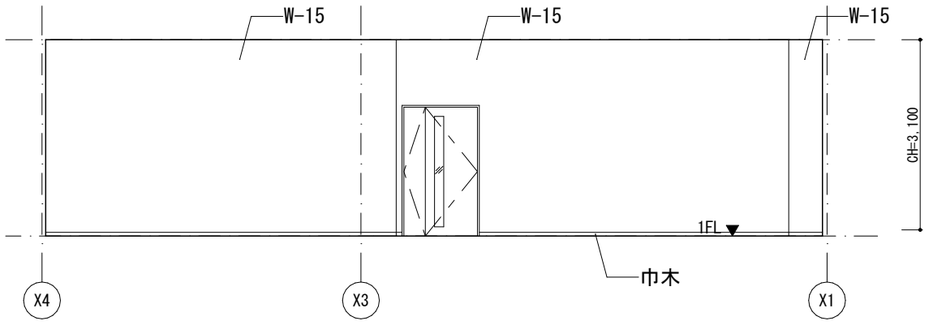
A



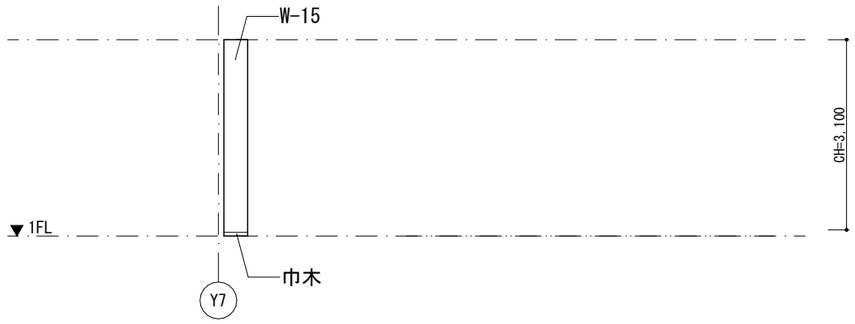
B



C

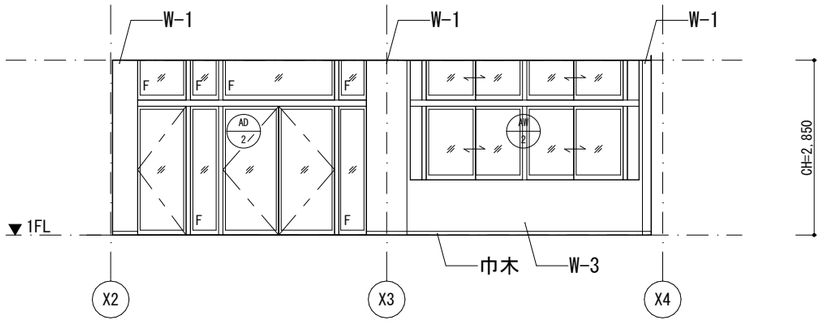


D

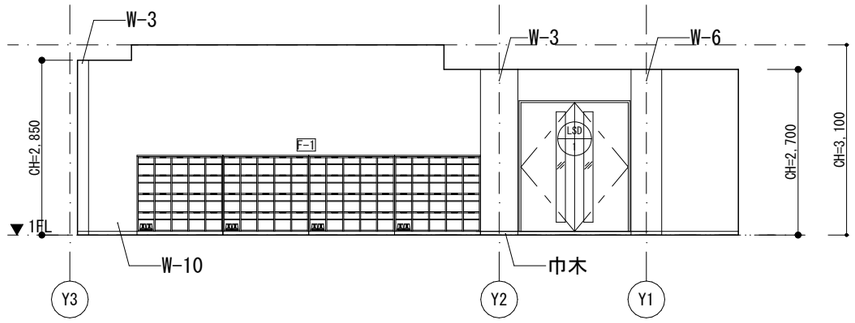


昇降口

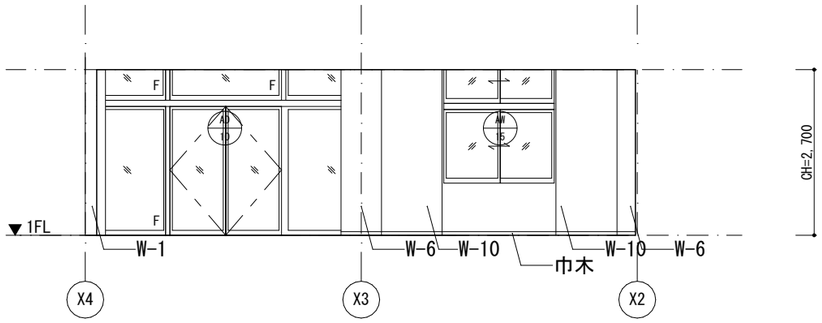
A



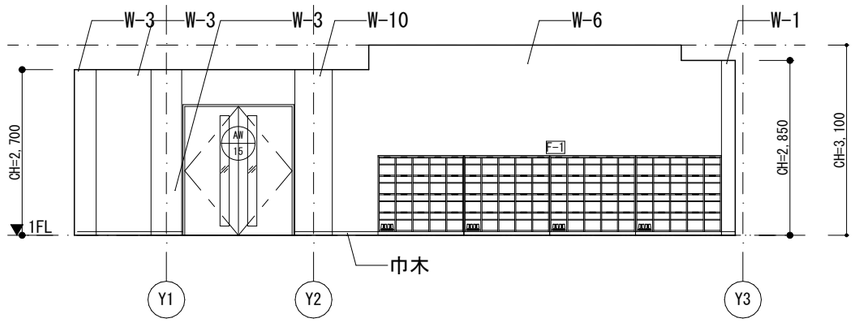
B



C



D



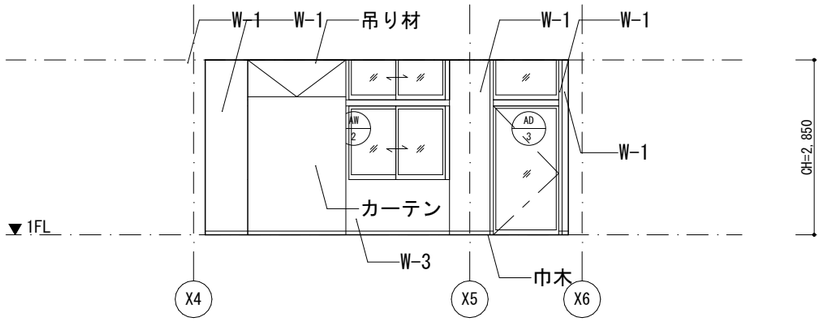
備考														
	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A	A-091
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	展開図1	縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)	
	月 日		月 日											

凡例

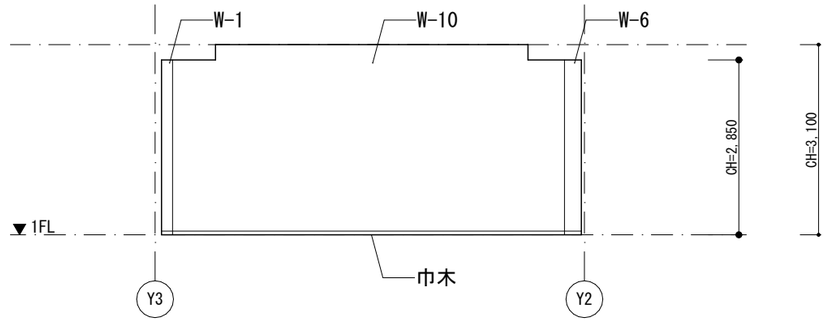
壁(W-1)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁(W-2)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-3)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/
壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-6)	仕上げ	EP塗装
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ﾗﾜﾝ合板t=9.0/
壁(W-9)	仕上げ	
	下地	
壁(W-10)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-12)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-14)	仕上げ	有効吸音版t=9(ｼﾅ合板)目透かし張
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま
	下地	既存のまま
	仕上げ	
	下地	
	仕上げ	
	下地	

保健室

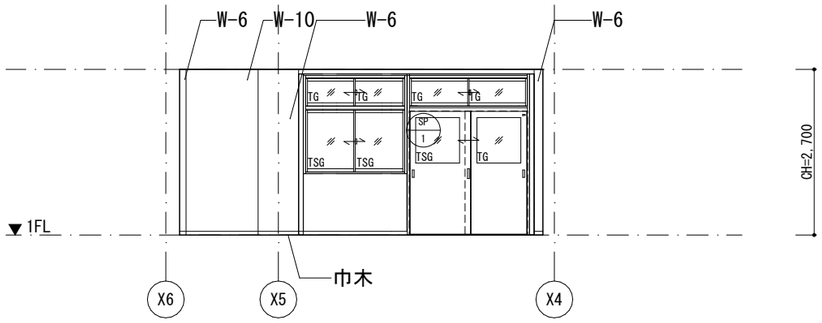
A



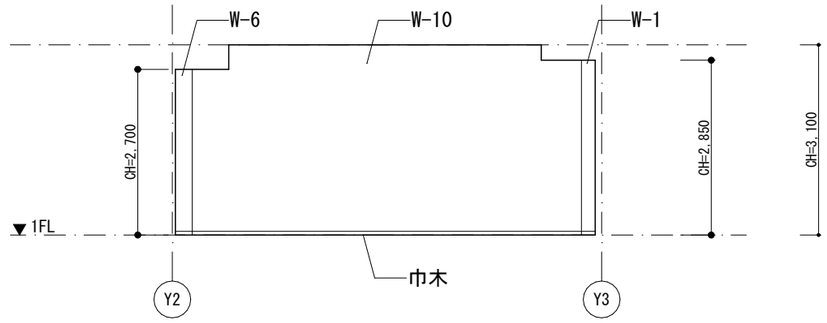
B



C

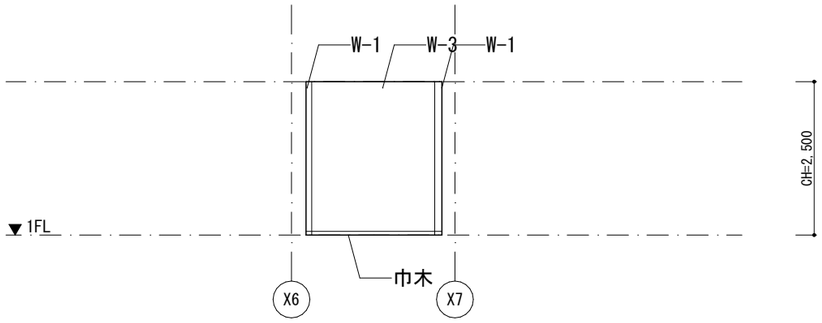


D

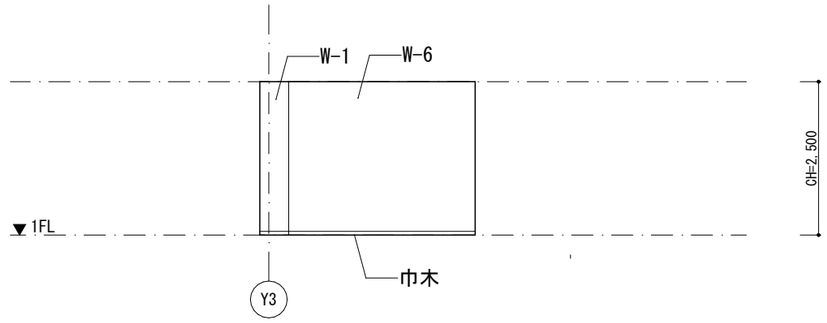


更衣室（男）

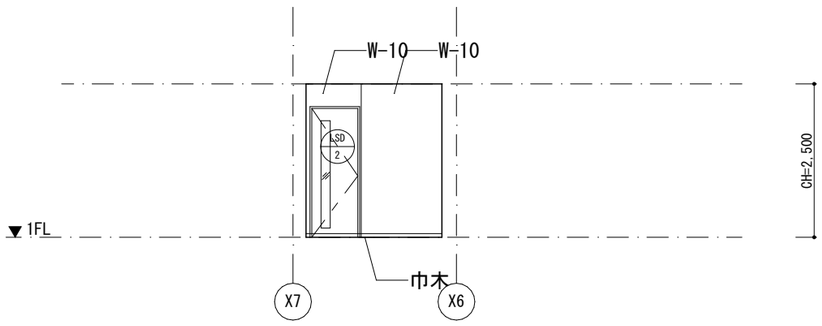
A



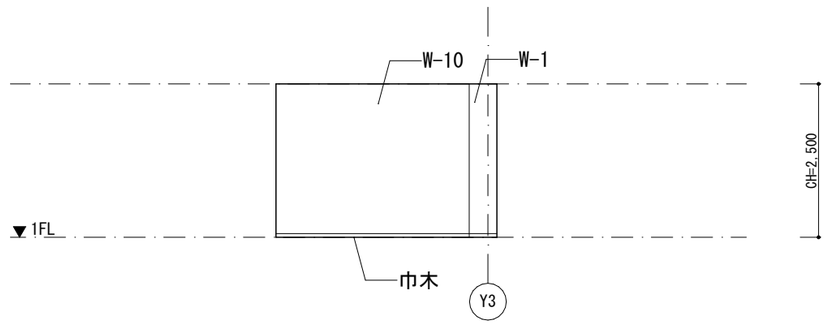
B



C



D



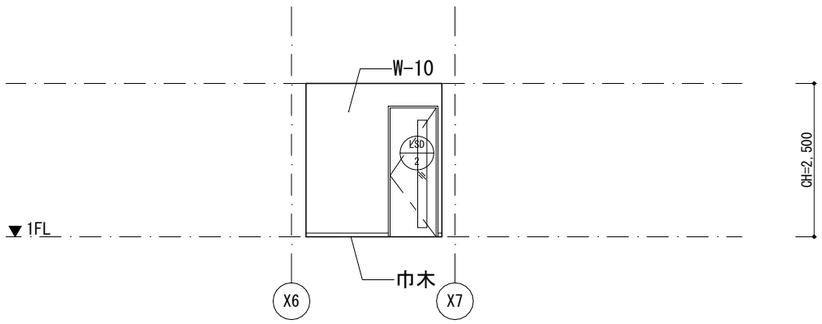
備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図書	A A-092
	月 日		月 日		1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	統括	佐藤 信	製図	松浦 侑亮	図面名称	展開図2	縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)
	月 日		月 日										

凡例

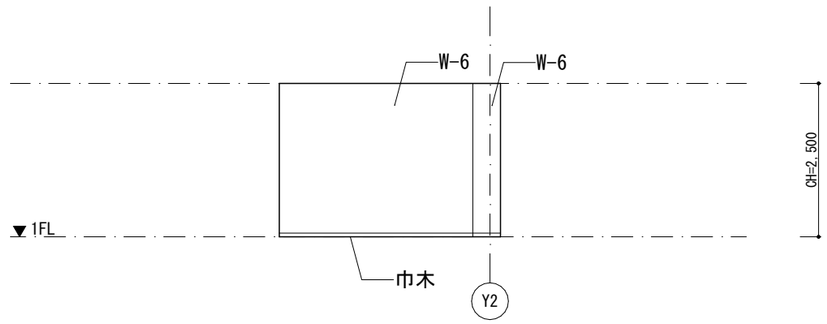
壁(W-1)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁(W-2)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-3)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/
壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-6)	仕上げ	EP塗装
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ﾗｳﾝ合板t=9.0/
壁(W-9)	仕上げ	
	下地	
壁(W-10)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-12)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-14)	仕上げ	有効吸音版t=9(ｼﾅ合板)目透かし張
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま
	下地	既存のまま
	仕上げ	
	下地	
	仕上げ	
	下地	

更衣室（女）

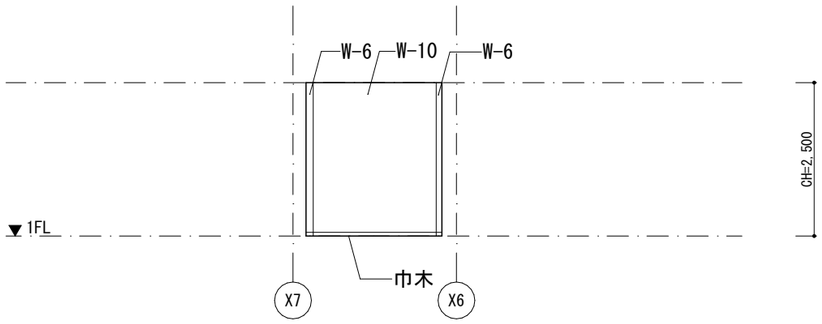
A



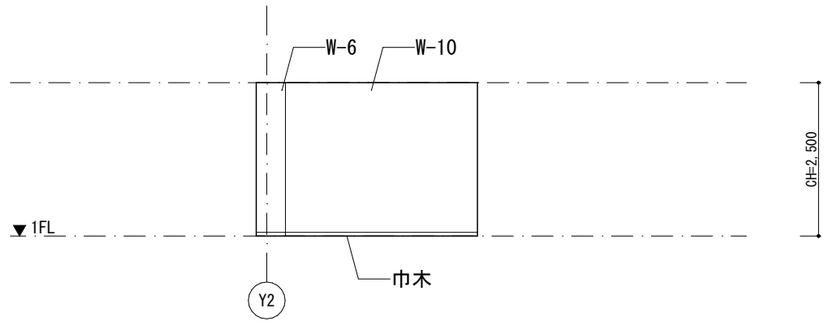
B



C

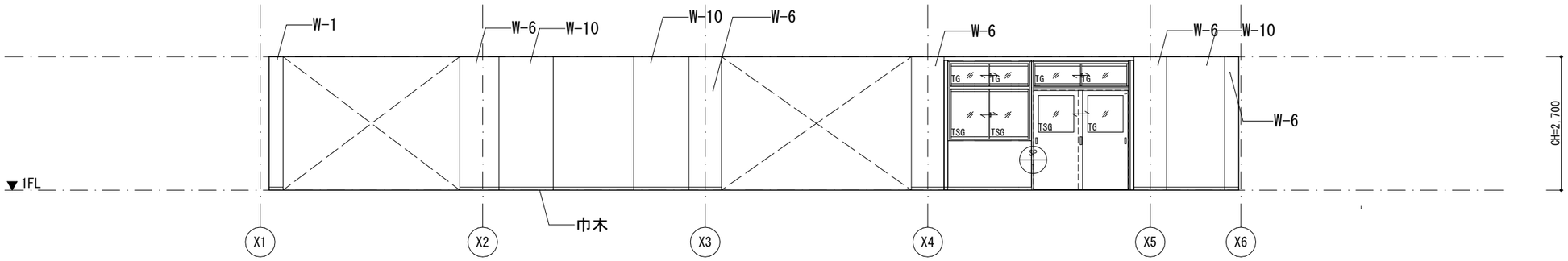


D

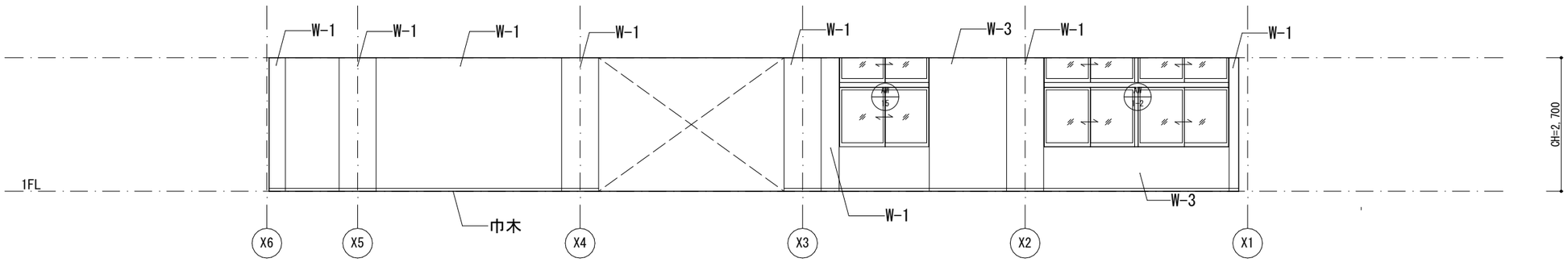


廊下 1-3

A



C



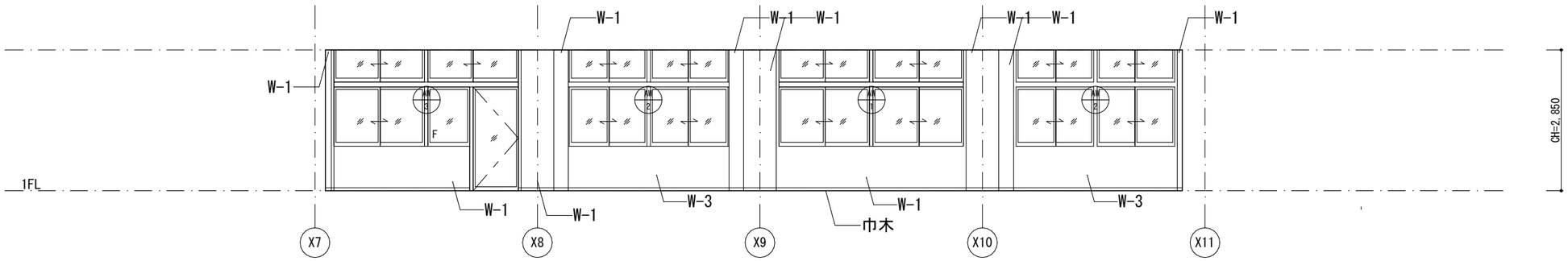
備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A　A-093
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	展開図3	縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)
	月 日		月 日										

凡例

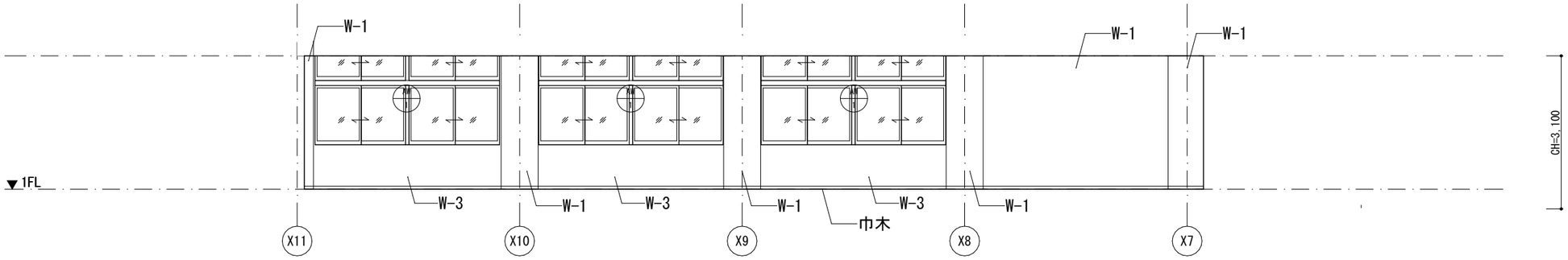
壁(W-1)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁(W-2)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-3)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/
壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-6)	仕上げ	EP塗装
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ﾗｳﾝ合板t=9.0/
壁(W-9)	仕上げ	
	下地	
壁(W-10)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-12)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-14)	仕上げ	有効吸音版t=9(ｼﾅ合板)目透かし張
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま
	下地	既存のまま
	仕上げ	
	下地	
	仕上げ	
	下地	

職員室

A

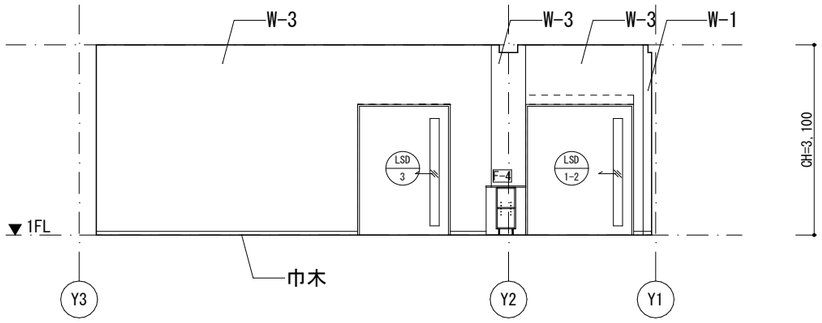


C

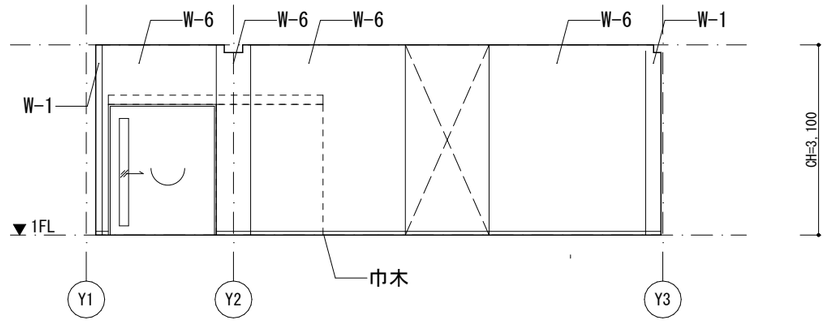


職員室

B



D



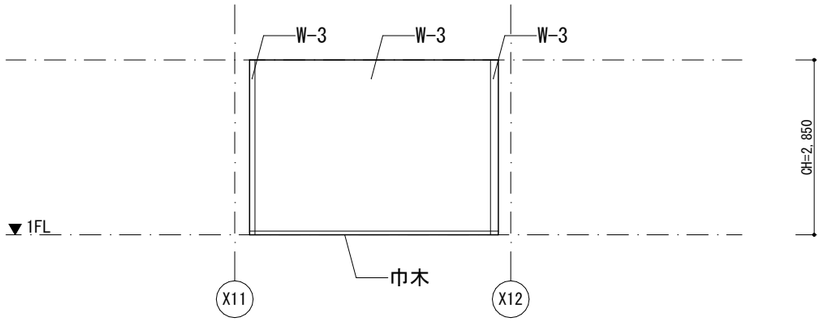
備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A A-094
	月 日		月 日		1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	統括	佐藤 信	製図	松浦 侑亮	図面名称	展開図4	縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)
	月 日		月 日										

凡例

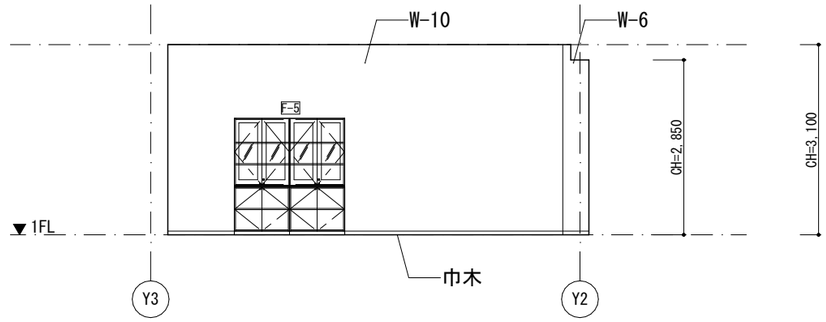
壁(W-1)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁(W-2)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-3)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/
壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-6)	仕上げ	EP塗装
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ﾗﾜﾝ合板t=9.0/
壁(W-9)	仕上げ	
	下地	
壁(W-10)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-12)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-14)	仕上げ	有効吸音版t=9(ｼﾅ合板)目透かし張
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま
	下地	既存のまま
	仕上げ	
	下地	
	仕上げ	
	下地	

校長室

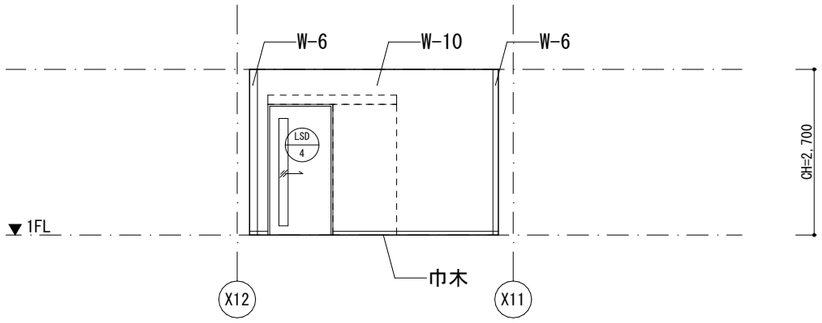
A



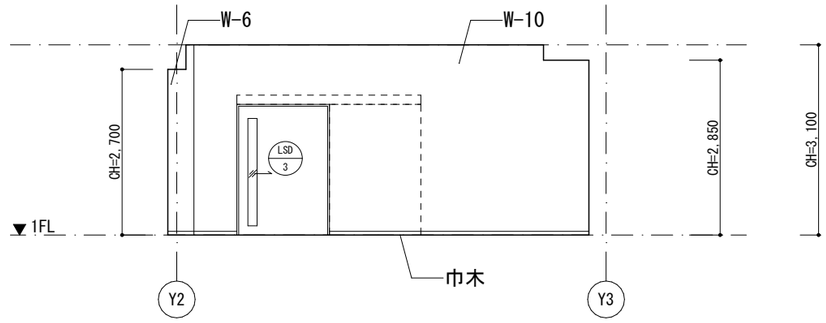
B



C

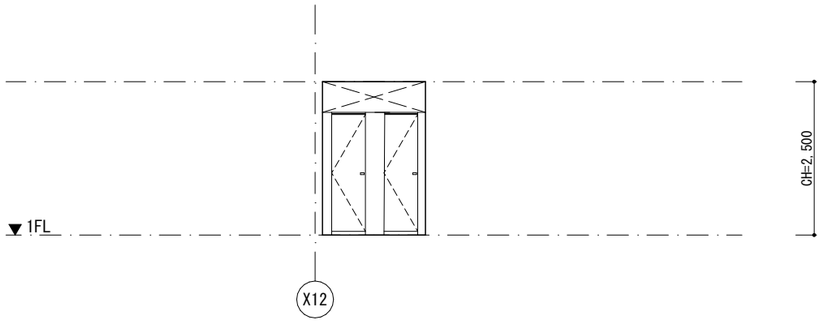


D

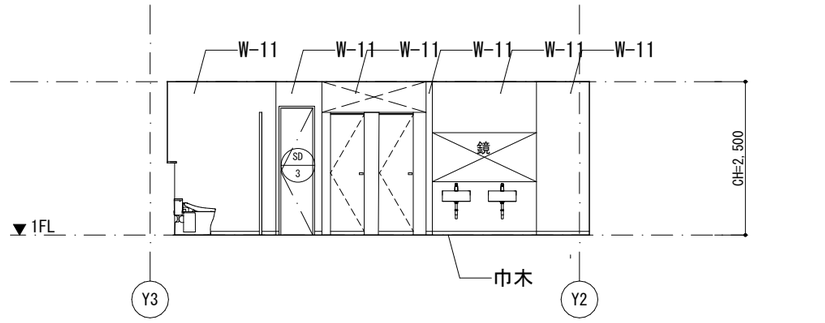


職員トイレ（女）

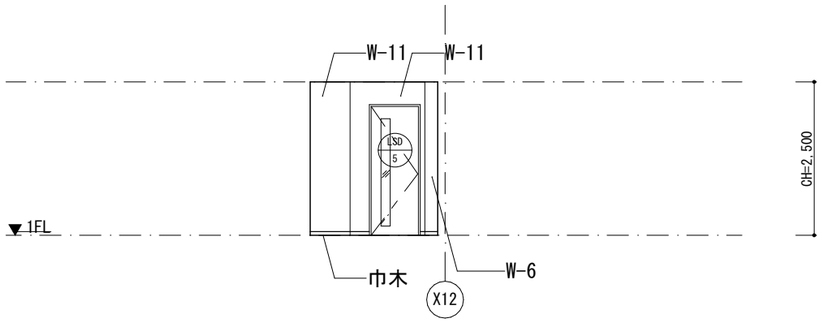
A



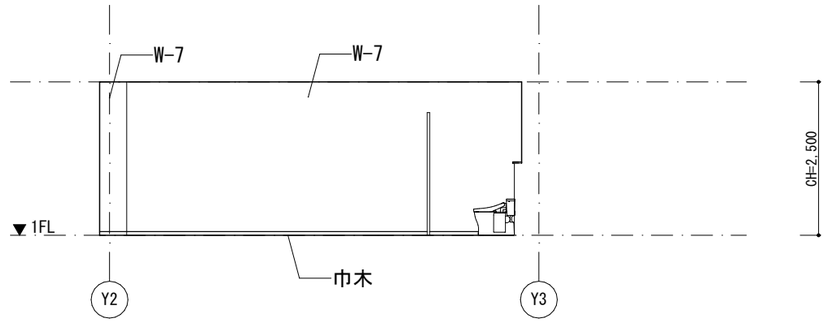
B



C



D



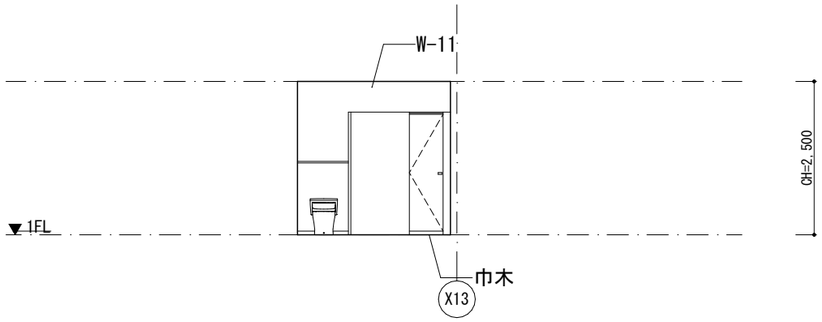
備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図書	A　A-095
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	展開図5	縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)
	月 日		月 日										

凡例

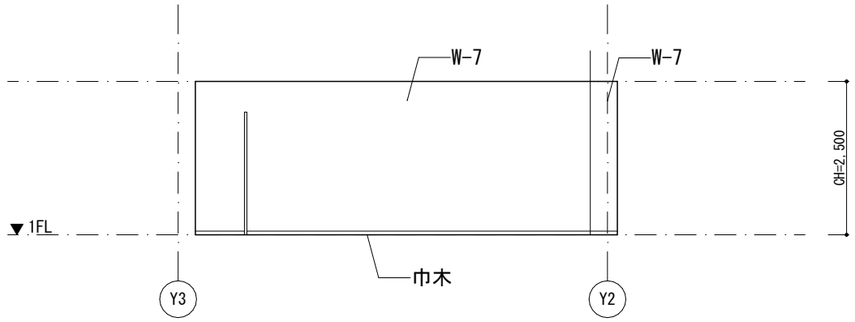
壁(W-1)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁(W-2)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-3)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/
壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-6)	仕上げ	EP塗装
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ﾗﾜﾝ合板t=9.0/
壁(W-9)	仕上げ	
	下地	
壁(W-10)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-12)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-14)	仕上げ	有効吸音版t=9(ｼﾅ合板)目透かし張
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま
	下地	既存のまま
	仕上げ	
	下地	
	仕上げ	
	下地	

職員トイレ（男）

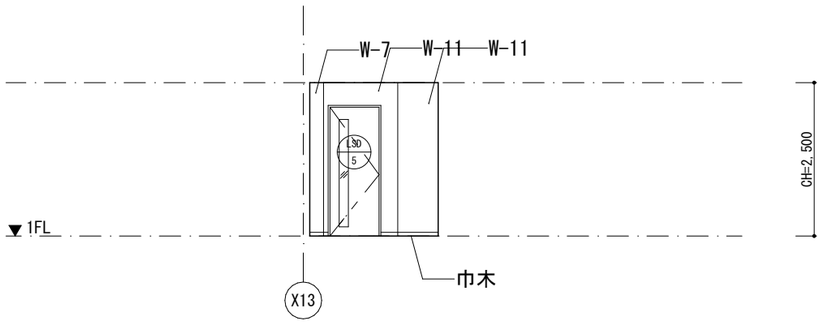
A



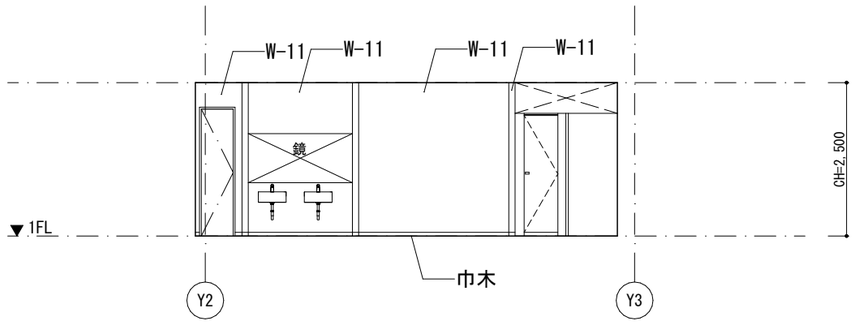
B



C



D



備考				
月 日		月 日		
月 日		月 日		
月 日		月 日		

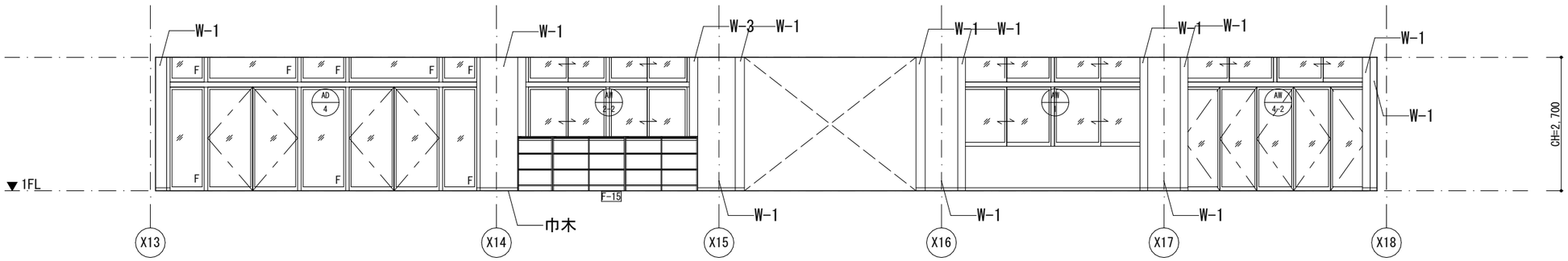
株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番 A A-096
1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	展開図6	縮尺 1/ 50(A1) 1/100(A3)

凡例

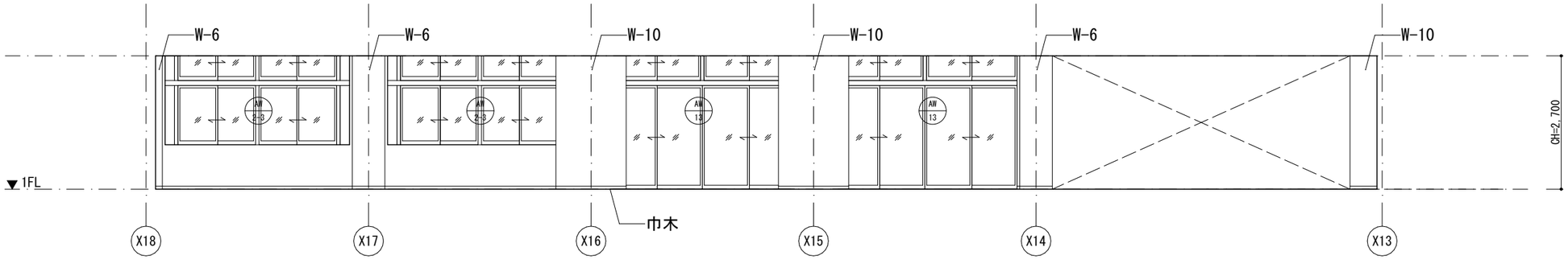
壁(W-1)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁(W-2)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-3)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/
壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-6)	仕上げ	EP塗装
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ﾗｳﾝ合板t=9.0/
壁(W-9)	仕上げ	
	下地	
壁(W-10)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-12)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-14)	仕上げ	有効吸音版t=9(ｼﾅ合板)目透かし張
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま
	下地	既存のまま
	仕上げ	
	下地	
	仕上げ	
	下地	

メディアスペース

A

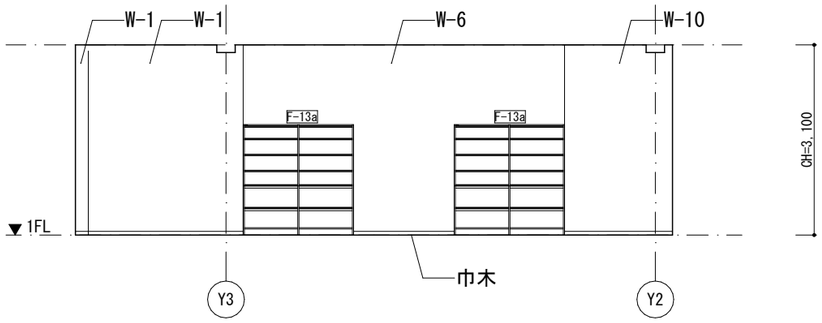


C

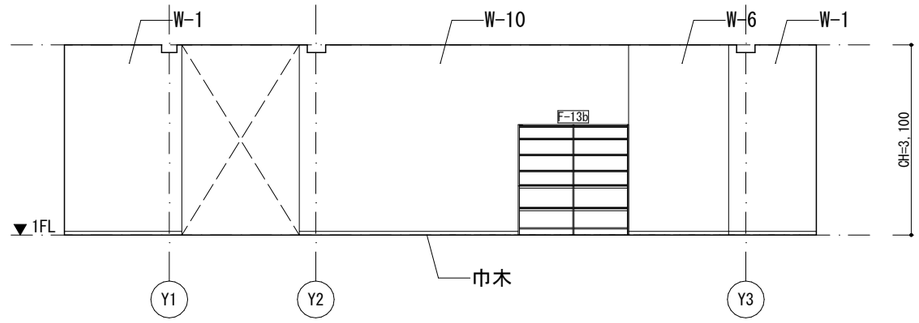


メディアスペース

B



D

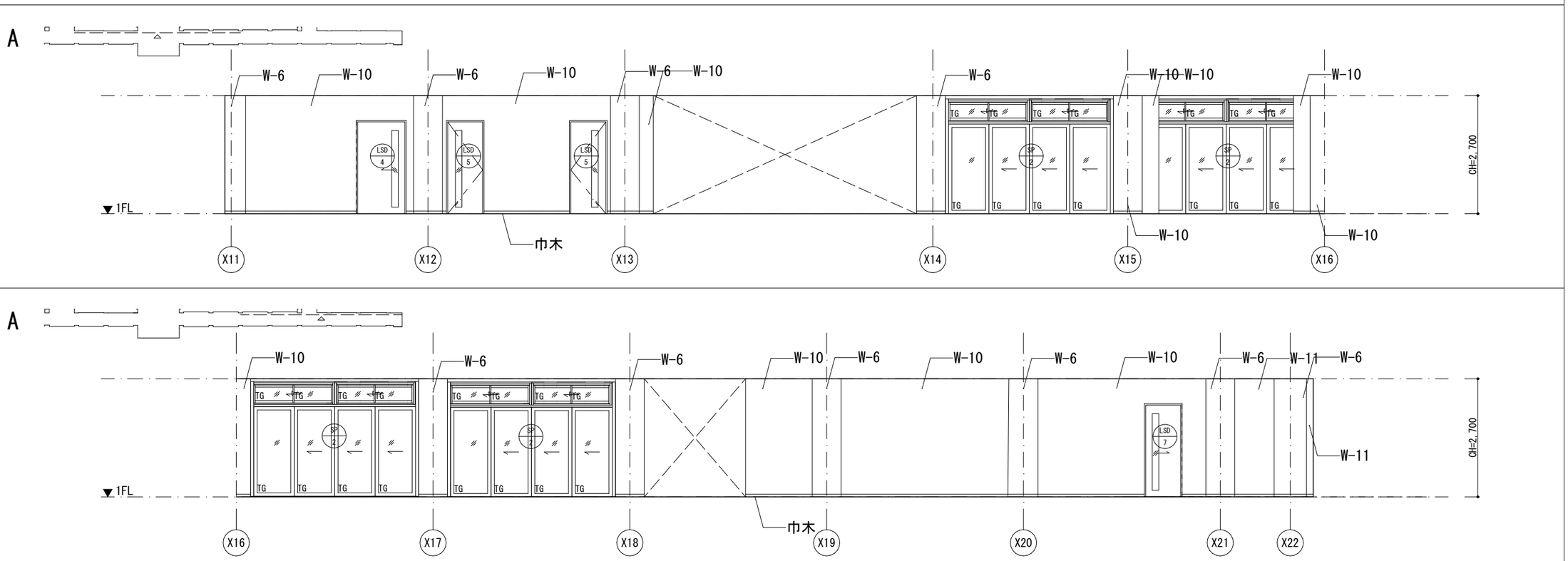


備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A A-097
	月 日		月 日		1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	統括	佐藤 信	製図	松浦 侑亮	図面名称	展開図7	縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)
	月 日		月 日										

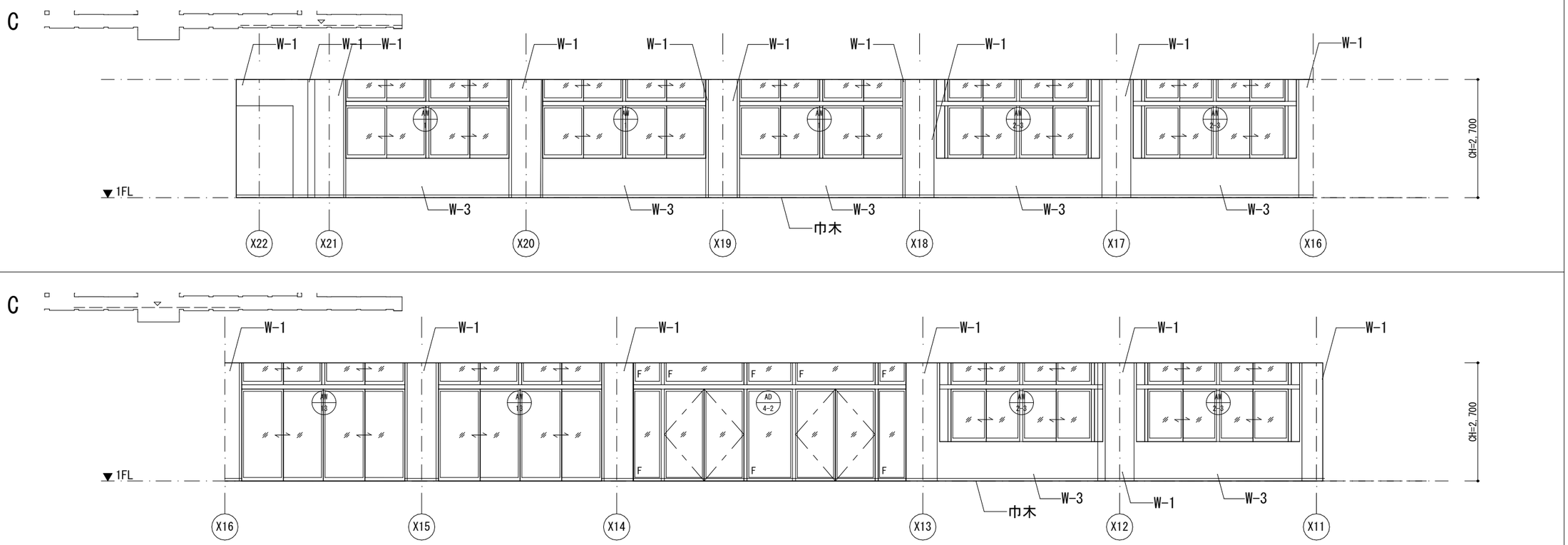
凡例

壁(W-1)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁(W-2)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-3)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/
壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-6)	仕上げ	EP塗装
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ﾗｳﾝ合板t=9.0/
壁(W-9)	仕上げ	
	下地	
壁(W-10)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-12)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-14)	仕上げ	有効吸音版t=9(ｼﾅ合板)目透かし張
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま
	下地	既存のまま
	仕上げ	
	下地	
	仕上げ	
	下地	

廊下 1-2



廊下 1-2



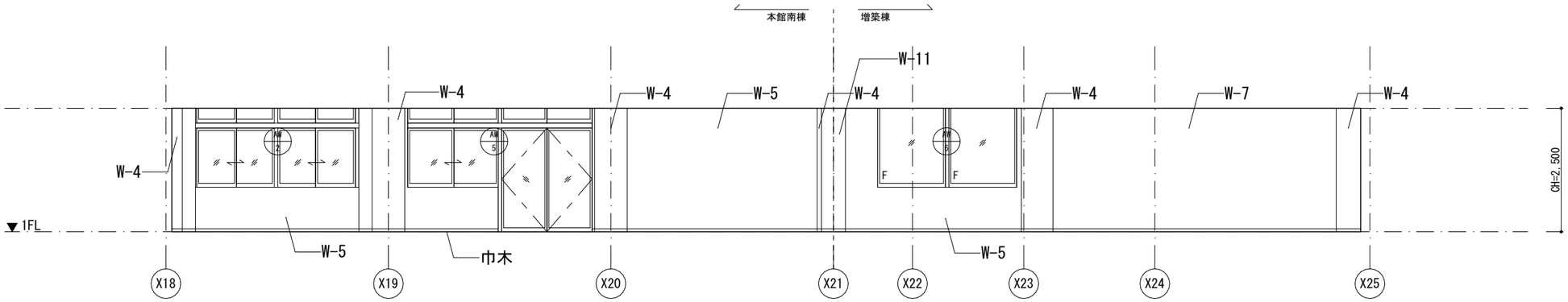
備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A　A-098
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	展開図8	縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)
	月 日		月 日										

凡例

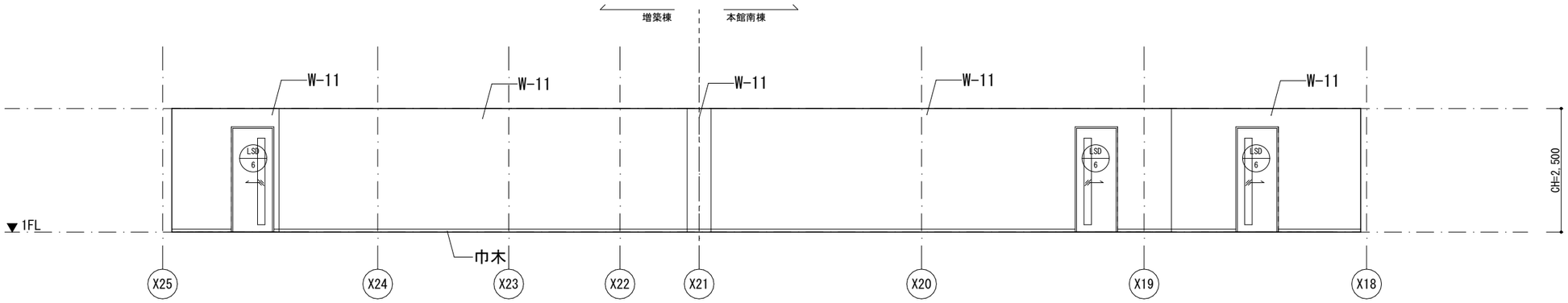
壁(W-1)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁(W-2)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-3)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/
壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-6)	仕上げ	EP塗装
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ﾗｳﾝ合板t=9.0/
壁(W-9)	仕上げ	
	下地	
壁(W-10)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-12)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-14)	仕上げ	有効吸音版t=9(ｼﾅ合板)目透かし張
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま
	下地	既存のまま
	仕上げ	
	下地	
	仕上げ	
	下地	

調理室

A

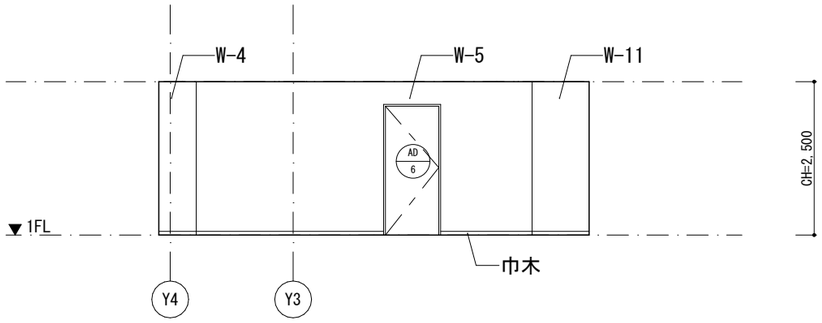


C

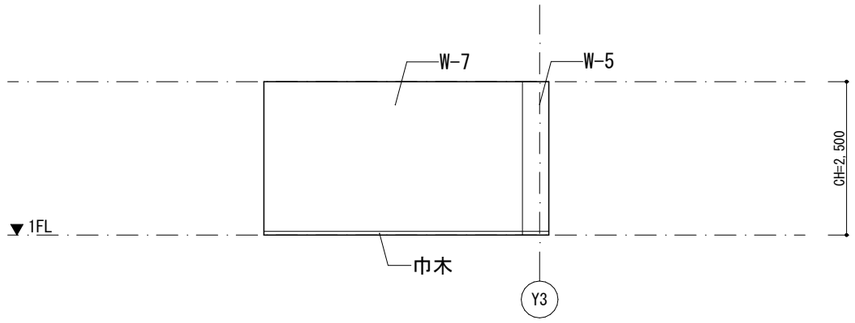


調理室

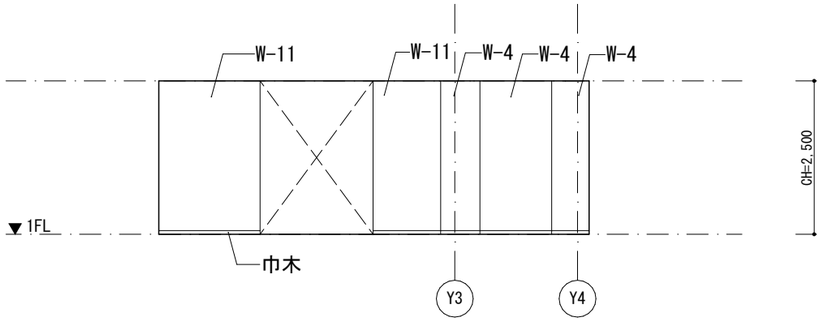
B



D-1



D-2



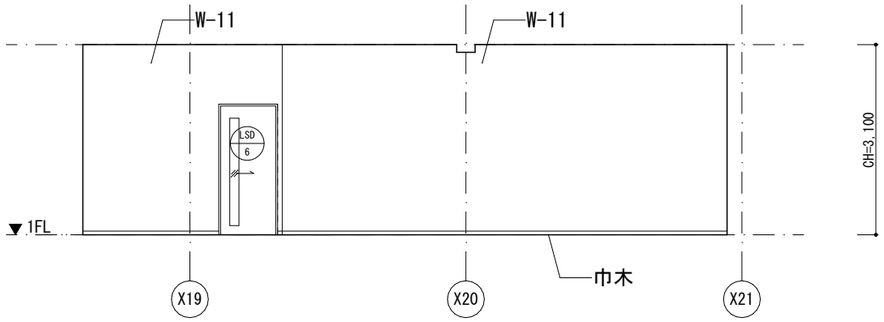
備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A A-099
	月 日		月 日		1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	統括	佐藤 信	製図	松浦 侑亮	図面名称	展開図9	縮尺	1/50(A1) 1/100(A3)
	月 日		月 日										

凡例

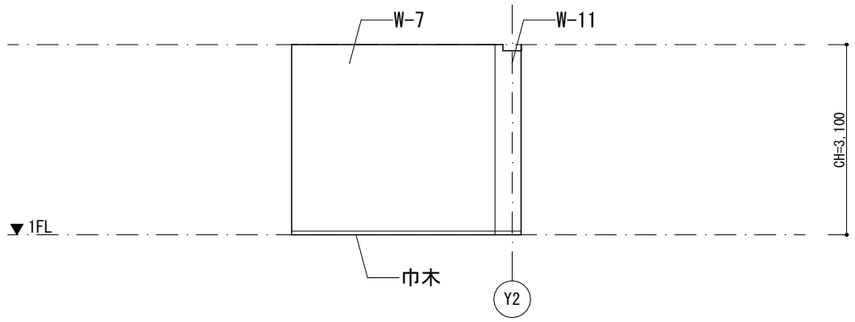
壁(W-1)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁(W-2)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-3)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/
壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-6)	仕上げ	EP塗装
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ﾗｳﾝ合板t=9.0/
壁(W-9)	仕上げ	
	下地	
壁(W-10)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-12)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-14)	仕上げ	有効吸音版t=9(ｼﾅ合板)目透かし張
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま
	下地	既存のまま
	仕上げ	
	下地	
	仕上げ	
	下地	

配膳室

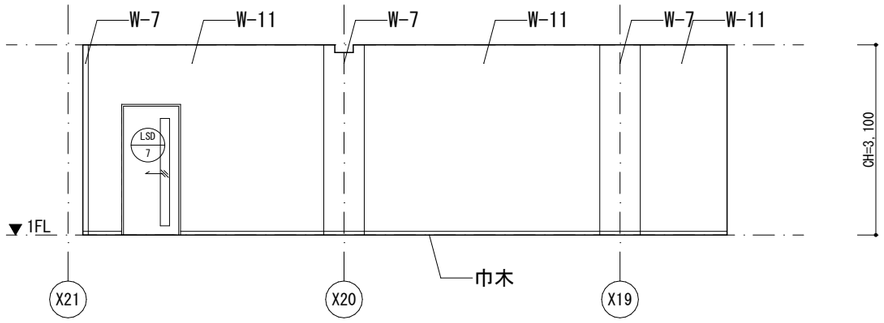
A



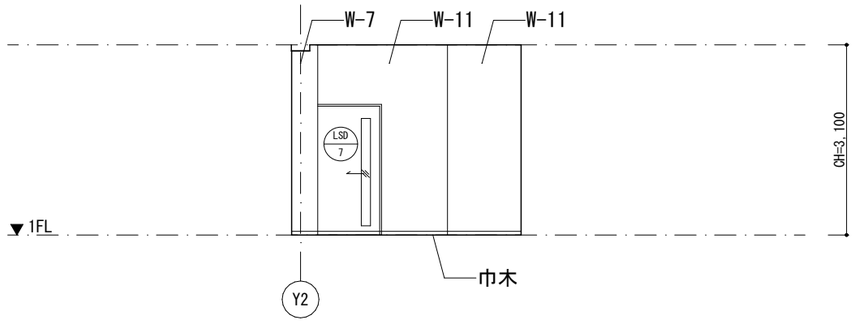
B



C

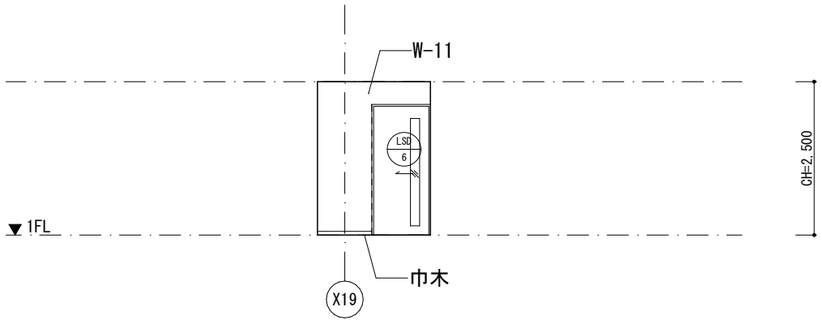


D

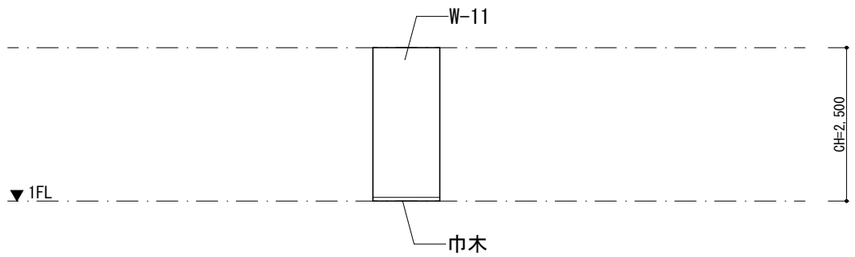


前室

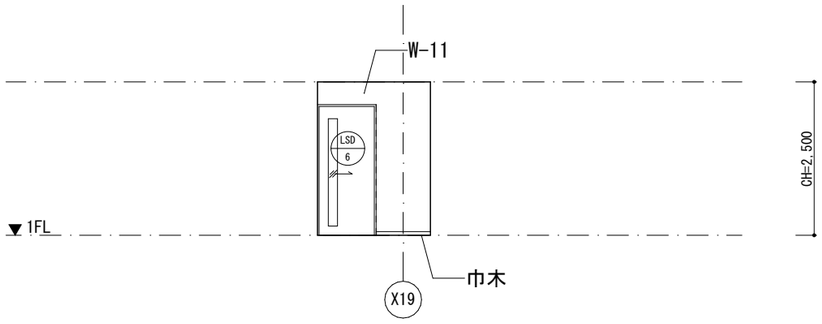
A



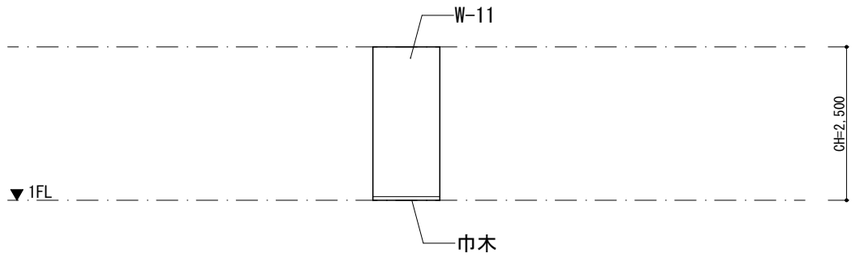
B



C



D



備考	月 日		月 日	
	月 日		月 日	
	月 日		月 日	

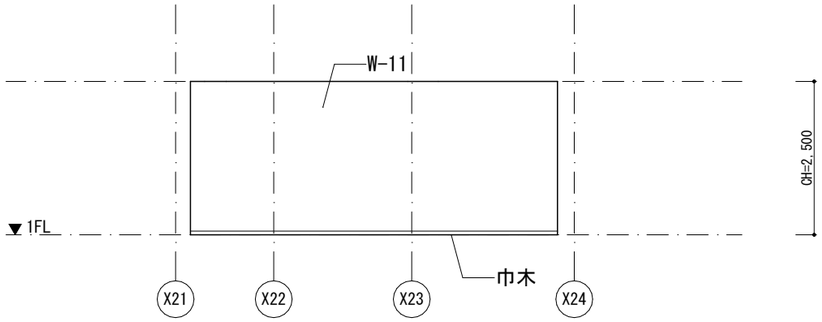
株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番 A A-100
1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	展開図10	縮尺 1/ 50(A1) 1/100(A3)

凡例

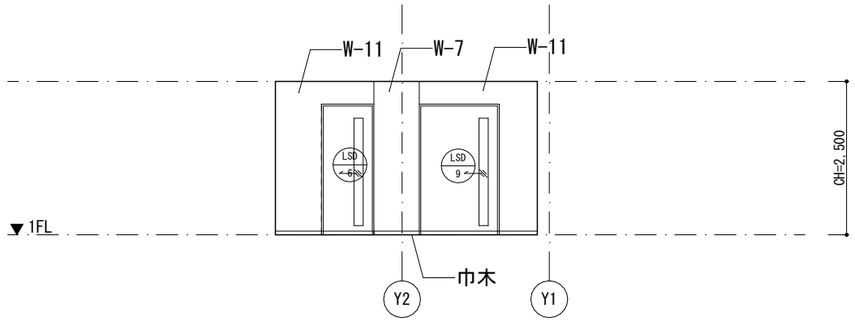
壁(W-1)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁(W-2)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-3)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/
壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-6)	仕上げ	EP塗装
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ﾗｳﾝ合板t=9.0/
壁(W-9)	仕上げ	
	下地	
壁(W-10)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-12)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-14)	仕上げ	有効吸音版t=9(ｼﾅ合板)目透かし張
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま
	下地	既存のまま
	仕上げ	
	下地	
	仕上げ	
	下地	

下処理室

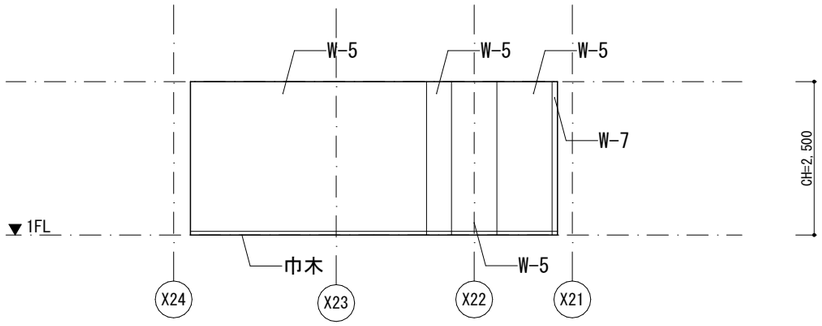
A



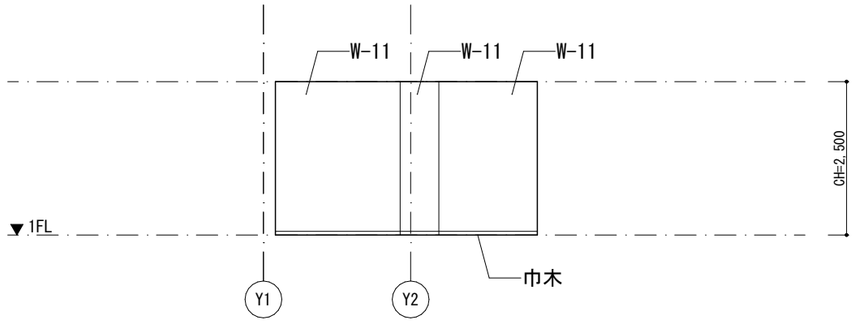
B



C

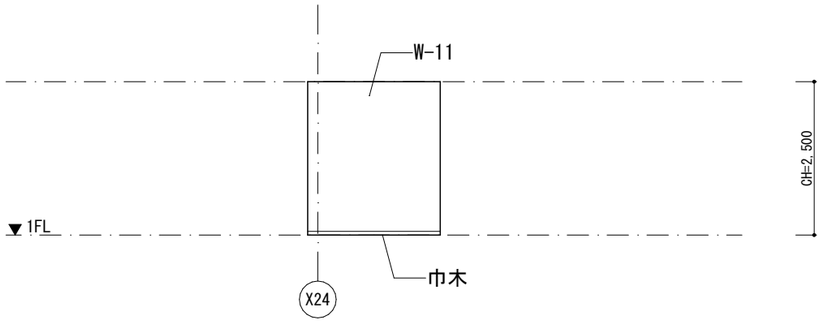


D

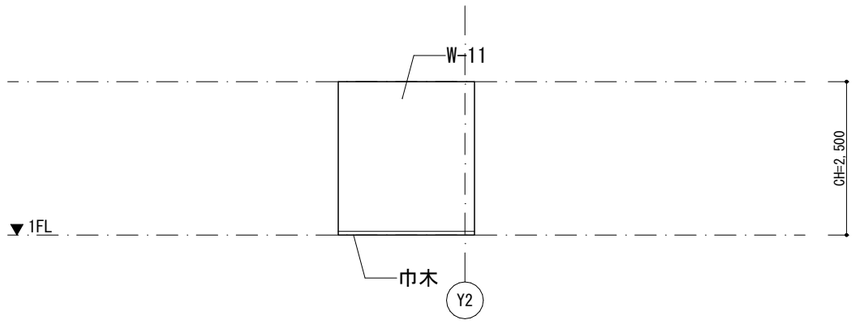


食品庫

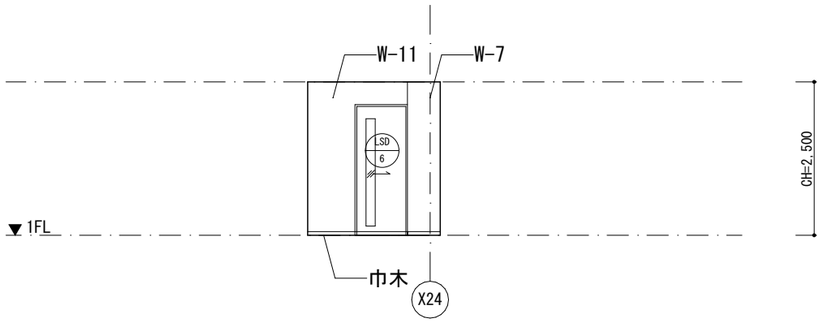
A



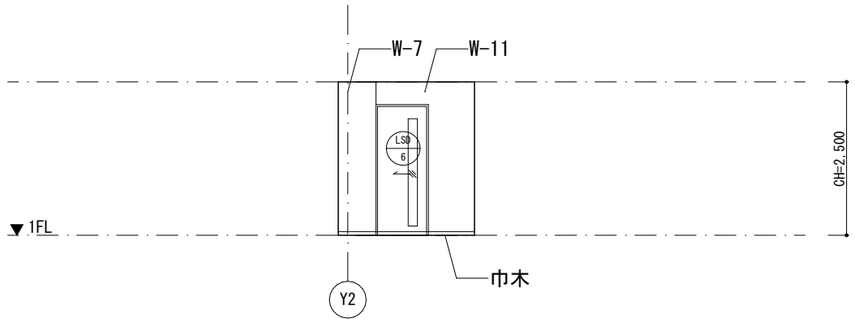
B



C



D



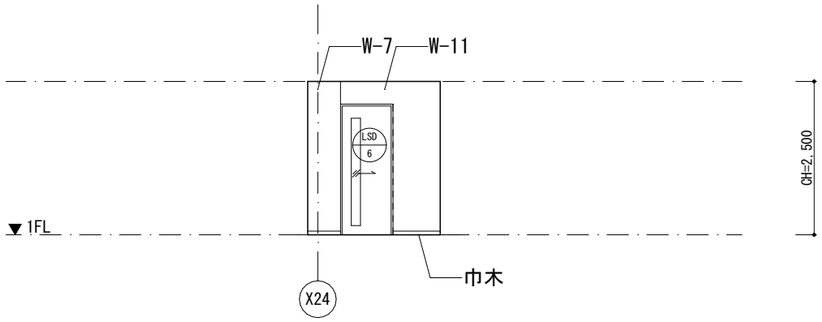
備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A　A-101
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	展開図11	縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)
	月 日		月 日										

凡例

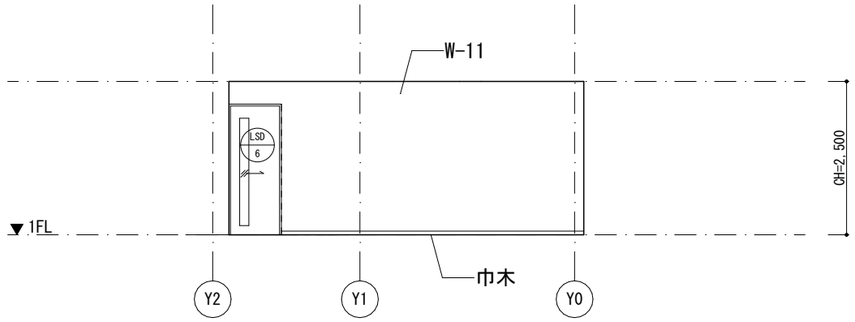
壁(W-1)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁(W-2)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-3)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/
壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-6)	仕上げ	EP塗装
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ﾗｳﾝ合板t=9.0/
壁(W-9)	仕上げ	
	下地	
壁(W-10)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-12)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-14)	仕上げ	有効吸音版t=9(ｼﾅ合板)目透かし張
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま
	下地	既存のまま
	仕上げ	
	下地	
	仕上げ	
	下地	

検収室

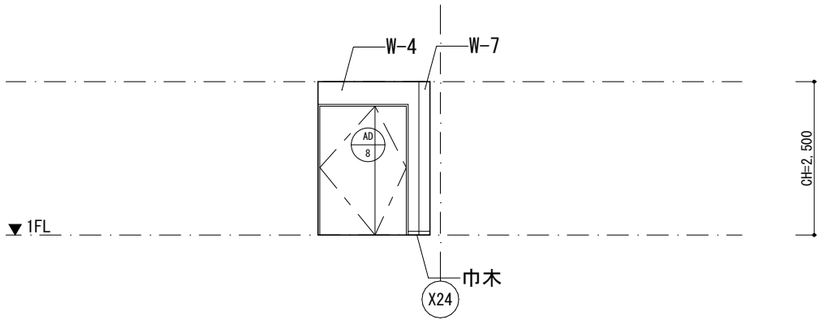
A



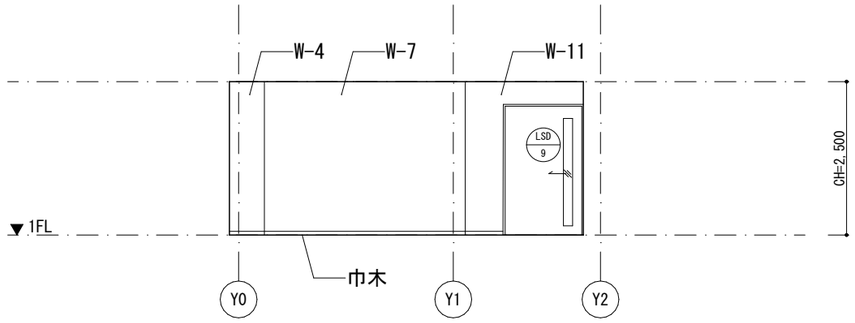
B



C

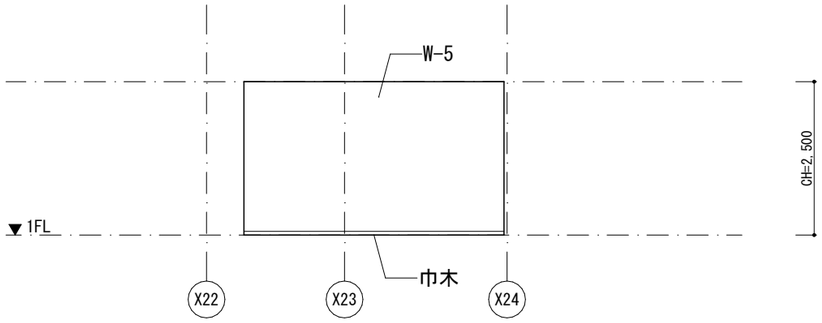


D

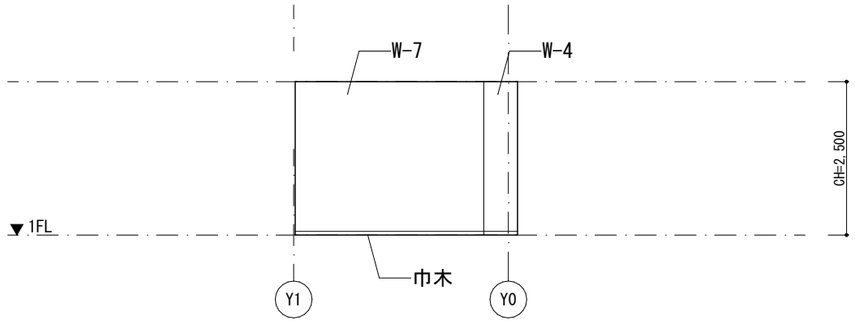


パン・牛乳　仕分室

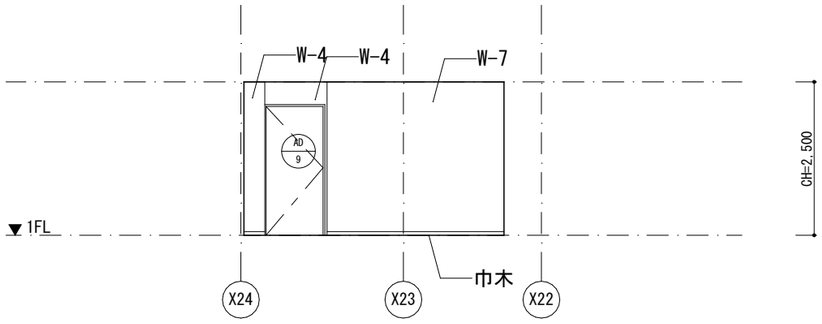
A



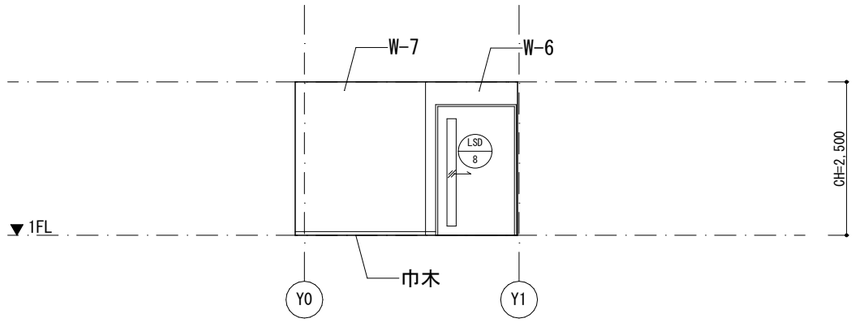
B



C



D

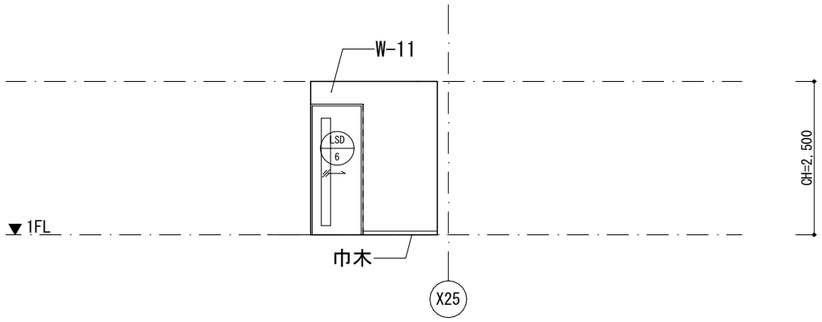


備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A　A-102
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	展開図12	縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)
	月 日		月 日										

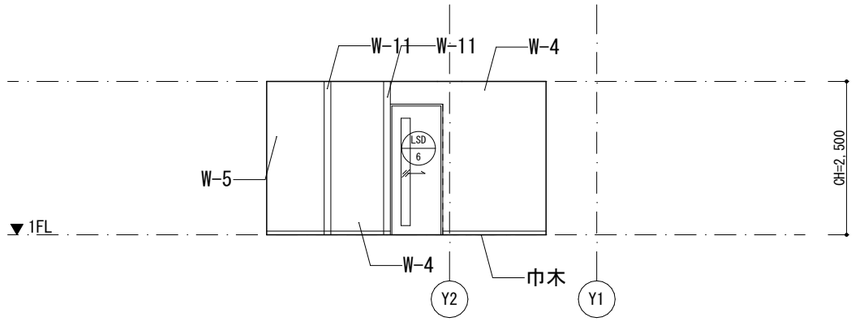
凡例		
壁(W-1)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁(W-2)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-3)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/
壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-6)	仕上げ	EP塗装
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ﾗｳﾝ合板t=9.0/
壁(W-9)	仕上げ	
	下地	
壁(W-10)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-12)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-14)	仕上げ	有効吸音版t=9(ｼﾅ合板)目透かし張
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま
	下地	既存のまま
	仕上げ	
	下地	
	仕上げ	
	下地	

前室

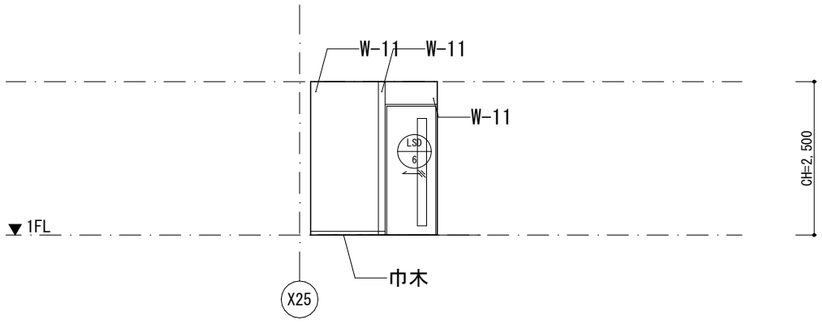
A



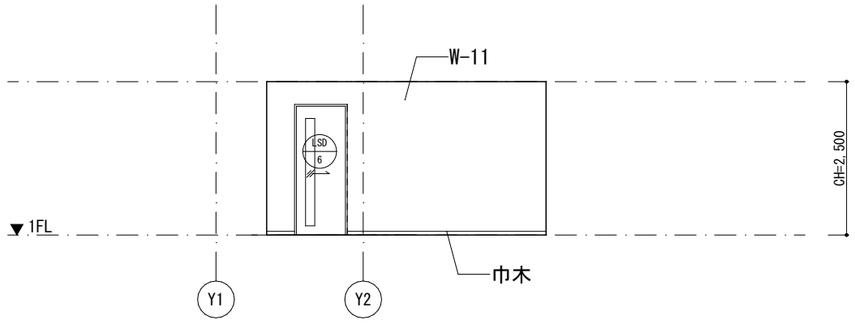
B



C

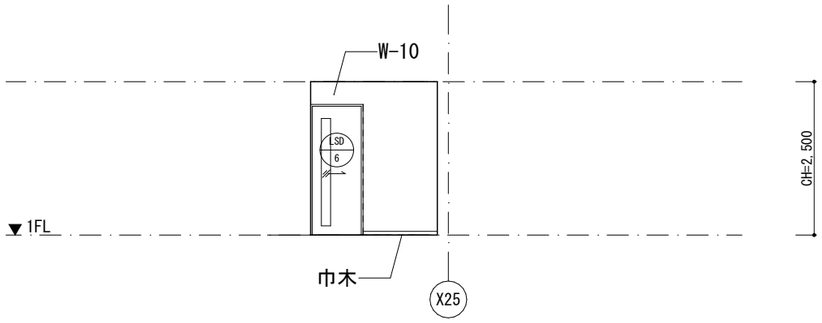


D

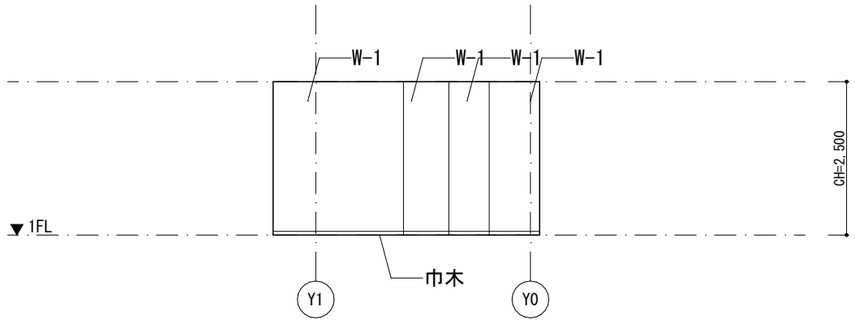


更衣・休憩室

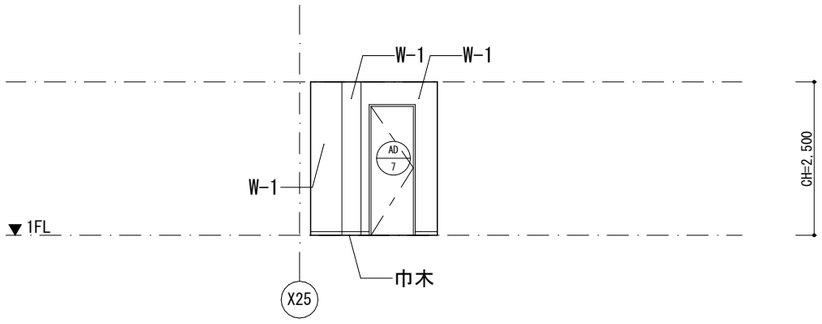
A



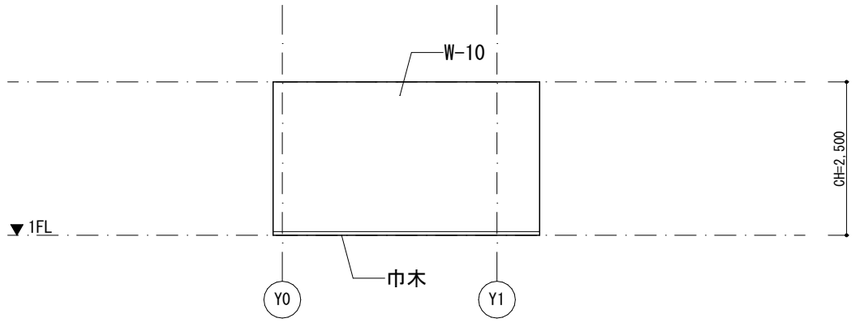
B



C



D



備考	月 日		月 日	
	月 日		月 日	
	月 日		月 日	

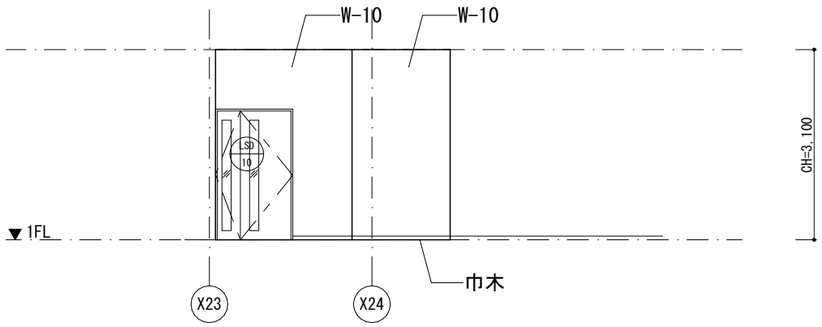
株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番 A A-103
1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	展開図13	縮尺 1/ 50(A1) 1/100(A3)

凡例

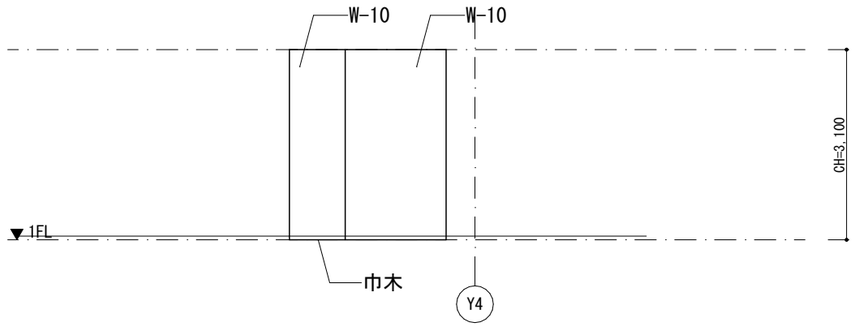
壁(W-1)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁(W-2)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-3)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/
壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-6)	仕上げ	EP塗装
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ﾗﾜﾝ合板t=9.0/
壁(W-9)	仕上げ	
	下地	
壁(W-10)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-12)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-14)	仕上げ	有効吸音版t=9(ｼﾅ合板)目透かし張
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま
	下地	既存のまま
	仕上げ	
	下地	
	仕上げ	
	下地	

収納庫

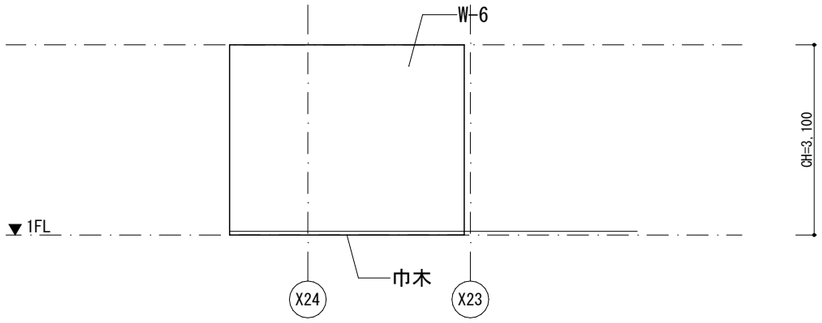
A



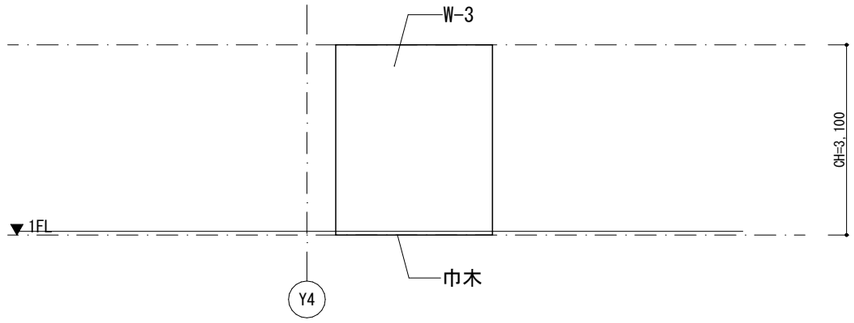
B



C

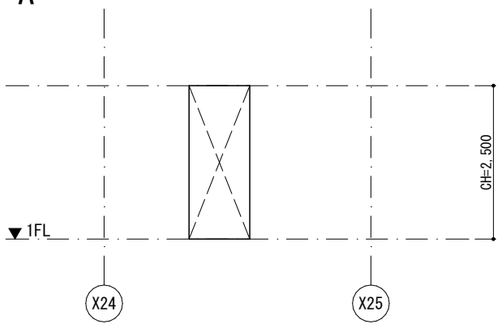


D

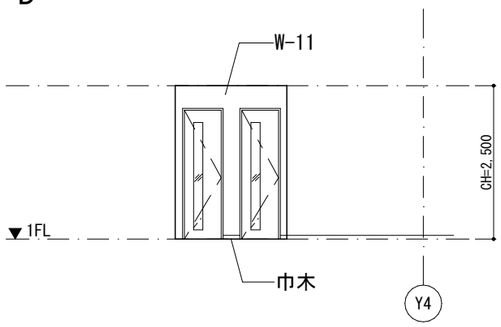


トイレ(児童クラブ1)

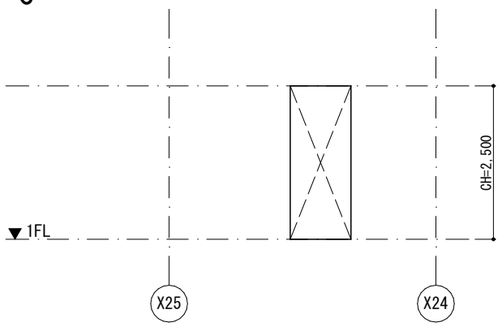
A



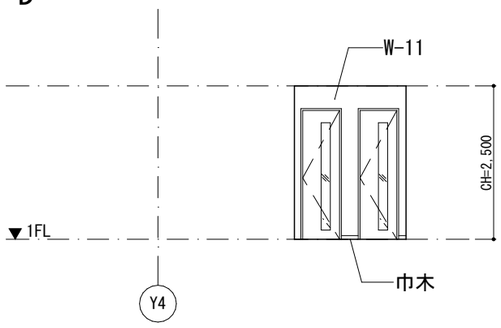
B



C

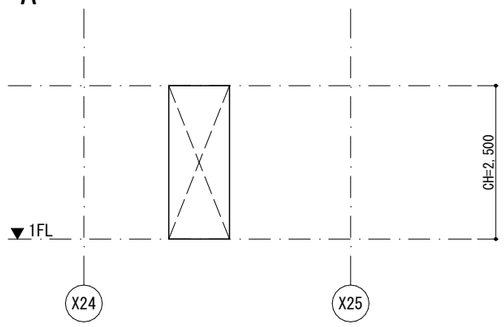


D

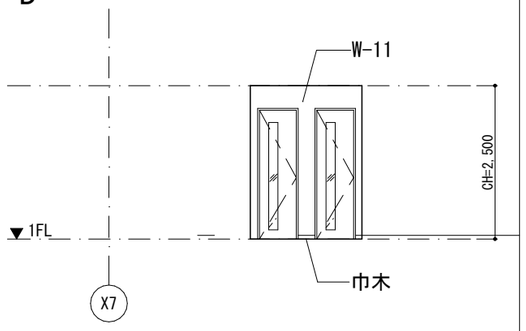


トイレ(児童クラブ2)

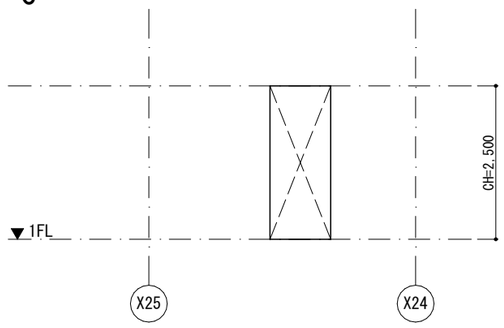
A



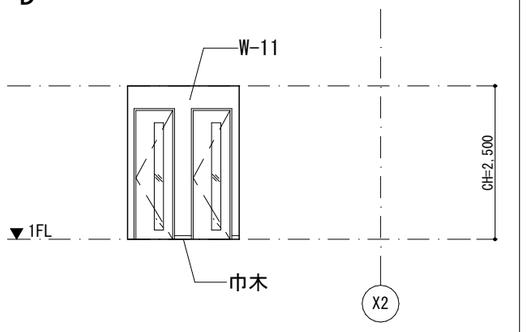
B



C



D



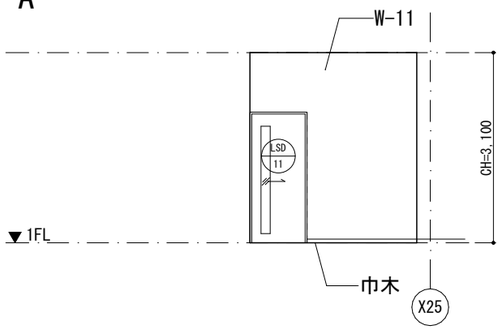
備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A　A-104
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	展開図14	縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)
	月 日		月 日										

凡例

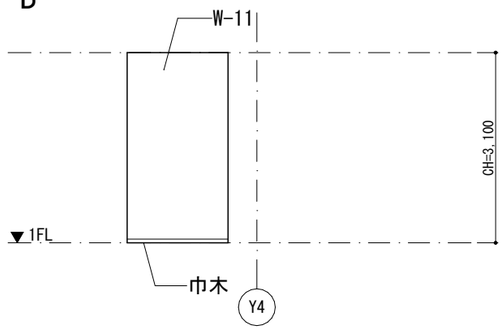
壁(W-1)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁(W-2)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-3)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/
壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-6)	仕上げ	EP塗装
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ﾗｳﾝ合板t=9.0/
壁(W-9)	仕上げ	
	下地	
壁(W-10)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-12)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-14)	仕上げ	有効吸音版t=9(ｼﾅ合板)目透かし張
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま
	下地	既存のまま
	仕上げ	
	下地	
	仕上げ	
	下地	

多目的トイレ

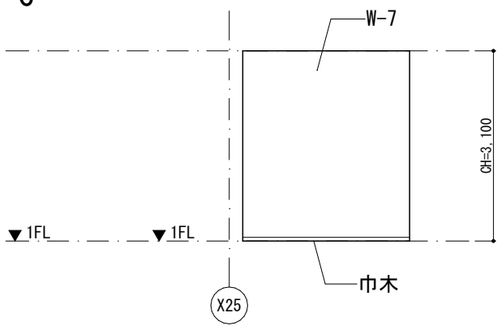
A



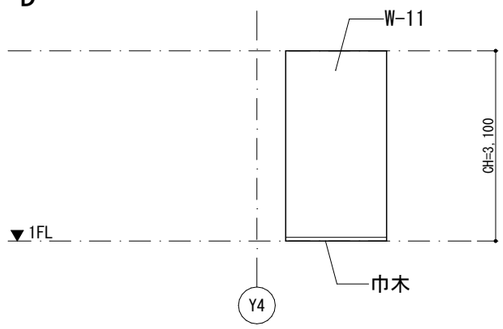
B



C

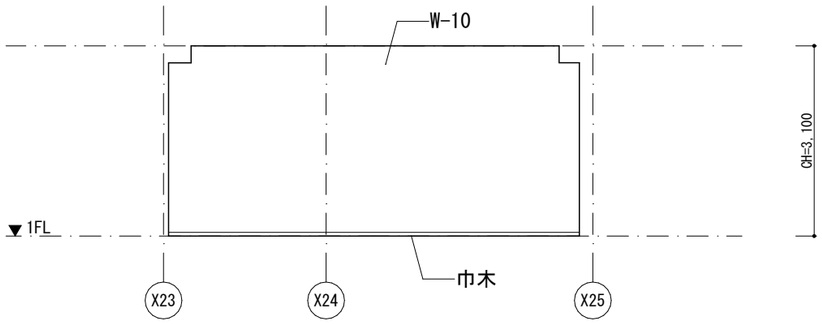


D

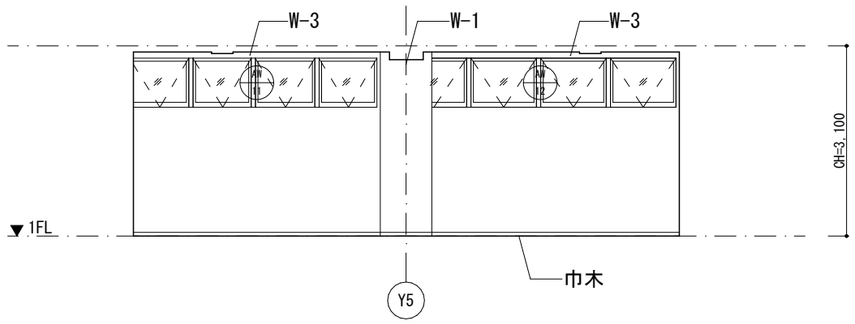


児童クラブ1

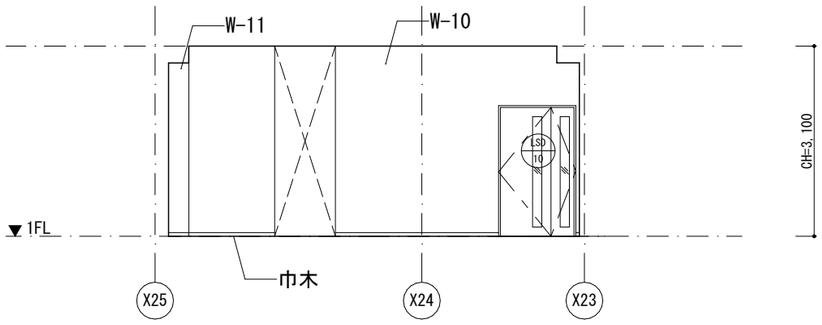
A



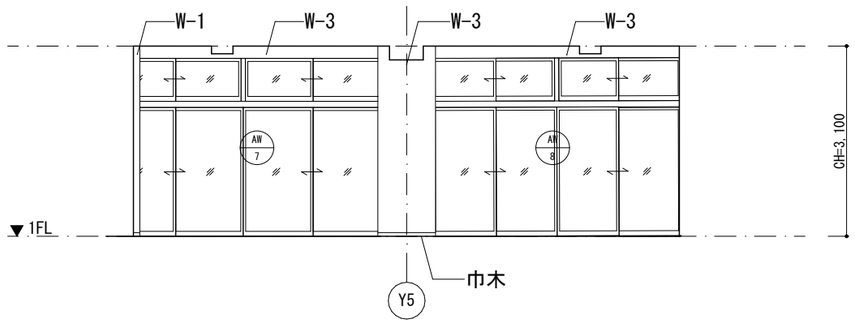
B



C



D



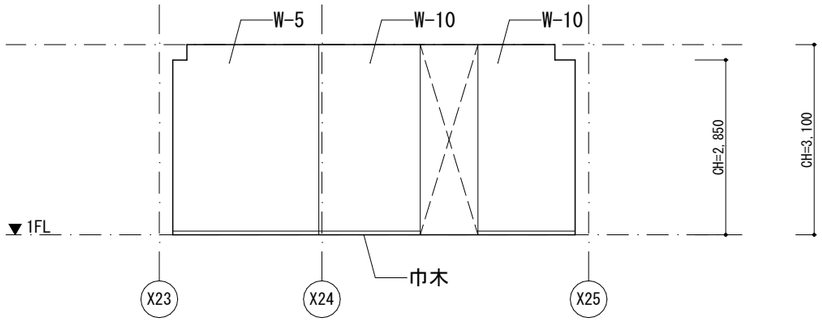
備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図書	A　A-105
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	展開図15	縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)
	月 日		月 日										

凡例

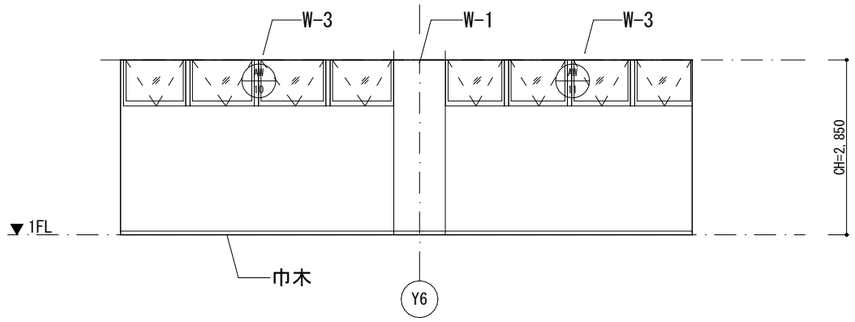
壁(W-1)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁(W-2)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-3)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/
壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-6)	仕上げ	EP塗装
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ﾗｳﾝ合板t=9.0/
壁(W-9)	仕上げ	
	下地	
壁(W-10)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-12)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-14)	仕上げ	有効吸音版t=9(ｼﾅ合板)目透かし張
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま
	下地	既存のまま
	仕上げ	
	下地	
	仕上げ	
	下地	

児童クラブ2

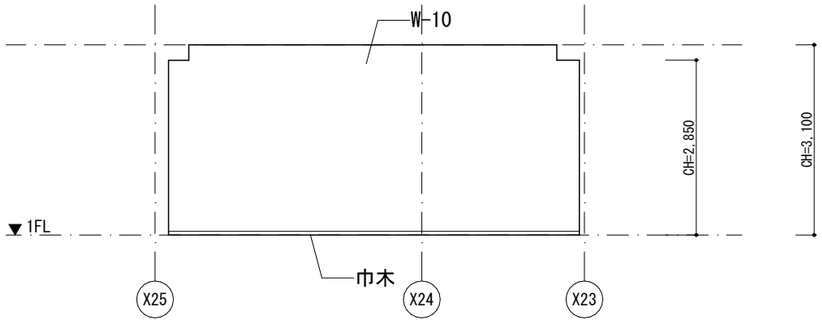
A



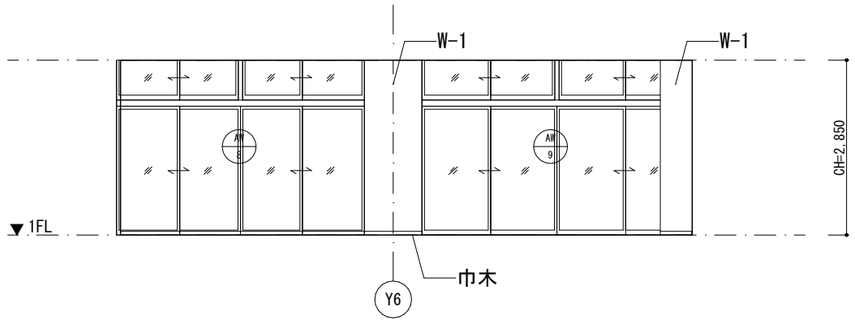
B



C

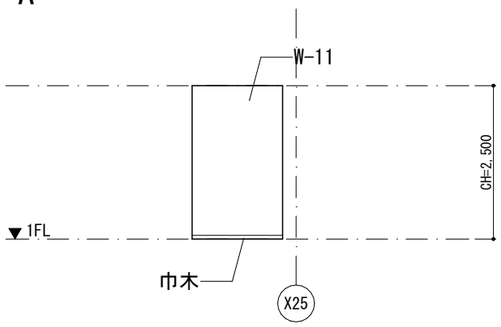


D

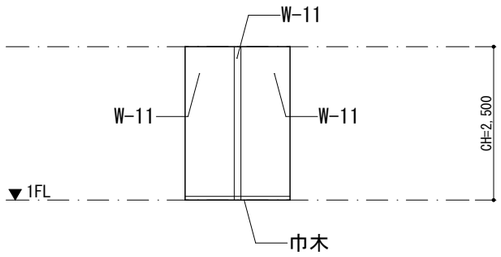


トイレ（内壁）

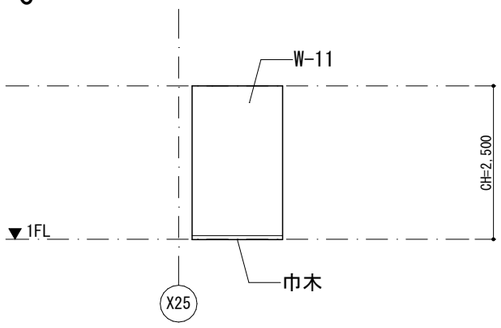
A



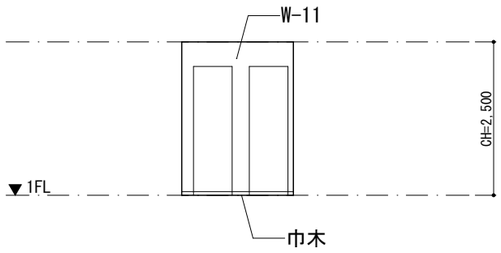
B



C

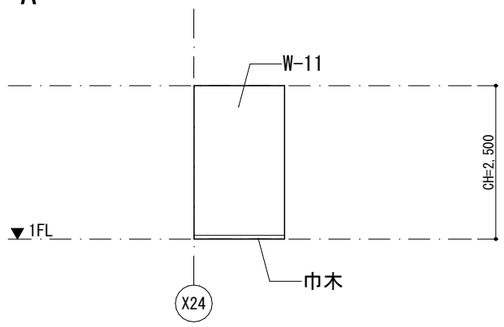


D

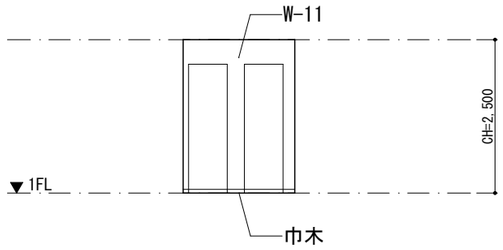


トイレ（内壁）

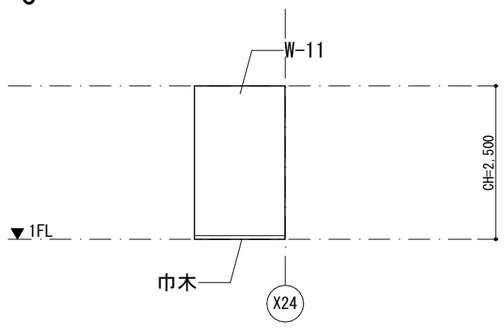
A



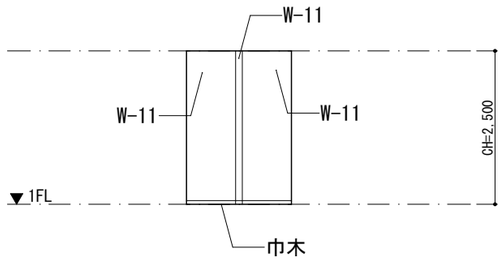
B



C



D



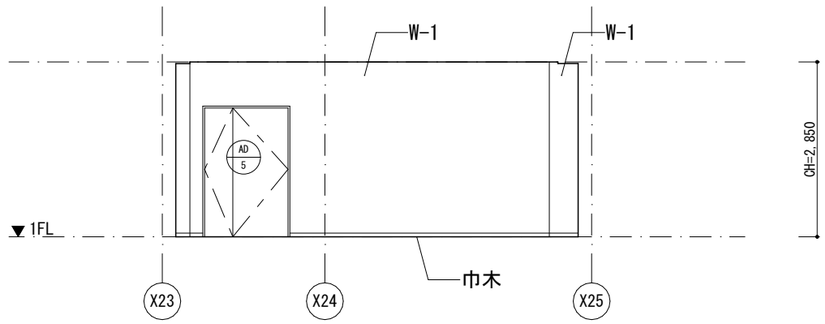
備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A A-106
	月 日		月 日		1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	統括	佐藤 信	製図	松浦 侑亮	図面名称	展開図16	縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)
	月 日		月 日										

凡例

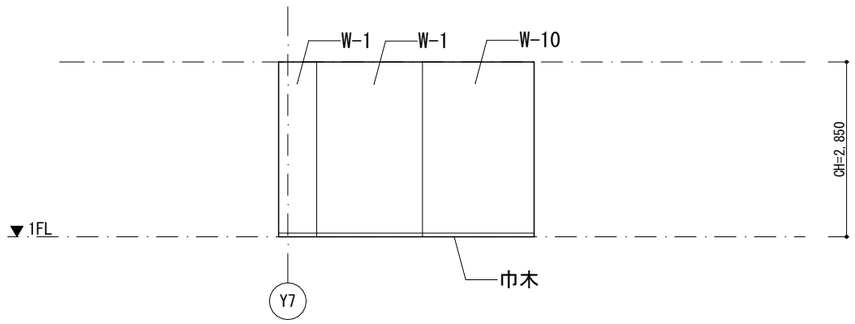
壁(W-1)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁(W-2)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-3)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/
壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-6)	仕上げ	EP塗装
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ﾗｳﾝ合板t=9.0/
壁(W-9)	仕上げ	
	下地	
壁(W-10)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-12)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-14)	仕上げ	有効吸音版t=9(ｼﾅ合板)目透かし張
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま
	下地	既存のまま
	仕上げ	
	下地	
	仕上げ	
	下地	

体育倉庫

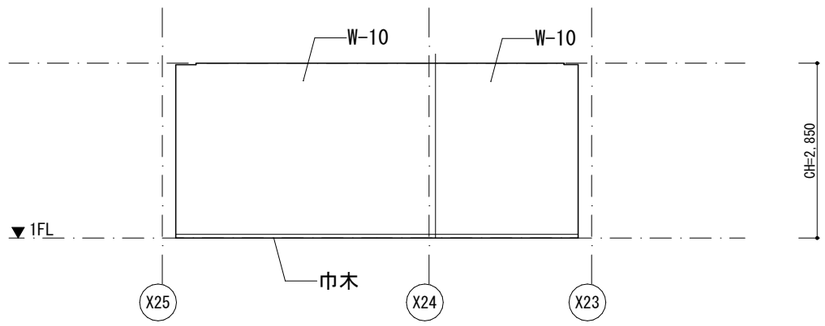
A



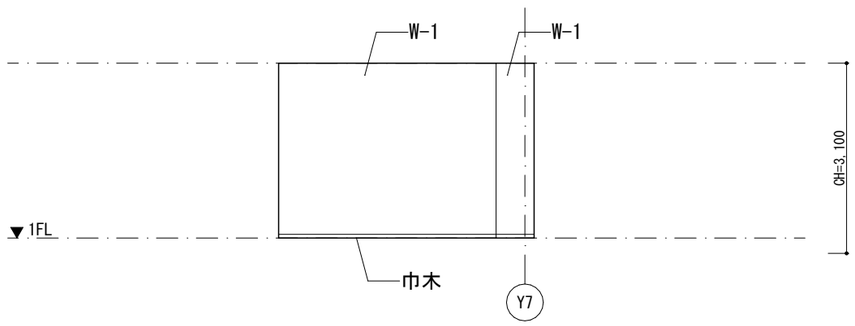
B



C



D



備考				
月 日		月 日		
月 日		月 日		
月 日		月 日		

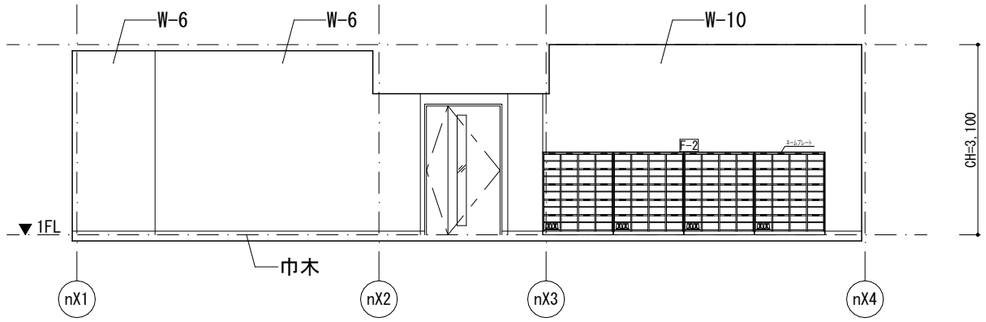
株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番 A A-107
1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	展開図17	縮尺 1/ 50(A1) 1/100(A3)

凡例

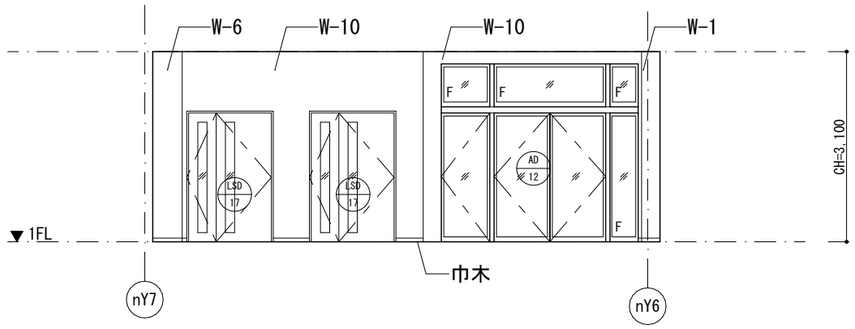
壁(W-1)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁(W-2)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-3)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/
壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-6)	仕上げ	EP塗装
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ﾗｳﾝ合板t=9.0/
壁(W-9)	仕上げ	
	下地	
壁(W-10)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-12)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-14)	仕上げ	有効吸音版t=9(ｼﾅ合板)目透かし張
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま
	下地	既存のまま
	仕上げ	
	下地	
	仕上げ	
	下地	

昇降口２

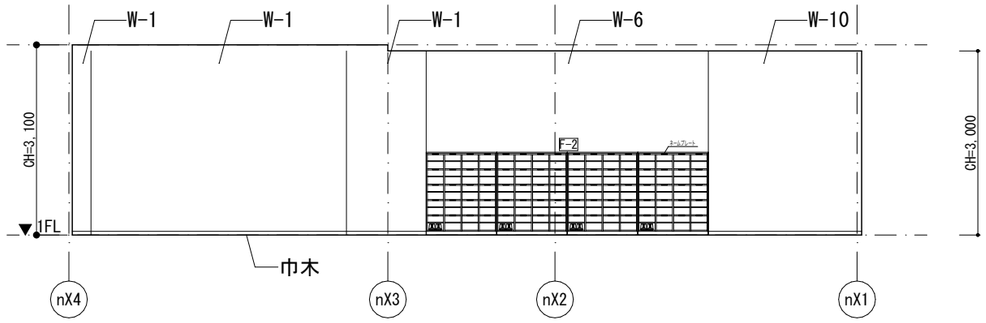
A



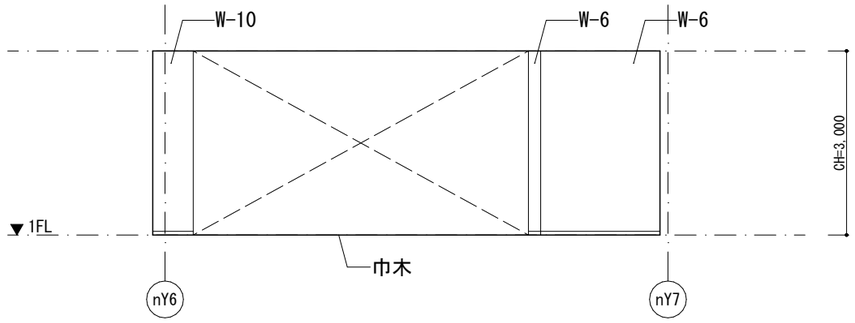
B



C

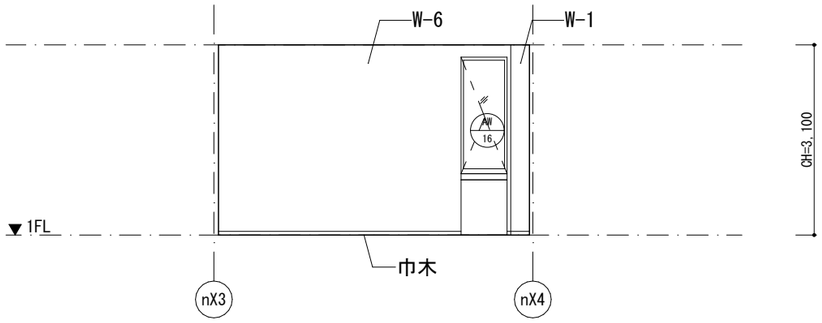


D

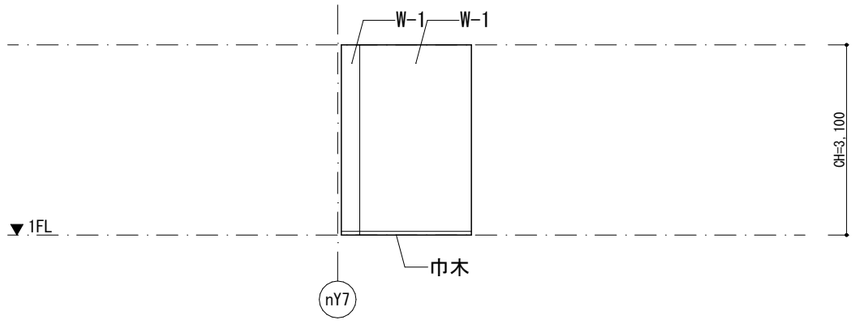


警備員室

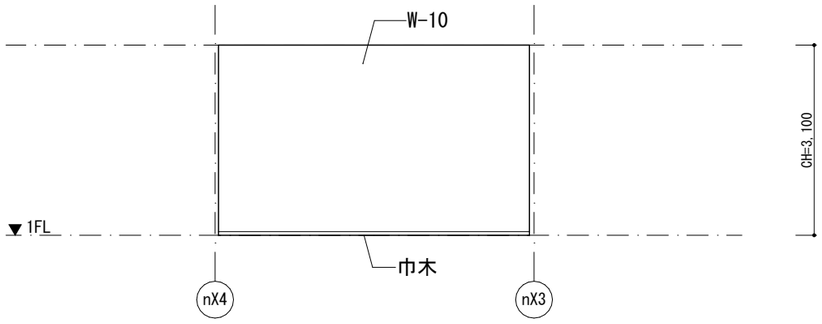
A



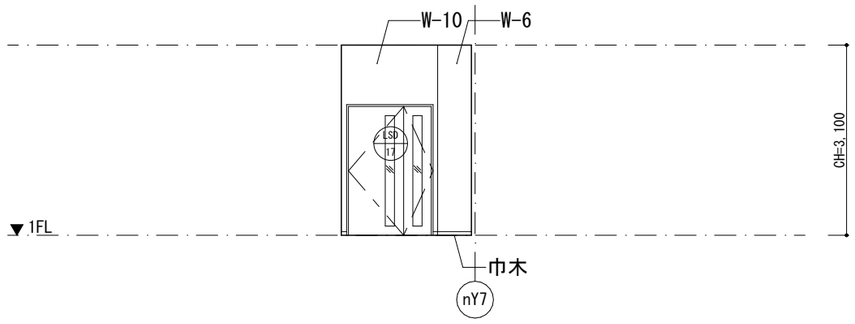
B



C



D



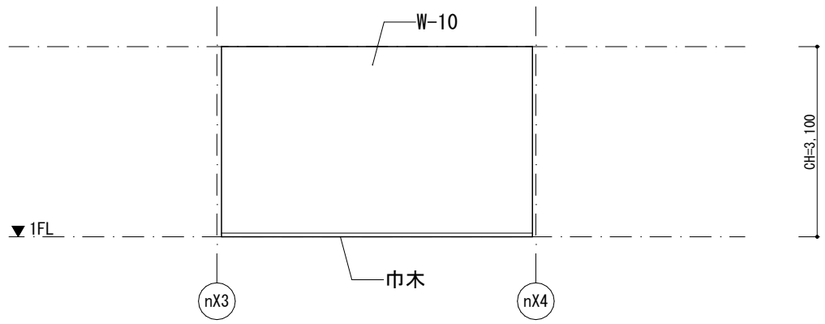
備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A　A-108
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	展開図18	縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)
	月 日		月 日										

凡例

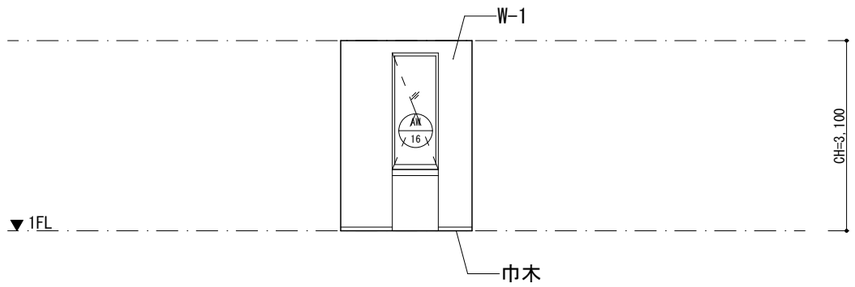
壁(W-1)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁(W-2)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-3)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/
壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-6)	仕上げ	EP塗装
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ﾗｳﾝ合板t=9.0/
壁(W-9)	仕上げ	
	下地	
壁(W-10)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-12)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-14)	仕上げ	有効吸音版t=9(ｼﾅ合板)目透かし張
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま
	下地	既存のまま
	仕上げ	
	下地	
	仕上げ	
	下地	

校務員室

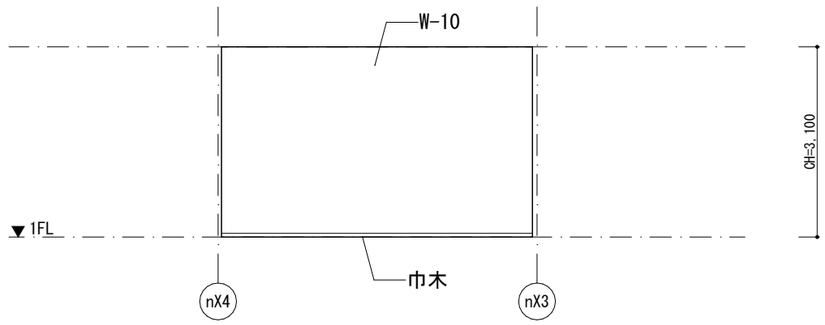
A



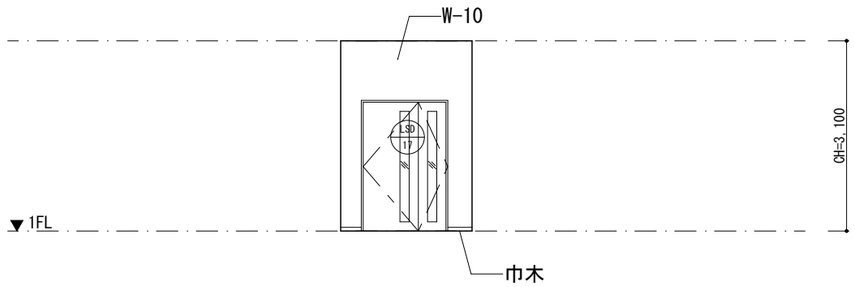
B



C

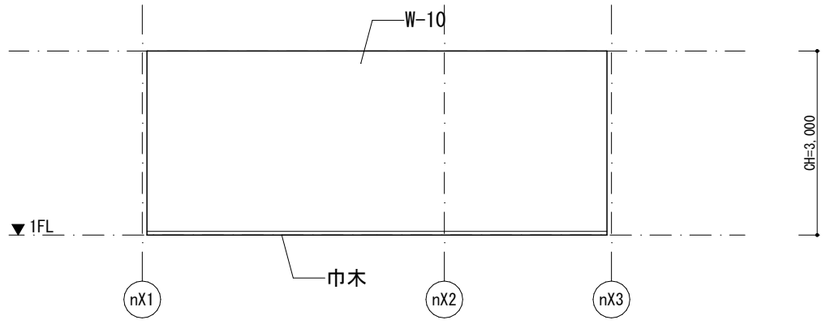


D

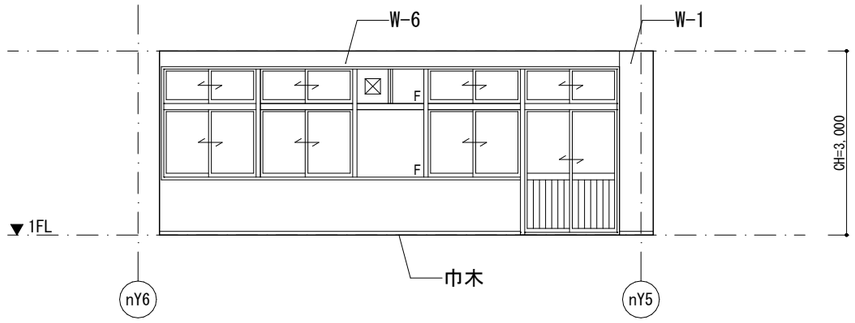


会議室

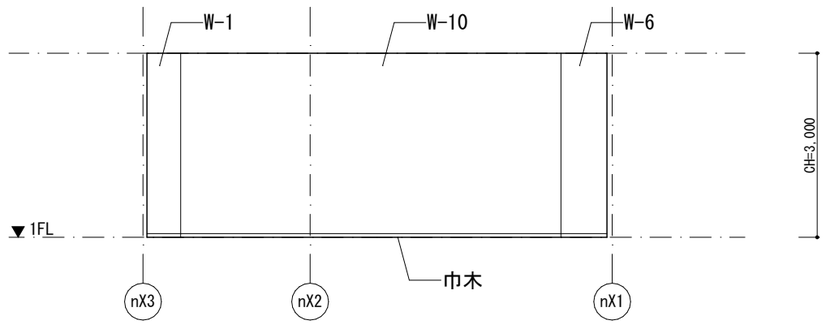
A



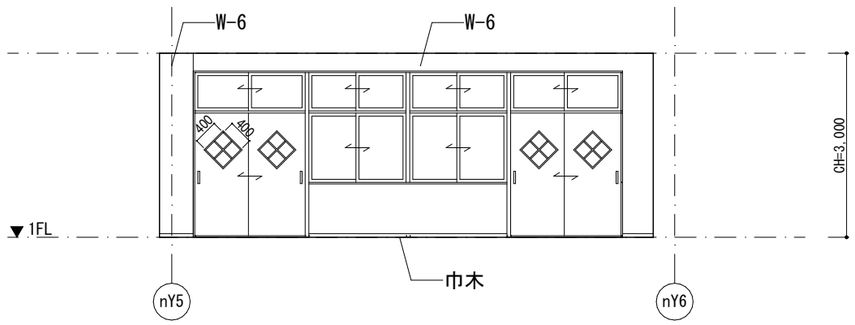
B



C



D

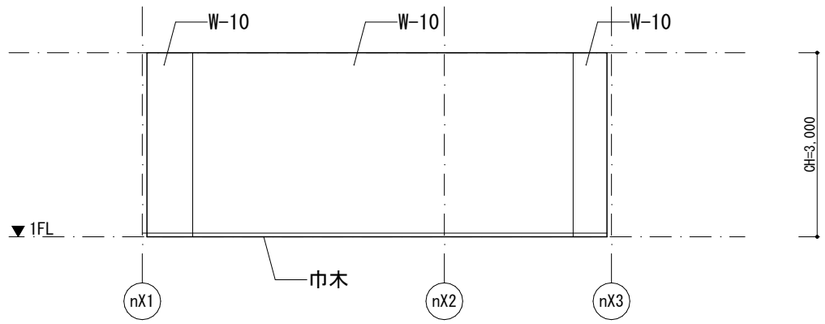


備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A　A-109
	月 日		月 日										
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	展開図19	縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)

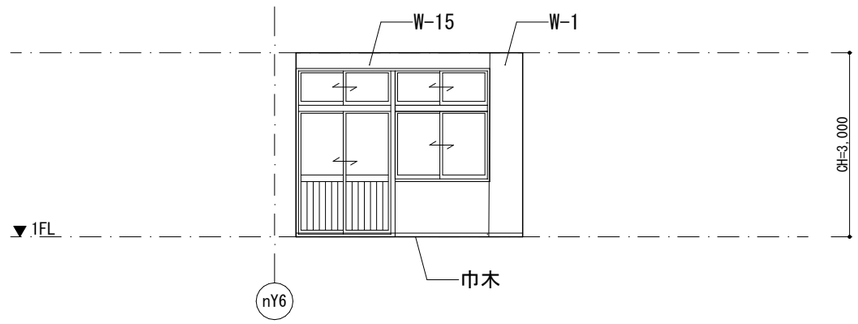
凡例		
壁(W-1)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁(W-2)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-3)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/
壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-6)	仕上げ	EP塗装
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ﾗﾜﾝ合板t=9.0/
壁(W-9)	仕上げ	
	下地	
壁(W-10)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-12)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-14)	仕上げ	有効吸音版t=9(ｼﾅ合板)目透かし張
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま
	下地	既存のまま
	仕上げ	
	下地	
	仕上げ	
	下地	

相談室

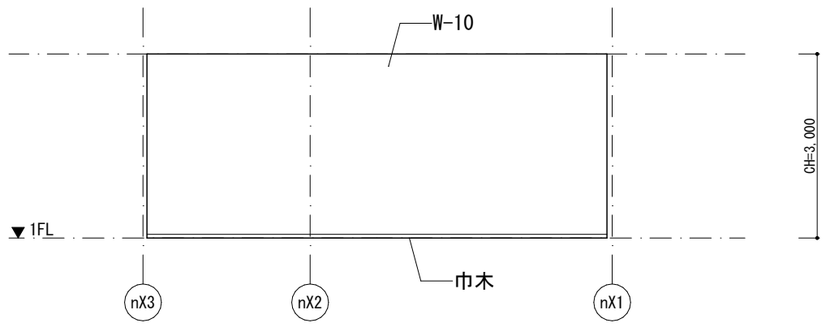
A



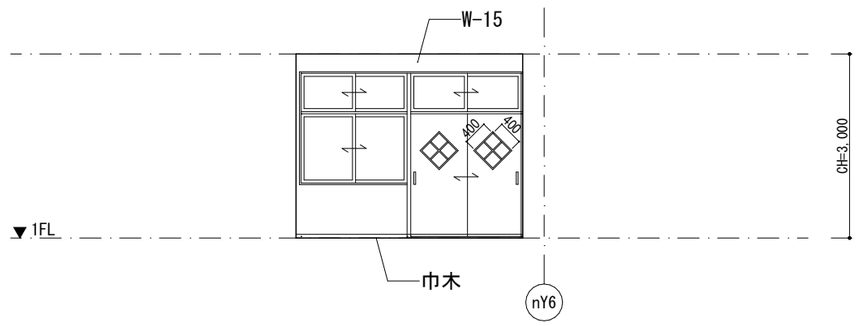
B



C



D



備考				
月 日		月 日		
月 日		月 日		
月 日		月 日		

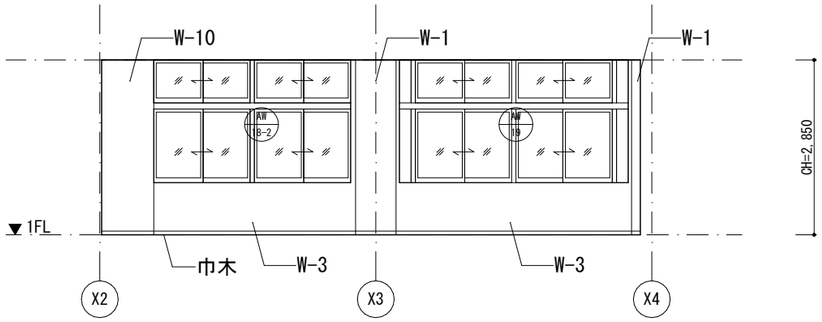
株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A	A-110
1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	展開図20	縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)	

凡例

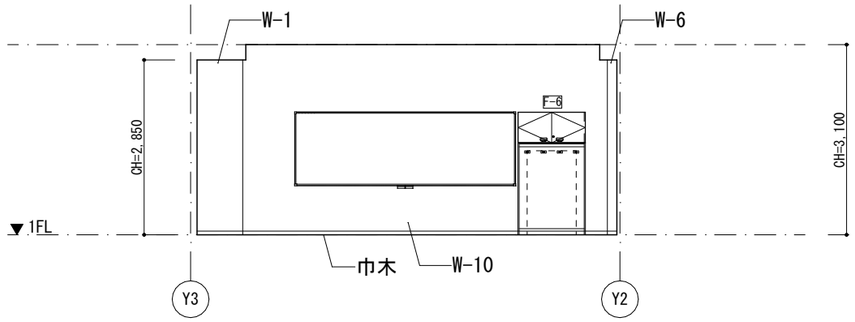
壁(W-1)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁(W-2)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-3)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/
壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-6)	仕上げ	EP塗装
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ﾗﾜﾝ合板t=9.0/
壁(W-9)	仕上げ	
	下地	
壁(W-10)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-12)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-14)	仕上げ	有効吸音版t=9(ｼﾅ合板)目透かし張
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま
	下地	既存のまま
	仕上げ	
	下地	
	仕上げ	
	下地	

普通教室１

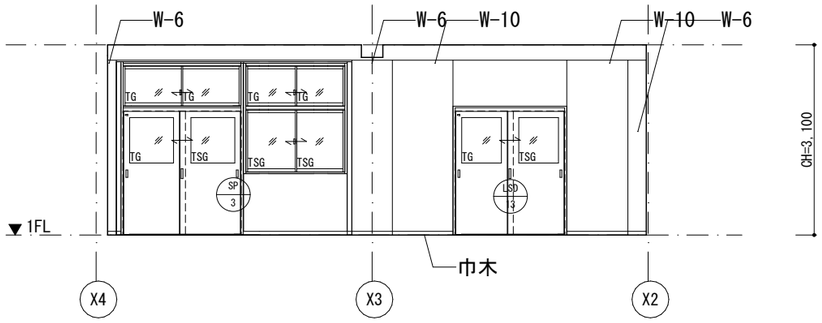
A



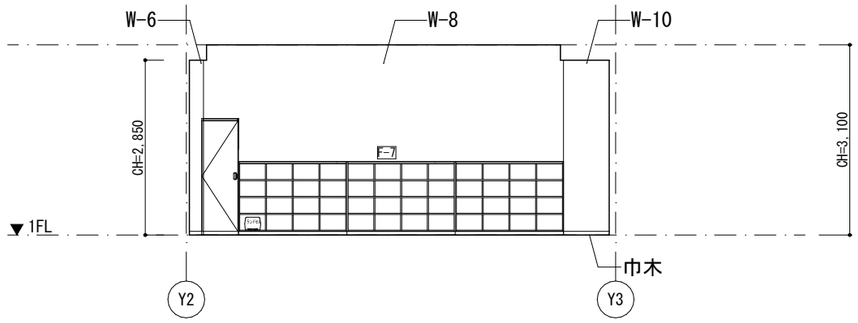
B



C

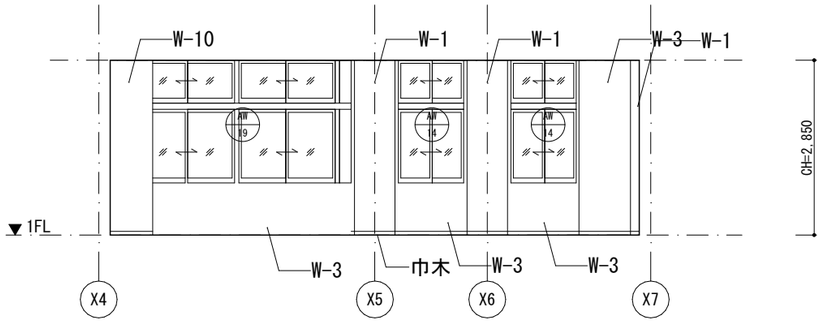


D

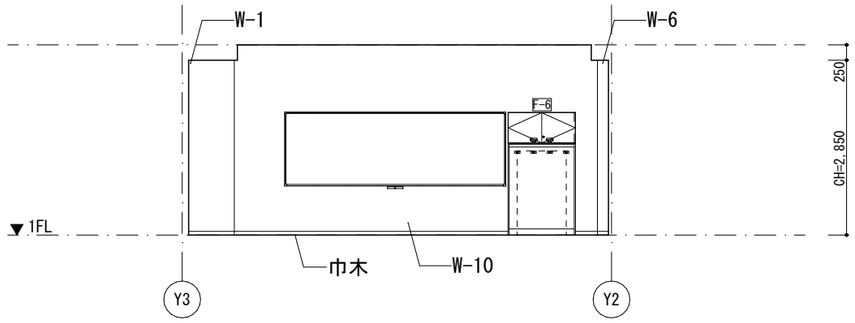


普通教室２

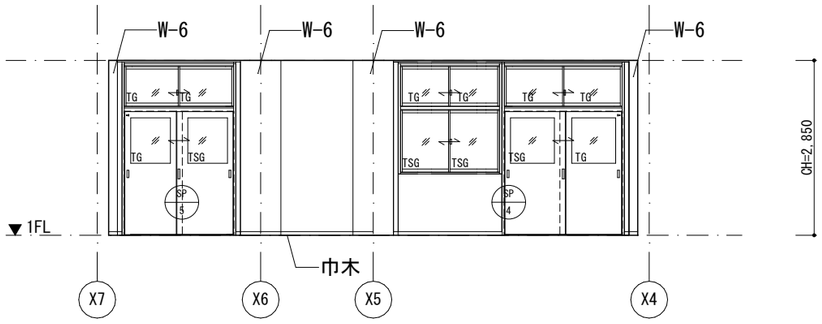
A



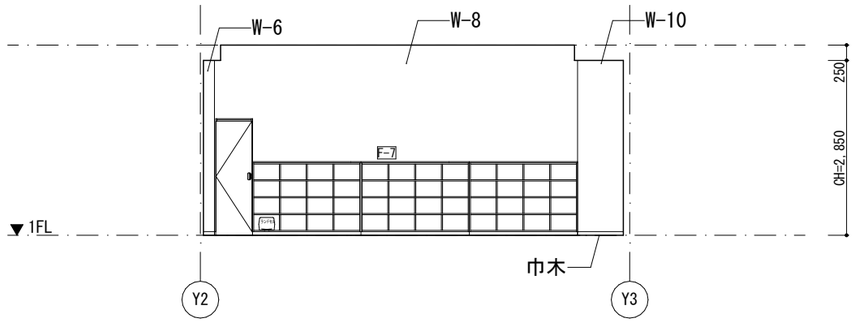
B



C



D



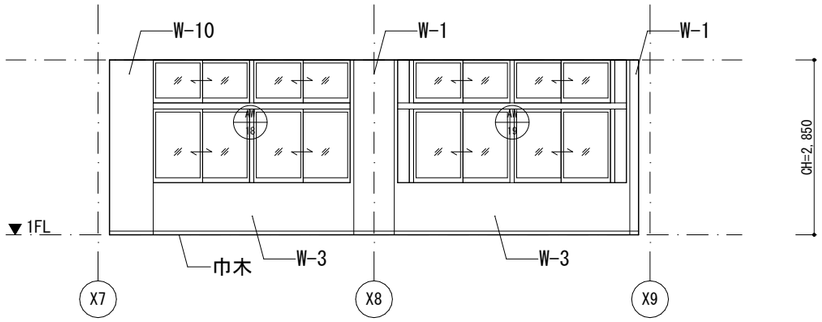
備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図書	A　A-111
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	展開図21	縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)
	月 日		月 日										

凡例

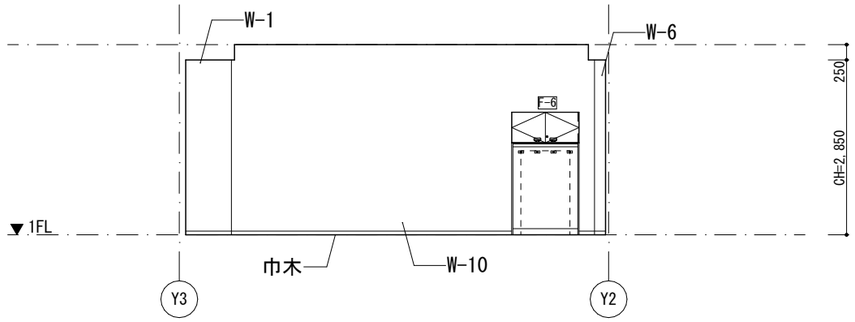
壁(W-1)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁(W-2)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-3)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/
壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-6)	仕上げ	EP塗装
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ﾗﾜﾝ合板t=9.0/
壁(W-9)	仕上げ	
	下地	
壁(W-10)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-12)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-14)	仕上げ	有効吸音版t=9(ｼﾅ合板)目透かし張
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま
	下地	既存のまま
	仕上げ	
	下地	
	仕上げ	
	下地	

オープンスペース１

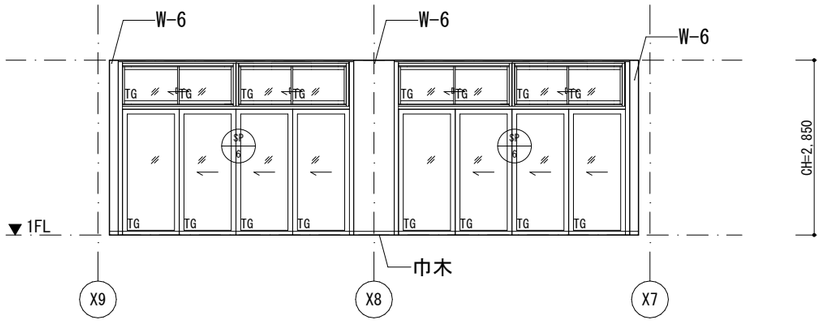
A



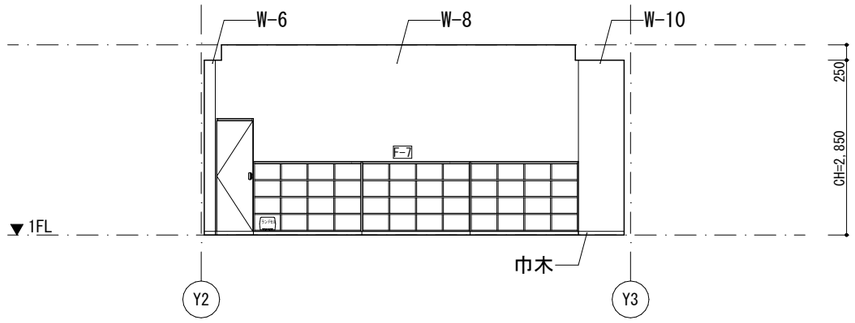
B



C

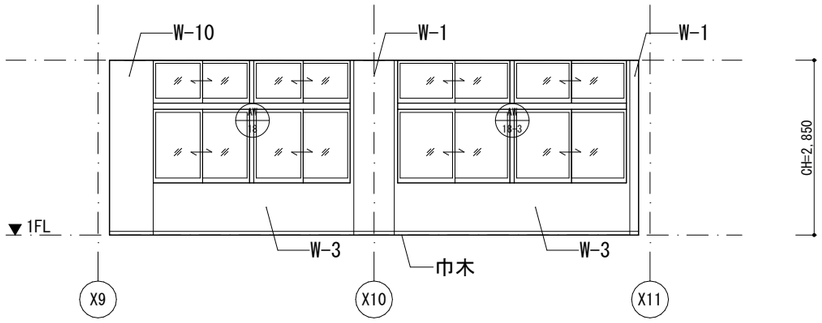


D

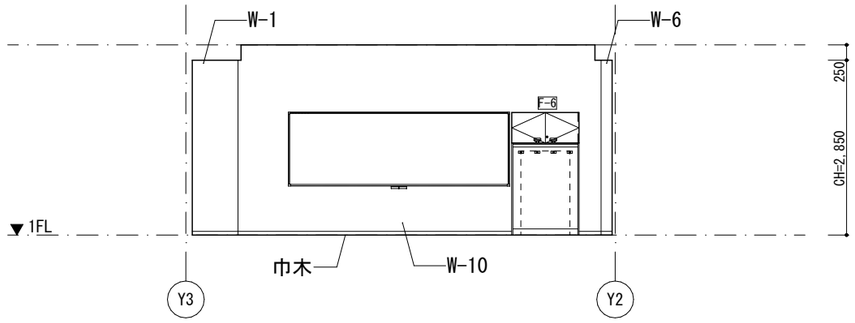


普通教室３

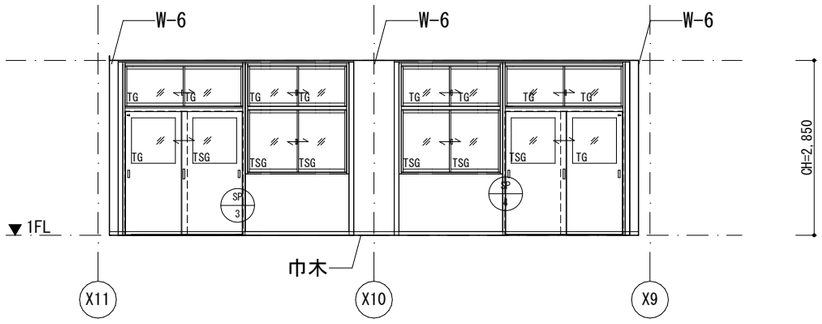
A



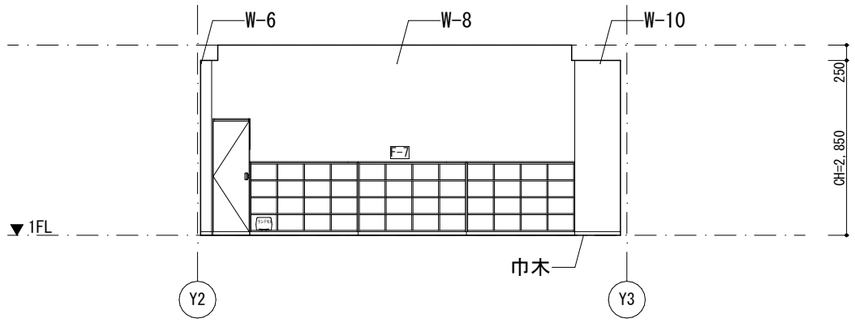
B



C



D



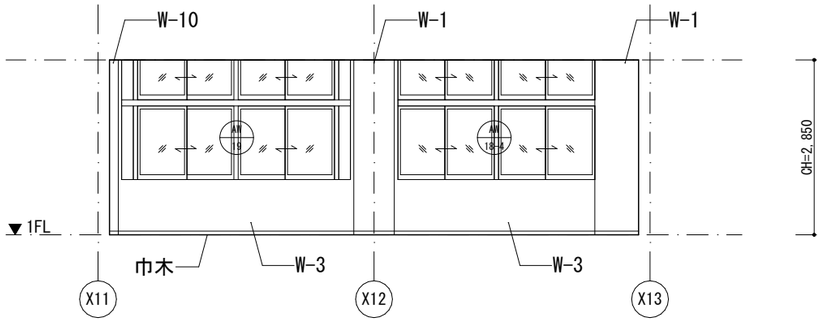
備考														
	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図書	A	A-112
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	展開図22	縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)	
	月 日		月 日											

凡例

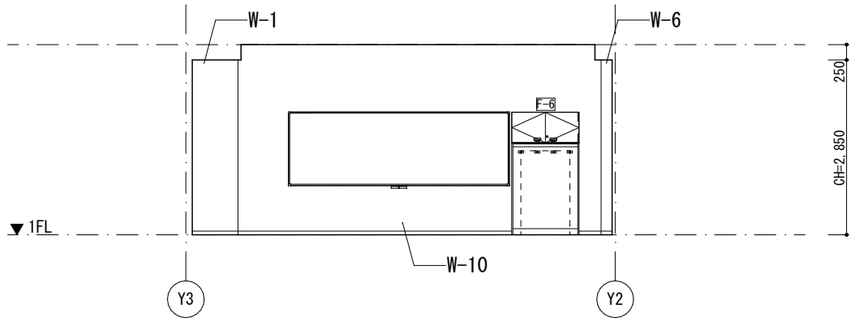
壁(W-1)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁(W-2)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-3)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/
壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-6)	仕上げ	EP塗装
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ﾗｳﾝ合板t=9.0/
壁(W-9)	仕上げ	
	下地	
壁(W-10)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-12)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-14)	仕上げ	有効吸音版t=9(ｼﾅ合板)目透かし張
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま
	下地	既存のまま
	仕上げ	
	下地	
	仕上げ	
	下地	

普通教室４

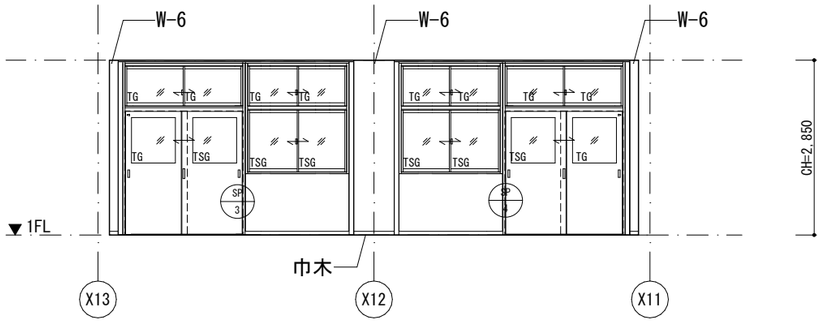
A



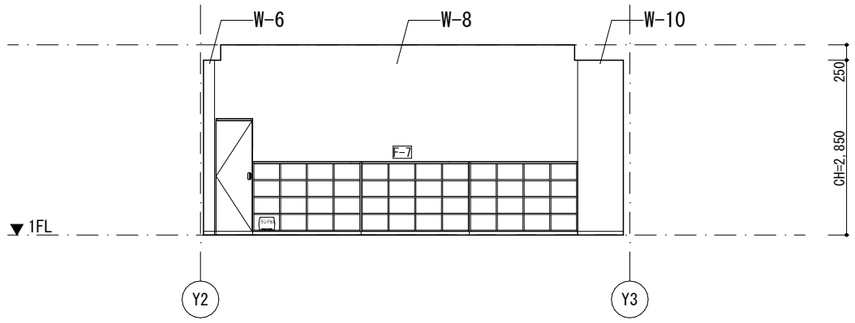
B



C

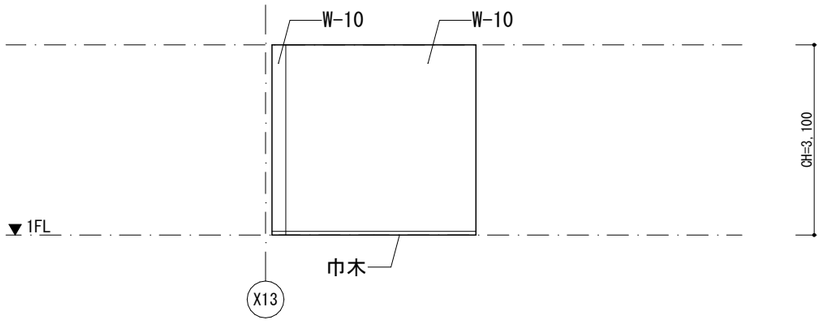


D

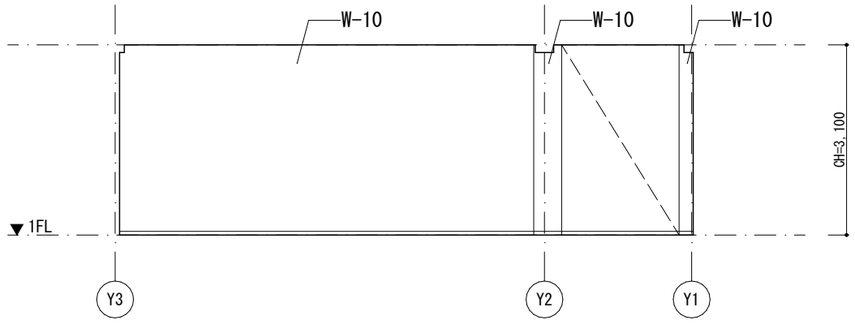


オープンスペース２

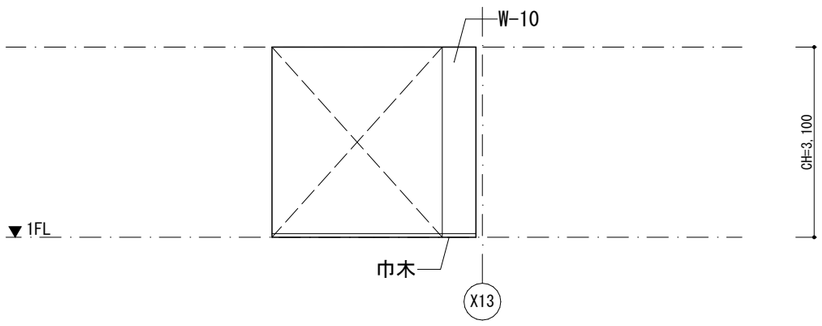
A



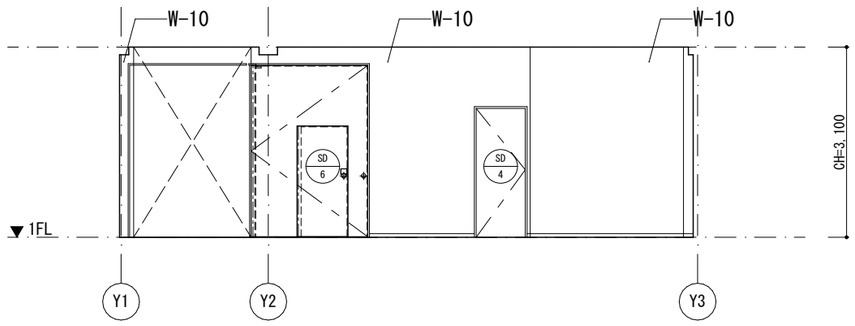
B



C



D



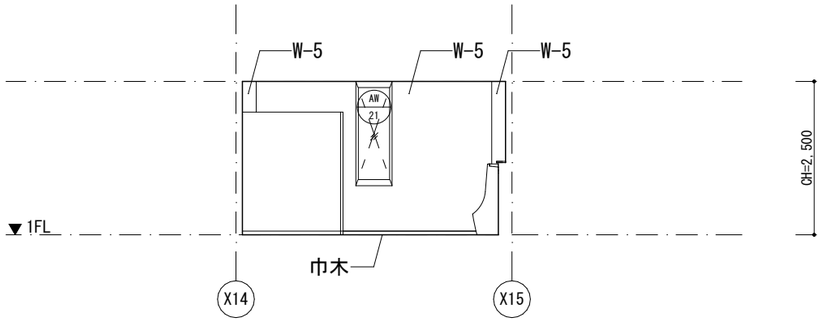
備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A　A-113
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	展開図23	縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)
	月 日		月 日										

凡例

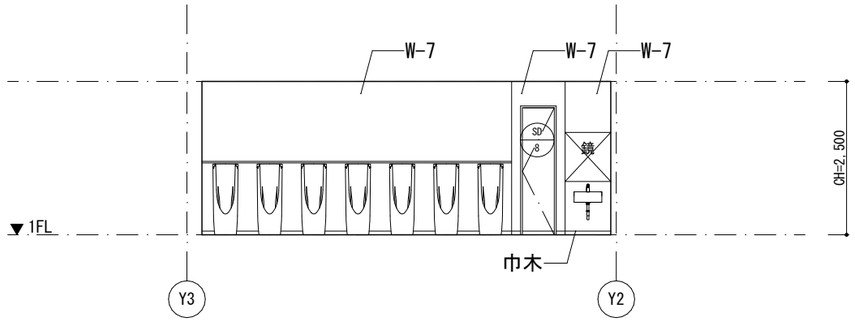
壁(W-1)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁(W-2)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-3)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/
壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-6)	仕上げ	EP塗装
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ﾗｳﾝ合板t=9.0/
壁(W-9)	仕上げ	
	下地	
壁(W-10)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-12)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-14)	仕上げ	有効吸音版t=9(ｼﾅ合板)目透かし張
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま
	下地	既存のまま
	仕上げ	
	下地	
	仕上げ	
	下地	

児童トイレ（男子）

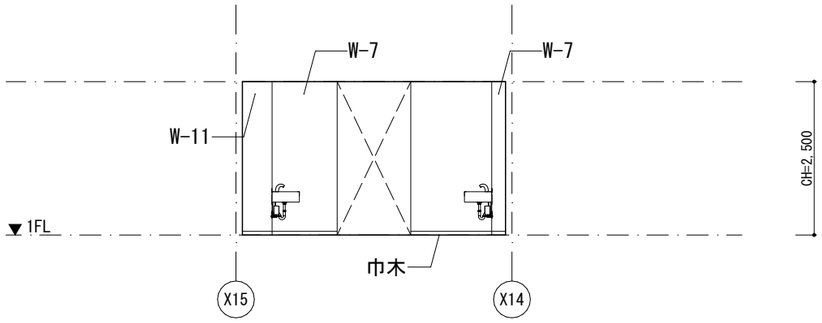
A



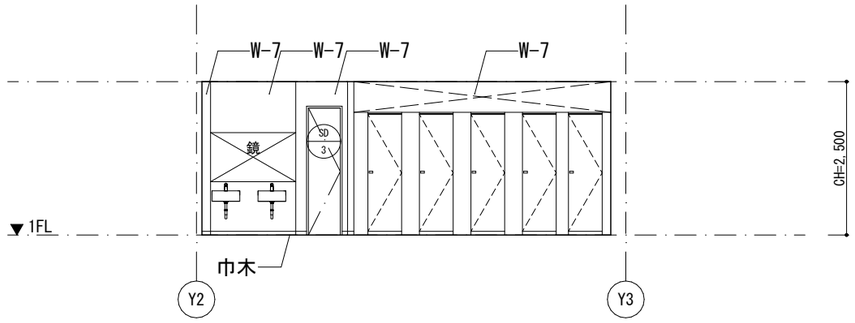
B



C

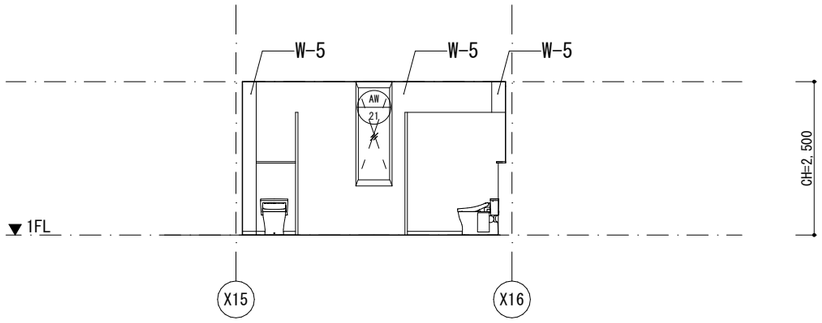


D

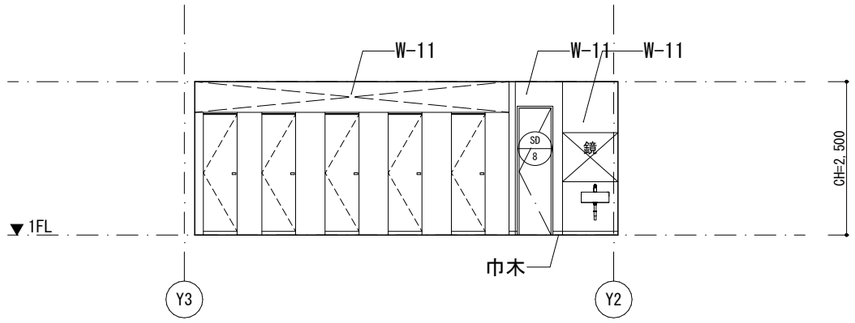


児童トイレ（女子）

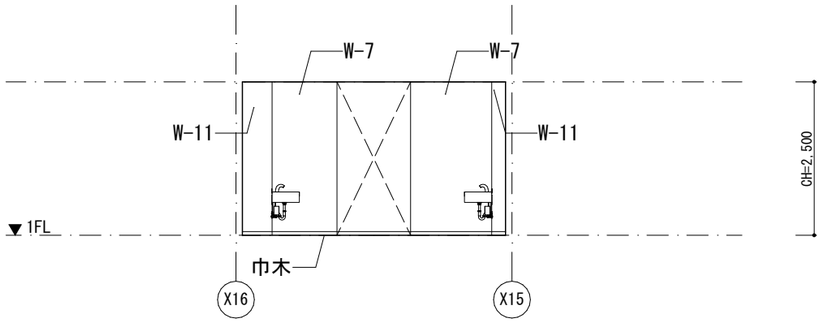
A



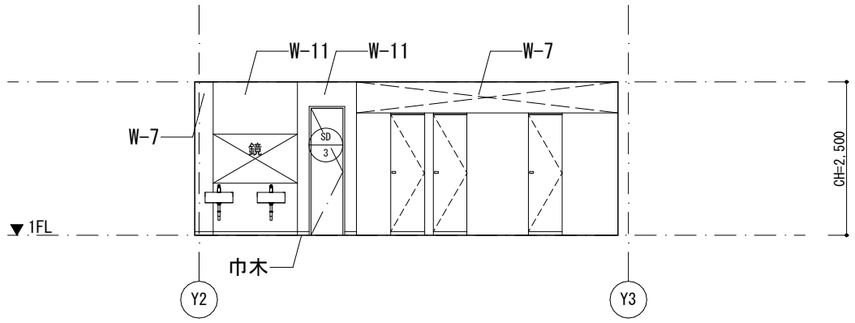
B



C



D



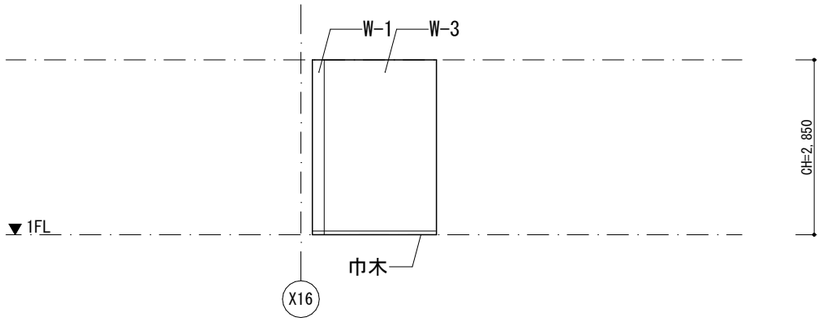
備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A　A-114
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	展開図24	縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)
	月 日		月 日										

凡例

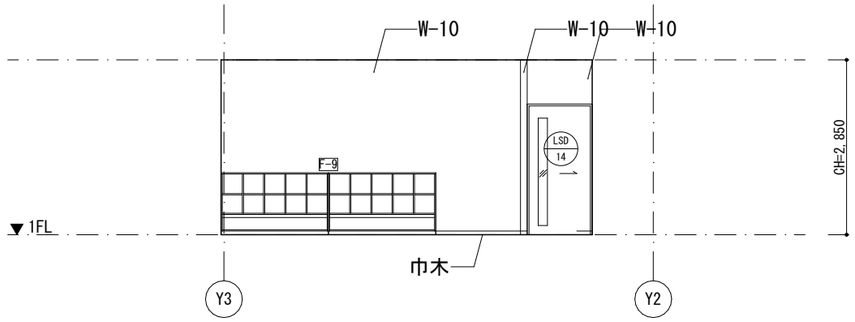
壁(W-1)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁(W-2)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-3)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/
壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-6)	仕上げ	EP塗装
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ﾗｳﾝ合板t=9.0/
壁(W-9)	仕上げ	
	下地	
壁(W-10)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-12)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-14)	仕上げ	有効吸音版t=9(ｼﾅ合板)目透かし張
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま
	下地	既存のまま
	仕上げ	
	下地	
	仕上げ	
	下地	

児童更衣室1

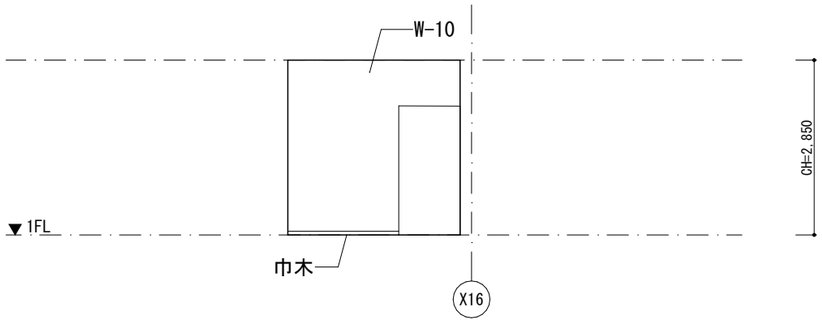
A



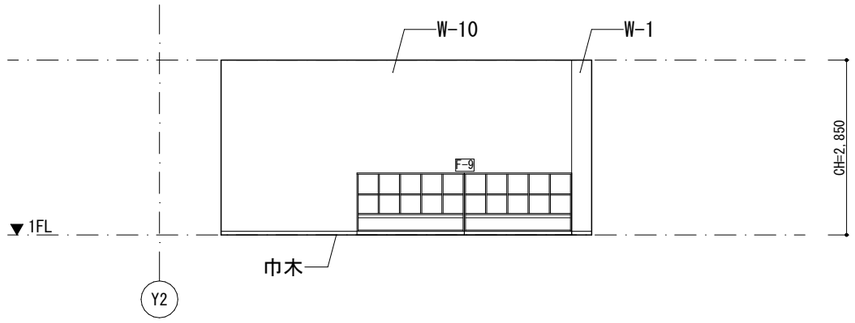
B



C

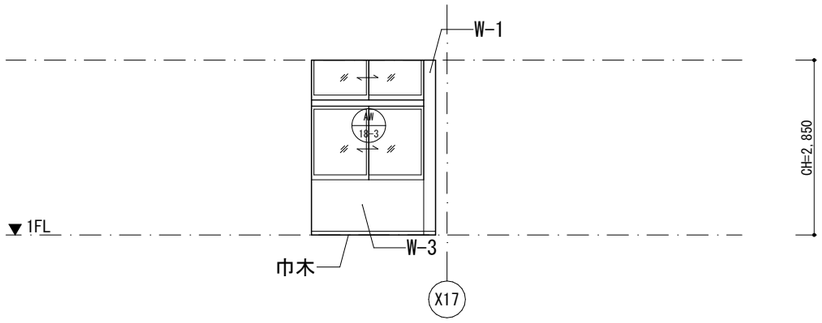


D

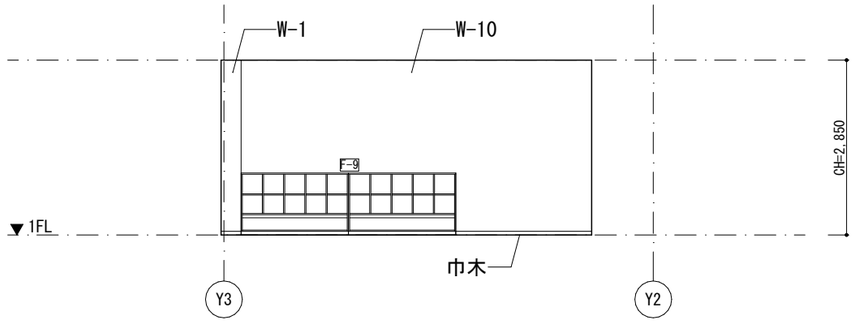


児童更衣室2

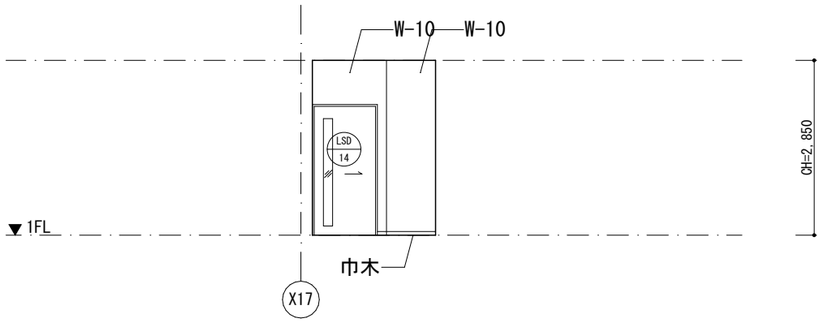
A



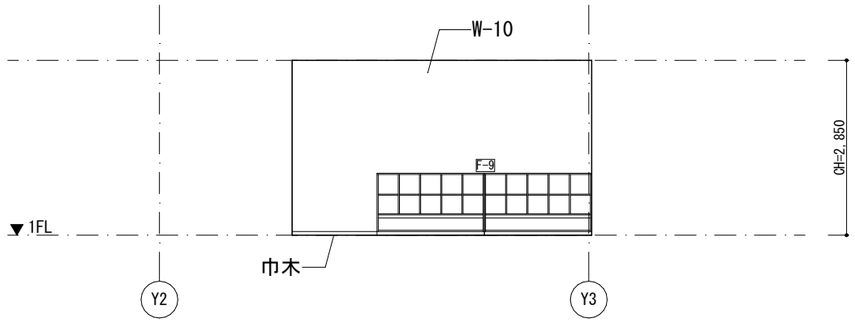
B



C



D



備考			
月 日		月 日	
月 日		月 日	
月 日		月 日	

株式会社青木茂建築工房
Shigeru Aoki Architect & Associates
1級建築士 佐藤 信 第362177号
1級建築士事務所 第1-60097号

作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)
統括	佐藤 信	製図	松浦 侑亮	図面名称	展開図25

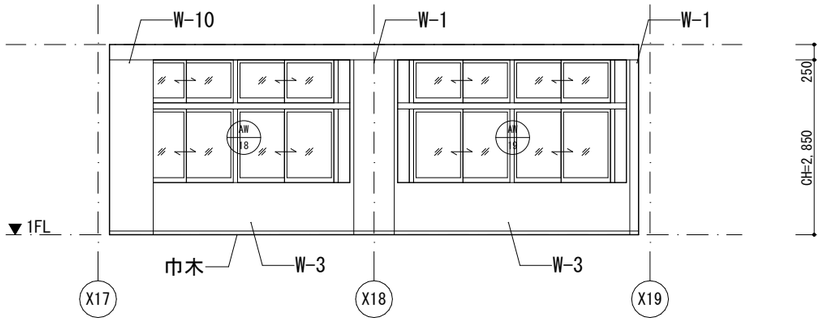
図書	A	A-115
縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)	

凡例

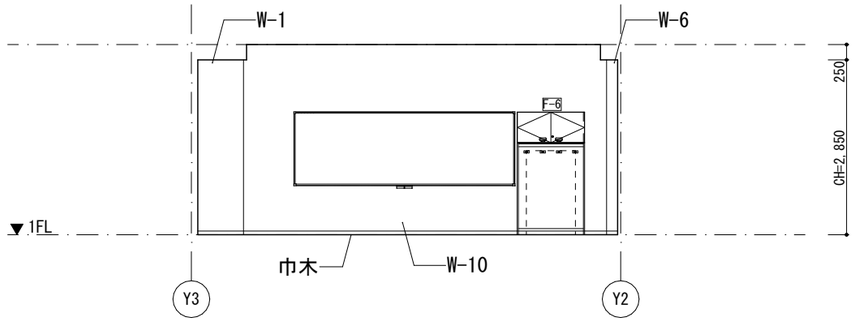
壁(W-1)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁(W-2)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-3)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/
壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-6)	仕上げ	EP塗装
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ﾗｳﾝ合板t=9.0/
壁(W-9)	仕上げ	
	下地	
壁(W-10)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-12)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-14)	仕上げ	有効吸音版t=9(ｼﾅ合板)目透かし張
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま
	下地	既存のまま
	仕上げ	
	下地	
	仕上げ	
	下地	

特別支援教室1

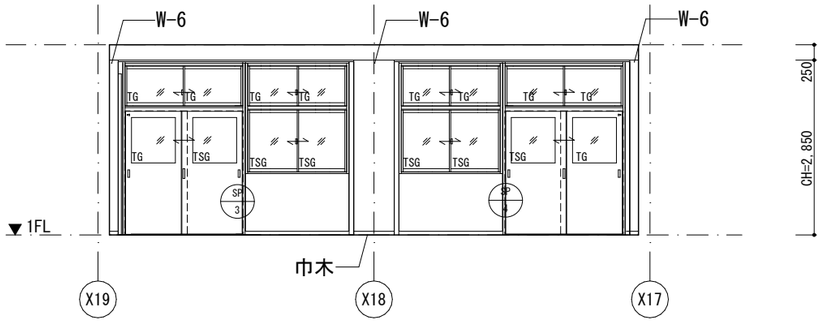
A



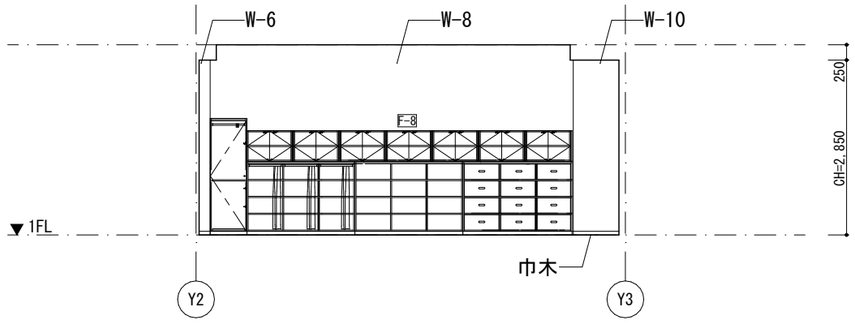
B



C

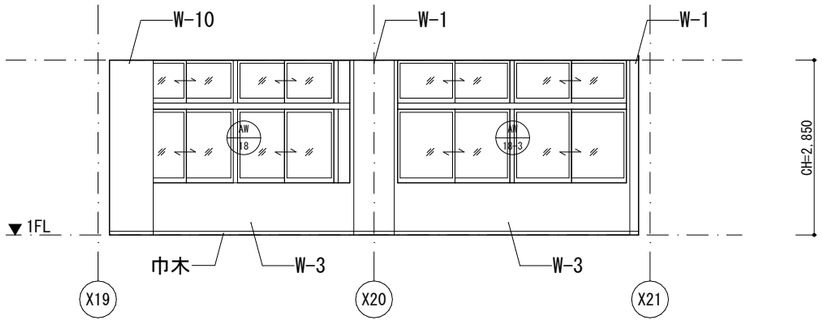


D

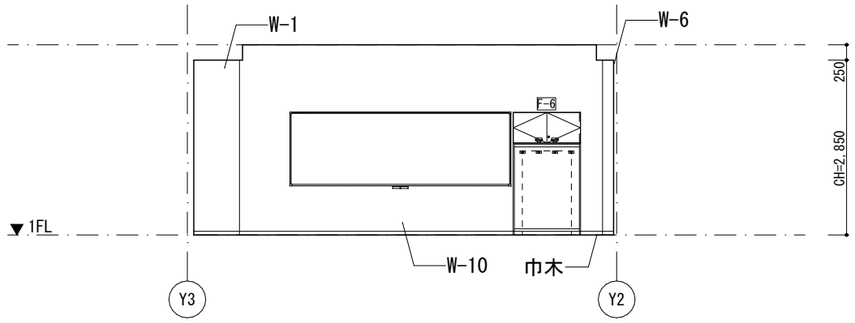


特別支援教室2

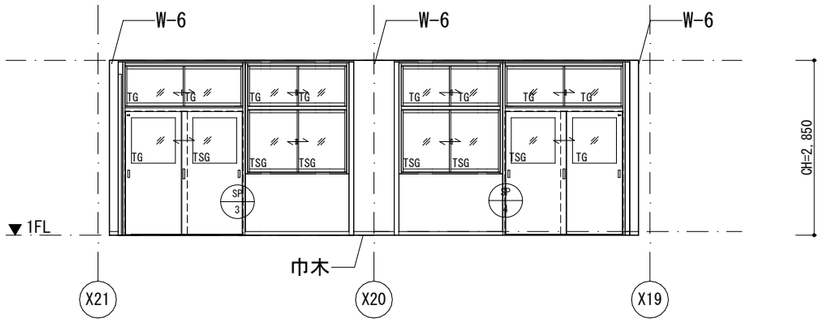
A



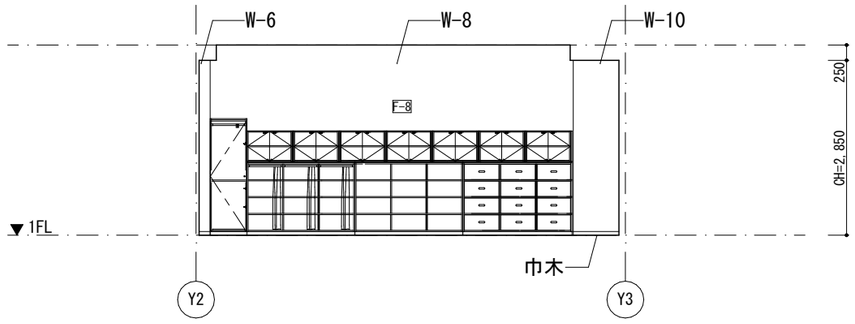
B



C



D

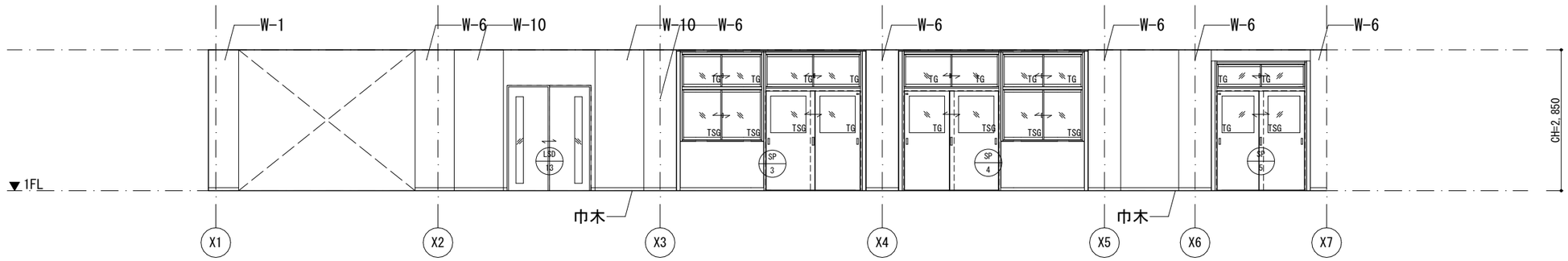


備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A A-116
	月 日		月 日		1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	統括	佐藤 信	製図	松浦 侑亮	図面名称	展開図26	縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)
	月 日		月 日										

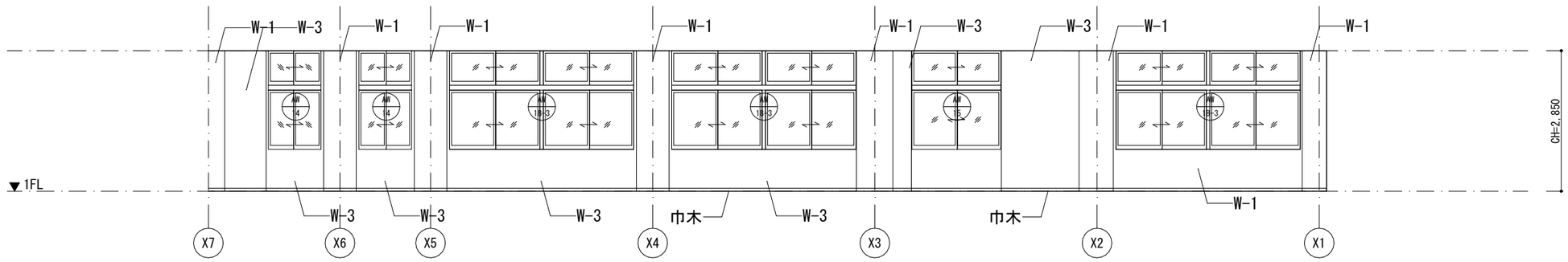
凡例		
壁(W-1)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁(W-2)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-3)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/
壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-6)	仕上げ	EP塗装
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ﾗﾜﾝ合板t=9.0/
壁(W-9)	仕上げ	
	下地	
壁(W-10)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-12)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-14)	仕上げ	有効吸音版t=9(ｼﾅ合板)目透かし張
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま
	下地	既存のまま
	仕上げ	
	下地	
	仕上げ	
	下地	

廊下２－３

A



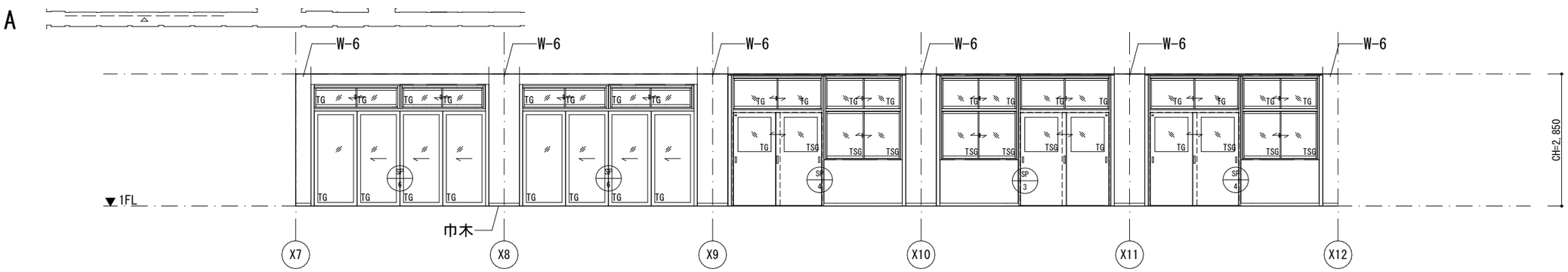
C

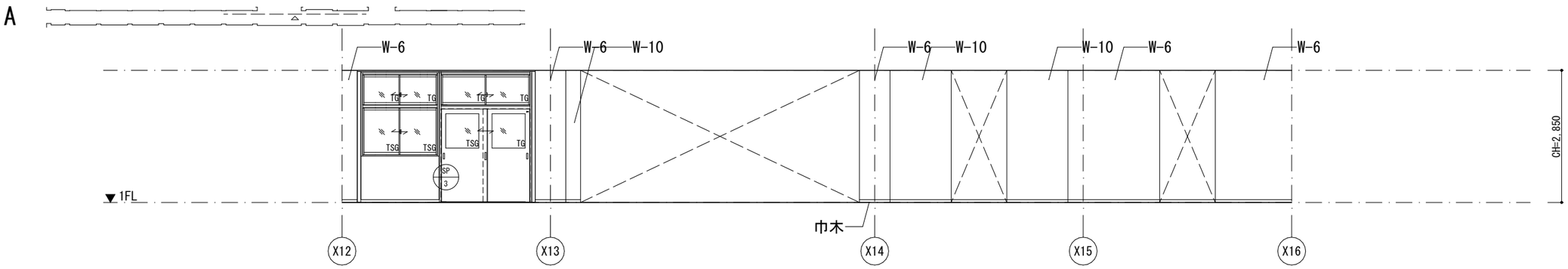


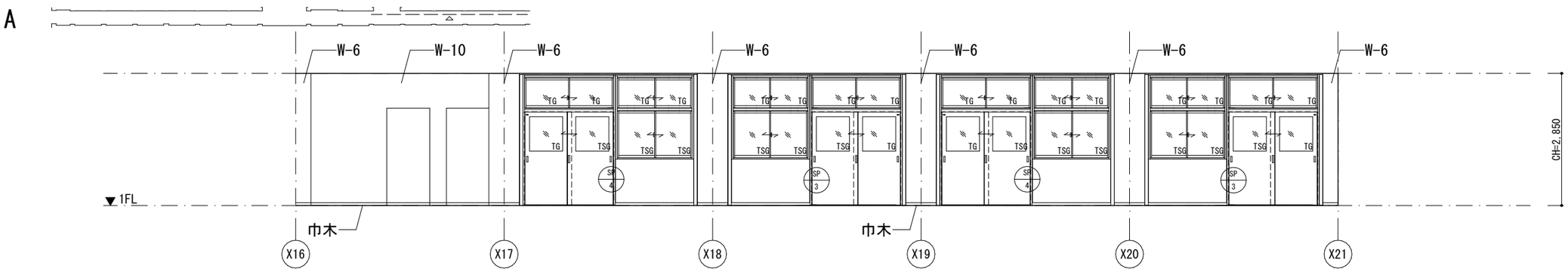
備考														
	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A	A-117
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	展開図27	縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)	
	月 日		月 日											

凡例		
壁(W-1)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁(W-2)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-3)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/
壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-6)	仕上げ	EP塗装
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ﾗｳﾝ合板t=9.0/
壁(W-9)	仕上げ	
	下地	
壁(W-10)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-12)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-14)	仕上げ	有効吸音版t=9(ｼﾅ合板)目透かし張
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま
	下地	既存のまま
	仕上げ	
	下地	
	仕上げ	
	下地	

廊下２－２





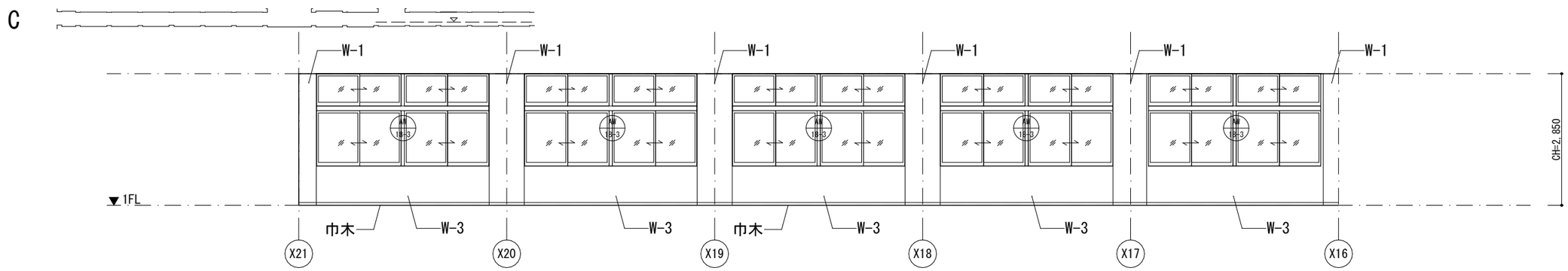


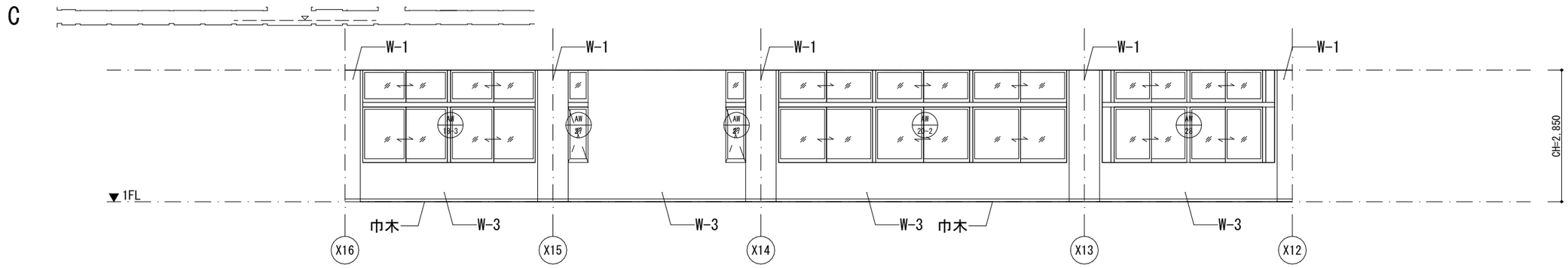
備考														
	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A	A-118
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	展開図28	縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)	
	月 日		月 日											

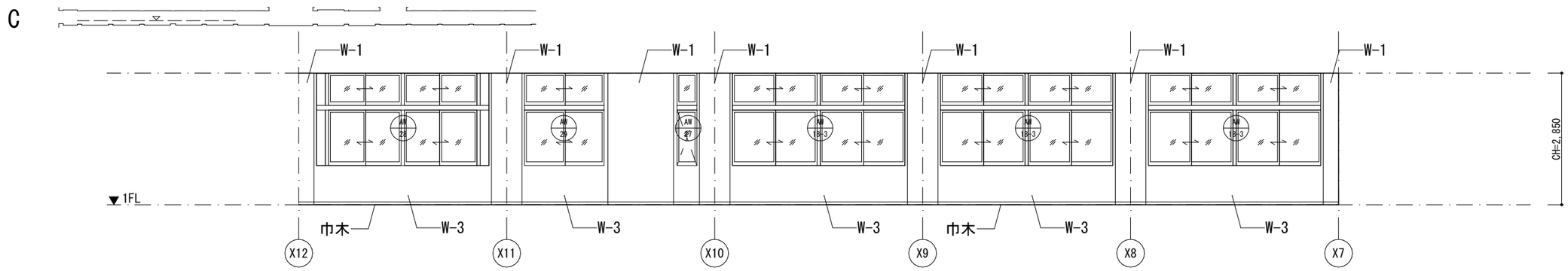
凡例

壁(W-1)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁(W-2)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-3)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/
壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-6)	仕上げ	EP塗装
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ﾗｳﾝ合板t=9.0/
壁(W-9)	仕上げ	
	下地	
壁(W-10)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-12)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-14)	仕上げ	有効吸音版t=9(ｼﾅ合板)目透かし張
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま
	下地	既存のまま
	仕上げ	
	下地	
	仕上げ	
	下地	

廊下２－２







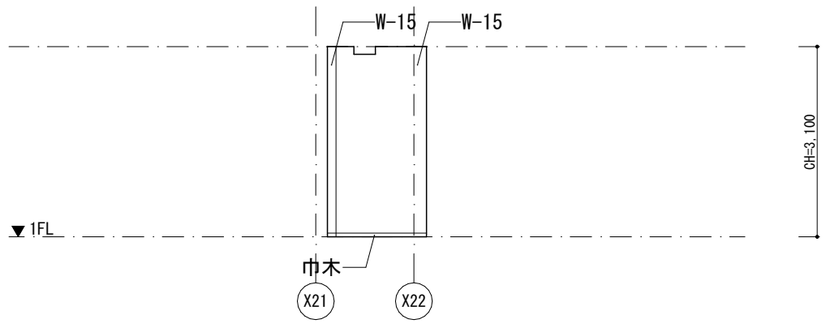
備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A　A-119
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	展開図29	縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)
	月 日		月 日										

凡例

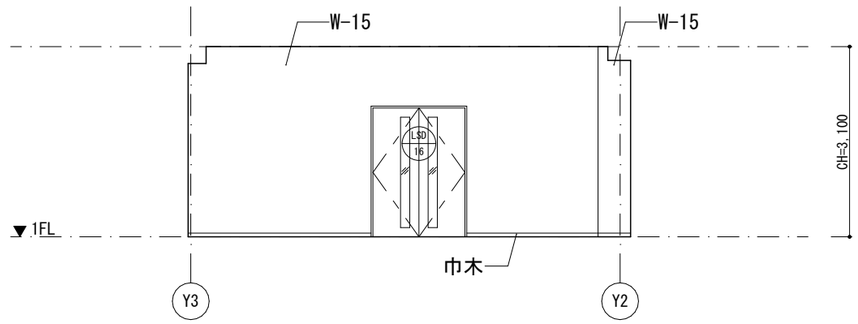
壁(W-1)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁(W-2)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-3)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/
壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-6)	仕上げ	EP塗装
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ﾗﾜﾝ合板t=9.0/
壁(W-9)	仕上げ	
	下地	
壁(W-10)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-12)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-14)	仕上げ	有効吸音版t=9(ｼﾅ合板)目透かし張
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま
	下地	既存のまま
	仕上げ	
	下地	
	仕上げ	
	下地	

倉庫

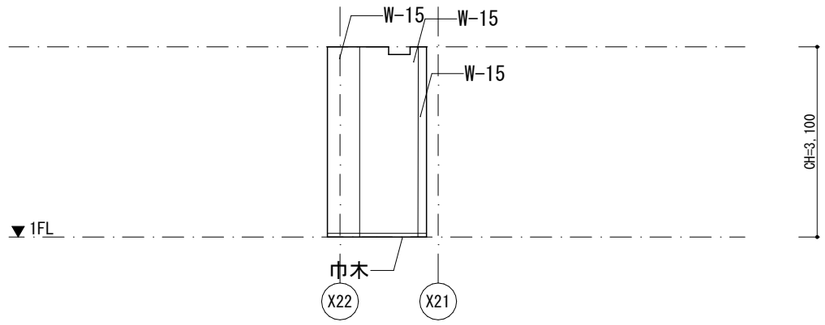
A



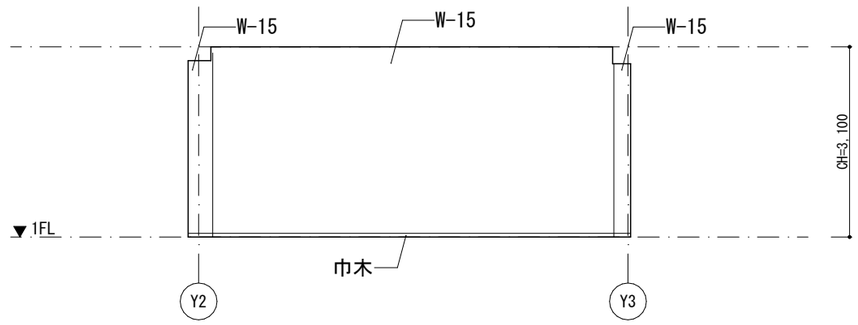
B



C

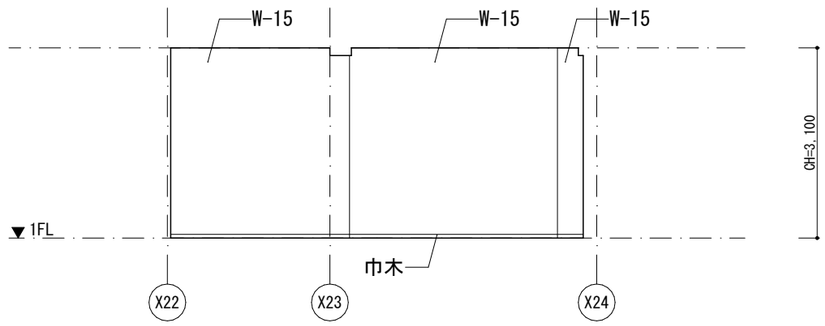


D

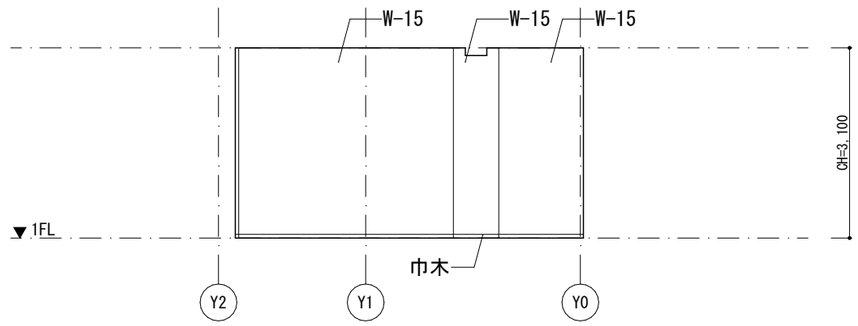


倉庫１

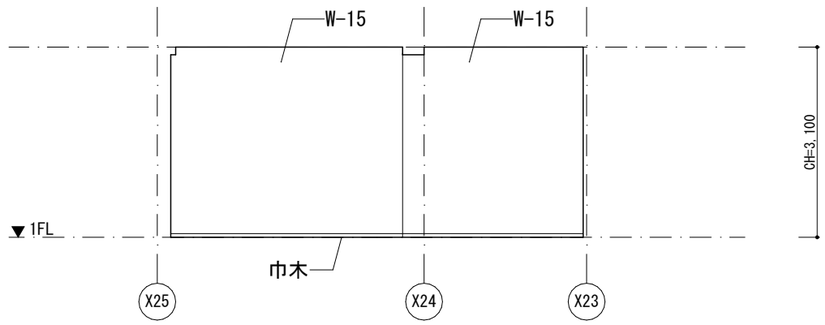
A



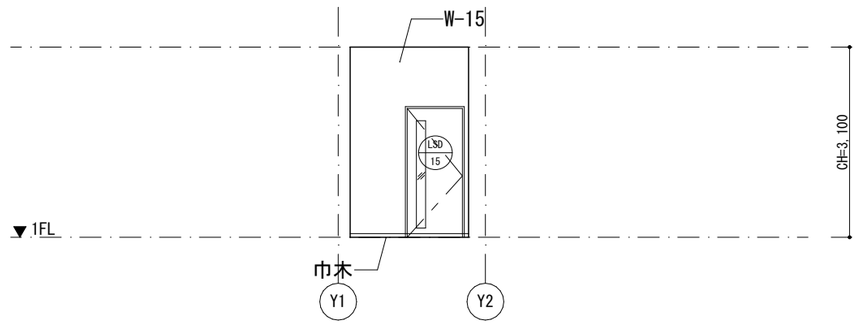
B



C



D



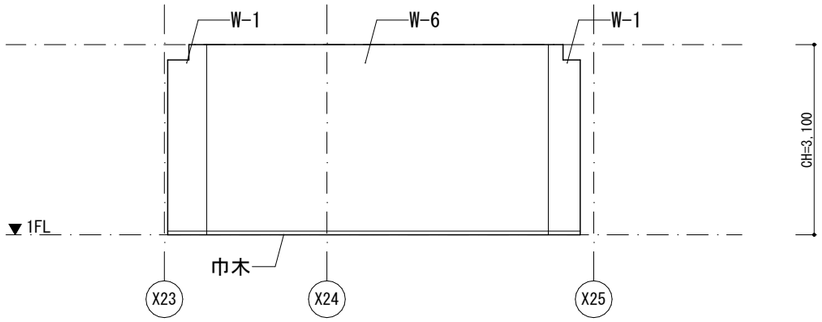
備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A　A-120
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	展開図30	縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)
	月 日		月 日										

凡例

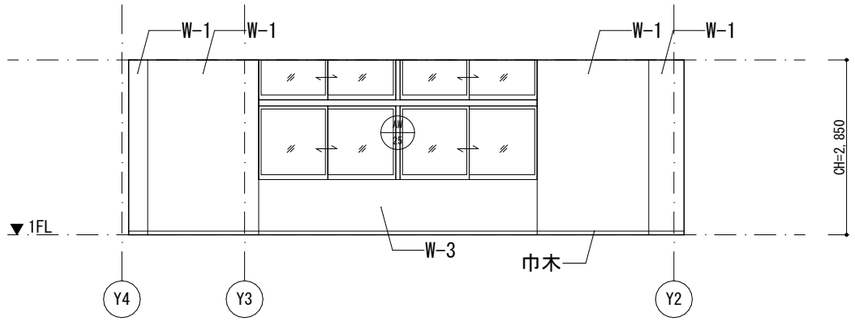
壁(W-1)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁(W-2)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-3)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/
壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-6)	仕上げ	EP塗装
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ﾗﾜﾝ合板t=9.0/
壁(W-9)	仕上げ	
	下地	
壁(W-10)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-12)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-14)	仕上げ	有効吸音版t=9(ｼﾅ合板)目透かし張
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま
	下地	既存のまま
	仕上げ	
	下地	
	仕上げ	
	下地	

オープンスペース３

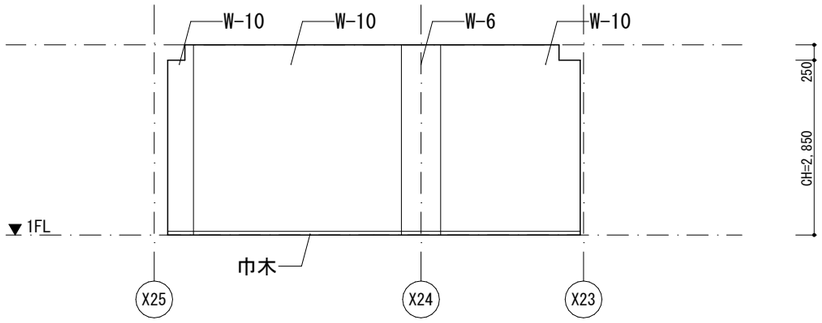
A



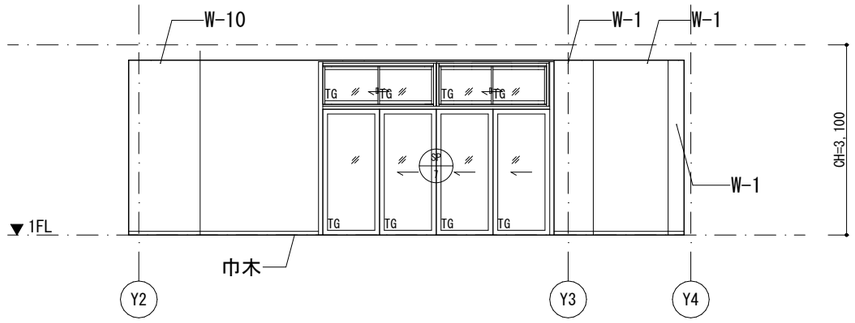
B



C

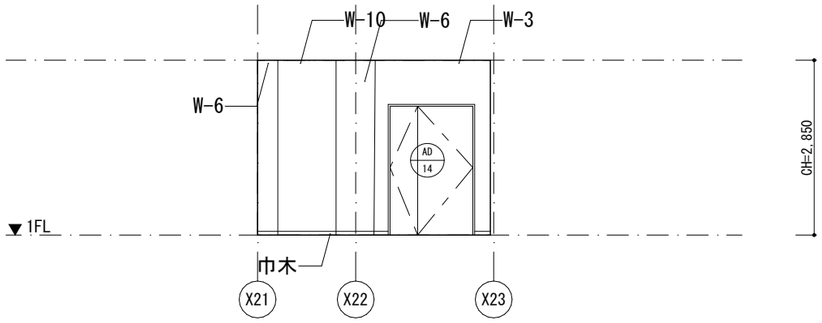


D

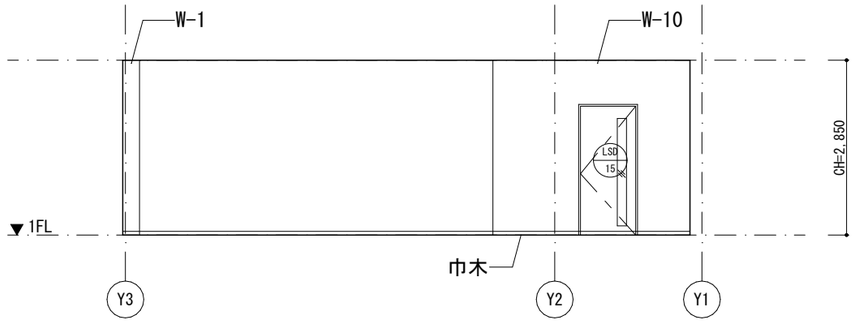


廊下２－１

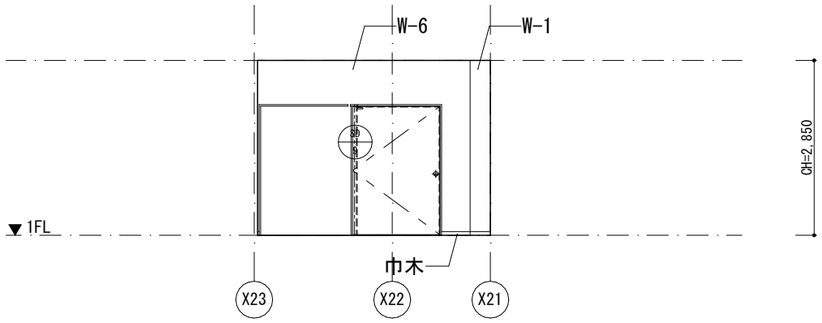
A



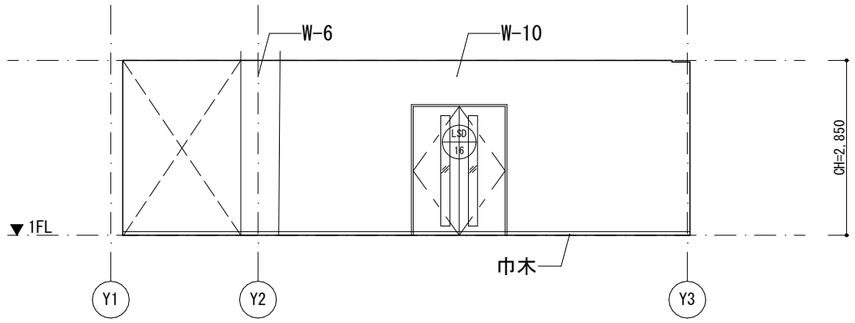
B



C



D



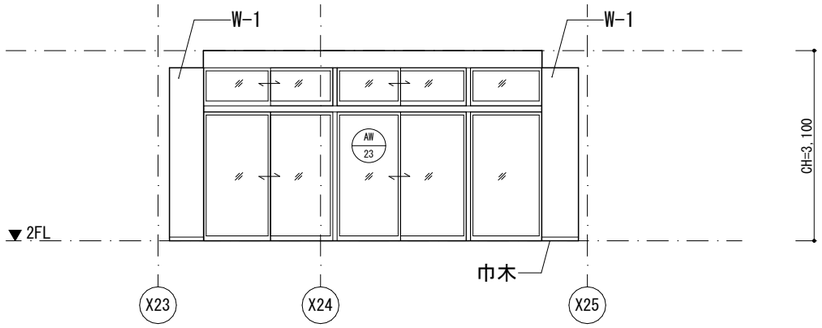
備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A　A-121
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	展開図31	縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)
	月 日		月 日										

凡例

壁(W-1)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁(W-2)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-3)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/
壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-6)	仕上げ	EP塗装
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ﾗﾜﾝ合板t=9.0/
壁(W-9)	仕上げ	
	下地	
壁(W-10)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-12)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-14)	仕上げ	有効吸音版t=9(ｼﾅ合板)目透かし張
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま
	下地	既存のまま
	仕上げ	
	下地	
	仕上げ	
	下地	

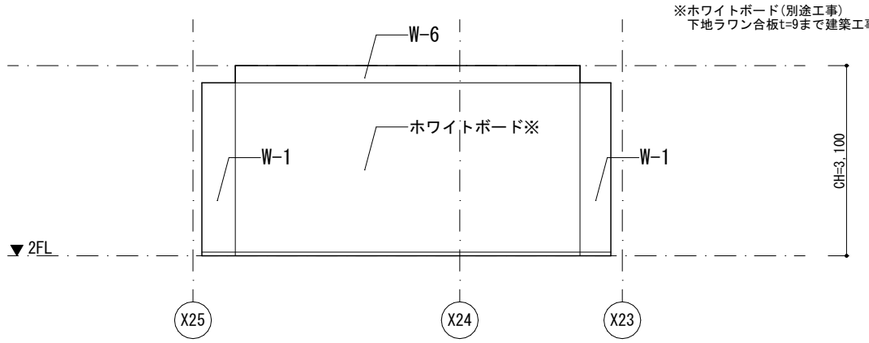
集会室

A

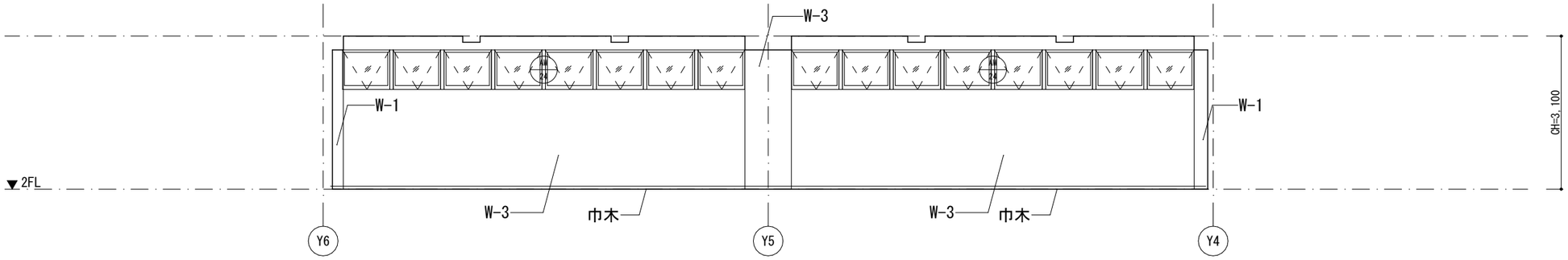


C

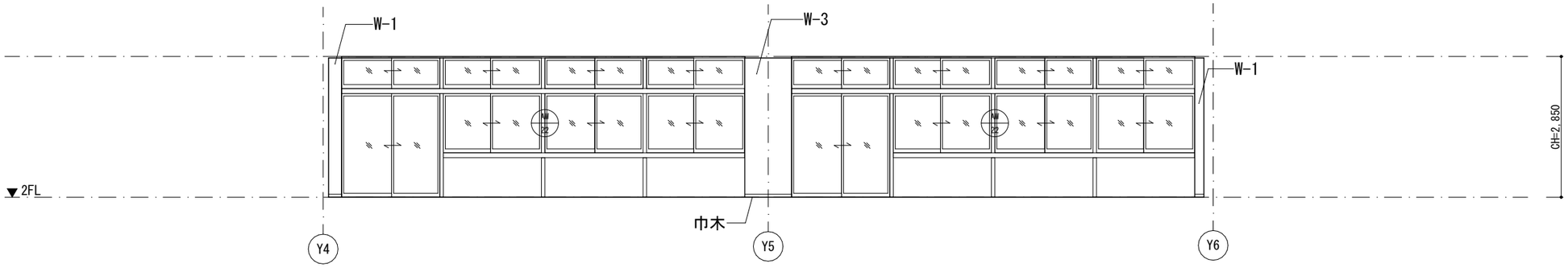
※ホワイトボード(別途工事)
下地ラワン合板t=9まで建築工事



B



D



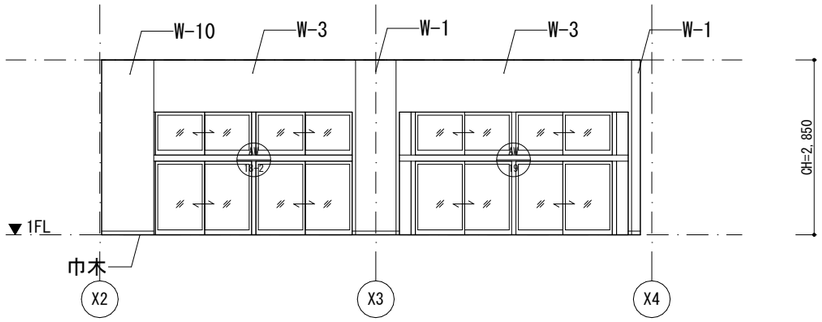
備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A　A-122
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	展開図32	縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)
	月 日		月 日										

凡例

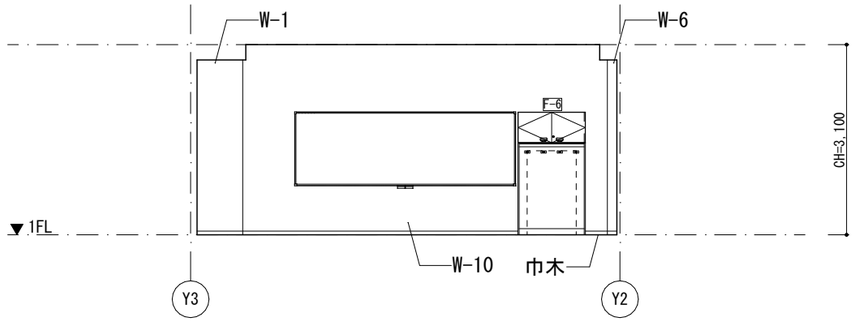
壁(W-1)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁(W-2)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-3)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/
壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-6)	仕上げ	EP塗装
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ﾗﾜﾝ合板t=9.0/
壁(W-9)	仕上げ	
	下地	
壁(W-10)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-12)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-14)	仕上げ	有効吸音版t=9(ｼﾅ合板)目透かし張
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま
	下地	既存のまま
	仕上げ	
	下地	
	仕上げ	
	下地	

普通教室５

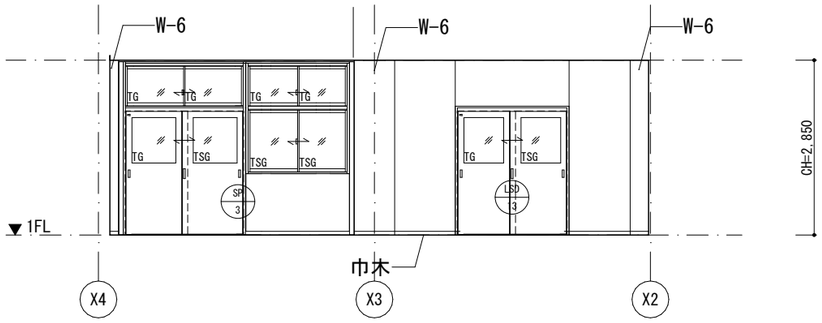
A



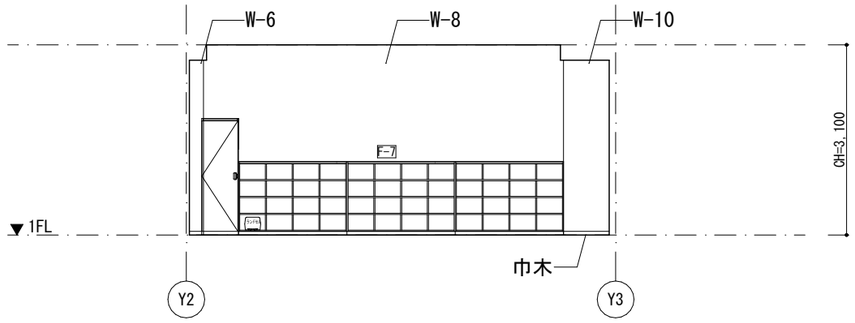
B



C

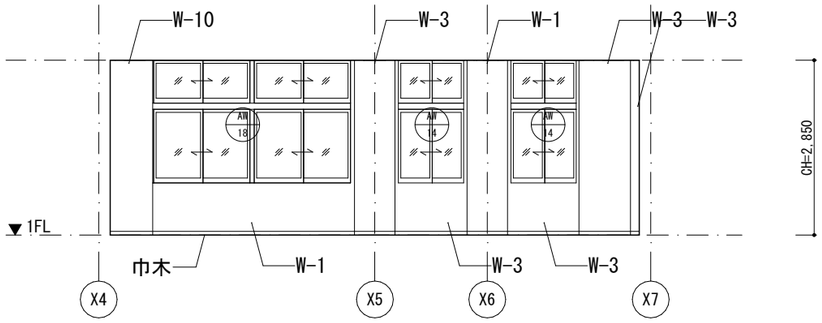


D

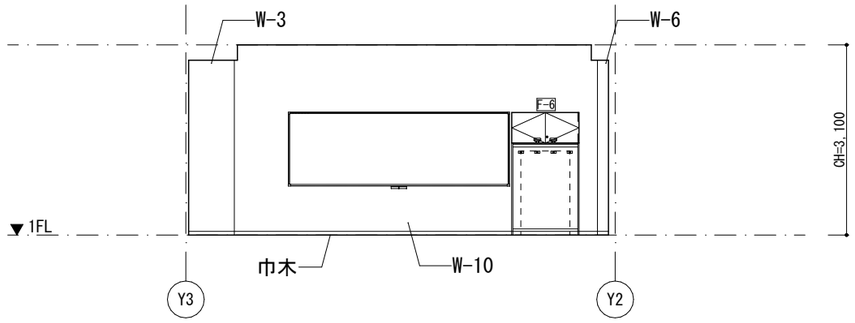


普通教室６

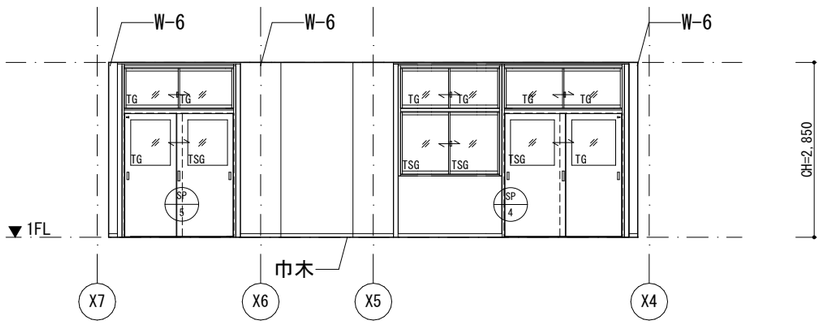
A



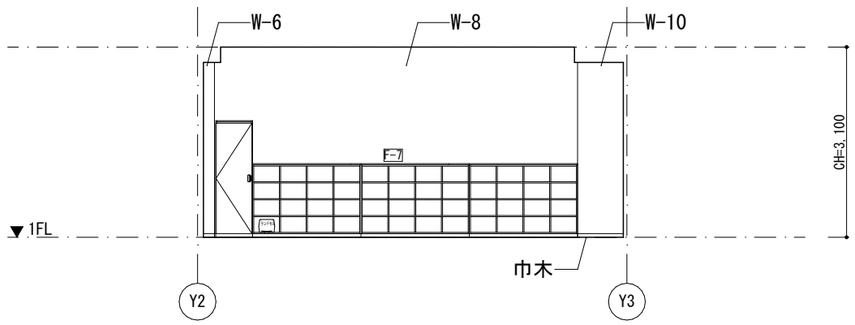
B



C



D



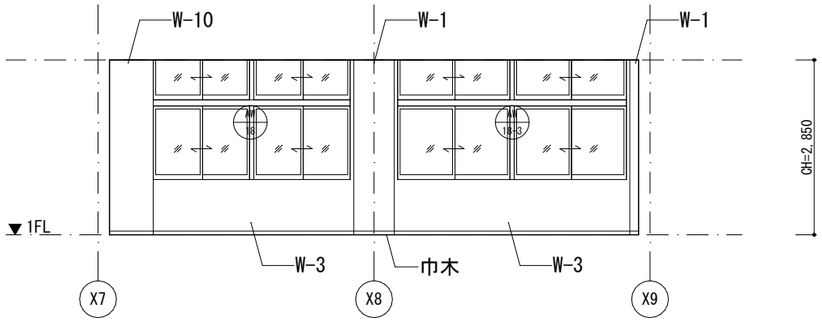
備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A　A-123
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	展開図33	縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)
	月 日		月 日										

凡例

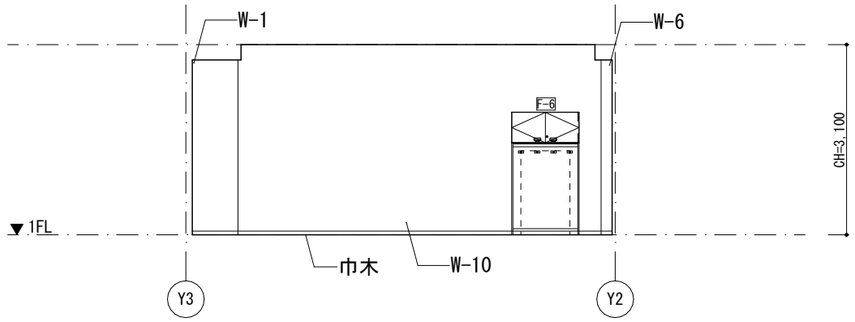
壁(W-1)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁(W-2)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-3)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/
壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-6)	仕上げ	EP塗装
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ﾗｳﾝ合板t=9.0/
壁(W-9)	仕上げ	
	下地	
壁(W-10)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-12)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-14)	仕上げ	有効吸音版t=9(ｼﾅ合板)目透かし張
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま
	下地	既存のまま
	仕上げ	
	下地	
	仕上げ	
	下地	

オープンスペース４

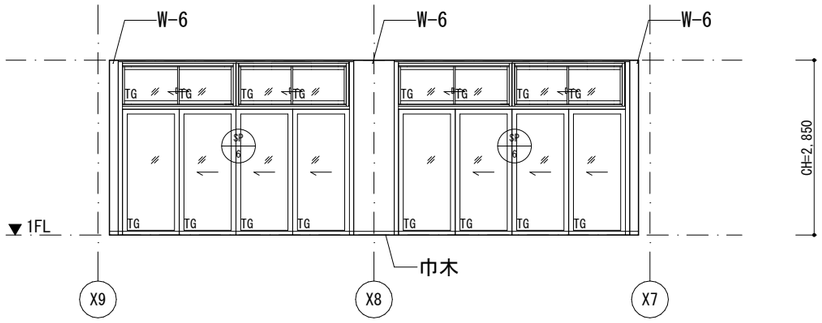
A



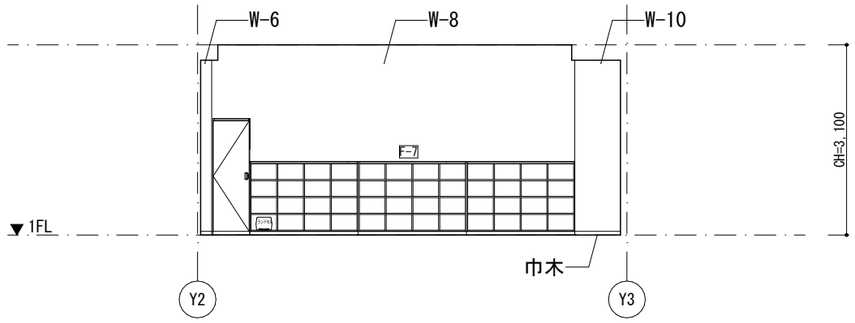
B



C

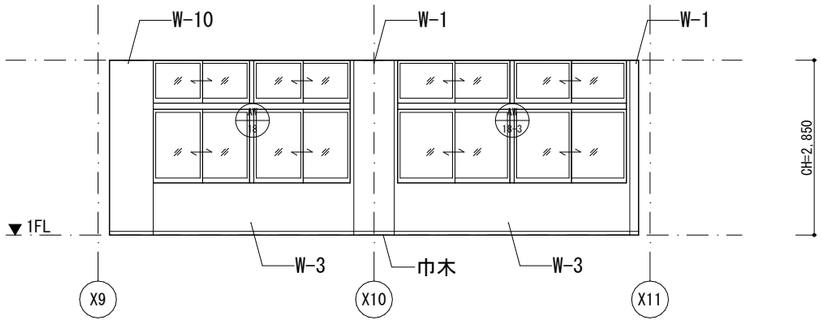


D

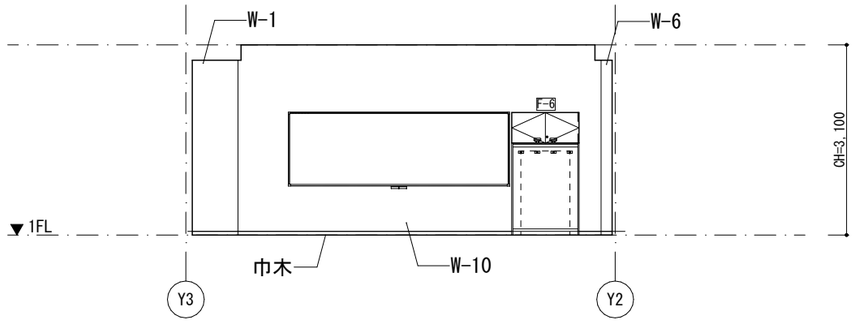


普通教室７

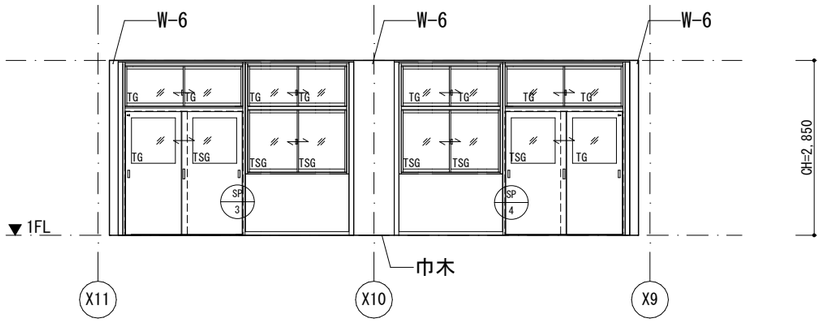
A



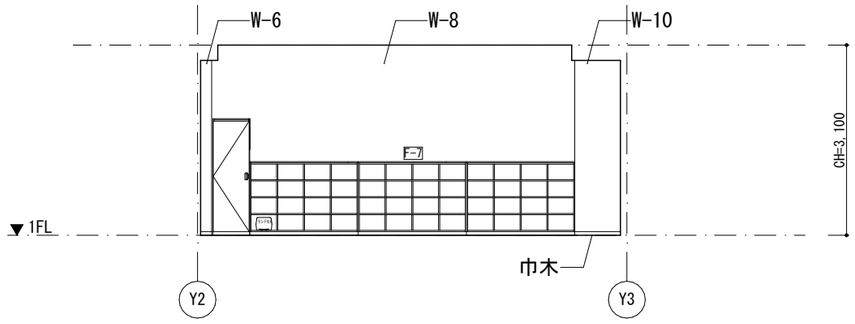
B



C



D



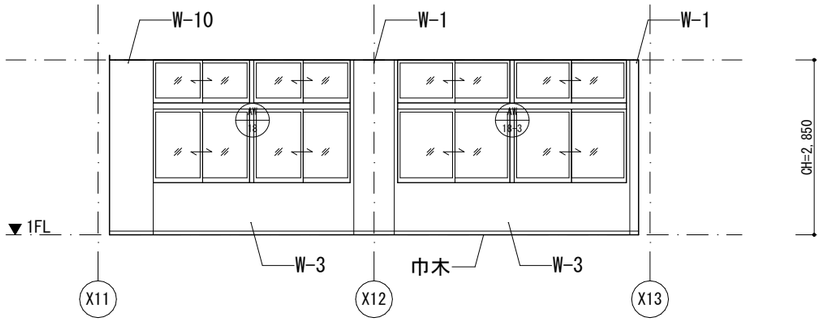
備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A	A-124
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	展開図34	縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)	
	月 日		月 日											

凡例

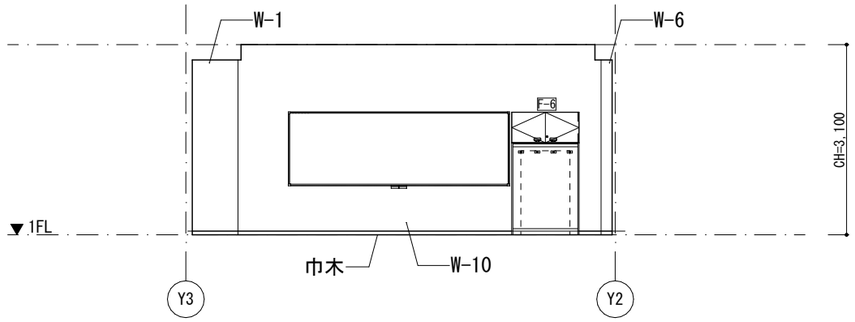
壁(W-1)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁(W-2)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-3)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/
壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-6)	仕上げ	EP塗装
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ﾗｳﾝ合板t=9.0/
壁(W-9)	仕上げ	
	下地	
壁(W-10)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-12)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-14)	仕上げ	有効吸音版t=9(ｼﾅ合板)目透かし張
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま
	下地	既存のまま
	仕上げ	
	下地	
	仕上げ	
	下地	

普通教室８

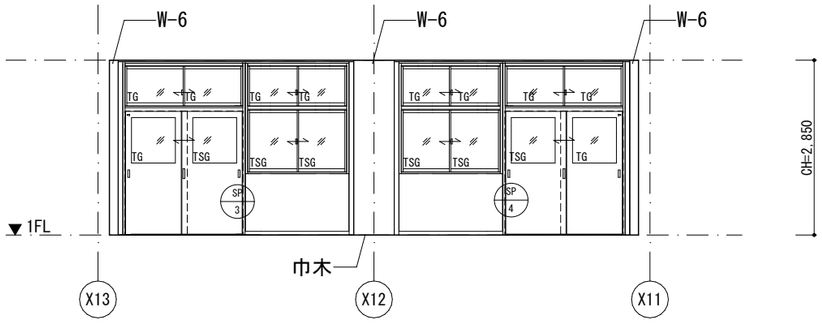
A



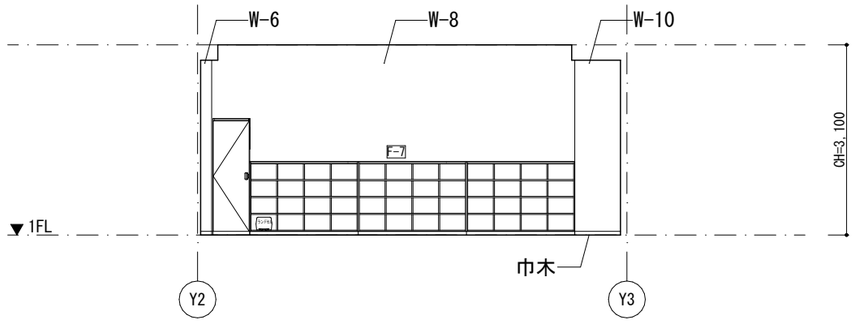
B



C

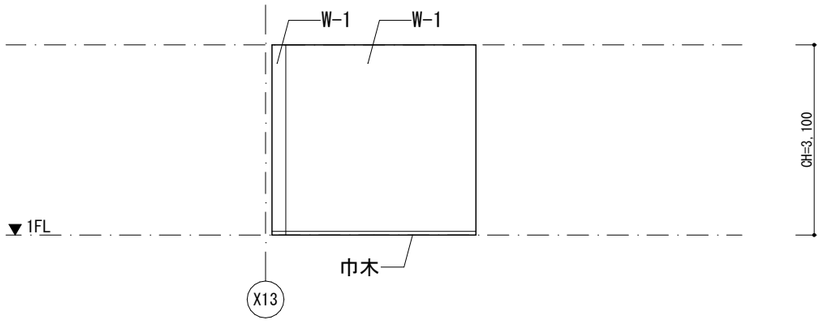


D

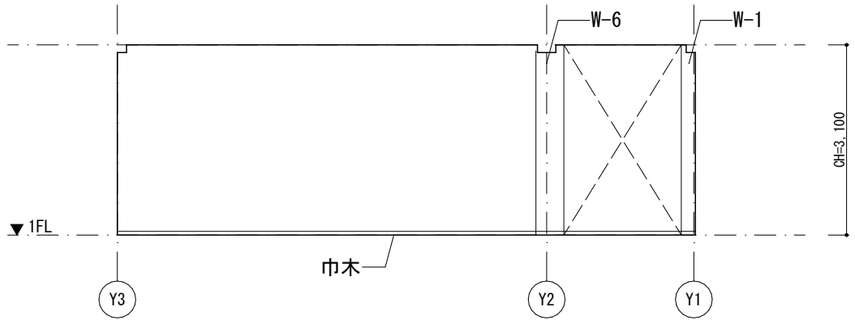


オープンスペース５

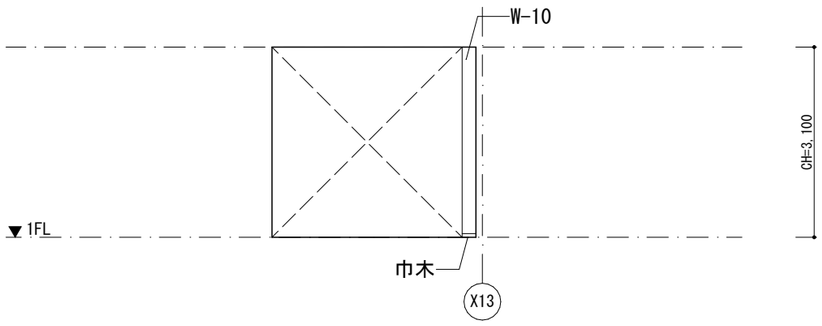
A



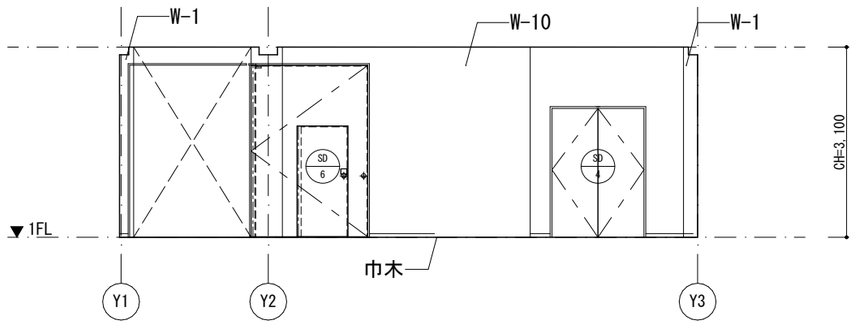
B



C



D



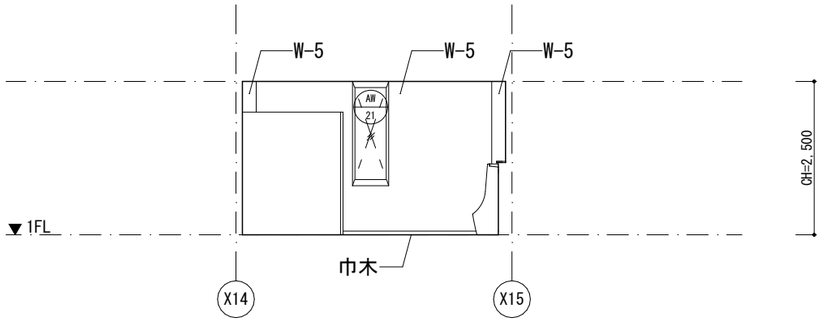
備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A　A-125
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	展開図35	縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)
	月 日		月 日										

凡例

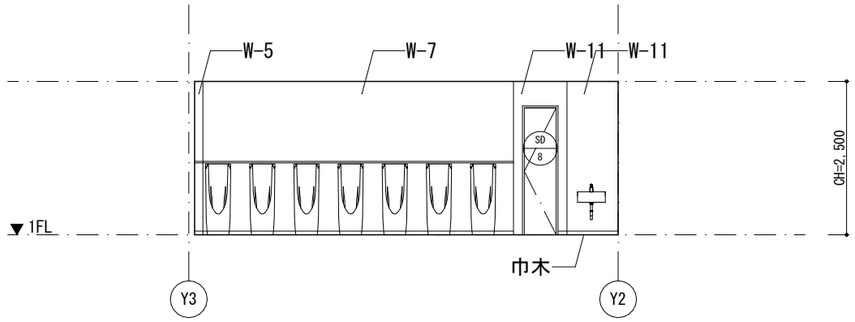
壁(W-1)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁(W-2)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-3)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/
壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-6)	仕上げ	EP塗装
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ﾗｳﾝ合板t=9.0/
壁(W-9)	仕上げ	
	下地	
壁(W-10)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-12)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-14)	仕上げ	有効吸音版t=9(ｼﾅ合板)目透かし張
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま
	下地	既存のまま
	仕上げ	
	下地	
	仕上げ	
	下地	

児童トイレ（男子）

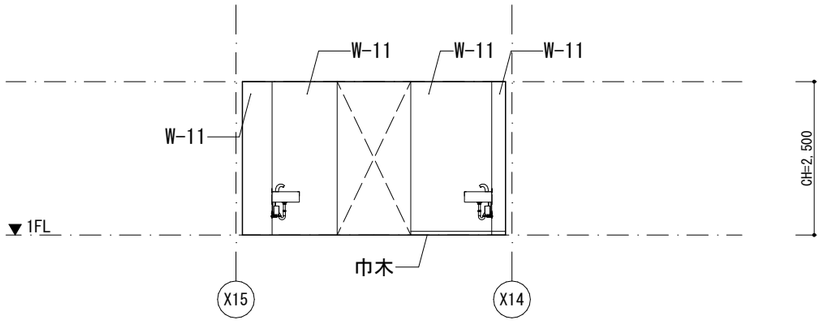
A



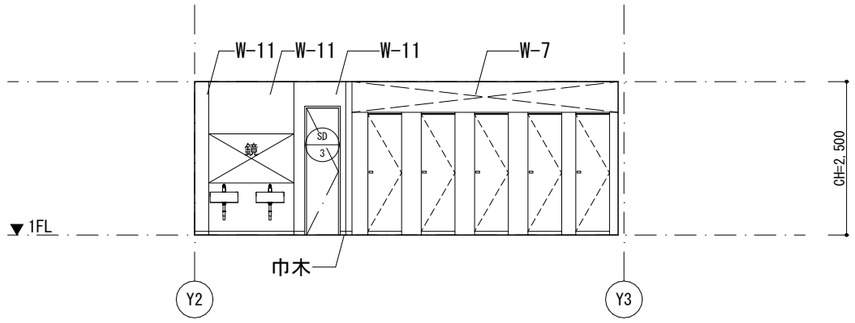
B



C

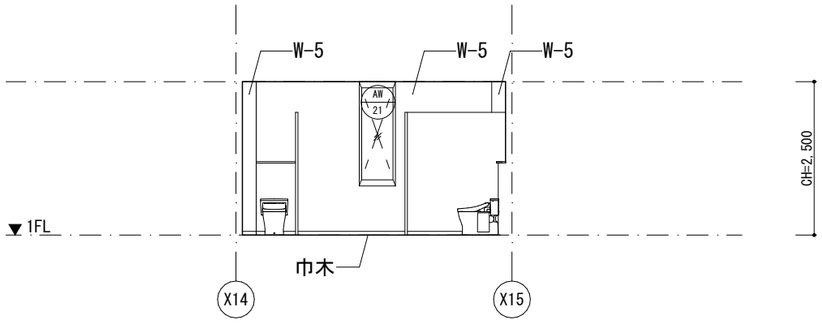


D

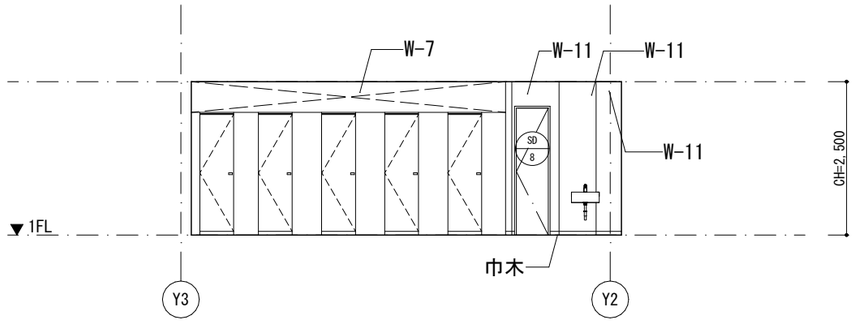


児童トイレ（女子）

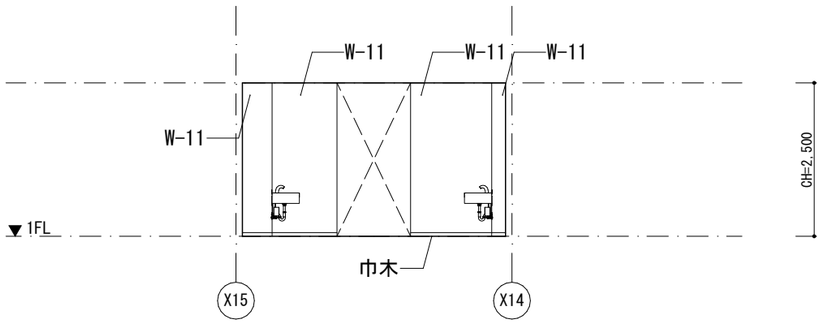
A



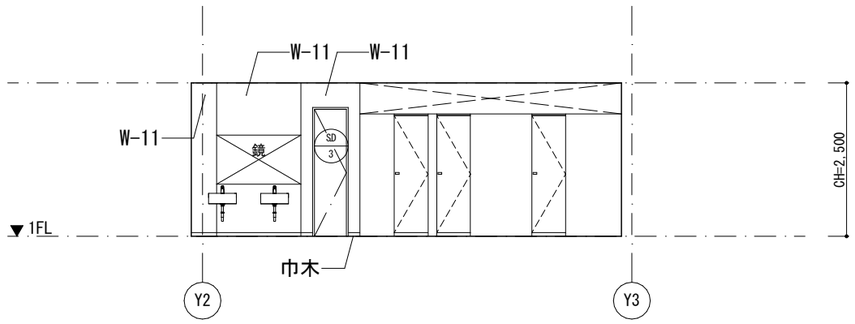
B



C



D



備考	月 日		月 日	
	月 日		月 日	
	月 日		月 日	

株式会社青木茂建築工房
Shigeru Aoki Architect & Associates
1級建築士 佐藤 信 第362177号
1級建築士事務所 第1-60097号

作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)
統括	佐藤 信	製図	松浦 侑亮	図面名称	展開図36

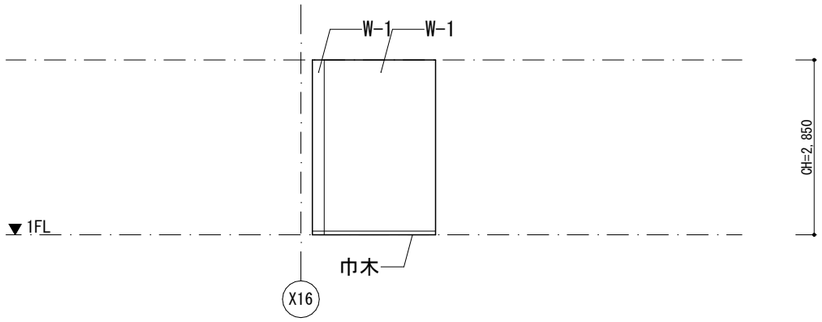
図書	A	A-126
縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)	

凡例

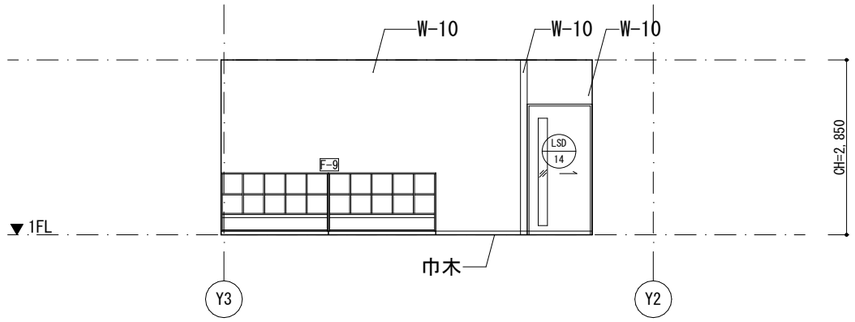
壁(W-1)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁(W-2)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-3)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/
壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-6)	仕上げ	EP塗装
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ﾗｳﾝ合板t=9.0/
壁(W-9)	仕上げ	
	下地	
壁(W-10)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-12)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-14)	仕上げ	有効吸音版t=9(ｼﾅ合板)目透かし張
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま
	下地	既存のまま
	仕上げ	
	下地	
	仕上げ	
	下地	

児童更衣室3

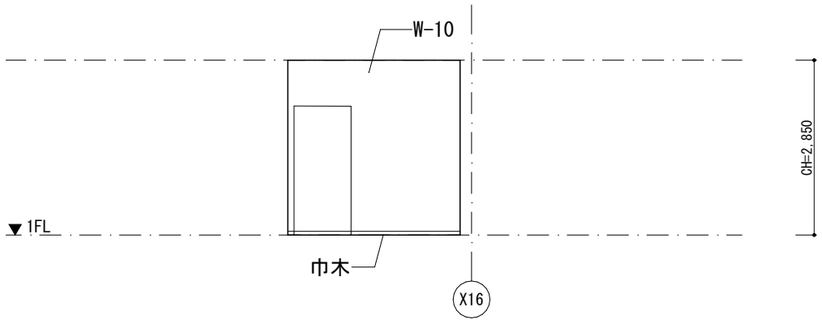
A



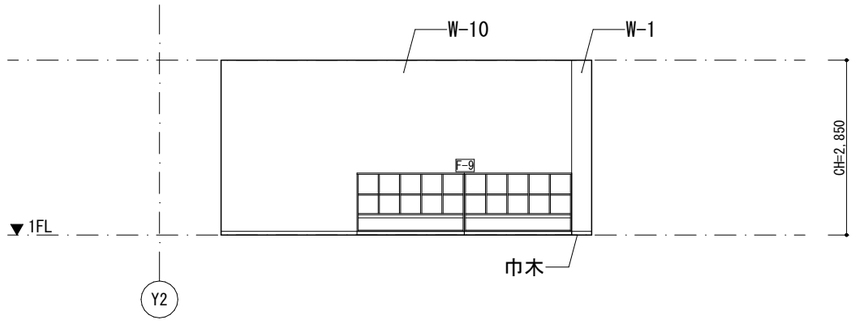
B



C

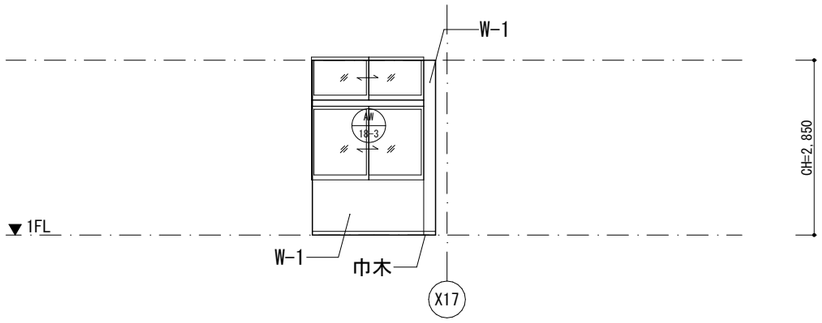


D

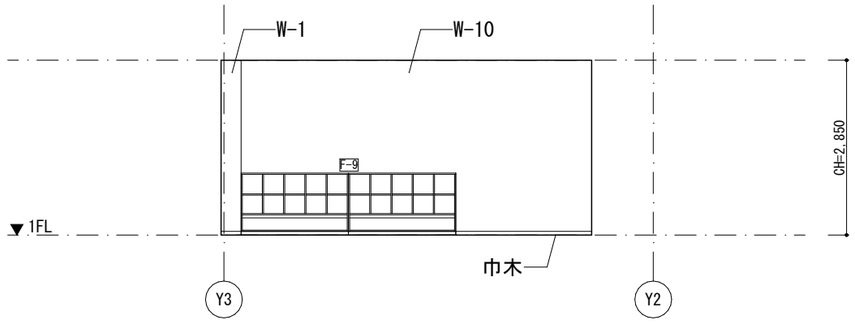


児童更衣室4

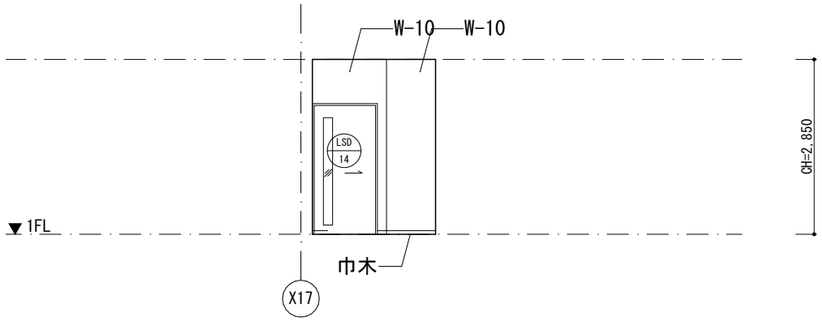
A



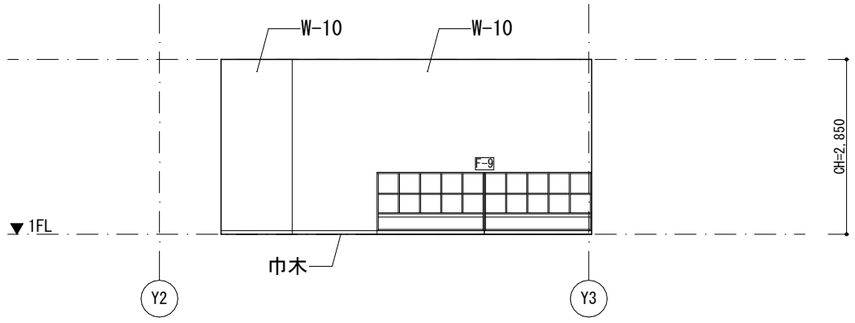
B



C



D



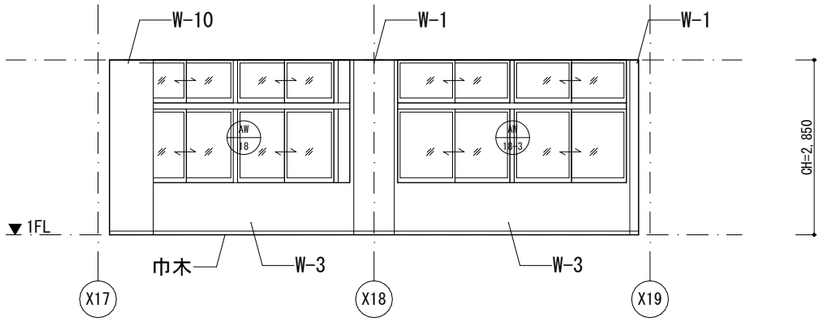
備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A　A-127
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	展開図37	縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)
	月 日		月 日										

凡例

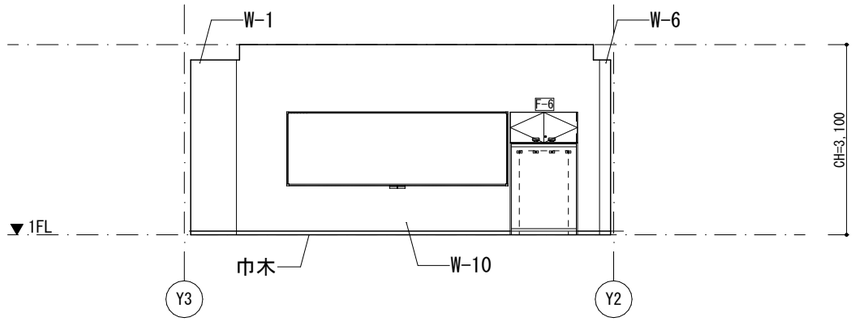
壁(W-1)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁(W-2)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-3)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/
壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-6)	仕上げ	EP塗装
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ﾗｳﾝ合板t=9.0/
壁(W-9)	仕上げ	
	下地	
壁(W-10)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-12)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-14)	仕上げ	有効吸音版t=9(ｼﾅ合板)目透かし張
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま
	下地	既存のまま
	仕上げ	
	下地	
	仕上げ	
	下地	

少人数教室１

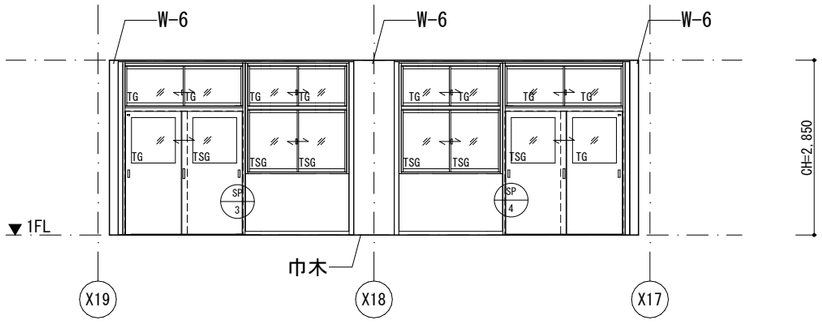
A



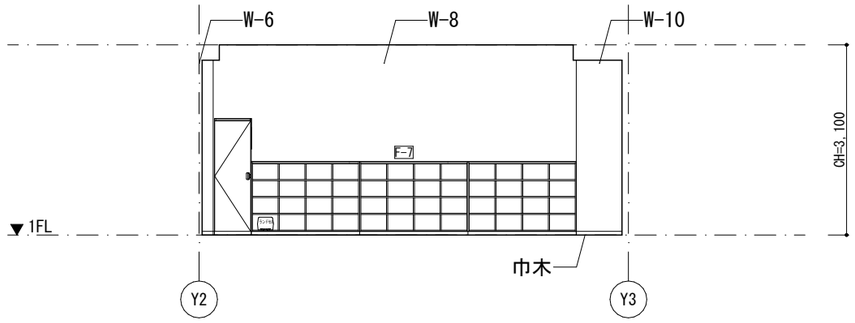
B



C

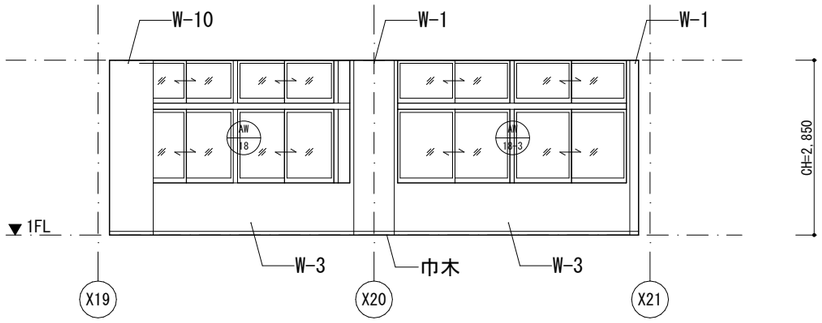


D

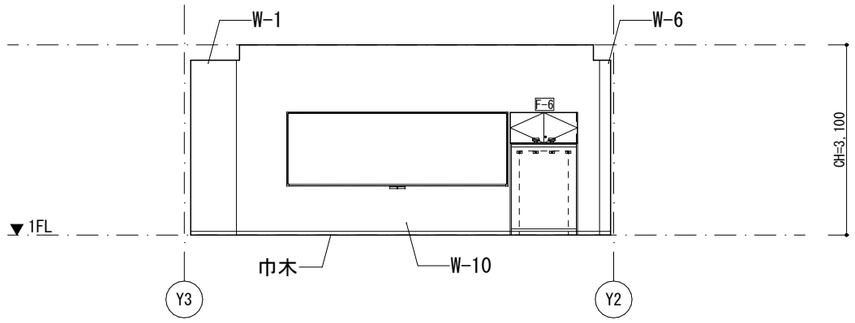


少人数教室２

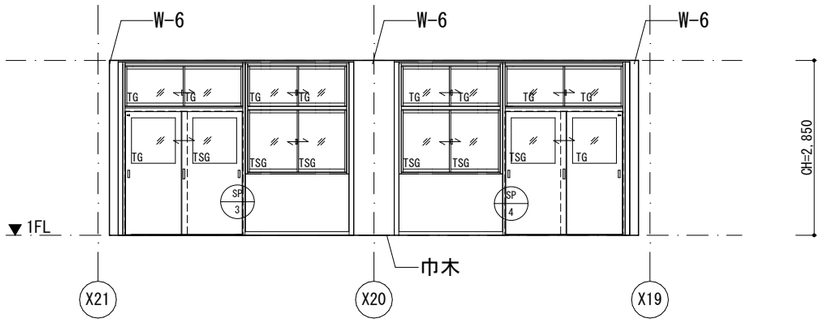
A



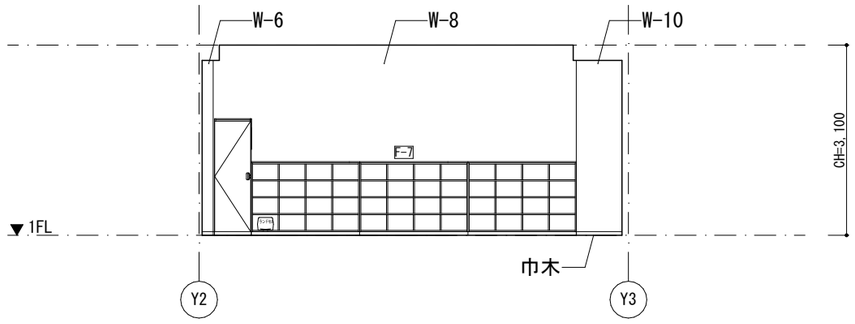
B



C



D



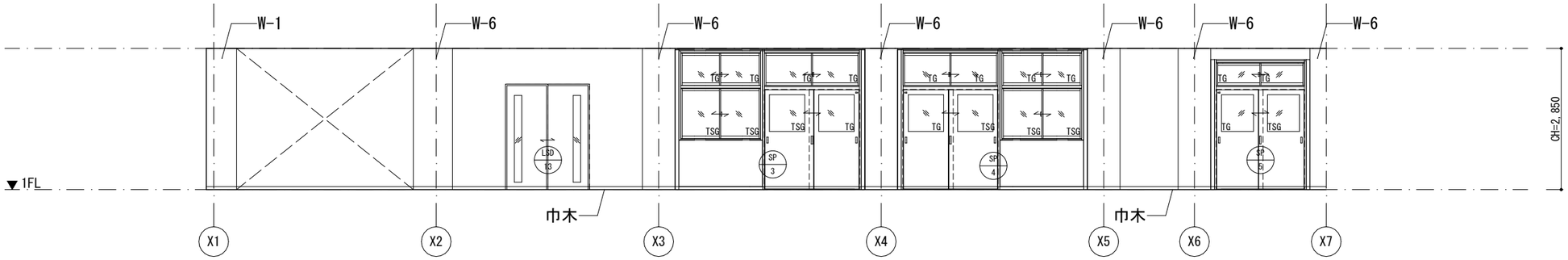
備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A　A-128
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	展開図38	縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)
	月 日		月 日										

凡例

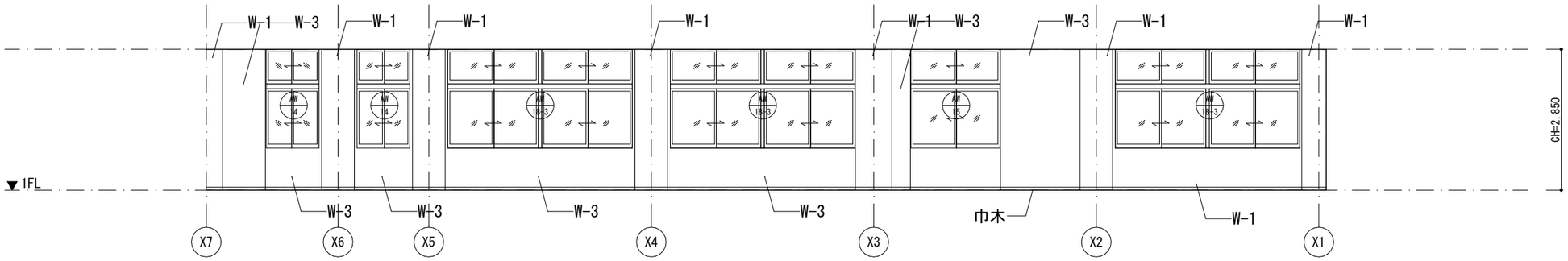
壁(W-1)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁(W-2)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-3)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/
壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-6)	仕上げ	EP塗装
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ﾗﾜﾝ合板t=9.0/
壁(W-9)	仕上げ	
	下地	
壁(W-10)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-12)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-14)	仕上げ	有効吸音版t=9(ｼﾅ合板)目透かし張
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま
	下地	既存のまま
	仕上げ	
	下地	
	仕上げ	
	下地	

廊下３－３

A



C

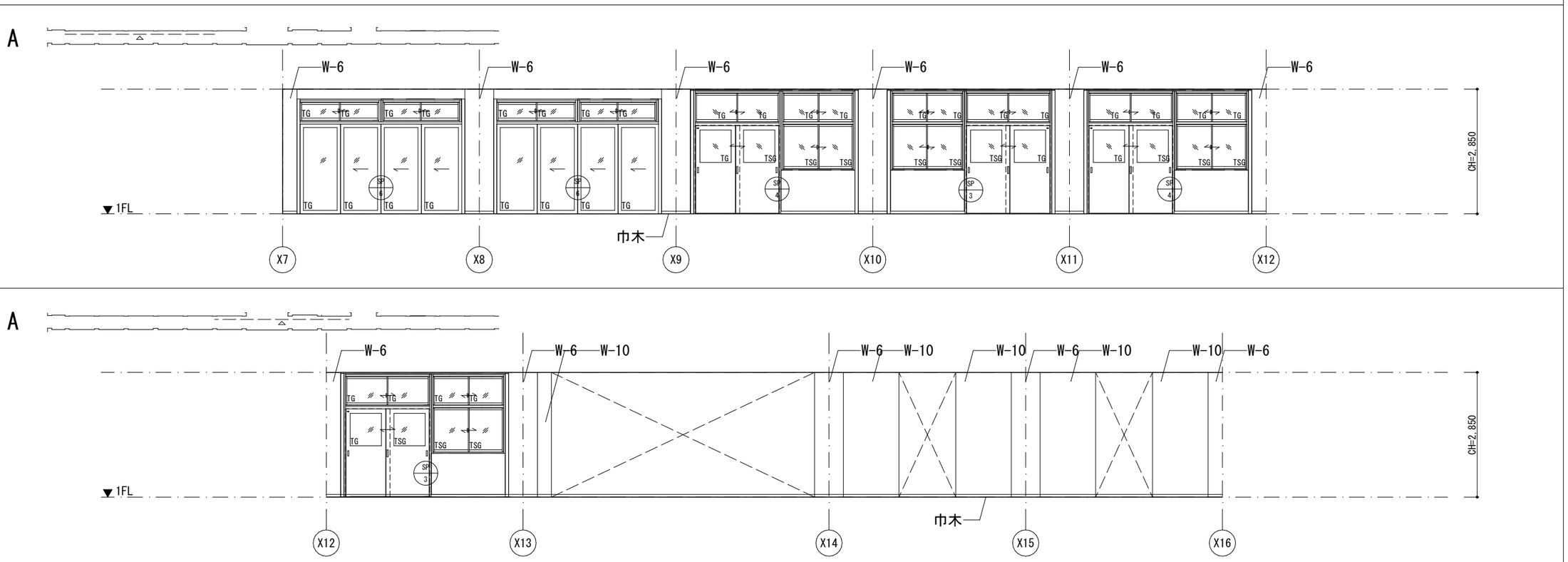


備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A　A-129
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	展開図39	縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)
	月 日		月 日										

凡例

壁(W-1)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁(W-2)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-3)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/
壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-6)	仕上げ	EP塗装
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ﾗｳﾝ合板t=9.0/
壁(W-9)	仕上げ	
	下地	
壁(W-10)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-12)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-14)	仕上げ	有効吸音版t=9(ｼﾅ合板)目透かし張
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま
	下地	既存のまま
	仕上げ	
	下地	
	仕上げ	
	下地	

廊下３－２

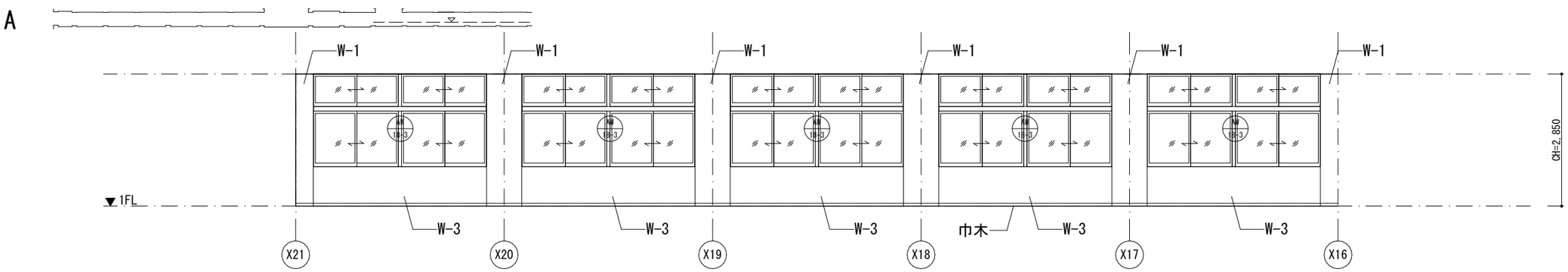


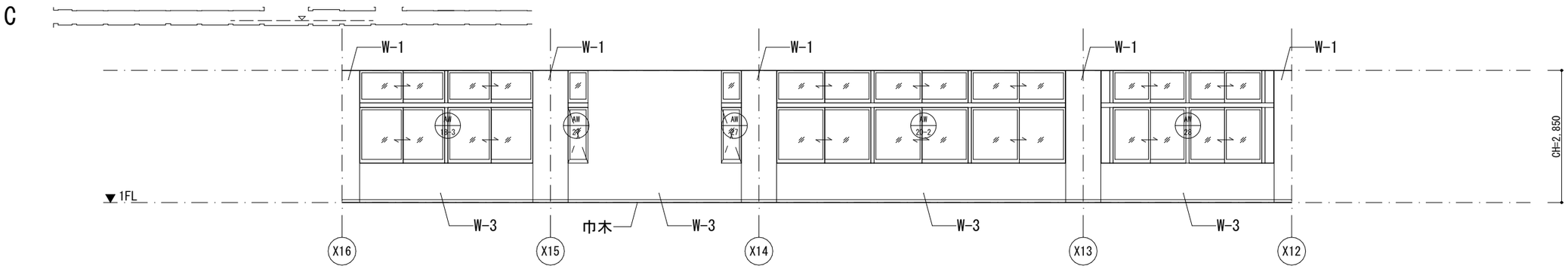
備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A　A-130
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	展開図40	縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)
	月 日		月 日										

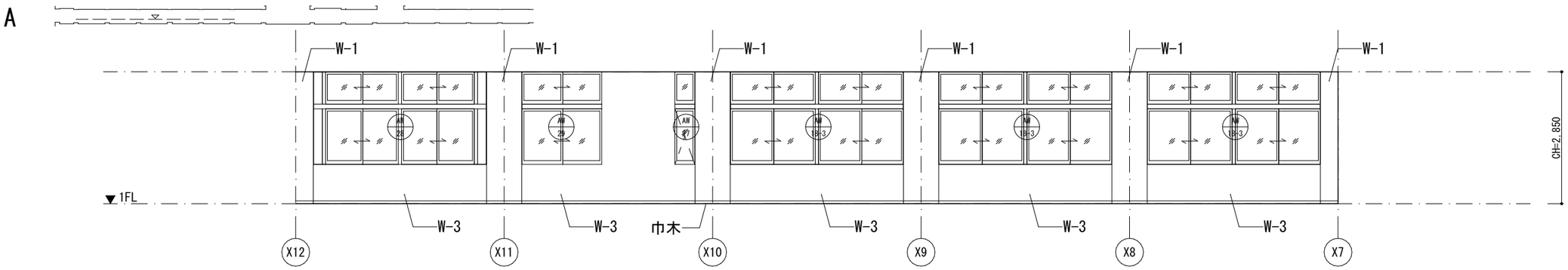
凡例

壁(W-1)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁(W-2)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-3)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/
壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-6)	仕上げ	EP塗装
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ﾗｳﾝ合板t=9.0/
壁(W-9)	仕上げ	
	下地	
壁(W-10)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-12)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-14)	仕上げ	有効吸音版t=9(ｼﾅ合板)目透かし張
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま
	下地	既存のまま
	仕上げ	
	下地	
	仕上げ	
	下地	

廊下３－２







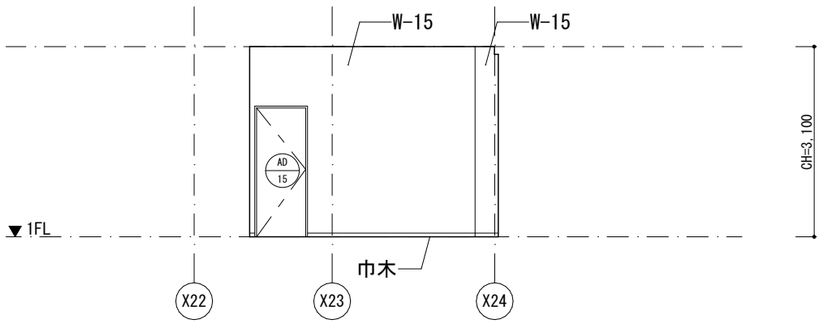
備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A　A-131
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	展開図41	縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)
	月 日		月 日										

凡例

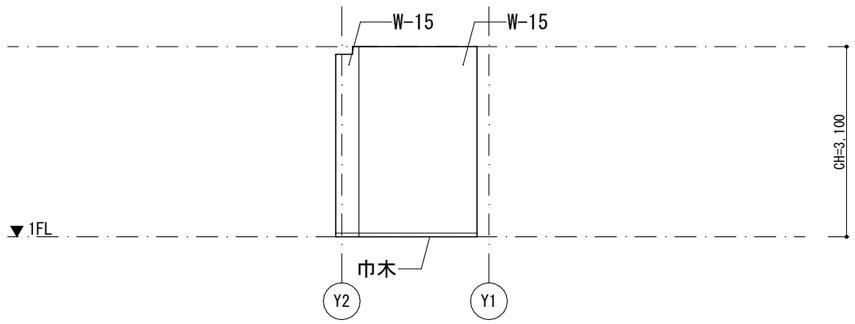
壁(W-1)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁(W-2)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-3)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/
壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-6)	仕上げ	EP塗装
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ﾗｳﾝ合板t=9.0/
壁(W-9)	仕上げ	
	下地	
壁(W-10)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-12)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-14)	仕上げ	有効吸音版t=9(ｼﾅ合板)目透かし張
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま
	下地	既存のまま
	仕上げ	
	下地	
	仕上げ	
	下地	

倉庫

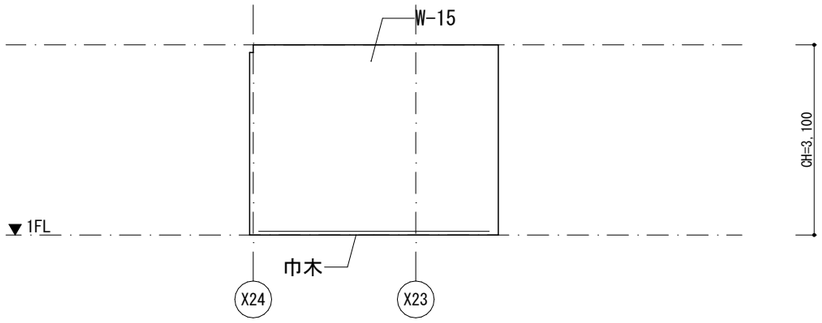
A



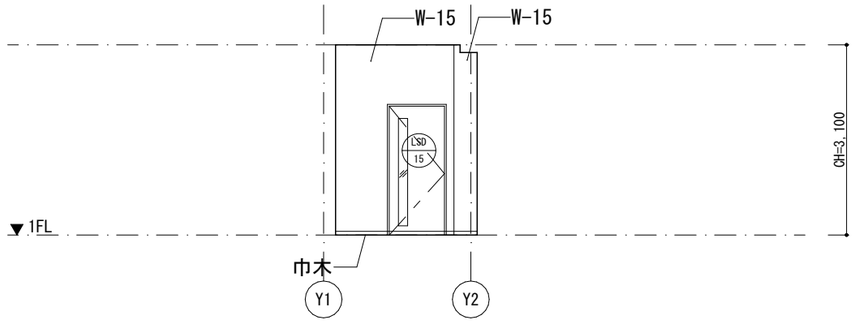
B



C

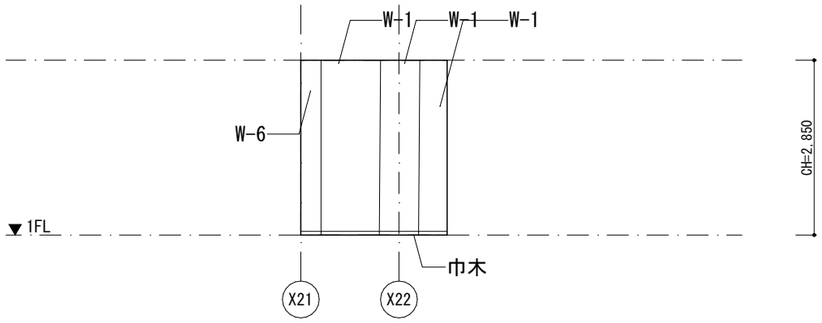


D

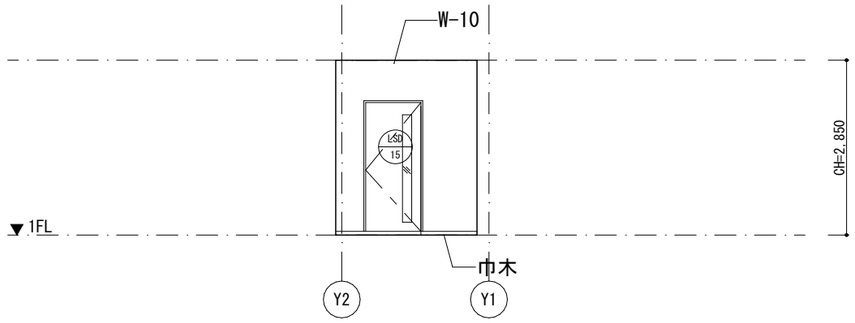


廊下３－１

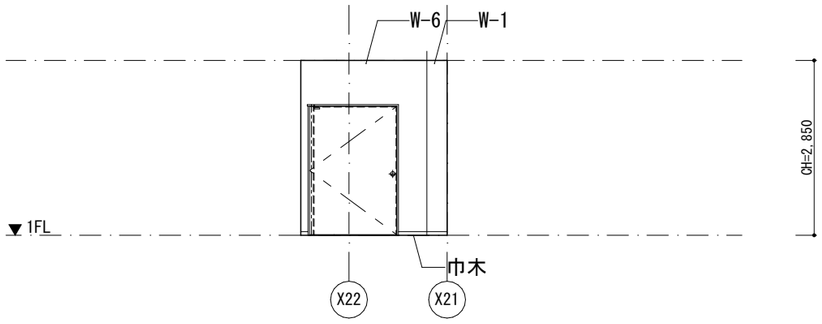
A



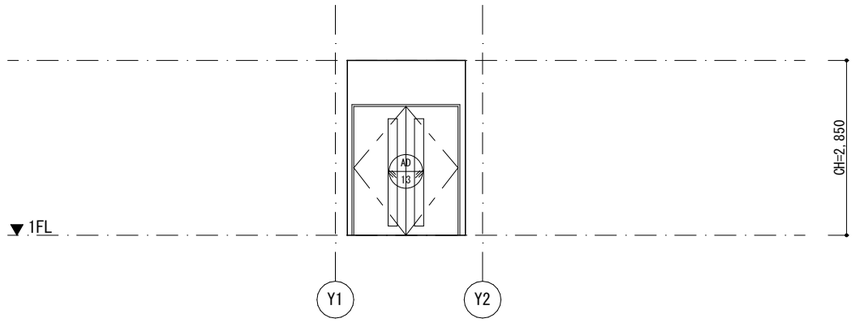
B



C



D



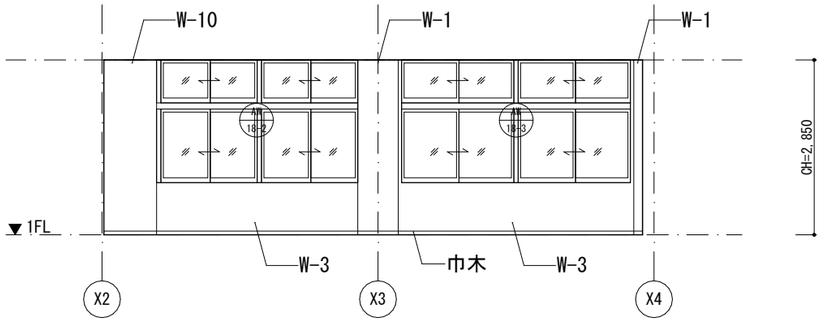
備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図書	A　A-132
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	展開図42	縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)
	月 日		月 日										

凡例

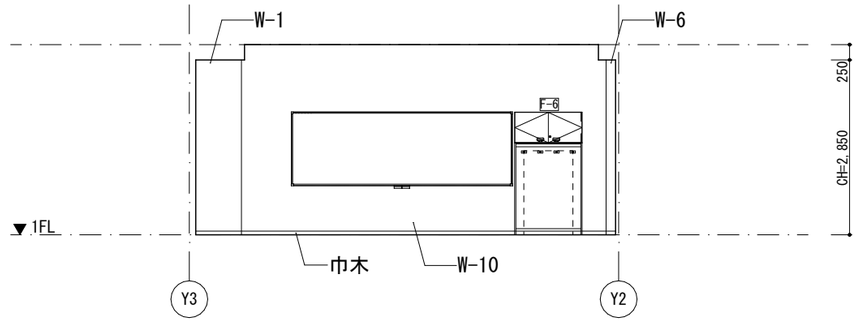
壁(W-1)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁(W-2)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-3)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/
壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-6)	仕上げ	EP塗装
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ﾗﾜﾝ合板t=9.0/
壁(W-9)	仕上げ	
	下地	
壁(W-10)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-12)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-14)	仕上げ	有効吸音版t=9(ｼﾅ合板)目透かし張
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま
	下地	既存のまま
	仕上げ	
	下地	
	仕上げ	
	下地	

学習室

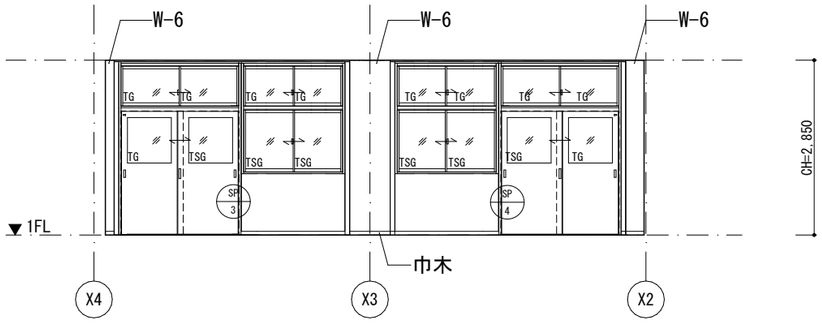
A



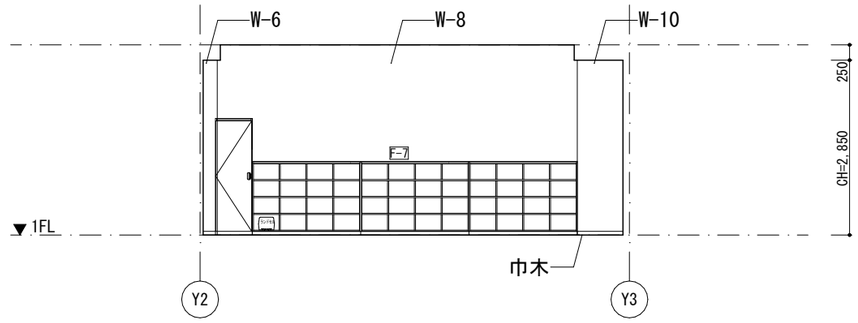
B



C

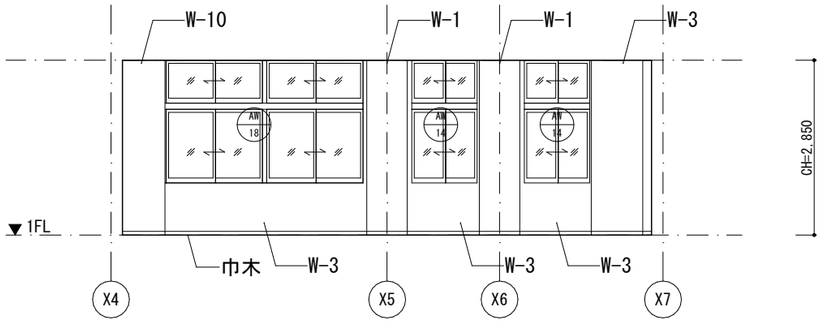


D

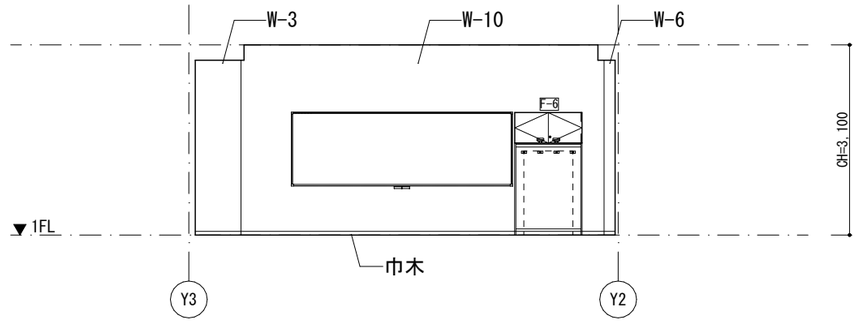


児童会室

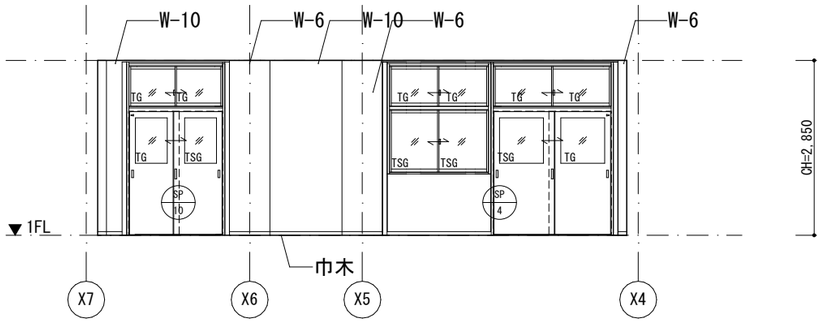
A



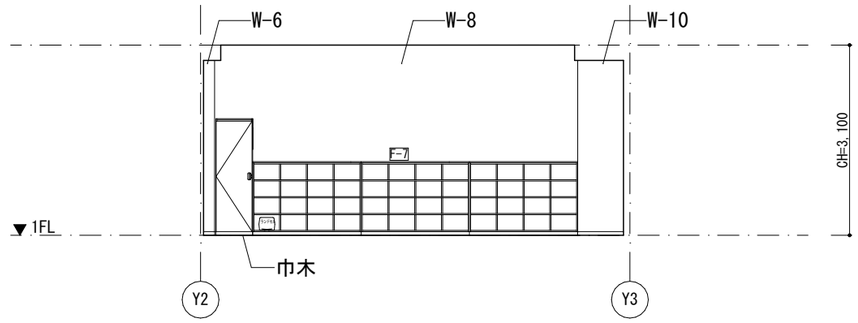
B



C



D



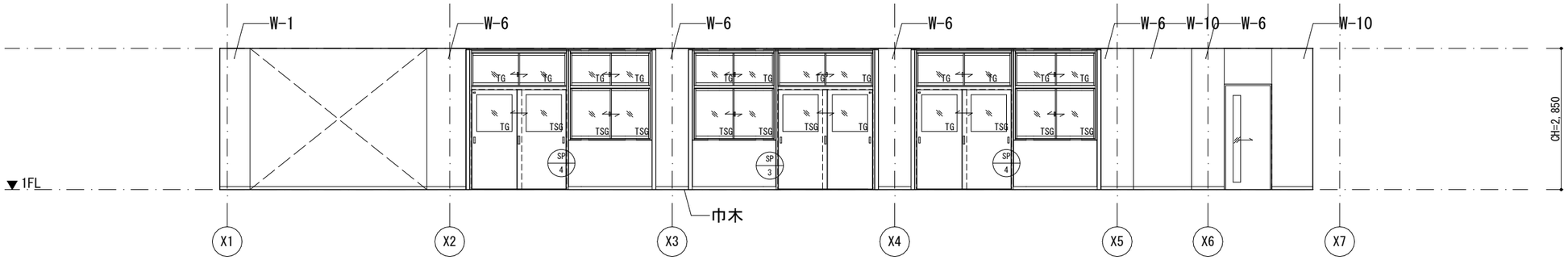
備考	月 日		月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A　A-133
	月 日		月 日		1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	展開図43	縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)
	月 日		月 日										

凡例

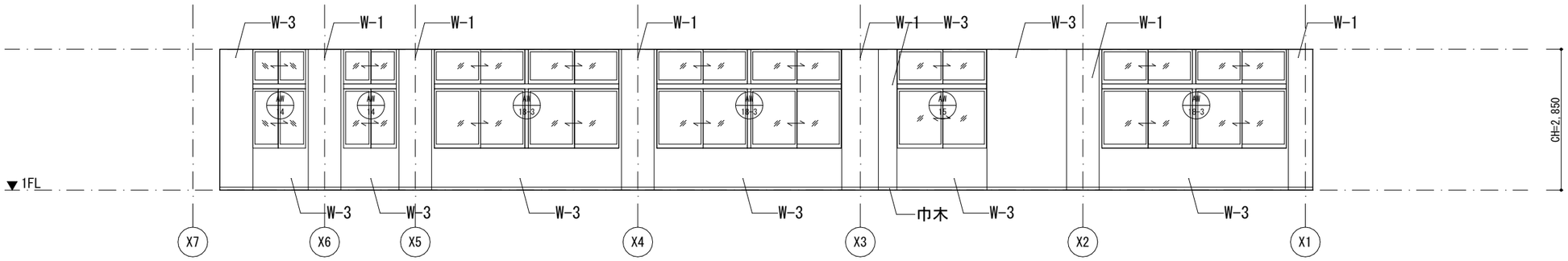
壁(W-1)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁(W-2)	仕上げ	EP塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-3)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地(50型)/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき/
壁(W-4)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	RC壁下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-5)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-6)	仕上げ	EP塗装
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-7)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	ﾓﾙﾀﾙ下地調整
壁(W-8)	仕上げ	掲示ｸﾛｽ
	下地	軽鉄下地/ﾗﾜﾝ合板t=9.0/
壁(W-9)	仕上げ	
	下地	
壁(W-10)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-11)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-12)	仕上げ	EP塗装
	下地	軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗ﾊﾟﾃしごき
壁(W-13)	仕上げ	EP-G塗装
	下地	軽鉄下地/ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0
壁(W-14)	仕上げ	有効吸音版t=9(ｼﾅ合板)目透かし張
	下地	既存ﾓﾙﾀﾙ下地調整/硬質ｳﾚﾀﾝﾎﾞｰﾄﾞt=30+PBt=12.5/木胴縁+ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁(W-15)	仕上げ	既存のまま
	下地	既存のまま
	仕上げ	
	下地	
	仕上げ	
	下地	

廊下４－３

A



C



備考	月 日		月 日			株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤　信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A　A-134
	月 日		月 日			1級建築士　佐藤　信　第362177号 1級建築士事務所　　第1-60097号	統括	佐藤　信	製図	松浦　侑亮	図面名称	展開図44	縮尺	1/ 50(A1) 1/100(A3)
	月 日		月 日											